

第5章 縄文時代～弥生時代(3面)の遺構と遺物

1 概要

本章で報告するのは、As-C軽石及びAs-C軽石混土層の下で、灰黄褐色土及びにぶい黄褐色土を確認面とした遺構であり、3面として調査を行った。主に、弥生時代の集落を中心とした面である。縄文時代の遺物は出土したが、同時代の遺構は確認できなかった。本調査面の遺構は鳴上I遺跡A区及び鳴上I遺跡B区において存在し、調査区西部の丘陵地帯の南東方向へ下る緩やかな傾斜地に立地する住居群を調査した。遺構の多くは弥生時代後期に属する。谷を隔てた東部丘陵地帯の西斜面に位置する。茅畑遺跡では、縄文時代～弥生時代の遺構は確認されなかった。

2 茅畑遺跡の遺構と遺物

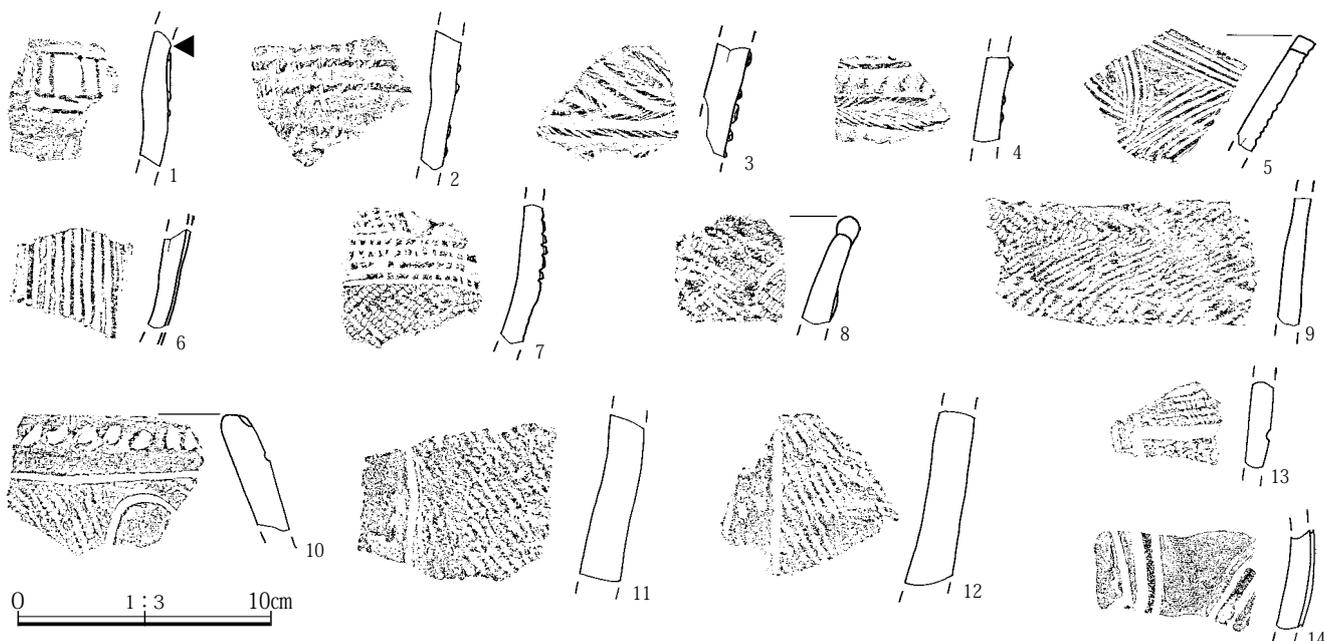
本遺跡においては、縄文～弥生時代に属する遺構及び遺構に伴う遺物は確認できなかった。調査区の埋没土から縄文時代中期から後期の土器及び石器等の遺物が出土するのみで、明確な遺構は認められなかった。

茅畑遺跡は、谷を挟んだ東側丘陵地帯の西面に位置しており、鳴上I遺跡に比して傾斜が急な土地環境にある。

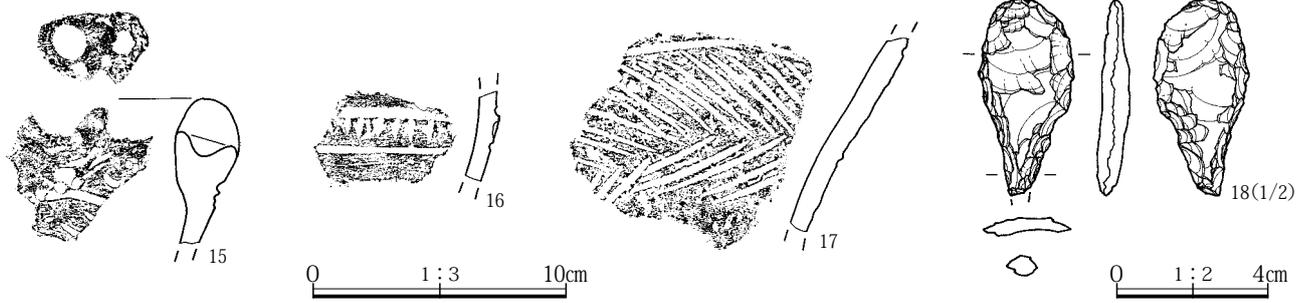
集落を形成するのに適した地形には恵まれていない。ただし、時を経て古代になると困難な地形を克服することにより積極的な集落の形成が見られるようになる。

(1) 遺構外出土の遺物(第150・151図 PL.82・83)

茅畑遺跡3面の調査中に、遺構に伴わない形で遺物が出土した。ここでは出土した遺物のうち、縄文土器17点(深鉢1～13・15～17、注口土器14)、剥片石器1点(石錘18)を掲載した。これらの遺物は埋没土、表採からのものである。図示した以外に、茅畑遺跡西部では縄文土器(縄文前期末20片275g、縄文中期後半6片236g、加曾利B2式2片18.7g、諸磯b式14片191.2g、諸磯c式1片10.3g)、弥生土器(弥生後期1片13.9g)が出土しており、茅畑遺跡東部では縄文土器(縄文前期末3片68.7g、中期後半2片39.8g、中期後半～後期前半2片35g、加曾利E4式2片37g、加曾利E3式5片105g、諸磯b式6片92.3g)が出土している。**所見(帰属時期):**縄文時代前期末、中期、後期の土器が万遍なく出土していることから、当時、この地域には人々の営みがあったと推察される。



第150図 茅畑遺跡3面 遺構外出土遺物(1)



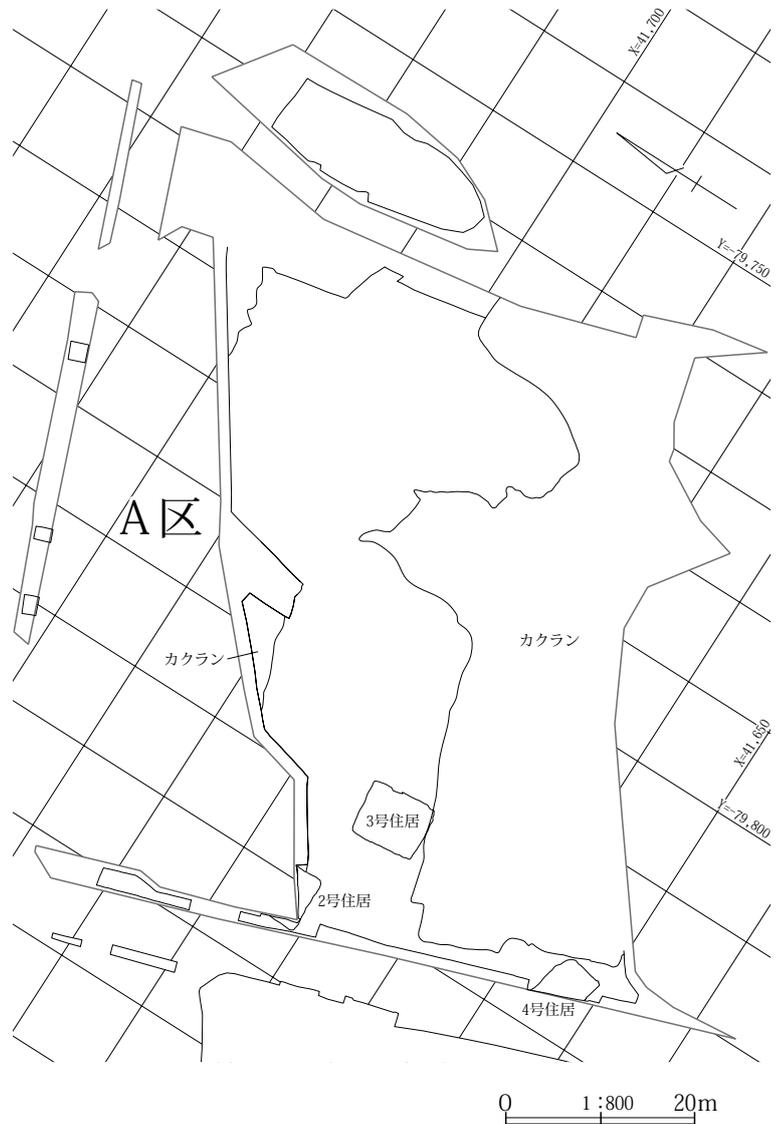
第151図 茅畑遺跡3面 遺構外出土遺物(2)

3 鳴上 I 遺跡 A 区の遺構と遺物

鳴上 I 遺跡 A 区の 3 面に属する遺構は、住居 3 軒であった。3 軒の住居は互いに近接しており、集落を形成していたといえる。鳴上 I 遺跡 B 区においても、同時期と思われる住居が検出されており、同じ集落内の住居であると思われる。遺構の分布は、調査区西部から東部の傾斜地に舌状に張り出している台地上に位置している。本調査区においては、台地上の自然環境を有効に活用して、古代まで集落の形成が行われていた形跡が残る。人々の生活の痕跡は、中世以降も遺構として検出されている。遺構の確認面及び埋没土は、As-C 軽石及びロームブロックを含む黒褐色土、暗褐色土である。

(1) 住居

本調査区における住居群は、同時期の共通する特徴を有する。住居の形状は、正方形に近い長方形であった。南側に出入口をもつと推察され、炉は中心から東と北の 2 か所に位置しており、細長い楕円礫や土器片が差し込まれて構築されていることが確認された。また、住居の隅にベッド状の高まりが 1 軒につき 2～4 か所確認できる。竪穴住居の壁際にはピットが絡むものが多い。また、壁には横穴状の掘り込みが確認された。さらに 3・4 号住居においては、焼失したと思われる炭化材が多数確認されるなど、特徴的な様相が認められた。



第152図 鳴上 I 遺跡 A 区 3 面 全体図

2号住居(第153～155図 PL.55・83)

調査区西部の住居群内にある。住居の多くが調査区域外にあり全容は確認できない。

位置：680～684・-828～-834にある。

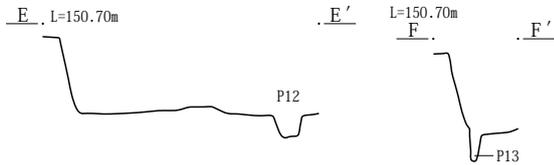
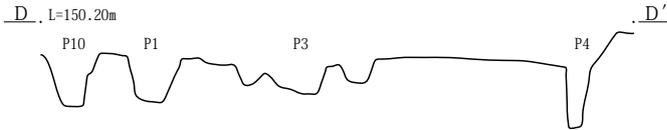
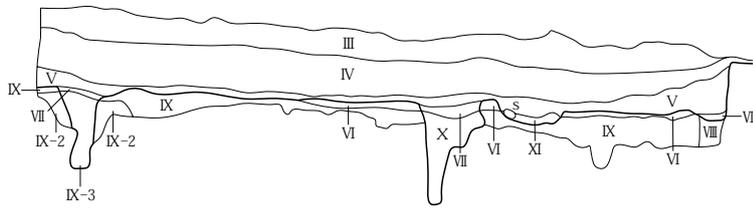
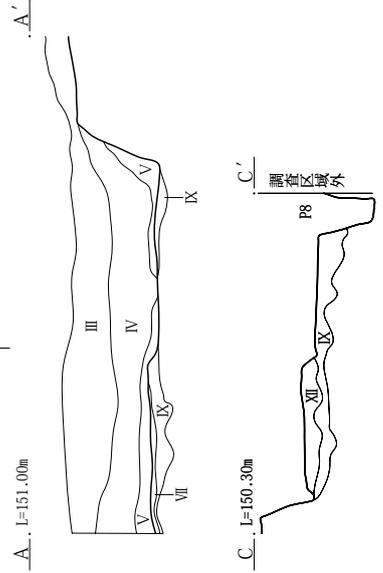
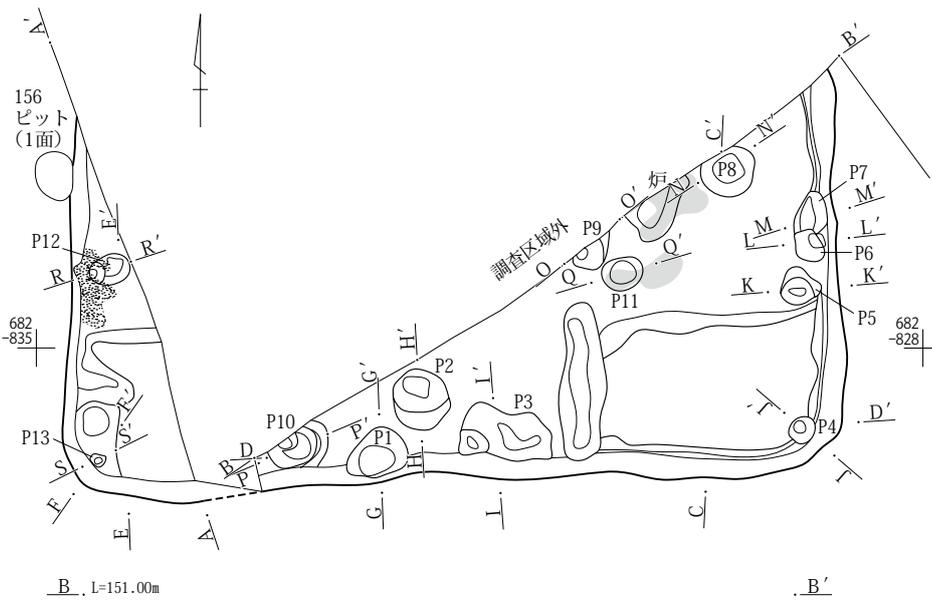
規模形状：主軸長不明、幅6.15mである。西辺、南辺、東辺は直線的である。各辺直交しており、整った方形を呈していると思われる。埋没土・壁：黒褐色土が壁際から埋没している。焼土粒、炭化物粒、ローム粒を含む。その後、ロームブロックを含む暗褐色土、ロームブロック及びAs-C軽石を含む暗褐色土で順次レンズ状に埋没しており、自然埋没であると思われる。壁高は0.19～0.59mである。方位：N-0° 面積：(7.48)m² 床面：傾斜はほぼないが起伏が激しい。南東隅及び南西隅にベッド状遺構の高まりが確認できる。南東隅のベッド状遺構の高まりは、南北96cm、東西172cm、床面より1～10cm程高い。面積は1.51m²である。南西隅のベッド状遺構の高まりは、南北108cm、東西不明、床面より2～6cm程高い。面積は0.49m²である。いずれも長方形を呈している。柱穴を含むピット状の掘り込みが多数認められた。掘り方：ほぼ全面に確認できた。東壁、南壁直下には窪みが、西壁直下には高まりが確認された。埋没土は、黒褐色ブロック及びロームブロック、As-BPを含む黄褐色土であり、ロームを含む黒色土で貼床をしている。ベッド状遺構の高まりは、ローム、As-BPを主体とし黒色土が混ざる締めりのある明黄褐色土で施設している。周辺部が深い傾向にあり、深さは、4～24cm程である。壁溝：東壁、南壁の一部に認められる。幅24cm、深さ8cm程である。埋没土は不明である。ピット(柱穴)：13基を確認した。位置よりP9は、規則的な主柱穴配置のうちの1つと認められる。P7・6・5・4・1・10・13・12は、壁柱穴と思われる。また、P3は、出入口施設のための柱穴であると考えられる。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

(長径×短径×深さcm)

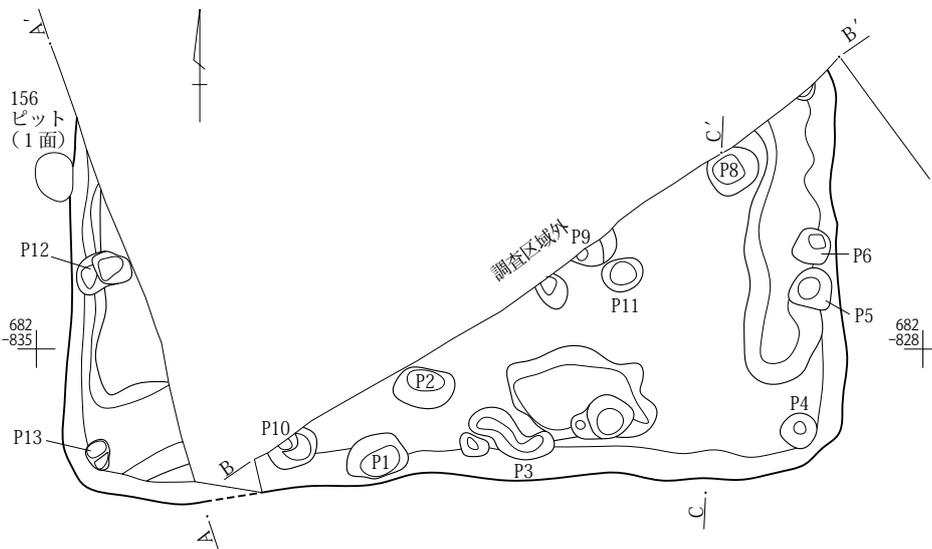
P 1	50×36×38	P 2	49×48×36
P 3	72×39×17	P 4	23×20×41
P 5	34×30×26	P 6	28×21×64
P 7	(38)×24×11	P 8	(42)×41×35
P 9	(39)×(25)×58	P 10	(40)×(39)×30
P 11	33×26×22	P 12	32×24×26

P 13 12×11×22

主柱穴のP9は、褐色土で埋没しており、壁柱穴のP7・6・5・4・1・10・13・12は、黒褐色土、暗褐色土、褐色土等で埋没している。また、出入口施設のP3は、黒褐色土で埋没している。壁柱穴、出入口施設それぞれに関わるピットの埋没土が類似しており、ロームブロックや白色軽石、一部に炭化粒子や焼土等、混入物にも共通性が認められることから、埋没が同時期であった可能性が高い。貯蔵穴：認められない。炉：住居東寄りに位置する。埋没土は、炭化物を含む明赤褐色土である。使用面は硬く焼けている。規模は長径(62)cm、短径(38)cm、深さ14cmである。重複遺構：なし。遺物：弥生土器18点(高杯6点、甕3点、瓢壺1点、台付甕2点、蓋1点、壺4点、紡輪1点)を図示した。調査した住居南部においては、万遍なく遺物が出土した。甕(1・2)、瓢壺(8)、高杯(13・16)、壺(7・9)、紡輪(18)は床直上からの出土であり、本住居に伴うものと考えられる。高杯(15)は床上10cm、台付甕(5)はP3床上12cm、壺(6)は床上9cm浮いた位置からの出土であり、本住居に伴うものが明瞭でない。台付甕(3)、高杯(11)、壺(10)は住居埋没土から、高杯(12・14)はP1埋没土から、蓋(17)はP3埋没土から、甕(4)はP5埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。図示した以外に、弥生土器(弥生後期216片2733.8g)、縄文土器(加曾利E2式1片、26.5g有尾式2片58.1g)が出土している。所見(帰属時期)：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を2～3帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。



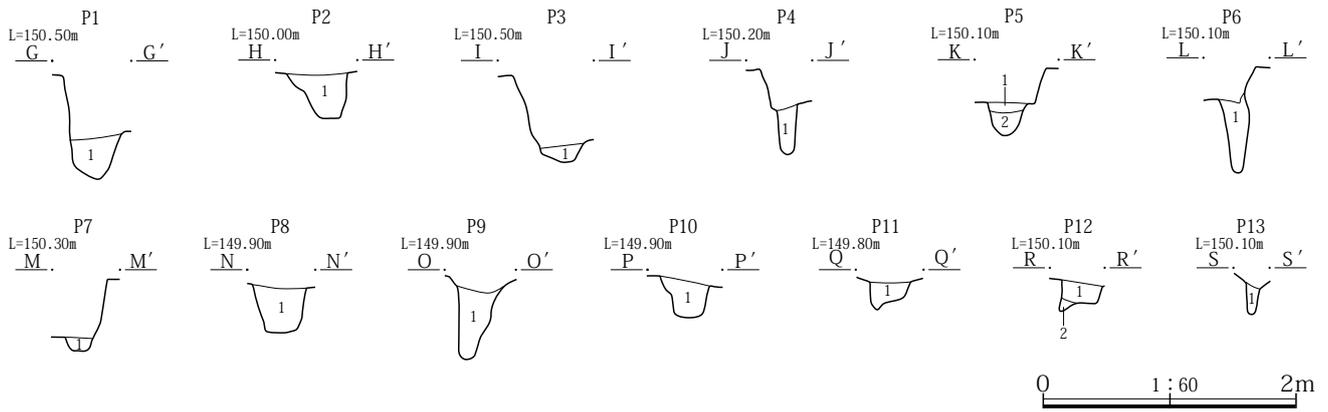
掘り方



- 2号住居 A-A'・B-B'・C-C'
- III 暗褐色土(10YR3/4) 径2~10mmのAs-Cを1%程度と径5mmのロームブロックが僅かに混入する。
 - IV 暗褐色土(10YR4/4) 径10~50mmのロームブロックが20%程度混入する。
 - V 黒褐色土(10YR3/2) 径1~2mmの焼土粒、炭化物粒、ローム粒を含む。
 - VI 黒色土(10YR2/1) 僅かにローム粒を含む。貼床。
 - VII 黒色土(10YR1/7) やや軟質土。
 - VIII 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロック粒を含む軟質土。
 - IX 黄褐色土(10YR5/6) 黒色土ブロックとロームブロックを多く含む。As-BPを混入する。床下、掘り方埋土。
 - IX-2 黄褐色土(10YR5/6) 少量の黒色土ブロックと多量のロームブロックを含む。As-BPを混入する。床下、掘り方埋土。
 - IX-3 黄褐色土(10YR5/6) 少量の黒色土ブロックと多量のロームブロックを含む。As-BPを混入する。床下、掘り方埋土。軟質土。
 - X にぶい黄褐色土(10YR4/3) 多量のローム粒と少量のロームブロックが混入する。軟質土。
 - XI 明赤褐色土(5YR5/8) 炉跡。焼土が主であり、炭化物を含み硬く焼けている。
 - XII 明黄褐色土(10YR6/6) IX層に類似するがハードロームとAs-BPが主であり、黒色土が少量混じる。硬く締まる。

第153図 鳴上 I 遺跡 A 区 3 面 2 号住居

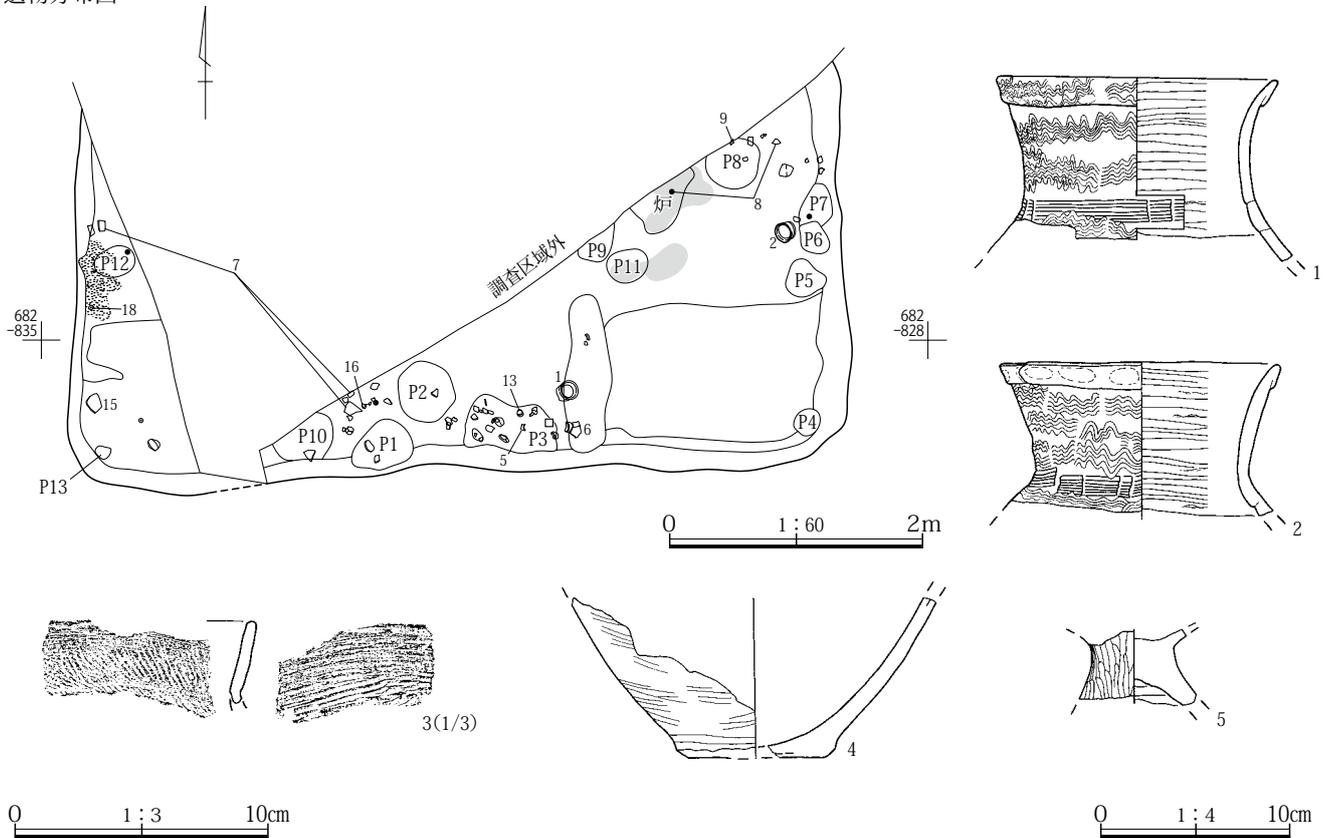
第5章 縄文時代～弥生時代(3面)の遺構と遺物



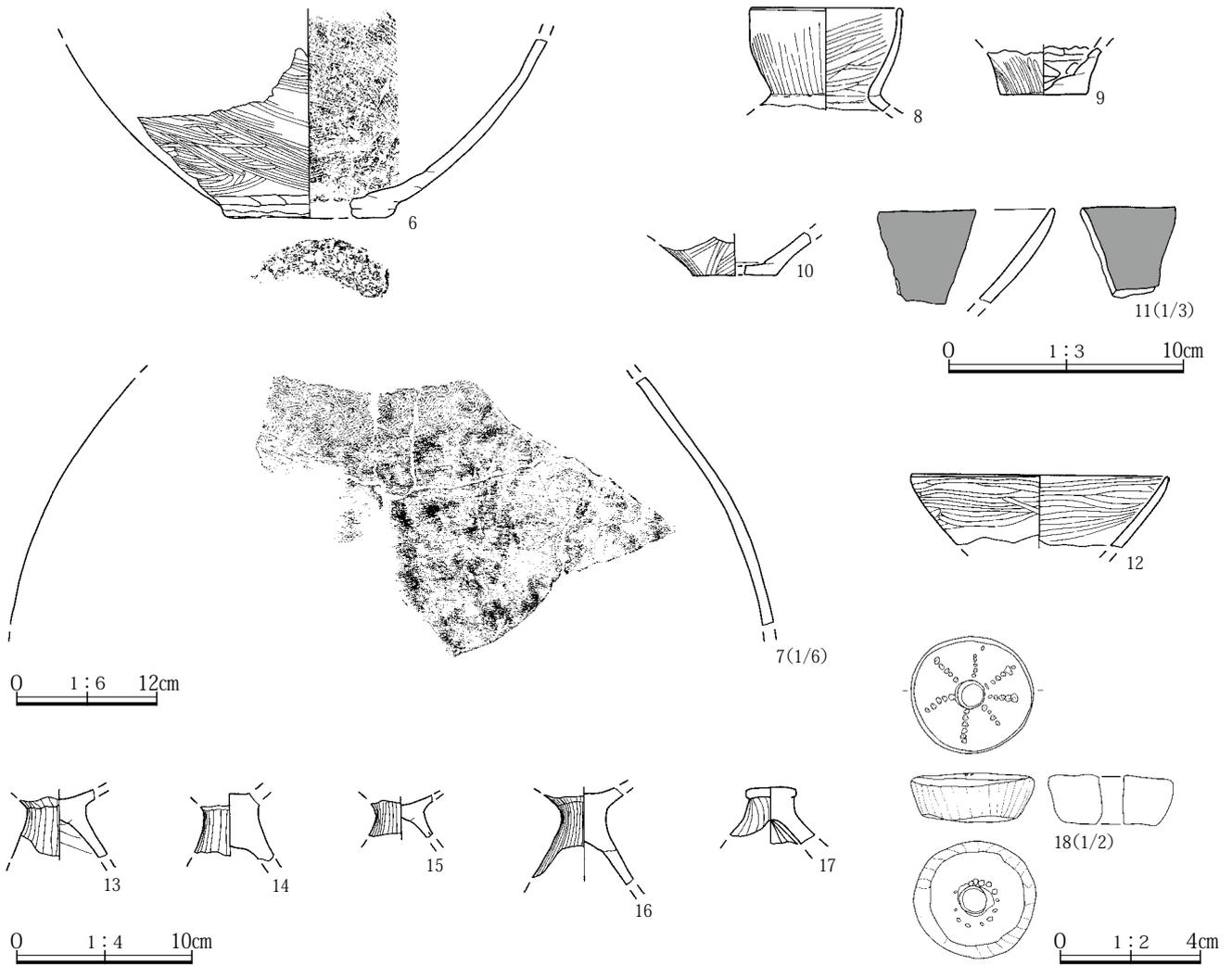
- 2号住居 P1・4・6・8 G-G'・J-J'・L-L'・N-N'
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 径1mmの白色鈹物粒と径5～10mmのロームブロックを少量含む。やや粘性を帯びる。
- 2号住居 P2 H-H'
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 径1mmの白色鈹物粒とP1より大きめのロームブロックと径5mmの炭化物を少量含む。やや粘性を帯びる。
- 2号住居 P3・7 I-I'・M-M'
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 径1mmの白色鈹物粒を少量含む。ローム粒子と径5～10mmのロームブロックを30%程度含む。やや粘性を帯びる。
- 2号住居 P5 K-K'
- 1 暗褐色土(10YR3/4) 炭化物粒、焼土粒を含む。締まりのある土。
- 2 黄褐色土(10YR5/8) 径10mmの焼土ブロック少量と径1～30mmのローム粒及びロームブロックを50%程度含む。締まりのある土。

- 2号住居 P9 O-O'
- 1 褐色土(10YR4/4) ローム粒が多く含まれ、径10mmの焼土とロームブロックが少量含まれる。軟質土。
- 2号住居 P10 P-P'
- 1 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 粘性が強い。掘り方調査で確認できた。
- 2号住居 P11 Q-Q'
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 白色鈹物粒と赤褐色土鈹物粒を少量と径5～30mmのロームブロックを5%含む。締まりのある土。
- 2号住居 P12 R-R'
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 径2～10mmのロームブロックを2%程度と炭化物粒を僅かに含む。軟質土。
- 2 褐色土(10YR4/4) ローム粒とロームブロックを含む。粘性土。
- 2号住居 P13 S-S'
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 径30mmのロームブロックを含む。粘性土。

遺物分布図



第154図 鴨上I遺跡A区3面 2号住居、出土遺物(1)



第155図 鳴上 I 遺跡 A 区 3 面 2 号住居出土遺物(2)

3号住居(第156～161図 PL.56・57・83・84)

調査区西部の住居群内にある。残存状態は良好である。

位置：674～682・-815～-822にある。

規模形状：各辺直線的であり、互いに直交している。南北に長い整った長方形を呈している。主軸長7.36m、幅6.14mである。埋没土・壁：黒褐色土及び暗褐色土が、壁側から交互に埋没している。その後、黒褐色土、灰褐色軽石粒、にぶい黄褐色土がレンズ状に埋没している。自然堆積であると思われる。壁高は0.23～0.91mである。方位：N-4°-W 面積：39.24㎡ 床面：北東方向へ僅かに傾斜している。高低差は4cm程である。床面は平坦である。四隅にそれぞれベッド状遺構の高まりが確認できる。北東隅のベッド状遺構の高まりは、南北156cm、東西90cm、高さ2～13cm程である。面積は1.41㎡である。南東隅のベッド状遺構の高まりは、南

北108cm、東西152cm、高さ1～3cm程である。面積は1.78㎡である。南西隅のベッド状遺構の高まりは、南北106cm、東西148cm、高さ7～13cm程である。面積は1.63㎡である。北西隅のベッド状遺構の高まりは、南北176cm、東西102cm、高さ14～16cm程である。面積は1.69㎡である。いずれも長方形を呈している。北側の2つは南北に長く、南側の2つは東西に長い。住居北東部と南部を中心に、炭化材が複数出土している。掘り方：ほぼ全面に広がり、埋没土は、黒色土ブロック、ロームブロック、As-BPを含む黄褐色土である。その上に、ローム粒を含む貼床を施している。ベッド状遺構の高まりは、ローム粒を主体とし黒色土が混ざる締まりのある黄褐色土で施設している。深さは、3～14cm程である。中央部は浅く、周辺部が深い傾向にある。壁溝：東壁から南壁の一部まで認められる。幅25cm、深さ10cm、埋没土は、

暗褐色土で、ロームブロック中量含む。 **ピット(柱穴)**：23基を確認した。位置、規模及び深さ、埋没土より、P 4・5・2・3が、規則的な主柱穴配置による柱穴であると思われる。P 13は、P 3に関連した柱穴であると思われる。さらに、P 9・17・18・19・10・1・7・8は、位置、規模、埋没土から、壁柱穴であると思われる。P 6は、出入口施設のための柱穴であると考えられる。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

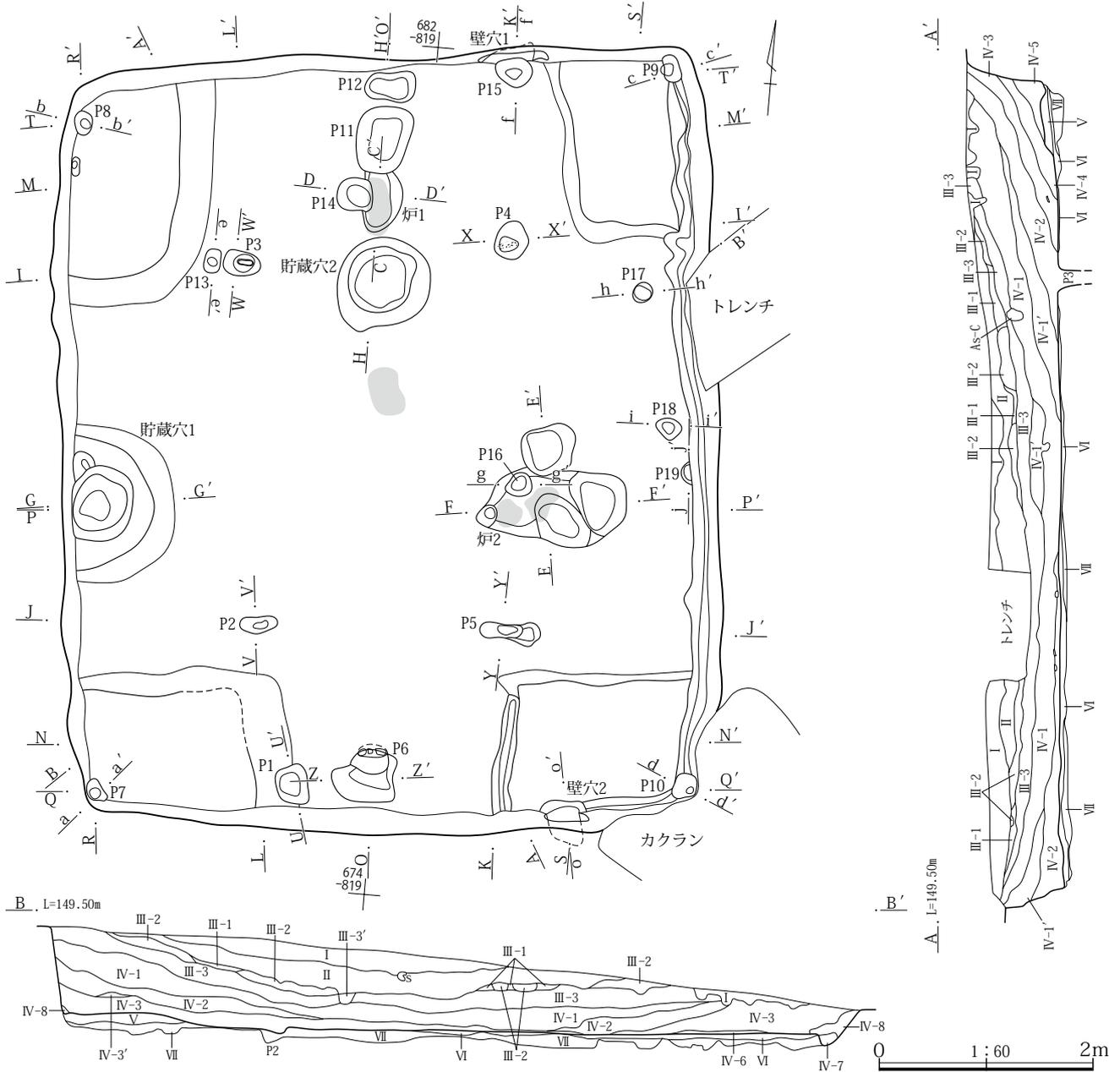
(長径×短径×深さcm)

P 1	36×29×10	P 2	36×15×67
P 3	34×23×84	P 4	36×31×67
P 5	57×16×88	P 6	57×50×20
P 7	24×14×62	P 8	24×16×31
P 9	26×16×59	P 10	26×23×71
P 11	63×49×19	P 12	48×29×12
P 13	22×16×21	P 14	33×31×12
P 15	34×28×16	P 16	23×23×12
P 17	20×18×10	P 18	24×22×18
P 19	22×計測不能×20		
P 20	24×24×18	P 21	20×18×22
P 22	20×18×26	P 23	36×25×43

主柱穴のP 4・5・2・3は、にぶい黄褐色土、黄褐色土、明黄褐色土で埋没しており、類似性が見られる。壁柱穴のP 9・17・18・19・10・1・7・8は、褐色土、暗褐色土、黒褐色土で埋没しており、類似性が見られる。出入口施設のP 6は、暗褐色土で埋没している。主柱穴と壁柱穴には、それぞれ共通性がみられることから、各々の埋没時期が近い可能性がある。 **壁穴**：北壁と南壁の東寄りに位置する。壁穴1は、長径66cm、短径36cm、深さ14cmである。壁穴2は、長径42cm、短径26cm、深さ34cmである。埋没土が異なり、時期差は明確でない。

貯蔵穴：住居中央北側と西壁直下にそれぞれ窪みを確認する。位置と規模より貯蔵穴と思われる。貯蔵穴1は、As-BPを含む明黄褐色土の後、ローム粒・ブロックを含む褐色土で埋没している。長径71cm、短径56cm、深さ61cmである。20～40cm幅の高まりで囲まれており、蓋などの施設があった可能性がある。貯蔵穴2は、As-BP、炭化物、焼土粒が混入した締まりのある暗褐色土の後、As-BPを含む軟性の灰黄褐色土が流れ込み、最後にAs-BP、焼土粒、炭化物粒を含む締まりのある黒褐色土

で埋没している。長径86cm、短径84cm、深さ73cmである。確認面に炭化材が載っていた。 **炉**：住居中央北部貯蔵穴2の北側及び住居東部に焼土を伴う窪みを確認する。位置、規模、埋没土などの様相から炉であると思われる。炉1は、炭化物が主で焼土粒が混入した締まりのある黒色土の後、焼土、炭化物、As-BPを含む締まりのある暗褐色土が埋没している。床面の掘り込みが南北2つある。推測長径66cm、推測短径36cm、深さ6cm程である。炉2は、ロームブロックとAs-YPを含む黒褐色土で埋没している。東西に掘り込みが2つあり、炉の中心が移動した経緯がみとれる。長径136cm、短径72cm、深さ9cm程である。炉の中部やや西寄りに細長い亜円礫の枕石が確認できた。長さ17cm、幅8cm、厚さ4cm程である。掘り方は、ローム粒・ロームブロックを含む粘性のある暗褐色土で埋没している。 **重複遺構**：なし。 **遺物**：弥生土器25点(高杯7点、甕7点、台付甕1点、壺7点、鉢1点、器台1点、勾玉1点)、須恵器1点(杯蓋)、石製品1点(砥石)を図示した。住居北東部及び西部中心に散在するように多量の遺物が出土した。甕(5・6・7)、高杯(17・19・21)、器台(24)、壺(10)、鉢(16)は床直上から、高杯(18)はベッド状遺構床直上からの出土であり、本住居に伴うものと考えられる。壺(9)はP 6床上17cm、甕(2)はベッド状遺構床上6～19cm、甕(4)は床上6cm、甕(3)はベッド状遺構床上43cm、壺(11・12)はP 6床上14～19cm、壺(15)は床上14cm、高杯(23)は床上23cm、高杯(20)はベッド状遺構床上14～44cm、台付甕(8)はベッド状遺構床上9cm浮いた位置から出土しており、甕(1)、壺(13・14)、高杯(22)、勾玉(25)は、埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。砥石(27)は床上8cmからの出土である。須恵器、杯蓋(26)は、表土からの出土であり9世紀前半に比定される。これは、上層からの混入の可能性があり、本住居に伴うものではない。図示した以外に、弥生土器(弥生後期542片5405.4gその中で赤彩4片)、縄文土器(縄文中期後半以降3片55.5g、加曾利E 2式1片62.3g、阿玉台式1片17.7g)が出土している。 **所見(帰属時期)**：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。

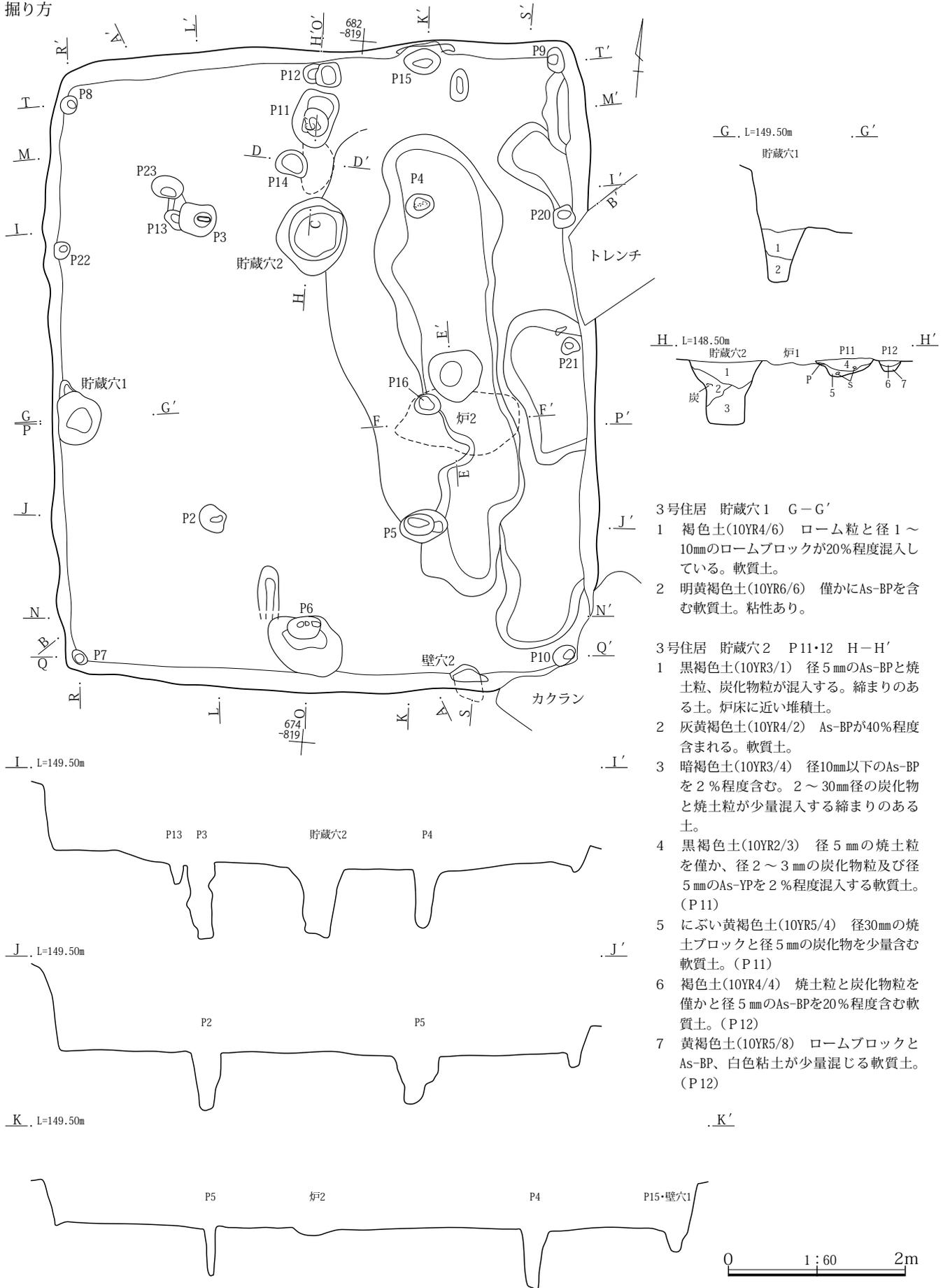


- 3号住居 A-A'・B-B'・M-M'・N-N'・O-O'・P-P'
- I にぶい黄褐色土(10YR4/3) 径2~10mmのAs-Cが10%程度混入する。
 - II 黒褐色土(10YR3/1) 径1~30mmのAs-Cが30%程度混入する。上層からの攪乱を多少受けている。
 - III-1 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 径1~10mmのAs-Cが混入する。軟質土。
 - III-2 灰褐色軽石粒(10YR8/1) 径1~10mmのAs-Cである。軽石はよく発泡している物が多い。
 - III-3 黒褐色土(10YR3/2) As-Cと赤褐色土粒を少量含む。
 - III-3' 黒褐色土(10YR3/2) III-3に準ずる。As-Cを多量に含む。
 - IV-1 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒と径50mmのロームブロックが20%程度混入する。
 - IV-1' 黒褐色土(10YR2/3) 炭化物粒と焼土ブロックを少量及びローム粒と径2~10mmのロームブロックを5%程度含む。
 - IV-2 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒~径70mmのロームブロックを10%程度と径1~50mmの炭化物を少量含む。
 - IV-3 黒褐色土(10YR2/3) 炭化物粒を少量と径2mmのロームブロック20%程度含む。
 - IV-3' 黒褐色土(10YR2/3) IV-3に準ずる。炭化物含む。
 - IV-4 褐色土(10YR4/4) ローム粒と径5mmのロームブロックを多く含む

- 軟質土。
- IV-5 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒を多く、ロームブロックを少量含む軟質土。
- IV-6 黒褐色土(10YR2/3) 炭化物粒を少量と径2mmのロームブロック20%程度含む。締まりのある土。
- IV-7 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックを25%程度含む壁溝内覆土。
- IV-8 黒褐色土(10YR3/2) 径5mmのロームブロックを50%程度含む流入土。
- V 黄褐色土(10YR5/6) ローム粒を主体とし、黒色土が僅かに混じった締まりのある土。(ベッド状遺構高まり部分)
- VI 黒色土(10YR2/1) 僅かにローム粒を含む。貼床。
- VII 黄褐色土(10YR5/6) 黒色土ブロックとロームブロックを多く含む。As-BPを混入する。床下、掘り方埋土。
- VII' 黄褐色土(10YR5/6) VII層に準ずる。色味が明るい。
- VIII 黄褐色土(10YR5/6) 少量の黒色土ブロックと多量のロームブロックを含む。As-BPを混入する。床下、掘り方埋土。
- IX 黄褐色土(10YR5/6) 少量の黒色土ブロックと多量のロームブロックを含む。As-BPを混入する。床下、掘り方埋土。軟質土。

第156図 鳴上 I 遺跡 A 区 3 面 3 号住居

掘り方



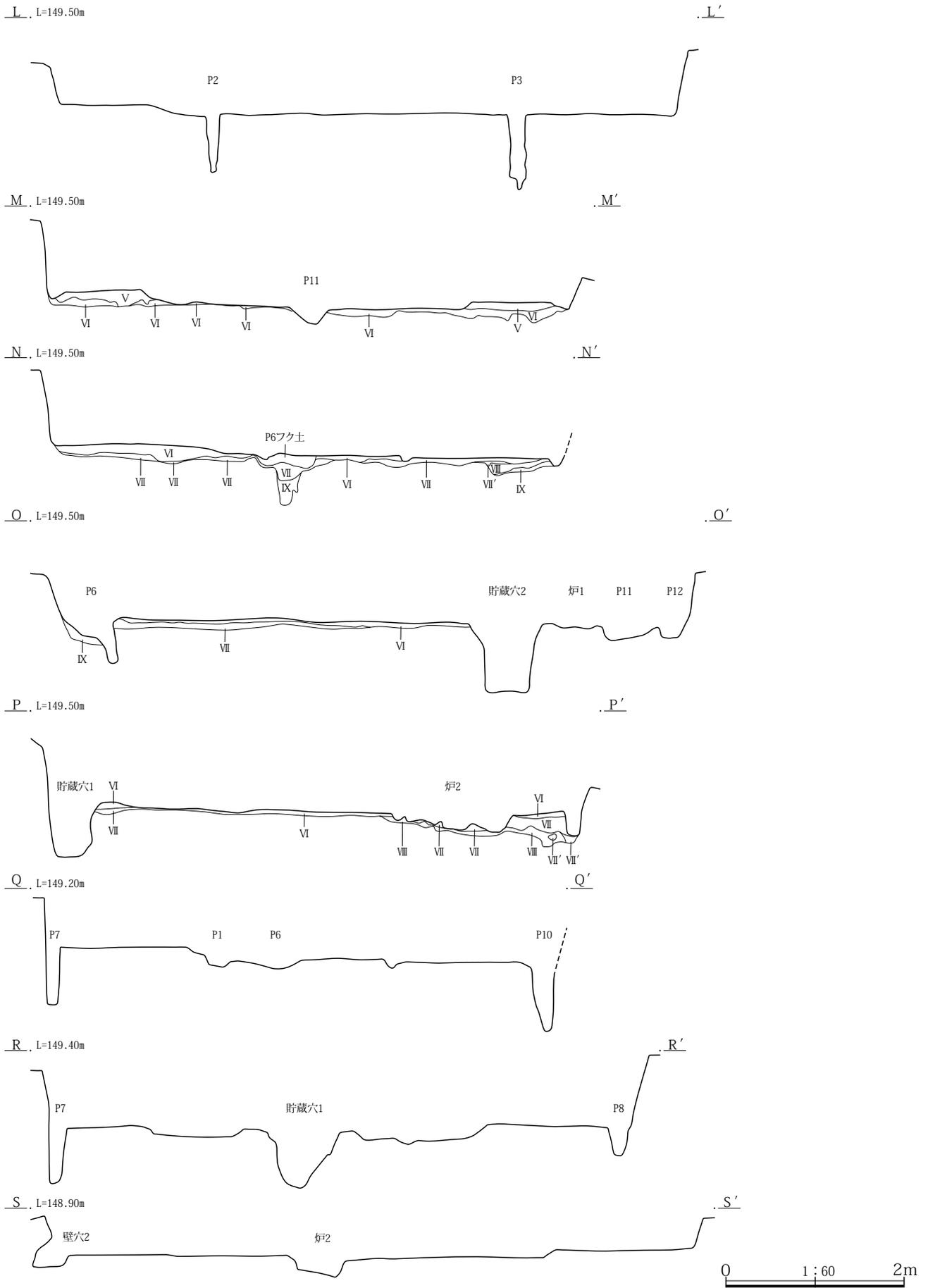
3号住居 貯蔵穴1 G-G'

- 1 褐色土(10YR4/6) ローム粒と径1～10mmのロームブロックが20%程度混入している。軟質土。
- 2 明黄褐色土(10YR6/6) 僅かにAs-BPを含む軟質土。粘性あり。

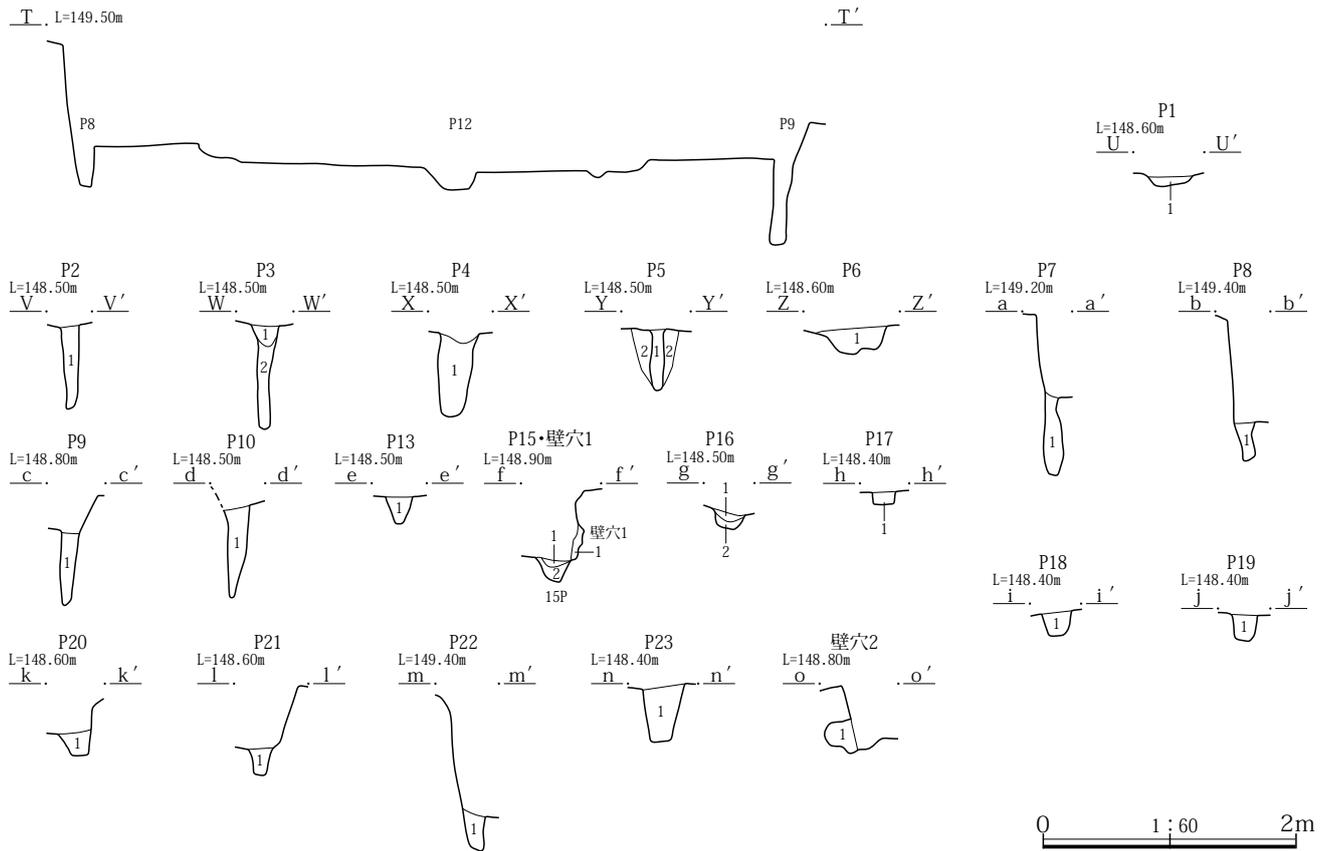
3号住居 貯蔵穴2 P11・12 H-H'

- 1 黒褐色土(10YR3/1) 径5mmのAs-BPと焼土粒、炭化物粒が混入する。締まりのある土。炬床に近い堆積土。
- 2 灰黄褐色土(10YR4/2) As-BPが40%程度含まれる。軟質土。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) 径10mm以下のAs-BPを2%程度含む。2～30mm径の炭化物と焼土粒が少量混入する締まりのある土。
- 4 黒褐色土(10YR2/3) 径5mmの焼土粒を僅か、径2～3mmの炭化物粒及び径5mmのAs-YPを2%程度混入する軟質土。(P11)
- 5 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 径30mmの焼土ブロックと径5mmの炭化物を少量含む軟質土。(P11)
- 6 褐色土(10YR4/4) 焼土粒と炭化物粒を僅かと径5mmのAs-BPを20%程度含む軟質土。(P12)
- 7 黄褐色土(10YR5/8) ロームブロックとAs-BP、白色粘土が少量混じる軟質土。(P12)

第157図 鳴上I遺跡A区3面 3号住居掘り方



第158図 鳴上 I 遺跡 A 区 3 面 3 号住居断面(1)



第159図 嶋上I遺跡A区3面 3号住居断面(2)

3号住居 P1 U-U'

1 褐色土(10YR4/4) 僅かにローム粒を含む。軟質土。

3号住居 P2・3 V-V'・W-W'

1 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 径5mm前後のAs-YPが3%程度含まれる。軟質土。

2 黄褐色土(10YR5/8) ローム粒と径5～20mmのロームブロックからなる軟質粘性土。

3号住居 P4・5 X-X'・Y-Y'

1 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 径5mm前後のAs-YPが3%程度含まれる。軟質土。底面付近には炭化物が混じる。

2 明黄褐色土(10YR7/6) 柱を埋めて押さえたロームブロックとローム粒及びAs-YPの混土层。

3号住居 P6 Z-Z'

1 暗褐色土(10YR3/4) 径50mm前後のロームブロックを30%と径5mm前後のAs-YPを50%程度、炭化物を少量含む軟質粘性土。

3号住居 P7 a-a'

1 暗褐色土(10YR3/3) 径5mmのロームブロック粒を少量含む。粘性土。

3号住居 P8 b-b'

1 暗褐色土(10YR3/3) As-BPを少量含む。軟質土。

3号住居 P9 c-c'

1 暗褐色土(10YR3/3) 径5mmのロームブロック粒を少量含む。粘質土。

3号住居 P10 d-d'

1 暗褐色土(10YR3/3) 僅かにローム粒を含む。軟質土。粘性あり。

3号住居 P13 e-e'

1 暗褐色土(10YR3/4) 径10～20mmのロームブロックと径5mmの

As-BP、径2～5mmの炭化物粒と焼土ブロックを含む軟質土。

3号住居 壁穴1・P15 f-f'

1 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒と径5～10mmのAs-BPを2～3%程度含む軟質土。

2 明黄褐色土(10YR6/6) ローム粒と径5mm前後のAs-BP及び黒褐色土が混入している。軟質土。

3号住居 P16 g-g'

1 黒褐色土(10YR3/1) 径5～10mmのAs-BPを3%程度と焼土粒と炭化物粒を少量含む軟質土。

2 褐色土(10YR4/4) 径2～20mmのロームブロックを3%程度含む軟質土。

3号住居 P17・18 h-h'・i-i'

1 黒褐色土(10YR2/2) ロームブロックを5%程度とAs-BPを少量含む。

3号住居 P19 j-j'

1 暗褐色土(10YR3/3) 径2～5mmのロームブロックを5%程度含む。粘質土。

3号住居 P20・21 k-k'・l-l'

1 黒褐色土(10YR2/2) ロームブロック、As-BPを少量含む。

3号住居 P22 m-m'

1 暗褐色土(10YR3/3) As-BPを少量含む。

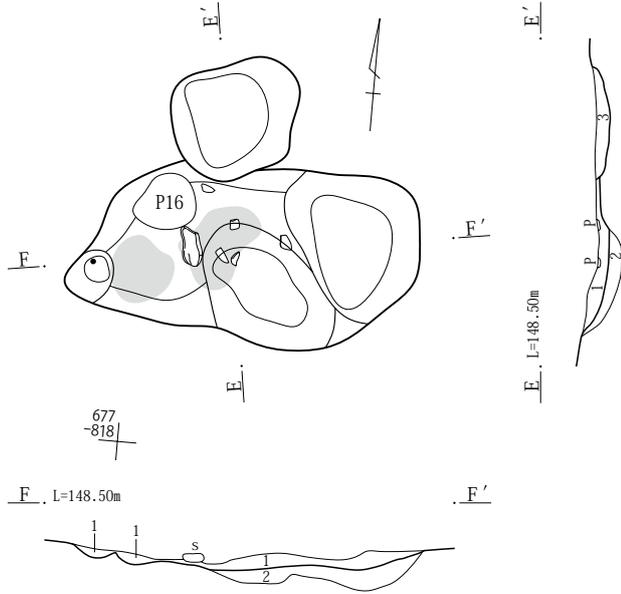
3号住居 P23 n-n'

1 暗褐色土(10YR3/4) ロームブロック、As-BP、炭化粒、焼土粒を少量含む。

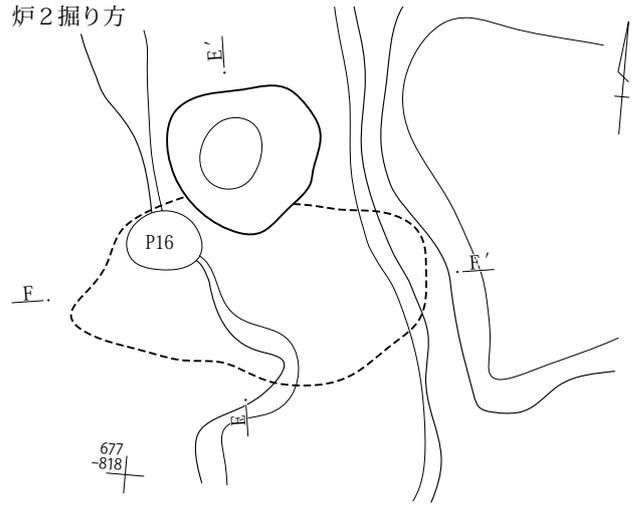
3号住居 壁穴2 o-o'

1 暗褐色土(10YR3/3) 径1～5mmのAs-BP含む。軟質土。

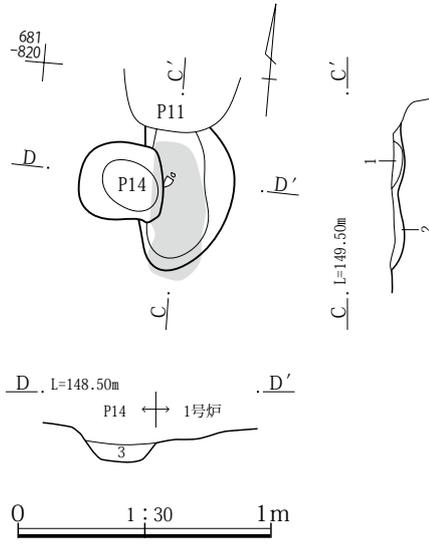
炉 2



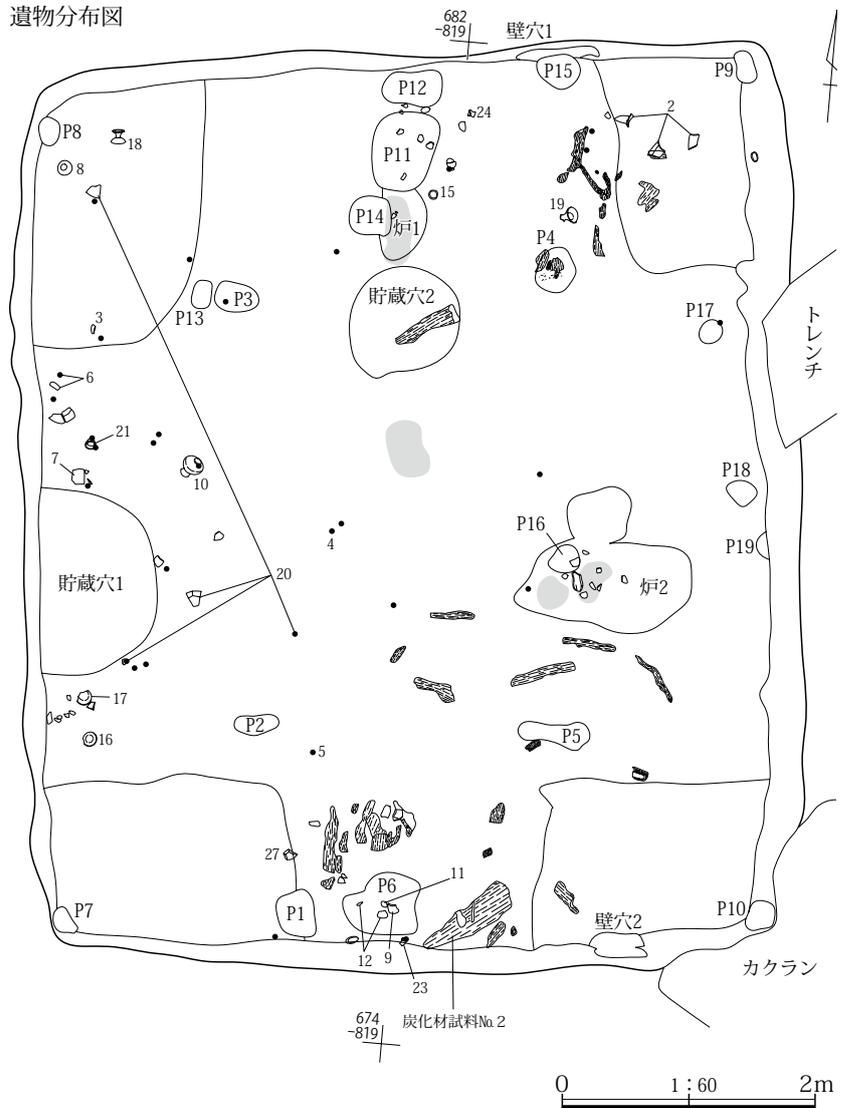
炉2掘り方



炉 1



遺物分布図



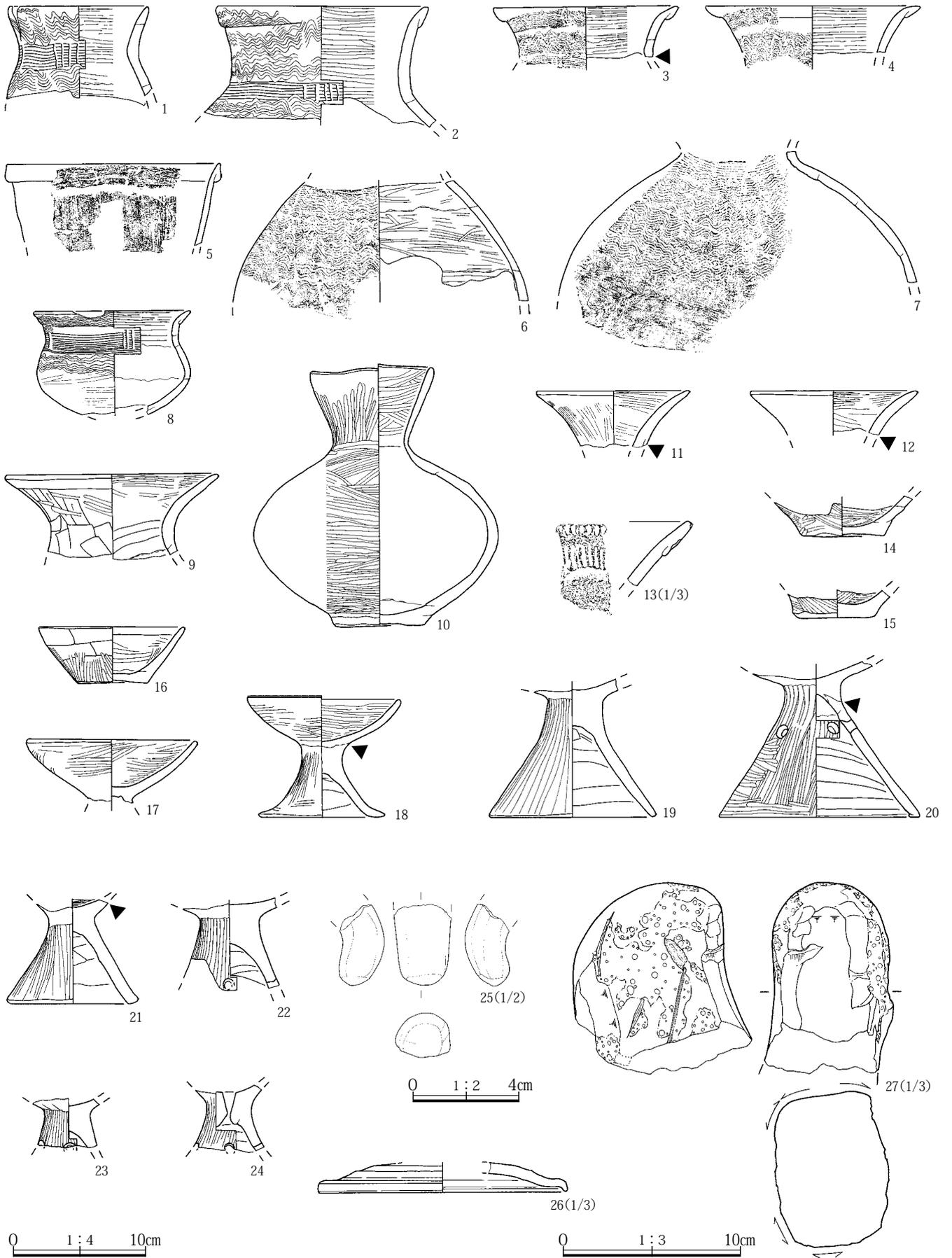
3号住居 炉1、P14 C-C'・D-D'

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 僅かに焼土、炭化物、As-BP 含む。縮まりのある土。
- 2 黒色土(10YR2/1) 炭化物が主であり、焼土粒が混じる。縮まりのある土。
- 3 褐色土(10YR4/6) 僅かに焼土粒と炭化物を含む軟質粘性土。(P14)

3号住居 炉2 E-E'・F-F'

- 1 黒褐色土(10YR2/3) 径1～50mmのロームブロックと径5～10mmのAs-YPを含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒と径3mmのロームブロックを10%程度含む。やや粘性のある軟質土。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒と径5mmのロームブロックを10%程度含む。粘性土。

第160図 鳴上 I 遺跡 A 区 3 面 3 号住居炉、遺物分布図



第161図 鳴上 I 遺跡 A 区 3 面 3 号住居出土遺物

4号住居(第162～166図 PL.58・59・84)

調査区西部の住居群内にある。住居の西部分が調査区域外にあり、全容は確認できない。

位置：650～656・-821～-826にある。

規模形状：主軸長(4.86)m、幅4.44mである。東辺、南辺は直線的である。北辺は外側に膨らみながら歪んでいる。全体としては、東西に長い長方形を呈していると推察される。埋没土・壁：黒褐色土及び暗褐色土が、壁側から埋没している。その後、黒褐色土、灰褐色軽石粒、にぶい黄褐色土、黒褐色土がレンズ状に埋没している。自然堆積であると思われる。壁高は0.11～0.86mである。方位：N-73°-W 面積：(16.57)m² 床面：北東方向へ僅かに傾斜している。高低差は3cm程である。床面は平坦である。北東隅及び南東隅にベッド状遺構の高まりが確認できる。北東隅ベッド状遺構の高まりは、南北172cm、東西258cm、高さ3～5cm程である。面積は4.05m²である。南東隅の高まりは、南北94cm、東西136cm、高さ3～12cm程である。面積は1.31m²である。いずれも長方形を呈している。ベッド状遺構の高まりは、ローム粒を主体とし黒色土が混ざる締まりのある黄褐色土で施設している。ベッド状遺構の下に構築前の床面が存在する。床面全体に炭化材が分布している。特に、東壁際に著しい。掘り方：ほぼ全面に広がり、埋没土は、ロームとAs-BPが主体であり、黒色土が少量混入した締まりの強い明黄褐色土である。表面に炭化物を多く含む黒色土を貼床として施している。掘り方の深さは、3～22cm程である。北部が浅く、南部ほど深い傾向にある。壁溝：認められない。ピット(柱穴)：25基を確認した。位置、規模及び深さより、P25・19・23が、規則的な主柱穴配置による柱穴であると思われる。調査区域外にはもう一つの柱穴があると思われる。P15・17は、出入口施設のための柱穴であると考えられる。さらに、P1・3・5・7・9・10・11・12・14は、位置、規模、埋没土より、壁柱穴であると思われる。P9・10を掘っていくと壁の中に入っていく。壁は固く焼け焼土化しているところがあり、炭化材がある。掘り方の壁際にP9・10の壁柱穴があり、木材の壁押さえがあった可能性がある。壁のみが固く床から下は軟質である。P4は、ベッド状遺構の一部が落ち込んでレンズ堆積している。P6の2層は、ベッド状遺構の西端部分が落ち込んでいる。P13は、

ベッド状遺構の上から床面を掘り抜いている。P4・6・13は、それぞれベッド状遺構構築と大きく関わっていると考えられる。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

		(長径×短径×深さcm)	
P 1	14×13×25	P 2	24×18×32
P 3	23×21×43	P 4	99×66×68
P 5	22×18×21	P 6	78×75×71
P 7	(28)×24×17	P 8	20×18×18
P 9	14×12×21	P 10	20×(18)×21
P 11	20×18×21	P 12	20×16×44
P 13	66×56×72	P 14	18×16×53
P 15	42×26×30	P 16	28×24×46
P 17	(62)×(37)×60	P 18	(40)×(26)×26
P 19	32×19×76	P 20	54×50×67
P 21	30×30×20	P 22	16×15×24
P 23	24×18×82	P 24	40×29×36
P 25	(20)×18×57		

主柱穴のP19・23は、黒褐色土と黄褐色土、にぶい黄褐色土等で埋没しており類似性が見られない。出入口施設のP15・17は、黒褐色土が共通するものの、P17はにぶい黄褐色土、黄褐色土等で埋没しており類似性がない。壁柱穴のP1・3・5・7・9・10・11・12・14は、暗褐色土、褐色土、黒褐色土等で埋没しており、As-YP、ロームブロック、白色軽石等混入物も共通している部分があり類似性が見られる。ベッド状遺構と関わりのあるP4・6・13は、明黄褐色土、暗褐色土、褐色土、黒色土、黒褐色土、黒色土等で層状に埋没しており類似性が認められる。

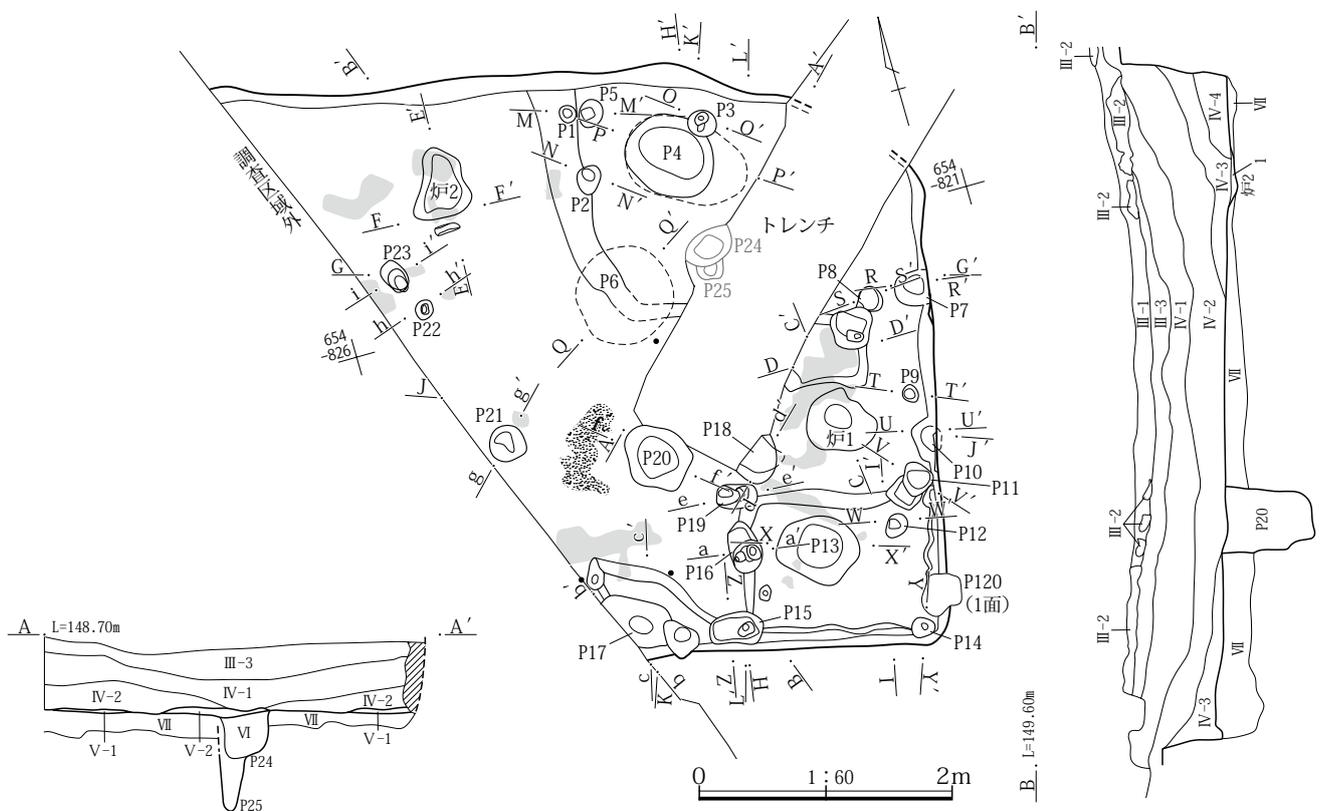
ベッド状遺構に関連した施設：P13として、南東部のベッド状遺構に掘り込みが確認できる。位置と規模より貯蔵穴とも推察できるが、明瞭でない。P13は、ベッド状遺構の上から床面を掘り抜いている。上部は締まっている。ベッド状遺構構築後に意図的に開設された施設であると推察される。P4として、北東部ベッド状遺構の下層に掘り込みが確認できる。位置と規模より床下土坑とも思われるが明瞭でない。P4は、ベッド状遺構を施設する段階では埋められており、ベッド状遺構使用段階で徐々に沈み込んでいる。上層はベッド状遺構使用時の床面である。P6として、中央やや北よりに掘り込みが確認さ

れた。P6は、ベッド状遺構を施設する段階では埋められており、ベッド状遺構使用段階で徐々に沈み込んでいる。ベッド状遺構構築の土が2層に落ち込んだものである。1層はベッド状遺構の床面であり締まっている。ベッド状遺構構築前にP4・6は意図的に廃絶されている。

貯蔵穴：認められない。 床下土坑：認められない。

炉：住居中央東部及び北西部に焼土を伴う窪みを確認する。位置、規模、埋没土などの様相から炉であると思われる。炉1は、北部の施設がローム粒、白色・赤褐色鉍物粒が混入する軟性の明黄褐色土で埋没しており、下層のロームが赤色に焼けて締まりが強い。南部の土坑状

の施設は、ロームブロックを含む軟性の暗褐色土で厚く埋没しており、表面には、炭化物を含む軟性の黒色土の後、焼土、炭化物を含む締まりのある暗褐色土が埋没している。枕石のある北部の施設で燃焼させ、南部の施設を補助的に使用していたと思われる。炉の規模は、長径(95)cm、短径(65)cm、北部深さ9cm、南部深さ36cm程である。炉の北部に細長い垂円礫の枕石が確認できた。長さ18cm、幅9cm、厚さ7cm程である。掘り方があり、ロームブロックを含み、焼土化している。炉2は、炭化物を多く含む暗褐色土で埋没している。強く焼けた枕石付近にロームブロックを多く確認する。焼土ブロックが斑に



4号住居A-A'・B-B'・G-G'・H-H'・I-I'・J-J'・K-K'・L-L'

III-1 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 径1~10mmのAs-Cが混入する。軟質土。

III-2 灰褐色軽石粒(10YR8/1) 径1~10mmのAs-Cである。軽石はよく発泡している物が多い。

III-3 黒褐色土(10YR3/2) As-Cと赤褐色土粒を少量含む。

IV-1 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒~径50mmのロームブロックを20%程度混入している。

IV-2 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒~径70mmのロームブロックを10%程度と径1~50mmの炭化物を少量含む。

IV-3 黒褐色土(10YR2/3) 炭化物粒を少量と径2mmのロームブロックを20%程度含む。

IV-4 黒褐色土(10YR2/3) 炭化物粒、ロームブロックを少量含む。

V-1 黒色土(10YR2/1) 炭化物を多く含む。貼床。

V-2 黄褐色土(10YR5/6) ロームの二次堆積土。

VI 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム粒と径5mmのロームブロック、炭化物粒、焼土粒を含む軟質土。(P24覆土)

VII 明黄褐色土(10YR6/6) ハードロームとAs-BPが主であり、黒色土が少量混じり硬く締まっている。掘り方覆土。

1 暗褐色土(10YR3/4) 炭化物を多く含む。(炉2)

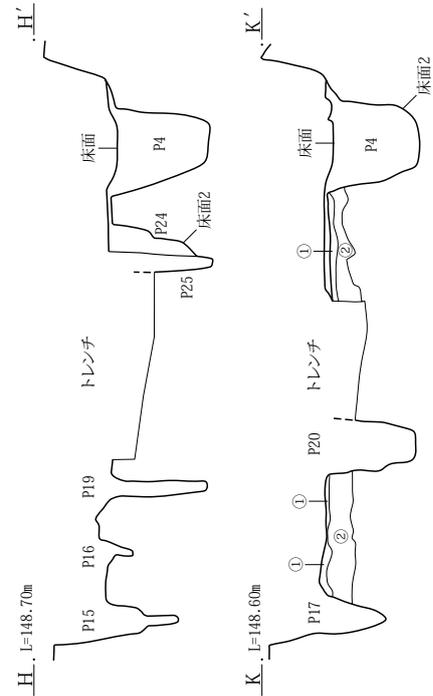
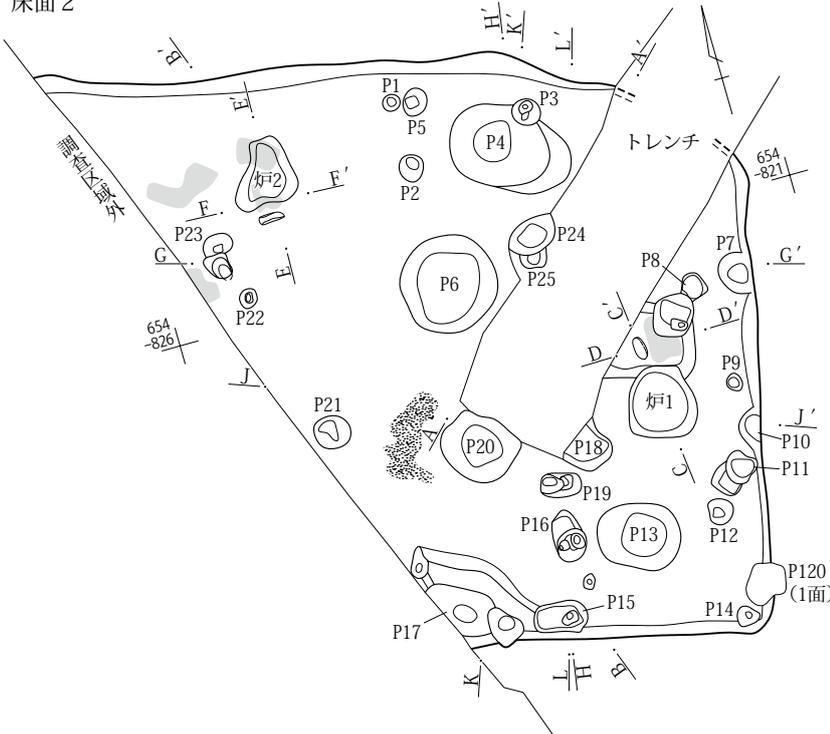
① 黄褐色土(10YR5/6) ローム粒を主体とし、黒色土が僅かに混じる締まりのある土。(ベッド状遺構高まり部分)

② 黒色土(10YR2/1) 僅かにローム粒を含む。貼床。

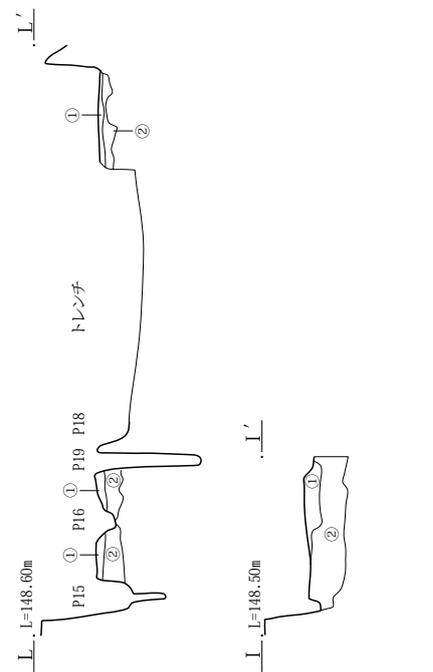
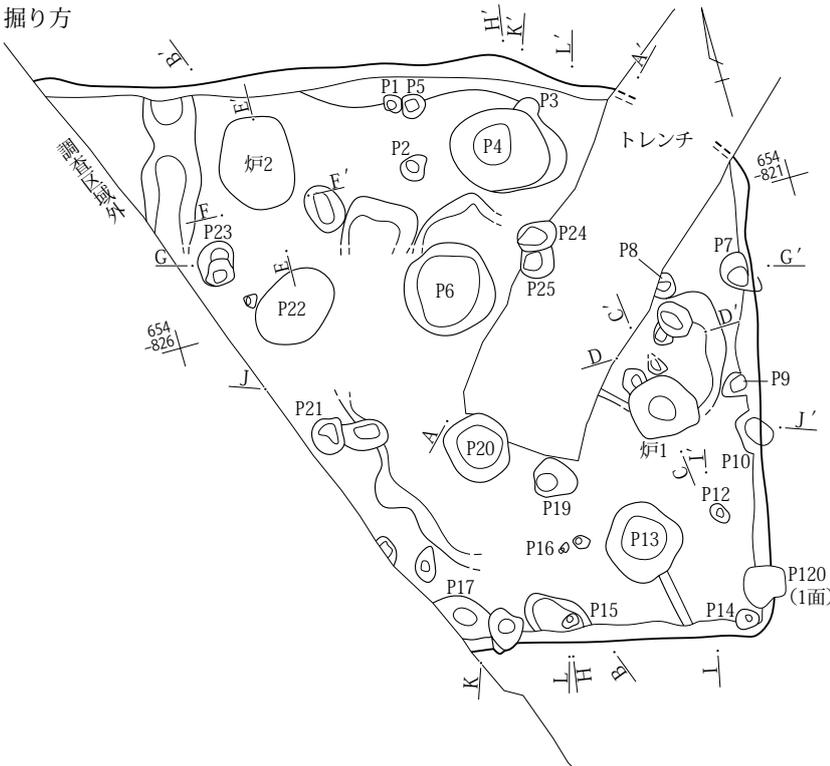
③ 黄褐色土(10YR5/6) 黒色土ブロックとロームブロックを多く含む。As-BPを混入する。床下、掘り方埋土。

第162図 鴨上I遺跡A区3面 4号住居

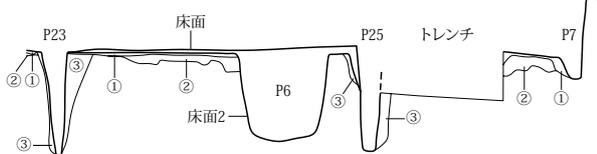
床面 2



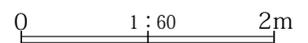
掘り方



G, L=148.60m

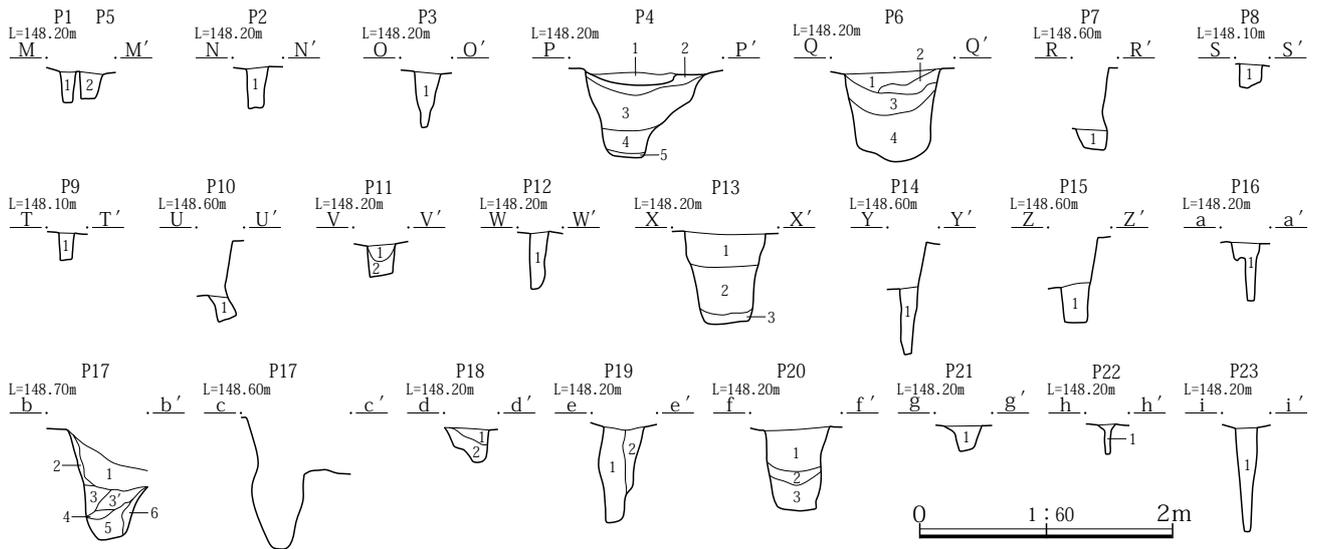


G', J, L=148.50m



第163図 鳴上 I 遺跡 A 区 3 面 4 号住居掘り方

第5章 縄文時代～弥生時代(3面)の遺構と遺物



4号住居 P1・5 M-M'

1 暗褐色土(10YR3/4) 径5mmのAs-YPとロームブロック、白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒を含むやや軟質土。(P1)

2 褐色土(10YR4/6) ローム粒を多く含む。軟質土。(P5)

4号住居 P2 N-N'

1 暗褐色土(10YR3/4)径5mmのAs-YPとロームブロック、白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒と僅かに炭化物を含む軟質土。

4号住居 P3 O-O'

1 暗褐色土(10YR3/4) 径5mmのAs-YPとロームブロック、白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒を含む軟質土。

4号住居 P4 P-P'

1 明黄褐色土(10YR6/8) ロームの二次利用。
2 明黄褐色土(10YR6/6) 黒色土とハードローム及びAs-BPが混じり硬く締まっている。1層がレンズ状に落ち込む際には2層があらわれる。

3 明黄褐色土(10YR7/6) ローム土を80%は埋め込んでおり、黒褐色土ブロックを含む締まりのある土。

4 暗褐色土(10YR3/4) 径5mm以下のロームブロックを20%程度含む軟質土。白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒を含む。やや軟質土。

5 褐色土(10YR4/6) ローム粒を多量に含む。軟質土。

4号住居 P6 Q-Q'

1 暗褐色土(10YR3/4) 径5～30mmのロームブロック、径2mm前後の白色鉱物粒、炭化物を少量含む。締まりのある土。

2 明黄褐色土(10YR6/8) ロームの二次利用。

3 黒色土(10YR2/1) 径5mm以下のAs-BPとロームブロックが20%程度混じっている。軟質土。

4 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒とロームブロックが多量に入った粘性土。

4号住居 P7・8 R-R'・S-S'

1 暗褐色土(10YR3/4) 径5mmのAs-YPとロームブロック、白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒を含むやや軟質土。

4号住居 P9 T-T'

1 黒褐色土(10YR3/2) 白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒を少量と径5mm以下のAs-YP及びロームブロックと炭化物を少量含む軟質土。

4号住居 P10 U-U'

1 黒褐色土(10YR3/1) 径5mm前後のAs-YPと白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒及び炭化物を少量含む。締まりあり。

4号住居 P11 V-V'

1 黒褐色土(10YR3/2) As-BPと白色鉱物粒を含む、上位に炭化物が入る。軟質土。

2 黄褐色土(10YR5/6) 径3mm以下のAs-BPを多量に含む。軟質土。

4号住居 P12 W-W'

1 黒褐色土(10YR3/1) 径5mm前後のAs-YPと白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒及び炭化物を少量含む。軟質土。

4号住居 P13 X-X'

1 黒褐色土(10YR3/1) 径5mmのAs-YPと径2～20mmのロームブロック、赤褐色鉱物粒を含む。締まり強い。

2 褐色土(10YR4/6) As-YPとロームブロック及びローム粒の混土層。軟質土。

3 黒色土(10YR2/1) ロームが混じる。

4号住居 P14 Y-Y'

1 暗褐色土(10YR4/4) 径2～5mmロームブロックとローム粒土50%を含む軟質土。

4号住居 P15 Z-Z'

1 黒褐色土(10YR3/1) 径2～50mmロームブロックとローム粒土25%、白色鉱物粒を含む。やや軟質土。中に小ピットがあり炭化物が入る。

4号住居 P16 a-a'

1 黒褐色土(10YR3/2) As-BPと白色鉱物粒を含む。上位に炭化物が入る。軟質土。ベッド状遺構の落ち際に位置する。

4号住居 P17 b-b'

1 黒褐色土(10YR2/3) 炭化物粒を少量と径2mmのロームブロック20%程度含む。

2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 径5mm以下のAs-YPをまばらに含む。強く締まりのある土。

3 黒褐色土(10YR3/2) 僅かに白色鉱物粒と径5mm前後のAs-YPを含む軟質土。

3' 黒褐色土(10YR3/2) 僅かに赤褐色鉱物粒とローム粒土を含む軟質土。

4 暗褐色土(10YR3/4) ロームブロックを50%程度含む。

5 黒褐色土(10YR2/3) ローム粒と径20mm以下のロームブロック含むやや粘性のある土。

6 黄褐色土(10YR7/8) ロームの流入土。軟質土。

4号住居 P18 d-d'

1 黒褐色土(10YR3/2) 白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒を少量と径5mm以下のAs-YP及び炭化物を含む軟質土。

2 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックを10%程度と白色鉱物粒、赤褐色鉱物粒を少量と径5mm以下のAs-YP及び炭化物を含む。締まりのある土。

4号住居 P19 e-e'

1 黒褐色土(10YR3/2) 白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒を少量と径2mmのAs-YPを含む軟質土。

2 黄褐色土(10YR4/6) ロームブロックとAs-YPを多量に含む。1層が2層を切っている。

4号住居 P20 f-f'

1 黒褐色土(10YR2/2) 径5mm前後のAs-YPとロームブロックを含む。白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒を少量含む軟質土。

2 黒色土(10YR1/7) 径5mm前後のAs-YPとロームブロック、白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒をごく少量含む締まりのある土。

3 黒色土(10YR2/1) 径5mm以下のAs-BPとロームブロックが20%程度混じっている。軟質土。

4号住居 P21・22 g-g'・h-h'

1 黒褐色土(10YR3/2) 白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒を少量と径5mm以下のAs-YP及びロームブロックを少量含む軟質土。

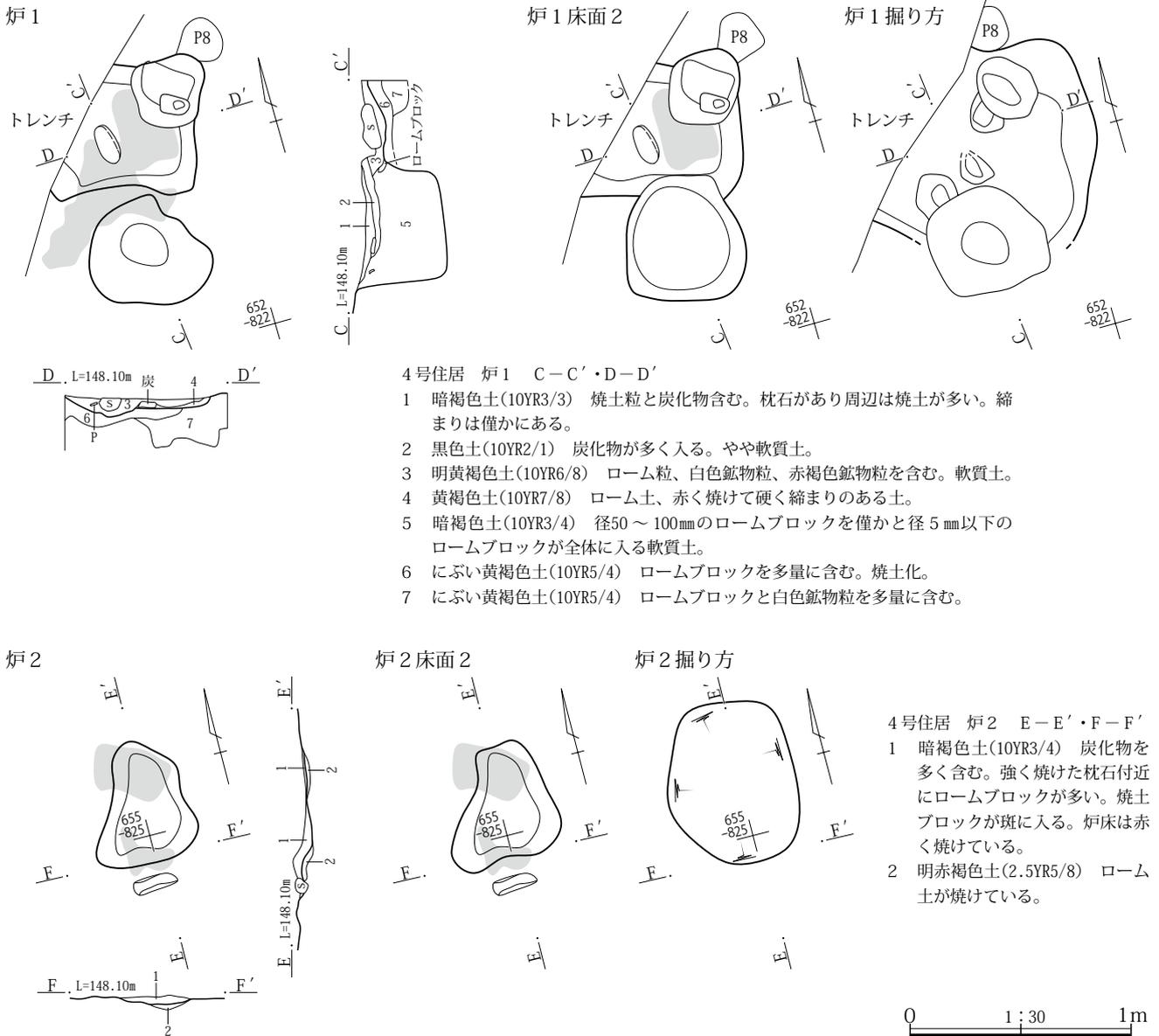
4号住居 P23 i-i'

1 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 軟質土。ピット上位の床面付近は焼土と炭化物を含む。

第164図 鳴上I遺跡A区3面 4号住居断面

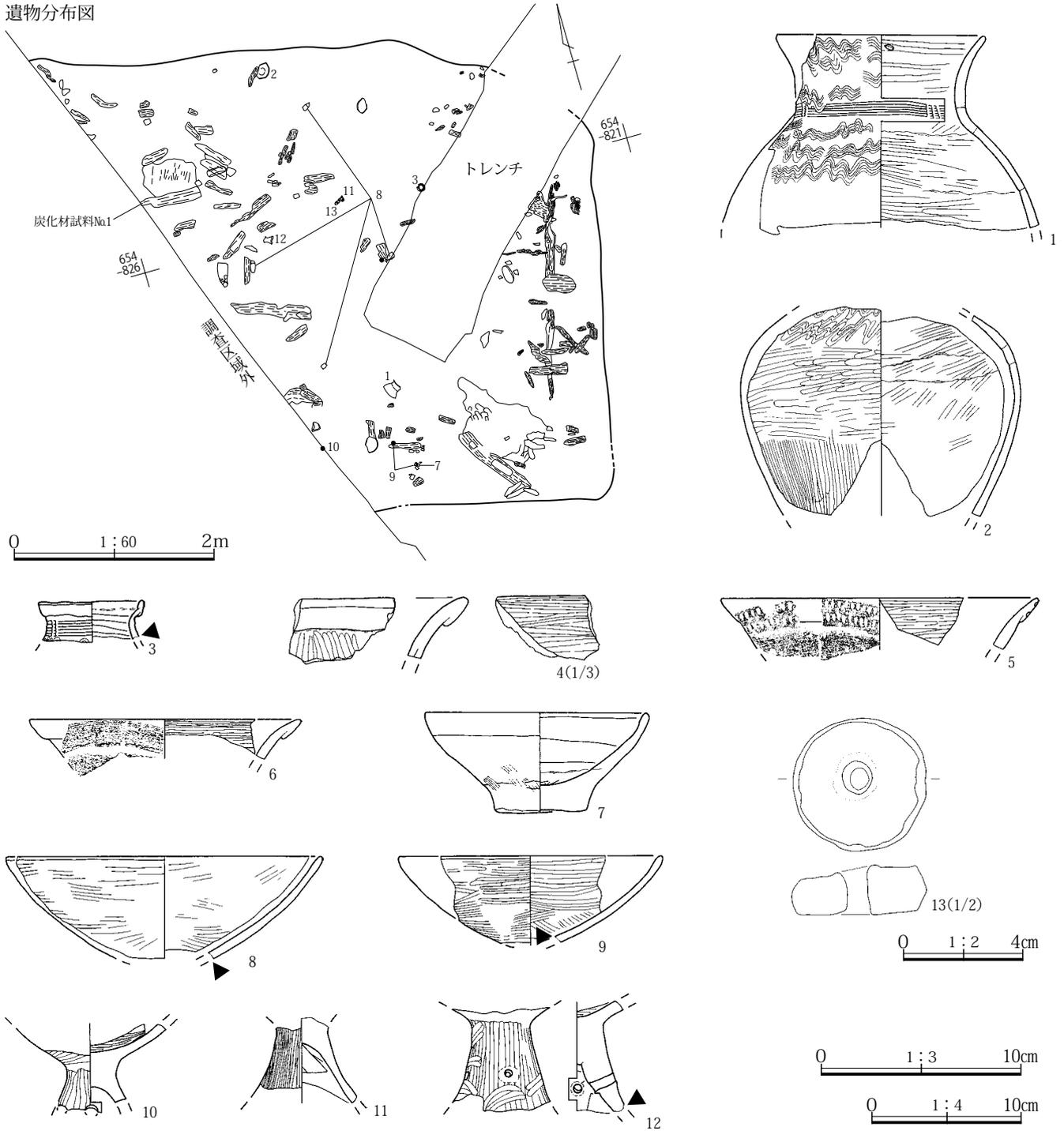
混入している。炉床は、ロームが焼けた明赤褐色土である。炉の規模は、長径75cm、短径39cm、深さ7cm程である。炉の南側に細長い亜円礫の枕石が確認できた。長さ20cm、幅7cm、厚さ6cm程である。掘り方があり、炭化物を含んでいる。 **重複遺構**：なし。 **遺物**：弥生土器13点(高杯5点、甕4点、壺2点、鉢1点、紡輪1点)を図示した。住居中央部に南北に、万遍なく遺物が出土した。甕(2)、高杯(8・9)は床直上からの出土であり、本住居に伴うものであると考える。甕(1)は床上6cm、鉢(7)は床上12cm、高杯(12)は床上19cm、高杯(10)は床上13cm、甕(3)はP24床上15cm、高杯(11)はP6床上20cm、紡輪(13)は

P6床上24cm浮いた位置からの出土であり、本住居に伴うものか明瞭でない。壺(4)は住居埋没土から、甕(6)は炉1埋没土から、壺(5)はP6埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。図示した以外に、弥生土器(弥生後期149片1666.1g、弥生中期後半以降1片6g)、縄文土器(阿玉台Ⅱ式1片33.6g、勝坂2式1片9.3g)、鉄製品1点が出土している。 **所見(帰属時期)**：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部及び胴部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。



第165図 嶋上 I 遺跡 A 区 3 面 4 号住居炉

遺物分布図



第166図 鳴上 I 遺跡 A 区 3 面 4 号住居出土遺物

(2) 遺構外出土の遺物

概要：鳴上 I 遺跡 A 区 3 面の調査中に、遺構に伴わない形で遺物を出土したが、図示するには至らなかった。出土した土器は、縄文土器(加曾利 E 3 式 1 片 13.2 g)、弥

生土器 5 片(41 g)であった。

所見：遺物は、表土、遺構確認面、及び埋没土から出土した。

4 鳴上 I 遺跡 B 区の遺構と遺物

鳴上 I 遺跡 B 区の 3 面に属する遺構は、住居 12 軒であった。12 軒の住居は傾斜に沿って互いに近接しており、集落を形成していたと考えられる。鳴上 I 遺跡 A 区にも同時期と思われる住居が検出されており、同じ集落内の住居であると思われる。遺構は、調査区中央部から東部にかけて帯状に分布しており、南東に傾斜している緩斜面上にある。本調査区においては、鳴上 I 遺跡 A 区と同様に良好な自然地形を有効に活用して、古代まで集落の形成が行われていた。人々の生活の痕跡は、中世以降も掘立柱建物や柱穴列等の遺構として検出されている。遺構の確認面及び埋没土は、As-C 軽石及びピロームブロックを含む黒褐色土、暗褐色土などの褐色土である。

(1) 住居

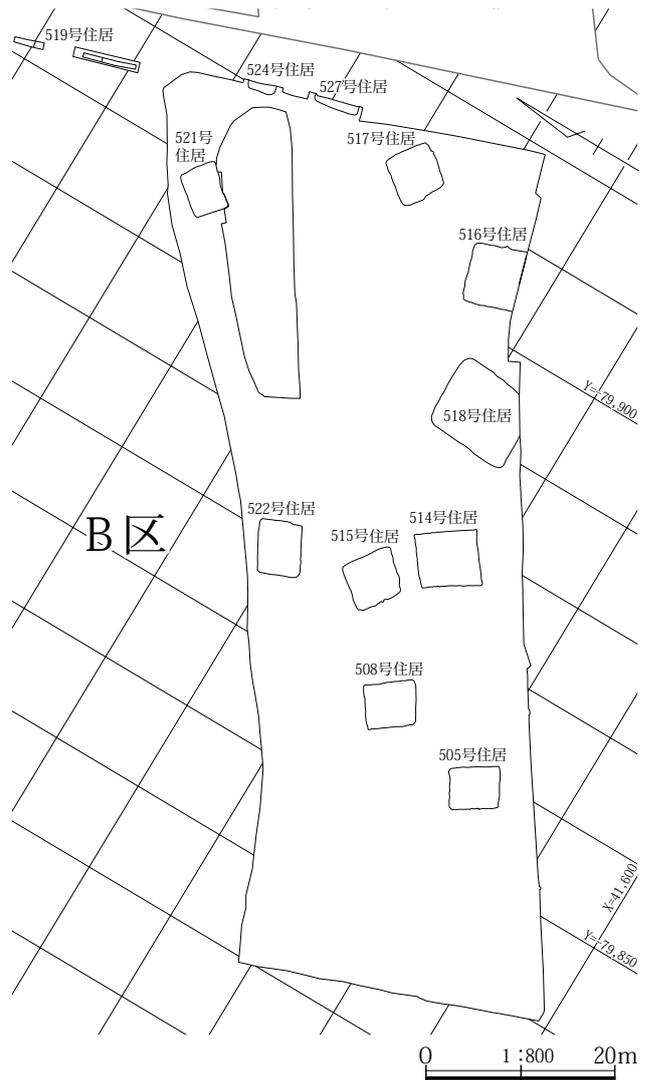
本調査区における住居群は、同時期の共通する特徴を有するものが多かった。住居の形状は、主に正方形に近い長方形であった。遺構面の削平が進んでいるものもあったが、残存状態の良好な住居も見られた。住居の南側に出入口をもつ傾向にあると考えられる。炉は住居の東と北の 2 か所に位置することが多く、枕石と思われる細長い楕円礫や土器片が差し込まれて構築されている傾向にあった。また、ベッド状遺構を伴う住居も検出された。1 軒につき 1～5 か所確認できた。竪穴住居の壁にはピットが絡むものが多く、壁には横穴状の掘り込みが確認された。また、炭化材が多く確認された。特に 518 号住居は大型で、炭化材の検出が顕著であった。特徴的な様相が多数認められた住居群である。

505号住居(第168～171図 PL.60・61・84)

調査区住居群の西にある。北壁を506号住居(2面)に、南壁を504号住居(2面)に壊されている。

位置：616～623・-888～-895にある。

規模形状：主軸長5.28m、幅4.46mである。各辺直線的である。南東隅のみやや鋭角に交わる。西辺に対して東辺が若干長い。全体としては、南北に長い整った長方形を呈している。埋没土・壁：褐色土が壁際から埋没し、その後、暗褐色土、黒褐色土が埋没している。壁側から埋もれており、自然堆積と思われる。壁高は0.13～



第167図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 全体図

0.44mある。方位：N-32°-W 面積：20.61㎡ 床面：住居隅のベッド状遺構の高まりは確認できなかった。南に傾斜している。高低差は10cm程と大きい。緩やかな起伏を伴う。住居中央から西寄り及び南部に炭化材が散見できる。中央部には焼土が見られる。南壁には、出入口施設があったと思われる。掘り方：調査したほぼ全面に掘り方が認められる。深さは2～18cm程である。中央部が浅く、北西部と南西部がやや深い。埋没土は、黄褐色土である。黒褐色土を少量含み、締まりがある。貼床である。壁溝：北壁の東寄りの一部及び東壁から南

壁にかけて確認できる。北壁のものは、褐色土で埋没しており、ロームブロックを少量含む。住居埋没土に準ずる。幅6～11cm、深さ2cm程である。東壁のものは、暗褐色土で埋没しており、ロームブロックを少量含む。幅5～17cm、深さ8cm程である。南壁にかけてのものは、幅6～10cm程、深さ及び埋没土は不明である。 **ピット(柱穴)**：19基を確認した。位置、規模及び深さより、P1・2・3・4が、規則的な支柱穴配置による柱穴であると思われる。さらに、P5・6・7・8・9・10・11・14・15・19は、位置、規模、埋没土より、壁柱穴であると思われる。P12・13は、出入口施設に関するものであると思われる。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

(長径×短径×深さcm)

P 1	40×34×70	P 2	34×27×68
P 3	64×58×104	P 4	44×30×54
P 5	21×12×20	P 6	16×14×34
P 7	17×16×22	P 8	36×23×38
P 9	34×33×48	P10	16×16×18
P11	38×36×50	P12	22×20×17
P13	32×25×18	P14	(44)×41×18
P15	16×14×19	P16	20×18×17
P17	23×22×25	P18	30×(12)×8
P19	22×18×36		

支柱穴のP1・2・3・4は、黒褐色土、黒色土、暗褐色土、褐色土で埋没しておりローム粒子の混入など共通するところがある。壁柱穴のP5・6・7・8・9・10・11・14・15・19は、灰黄褐色土、暗褐色土、黒褐色土、にぶい黄褐色土等で埋没しており類似性は認められない。出入口施設のP12・13は、埋没土及び混入物ともに共通しており、同時期の埋没であると思われる。

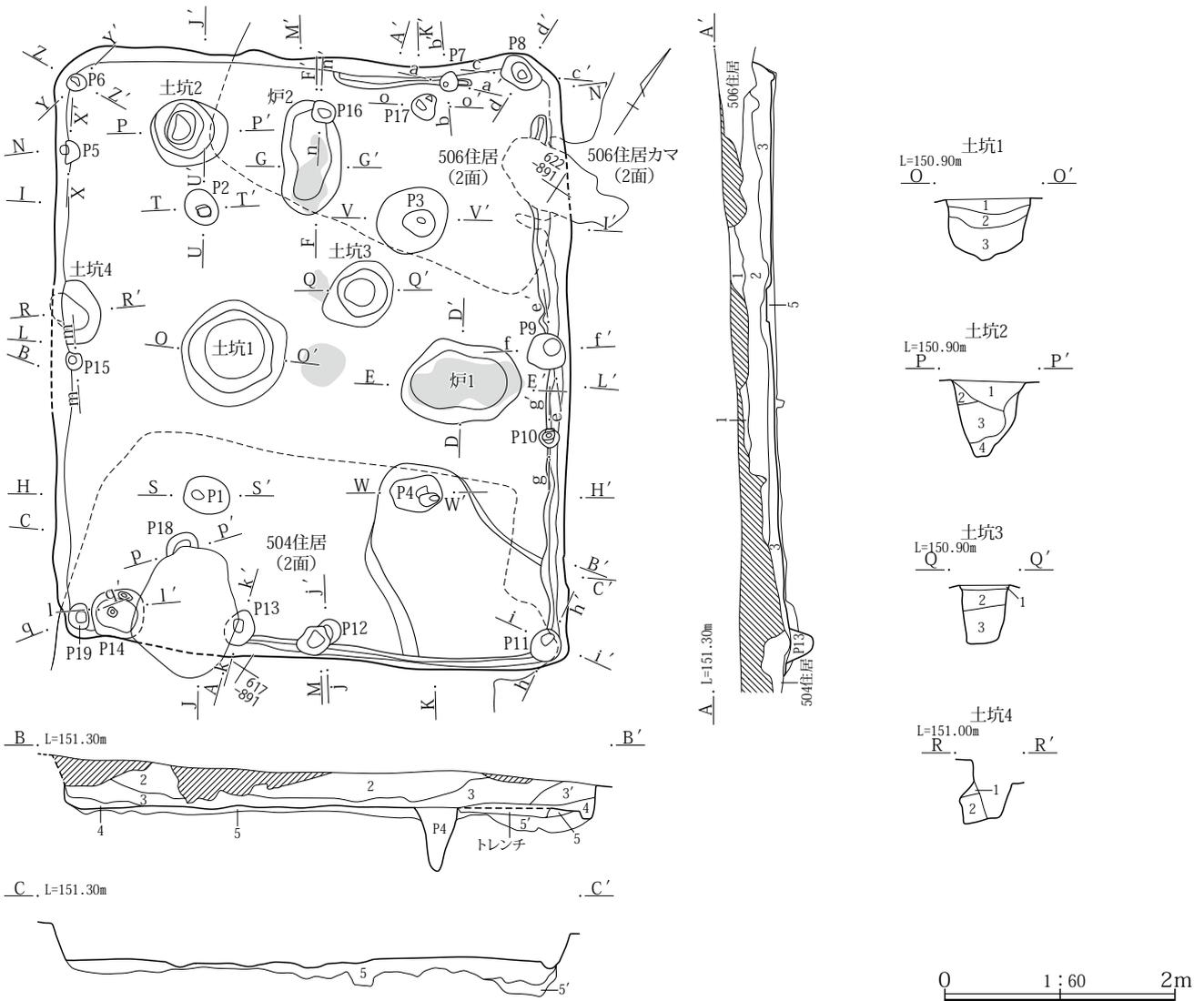
貯蔵穴：認められない。 **土坑**：土坑を4基確認した。各土坑の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

(長径×短径×深さcm)

土坑1	：73×72×53	土坑2	：68×58×66
土坑3	：44×40×51	土坑4	：55×33×36

埋没土は、暗褐色土、にぶい黄褐色土、褐色土であり、類似性はない。混入物は、ロームブロック及びローム粒子、炭化物、黄白色軽石など、若干共通するものもある。同時期の埋没であるか明瞭でない。

炉：炉1は、住居中央東側に位置する。燃焼部に焼土が堆積している。土器片が確認される。埋没土は、褐色土である。ローム粒子を少量含み、締まりがある。掘り方は、全面に確認できる。埋没土は、黄褐色土で貼床をした後、赤褐色土の焼土が埋没している。深さは9cm前後である。炉の規模は、長径105cm、短径70cm、深さ8cmである。炉2は、住居中央北側に位置する。燃焼部には焼土を観察する。埋没土は、褐色土である。ローム粒子を少量に含み、締まりがある。掘り方は、全面に確認できる。埋没土は、黄褐色土で貼床をした後、赤褐色土の焼土で埋没している。深さは、3cm前後である。炉の規模は、長径101cm、短径49cm、深さ6cmである。 **重複遺構**：504・506号住居(2面)より古い。 **遺物**：弥生土器9点(高杯2点、甕3点、小型台付甕1点、壺3点)、須恵器4点(杯2点、鉢1点、長頸壺1点)を図示した。住居中央部東西に、遺物が散見されるように出土した。小型台付甕(4)、甕(2)は床直上から、甕(1)は炉1床直上からの出土であり、本住居に伴うものであると考える。壺(5)は床上8～23cm、壺(6)は床上27cm、壺(7)は床上21cm、甕(3)は床上10cm、高杯(8)は床上14cm、高杯(9)はP9床上44cm浮いた位置からの出土であり、本住居に伴うものか明瞭でない。また、図示した須恵器、杯(10・11)、鉢(12)、長頸壺(13)は埋没土から出土した。いずれも9世紀後半のものであり、上層からの混入であると思われる。図示した以外に、弥生土器(弥生後期土器片1465.7g)、及び上層からの混入である須恵器(杯類5片)が出土している。 **所見(帰属時期)**：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部及び胴部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。



505号住居 A-A'・B-B'・C-C'

- 1 黒褐色土(10YR2/3) As-C軽石をブロックで含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒子含まない。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 3 褐色土(10YR4/6) ローム粒子少量(5~10%)含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 3' 褐色土(10YR4/6) ロームブロック少量(5~10%)含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 4 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒子、ロームブロック少量(5~10%)含む。締まりあまりなく、粘性ややあり。
- 5 黄褐色土(10YR5/6) 黒褐色土を少量(5~10%)含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 5' 褐色土(10YR4/4) 黒褐色土を大量(30~50%)に含む。締まりややあり、粘性あまりなし。(東側貼床にみられる色調暗い土層)

505号住居 土坑1 O-O'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 1cm大の炭片、黄白色軽石を若干(1~3%)含む。焼土ブロックを塊で含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR5/4) ロームブロック及びローム粒子溶け込み大量(30~50%)に含む。締まり、粘性ともにあまりなし。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) ロームブロック少量(5~10%)含む。均質土。締まり、粘性あまりなし。

505号住居 土坑2 P-P'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 黄白色軽石を多量(15~25%)に含み、不均質。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 2 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒子の溶け込み若干(1~3%)含む。締まり欠き、粘性あまりなし。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒子溶け込み多量(15~25%)に含み、黄白色軽石を若干(1~3%)含む。締まり欠き、粘性あまりなし。
- 4 にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム粒子溶け込み大量(30~50%)に含む。地山ロームの崩落か? 締まり欠き、粘性あまりなし。

505号住居 土坑3 Q-Q'

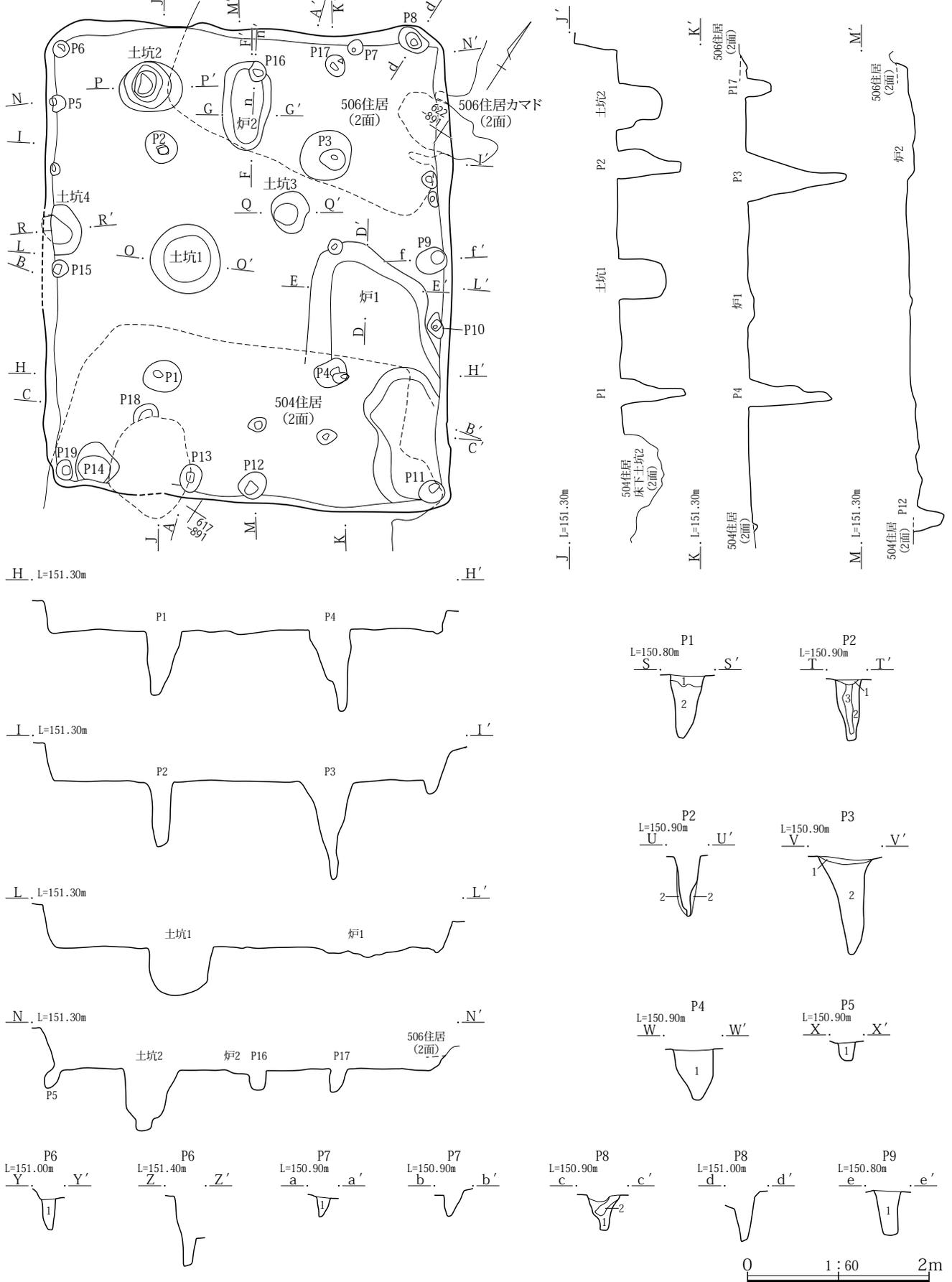
- 1 暗褐色土(10YR3/4) 1cm大の炭を若干(1~3%)含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締まり粘性ともにあまりなし。
- 3 にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム溶け込み多量(15~25%)に含む。締まり粘性ともにあまりなし。

505号住居 土坑4 R-R'

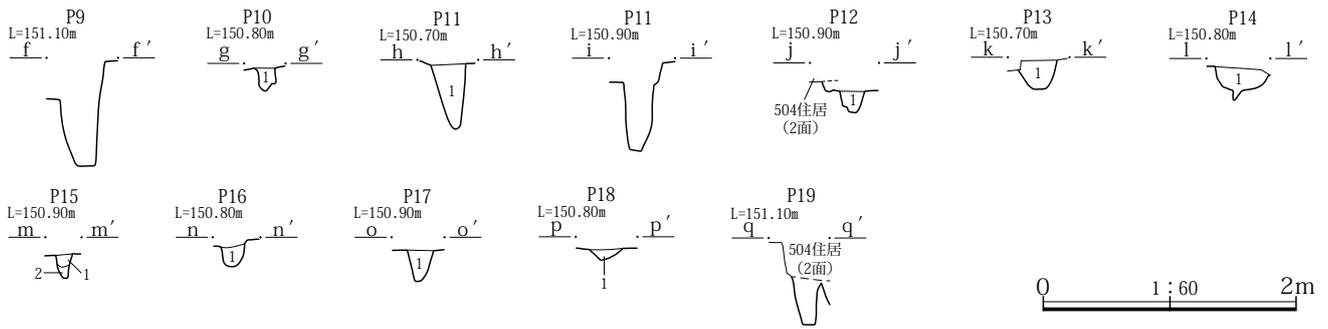
- 1 褐灰色土(10YR4/1) As-YP軽石若干(1~3%)含む。締まりあまりなく、粘性ややあり。
- 2 褐色土(10YR4/4) ローム溶け込み大量(30~50%)に含む。締まりあまりなく、粘性ややあり。

第168図 嶋上 I 遺跡 B 区 3 面 505号住居

掘り方



第169図 鳴上I遺跡B区3面 505号住居掘り方、断面(1)



505号住居 P 1 S-S'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 1 cm大の炭片、黄白色軽石を若干(1~3%)含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 2 褐色土(10YR4/4) ローム粒子溶け込み多量(15~25%)含む。締まり粘性ともにあまりなし。

505号住居 P 2 T-T'・U-U'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 1 cm大の炭片、黄白色軽石を若干(1~3%)含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 2 褐色土(10YR4/4) ローム粒子溶け込み多量(15~25%)含む。締まり、粘性ともにあまりなし。
- 3 黒色土(10YR2/1) 締まり欠き粘性あまりなし。(柱痕と考えられる。)

505号住居 P 3 V-V'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒子溶け込み大量(30~50%)に含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 2 褐色土(10YR4/4) 黄白色軽石を若干(1~3%)含む。締まり欠き、粘性ややあり。

505号住居 P 4 W-W'

- 1 褐色土(10YR4/4) ローム粒子溶け込み大量(30~50%)含む均質。締まり欠き、粘性あまりなし。

505号住居 P 5 X-X'

- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) 黄白色軽石を少量(5~10%)含む。締まり粘性ともにあまりなし。

505号住居 P 6 Y-Y'

- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) 黄白色軽石を僅かに含む。締まり粘性ともにあまりなし。

505号住居 P 7・9・10 a-a'・e-e'・g-g'

- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム粒子の溶け込み若干(1~3%)含む。締まり粘性ともにあまりなし。

505号住居 P 8 c-c'

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 締まり、粘性ともにあまりなし。
- 2 灰黄褐色土(10YR6/8) 地山崩落ブロック。

505号住居 P 11 h-h'

- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) ロームブロック少量(5~10%)含む。締まり粘性ともにあまりなし。

505号住居 P 12 j-j'

- 1 黒褐色土(10YR3/1) ロームブロック少量(5~10%)含む。締まり粘性ともにあまりなし。

505号住居 P 13 k-k'

- 1 黒色土(10YR2/1) ロームブロック若干(1~3%)含む。締まり粘性ともにあまりなし。

505号住居 P 14・16 l-l'・n-n'

- 1 黒褐色土(10YR3/1) 1 cm大の炭、軽石若干(1~3%)含む。締まりややあり、粘性あまりなし。

505号住居 P 15 m-m'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 締まりややあり、粘性あまりなし。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム粒子溶け込み少量(5~10%)含む。締まり粘性ともにあまりなし。

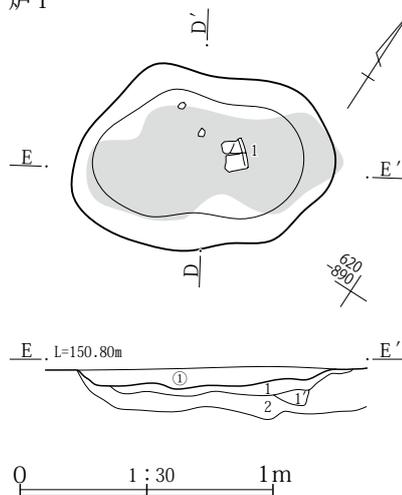
505号住居 P 17 o-o'

- 1 黒褐色土(10YR3/1) ロームブロック僅かに含む。締まり粘性ともにあまりなし。

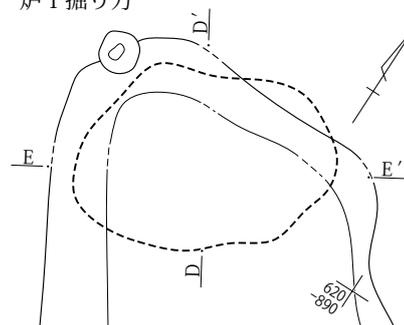
505号住居 P 18 p-p'

- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) ロームブロック少量(5~10%)含む。締まり粘性ともにあまりなし。

炉 1



炉 1 掘り方



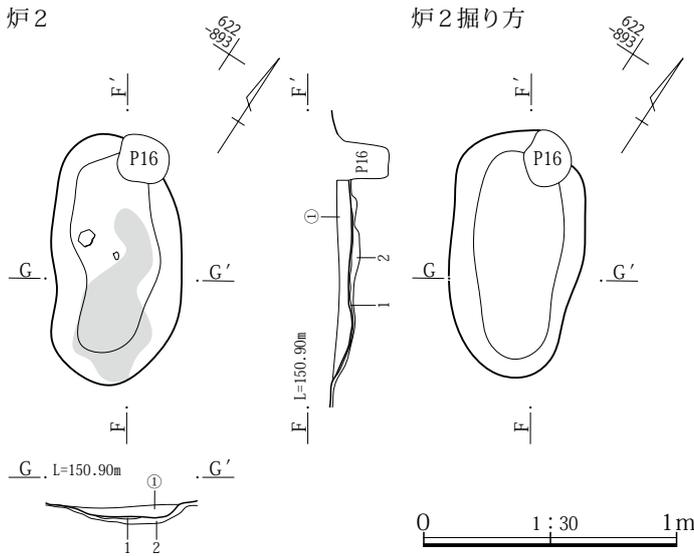
505号住居 炉 1 D-D'・E-E'

- ① 褐色土(10YR4/6) ローム粒子少量(5~10%)含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 1 赤褐色土(2.5YR4/6) 締まりややあり、粘性あまりなし。良好な焼土。
- 1' 赤褐色土(2.5YR4/6) 締まり欠き、粘性あまりなく土層乱れる。樹痕か?
- 2 黄褐色土(10YR5/6) 不均質なローム貼床。締まり粘性ともにあまりなし。

第170図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 505号住居断面(2)、炉(1)

炉2

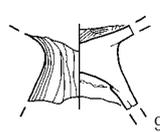
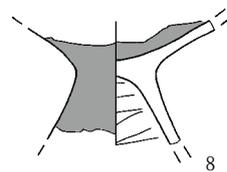
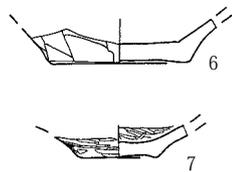
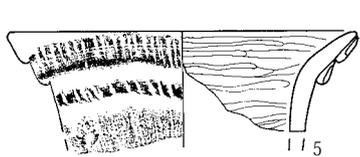
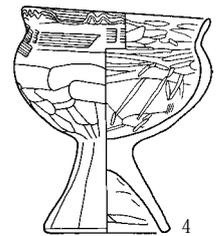
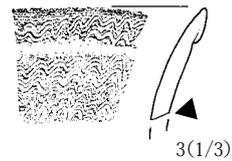
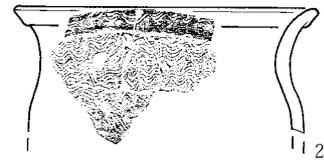
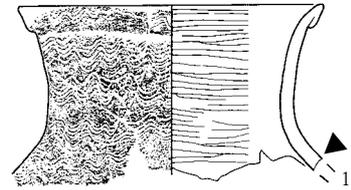
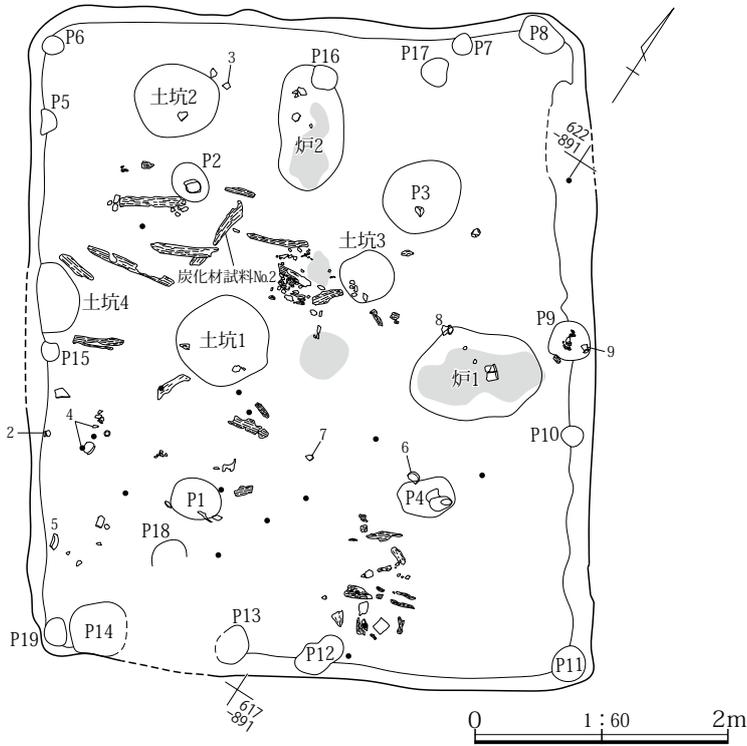
炉2掘り方



505号住居 炉2 F-F'・G-G'

- ① 褐色土(10YR4/6) ローム粒子少量(5~10%)含む。縮まりややあり、粘性あまりなし。
- 1 赤褐色土(2.5YR4/6) やや不均質な焼土を含む。縮まりややあり、粘性あまりなし。
- 2 黄褐色土(10YR5/6) 縮まり粘性ともにあまりなし。白色軽石含む不均質なローム貼床。

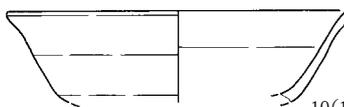
遺物分布図



0 1:4 10cm



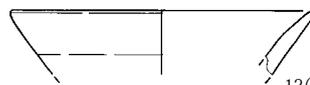
13(1/3)



10(1/3)



11(1/3)



12(1/3)

0 1:3 10cm

第171図 鳴上I遺跡B区3面 505号住居炉(2)、出土遺物

508号住居(第172～176図 PL.61・62・84・85)

調査区住居群の西にある。使用面の残存状態は良好である。

位置：628～635・-886～-892にある。

規模形状：主軸長5.40m、幅4.80mである。各辺共に直線的である。南東隅のみ鋭角に交わっている。西辺に対して東辺が若干長い。全体としては、南北に長い整った長方形を呈している。505号住居と規模形状が類似している。埋没土・壁：にぶい黄褐色土が壁際から流れ込み、その後、にぶい黄褐色土及び暗褐色土がレンズ状に埋没している。壁側から埋もれており、自然堆積と思われる。壁高は0.05～0.58mである。方位：N-35°-W

面積：20.96㎡ 床面：南東方向にやや傾斜している。高低差は3cm程で、起伏はなく平坦である。北西隅及び南東隅にベッド状遺構の高まりが確認できる。北西隅のベッド状遺構の高まりは、南北156cm、東西80cm、高さ10～12cm程である。面積は1.57㎡である。南東隅のベッド状遺構の高まりは、南北46cm、東西160cm、高さ6～10cm程である。面積は1.76㎡である。いずれも長方形を呈している。住居北寄りを中心に炭化物が散見できる。掘り方：ほぼ全面に認められる。東部及び南部がやや層が厚い。埋没土は、黄褐色土であり、締まりがある。黄白色軽石及び黒褐色土を含む。深さは4～18cm前後である。壁溝：各壁際に確認でき、ほぼ全周している。各壁溝の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

(幅×深さcm)

北壁の壁溝：4～12×9 東壁の壁溝：6～16×12

南壁の壁溝：8～18×12 西壁の壁溝：6～12×3

壁溝は、共通して黄褐色土で埋没している。住居埋没土に準じている。ピット(柱穴)：29基を確認した。位置、規模及び深さより、P21・22・23・24が、規則的な主柱穴配置による柱穴であると思われる。P1・2・3・4・5・6・10・11・12・13・15・16・17・18は、位置、規模、埋没土より、壁柱穴であると思われる。P19・20は出入口施設に関わるものであると思われる。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

(長径×短径×深さcm)

P1 20×16×22 P2 30×20×94

P3 34×26×34 P4 17×15×52

P5 (24)×20×21 P6 26×21×48

P10 26×18×26 P11 28×18×44

P12 23×18×19 P13 28×23×64

P15 26×25×78 P16 29×26×20

P17 (29)×22×28 P18 30×28×70

P19 42×33×18 P20 36×33×12

P21 52×52×56 P22 36×34×32

P23 38×34×46 P24 45×41×26

P25 30×20×32 P26 38×38×47

P27 32×26×35 P28 36×28×35

P29 31×28×12 P30 (56)×41×90

P31 41×(37)×48 P32 40×40×32

P33 30×22×61

主柱穴のP21・22・23・24は、にぶい黄褐色土、黒褐色土で埋没しており、ロームブロックが混入していることから共通性があり、同時期の埋没の可能性がある。壁柱穴のP1・2・3・4・5・6・10・11・12・13・15・16・17・18は、にぶい黄褐色土、褐色土、黒褐色土で埋没しており、混入物も様々であり、類似性が見られない。同時期の埋没であるか明瞭でない。出入口施設のP19・20は、黒褐色土で埋没しており、ロームブロックが混入していることから共通性が多く、同時期の埋没であると思われる。貯蔵穴：南西隅に窪みが確認され、位置と規模より貯蔵穴と思われる。埋没土は、粘性のある暗褐色土及び粘性があり炭化粒を少量含む均質の黒褐色土である。長径64cm、短径48cm、深さ48cmである。土坑：中央北側に3基、中央南東部に1基、土坑を確認した。土坑4の下層は、黄褐色土で埋没しており、かつては柱穴として使用されていた可能性がある。各土坑の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

(長径×短径×深さcm)

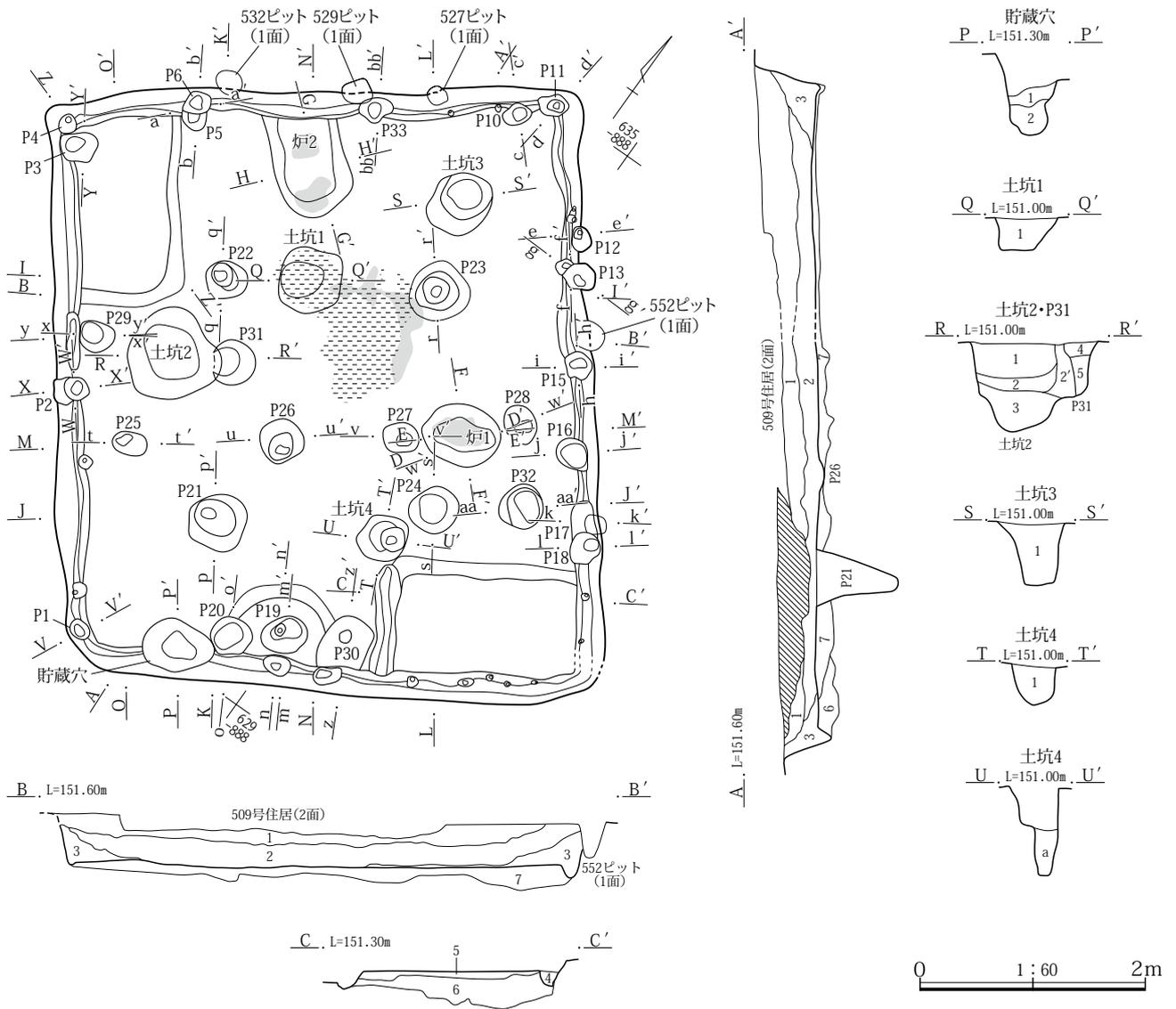
土坑1：60×54×28 土坑2：84×82×80

土坑3：62×52×55 土坑4：46×42×36

おおそ黒褐色土で埋没している。ロームブロック等混入物にも共通性が見られる。同時期の埋没の可能性が高いと考える。

炉：住居北部中央部分及び住居中央部東寄りに炉を2基確認した。双方共に燃焼部に焼土が堆積していた。炉1は、褐灰色土で埋没しており、焼土ブロックを含む赤褐色土が部分的に散見できる。中央に土器片が確認できる。長径69cm、短径55cm、深さ5cmである。炉2は、黄

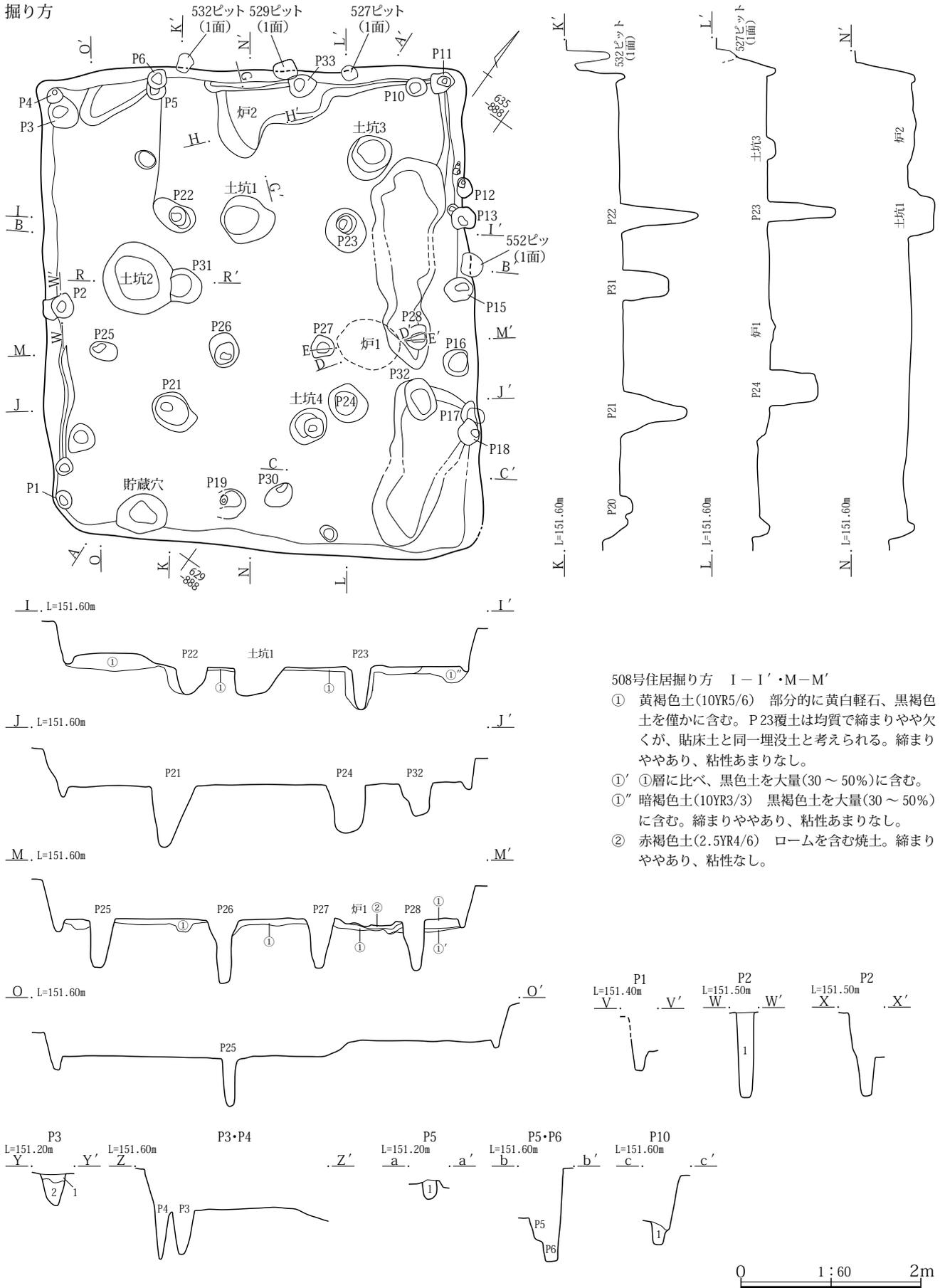
第5章 縄文時代～弥生時代(3面)の遺構と遺物



- 508号住居 A-A'・B-B'・C-C'
- 1 暗褐色土(10YR3/3)ロームブロック若干(1~3%)含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
 - 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム粒子溶け込み若干、ロームブロック少量(5~10%)を含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
 - 3 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 2層よりも色調暗く、ロームブロックごく少量含む。締まり、粘性ともにあまりなし。
 - 4 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック若干(1~3%)含む。締まり、粘性ともにあまりなし。(周溝覆土)
 - 5 黄褐色土(10YR5/6) 黒褐色土を僅かに含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
 - 6 暗褐色土(10YR3/3) 黒褐色土を大量(30~50%)を含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
 - 7 黄褐色土(10YR5/6) 部分的に黄白軽石、黒褐色土を僅かに含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 508号住居 貯蔵穴 P-P'
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 炭化粒若干(1~3%)含み、均質。締まりなく、粘性ややあり。
 - 2 暗褐色土(10YR3/3) 締まりなく、粘性ややあり。
- 508号住居 土坑1 Q-Q'
- 1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック不均質に少量(5~10%)含

- 508号住居 土坑2・P31 R-R'
- 1 黒褐色土(10YR3/1) 均質土。締まり、粘性ともにあまりなし。
 - 2 明黄褐色土(10YR6/8) ローム粒子溶け込み大量(30~50%)に含み、ロームブロック多量(15~25%)を含む。締まり、粘性ともにあまりなし。地山崩落ブロックか?
 - 2' 黄褐色土(10YR5/8) ローム粒子溶け込み大量(30~50%)に含む。締まりなく、粘性あまりなし。
 - 3 褐色土(10YR6/4) 締まり、粘性ともにあまりなし。
 - 4 明黄褐色土(10YR6/8) 締まり強く、粘性なし。貼床相当。(P31)
 - 5 明黄褐色土(10YR6/8) ローム溶け込み大量(30~50%)に含み均質。締まりややあり、粘性あまりなし。(P31)
- 508号住居 土坑3 S-S'
- 1 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒子溶け込み、ロームブロック若干含み、均質。締まり、粘性ともにあまりなし。
- 508号住居 土坑4 T-T'
- 1 黒褐色土(10YR3/1) 締まり、粘性ともにあまりなし。均質。
- 508号住居 土坑4 U-U'
- a 黄褐色土(10YR5/6) 黄白色軽石少量(5~10%)含む。締まりあまりなく、粘性ややあり。

第172図 嶋上I遺跡B区3面 508号住居

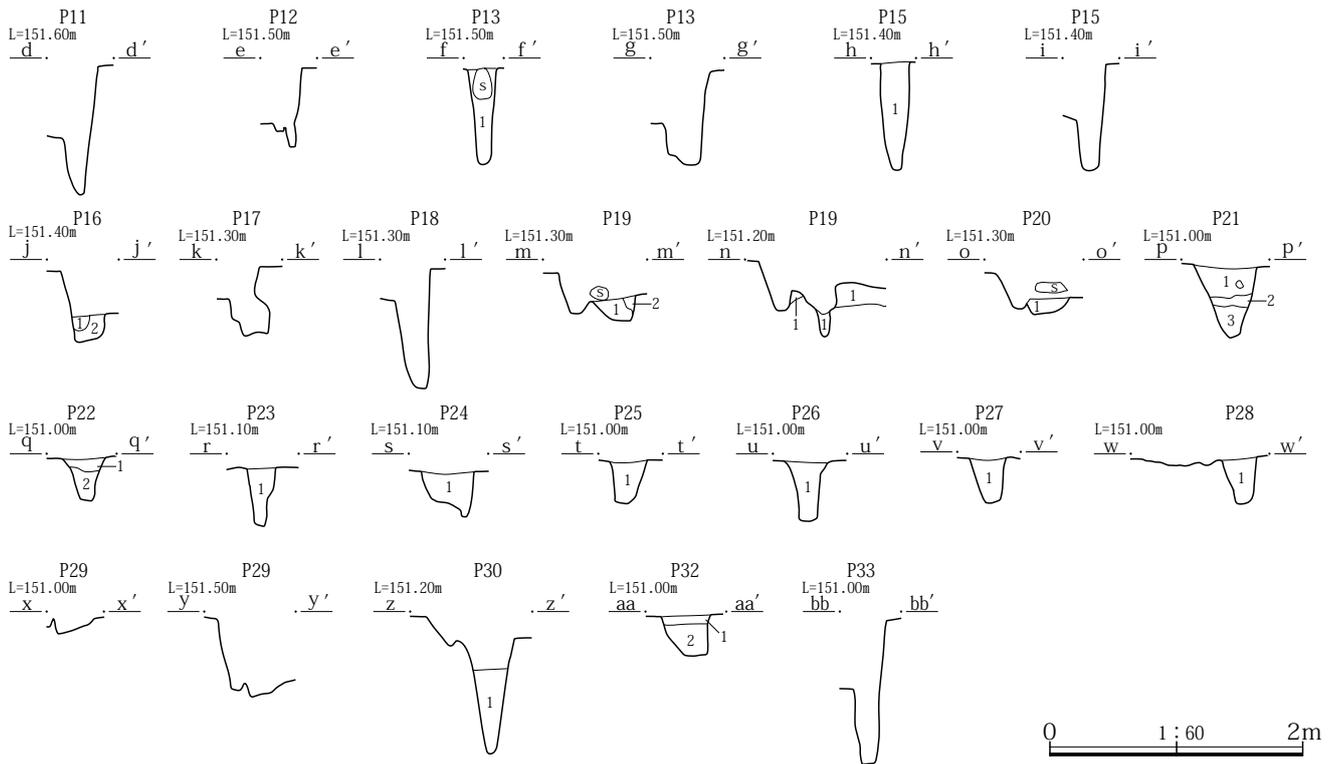


508号住居掘り方 I-I'・M-M'

- ① 黄褐色土(10YR5/6) 部分的に黄白軽石、黒褐色土を僅かに含む。P23覆土は均質で縮まりやや欠くが、貼床土と同一埋没土と考えられる。縮まりややあり、粘性あまりなし。
- ①' ①層に比べ、黒色土を大量(30～50%)に含む。
- ①'' 暗褐色土(10YR3/3) 黒褐色土を大量(30～50%)に含む。縮まりややあり、粘性あまりなし。
- ② 赤褐色土(2.5YR4/6) ロームを含む焼土。縮まりややあり、粘性なし。

第173図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 508号住居掘り方

第5章 縄文時代～弥生時代(3面)の遺構と遺物

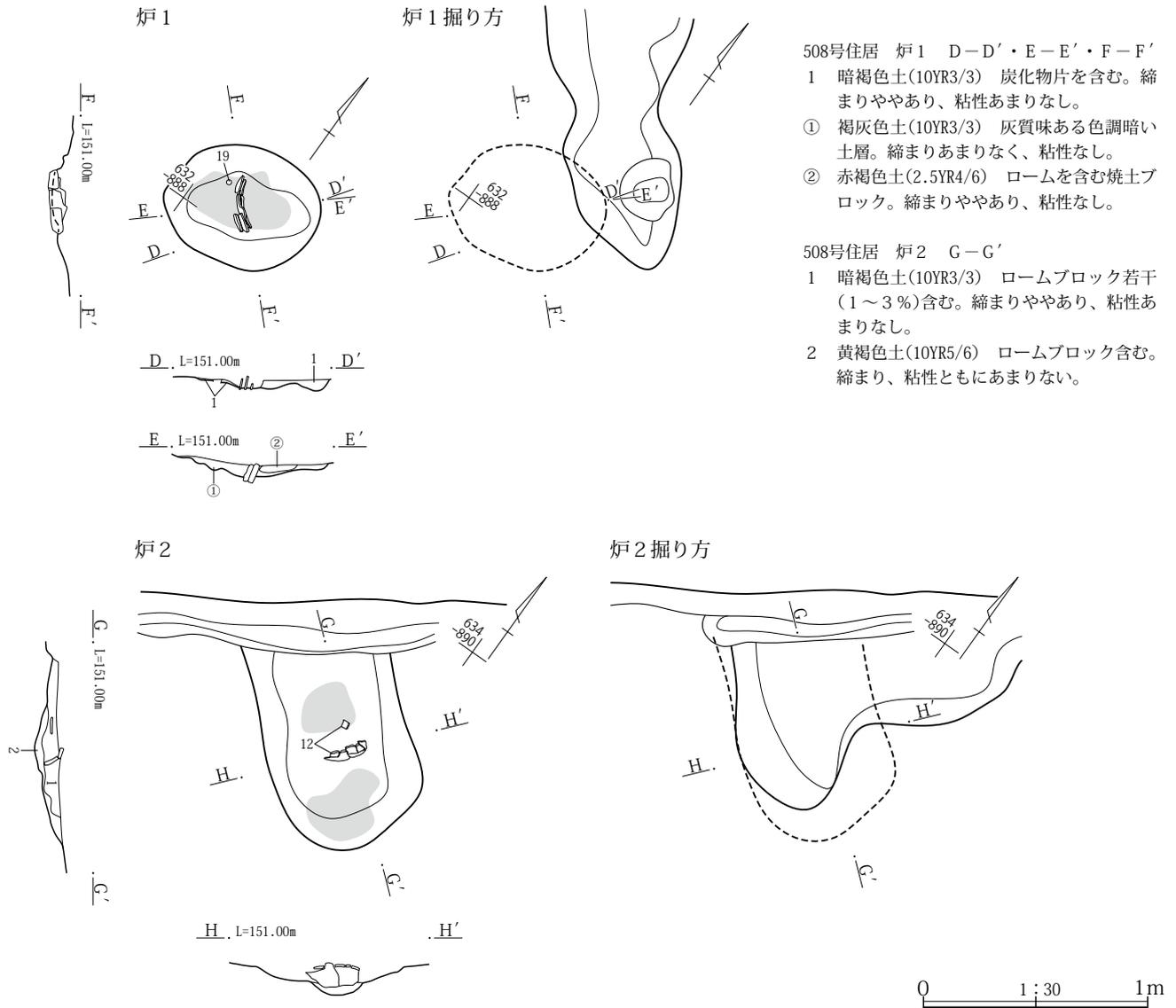


- 508号住居 P 2 W-W'
- 1 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締まりなく、粘性あまりなし。均質土。
- 508号住居 P 3 Y-Y'
- 1 黒褐色土(10YR3/2) 不均質なロームブロック多量(15～25%)を含む。締まりなく、粘性あまりなし。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) ローム溶け込み大量(30～50%)に含み、均質。締まりなく、粘性あまりなし。
- 508号住居 P 5 a-a'
- 1 黒褐色土(10YR3/2) 不均質なロームブロック若干(1～3%)含む。締まりなく、粘性あまりなし。
- 508号住居 P 10・15 c-c'・h-h'
- 1 黒褐色土(10YR3/2) 不均質なロームブロック若干(1～3%)含む。締まりなく、粘性ややあり。
- 508号住居 P 13 f-f'
- 1 黒褐色土(10YR3/1) 白色軽石若干(1～3%)含む。円礫含む。締まり、粘性あまりなし。
- 508号住居 P 16 j-j'
- 1 黄褐色土(10YR5/8) 乱れたロームブロック。締まりあまりなく、粘性なし。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) ローム溶け込み若干(1～3%)含む。締まりなく、粘性ややあり。
- 508号住居 P 19 m-m'、n-n'
- 1 黄褐色土(10YR4/6) 不均質なロームブロック。締まり、粘性ともにあまりなし。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック若干(1～3%)含む。締まり、粘性ともにあまりなし。
- 508号住居 P 20 o-o'
- 1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック乱れて大量(30～50%)を含む。炭化物若干(1～3%)含む。締まり、粘性ともにあまりなし。
- 508号住居 P 21 p-p'
- 1 黒褐色土(10YR3/2) ロームの溶け込み、ロームブロック多量(15～25%)を含む。締まり、粘性ともにあまりなし。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 乱れたロームブロック。
- 3 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 大量(30～50%)に含む。締まりあまりなく、粘性ややあり。
- 508号住居 P 22 q-q'
- 1 黒褐色土(10YR3/2) ロームの溶け込み、ロームブロック多量(15～25%)を含む。締まり、粘性ともにあまりなし。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) 1層より均質。締まりなく、粘性あまりなし。
- 508号住居 P 23 r-r'
- 1 黒褐色土(10YR3/2) ロームの溶け込み、ロームブロック多量(15～25%)を含む。締まり、粘性ともにあまりなし。
- 508号住居 P 24 s-s'
- 1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック、炭化粒若干(1～3%)含む。締まりなく、粘性あまりなし。
- 508号住居 P 25 t-t'
- 1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック少量(5～10%)含む。締まり、粘性ともにあまりなし。
- 508号住居 P 26 u-u'
- 1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック多量(15～25%)を含む。締まり、粘性ともにあまりなし。
- 508号住居 P 27 v-v'
- 1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック若干(1～3%)含む。締まり、粘性ともにあまりなし。
- 508号住居 P 28 w-w'
- 1 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒子溶け込み若干(1～3%)含む。締まり、粘性ともにあまりなし。
- 508号住居 P 30 z-z'
- 1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック若干(1～3%)含む。締まりややあり、粘性ともにあまりなし。
- 508号住居 P 32 aa-aa'
- 1 褐色土(10YR6/6) 締まりあり、粘性なし。貼床相当(周囲の床面より色調暗い)。
- 2 明黄褐色土(10YR6/8) ローム溶け込み大量(30～50%)に含み均質。赤茶褐色味ある軽石を多量(15～25%)に含み均質。締まりややあり、粘性あまりない。

第174図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 508号住居断面

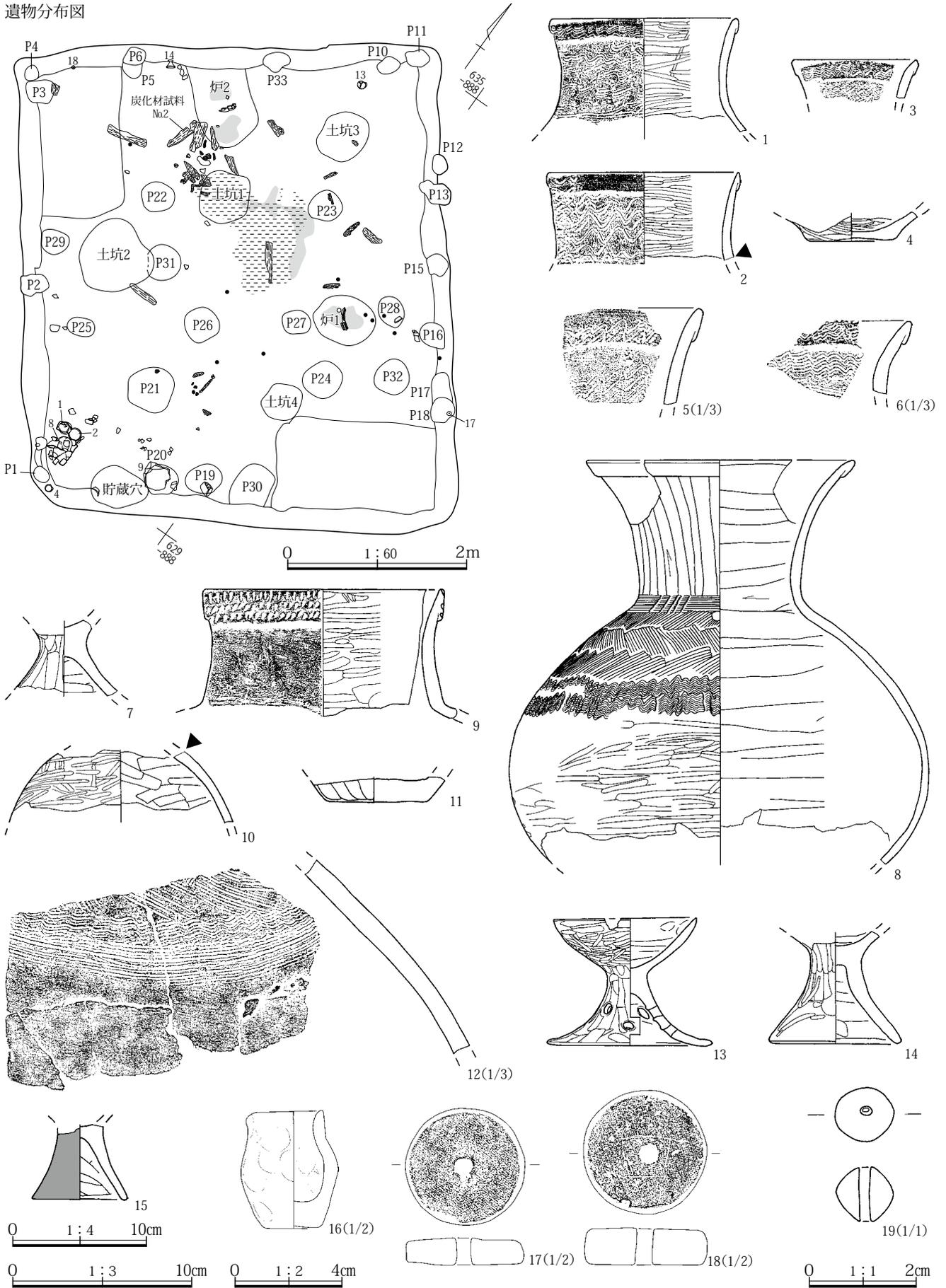
褐色土のロームブロックの上に暗褐色土が埋没している。ロームブロックを少量含み、締まりがある。中央に土器片が確認できる。長径89cm、短径65cm、深さ10cmである。双方共に掘り方から移動している。 **重複遺構**：509号住居(2面)、527・529・532・552号ピット(1面)より古い。 **遺物**：弥生土器19点(高杯3点、甕6点、台付甕1点、壺5点、ミニチュア土器1点、紡輪2点、土玉1点)を図示した。北壁、東甕、南西隅、炉1に集中して遺物が出土した。甕(1・2)、高杯(13・14)は床直上から、土玉(19)は炉1床直上から、壺(12)は炉2床直上から、紡輪(18)はベッド状遺構床直上からの出土であり、本住居に伴うものであると考えられる。甕(4)は

周溝床上10cm、壺(8)は床上7cm、壺(9)はP20床上17cm及び貯蔵穴床上39cm、紡輪(17)はP18床上57cm浮いた位置から出土しており、甕(5)、台付甕(7)は住居埋没土から、甕(3)は貯蔵穴埋没土から、高杯(15)、甕(6)、壺(10・11)、ミニチュア土器(16)は土坑2埋没土から出土している。これらの土器は本住居に伴うものであるか明瞭でない。図示した以外に、弥生土器(弥生後期218片3242.6g)、縄文土器(関山Ⅱ式2片28g、諸磯b式1片30g)、土師器(8片48g)が出土している。 **所見(帰属時期)**：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。



第175図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 508号住居炉

遺物分布図



第176図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 508 号住居出土遺物

514号住居(第177～179図 PL.63・64・85)

調査区中央部の住居群内、515号住居の南側に位置する。残存状態は良好でない。

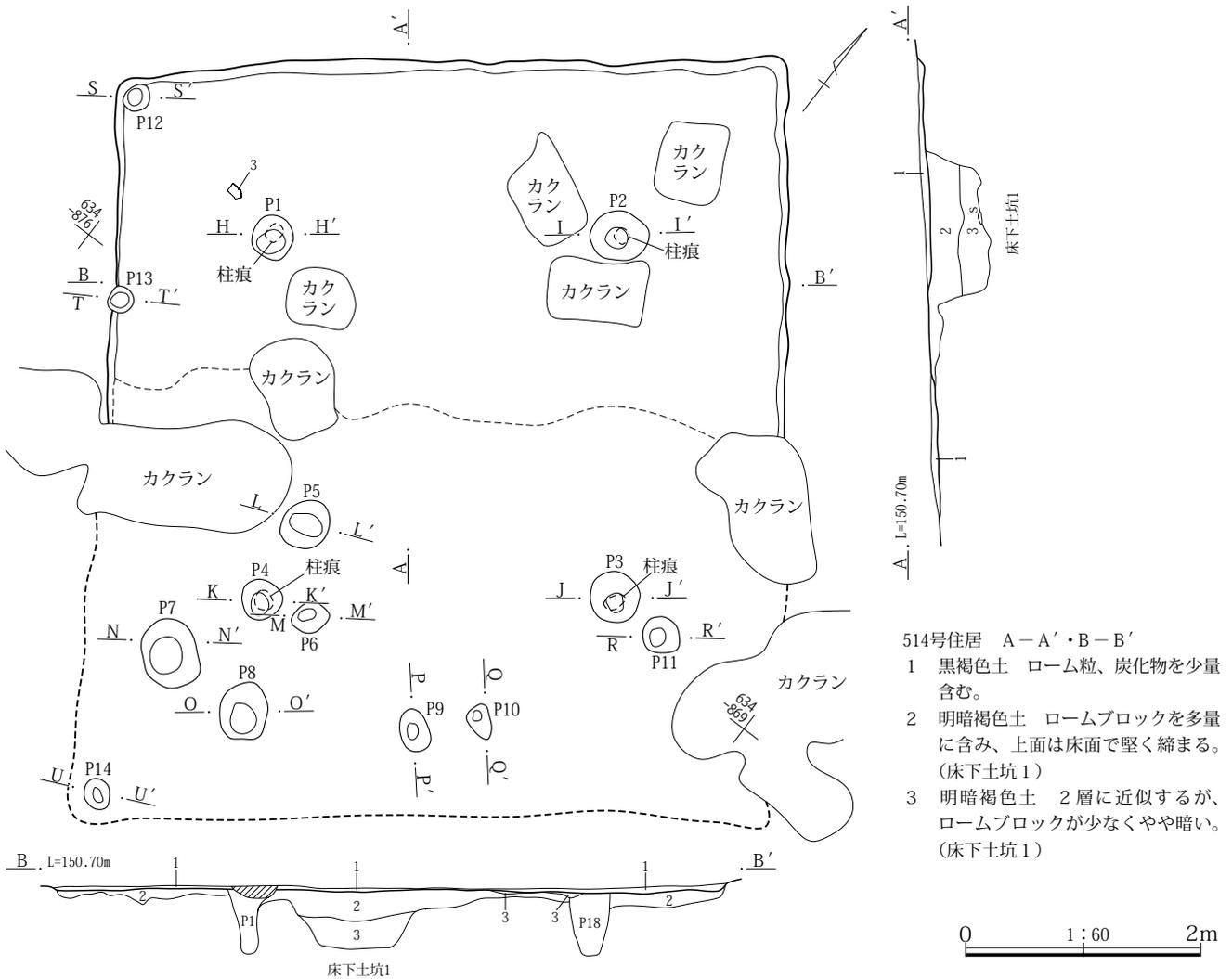
位置：630～639・-868～-877にある。

規模形状：主軸長[6.50]m、幅5.73mである。各辺直線的である。北辺に対して南辺が若干長い。全体としては、南北にやや長い整った長方形を呈している。埋没土・壁：黒褐色土で埋没している。ローム粒、炭化物を少量含む。残存状態が良好でなく自然堆積であるか明瞭でない。壁高は0.02～0.07mである。方位：N-35°-W
面積：[36.03]m² 床面：南に傾斜している。高低差は、北辺から住居中央までで既に14cmを測る。緩やかな起伏を伴うが、ほぼ平坦である。住居南部は、ほぼ削平を受けており、使用面が確認できない。南辺付近に、出入口施設があると思われる。掘り方：北部で確認できた。深さは12～18cm程である。中央部が深く、西側と東側

が浅い。埋没土は、明暗褐色土である。ロームブロックを多量に含み、上面は締まりが強い。壁溝：認められない。ピット(柱穴)：18基を確認した。位置、規模及び深さより、P1・2・3・4が、規則的な主柱穴配置による柱穴であると思われる。P12・13・14は、位置、規模、埋没土より、壁柱穴であると考えられる。さらに、P9・10は出入口施設に関わるものであると思われる。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

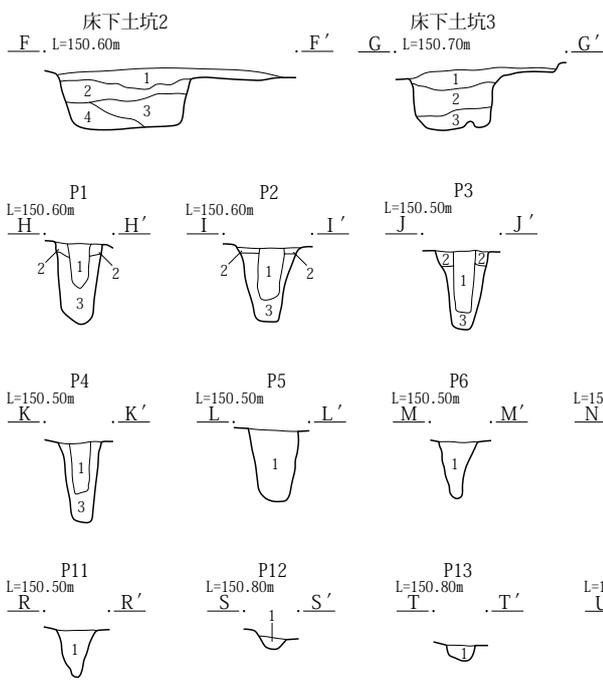
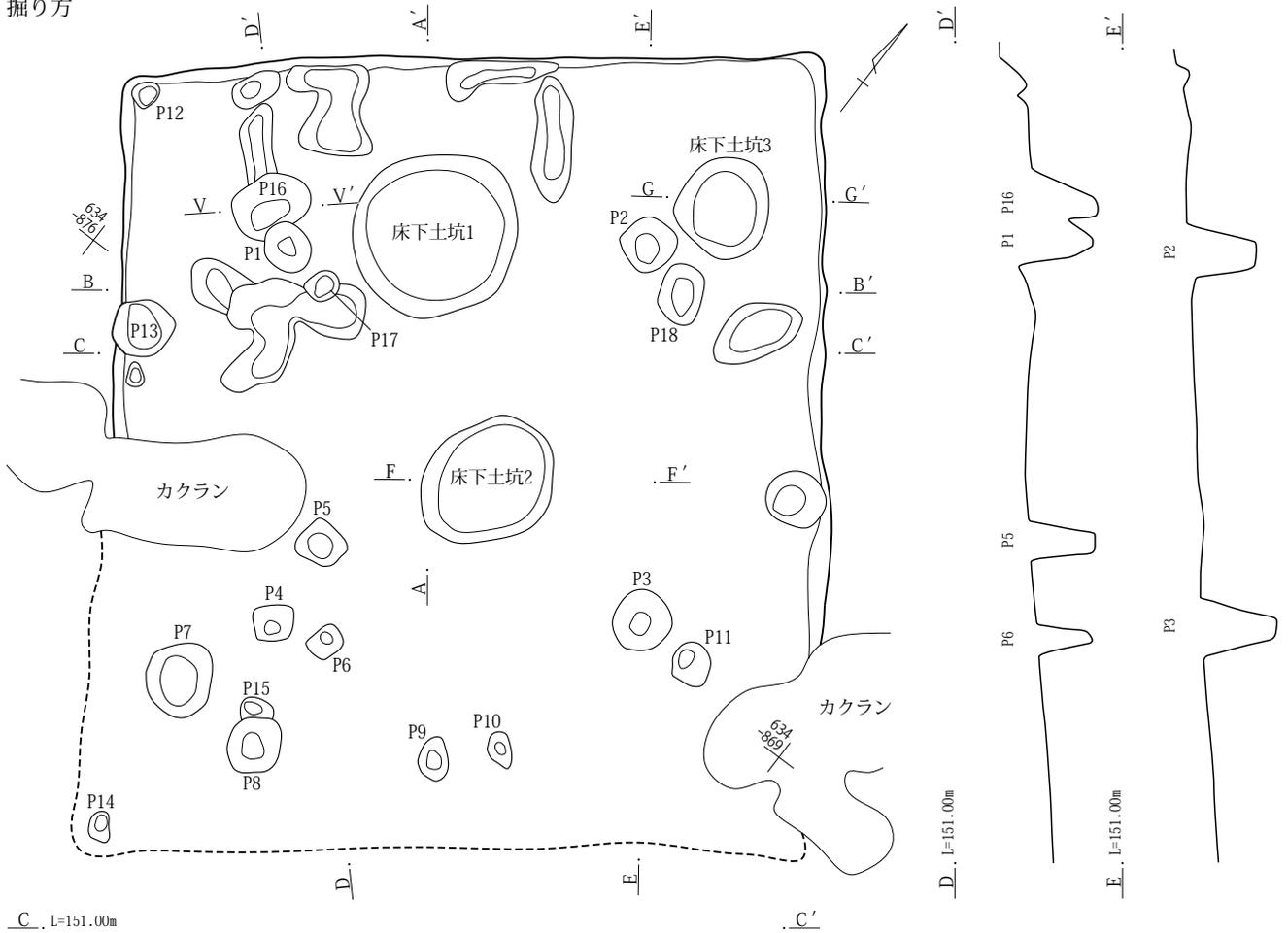
(長径×短径×深さcm)

P 1	38×34×64	P 2	50×43×58
P 3	44×42×62	P 4	34×34×63
P 5	45×40×58	P 6	32×26×45
P 7	60×45×52	P 8	48×41×46
P 9	36×24×11	P 10	30×20×16
P 11	31×31×37	P 12	26×22×10
P 13	23×20×12	P 14	27×22×12



第177図 嶋上 I 遺跡 B 区 3 面 514号住居

掘り方



- 514号住居 床下土坑2 F-F'
- 1 暗褐色土 As-YP、ローム小ブロックを少量含む。
 - 2 明暗褐色土 ローム小ブロック・粒を多量に混在。
 - 3 暗褐色土 ローム大ブロックを少量含む。
 - 4 明暗褐色土 ローム粒を多量に含む。
- 514号住居 床下土坑3 G-G'
- 1 明暗褐色土 ロームブロックを多量に含み、上面は床面で堅く締まる。(掘り方覆土)
 - 2 明赤褐色土 焼土粒を多量に含む。
 - 3 暗褐色土 ローム粒を少量含む。やや粘質。

第178図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 514号住居掘り方

- 514号住居 P 1・2・3・4 H-H'・I-I'・J-J'・K-K'
- 1 暗褐色土 焼土・炭化粒を少量含み、ローム大ブロックを混入。(柱痕土)
 - 2 黄橙色土 黄橙色粘質土(ローム)ブロックを主体とし、暗褐色土を混在する。堅く締まる。(柱の根固め土)
 - 3 暗黄褐色土 暗褐色土と黄色ロームとの混在土で、下位ほどロームが多い。
- 514号住居 P 5 L-L'
- 1 暗赤褐色土 ローム小ブロックを少量、焼土粒を多量含む。下位は焼土粒多い。
- 514号住居 P 6 M-M'
- 1 暗褐色土 ローム小ブロックを少量含む。

- 514号住居 P 7 N-N'
- 1 黒褐色土 灰色粘質土と焼土粒を含む。
 - 2 明暗褐色土 ロームブロック・粒を多く含む。
- 514号住居 P 8 O-O'
- 1 暗褐色土 上面にAs-Cを僅かに含み、下位にローム粒を多く含む。
- 514号住居 P 9・10・11 P-P'・Q-Q'・R-R'
- 1 暗褐色土 As-YPを少量、ローム粒を含む。
- 514号住居 P 12・13・14 S-S'・T-T'・U-U'
- 1 暗褐色土 ロームブロックを少量含む。
- 514号住居 P 16 V-V'
- 1 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

P 15 28×(16)×42 P 16 64×47×59
 P 17 28×23×40 P 18 50×35×43

主柱穴のP 1・2・3・4は、柱痕土は暗褐色土、柱の埋め土は暗黄褐色土、柱の根固め土は黄橙色土が観察される。同時期の埋没であると考え。壁柱穴のP 12・13・14は、暗褐色土で埋没しており、ロームブロックが混入していることから類似性が高い。出入口施設に関わると思われるP 9・10は、暗褐色土で埋没しており、ロームブロックが混入していることから類似性が高い。いずれも同時期の埋没であると思われる。貯蔵穴：認められない。土坑：床下土坑を3基確認した。各床下土坑の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

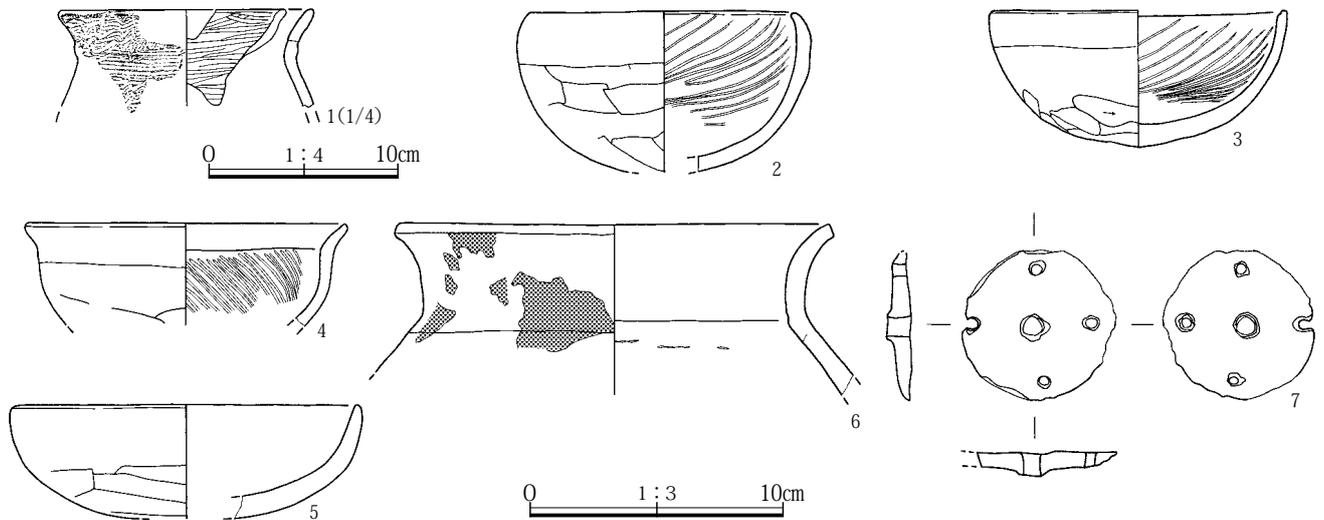
(長径×短径×深さcm)

床下土坑 1：134×132×50 床下土坑 2：120×100×41
 床下土坑 3：84×78×42

床下土坑 1・2は、明暗褐色土で埋没しており、ロームブロック等と混入しており共通性が高い。床下土坑 3は、暗褐色土で埋没しており、他の床下土坑と同様にロー

ムブロック等を混入しており、共通性がある。床下土坑 1・3は共に上面は締まりの強い床面である。これらのことから同時期の埋没である可能性が高いと考える。

炉：認められない。重複遺構：なし。遺物：弥生土器 1点(甕 1点)を図示した。削平が進んでおり住居の残存状態が良好でない。遺物の出土は少ない。甕(1)は埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。また、土師器 5点(杯 4点、甕 1点)、須恵器 1点(瓶)を図示した。杯(3)は床直上及び埋没土から、杯(2・4・5)、甕(6)、瓶(7)は埋没土から出土している。ただし、これらの土器は5世紀後半のものであると比定され、上層からの混入であると考え。図示した以外に、弥生土器(弥生後期後半15片190.5g)、及び上層からの混入である土師器(甕類17片)、羽釜 1片が出土している。所見(帰属時期)：樽式土器の出土が主体である。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考え



第179図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 514号住居出土遺物

515号住居(第180～182図 PL.64・65・85)

調査区中央部の住居群内にある。残存状態は良好でない。

位置：636～643・-875～-882にある。

規模形状：主軸長[5.26]m、幅[5.31]mである。西隅以外は壁の立ち上がりが確認できなかった。各辺歪んでいるが、正方形を呈していると思われる。埋没土・壁：削平が進んでおり、西隅のみ確認された。ロームブロックや炭化物を含んだ黒色土、黒褐色土で埋没している。人為的に埋め戻されたと思われる。壁高は0.34mである。

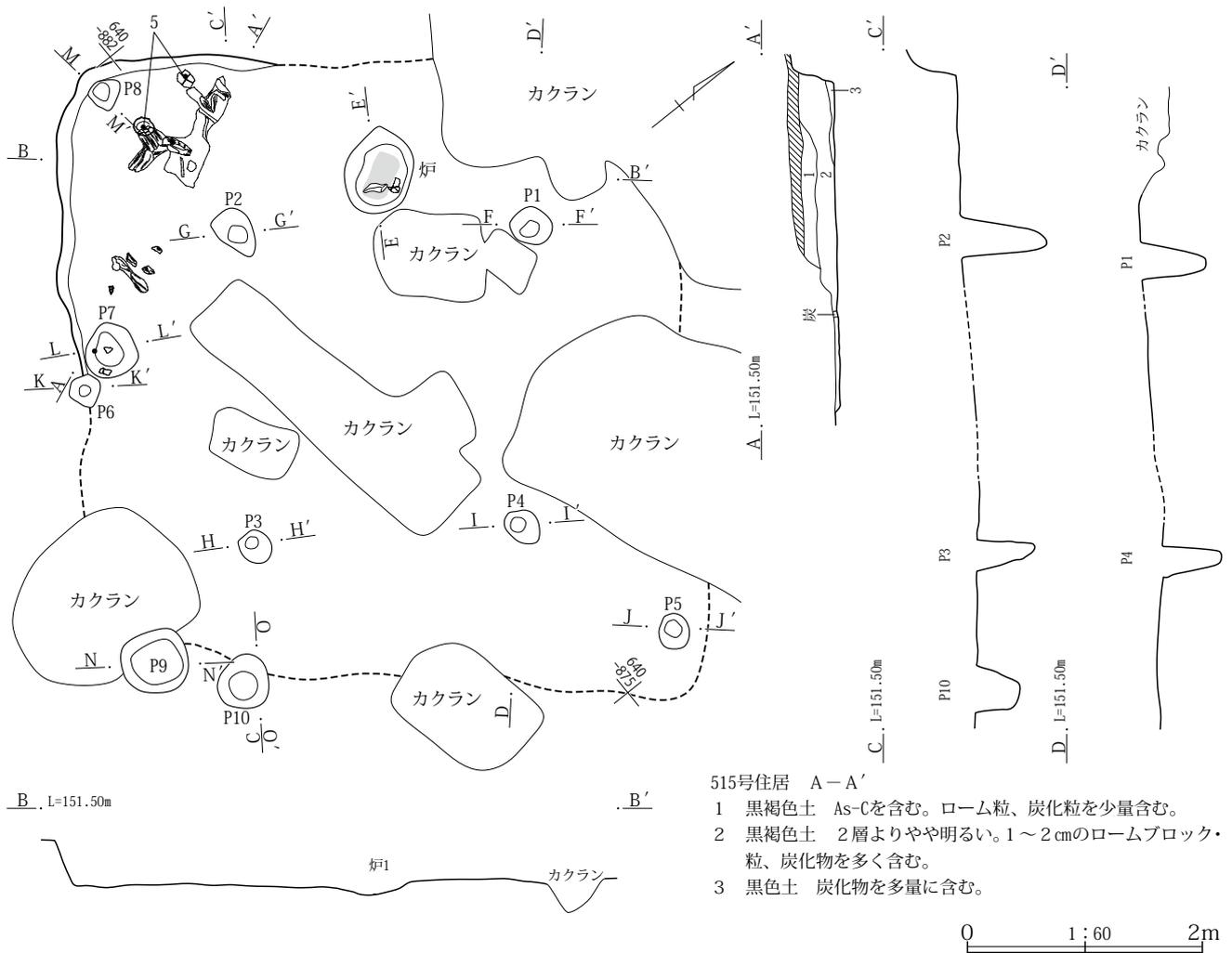
方位：N-54°-W 面積：[26.93]m² 床面：南に傾斜している。高低差は16cm程と大きい。起伏はほぼなく平坦である。西隅に炭化物の出土が確認できる。掘り方：ほぼ全面に認められる。深さは3cm前後である。壁溝：認められない。ピット(柱穴)：10基を確認した。位置、

規模及び深さより、P1・4・3・2が、規則的な支柱穴配置による柱穴であると思われる。P5・6・8は、位置、規模、埋没土より、壁柱穴であると思われる。P9・10は出入口施設に関わるものであると思われる。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

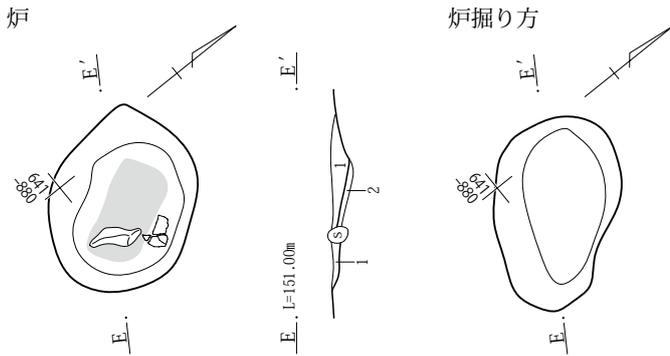
(長径×短径×深さcm)

P 1	36×34×57	P 2	45×31×60
P 3	28×26×38	P 4	36×26×33
P 5	30×26×20	P 6	28×26×36
P 7	47×44×21	P 8	28×24×32
P 9	48×43×54	P 10	58×54×37

支柱穴のP1・4・2は、暗褐色土で埋没しておりロームブロック等の混入物も共通である。P3は、明黄褐色土で埋没しているが、混入物は類似している。壁柱穴のP5・6は暗褐色土で、P8は明黄褐色土で埋没してい

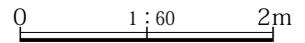
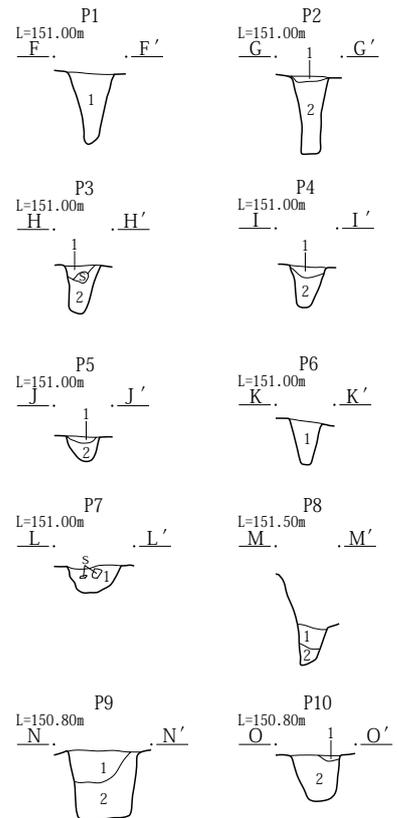
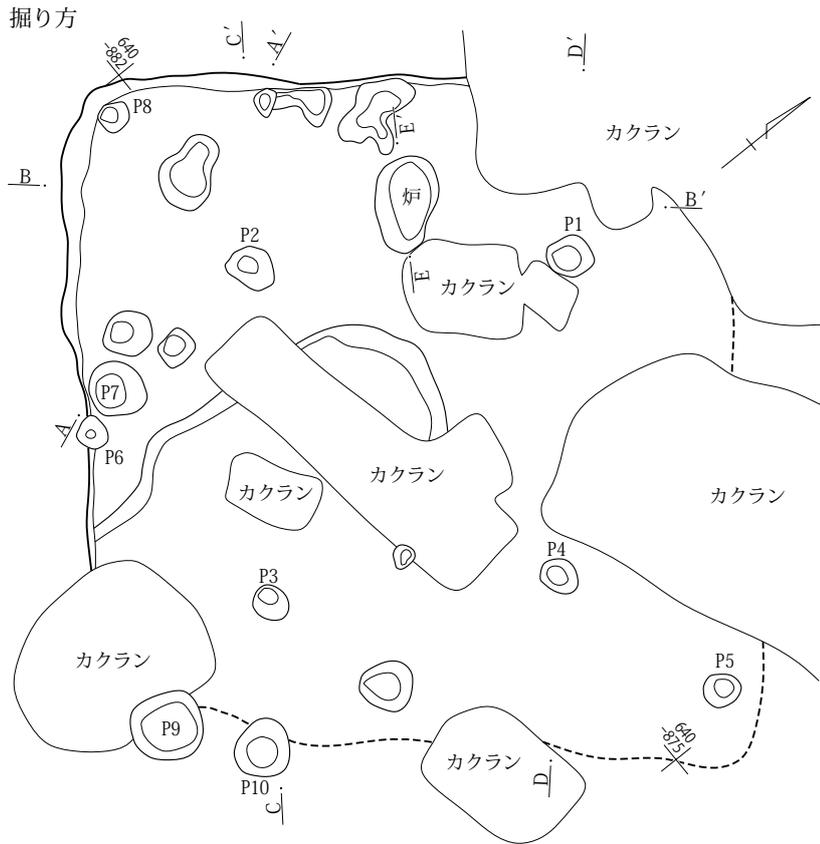
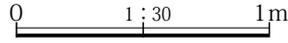


第180図 嶋上I遺跡B区3面 515号住居



515号住居 炉 E-E'

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 炭化物を10%程度含む。焼土ブロックを少量とロームブロックと黒褐色ブロック土を含む軟質土。
- 2 焼土。赤褐色に焼けて縮まりがあるローム土。



515号住居 P1 F-F'

- 1 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックと黒褐色ブロック土を含む軟質土。

515号住居 P2・4・5 G-G'・I-I'・J-J'

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 炭化物と焼土ブロックを少量とロームブロックと黒褐色ブロック土を含む軟質土。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックと黒褐色ブロック土を含む軟質土。

515号住居 P3 H-H'

- 1 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックと黒褐色ブロック土を含む軟質土。
- 2 明黄褐色土(10YR6/6) ロームブロックが入る軟質土。

515号住居 P6 K-K'

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 炭化物と焼土ブロックを少量とロームブロックと黒褐色ブロック土を含む軟質土。

515号住居 P7 L-L'

- 1 黒褐色土(10YR2/2) ロームブロック多量と黒褐色ブロック土を含む軟質土。

515号住居 P8 M-M'

- 1 黒褐色土(10YR1/3) 炭化物を少量とロームブロックを含む軟質土。
- 2 明黄褐色土(10YR6/6) ローム粒子主体で黒褐色土ブロックを少量含む軟質土。

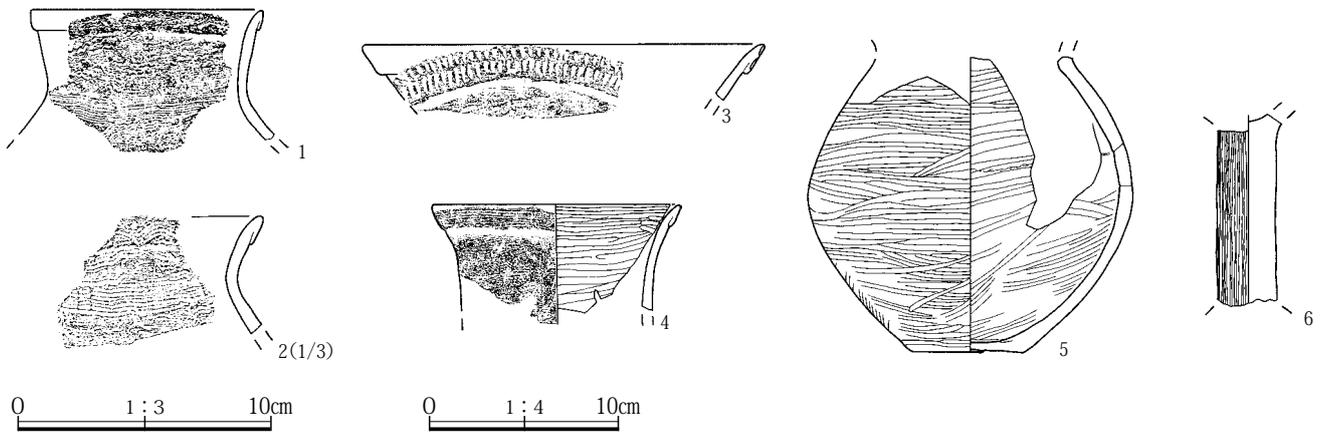
515号住居 P9・10 N-N'・O-O'

- 1 黒褐色土 ロームブロックを僅かに、炭化粒を少量含む。縮まり弱い。
- 2 明暗褐色土 ローム粒・ブロックを多量に含む。

第181図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 515号住居炉、掘り方

る。ロームブロック等の混入物は類似している。支柱穴のP1・4・2、壁柱穴のP5・6、及び支柱穴のP3と壁柱穴のP8は、同時期の埋没の可能性があると考えられる。**貯蔵穴**：認められない。**土坑**：認められない。**炉**：住居北西部壁際中央に炉を1基確認した。燃焼部に焼土が確認された。暗褐色土で埋没している。炭化物中量、焼土ブロック少量、ロームブロック、黒褐色土ブロックを含む軟質土である。掘り方には、焼土が確認できる。ローム土が赤褐色に焼けて締まりが強い。長径74cm、短径58cm、深さ8cmである。炉の南部に枕石が確認できる。長さ20cm、幅5cm、厚さ8cmである。**重複遺構**：なし。**遺物**：弥生土器6点(高杯1点、甕1点、

台付甕1点、壺3点)を図示した。住居西部を中心に遺物が出土した。壺(5)は床直上からの出土であり、本住居に伴うものであると考えられる。高杯脚部(6)は住居埋没土から、甕(1)、台付甕(2)はP7埋没土から、壺(3)はP9・10埋没土から、壺(4)はP10及び表採からの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。図示した以外に、弥生土器(弥生後期後半41片761.5g)、及び上層からの混入である須恵器(杯類1片)が出土している。**所見(帰属時期)**：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。



第182図 嶋上I遺跡B区3面 515号住居出土遺物

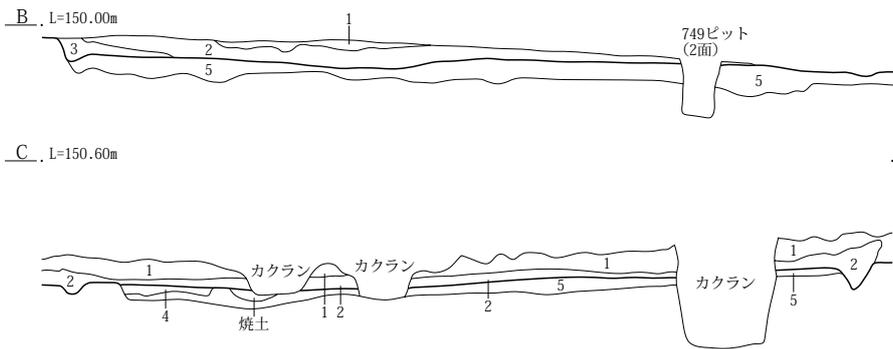
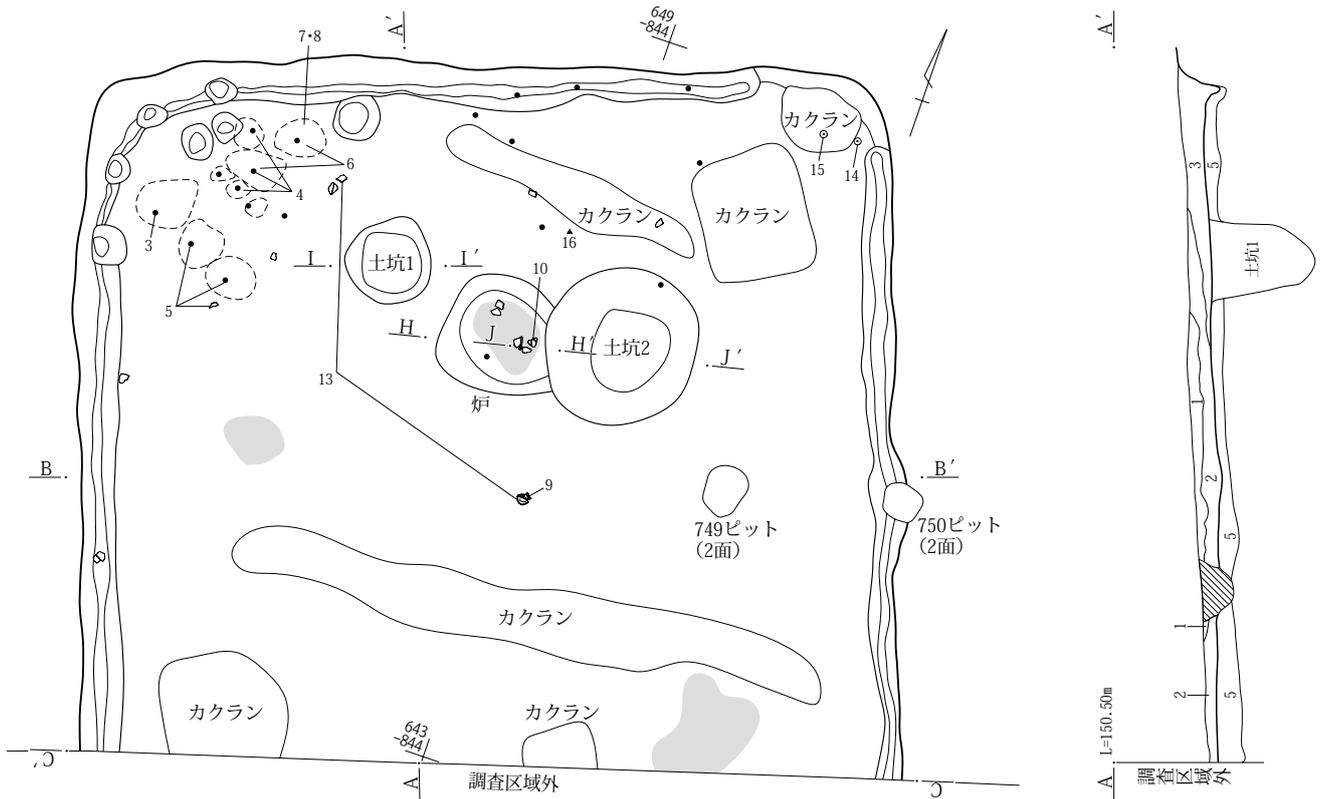
516号住居(第183～185図 PL.65・85・86)

調査区東部の住居群内、518号住居の東側にある。南壁が調査区域外にある。部分的に攪乱を受けており、残存状態は良好でない。

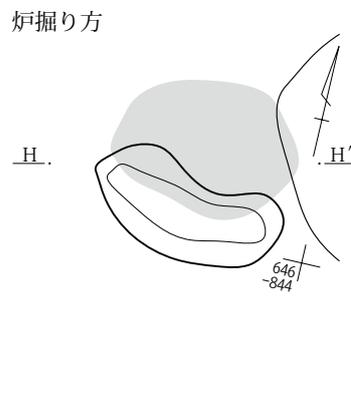
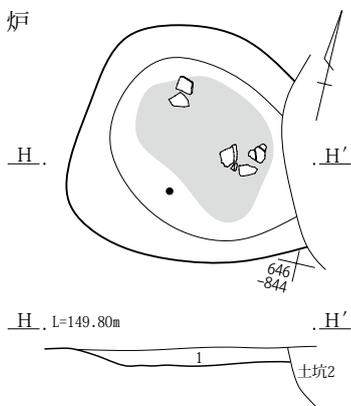
位置：642～649・-840～-848にある。

規模形状：主軸長(5.58)m、幅6.51mである。各辺やや歪んでいる。全体的には、整った正方形を呈していると思われる。**埋没土・壁**：黒褐色土、暗褐色土、明暗褐色土が壁際から埋没している。各層、ロームブロックを含んでおり、人為的な埋め戻しであると思われる。壁高は0.08～0.27mである。**方位**：N-20°-W **面積**：(30.56)m² **床面**：住居隅の高まりは確認できなかった。南東方向に傾斜している。高低差は10cm前後と大きい。緩やかな起伏を伴うが、ほぼ平坦である。住居西部及び

南東部に焼土が散見できる。**掘り方**：調査したほぼ全面に掘り方が認められる。深さは2～20cm程である。埋没土は、明暗褐色土である。ロームブロック・粒を多量に含み、上面は締まりの強い床面である。**壁溝**：北東隅の一部を除いて、ほぼ全周に確認できる。ただし、南壁際は調査対象外のため確認できていない。北壁のものは、暗褐色土で埋没しており、ロームブロックを含む粘質土である。幅9～20cm、深さ14cm程である。東壁のものは、暗褐色土で埋没しており、ロームブロック・粒を少量含む。幅8～20cm、深さ6cm程である。西壁のものは、暗褐色土で埋没しており、ロームブロックを含む粘質土である。幅10～20cm、深さ7cm程である。**ピット(柱穴)**：認められない。**貯蔵穴**：認められない。**土坑**：土坑を2基確認した。土坑1は、長径70cm、



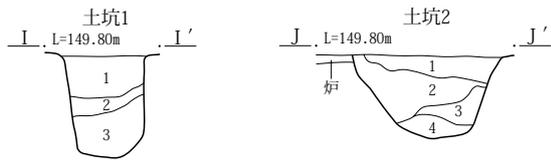
- 516号住居 A-A'・B-B'・C-C'
- 1 明暗褐色土 ローム粒を含み、やや粘質。
 - 2 暗褐色土 ローム大ブロックを僅かに、ローム粒を少量含む。
 - 3 黒褐色土 汚れたロームブロックを多く含み、粘質。
 - 4 暗褐色土 2層に近似。壁周溝の覆土。
 - 5 明暗褐色土 ロームブロック・粒を多く含み、上面は床面で強く締まる。(掘り方覆土)



- 516号住居 炉 H-H'
- 1 明暗褐色土 炭化物・焼土粒を少量、ローム粒を多く含む。締まり弱い。

第183図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 516号住居

第5章 縄文時代～弥生時代(3面)の遺構と遺物



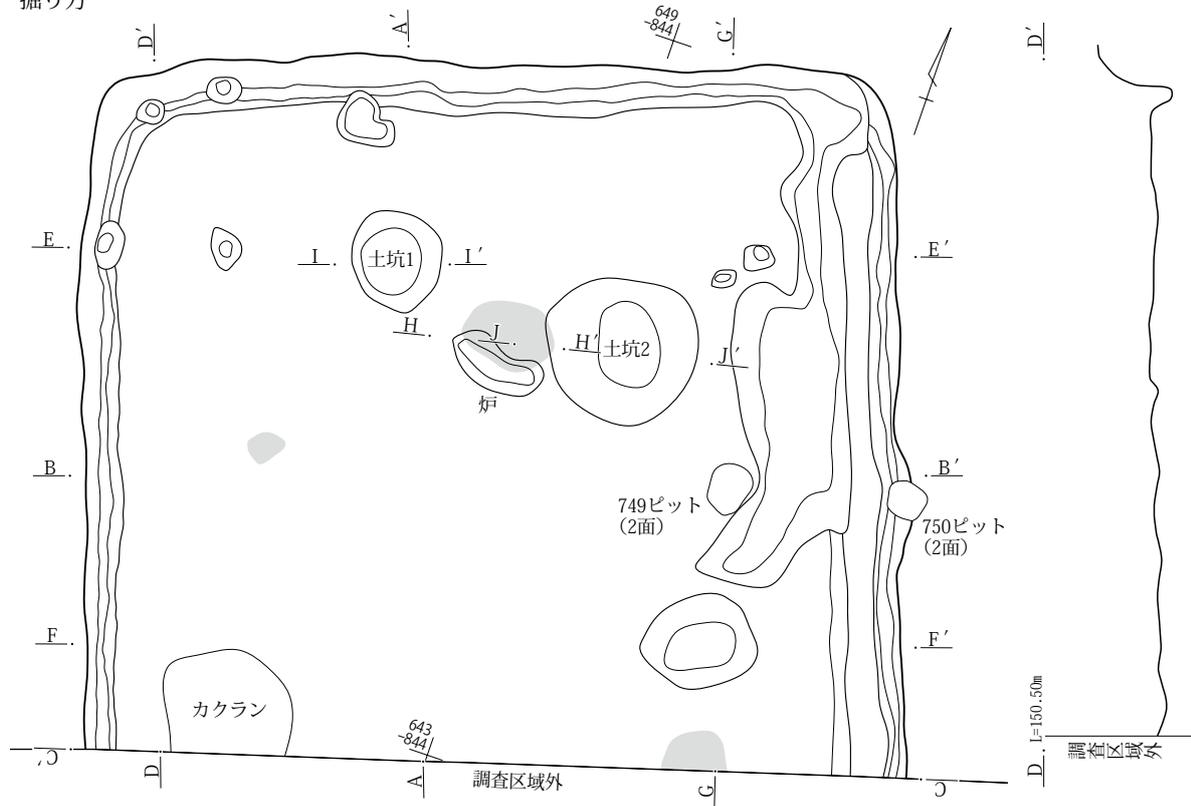
516号住居 土坑1 I-I'

- 1 明暗褐色土 炭化物を少量、ローム粒を多量に含む。締まり弱い。
- 2 暗褐色土 混入物少なく、やや粘質。
- 3 明暗褐色土 ロームブロック・粒を少量含む。

516号住居 土坑2 J-J'

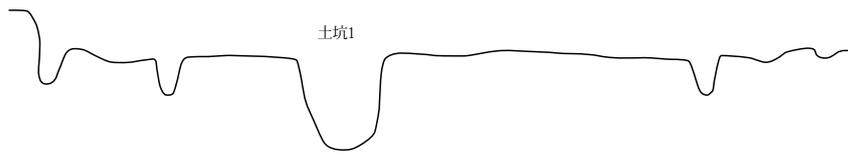
- 1 暗褐色土 ローム大ブロックを少量含み、締まりあり。(貼床?)
- 2 明暗褐色土 ローム大ブロック・粒を多量に混在。
- 3 暗褐色土 1層に類するが、やや明るい。
- 4 明暗褐色土 2層に近似するが、ロームブロックが主。

掘り方



E L=150.50m

E'



F L=150.50m

F'

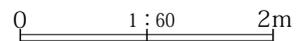


G L=150.50m

G'

調査区域外

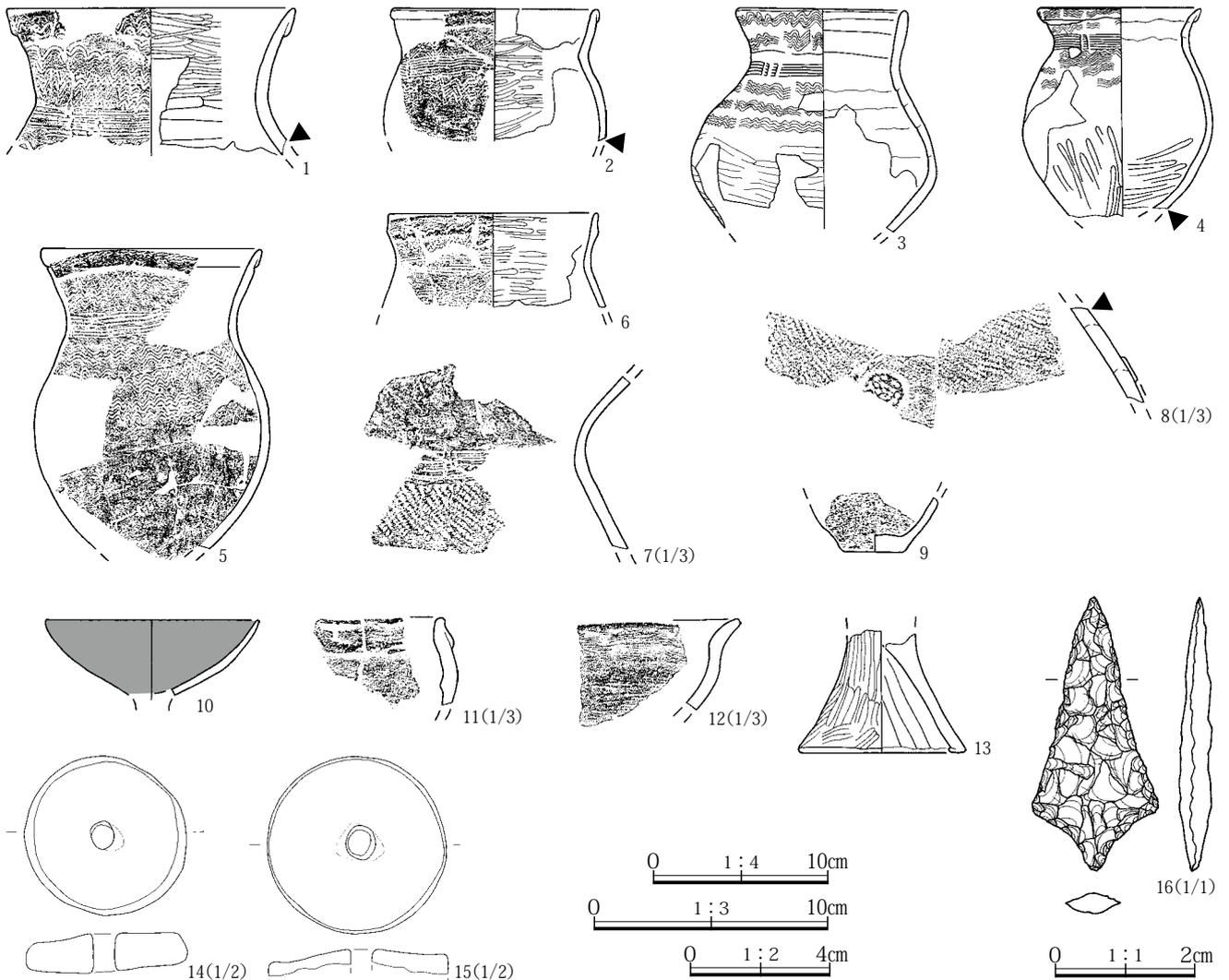
749ピット (2面)



第184図 鳴上I遺跡B区3面 516号住居掘り方

短径68cm、深さ81cmである。埋没土は、明暗褐色土や暗褐色土である。ロームブロックや炭化物を含む。中層は粘質土で、上層は締まりが弱い。土坑2は、長径128cm、短径122cm、深さ65cmである。埋没土は、明暗褐色土と暗褐色土が交互に重なり、ロームブロックを含む。上部は貼床の可能性ある。 炉：住居中央北寄りに位置する。燃烧部に焼土が堆積している。土器片が確認される。埋没土は、明暗褐色土である。炭化物、焼土粒を少量、ローム粒を多量に含む、締まりは弱い。炉の規模は、長径(108)cm、短径98cm、深さ7cmである。掘り方は、南寄りに確認できた。 重複遺構：749・750号ピット(2面)に前出している。 遺物：弥生土器15点(高杯4点、甕1点、小型甕5点、壺3点、紡輪2点)、剥片石器1点

(石鏃)を図示した。住居中央、北西隅、北東隅に集中して遺物が出土した。小型甕(3・4・5・6)、高杯(13)、壺(7・8・9)、紡輪(14・15)は床直上から、高杯(10)は炉床直上からの出土であり、本住居に伴うものであると考えられる。甕(1)、小型甕(2)、高杯(11・12)は住居埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。また、石鏃(16)が床上16cmから出土している。図示した以外に、弥生土器(弥生後期土器片3047g)、及び上層からの混入である土師器(甕類1片)、須恵器(杯類2片)が出土している。 所見(帰属時期)：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。



第185図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 516号住居出土遺物

517号住居(第186～188図 PL.66・67・86)

調査区東部中央の住居群内東端にある。残存状態は良好である。

位置：655～662・-836～-843にある。

規模形状：主軸長5.52m、幅5.00mである。各辺歪んで、若干外側に張り出している。南北にやや長い長方形を呈している。埋没土・壁：粘性のある黒褐色土が壁際から埋没しており、その後、暗褐色土で全体が埋没している。ロームブロック、炭化物、焼土をそれぞれ含み、人為的な埋め戻しであると思われる。壁高は0.09～0.34mである。方位：N-39°-E 面積：23.86㎡ 床面：東に傾斜している。高低差は5cm程である。若干の起伏を伴うがほぼ平坦である。床面は締まりが強い。南西隅にベッド状遺構の高まりが確認できる。高まりの規模は、南北94cm、東西176cm、高さ12～14cm程である。面積は1.55㎡である。長方形を呈している。掘り方埋没土と同じ明暗褐色土で作られており、ロームブロックが多く混在している。住居中央部を中心に、多量の炭化材が散見できる。柱穴周りに集中しており、特にP3・4間に出土している炭化材は、桁が崩落したものであると推察される。掘り方：ほぼ全面に認められる。中央部及び南部がやや層が厚い。埋没土は、明暗褐色土であり、ロームブロックを多量に含み、上面となる床面は締まりが強い。深さは6～25cm前後である。壁溝：北西隅から西壁中央にかけて、また、南西隅から南壁ベッド状遺構の南側に確認できる。西壁のものは、幅8～20cm、深さ4cm程である。南壁のものは、幅14～18cm、深さ4cm程である。埋没土は、双方とも粘性のある黒褐色土であり、住居埋没土に準じている。ピット(柱穴)：11基を確認した。位置、規模及び深さより、P3・4・1・2が、規則的な主柱穴配置による柱穴であると思われる。P7・10は、壁柱穴であると思われる。また、P11は、出入口施設に関わるものであると思われる。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

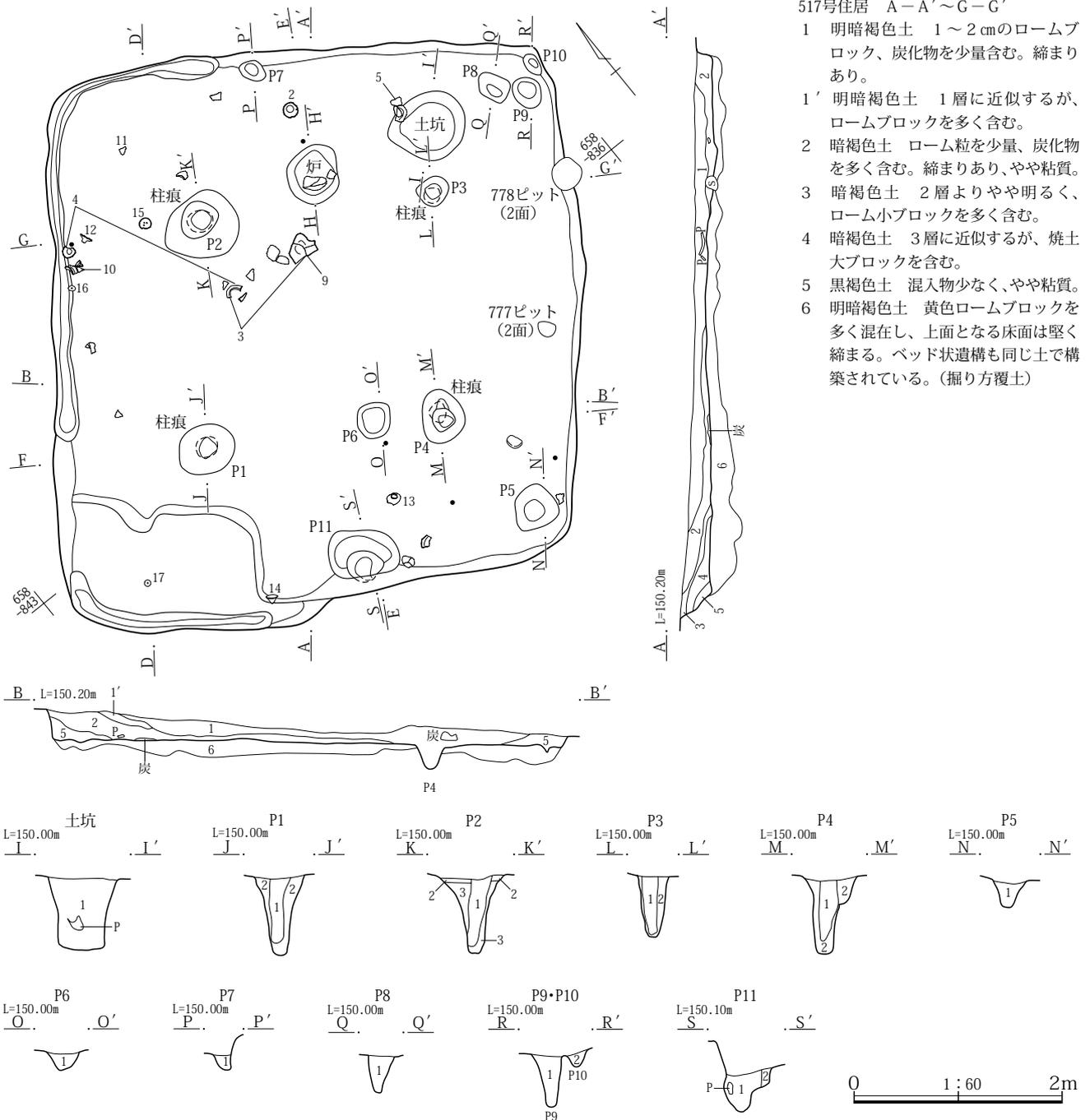
(長径×短径×深さcm)

P 1	54×48×78	P 2	70×66×74
P 3	32×28×58	P 4	52×41×74
P 5	42×42×26	P 6	35×31×18
P 7	27×18×16	P 8	32×24×36
P 9	32×26×50	P 10	23×14×14

P 11 68×44×41

主柱穴のP3・4・1・2は、土層が共通している。明黄褐色土で埋没しており、混入物も共通している。上面は締まりが強く、柱の根固め土である。柱痕は暗褐色土で埋没しており、混入物も類似している。同時期の埋没であると考えられる。壁柱穴のP7・10も、土層が共通しており、同時期の埋没であると考えられる。出入口施設のP11は、P7・10と土層が類似しているが、同時期の埋没であるか明瞭でない。貯蔵穴：認められない。土坑：北東部に土坑を1基確認した。規模は、長径76cm、短径65cm、深さ69cmである。埋没土は、暗褐色土で、ロームブロック・粒を含む軟質土である。炉：住居北部中央部分に位置する。燃焼部に焼土は確認されなかった。規模は、長径58cm、短径49cm、深さ3cm程である。暗褐色土で埋没しており、ロームブロックを多量に含む。枕石と思われる礫が確認できた。長さ22cm、幅12cm、厚さ10cm程である。掘り方は焼土化していた。重複遺構：777・778号ピット(2面)に前出している。遺物：弥生土器17点(高杯3点、甕5点、台付甕2点、壺2点、小型壺1点、鉢1点、器台1点、紡輪2点)を図示した。住居北部及び南西部を中心に遺物が出土した。甕(2・5)、高杯(13)、紡輪(16)は床直上から、紡輪(17)はベッド状遺構床直上からの出土であり、本住居に伴うものであると考えられる。甕(3)は床上6・14cm、壺(9)は床上6cm、壺(10)は床上20cm、小型壺(4)は床上10～17cm、鉢(11)は床上8cm、高杯(12)は床上13cm、高杯(14)は床上17cm、器台(15)は床上15cm浮いた位置から出土しており、甕(1・6)、台付甕(8)は住居埋没土から、台付甕(7)はP4埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。図示した以外に、弥生土器(弥生後期後半93片1305.1g)、縄文土器(阿玉台式1片10.7g)が出土している。所見(帰属時期)：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。

4 嶋上 I 遺跡 B 区の遺構と遺物



517号住居 A-A'~G-G'

- 1 明暗褐色土 1~2cmのロームブロック、炭化物を少量含む。締まりあり。
- 1' 明暗褐色土 1層に近似するが、ロームブロックを多く含む。
- 2 暗褐色土 ローム粒を少量、炭化物を多く含む。締まりあり、やや粘質。
- 3 暗褐色土 2層よりやや明るく、ローム小ブロックを多く含む。
- 4 暗褐色土 3層に近似するが、焼土大ブロックを含む。
- 5 黒褐色土 混入物少なく、やや粘質。
- 6 明暗褐色土 黄色ロームブロックを多く混在し、上面となる床面は堅く締まる。ベッド状遺構も同じ土で構築されている。(掘り方覆土)

517号住居 土坑 I-I'

- 1 暗褐色土 ロームブロック・粒を含む。やや軟質。

517号住居 P1 J-J'

- 1 暗褐色土 炭化物・ローム粒を少量含む。
- 2 明暗褐色土 黄橙色粘質土ブロックと黄色ロームブロックが多く混在し、下位はローム粒が多量。上面は堅く締まる。(柱の根固め土)

517号住居 P2 K-K'

- 1 暗褐色土 炭化物・焼土粒を上位に、ローム粒を少量含む。
- 2 黄暗褐色土 黄橙色粘質土ブロックと黄色ロームブロックが多量に混在し、堅く締まる。(柱の根固め土)
- 3 明暗褐色土 黄橙色粘質土ブロックが少量混在し、下位はローム粒を多く含む。

517号住居 P3 L-L'

- 1 暗褐色土 炭化物・ローム粒を少量含む。
- 2 明暗褐色土 黄橙色粘質土ブロックと黄色ロームブロックが多く混

在し、下位はローム粒が多量。上面は堅く締まる。(柱の根固め土)

517号住居 P4 M-M'

- 1 暗褐色土 炭化物・ローム粒を少量含む。
- 2 明暗褐色土 黄橙色粘質土ブロックと黄色ロームブロックが多く混在し、下位はローム粒が多量。上面は堅く締まる。(柱の根固め土)

517号住居 P5 N-N'

- 1 黒褐色土 As-YP、ロームブロックを少量含む。

517号住居 P6・7・8 O-O'・P-P'・Q-Q'

- 1 黒褐色土 ローム小ブロックを僅かに含む。

517号住居 P9・10 R-R'

- 1 黒褐色土 上位にAs-YP、ローム粒を多量に含む。(P9)
- 2 黒褐色土 ローム小ブロックを僅かに含む。(P10)

517号住居 P11 S-S'

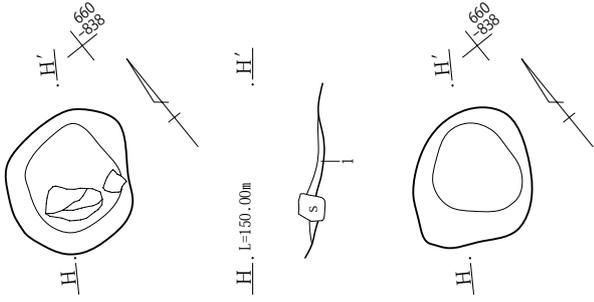
- 1 黒褐色土 混入物少なく、やや軟質。
- 2 黒褐色土 ロームブロック・炭化物を含む。

第186図 嶋上 I 遺跡 B 区 3 面 517号住居

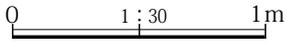
第5章 縄文時代～弥生時代(3面)の遺構と遺物

炉

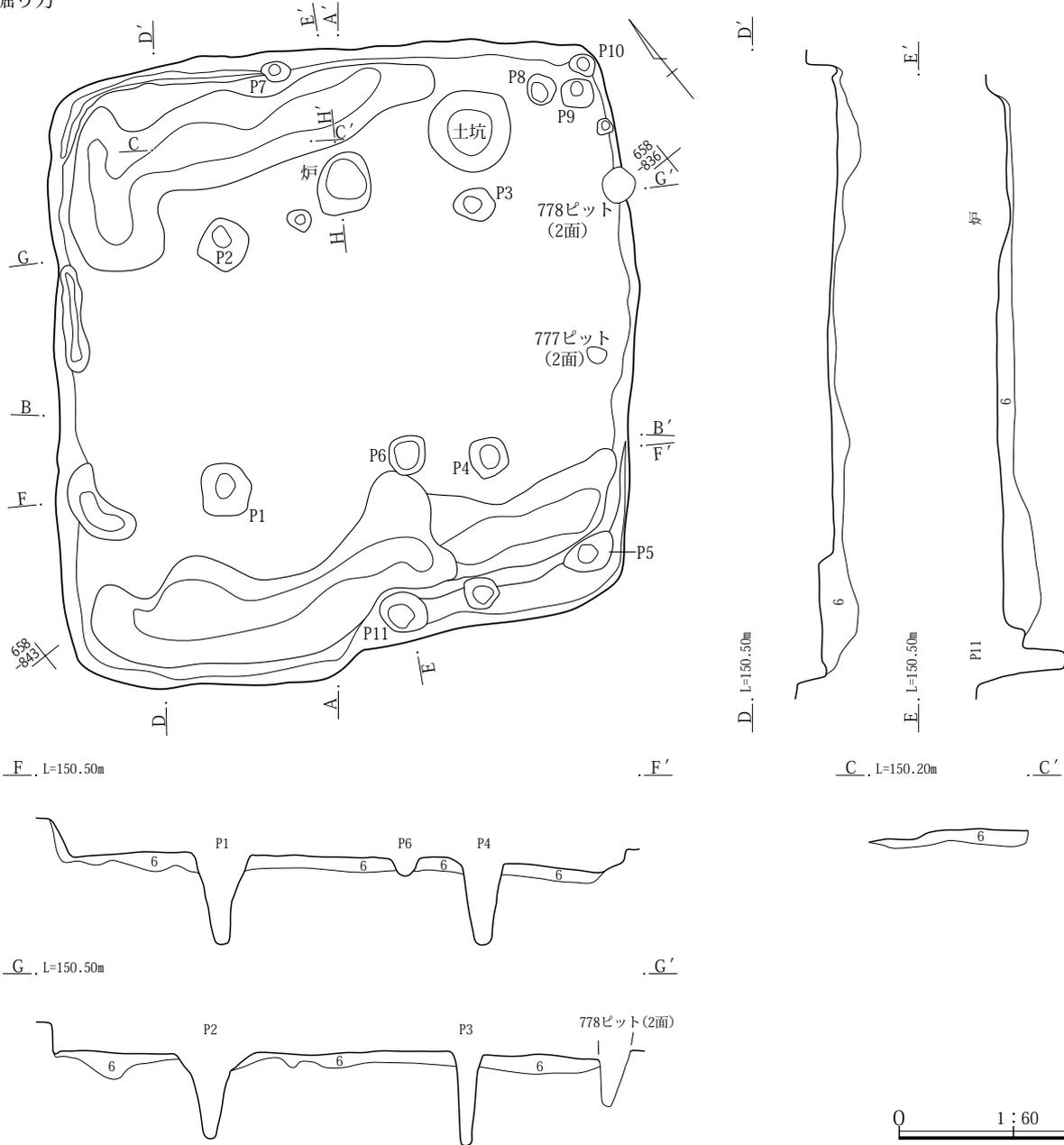
炉掘り方



517号住居 炉 H-H'
1 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

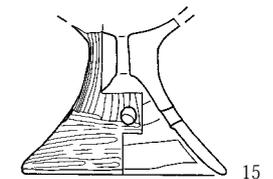
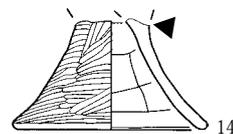
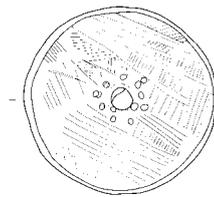
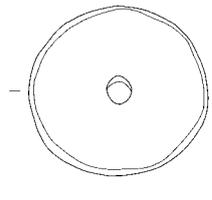
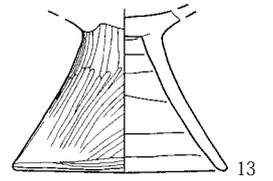
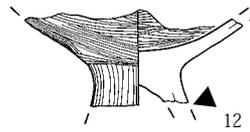
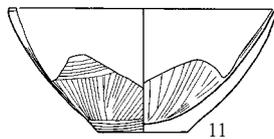
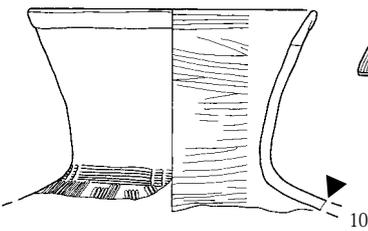
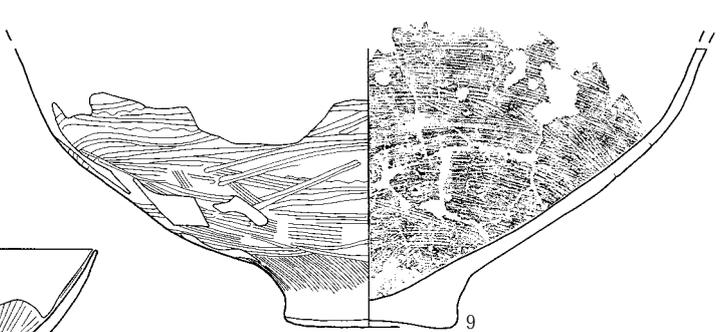
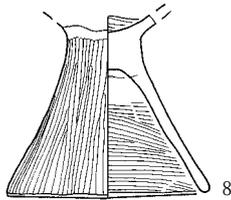
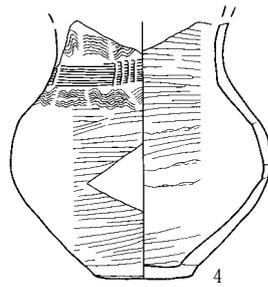
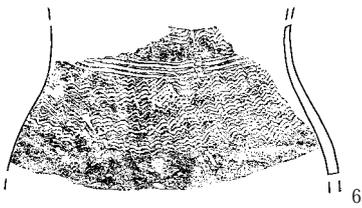
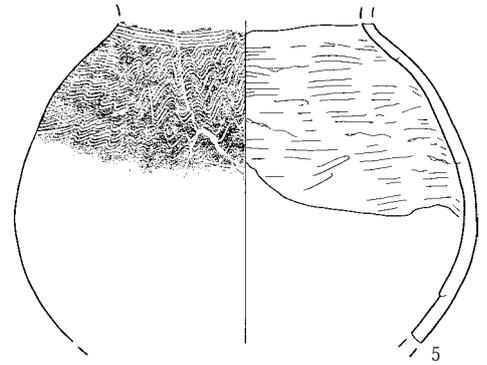
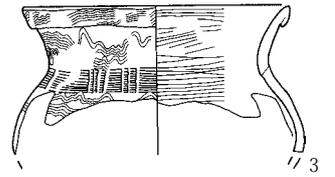
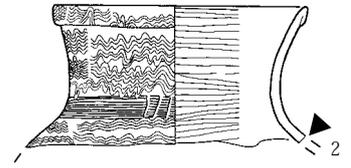
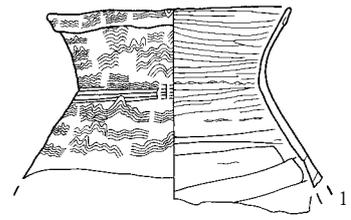
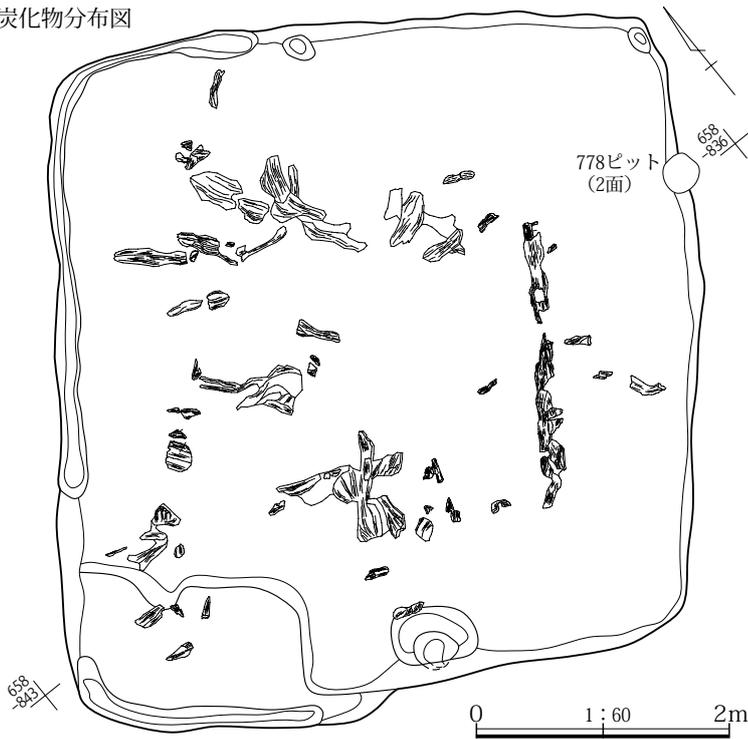


掘り方



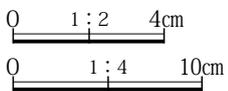
第187図 鴨上I遺跡B区3面 517号住居炉、掘り方

炭化物分布図



16 (1/2)

17 (1/2)



第188図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 517号住居出土遺物

518号住居(第189～195図 PL.68・69・70・87)

調査区東部の住居群内にある。南東隅が調査区域外である。西壁が一部攪乱を受けているが、その他の残存状態は良好である。

位置：635～644・-853～-862にある。

規模形状：主軸長9.36m、幅7.93mである。北辺、東辺、西辺は外側にやや張り出している。南辺は直線的である。全体としては、南北に長い整った長方形を呈している。埋没土・壁：壁際から黒褐色土、黄褐色土、暗褐色土が埋没している。全体的には、暗褐色土及び黒褐色土が埋没している。炭化物、焼土、ロームブロックが含まれており、床面から多量の炭化材が出土していることから、焼失後一気に埋め戻したものであると思われる。壁高は0.33～0.72mである。方位：N-7°-E 面積：(63.55)m² 床面：南東方向に大きく傾斜している。高低差は10～12cm程である。起伏は少なくほぼ平坦である。北西部、北東部、中央部から南東部、南西部の一部と、広大な範囲に焼土が分布している。西壁、北壁、東壁の直下に、多量の炭化材が出土している。住居が焼失する際に、住居周りの袖壁が焼け落ち、完全に燃焼しないうちに埋め戻され、その結果多量の焼土や炭化物の分布が観察されたと考えられる。また、四隅及び東壁の中央直下に5か所ベッド状遺構の高まりが確認できる。北東隅のベッド状遺構の高まりは、南北121cm、東西210cm、高さ3～6cm程である。面積は2.32m²である。南東隅のベッド状遺構の高まりは、東部が調査区域外にある。現存している範囲で、南北88cm、東西124cm、高さ10～13cm程である。面積は(0.52)m²である。南西隅のベッド状遺構の高まりは、南北224cm、東西98cm、高さ4～6cm程である。面積は2.08m²である。北西隅のベッド状遺構の高まりは、南部に攪乱を受けている。現存している範囲で、南北72cm、東西84cm、高さ3～9cm程である。面積は(0.53)m²である。東壁中央部のベッド状遺構の高まりは、南北180cm、東西77cm、高さ3～4cm程である。面積は1.33m²である。いずれも長方形に準じた形状を呈している。南西隅、東壁中央のものは、南北に長く、北東隅と南東隅のものは、東西に長い。北西隅のものは、南北に長いと推察される。ベッド状遺構の構築土は、黄橙粘質土を主体としており、締まりが強い。掘り方：ほぼ全面に認められる。東部及び南部がやや層が厚い。埋

没土は、暗黄橙粘質土であり、締まりがある。貼床の構築土である。深さは5～12cm程である。壁溝：南西隅に一部確認できる。ただし、ベッド状遺構周りの溝と同化している。幅20～26cm、深さ5cm程である。埋没土は、不明である。ピット(柱穴)：7基を確認した。位置、規模及び深さより、P1・2・3・4が、規則的な主柱穴配置による柱穴であると思われる。P5・6・9は、出入口施設に関わるものであると思われる。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

(長径×短径×深さcm)

P 1	46×46×77	P 2	38×35×74
P 3	38×36×65	P 4	38×36×112
P 5	46×36×13	P 6	40×38×51
P 9	36×30×63		

主柱穴のP1・2・3・4は、にぶい黄褐色土で埋没しており、粘質土でややもろい。上面は締まりが強い。P2は柱材の炭化物を含んでいる。同時期の埋没の可能性が高いと考える。出入口施設のP5・6・9は、にぶい黄褐色土で埋没しており、混入物も共通するものが多い。炭化物や焼土が散見できる。上面は締まりが強い。やはり、同時期の埋没の可能性が高いと考える。

貯蔵穴：南部出入口施設近くに窪みが確認された。規模及び土層より貯蔵穴と思われる。埋没土は、暗褐色土と褐色土が交互に重なる。炭化物片、ロームブロック、焼土を含む。上面は白色粒を含み締まりが強い。規模は、長径70cm、短径62cm、深さ56cmである。土坑：東壁直下のベッド状遺構周辺に3基、西壁中央部直下に1基、土坑を確認した。各土坑の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

(長径×短径×深さcm)

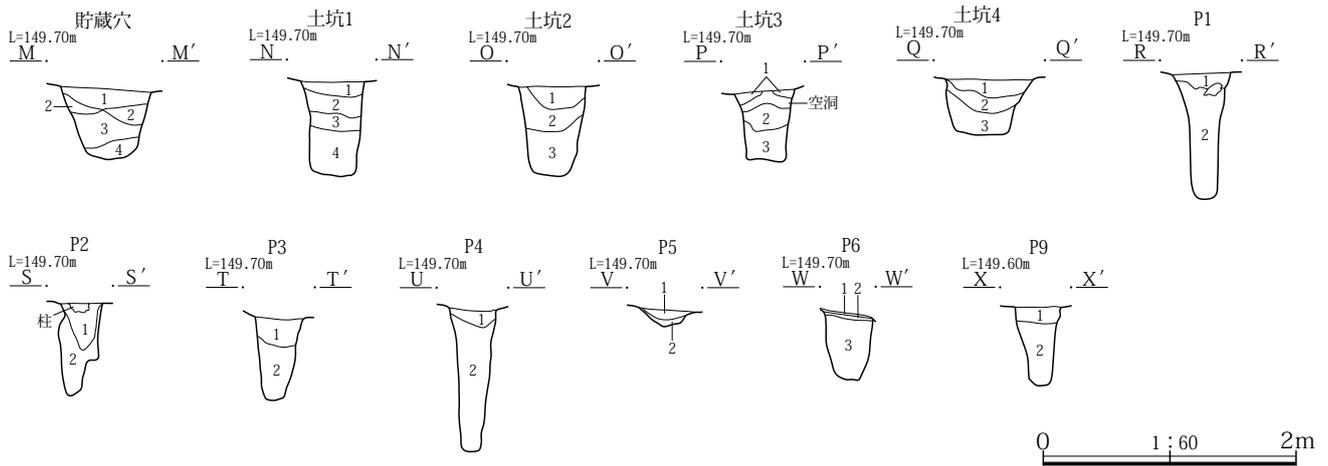
土坑1	：63×50×75	土坑2	：59×52×71
土坑3	：52×46×54	土坑4	：68×66×44

土坑1・2・3・4は、主ににぶい黄褐色土、暗褐色土・黒褐色土、褐色土の順で埋没している。土坑1・3・4の上面は締まりが強く、土坑2の上面はもろく粘性がある。土坑1・2・3は、ロームブロックあるいはローム粒子を含んでいる。土坑3の1層と2層の間が空洞となっている。2層の暗褐色土は炭化物を含んでもろく、沈下したと考えられる。埋没土は類似しており、同時期の埋没である可能性が高いと考える。また、土坑4から



第189図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 518 号住居

第5章 縄文時代～弥生時代(3面)の遺構と遺物



518号住居 A-A'～J-J'

- 1 黒褐色土(10YR2/3) 径2～5mmのAs-C軽石を多く含む。サラサラした土。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 僅かにロームブロックと炭化物を含む軟質土。
- 2' 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックを少量含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/3) 径5cmのロームブロックとローム粒と僅かに炭化物を含む軟質土。
- 3' 3層に類似する。ロームブロックを多く含む。
- 4 黒褐色土(10YR2/2) 径2～5mmの焼土ブロックを少量とロームブロック及び炭化物を少量含む軟質土。
- 4' 黒褐色土(10YR2/2) 焼土と炭化物を多く含む軟質土。
- 5 (10YR4/6) 炭化物を10%程度と床面近くから焼土ブロックが多く検出される。やや粘性あり。
- 6 黒褐色土(10YR3/2) やや粘性のある土。
- 7 黒褐色土(10YR1/3) 炭化物を多く含む軟質土。
- 8 黄褐色土(10YR5/6) ロームの二次堆積軟質土。
- 9 黄橙色粘質土 黄橙色粘質土(ローム)を主とし、強く締まる。ベッド状遺構の構築土。
- 10 暗黄橙色粘質土 黄橙色粘質土ブロックを主とし、強く締まる。貼床の構築土。
- 11 暗褐色土 黄橙色粘質土小ブロックと暗褐色土との混在土。

518号住居 貯蔵穴 M-M'

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 径2～3mmの白色粒を微量含む。所々にロームブロック点在。炭化物片を少量含む。やや締まりあり。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) 炭化物片を少量含む。もろい。
- 3 褐色土(10YR4/4) ロームブロックを少量含む。焼土を微量含む。ややもろい。
- 4 暗褐色土(10YR3/3) 締まりあり。やや粘性。

518号住居 土坑1 N-N'

- 1 褐色土(10YR4/4) 径1mmの白色軽石を微量、ローム粒を少量、焼土粒・焼土を微量含む。締まりあり。やや粘質
- 2 暗褐色土(10YR3/4) 所々に炭化物を少量含む。もろい。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) 粘質土混じり、粘性あり。やや締まりあり。
- 4 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘質土が多く混ざる。締まりあり。

518号住居 土坑2 O-O'

- 1 褐色土(10YR4/4) 少量の焼土が混ざる。もろい。やや粘性あり。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 炭化物を含む。ロームブロック点在。やや締まりあり。
- 3 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘質土が多く混ざる。締まりあり。

518号住居 土坑3 P-P'

- 1 褐色土(10YR4/4) 径1mmの白色軽石を微量、ローム粒を少量、焼土を微量含む。締まりあり。やや粘質。*1層と2層の間に空洞あり。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) 所々に炭化物を少量含む。もろい。
- 3 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘質土が多く混ざる。締まりあり。

518号住居 土坑4 Q-Q'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 炭化物を少量含む。締まりあり。粘質。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) 粘土混じり。締まりあり。
- 3 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘質土が多く混ざる。締まりあり。

518号住居 P1 R-R'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 径2～3mmの白色軽石を微量含む。焼土粒、焼土を微量含む。締まりあり。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 粘質土でややもろい。

518号住居 P2 S-S'

- 1 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘質混じり。締まりあり。*柱材の炭化物あり。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 粘質土でややもろい。

518号住居 P3・4 T-T'・U-U'

- 1 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘質混じり。締まりあり。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 粘質土でややもろい。

518号住居 P5 V-V'

- 1 黒褐色土(10YR3/2) 径1～2mmの白色粒を微量含む。ローム粒子を微量含む 炭化物片を少量含む。締まりあり。やや粘質。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR5/3) ローム粒子を微量含む。炭化物片を少量含む。締まりあり。粘質土。

518号住居 P6 W-W'

- 1 暗赤褐色土(2.5YR3/6) 焼土。かたく締まる。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロック混じり。締まりあり。
- 3 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘質土。もろくくずれやすい。

518号住居 P9 X-X'

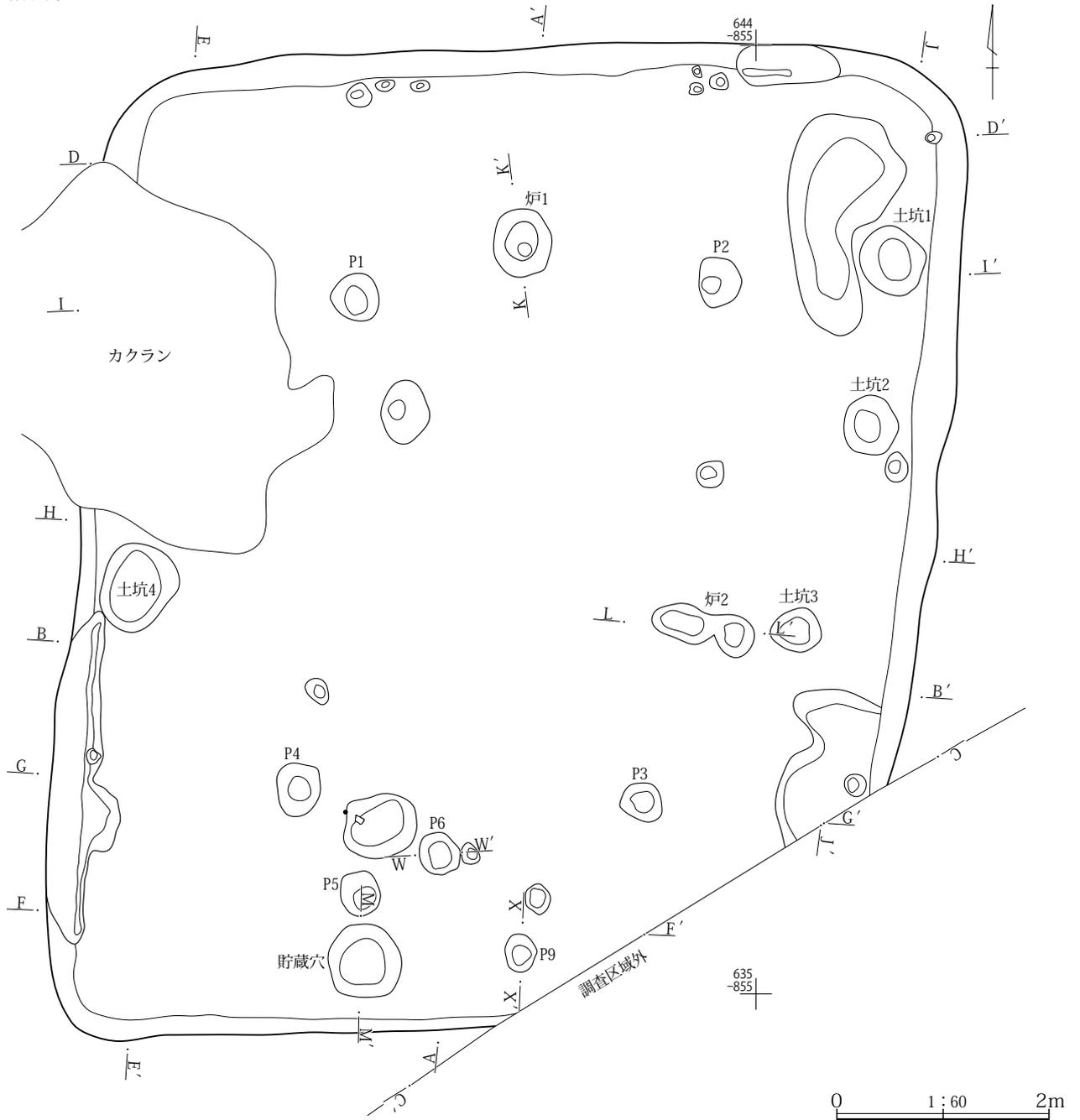
- 1 暗褐色土(10YR3/4) 締まりあり。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘質土。ややもろい。

第190図 鳴上I遺跡B区3面 518号住居断面(1)

は小型甕が出土している。 炉：住居北部中央部分及び住居中央部東寄りに炉を 2 基確認した。双方共に焼土で広く覆われている。炉 1 では、炭化物が確認された。ただし、これらの焼土及び炭化物は、炉の燃焼によるものではなく、住居を焼却廃棄する際に由来するものであると考えられる。炉 1 は、暗褐色土で埋没しており、白色軽石を微量に含み、炭化物と焼土を多量に含む。締まり

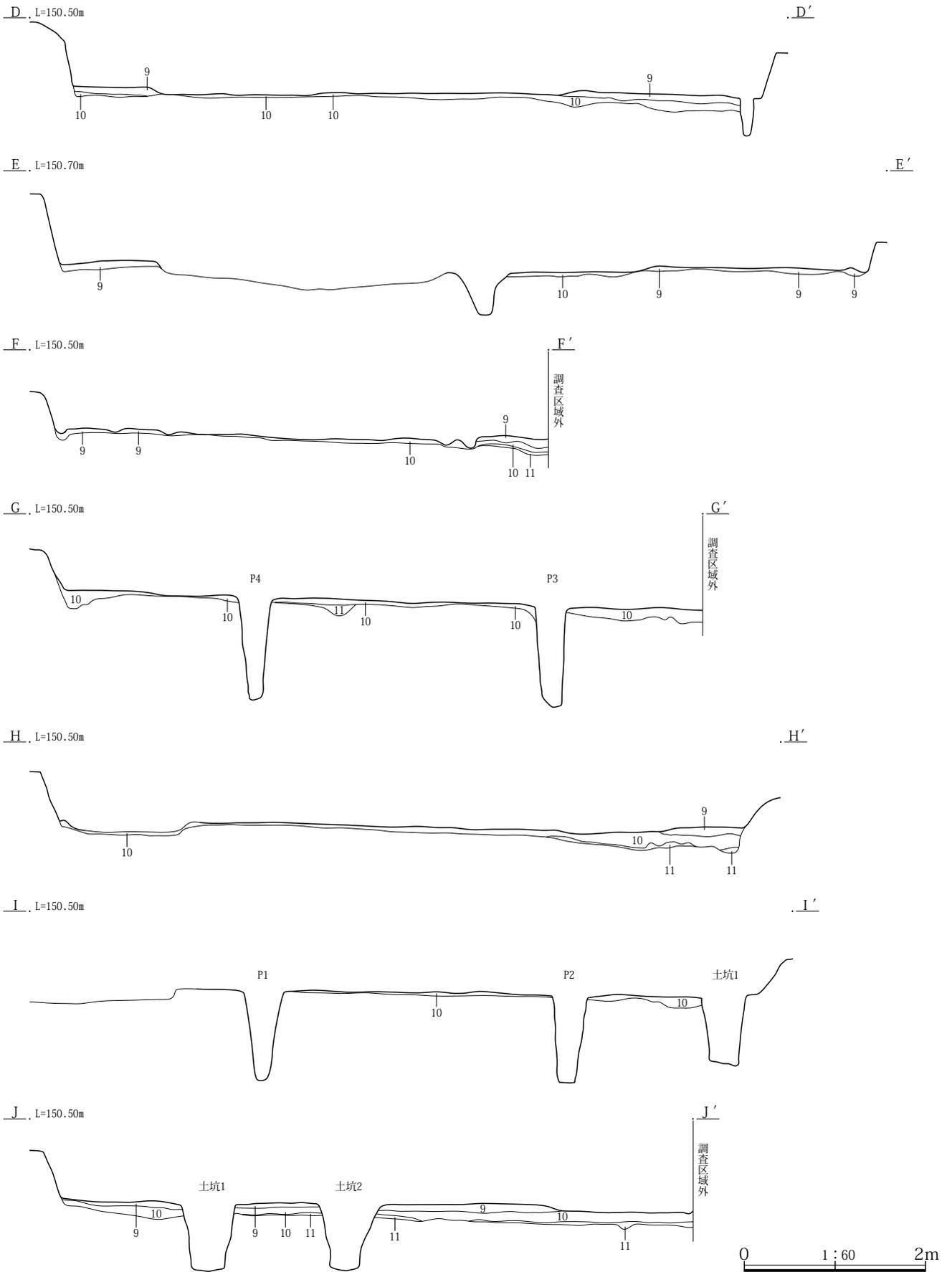
が強く、粘性がある。中央西よりに枕石と思われる礫が確認される。規模は長径84cm、短径67cm、深さ 5 cm である。掘り方は、確認でき、埋没土は焼土化している。炉 2 は、掘り込みが東西 2 か所ある。西は、暗褐色土で埋没しており、白色軽石を微量に含み、焼土を多量に含む。締まりが強く粘性がある。東は、暗褐色土で埋没しており、白色軽石を微量に含み、炭化物と焼土を多量に

掘り方



第191図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 518号住居掘り方

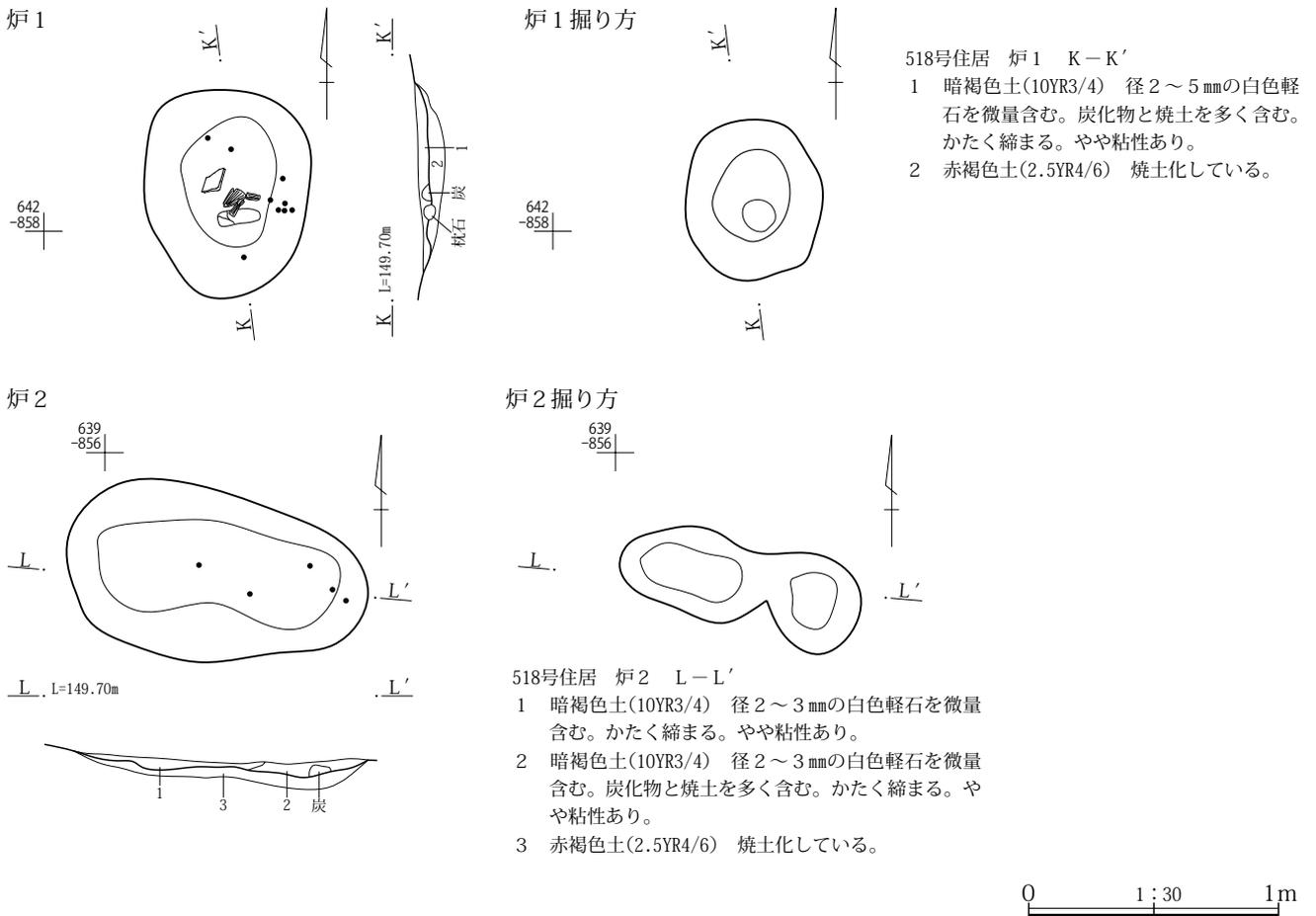
第5章 縄文時代～弥生時代(3面)の遺構と遺物



第192図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 518 号住居断面(2)

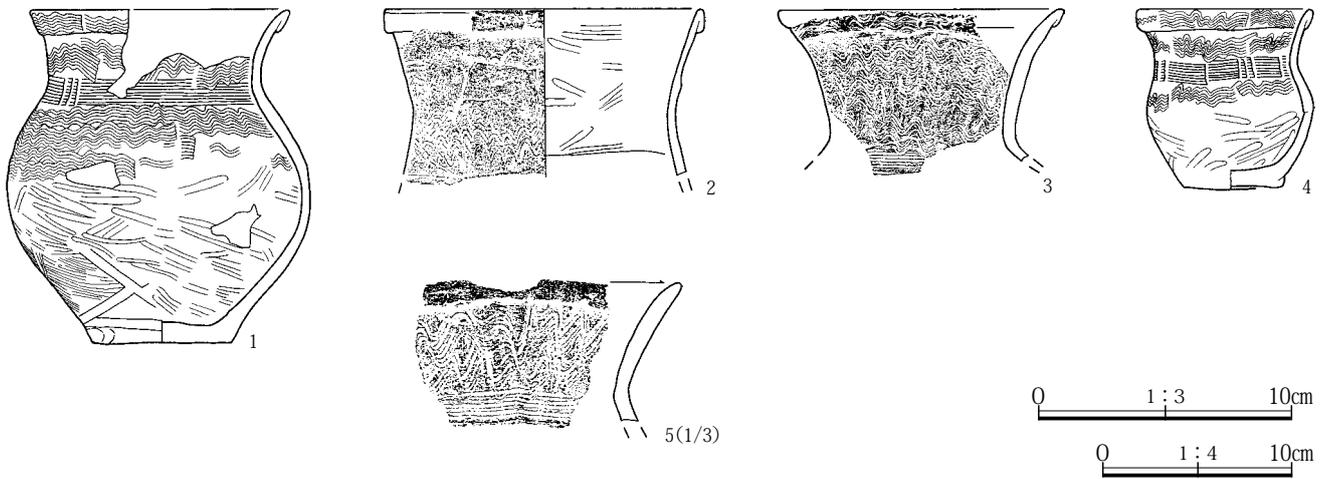
含む。締まりが強く粘性がある。炉 1 に準じた埋没土である。2つの掘り込みの間に土器片が観察される。規模は長径122cm、短径70cm、深さは掘り込みが2か所あり、東の掘り込みが6cm、西の掘り込みが5cmである。掘り方は、掘り込みに沿って東西に確認できた。埋没土は焼土化している。 **重複遺構**：686号ピット(2面)、512号住居(2面)より古い。512号住居との切り合いはなしか。 **遺物**：弥生土器21点(甕5点、小型甕1点、台付甕5点、小型台付甕3点、壺2点、小型壺1点、鉢1点、器台1点、片口1点、紡輪1点)、土師器2点(器台2点)、須恵器1点(蓋)、鉄製品1点を図示した。住居全体から散見するように多量の遺物が出土した。埋没土及び床上35cmまでの高い位置からの出土遺物が多く、住居廃絶時に投棄されたような状態であったと思われる。甕(1)は床上16cm、甕(2)は床上6・9cm、甕(6)は床上20・35cm、台付甕(14)は床上11cm、壺(15)は床上16cm、鉢(18)は床上33cm、小型甕(4)は土坑4床上30cm、紡輪(21)はベッ

ド状遺構床上7cm浮いた位置から出土しており、甕(3・5)、台付甕(10・11・12・13)、小型台付甕(7・8・9)、壺(16)、弥生器台(20)、片口(19)は住居埋没土から、小型壺(17)は住居埋没土及び貯蔵穴埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。蓋(22)、土師器器台(23・24)は埋没土から、鉄製品(25)は南西隅ベッド状遺構の東溝床直上からの出土である。ただし、器台は4世紀代、蓋は9世紀代と比定され、これらの遺物は上層からの混入であると考えられる。図示した以外に、弥生土器(弥生後期後半267片3254.1g)、縄文土器(勝坂式3片47.9g、阿玉台式1片12g)、及び上層からの混入である土師器(甕類8片)、須恵器(杯類2片)、鉄製品(1点)が出土している。 **所見(帰属時期)**：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。

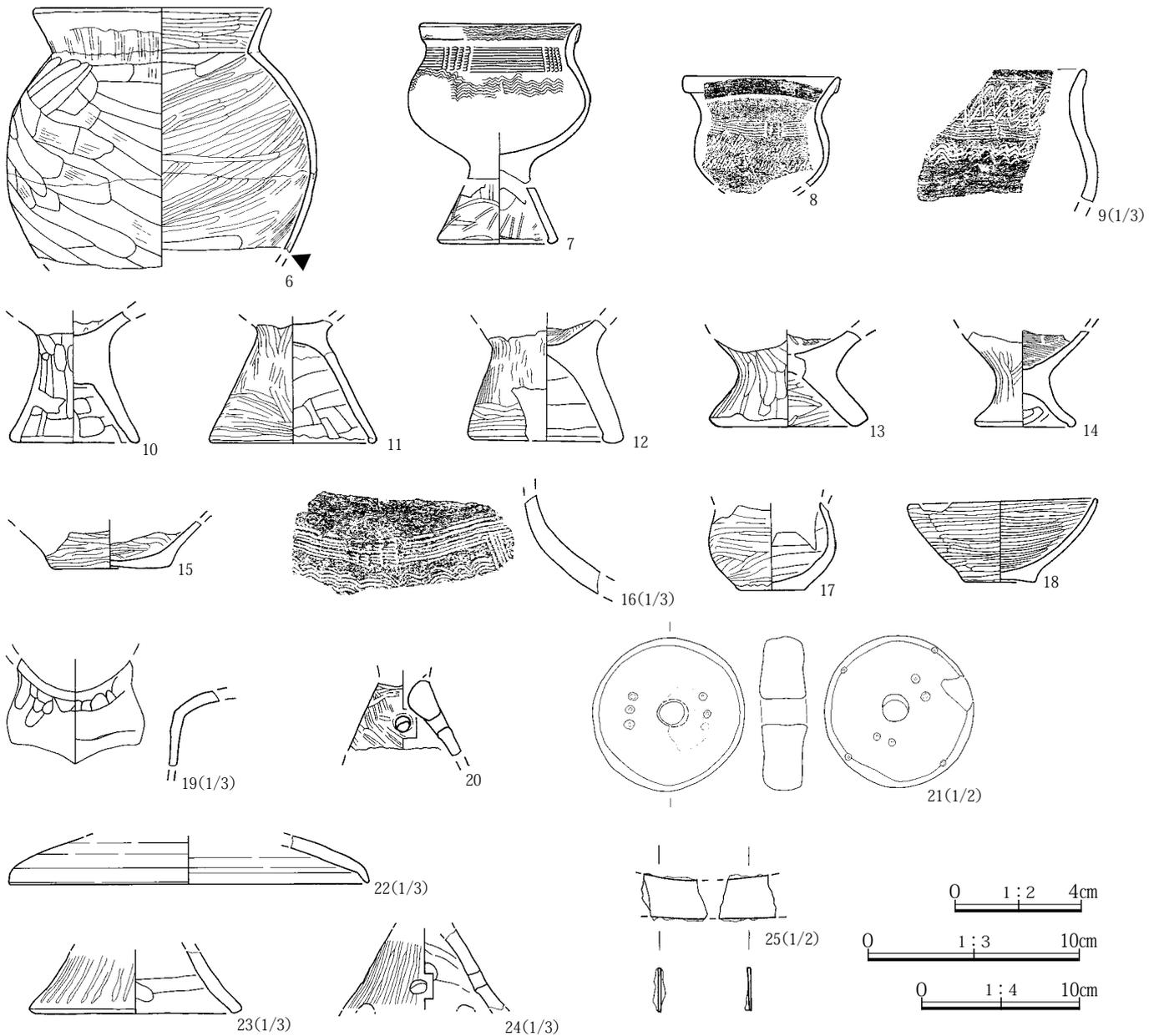


第193図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 518号住居炉

炭化物分布図



第194図 鳴上 I 遺跡 B区 3面 518号住居出土遺物(1)



第195図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 518号住居出土遺物(2)

519号住居(第196図 PL.70)

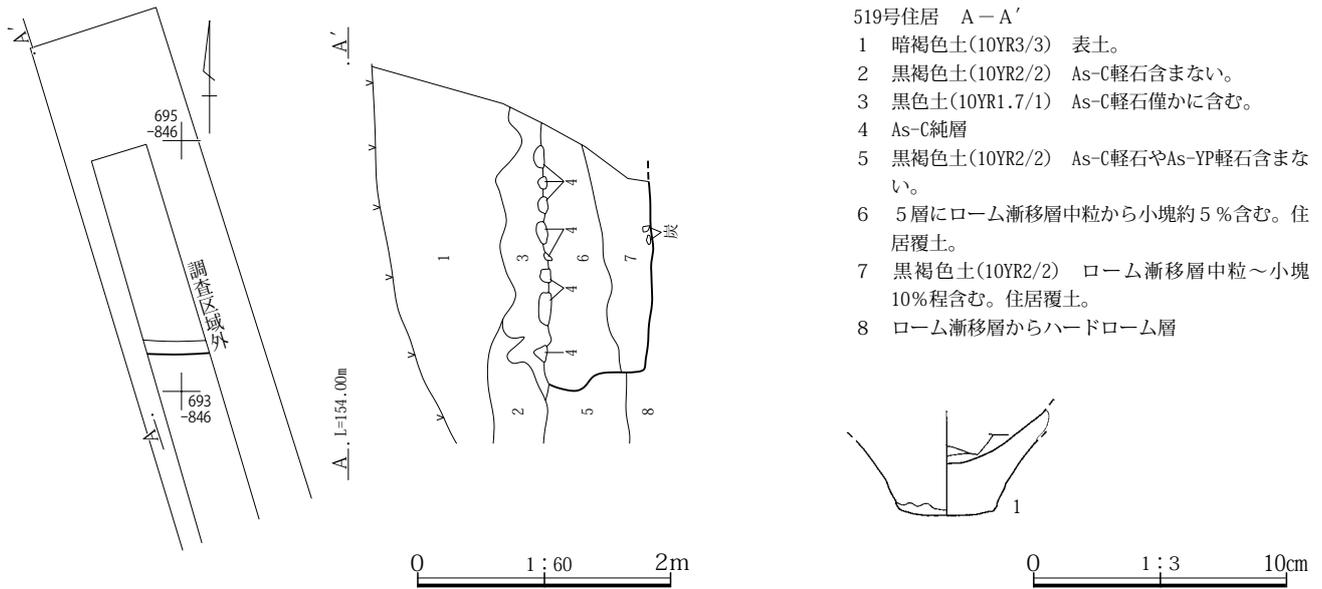
調査区北東部隅の引き込み線内にある。残存状態は良好でない。

位置：693～695・-846～-846にある。

規模形状：主軸長不明、幅不明である。南辺はやや外側に張り出していると推察される。形状は不明である。

埋没土・壁：ロームブロックを含む黒褐色土で埋没している。人為的な埋め戻しか自然堆積か明瞭でない。壁高は0.15mである。方位：不明。面積：(0.72)m² 床面：若干の起伏を伴うがほぼ平坦である。床直上に炭が確認される。ベッド状遺構の高まりは認められない。掘り

方：認められない。壁溝：認められない。ピット(柱穴)：認められない。貯蔵穴：認められない。土坑：認められない。炉：認められない。重複遺構：なし。遺物：土師器1点を図示した。鉢(1)は埋没土からの出土であった。非掲載遺物として、土師器2片(甕類1片、杯類1片)、須恵器2片(甕類)が出土した。いずれも、上層からの流入であると思われる。所見(帰属時期)：As-C純層下埋没土及び周囲遺構の検出状況から、同調査区で確認された後期の住居と同時期に相当すると推察される。



第196図 嶋上 I 遺跡 B 区 3 面 519号住居

521号住居(第197～199図 PL.70・71・87・88)

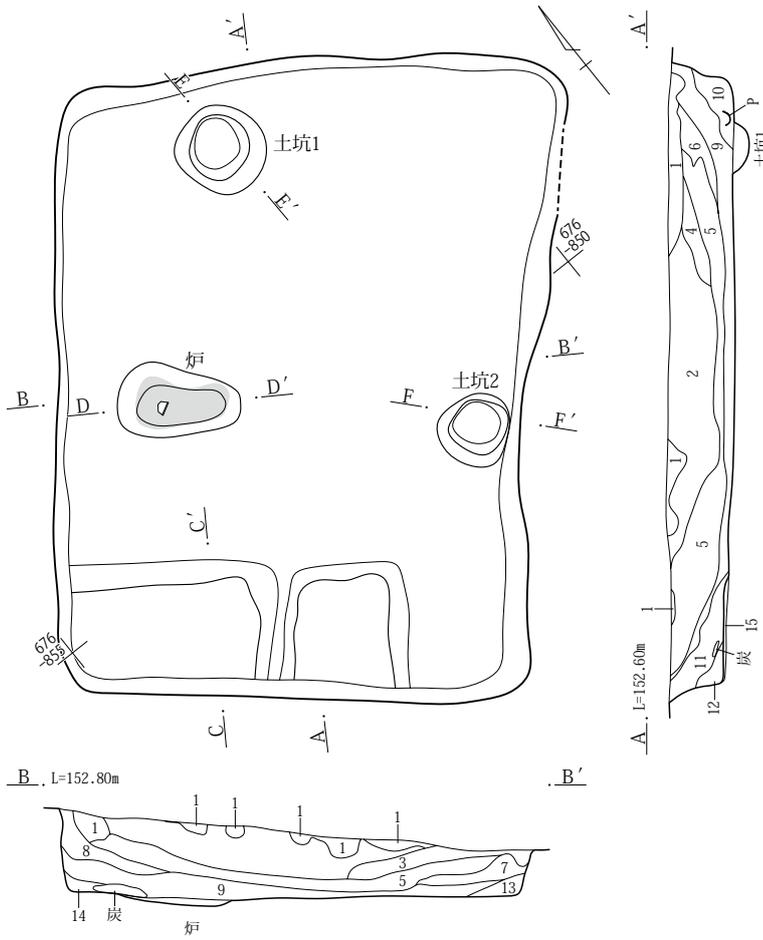
調査区北東部隅の住居群内にある。残存状態は良好である。

位置：673～679・-849～-855にある。

規模形状：主軸長5.12m、幅3.89mである。各辺歪んでいる。東辺は若干外側に張り出しており、南辺はやや内側に反っている。東西に長い長方形を呈している。埋没土・壁：ローム粒を含んだ黒褐色土の後As-C軽石層が堆積している。その後、As-C軽石を含む黒褐色土、暗褐色土、黒色土等で埋没している。自然堆積であると思われる。壁高は0.30～0.65mである。方位：N-39°-E 面積：17.01㎡ 床面：東に傾斜している。高低差は8cm程である。起伏はなく平坦である。南西隅及び南壁に並ぶようにしてベッド状遺構の高まりが確認できる。南西のベッド状遺構の高まりの規模は、南北148cm、東西74cm、高さ4～6cm程である。面積は1.04㎡である。南北に長い長方形を呈している。ローム粒を含む黄橙色土及び暗褐色土で構築されており、硬く締まっている。南壁中央のベッド状遺構の高まりの規模は、南北74cm、東西84cm、高さ2～4cm程である。面積は0.61㎡である。東西にやや長い長方形を呈している。ローム粒を含む暗褐色土で構築されている。住居南西部を中心に、炭化材が散見できる。北辺及び南西隅方向に向かって炭化材が検出されており、垂木及び袖壁が崩落した可能性が考え

られる。中央部に焼土の分布も複数確認され、焼失住居であると考えられる。掘り方：ほぼ全面に認められる。北隅、東辺中央、南隅に窪みを認める。埋没土は、不明である。壁溝：認められない。ピット(柱穴)：認められない。貯蔵穴：認められない。土坑：北東部に1基及び南東部に1基認められる。土坑1の規模は、長径71cm、短径66cm、深さ41cmである。埋没土は、暗褐色土及び黒褐色土で、ローム粒を含む。上面に若干炭化物を含む。土坑2の規模は、長径58cm、短径56cm、深さ48cmである。埋没土は、土坑1に準ずる。同時期に埋没したと考えられる。炉：住居中央やや北西寄りに位置する。燃烧部に焼土が認められた。炉の規模は、長径98cm、短径59cm、深さ7cm程である。暗褐色土及び赤褐色土で埋没しており、焼土粒、炭化物を多く含む。枕石として使用されたと思われる土器片が確認できた。掘り方は確認できなかった。重複遺構：なし。遺物：弥生土器9点(高杯1点、甕1点、小型甕1点、台付甕3点、壺1点、紡輪2点)、土師器1点(壺)、礫石器4点(磨石2点、凹石1点、磨製石斧1点)を図示した。住居北部及び中央部から西部にかけて、散見するように遺物が出土した。甕(1)、台付甕(2・3・4)、壺(6)、紡輪(9)は床直上からの出土であり、本住居に伴うものと考えられる。高杯(7)は床直上～床上7cmから、紡輪(8)は床上10cmからの出土であり、本住居に伴うと考えるのが自

4 鳴上 I 遺跡 B 区の遺構と遺物



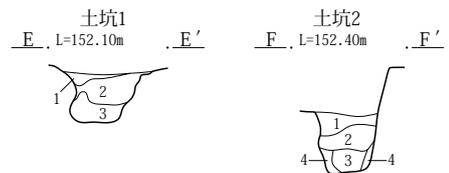
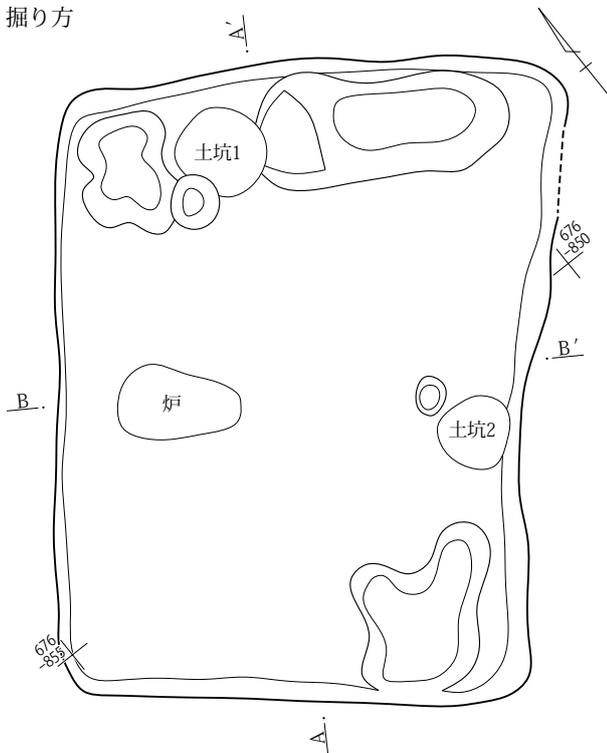
521号住居 A-A'・B-B'

- 1 褐色土(10YR4/4) 耕作土
- 2 黒色土(10YR2/1) As-C軽石多量含む。濃い色調。締まりあり。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) As-C軽石多量含む。黒色土少量含む。淡い色調。
- 4 黒褐色土(10YR3/2) As-C軽石多量含む。黒色土粒少量含む。淡い色調。
- 5 As-C軽石層
- 6 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土粒、黄橙色ローム土少量含む。淡い色調。
- 7 暗褐色土(10YR3/4) 黄橙色ローム粒多量含む。淡い色調。
- 8 黄橙色土(10YR8/6) 黄橙色ローム粒多量含む。淡い色調。7層に類似。
- 9 黒褐色土(10YR3/2) 黒色土、黄橙色ローム粒少量含む。淡い色調。
- 10 暗褐色土(10YR3/4) 黄橙色ローム粒僅かに含む。淡い色調。
- 11 黄橙色土(10YR8/6) 黄橙色ロームブロック・粒多量含む。淡い色調。
- 12 黒褐色土(10YR3/1) 黒色土少量、黄橙色ローム粒僅かに含む。淡い色調。
- 13 10層と類似 明るい色調。
- 14 12層と類似 黄橙色ロームブロック含む。
- 15 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒少量含む。

521号住居 C-C'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 黄橙色ローム粒少量含む。硬く締まっている。
- 2 黄橙色土(10YR8/6) 暗褐色土粒少量、黄橙色ローム粒多量含む。淡い色調。

掘り方

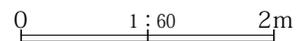


521号住居 土坑1 E-E'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 黄橙色ローム粒、炭化物僅かに含む。淡い色調。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 黄橙色ローム粒少量含む。濃い色調。
- 3 黒褐色土(10YR3/2) 黄橙色ローム粒僅かに含む。淡い色調。

521号住居 土坑2 F-F'

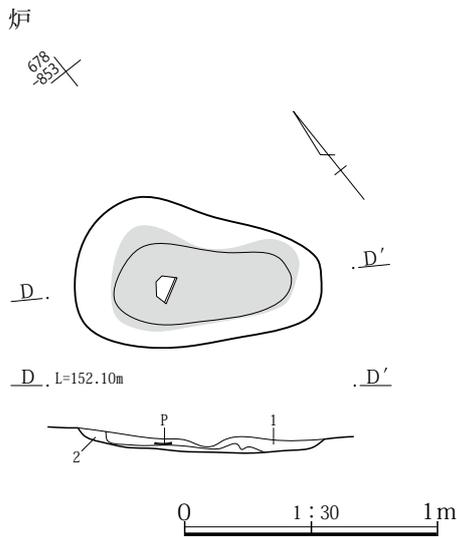
- 1 暗褐色土(10YR3/4) 黄橙色ローム粒、焼土細粒、炭化物僅かに含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 黄橙色ローム粒少量含む。濃い色調。
- 3 黒褐色土(10YR3/1) 黄橙色ローム粒僅かに含む。濃い色調。
- 4 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒僅かに含む。淡い色調。



第197図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 521号住居

然である。また、紡輪(8)には片面に五芒星状の篋描きが施してある。小型甕(5)は埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。小型甕(5)は内面口唇下7mmに糊埋め込み痕がある。土師器壺(10)は床上16cmからの出土であり、上層からの流入であると思われる。また、磨石(11・12)、凹石(13)が床直上から、磨

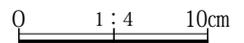
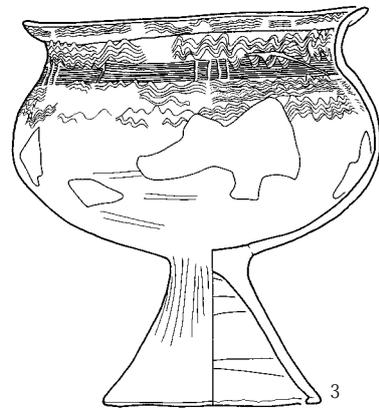
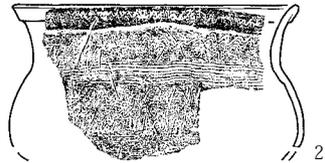
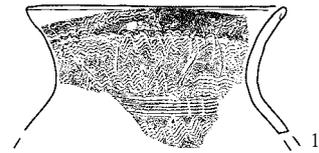
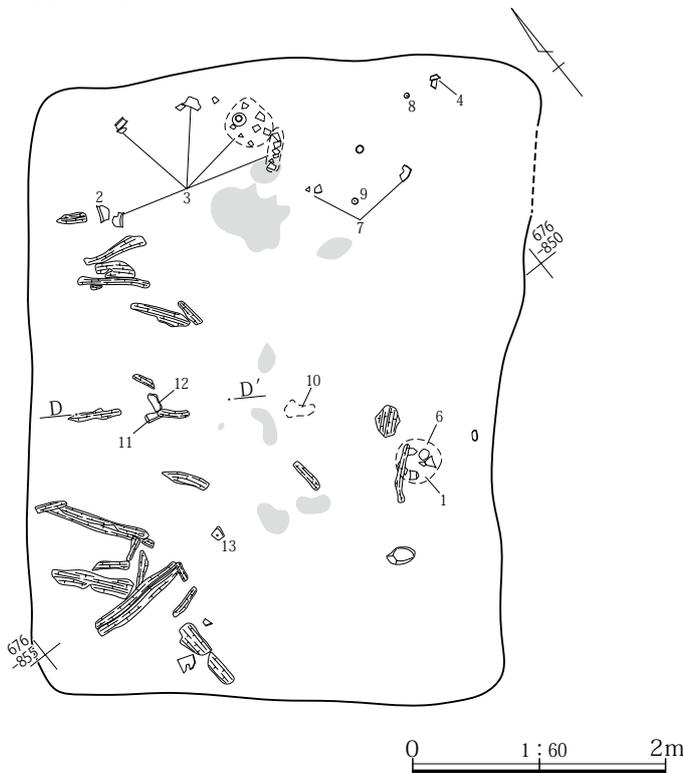
製石斧(14)が埋没土から出土した。図示した以外に、弥生土器、弥生後期が50片(甕14片、杯類6片、壺甕類30片)、縄文土器、加曾利E 3が1片出土している。 **所見(帰属時期)**：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。



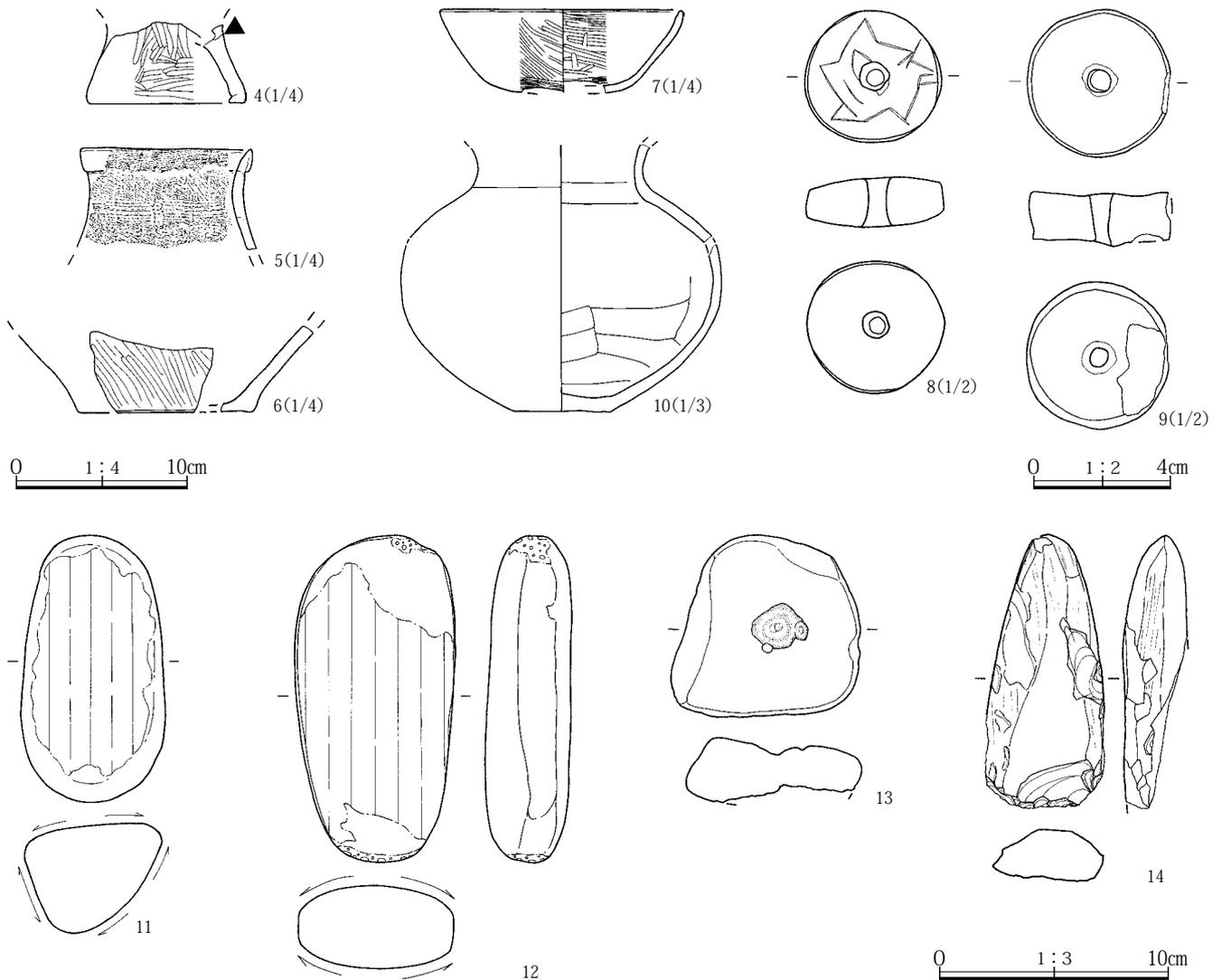
521号住居 炉 D-D'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 焼土細粒、炭化物僅かに含む。
- 2 赤褐色土(5YR4/8) 焼土多量、暗褐色土粒僅かに含む。

遺物と炭化物分布図



第198図 鳴上I遺跡B区3面 521号住居炉、出土遺物(1)



第199図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 521号住居出土遺物(2)

522号住居(第200～203図 PL.71・72・88)

調査区中央北寄りの住居群内にある。残存状態は良好である。

位置：647～653・-877～-883にある。

規模形状：主軸長5.78m、幅4.55mである。各辺直線的で、若干外側に張り出している。東西に長い長方形を呈している。 **埋没土・壁**：ローム粒を含む暗褐色土の上にAs-C軽石が堆積している。その後As-C軽石を含む黒褐色土及び暗褐色土が堆積している。レンズ状に堆積しており、自然埋没であると思われる。住居西部に人為的な攪乱が見られる。壁高は0.20～0.99mである。 **方位**：N-64°-E **面積**：23.23㎡ **床面**：東に傾斜している。

高低差は12cm程である。若干の起伏を伴うがほぼ平坦である。西部床面は、貼床を施している。南東隅及び南西隅にベッド状遺構の高まりが確認できる。南東部のベッド状遺構高まりの規模は、南北82cm、東西164cm、高さ6～12cm程である。面積は1.30㎡である。長方形を呈している。ローム粒を含む灰黄褐色土で構築されており、硬く締まっている。南西部のベッド状遺構高まりの規模は、南北62cm、東西168cm、高さ6～12cm程である。面積は0.98㎡である。長方形を呈している。ローム粒を含む黒褐色土及び黄橙色土で構築されており、硬く締まっている。住居全体に、多量の炭化材が散見できる。柱穴周りに集中しており、特にP 1～2・3間の炭化材は桁

材が、及びP 2・3～6間の炭化材は梁材が崩落したものであると推察される。その周辺の炭化材は垂木が崩落したものであると考えられる。中央部には炭が広く分布しており、囲むように焼土が見られる。焼失住居であると考え **掘り方**：西部を中心に確認できる。貼床を施している。埋没土は、ロームを含む黄橙色土である。深さは4～5cm前後である。 **壁溝**：認められない。 **ピット(柱穴)**：8基を確認した。位置、規模及び深さより、P 1・3・6・7が、規則的な支柱穴配置による柱穴であると思われる。P 2はP 3に、P 8はP 7にそれぞれ付随する掘り込みである。P 4・5は、出入口施設に関わるものであると考える。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

(長径×短径×深さcm)

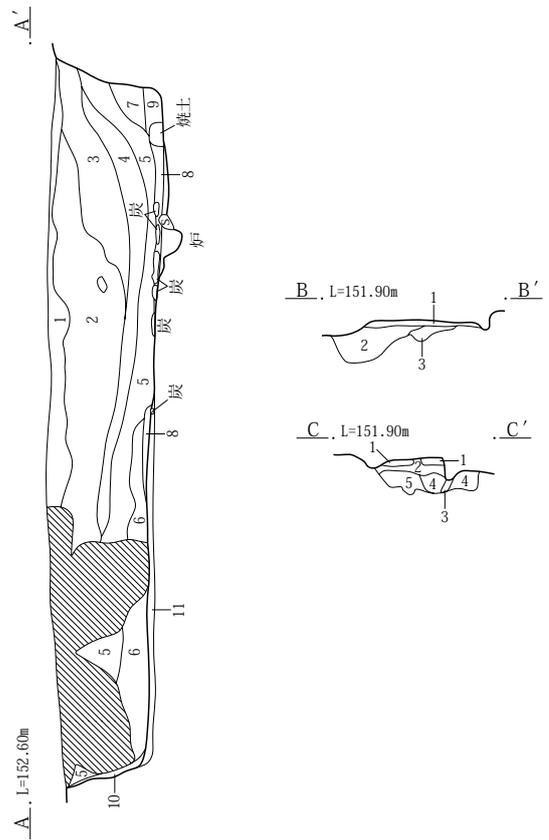
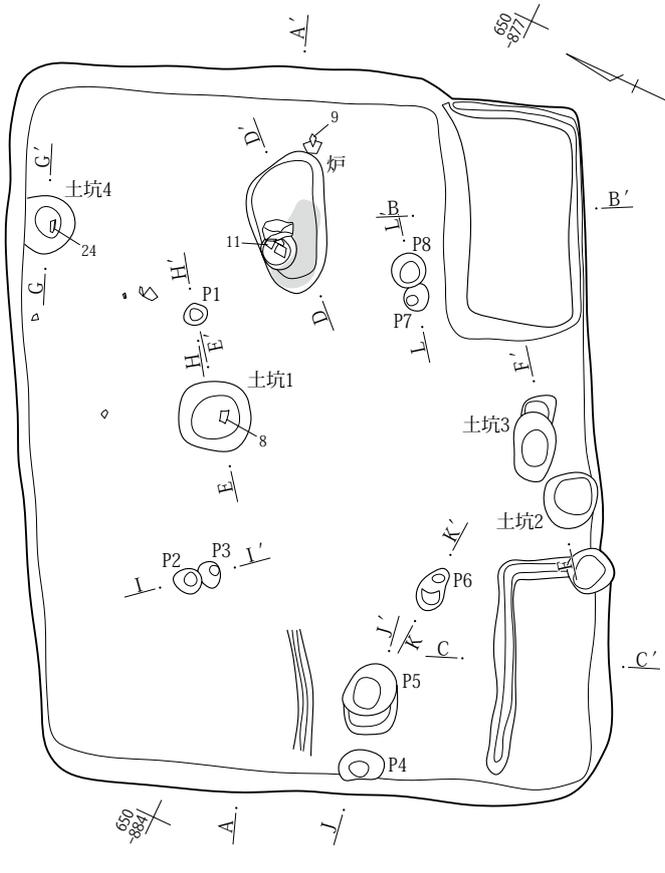
P 1	19×18×29	P 2	22×21×14
P 3	21×17×36	P 4	36×24×18
P 5	56×43×36	P 6	36×24×26
P 7	24×20×47	P 8	28×27×9

P 1・3・6・7は、黒色土、黄橙色ローム粒及び炭化物を含んだ暗褐色土で埋没している。P 2・8もそれに準ずる。P 4・5は、黒色土、黄橙色ローム粒及び炭化物、焼土粒を含んだ暗褐色土で埋没している。どれも埋没土が類似しており、同時期に埋没したと思われる。

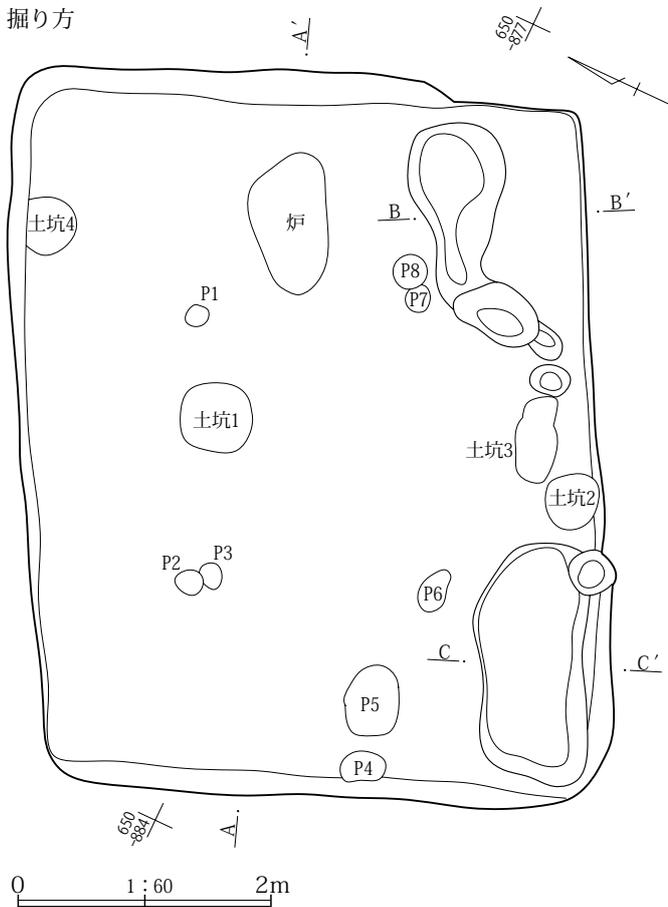
貯蔵穴：認められない。 **土坑**：4基を確認した。土坑1は、中央北部に位置する。規模は、長径58cm、短径56cm、深さ52cmである。暗褐色土で埋没しており、上面は焼土粒と炭化物を含む。土坑2・3は、南壁中央直下に位置している。土坑2の規模は、長径44cm、短径43cm、深さ36cmである。土坑3の規模は、長径69cm、短径34cm、深さ16cmである。双方とも、暗褐色土で埋没しており、上面は焼土粒と炭化物を含む。土坑4は、北壁東より壁直下に位置している。規模は、長径46cm、短径(38)cm、深さ34cmである。埋没土は不明である。土坑1～3は、埋没土が類似しており、同時期の埋没であると考えられる。

炉：住居東部中央に位置する。燃焼部に焼土が確認された。規模は、長径114cm、短径62cm、深さ4cm程である。ローム粒、焼土粒、炭化物を含んだ橙色土主体で埋没している。上面に、黒褐色土、明褐色土、黄褐色土を伴う。枕石と思われる礫が確認できた。長さ24cm、幅18cm、厚さ不明である。掘り方は確認できなかった。 **重複遺構**：

なし。 **遺物**：弥生土器17点(高杯4点、甕7点、壺3点、瓢壺1点、器台1点、紡輪1点)、土師器2点(杯1点、甕1点)、須恵器5点(杯4点、椀1点)、石製品1点(火打石)、鉄製品1点を図示した。住居北部及び南部を中心に散見するように遺物が出土した。高杯(13・15)、甕(2・3・4)、壺(9)は床直上から、甕(11)は炉床直上から、瓢壺(8)は土坑1床直上から、高杯(12)はベッド状遺構床直上からの出土であり、本住居に伴うものであると考えられる。甕(1)は床直上及び埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであると考えるのが自然である。高杯(14)、甕(6・10)、壺(5)、器台(16)は埋没土から、壺(7)は床上20cmから、紡輪(17)は床上58cmからの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。ただし、紡輪(17)は、直径8.6cm、中孔直径1.0cm、厚さ3.0cm、重さ259.4gに及ぶ大きなものである。材質は土であり、形態は長方形から薄台形と考えられる。この時期における群馬県から出土した紡輪の傾向に矛盾しないものの、これ程大きな紡輪は県内では類例がない。本来の紡輪の機能は糸に撚りをかけるものであり、出土した紡輪は従来の紡輪からすると大きなものである。紡輪の形をした土製の模造品であると解釈できるが、一方で、より太い縄状の素材を扱った実用品である可能性も否定できない。あるいは、その他のものであるのか判断する資料にかけている。杯(24)は土坑4から、甕(23)、杯(18・19・20・21)、椀(22)は埋没土からの出土であった。これらの土器は上層からの流入であると思われる。また、火打石(25)、鉄製品(26)が埋没土から出土した。図示した以外に、弥生土器、弥生後期が231片(壺甕類128片、杯類15片、甕類83片、壺類5片)、縄文土器(関山Ⅱが1片、加曾利E 4が3片、加曾利B 2が4片、諸磯cが1片)出土している。 **所見(帰属時期)**：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。



掘り方



522号住居 A-A'

- 1 暗褐色(10YR3/3) 黒色土少量含む。濃い色調。
- 2 黒褐色(10YR3/1) 黒色土、As-C軽石多量含む。濃い色調。
- 3 黒褐色(10YR3/2) 黒色土、As-C軽石少量含む。淡い色調。
- 4 As-C軽石層
- 5 暗褐色土(10YR3/4) 黒色土僅かに含む。黄橙色ローム粒少量含む。淡い色調。
- 6 黄橙色土(10YR7/8) 黄橙色ロームブロック・粒多量含む。淡い色調。
- 7 暗褐色土(10YR3/4) 黄橙色ローム粒少量含む。淡い色調。
- 8 黄橙色土(10YR8/6) 黄橙色ローム粒多量含む。淡い色調。
- 9 黒褐色土(10YR3/2) 黒色土少量、黄橙色ローム粒僅かに含む。淡い色調。
- 10 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土僅か、黄橙色ローム粒少量含む。濃い色調。壁の崩れか。
- 11 黄橙色土(10YR8/6) 黄橙色ローム粒多量含む。淡い色調。貼床。

522号住居 B-B'

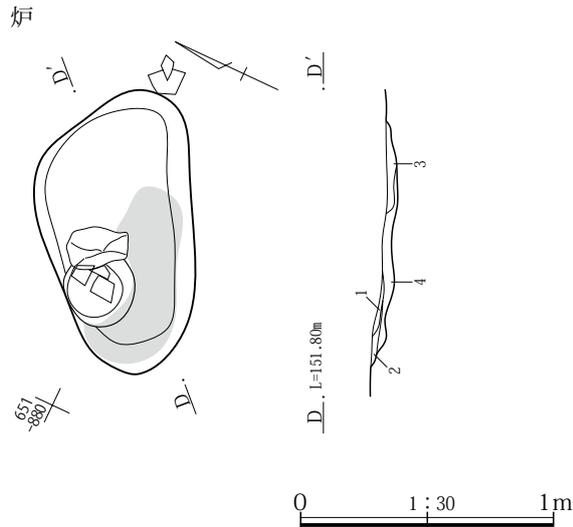
- 1 灰黄褐色土(10YR5/2) 黒色土粒少量、黄橙色ローム粒僅かに含む。硬く締まっている。
- 2 黄橙色土(10YR8/6) 黒色土粒、暗褐色土粒、黄橙色ローム粒少量含む。
- 3 灰黄褐色土(10YR5/2) 暗褐色土粒少量、黄橙色ローム粒多量含む。

522号住居 C-C'

- 1 黄橙色土(10YR8/6) 黒色土粒僅かに、黄橙色ローム土多量含む。硬く締まっている。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) 黒色土少量、黄橙色ローム粒僅かに含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) 黒色土粒、黄橙色ローム粒僅かに含む。
- 4 黄褐色土(10YR5/2) 黒色土粒、黄橙色ローム粒少量含む。
- 5 灰黄褐色土(10YR5/2) 黒色土粒少量、黄橙色ローム粒多量含む。

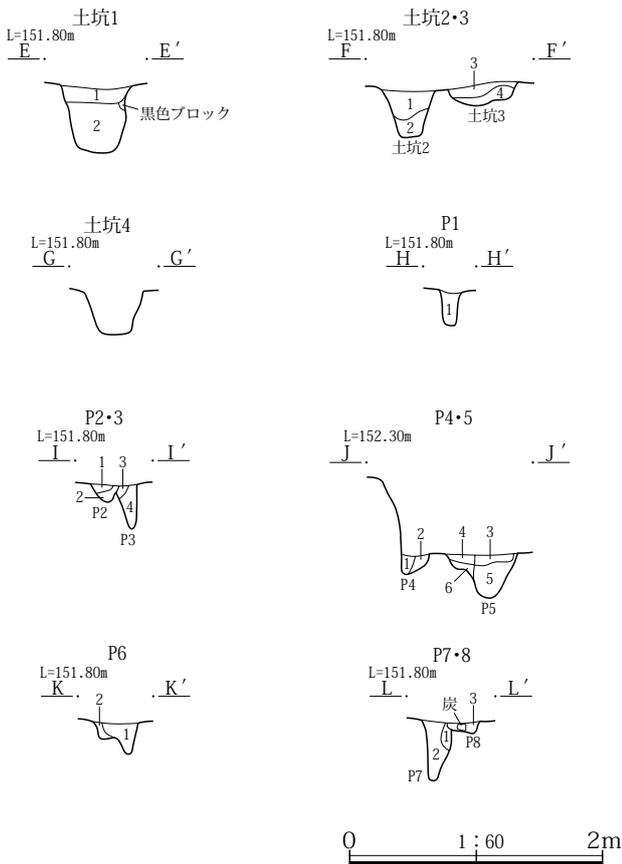
0 1:60 2m

第200図 嶋上 I 遺跡 B 区 3 面 522号住居



522号住居 炉 D-D'

- 1 黒褐色土(7.5YR3/1) 黒色土粒少量、焼土細粒、炭化物僅かに含む。
- 2 明褐色土(7.5YR5/6) 黒色土粒少量、焼土細粒、炭化物僅かに含む。
- 3 黄褐色土(10YR5/6) 黄橙色ローム粒僅かに含む。
- 4 橙色土(7.5YR6/6) 黒色土粒僅かに、黄橙色ローム粒、焼土細粒少量、炭化物僅かに含む。



522号住居 土坑 1 E-E'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 焼土細粒、炭化物僅かに含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土、黄橙色ローム粒僅かに含む。淡い色調。

522号住居 土坑 2・3 F-F'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 黒色土少量、焼土細粒、炭化物僅かに含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土僅かに、黄橙色ローム土少量含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) 焼土細粒、炭化物僅かに含む。
- 4 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土、黄橙色ローム粒僅かに含む。

522号住居 P 1 H-H'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 黒色土、黄橙色ローム粒、炭化物僅かに含む。

522号住居 P 2・3 I-I'

- 1 灰黄褐色土(10YR5/2) 黒色土粒少量、炭化物僅かに含む。やや粘性あり。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土、黄橙色ローム粒、炭化物僅かに含む。
- 3 灰黄褐色土(10YR5/2) 黒色土粒少量、炭化物僅かに含む。やや粘性あり。
- 4 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土、黄橙色ローム粒、炭化物僅かに含む。

522号住居 P 4・5 J-J'

- 1 褐灰色土(10YR5/1) 黒色土、黄橙色ローム粒、炭化物僅かに含む。やや粘性あり。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土僅かに、黄橙色ローム粒少量、炭化物僅かに含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) 黒色土、焼土細粒、炭化物僅かに含む。
- 4 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土、黄橙色ローム粒僅かに含む。淡い色調。
- 5 暗褐色土(10YR3/3) 黄橙色ローム粒僅かに含む。淡い色調。
- 6 黄橙色土(10YR8/6) 黄橙色ローム土多量含む。

522号住居 P 6 K-K'

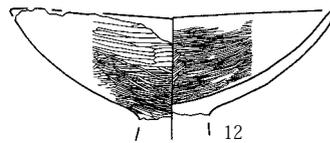
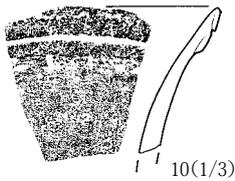
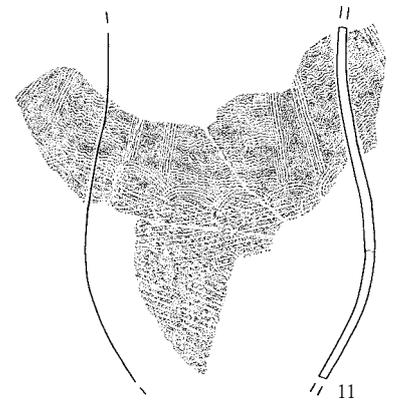
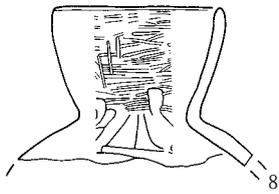
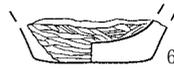
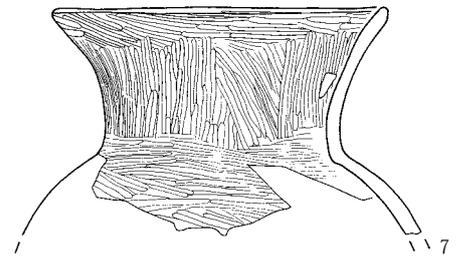
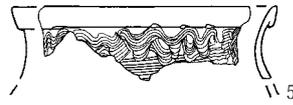
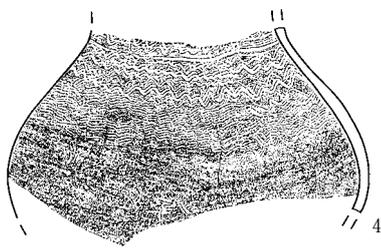
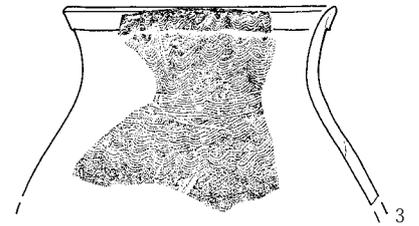
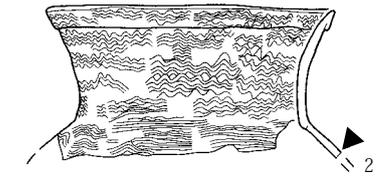
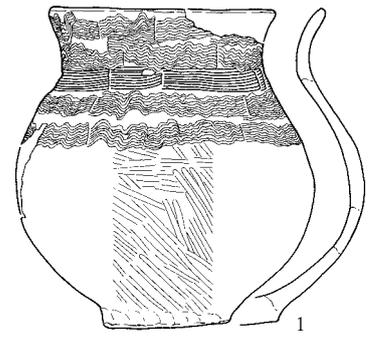
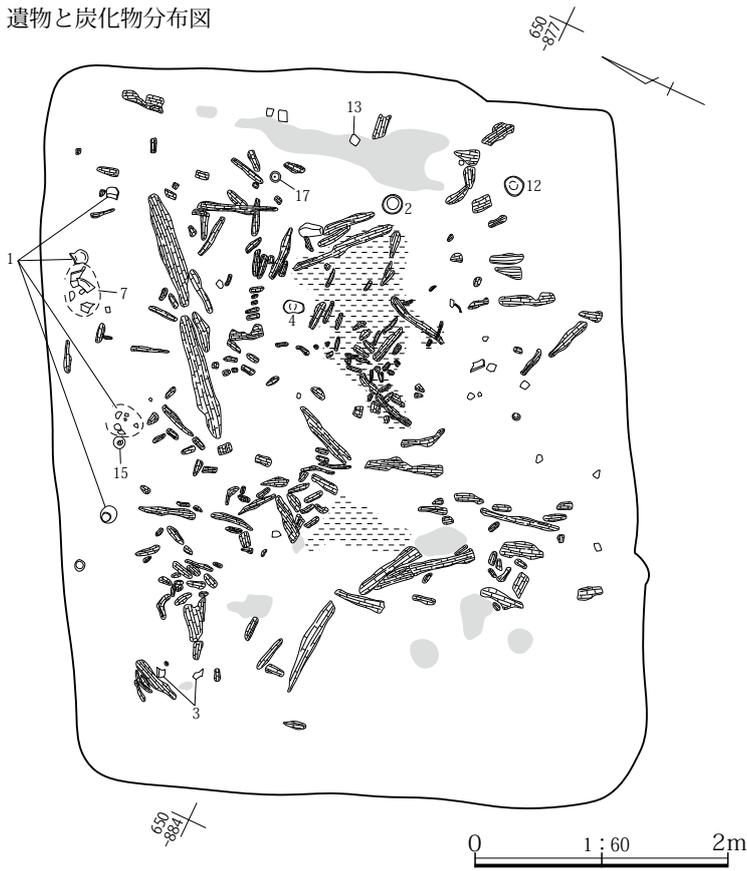
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土、黄橙色ローム粒僅かに含む。淡い色調。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) 黄橙色ローム粒少量含む。淡い色調。

522号住居 P 7・8 L-L'

- 1 黄橙色土(10YR8/6) 黄橙色ローム粒多量含む。淡い色調。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) 黒色土、黄橙色ローム粒僅かに含む。淡い色調。
- 3 黒褐色土(10YR2/2) 暗褐色土僅かに、炭化物多量含む。濃い色調。

第201図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 522号住居 炉、断面

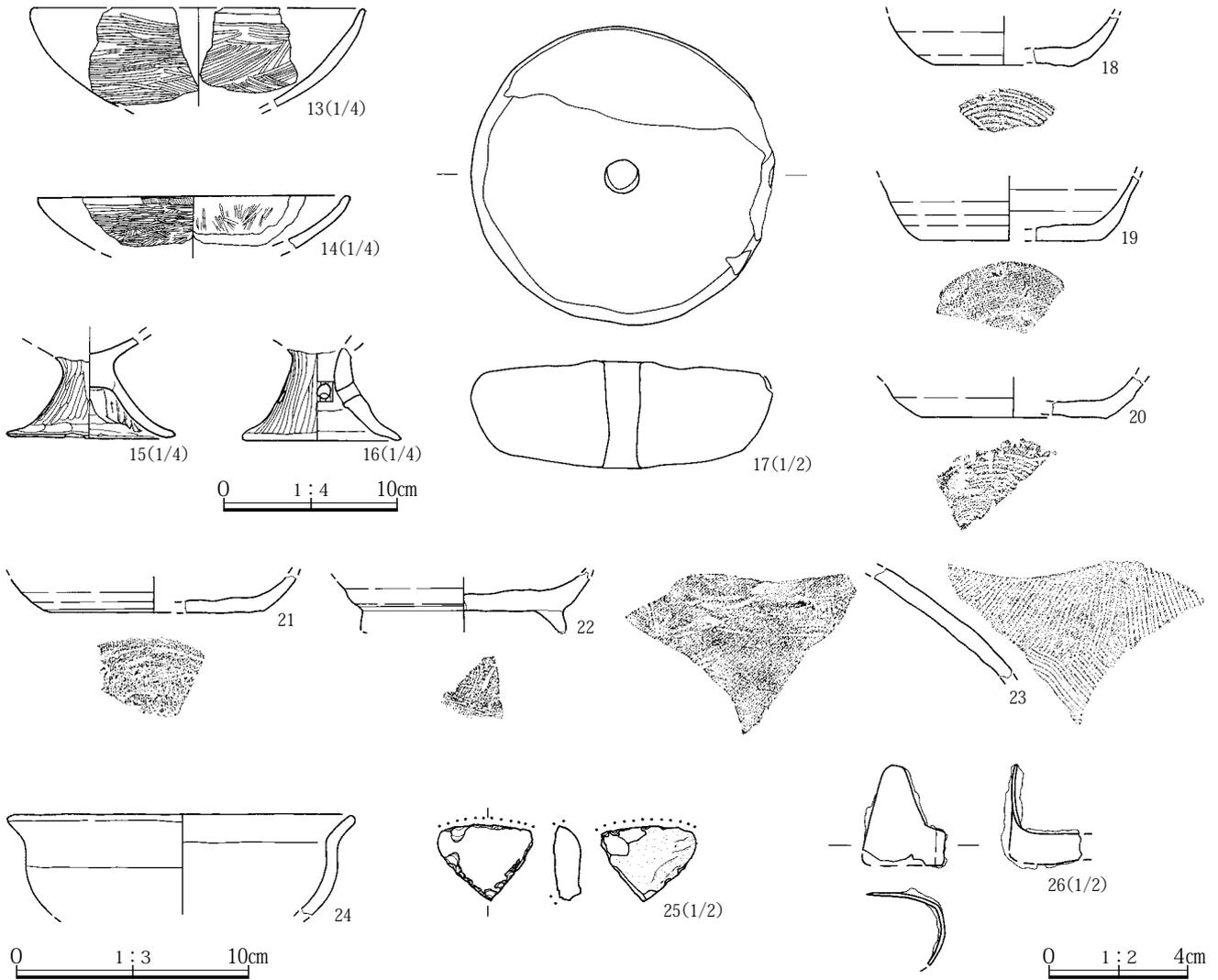
遺物と炭化物分布図



0 1:3 10cm

0 1:4 10cm

第202図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 522 号住居出土遺物(1)



第203図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 522号住居出土遺物(2)

524号住居(第204・205図 PL.72・88・89)

調査区北東部の住居群内にある。住居の中央部から東部にかけては調査区域外にある。調査範囲の残存状態は良好である。

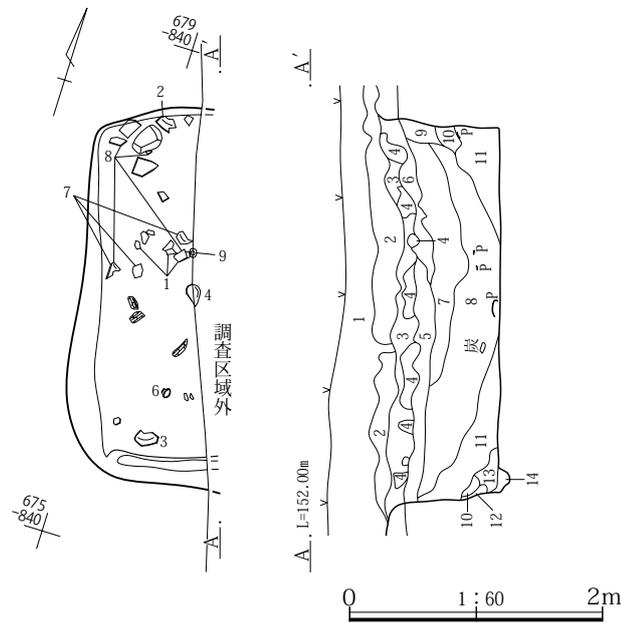
位置：675～678・-838～-840にある。

規模形状：主軸長3.00m、幅(1.07)mである。西辺・北辺は歪んで、若干外側に張り出している。形の整っていない方形を呈していると推察される。埋没土・壁：黒褐色土、暗褐色土、極暗褐色土等で埋没している。ローム粒を含む。壁際から埋没した後、レンズ状に埋没しており、自然堆積の可能性があると考えられる。壁高は0.60～0.87mである。方位：N-17°-W 面積：(2.06)m² 床面：南北方向は傾斜が認められない。東西方向の傾斜は不明である。若干の起伏を伴うがほぼ平坦

である。住居西壁際に炭化材が散見できる。焼失住居の可能性はある。掘り方：認められない。壁溝：南辺に確認できる。規模は、幅9～11cm、深さ12cm程である。埋没土は、黒褐色土とロームブロックの混土である。住居埋没土に準じている。ピット(柱穴)：認められない。貯蔵穴：認められない。土坑：認められない。炉：認められない。重複遺構：なし。遺物：弥生土器8点(甕5点、小型台付甕1点、壺2点)、土師器1点(壺)を図示した。住居西部が調査されており、そこから散見するように遺物が出土した。甕(3・4)、小型台付甕(6)は床直上からの出土であり、本住居に伴うものであると考えられる。甕(1)は床上16～33cmから、甕(2)は床上31cmから、壺(7)は床上20～45cmから、壺(8)は床上16～45cmから、甕(5)は埋没土からの出土であ

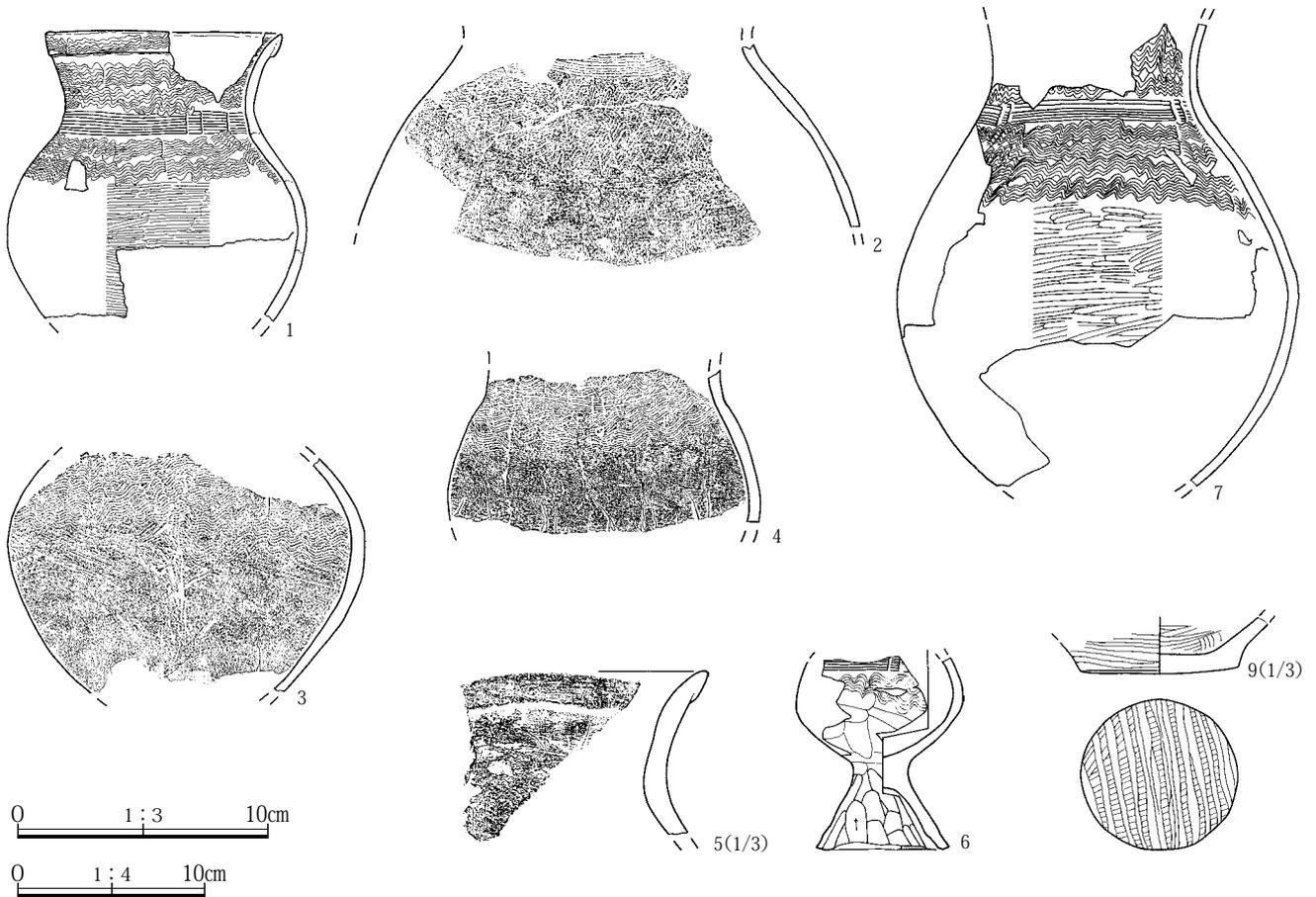
り、本住居に伴うものであるか明瞭でない。壺(9)は、床上15cmからの出土であり、上面からの流入であると思われる。図示した以外に、弥生土器(弥生後期21片)が出

土している。 所見(帰属時期):樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考え



524号住居 A-A'

- 1 表土層 As-C軽石含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) As-C軽石10%程含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/3) As-C軽石を主体とし、暗褐色土20%程含む。
- 4 As-C軽石純層
- 5 極暗褐色土(7.5YR2/3) 総社軽石僅かに含む。
- 6 5層にローム小粒不均質に5%程含む。
- 7 5層にローム中粒30%程含む。
- 8 暗褐色土(7.5YR3/3) 黒色土とローム小粒から小塊の不均質な混土。
- 9 黒褐色土(7.5YR2/2) 基本土層C黒下の崩落土。
- 10 黒色土(10YR1.7/1) 均質土。
- 11 黒褐色土(7.5YR3/2) ローム小粒から中粒均質に20%程含む。
- 12 ハードローム塊
- 13 黒褐色土(10YR2/3) 他の土が混じらない均質な土。
- 14 13層とローム小粒から中粒の混土層



第204図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 524号住居、出土遺物(1)



第205図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 524号住居出土遺物(2)

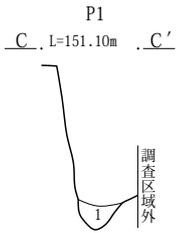
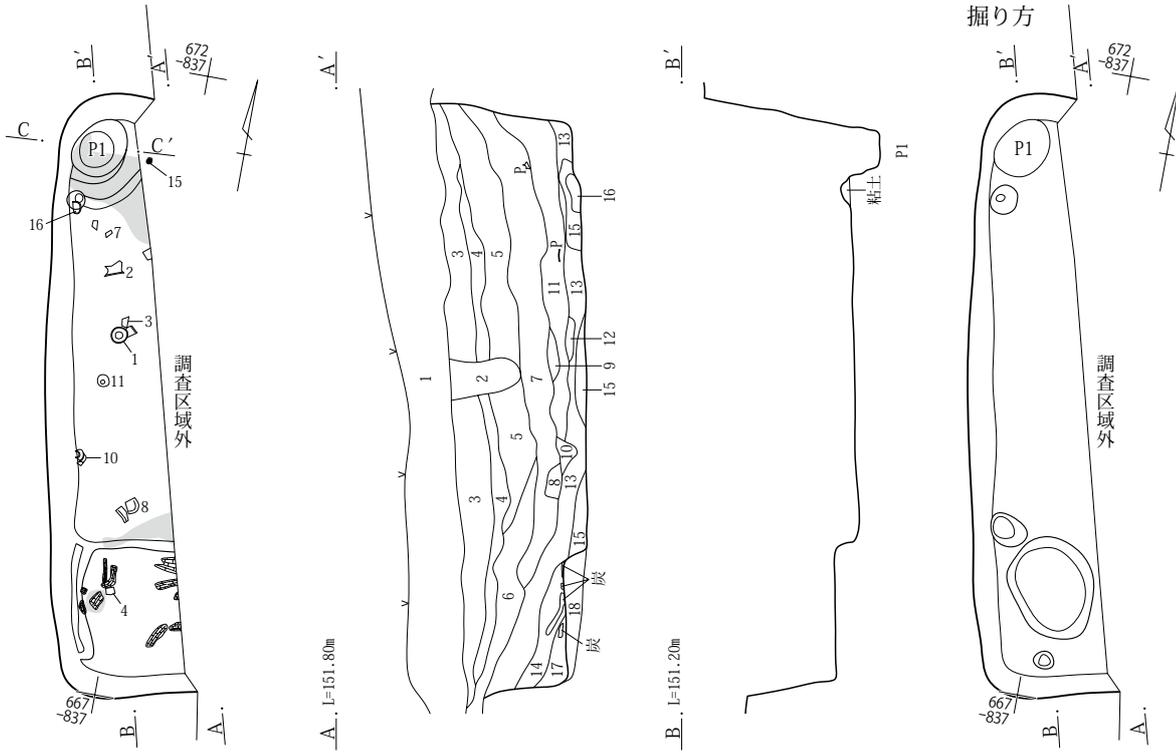
527号住居(第206・207図 PL.72・89)

調査区北東部の住居群内にある。住居の中央部から東部にかけては調査区域外にある。調査範囲の残存状態は良好である。

位置：666～671・-836～-838にある。

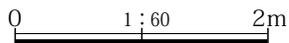
規模形状：主軸長4.80m、幅(0.86)mである。西辺は歪んで、若干外側に張り出している。整った方形を呈していると推察される。**埋没土・壁**：ローム粒を含んだ黒褐色土が壁際から埋没した後、にぶい黄褐色土及び黄橙色土がレンズ状に堆積している。As-C軽石の層が堆積した後、締めりのある黒色土が埋没している。廃棄後自然堆積で埋没したと考えられる。壁高は0.65～1.09mである。**方位**：N-10°-W **面積**：(3.01)m² **床面**：南北方向は傾斜が認められない。東西方向の傾斜は不明である。若干の起伏を伴うがほぼ平坦であり、壁際がやや高い。南西隅にベッド状遺構の高まりが確認できる。高まりの規模は、南北104cm、東西(72)cm、高さ16～18cm程である。面積は(0.72)m²である。東西に長い長方形を呈していると推察される。ローム主体の黄橙色土で構築されている。また、ベッド状遺構上には、炭化材が散見できる。位置より垂木が崩落したもとであると推察される。垂木の周囲と北西隅には焼土も確認され、焼失住居の可能性がある。**掘り方**：ほぼ全面に認められる。特にベッド状遺構の下層には、土坑状の掘り込みが確認できる。埋没土及び深さは、不明である。**壁溝**：認められない。**ピット(柱穴)**：1基を確認した。P1の規模は、長径49cm、短径38cm、深さ21cmである。埋没土は、

粘性のあるにぶい黄褐色土である。P1は、周囲を粘土で周堤状に囲われていた。貯蔵穴及び土坑の可能性が否定できないが、本来の掘削意図を明瞭にすることはできなかった。**貯蔵穴**：認められない。**土坑**：認められない。**炉**：認められない。**重複遺構**：525号住居(2面)、508号土坑(2面)に前出している。切り合いはない。**遺物**：弥生土器14点(高杯2点、甕4点、小型甕1点、壺2点、小型壺1点、器台2点、蓋1点、紡輪1点)、土師器2点(高杯1点、甕1点)を図示した。住居西部が調査されており、そこから散見するように遺物が出土した。甕(1・2・3)、壺(7)、器台(11)は床直上から、甕(4)はベッド状遺構床直上からの出土であり、本住居に伴うものであると考えられる。高杯(10)は床上8cmから、蓋(13)はP1埋没土から、壺(8)は床直上及び埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであると考えられるのが自然である。小型甕(5)は表土から、高杯(9)、小型壺(6)、器台(12)、紡輪(14)は埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。高杯(15)は床上36cm、甕(16)は床上35cmからの出土であり、上層からの流入であると思われる。図示した以外に、弥生土器、弥生後期が78片(高杯3片、甕23片、壺・甕52片)、表土から弥生土器、弥生後期が22片(壺・甕9片、甕13片)出土している。また、須恵器1片(甕類)が出土しているが、上層からの流入であると思われる。**所見(帰属時期)**：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。



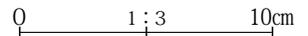
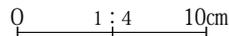
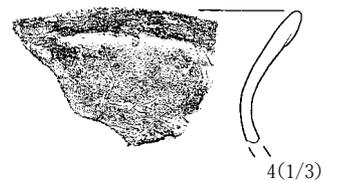
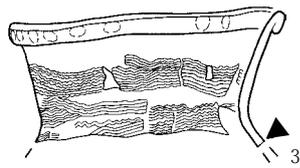
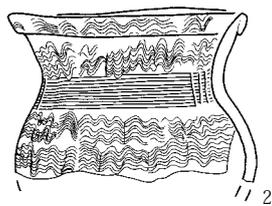
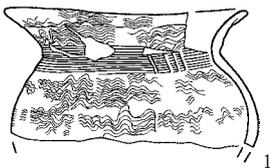
527号住居 P1 C-C'

1 にぶい黄褐色土(10YR7/4) やや粘性が強い。濃い色調。

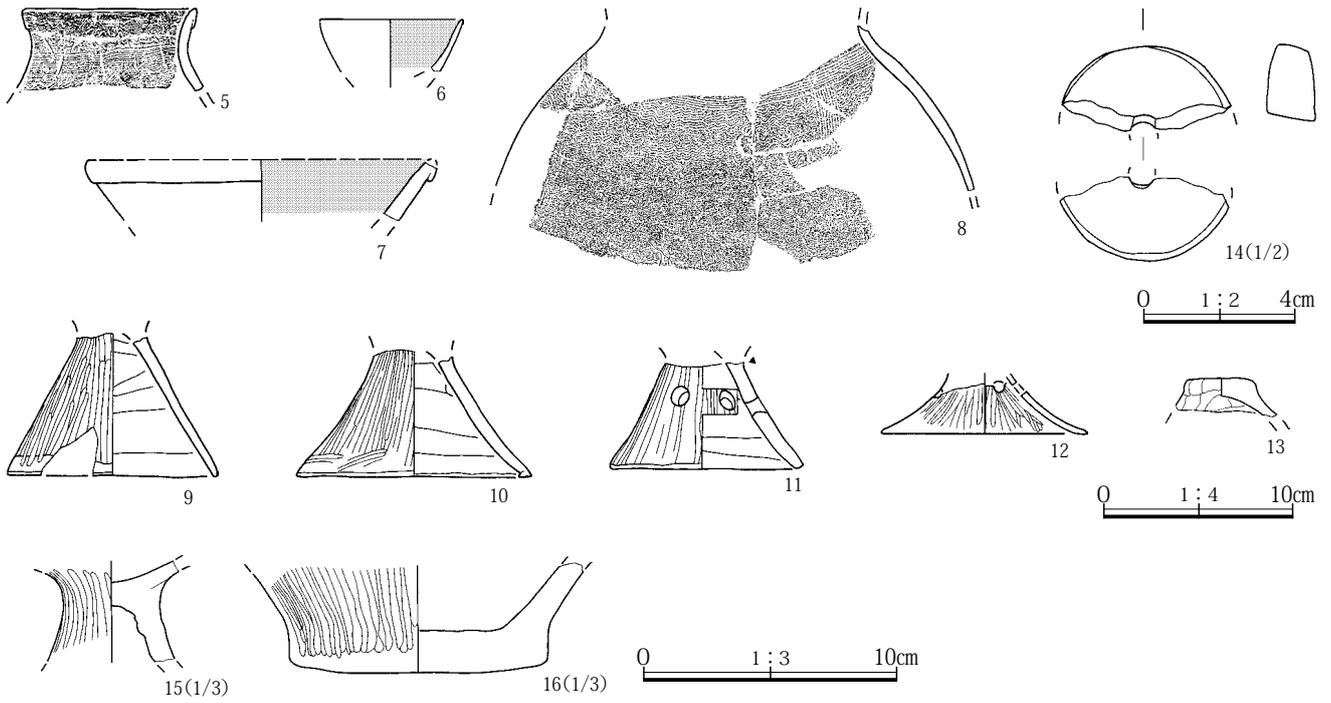


527号住居 A-A'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 表土：耕作土であり、As-A軽石、As-B軽石などや砂粒を多量含み、締まり弱い。淡い色調。
- 2 褐灰色土(7.5YR6/1) 淡い色調。ピット状の攪乱。
- 3 黒色土(10YR2/1) As-C軽石(4世紀初頭)を含む。締まりあり。
- 4 As-C軽石層
- 5 にぶい黄褐色土(10YR5/3) 黄橙色ローム粒僅かに含む。濃い色調。
- 6 暗褐色土(10YR3/4) 黄橙色ローム粒少量含む。淡い色調。
- 7 黄褐色土(10YR8/6) 黄橙色ロームブロック・粒多量含む。淡い色調。
- 8 黒褐色土(10YR3/1) 黒色土多量、黄橙色ローム粒僅かに含む。濃い色調。
- 9 黒褐色土(10YR3/2) 黒色土少量、黄橙色ローム粒僅かに含む。淡い色調。
- 10 赤褐色土(5YR4/6) 焼土粒、炭化物僅かに含む。淡い色調。
- 11 黄褐色土(10YR8/6) 黄橙色ロームブロック・粒多量含む。淡い色調。7層に類似、
- 12 黒褐色土(10YR2/3) 10層に類似するが、やや淡い色調。
- 13 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 黄橙色ローム粒僅かに含む。やや粘性が強い。濃い色調。
- 14 黄褐色土(10YR8/6) 黄橙色ローム粒、炭化物少量含む。淡い色調。
- 15 赤褐色土(5YR4/6) 焼土粒少量、炭化物僅かに含む。淡い色調。
- 16 黒褐色土(10YR3/2) 黄橙色ローム粒、焼土粒僅かに含む。淡い色調。
- 17 黒褐色土(10YR3/1) 黄橙色ローム粒僅かに含む。濃い色調。
- 18 黄褐色土(10YR8/6) ローム土主体。黒褐色土粒僅かに含む。ベッド状遺構構成土。



第206図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 527号住居、出土遺物(1)



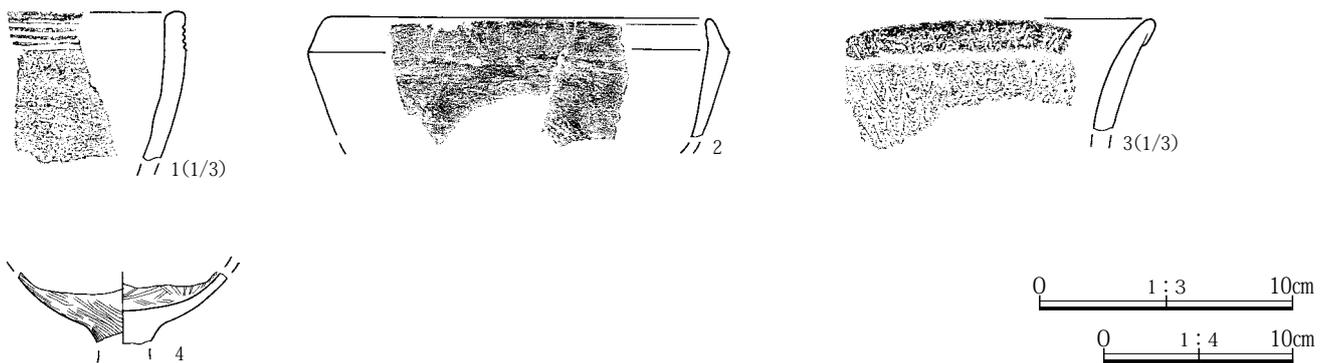
第207図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 527号住居出土遺物(2)

(2)遺構外出土の遺物(第208図 PL.89)

概要：鳴上 I 遺跡 B 区 3 面の調査中に、遺構に伴わない形で遺物が出土した。ここでは出土した遺物のうち、弥生土器 2 点(高杯 4、甕 3)、縄文土器 2 点(鉢 1、深鉢 2)を掲載した。これらの遺物は表採からのものである。図示した以外に、弥生土器(弥生後期後半 96 片 1032.9 g)、

縄文土器(勝坂式 3 片 91.9 g、縄文晩期 1 片 42.8 片)、縄文土器(関山 II 式 1 片 32g)、弥生土器(弥生後期 1 片 5 g)が出土している。

所見(帰属時期)：樽式土器及び縄文晩期の遺物の出土が主体である。



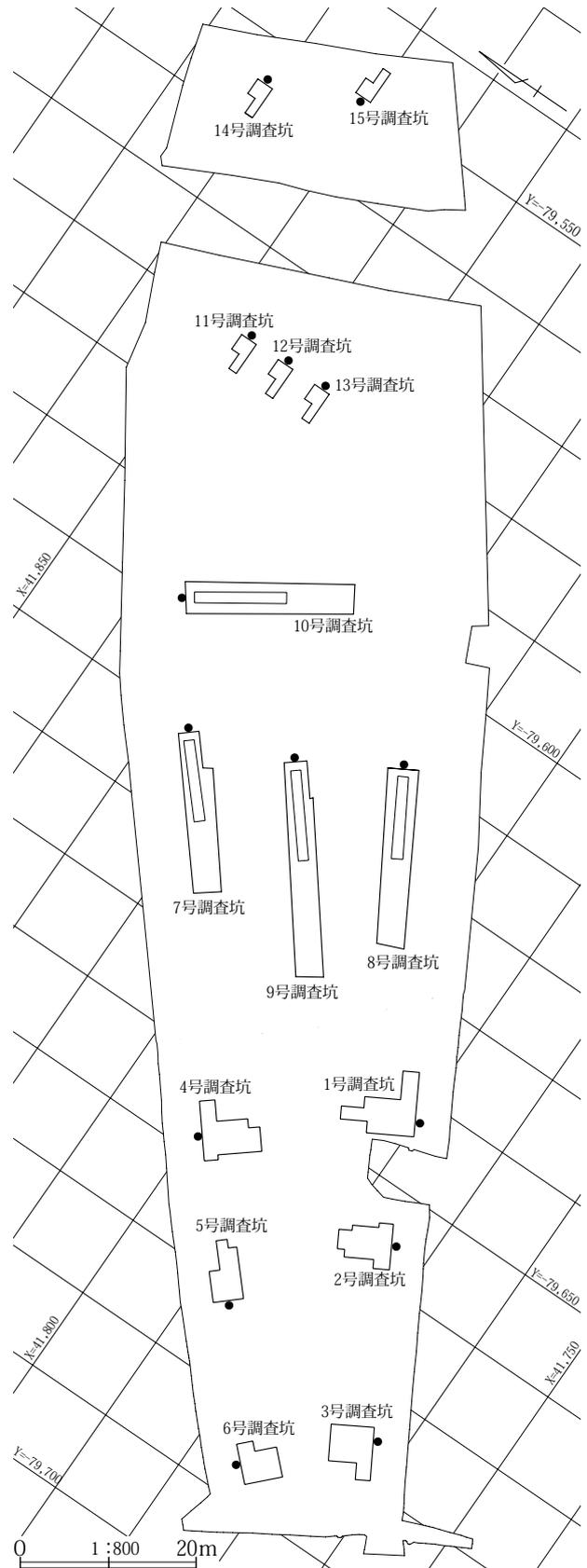
第208図 鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 遺構外出土遺物

第6章 旧石器時代の調査

1 概要 (第212～217図 PL.73・74)

茅畑遺跡、鳴上 I 遺跡 A 区、鳴上 I 遺跡 B 区において、それぞれ旧石器時代の調査を実施した。茅畑遺跡東部では、調査区に 6～18m²の旧石器時代調査坑を 9 か所、茅畑遺跡西部では、調査区に 15～33m²の旧石器時代調査坑を 6 か所、鳴上 I 遺跡 A 区では、調査区に 5～11m²の旧石器時代調査坑を 5 か所、鳴上 I 遺跡 B 区では、調査区に 5.5～12m²の旧石器時代調査坑を 12 か所、全体で 32 か所を設定した。暗色帯下層まで掘削するため、調査区によって掘削の深度が異なる。茅畑遺跡東部では、暗色帯まで層が厚く堆積しており、約 1.5～3.6m と深く掘削した。その他の地区は、約 0.8～2.6m 掘削した。旧石器時代調査坑の土層断面を観察したが、堆積状況については、茅畑遺跡東部から、鳴上 I 遺跡西部まで、ほぼ同じ様相を呈する。ただし、先述の通り、茅畑地区東部は、丘陵地帯の最高地点付近にあり、IV 層に相当する堆積が、他の調査区よりも厚かった。また、本遺跡は全般的に丘陵地帯であり、トレンチの同位土層の高低差が生じる。特に、茅畑遺跡西部は傾斜が急なため、各トレンチの同位土層の高低差が顕著であった。

調査位置及び土層断面地点は、第 209・210 図に図示した。茅畑・鳴上 I 遺跡では、第 2 章第 2 節で述べたとおり、近接する和田山天神前遺跡で旧石器時代の遺物が集中して出土していたことから、平成 26・27 年度の本発掘調査においても旧石器時代の遺物の出土が期待された。調査は、バックホーを効率的に使用しながら、必要により、現場作業員による緻密な手作業で慎重に掘り下げながら確認した。しかしながら、茅畑遺跡・鳴上 I 遺跡共に当該時期の遺構や遺物は確認されなかった。



第209図 茅畑遺跡 旧石器時代調査坑位置図

2 旧石器時代調査坑について

本発掘調査は、3期にわたり実施された。各調査区の実態が異なり調査坑の規格を統一するのは難しいため、各調査区の地形や土層の様相に応じて旧石器時代調査坑を設定した。各調査区において、旧石器時代調査の必要十分な結果が得られるよう掘削面積や深度を決定した。各トレンチ面積の詳細は以下の通りである。

茅畑遺跡(西部)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1号調査坑：33㎡ | 2号調査坑：21.25㎡ |
| 3号調査坑：23㎡ | 4号調査坑：31㎡ |
| 5号調査坑：18㎡ | 6号調査坑：15㎡ |

茅畑遺跡(東部)

- | | |
|---------------|------------------|
| 7号調査坑：12(50)㎡ | 8号調査坑：13(70)㎡ |
| 9号調査坑：14(72)㎡ | 10号調査坑：18(66.5)㎡ |
| 11号調査坑：6㎡ | 12号調査坑：6㎡ |
| 13号調査坑：6㎡ | 14号調査坑：6㎡ |
| 15号調査坑：6㎡ | |

鳴上 I 遺跡A区

- | | |
|-----------|----------|
| 1号調査坑：11㎡ | 2号調査坑：5㎡ |
| 3号調査坑：9㎡ | 4号調査坑：6㎡ |
| 5号調査坑：6㎡ | |

鳴上 I 遺跡B区(西部)

- | | |
|-----------|----------|
| 6号調査坑：6㎡ | 7号調査坑：6㎡ |
| 8号調査坑：6㎡ | 9号調査坑：6㎡ |
| 10号調査坑：6㎡ | |

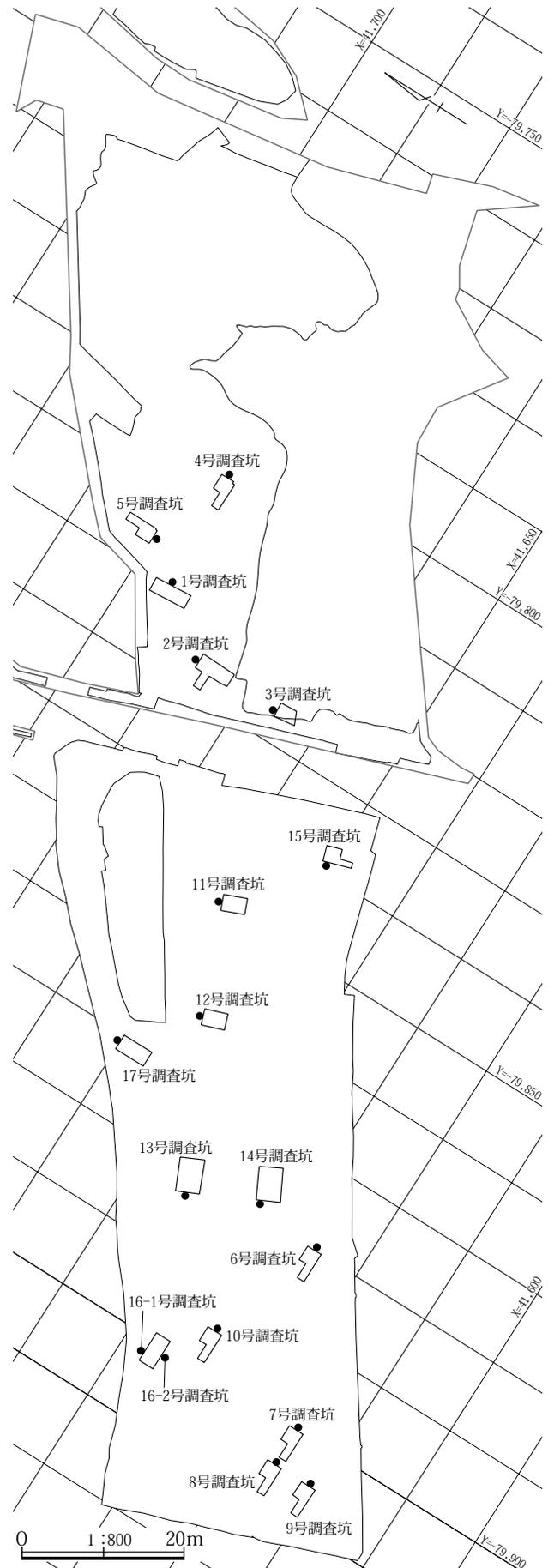
鳴上 I 遺跡B区(東部)

- | | |
|-------------|------------|
| 11号調査坑：6㎡ | 12号調査坑：6㎡ |
| 13号調査坑：12㎡ | 14号調査坑：12㎡ |
| 15号調査坑：5.5㎡ | |

鳴上 I 遺跡B区(北部)

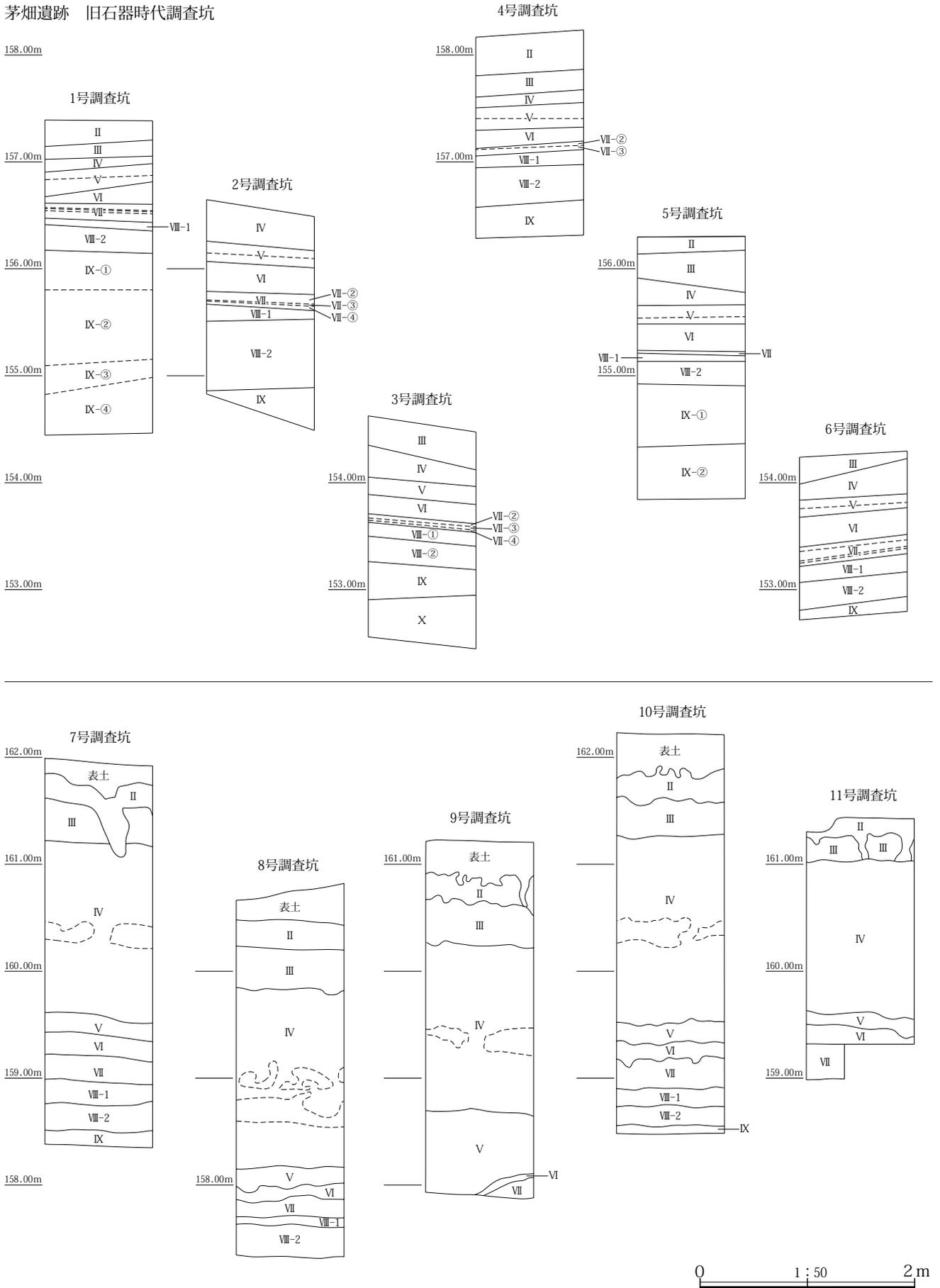
- | | |
|-----------|-----------|
| 16号調査坑：8㎡ | 17号調査坑：8㎡ |
|-----------|-----------|

*茅畑遺跡東部の7～10号調査坑は、表土から暗色帯のまでの深度が大きいいため、2段階で掘削を試みた。()内は表土掘削時の面積である。



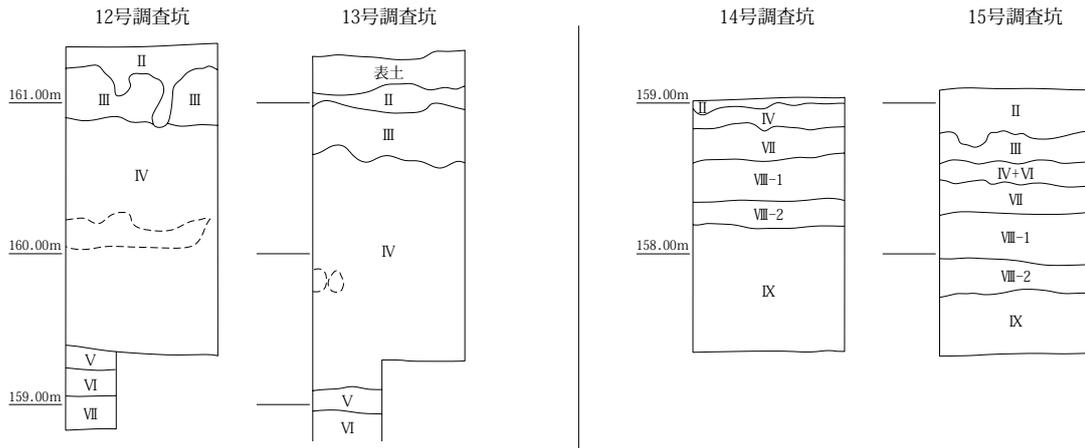
第210図 鳴上 I 遺跡 旧石器時代調査坑位置図

茅畑遺跡 旧石器時代調査坑



第211図 旧石器時代調査坑断面(1)

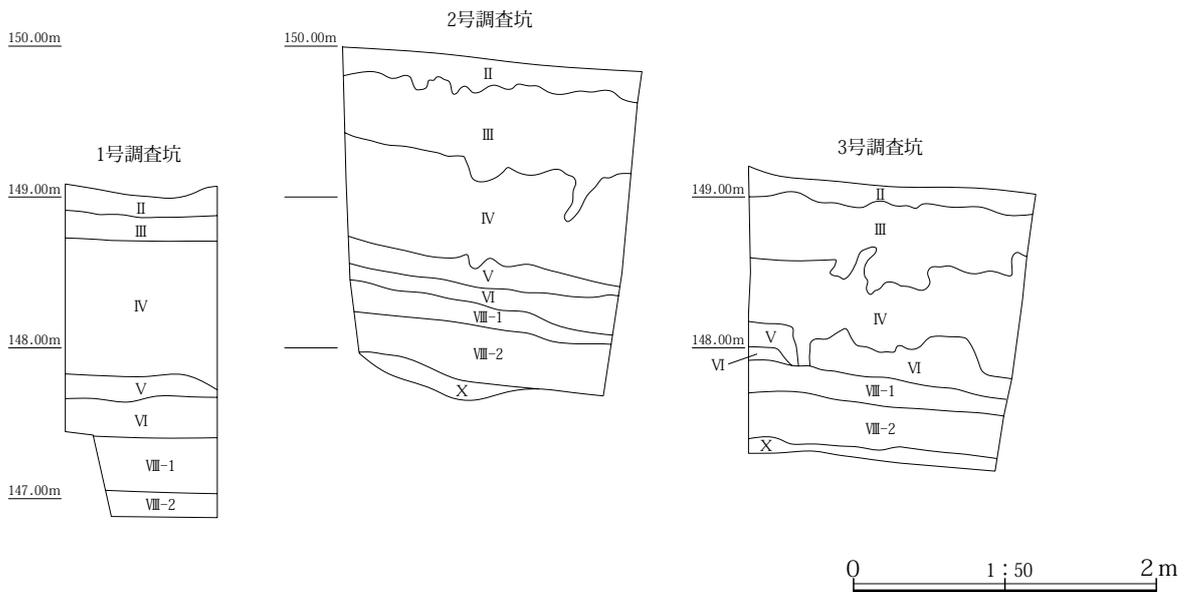
茅畑遺跡



- 茅畑遺跡 1～15号、嶋上 I 遺跡 B 区 11～15号調査坑
- II ローム漸移層 浅間板鼻軽石(As-YP)を斑に含む。
 - III 浅間板鼻軽石(As-YP) 浅間白糸軽石(As-Sr)の層を含む。
黄橙色土(10YR7/8) 浅間板鼻軽石(As-YP)をブロックで含むが、純堆積層の確認はできない。縮まりややあり、粘性あまりない。
 - IV 浅間板鼻褐色軽石(As-BP)群
明黄褐色土(10YR7/6) 浅間板鼻褐色軽石(As-BP)をブロックで含む。白色を呈する粒子(粘性あり)は水性堆積の所産か。縮まりややあり、粘性なし。
 - V 暗色粘土質層
にぶい黄橙色土(10YR6/4) 色調暗く径3mm大の破碎岩片(小沼ラベリカ)、下位にAs-MPを僅かに含む。粘性ややあり、縮まり強い。
 - VI 浅間室田軽石(As-MP)相当。
にぶい黄橙色(10YR2/7) 均質。部分的に鉄分凝集層あり。縮まり、粘性ややあり。
 - VII 暗色粘土質層 黒色マンガン形成層を挟む。
 - VII-① 浅黄橙色土(10YR3/8) 白色ブロック土を含む。(ATを含むか)

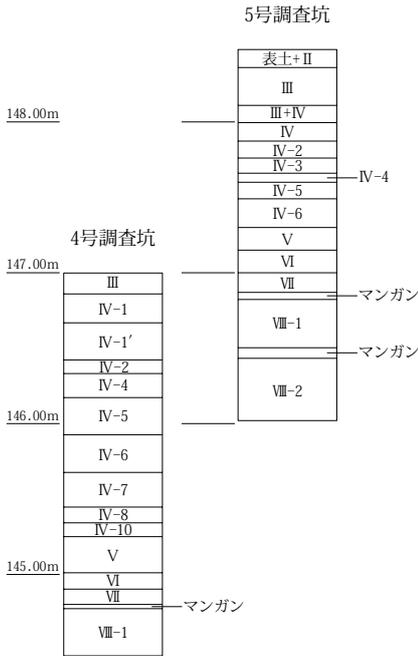
- 縮まり粘性ともにあり。VI層よりも縮まり弱い。粘性ややあり。
- VII-② 上層部分は色調明るく黄白色軽石を含む。
- VII-③ 中層はマンガン層が斑状に黒色層を形成する。
- VII-④ 下位層は沈殿によりややパサパサの黄橙色層を含む。
- VIII-1 にぶい黄橙色土(10YR6/3) 縮まり粘性ともに強い。縮まりは2層より強い。色調明るい。
- VIII-2 にぶい黄褐色土(10YR5/3) 縮まり粘性ともに強い。1層に比べ、色調暗くパサパサ感あり。(1・2層の境界に径30～50mm大の垂円礫を含む。)色調暗い。
- IX 白色粒を含み、粘土化し固縮した層。榛名八崎軽石を含む。
- IX-① にぶい黄橙色土(10YR4/6) マンガン凝集層を僅かに粗に含み強固。縮まり粘性強い。
- IX-② ①層に比べ、色調やや暗い。
- IX-③ ①層に比べ、風化岩砕を少量含む固い層。
- IX-④ ①層に比べ、白色ブロック土を少量含む。
- X にぶい黄褐色土(10YR5/4) マンガン凝集層を僅かに粗に含み、ややパサパサする。縮まり粘性強い。

嶋上 I 遺跡 A 区 旧石器時代調査坑



第212図 旧石器時代調査坑断面(2)

鳴上 I 遺跡 A 区



鳴上 I 遺跡 A 区 1～5号調査坑共通土層

- II ローム漸移層 浅間板鼻軽石(As-YP)を斑に含む。
- III 浅間板鼻軽石(As-YP) 浅間白糸軽石(As-Sr)の層を含む。
黄橙色土(10YR7/8) 浅間板鼻軽石(As-YP)をブロックで含み、黒色土が若干混じる。
純堆積層の確認はできない。縮まりややあり、粘性あまりない。
- IV 浅間板鼻褐色軽石(As-BP)群
明黄褐色土(10YR7/6) 浅間板鼻褐色軽石(As-BP)をブロックで含む。白色を呈する粒子(粘性やあり)は水性堆積の所産か。縮まりややあり、粘性なし。
- V 暗色粘土質層
にぶい黄橙色土(10YR6/4) 色調暗く径3mm大の破碎岩片(小沼ラピリカ)、下位のAs-MP軽石を僅かに含む。粘性ややあり、縮まり強い。
- VI 浅間室田軽石(As-MP)浅黄褐色土(10YR8/4) 径5～8mm大粒子の軟性のブロックを含む。縮まりあまりなく、粘性ややあり。
- VII 暗色粘土質層：黒色マンガン形成層を挟む。
にぶい黄褐色土(10YR5/4) 上層部分は色調明るく黄白軽石をふくみ、中層はマンガン層が斑状に黒色層を形成し、下位層は沈殿によりややバサバサの黄橙色層を含む。縮まり粘性ともにあり。
- VIII-1 にぶい黄褐色土(10YR6/3) 縮まり粘性ともに強い。縮まりは2層より強い。色調明るい。
- VIII-2 色調暗い。
- X にぶい黄褐色土(10GY5/4) 礫を含む。マンガン凝集層を僅かに粗に含み、ややバサバサする。縮まり粘性強い。

鳴上 I 遺跡 A 区 4号調査坑 ※IV層を分層

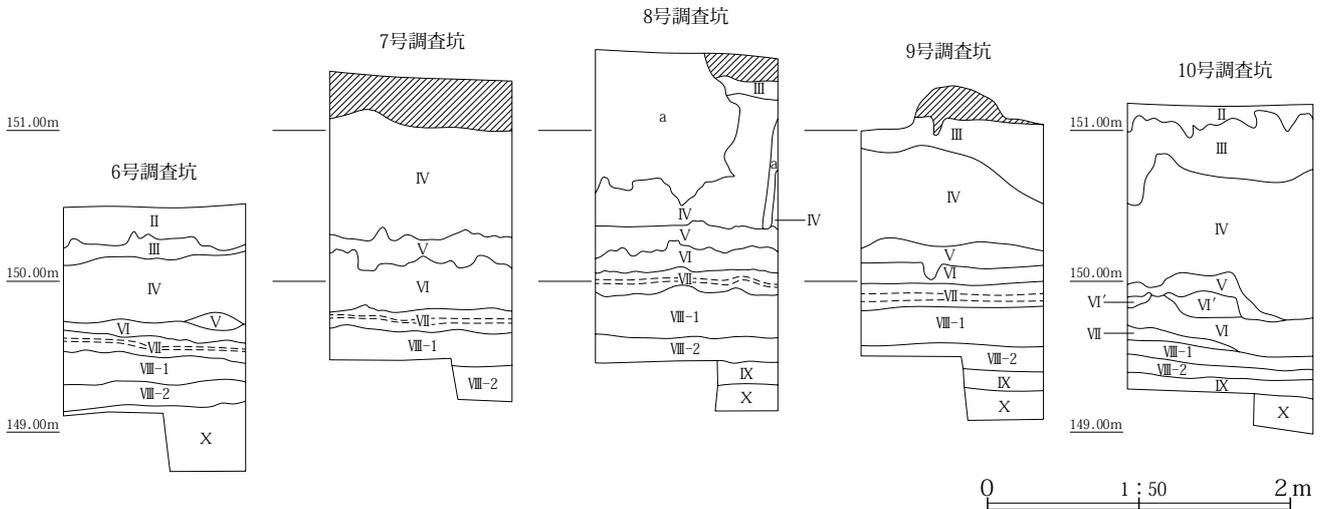
- IV-1 明黄褐色土(10YR6/8) 径5mm前後の黄白色、褐色軽石と径1～2mmの白色鈹物粒(軽石か)を10%程度含む。
- IV-1' 明黄褐色土(10YR6/8) やや茶色が強い。径10～15mm前後の白色軽石が多くなる。径5mm前後の褐色軽石と径1～2mmの白色鈹物粒(軽石か)を10%程度含む。
- IV-2 明黄褐色土(10YR6/8) 径1～2mmの白色鈹物粒を少量含む。径20mmのAs-BP粒を含む。白色軽石を少量含む。
- IV-4 明黄褐色土(10YR6/8) 径1～5mmの白色軽石粒を多く含み、指先で軽く潰れる。
- IV-5 褐色土(10YR4/6) 径1mmの白色鈹物粒と赤褐色鈹物粒が少量入る。縮まりのある土。
- IV-6 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 径1mmの白色鈹物粒と赤褐色鈹物粒が1%程度入る。縮まりのある土。
- IV-7 にぶい黄褐色土(10YR7/3) 径1mm以下の灰褐色、黒褐色、ガラス質の砂状の小粒子を含む軽石層。軽石は灰白色で軟質。

- IV-8 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 径5～10mmの黄白色で潰れやすい軽石が全体に混入し、暗灰色の岩砕片が疎らに含まれる。硬く締まっているが粘性がある。
- IV-10 褐色土(10YR4/6) 径5～10mmの黄白色で潰れやすい軽石が全体に混入し、暗灰色の岩砕片が多く含まれる。硬く締まった土。10層の組成鈹物は(V+7+4層、軟質、軽石は指先で潰れる)全体に目は詰まっている。

鳴上 I 遺跡 A 区 5号調査坑 ※IV層を分層

- IV-2 明赤褐色土(5YR5/8) IV+灰褐色砂粒を含む縮まりのある土。As-BPは径5mmが多い。
- IV-3 褐色土(7.5YR4/4) As-BPは径2～3mmが主で、砂粒を25%含む縮まりのある土。
- IV-4 橙色土(7.5YR6/8) As-BPは径3～5mmが主で、砂粒を少量含む縮まりのある土。
- IV-5 橙色土(7.5YR6/8) As-BPは径2mm以下が主で、砂粒を少量含む、硬く縮まりのある土。
- IV-6 明黄褐色土(10YR6/6) 僅かに砂質土を含む軟質土。

鳴上 I 遺跡 B 区 旧石器時代調査坑



第213図 旧石器時代調査坑断面(3)

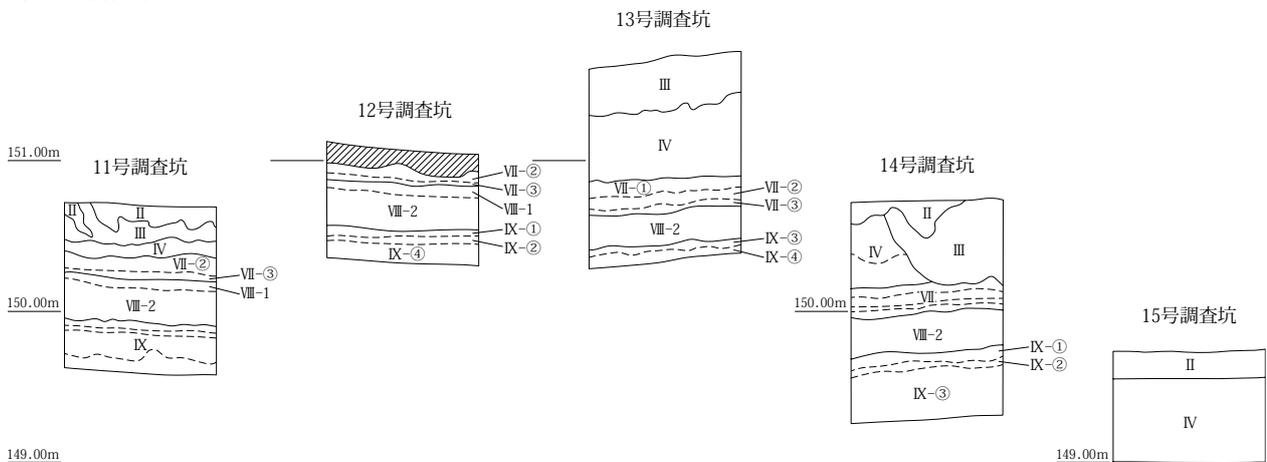
第6章 旧石器時代の調査

鳴上 I 遺跡 B 区 6～10号調査坑

- III 浅間板鼻軽石(As-YP) 浅間白糸軽石(As-Sr)の層を含む。
黄橙色土(10YR7/8) 浅間板鼻軽石(As-YP)をブロックで含むが、純堆積層の確認はできない。縮まりややあり、粘性あまりない。
- IV 浅間板鼻褐色軽石(As-BP)群
明黄褐色土(10YR7/6) 浅間板鼻褐色軽石(As-BP)をブロックで含む。白色を呈する粒子(粘性やあり)は水性堆積の所産か?縮まりややあり、粘性なし。
- V 暗色粘土質層
にぶい黄橙土(10YR6/4) 色調暗く径3mm大の破碎岩片(小沼ラビリ?)、下位にAs-MP軽石を僅かに含む。粘性ややあり、縮まり強い。
- VI 浅間室田軽石(As-MP)
浅黄褐色(10YR8/4) 縮まり弱い径5～8mm大粒子のブロック。縮まりあまりなく、粘性ややあり。
- VI' 浅間室田軽石(As-MP)の純堆積層か?

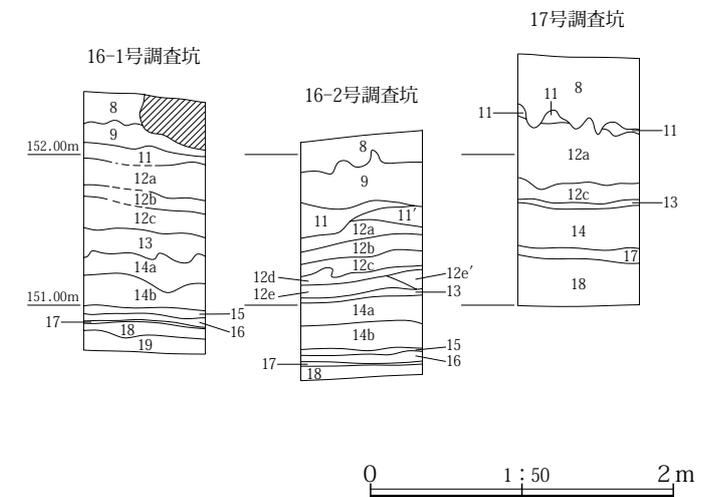
- VII 暗色粘土質層：黒色マンガン形成層を挟む。
にぶい黄褐色土(10YR5/4) 上層部分は色調明るく黄白軽石を含み、中層はマンガン層が斑状に黒色層を形成し、下位層は沈殿によりややバサバサの黄橙色層を含む。縮まり粘性ともにあり。
- VIII-1 にぶい黄橙色土(10YR6/3) 縮まり粘性ともに強い。縮まりは2層より強い。色調明るい。
- VIII-2 にぶい黄褐色土(10YR5/3) 1層に比べ、色調暗くバサバサ感あり。縮まり粘性ともに強い。(1・2層の境界に径3～5cm大の垂円礫を含む。)色調暗い。
- IX 白色粒を含み、粘土化し固締した層。榛名八崎軽石を含む。
灰白色土(10YR8/2) マンガン凝集層を僅かに粗に含み強固。縮まり粘性強い。
- X 青灰色土・礫混じり層
明緑灰色土(10GY7/1) マンガン凝集層を僅かに粗に含み、ややバサバサする。縮まり粘性強い。
a 土層一様に乱れる。水性の影響か?

鳴上 I 遺跡 B 区



鳴上 I 遺跡 B 区 16・17号調査坑

- 8 黄褐色ローム
 - 9 褐色ローム 浅間板鼻黄色軽石(As-YP)を少量含む。
 - 10 浅間板鼻黄色軽石(As-YP)上面火山灰硬化面。場所によってはマンガン・鉄分凝集。
 - 11 褐色ローム 浅間大窪沢軽石(As-Ok)をまばらに含む。
 - 11' 11層に類似する。As-C軽石をより多く含む。
 - 12 浅間板鼻褐色軽石(As-BP)グループ。6層に区分。
12a 軽石
12b 間層のローム
12c 軽石と火山起源の砂。
12d ローム粒含む。
12e As-BP多く含む。
12e' As-BP中量含む。
 - 13 褐色ローム 軽石を含む。
 - 14 浅間室田軽石(As-MP)場所によってはマンガン・鉄分凝集。
 - 14a 軽石。
14b 軽石。
 - 15 暗褐色ローム 粘性が強い。
 - 16 淡黄色粘質土(2.5Y8/4) 始良Tn火山灰(AT)を含む。
 - 17 暗褐色粘質土 場所によってはマンガン・鉄分凝集。
 - 18 灰白色ローム土 マンガン・鉄分を少量含む。
 - 19 浅黄褐色ローム土 粘性が強い。
- ※後世の水の影響で粘土化が激しい。



第214図 旧石器時代調査坑断面(4)

第7章 自然科学分析

1 分析の目的

茅畑・鳴上 I 遺跡における発掘調査及び整理作業の工程の中で、(1)放射線炭素年代測定、(2)炭化材樹種同定の2種類の分析作業を委託した。これらの自然科学分析のそれぞれの目的と分析によって、得られた成果の概要を述べることにする。

(1)放射線炭素年代測定

鳴上 I 遺跡の調査で検出された住居は、出土土器から弥生時代後期に位置付けられている。さらに、出土炭化材の放射線炭素年代測定を行うことにより各住居の年代を確認し、さらに集落の年代幅を明らかにすることが目的である。併せて出土土器の年代観を明らかにし、県内における弥生土器編年の再考資料として役立つ。なお、県内での弥生土器の放射線炭素年代については、ほとんどデータがないのが現状である。

炭化材の残存状態を勘案して、鳴上 I 遺跡 A 区において放射線炭素年代測定を実施した住居は、3・4号住居であり、鳴上 I 遺跡 B 区において同測定を実施した住居は、505・508・518号住居である。それぞれの放射線炭素年代測定の結果(補正年代)は以下の通りである。

3号住居 No. 2 が $1,790 \pm 20BP$ 、4号住居 No. 1 が $1,820 \pm 20BP$ 、505号住居 No. 2 が $1,830 \pm 20BP$ 、508号住居 No. 2 が $1,840 \pm 20BP$ 、518号住居 No. 8 が $1,840 \pm 20BP$ となった。また、測定結果に基づく暦年較正結果(2 σ)は、3号住居 No. 2 がcalAD 138—calAD 328、4号住居 No. 1 がcalAD 128—calAD 311、505号住居 No. 2 がcalAD 130—calAD 241、508号住居 No. 2 がcalAD 88—calAD 238、518号住居 No. 8 がcalAD 89—calAD 237を示している。

得られた暦年較正結果(2 σ)から、3号住居 No. 2 と4号住居 No. 1 が2世紀前半～4世紀前半頃、505号住居 No. 2 が2世紀前半～3世紀中頃、508号住居 No. 2 と518号住居 No. 8 が1世紀後半～3世紀前半頃に相当することが理解でき、おおむね弥生時代後期後半から樽式土器終末期にかかる時間幅に収まる結果が得られたこととなる。

また、出土土器の年代観については、整理作業の中で明らかにする。

放射性炭素年代測定により、鳴上 I 遺跡 A 区における集落の年代幅は、2世紀後半から4世紀前半と判断され、出土土器からの年代の範囲内である。集落内におけるそれぞれの住居はほぼ同時期のものと考えられる。それに対して、鳴上 I 遺跡 B 区における集落の年代幅は、1世紀後半から3世紀中頃までと判断され、出土土器からの年代比定の範囲内である。集落内におけるそれぞれの住居はほぼ同時期のものと考えられる。鳴上 I 遺跡 A 区と鳴上 I 遺跡 B 区の集落の関連についても、同時期のものである可能性が強く、同一、若しくは近隣の集落であったと考えるのが自然である。

(2)炭化材樹種同定

518号住居から出土した各種の炭化構築木材を樹種同定することで、それぞれの樹種を特定し、住居の建築部材に使用された利用樹種を明らかにする。また、今回は炭化材の樹種同定であり、同住居の主柱穴から出土した生(炭化していない)の柱材については、当事業団内で同定をした。なお、県内での弥生時代木製品の木製製品の樹種同定は、日高遺跡や新保遺跡等のデータがあるものの、住居の構成材に関するデータはないのが現状である。

518号住居においては、前述した通り、多量の炭化物が出土しており、住居の構造材の分析に適していると考え、炭化材樹種同定を実施した。それぞれのサンプルの炭化材樹種同定の結果は以下の通りである。

分析炭化材は、全て広葉樹で、2分類群(コナラ属コナラ垂属クヌギ節、ケンポナシ属)に同定された。

分析結果からすると、518号住居では建築部材として、少なくともクヌギ節とケンポナシ属の2種類が利用されたことがわかる。また、放射性炭素年代測定資料となった、3号住居 No. 2 はクリが確認され、他はすべてクヌギ節であった。竪穴住居跡4軒のうち、3軒よりクヌギ節が確認され、518号住居と同様の木材利用を示している。

この518号住居の出土炭化材に認められたクヌギ節と

ケンポナシ属が主体となる組成は、周辺地域での事例には認められていないようである。

今回の分析(同定)資料は住居壁材である。その他に、主柱穴からは、生(炭化していない)の柱材が出土しており、当事業団保存処理室において分析した。

518住居の主柱穴P 2・4からは表面が炭化した柱根が出土しており、その中心部から炭化されていない生木が検出された。プレパラートを用いた分析の結果、P 2・4の柱根はともに、ブナ科コナラ節に樹種同定された。同定特徴としては、孔圏外道管は丸く単独だが火炎状に配列し、また壁も薄いためコナラ節とすることがあげられている。この結果は、炭化材の樹種同定と矛盾しない。また、518号住居では、壁高より高い板材を壁に貼っており、板材の上部に垂木が設置されていた可能性がある。

2 炭化物分析

はじめに

鳴上 I 遺跡(群馬県高崎市箕郷町白川地内)は、榛名山東南麓を南流する榛名白川右岸に位置し、周辺は山麓を流下する河川等の開析により形成された谷地形が発達する。本遺跡の発掘調査の結果、弥生時代の竪穴住居跡をはじめ、平安時代の竪穴住居跡、掘立柱建物跡、ピット、土坑などが確認されている。

本分析では、上記した竪穴住居跡の年代や竪穴住居跡から出土した建築部材と考えられる炭化材の樹種および木材利用等の検討を目的として、放射性炭素年代測定および樹種同定を実施した。

(1)放射性炭素年代測定

1. 試料

試料は、5軒の竪穴住居跡から出土した炭化材各1点、計5点(3号住居No.2、4号住居No.1、505号住居No.2、508号住居No.2、518号住居No.8)である。

炭化材試料は、土塊表面等に炭化材が認められる試料(3号住居No.2、4号住居No.1、505号住居No.2、518号住居No.8)と多数の炭化材片からなる試料(508号住居No.2)からなる。各試料の観察では、いずれも樹皮が残存する炭化材は確認されなかったことから、各試料より2~3年輪分に相当する炭化材片を抽出し、さらに比較的大型の炭化材片が確認された508号住居No.2と518号住

居No.8については残存する年輪最外部を含む2~3年輪分を抽出し、測定に供している。

なお、今回の放射性炭素年代測定に供した炭化材片については、試料の履歴に関わる情報を得ることを目的として、樹種の確認も行った。結果は第25表に併記したので参照されたい。

2. 分析方法

測定試料に土壌や根等の目的物と異なる年代を持つものが付着している場合、これらをピンセット、超音波洗浄等により物理的に除去する。その後、HClによる炭酸塩等酸可溶成分の除去、NaOHによる腐植酸等アルカリ可溶成分の除去、HClによりアルカリ処理時に生成した炭酸塩等酸可溶成分の除去を行う(酸・アルカリ・酸処理)。試料をバイコール管に入れ、1gの酸化銅(II)と銀箔(硫化物を除去するため)を加えて、管内を真空にして封じきり、500℃(30分)850℃(2時間)で加熱する。液体窒素と液体窒素+エタノールの温度差を利用し、真空ラインにてCO₂を精製する。真空ラインにてバイコール管に精製したCO₂と鉄・水素を投入し封じ切る。鉄のあるバイコール管底部のみを650℃で10時間以上加熱し、グラフアイトを生成する。化学処理後のグラフアイト・鉄粉混合試料を内径1mmの孔にプレスして、タンデム加速器のイオン源に装着し、測定する。

測定機器は、3MV小型タンデム加速器をベースとした¹⁴C-AMS専用装置(NEC Pelletron 9SDH-2)を使用する。AMS測定時に、標準試料である米国国立標準局(NIST)から提供されるシュウ酸(HOX-II)とバックグラウンド試料の測定も行う。また、測定中同時に¹³C/¹²Cの測定も行うため、この値を用いてδ¹³Cを算出する。

放射性炭素の半減期はLIBBYの半減期5,568年を使用する。また、測定年代は1,950年を基点とした年代(BP)であり、誤差は標準偏差(One Sigma;68%)に相当する年代である。暦年較正は、RADIOCARBON CALIBRATIONPROGRAM CALIB REV7.1.0 (Copyright 1986-2015 MStuiver and PJ Reimer)を用い、誤差として標準偏差(One Sigma)を用いる。

暦年較正とは、大気中の¹⁴C濃度が一定で半減期が5,568年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の¹⁴C濃度の変動、

第25表 放射性炭素年代測定および暦年較正結果

試料	測定年代 (yrBP)	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	補正年代 (暦年較正用)	暦年較正結果								相対比	測定機関 CodeNo.
			(yrBP)	σ	cal AD 214 - cal AD 258	cal AD 283 - cal AD 322	cal BP 1,736 - 1,692	cal BP 1,667 - 1,628	cal AD 138 - cal AD 202	cal BP 1,812 - 1,748	cal AD 205 - cal AD 261		
3号住居 No.2 炭化材 (クリ)	1,790±20	-26.24±0.23	1,787±23	σ	cal AD 214 - cal AD 258	cal AD 283 - cal AD 322	cal BP 1,736 - 1,692	cal BP 1,667 - 1,628	0.617	IAAA- 151719			
					cal AD 138 - cal AD 202	cal BP 1,812 - 1,748	0.212						
				2 σ	cal AD 205 - cal AD 261	cal BP 1,745 - 1,689	0.478						
					cal AD 277 - cal AD 328	cal BP 1,673 - 1,622	0.310						
4号住居 No.1 炭化材 (クヌギ節)	1,820±20	-27.97±0.24	1,817±24	σ	cal AD 140 - cal AD 158	cal BP 1,810 - 1,792	0.220	IAAA- 151720					
					cal AD 166 - cal AD 196	cal BP 1,784 - 1,754	0.376						
				2 σ	cal AD 208 - cal AD 236	cal BP 1,742 - 1,714	0.404						
					cal AD 128 - cal AD 252	cal BP 1,822 - 1,698	0.992						
505号住居 No.2 炭化材 (クヌギ節)	1,830±20	-25.40±0.24	1,825±22	σ	cal AD 139 - cal AD 160	cal BP 1,811 - 1,790	0.275	IAAA- 151721					
					cal AD 165 - cal AD 197	cal BP 1,785 - 1,753	0.439						
				2 σ	cal AD 206 - cal AD 226	cal BP 1,744 - 1,724	0.285						
					cal AD 130 - cal AD 241	cal BP 1,820 - 1,709	1.000						
508号住居 No.2 炭化材 (クヌギ節)	1,840±20	-29.71±0.27	1,843±24	σ	cal AD 131 - cal AD 179	cal BP 1,819 - 1,771	0.639	IAAA- 151722					
					cal AD 186 - cal AD 213	cal BP 1,764 - 1,737	0.361						
				2 σ	cal AD 88 - cal AD 104	cal BP 1,862 - 1,846	0.038						
					cal AD 121 - cal AD 238	cal BP 1,829 - 1,712	0.962						
518号住居 No.8 炭化材 (クヌギ節)	1,840±20	-27.15±0.23	1,844±22	σ	cal AD 131 - cal AD 178	cal BP 1,819 - 1,772	0.651	IAAA- 151723					
					cal AD 188 - cal AD 213	cal BP 1,762 - 1,737	0.349						
				2 σ	cal AD 89 - cal AD 102	cal BP 1,861 - 1,848	0.028						
					cal AD 123 - cal AD 237	cal BP 1,827 - 1,713	0.972						

及び半減期の違い ^{14}C の半減期 $5,730 \pm 40$ 年)を較正することである。暦年較正は、CALIB 7.1.0.のマニュアルに従い、1年単位まで表された同位体効果の補正を行った年代値および北半球の大気中炭素に由来する較正曲線を用いる。

暦年較正結果は $\sigma \cdot 2\sigma$ (σ は統計的に真の値が68.2%の確率で存在する範囲、 2σ は真の値が95.4%の確率で存在する範囲)の値を示す。また、表中の相対比は、 $\sigma \cdot 2\sigma$ の範囲をそれぞれ1とした場合、その範囲内で真の値が存在する確率を相対的に示したものである。

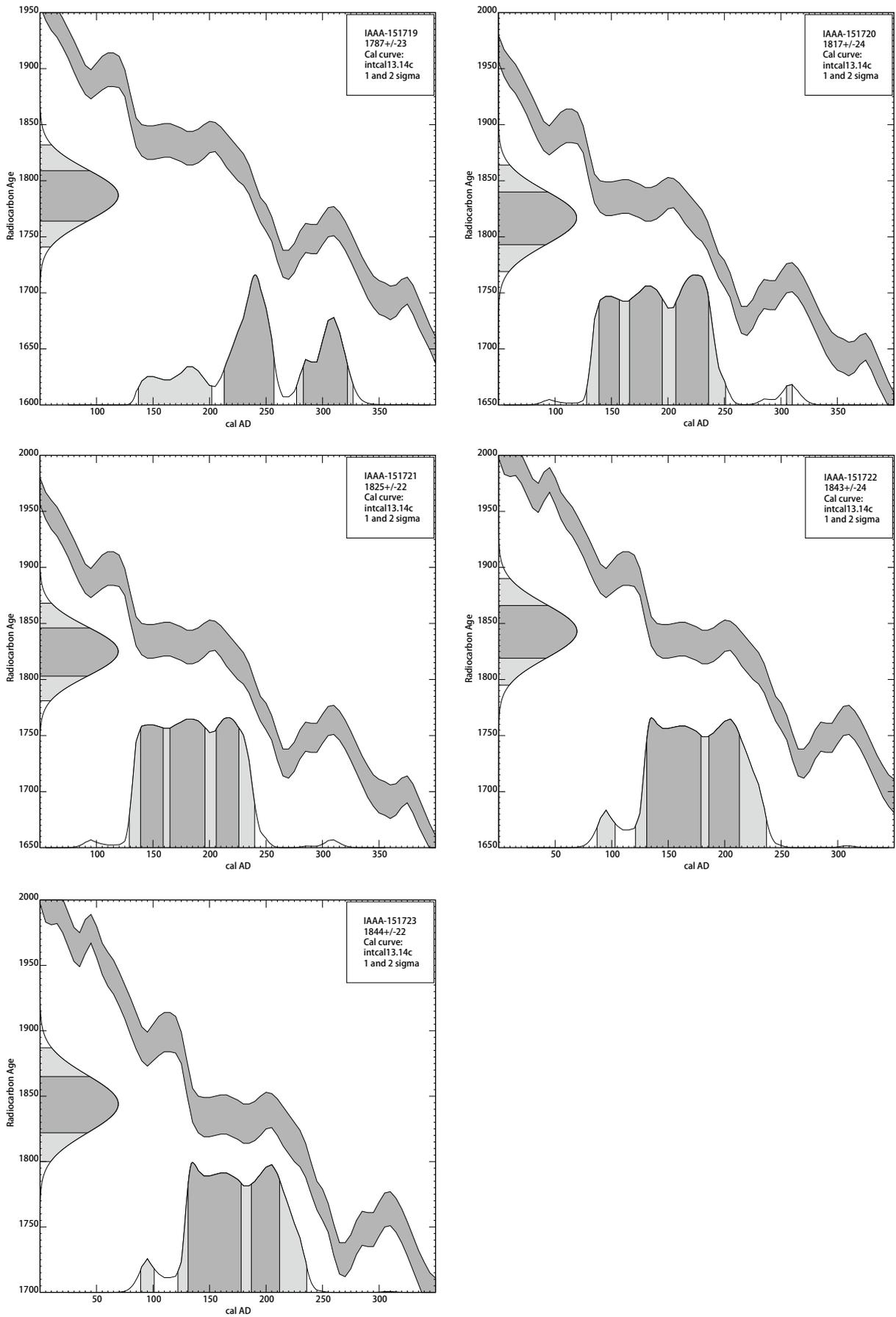
3. 結果および考察

炭化材試料の同位体効果による補正を行った測定結果(補正年代)は、3号住居No.2が $1,790 \pm 20$ BP、4号住居No.1が $1,820 \pm 20$ BP、505号住居No.2が $1,830 \pm 20$ BP、508号住居No.2が $1,840 \pm 20$ BP、518号住居No.8が $1,840 \pm 20$ BPである(第1表)。また、これらの測定結果に基づく暦年較正結果(2σ)は、3号住居No.2がcalAD138-calAD328、4号住居No.1がcalAD128-calAD311、505号住居No.2がcalAD130-calAD241、508号住居No.2がcalAD88-calAD238、518号住居No.8がcalAD89-calAD237を示す(第1表,第217図)。

以上の各試料より得られた暦年較正結果(2σ)につい

てみると、5試料を通じておよそ1世紀から4世紀まで範囲にある。詳細にみると3号住居No.2と4号住居No.1が2世紀前半～4世紀前半頃、505号住居炭2が2世紀前半～3世紀中頃、508号住居No.2と518号住居No.8が1世紀後半～3世紀前半頃に相当する。

放射性炭素年代測定による弥生時代の年代に関する研究事例(小林, 2007; 木野瀬ほか, 2004・2005; 山本ほか, 2004)および弥生時代後期～古墳時代前期の土器編年(古屋, 2014)などを参考すると、今回の結果は弥生時代後期から古墳時代前期頃に相当し、ほぼ調査所見と整合する。なお、各遺構の年代観や遺構間の新旧の検討にあたっては、今回の測定に供した炭化材の状態から古木効果の影響を考慮する必要があり、出土遺物などによる考古学的所見と合わせた評価が望まれる。



第215図 曆年較正結果

第26表 樹種同定結果

遺構名	試料番号	観察所見	種類 (分類群)
518号住居跡	No. 1	破片	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
	No. 2	破片	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
		破片	ケンボナシ属
	No. 4	分割状	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
	No. 6	分割状	ケンボナシ属
	No. 8	分割状	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
分割状		ケンボナシ属	
No. 10	円弧状(本来は丸木/半裁状?)	コナラ属コナラ亜属クヌギ節	

(2)炭化材樹種同定

1. 試料

試料は、518号住居から出土した炭化材6点(No. 1, 2, 4, 6, 8, 10)である。なお、No. 2, 10の炭化材については、試料中に複数種の樹種が確認されたことから、それぞれを分析対象としている。また、No. 8は放射性炭素年代測定に供した試料と同一個体である。

2. 分析方法

試料を自然乾燥させた後、木口(横断面)・柀目(放射断面)・板目(接線断面)の3断面の割断面を作製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類(分類群)を同定する。

なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東(1982)やWheeler他(1998)を参考にする。また、日本産樹木の木材組織については、林(1991)や伊東(1995-1999)を参考にする。

3. 結果

同定結果を第26表に示す。分析に供された炭化材は、全て広葉樹で、2分類群(コナラ属コナラ亜属クヌギ節、ケンボナシ属)に同定された。以下に、各分類群の解剖学的特徴等を記す。

・コナラ属コナラ亜属クヌギ節

(*Quercus* subgen. *Quercus* sect. *Cerris*) ブナ科

環孔材で、孔圏部は1-3列、孔圏外で急激に径を減じたのち、単独で放射方向に配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1-20細胞高のもの

と複合放射組織とがある。ケンボナシ属(*Hovenia*) クロウメモドキ科

環孔材で、孔圏部は1-3列、孔圏外でやや急激に径を減じたのち、厚壁の道管が単独または2-3個が放射方向に複合して配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は異性、1-5細胞幅、1-40細胞高。

4. 考察

518号住居から出土した炭化材は、調査所見によれば、住居壁際周辺を中心として出土しており、壁面に沿って直立する状況や壁面に直交する、および並行する状況が確認されている。

今回の分析に供された炭化材試料の出土位置などについてみると、No. 1, 2, 4は住居東壁付近に位置し、No. 1, 2が壁面に直交する炭化材、No. 4が壁際より壁面に沿うように出土した炭化材である。No. 6, 8は住居北壁付近に位置し、No. 6が壁面に直交する炭化材、No. 8が壁際よりやや離れた位置にあり壁面と並行するように出土した炭化材である。No. 10は西壁壁際より出土しており、調査所見では壁縦木材とされている。

これらの炭化材の樹種同定の結果、クヌギ節とケンボナシ属の2種類が確認された。クヌギ節は、日本にクヌギとアベマキの2種があり、現在の分布をみると、クヌギは関東地方に広く分布するが、アベマキは西日本を中心に分布し、関東地方には分布していない。このことから、今回のクヌギ節はクヌギの可能性が高い。クヌギは、二次林や河畔等に生育する落葉高木で、木材は重硬で強度が高い。ケンボナシ属は、沢沿いの林縁部等を中心に生育する落葉高木であり、木材は強度・硬さが中庸とされる。

以上の結果を考慮すると、518号住居では建築部材として、少なくともクヌギ節とケンポナシ属の2種類が利用されたことが示唆される。また、放射性炭素年代測定の対象とされたこの他の住居跡より出土した炭化材は、3号住居No.2にクリが確認された他は、すべてクヌギ節であった。竪穴住居跡4軒のうち3軒よりクヌギ節が確認された点は、518号住居と同様の木材利用を示している可能性がある。

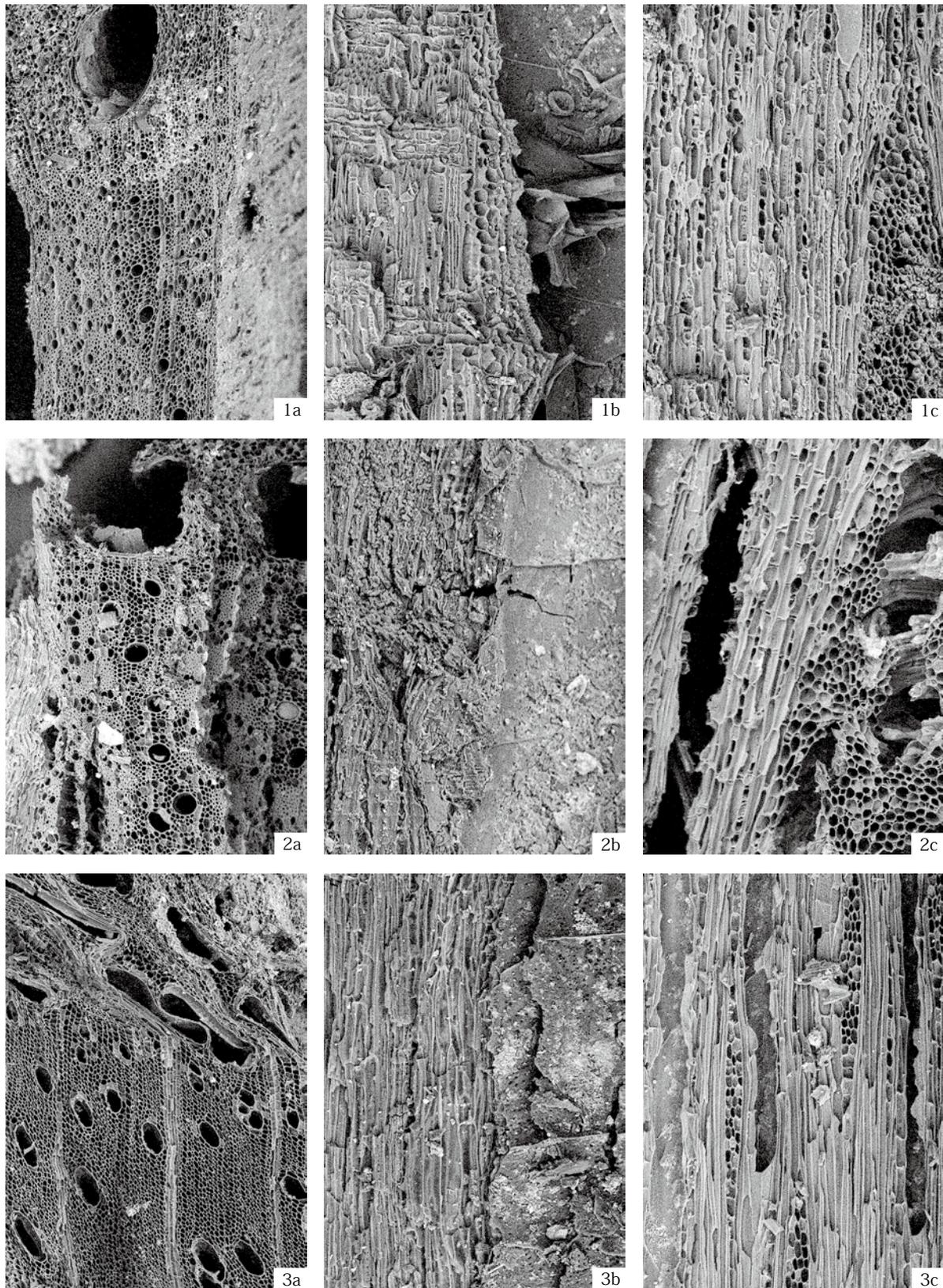
なお、周辺地域における弥生時代後期～古墳時代前期頃の調査事例(伊東・山田, 2012)についてみると、日高遺跡(高崎市)の弥生時代後期とされる住居跡の出土炭化材にクリを主体としてアカガシ亜属が混じる組成が確認されているほか、小八木志志貝戸遺跡(高崎市)の古墳時代初頭とされる住居跡においてクリを中心にコナラ節とエノキ属が混じる組成が確認されている。このような、クリを主体とする種類構成は中高瀬観音山遺跡(富岡市)の弥生時代後期とされる住居跡においても確認されている。また、クリ以外が主体となる樹種構成としては、福島駒形遺跡(甘楽町)の古墳時代前期とされる住居跡にケンポナシ属を中心に針葉樹が混じる組成、白井北中道Ⅲ遺跡(渋川市)では弥生時代終末～古墳時代初頭とされる住居跡にクヌギ節とコナラ節を中心にカバノキ属やクリが混じる組成が確認されている。本遺跡の518号住居の出土炭化材に認められたクヌギ節とケンポナシ属が主体となる組成は、周辺地域における事例には認められず、今回の結果は当該期の建築部材の木材利用やその地域性などを検討する上で貴重な資料と言える。

<引用文献>

古屋紀之編, 2014, 東日本弥生時代後期～古墳時代前期広域土器編年併行関係表。久ヶ原・弥生町期の現在―相模湾/東京湾の弥生後期の様相―, 西相模考古学研究会 記念シンポジウム資料集, 206-207。
 林 昭三, 1991, 日本産木材 顕微鏡写真集, 京都大学 木質科学研究所。
 伊東隆夫, 1995, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ. 木材研究・資料, 31, 京都大学木質科学研究所, 81-181。
 伊東隆夫, 1996, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ. 木材研究・資料, 32, 京都大学木質科学研究所, 66-176。
 伊東隆夫, 1997, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ. 木材研究・資料, 33, 京都大学木質科学研究所, 83-201。
 伊東隆夫, 1998, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ. 木材研究・資料, 34, 京都大学木質科学研究所, 30-166。
 伊東隆夫, 1999, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ. 木材研究・資料, 35, 京都大学木質科学研究所, 47-216。
 伊東隆夫・山田昌久(編), 2012, 木の考古学 出土木製品用材データベース, 海青社, 449p。
 木野瀬正典・赤塚次郎・小田寛貴・山本直人・中村俊夫, 2004, 尾張地域の弥生時代・古墳時代の土器に付着した炭化物の放射性炭素年代。名古屋大学加速器質量分析計業績報告書, XV, 名古屋大学年代測定総合研究センター, 136-143。

研究センター, 18-25。
 木野瀬正典・小田寛貴・赤塚次郎・山本直人・中村俊夫, 2005, 弥生・古墳時代の土器に付着した炭化物のAMS¹⁴C年代測定―愛知・石川県の遺跡から出土した土器について―。名古屋大学加速器質量分析計業績報告書, XVI, 名古屋大学年代測定総合研究センター, 95-104。
 小林謙一, 2007, 関東における弥生時代の開始年代。西本豊弘編 縄文時代から弥生時代へ, 新弥生時代のはじまり 第2巻, 雄山閣, 52-65。
 島地 謙・伊東隆夫, 1982, 図説木材組織, 地球社, 176p。
 Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. (編), 1998, 広葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト。伊東隆夫・藤井智之・佐伯 浩(日本語版監修), 海青社, 122p。[Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E., 1989, IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification]。
 山本直人・赤塚次郎, 2004, 濃尾平野における弥生後期～古墳前期の炭素14年代測定と炭素安定同位体比。名古屋大学加速器質量分析計業績報告書, XV, 名古屋大学年代測定総合研究センター, 136-143。

写真1 炭化材(1)



1. コナラ属コナラ亜属クヌギ節(518号住居;No.1)

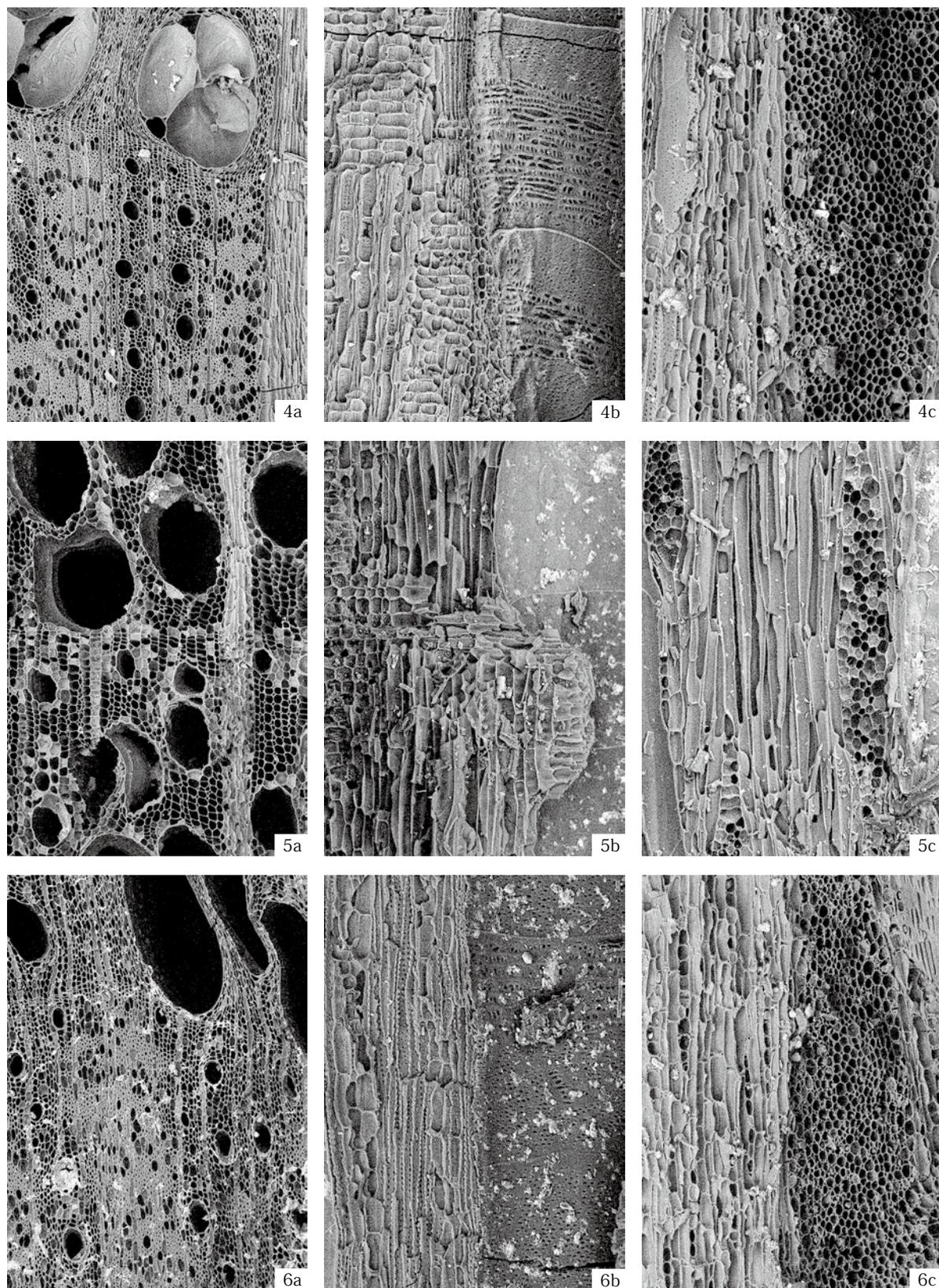
2. コナラ属コナラ亜属クヌギ節(518号住居;No.2)

3. ケンボナン属(518号住居跡;No.2)

a:木口, b:柁目, c:板目

100 μ m: a
100 μ m: b, c

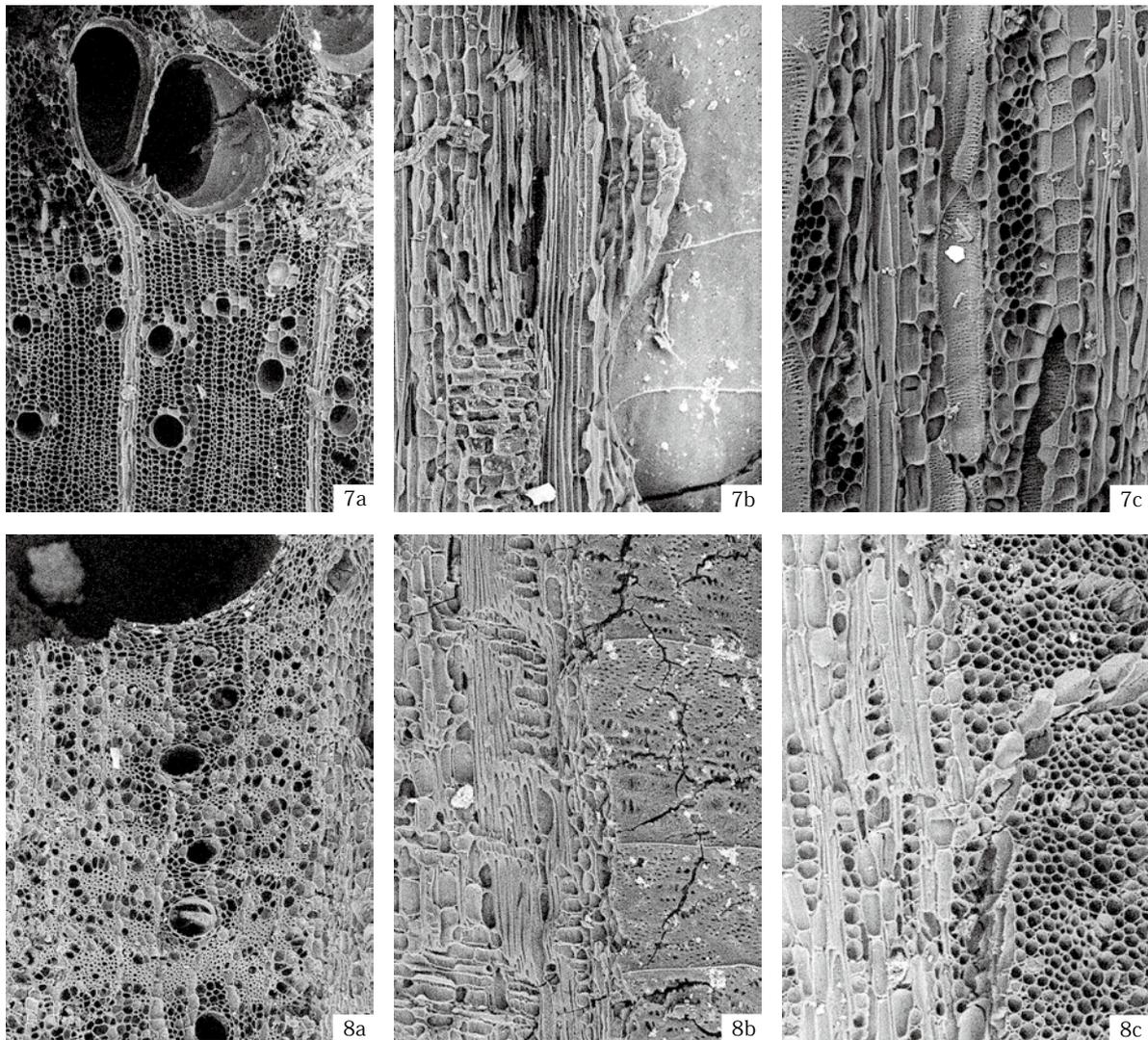
写真2 炭化材(2)



4. コナラ属コナラ亜属クヌギ節(518号住居; No. 4)
 5. ケンボナン属(518号住居; No. 6)
 6. コナラ属コナラ亜属クヌギ節(518号住居; No. 8)
 a: 木口, b: 柱目, c: 板目

100 μm: a
 100 μm: b, c

写真3 炭化材(3)



7. ケンボナシ属(518号住居;No.10)
 8. コナラ属コナラ亜属クヌギ節(518号住居;No.10)
 a:木口, b:柁目, c:板目

100 μm: a
 100 μm: b, c

第8章 総括

1 中世以降(1面)について

本遺跡における中世以降の調査面(1面)では、掘立柱建物・柱穴列・道路・溝・土坑・畑・ピットが検出されている。茅畑遺跡・鳴上I遺跡A区の溝及び、鳴上I遺跡B区の掘立柱建物及び柱穴列を含んだピット群は、本調査面において、特徴を有するものである。本節においては、各調査区及び調査区間における中世以降の様相について検討する。

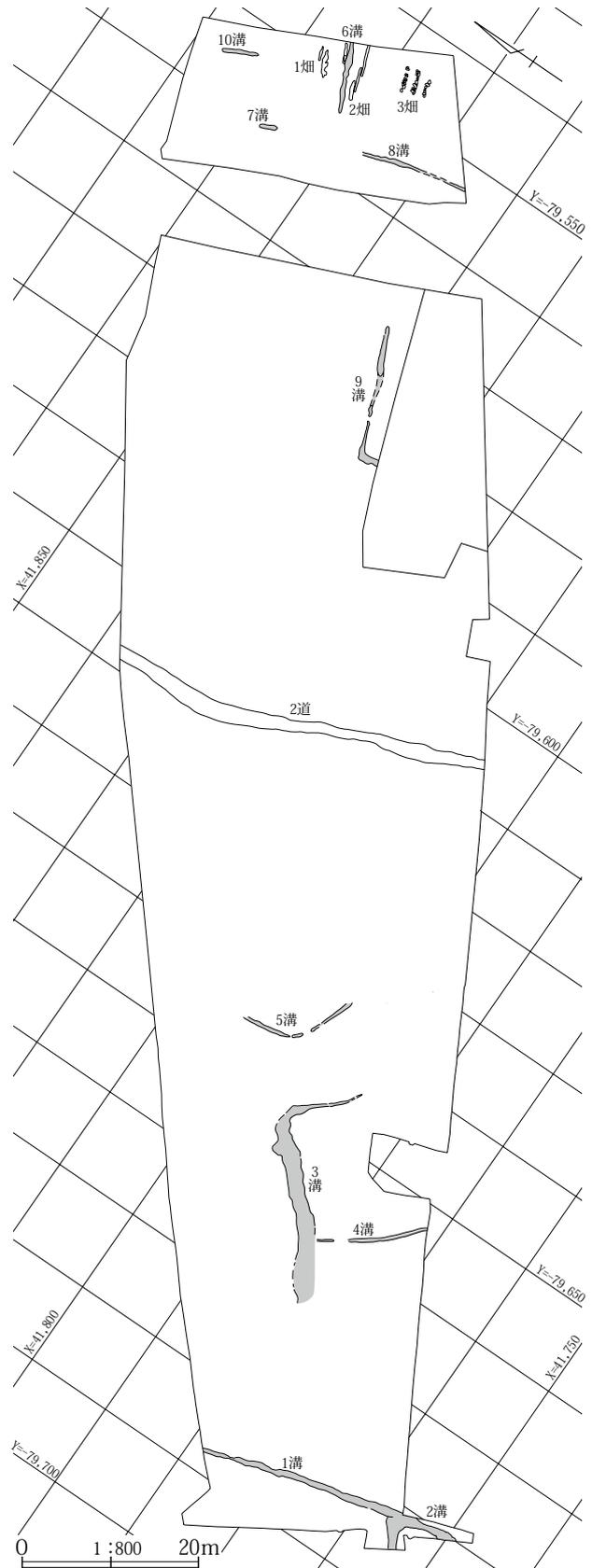
(1) 茅畑遺跡、鳴上I遺跡A区の溝について

① 茅畑遺跡の溝について

茅畑遺跡では、10条の溝が確認された。傾斜地に伴う溝のため、走行方位と勾配に一定の傾向がみられる。また、埋没土からは砂質土の検出が少ないことから、流水があったとは想定できず、一時的に流水があったとしても、おおそ区画溝の役割を担っていたと考えるのが自然である。本調査区は、傾斜地にあることを踏まえ、溝の役割、及び溝同士の関連について考える。まずは、各溝の走行方位と平均勾配について明確にしたい。各溝の走行方位と平均勾配は第27表の通りである。第27表より、茅畑遺跡における溝の走行方向は、傾斜方向に対して垂直と傾斜方向に並行する傾向があることが分かる。

- 調査面の傾斜方向に垂直なものとしては、1号溝、4号溝、7号溝、8号溝、10号溝が挙げられる。必要に応じて、同じ高さで区画されたと推察される。1号溝は西へ走行する2号溝と合流しており、4号溝はやはり西へ走行する3号溝に合流している。これらは、区画溝であることがうかがえる。7号溝は8号溝と同一の溝である可能性があり、10号溝は谷方向へ傾斜する6号溝へ合流していた可能性がある。

- 調査面の傾斜方向に平行なものとしては、3号溝、6号溝が挙げられる。傾斜方向に垂直な溝が合流する主幹的な溝であると思われる。傾斜方向に走行しており、時には流水の可能性もあったと思われる。具体的には、3号溝へは4号溝が合流し、6号溝へは10号溝が合流して



第216図 茅畑遺跡1面 溝

いた可能性がある。

- ・調査面の傾斜方向に対して平行なものが垂直に曲がって走行を変えるものとしては、2号溝、9号溝が挙げられる。曲がり角部分は、区画の隅を表しており、区画溝の体系を形づくる基点となっていたと思われる。2号溝へは1号溝が合流しており、9号溝は単独で区画を形成している。

- ・調査面の傾斜方向に対して弧を描くものとしては5号溝が挙げられる。他の溝とは異なる形状であり、使用目的が明瞭でない。

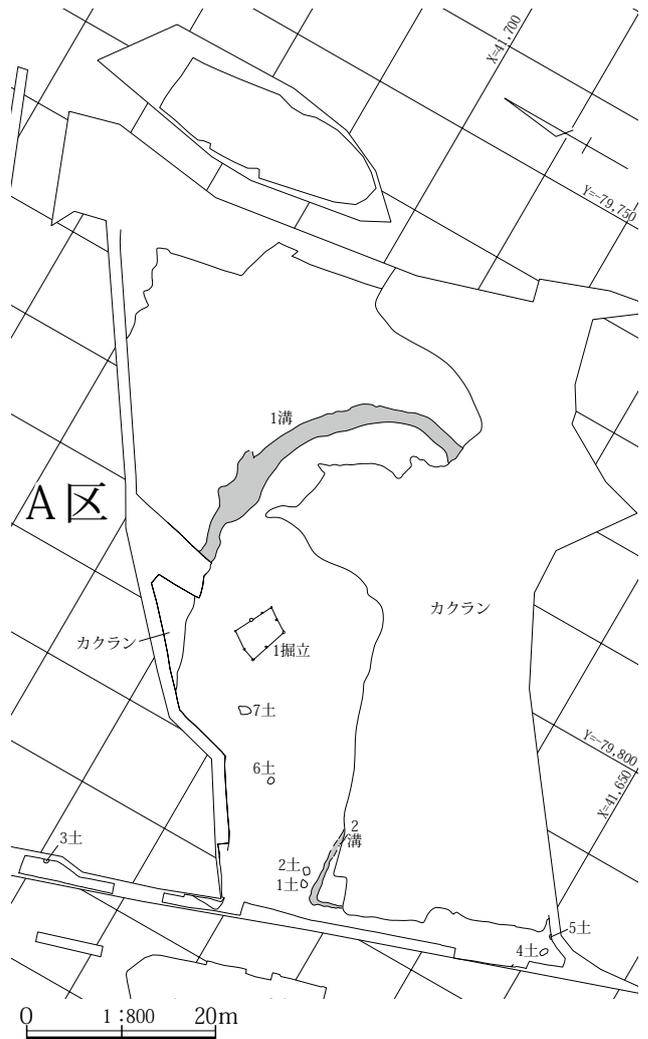
茅畑地区において溝の役割は、調査面の傾斜方向と垂直に区画溝を設けて、傾斜地における区画の体系を形成していたと思われる。

② 鳴上 I 遺跡 A 区の溝について

鳴上 I 遺跡 A 区では、2条の溝が確認された。特に、1号溝に関しては、傾斜地に伴う舌状台地の縁辺部に位置している溝であるため、走行方位と勾配に特徴が見られる。2号溝に関しては、茅畑遺跡の溝の役割に準ずるものであると思われる。埋没土からは砂質土が殆ど検出されないことから、流水があったとは想定できず、一時的に流水があったとしても、おおよそ区画溝の役割を担っていたと考えるのが自然である。本調査区では、舌状台地にあることを踏まえ、溝の役割を考える。まずは、各溝の走行方位と平均勾配について明確にした。各溝の走行方位と平均勾配は第28表の通りである。第28表より、1号溝は、茅畑遺跡の溝の傾向と異なっており、2号溝は、茅畑遺跡の溝の傾向と類似しているのが分かる。

1号溝に関しては、規模が大きく環状を呈しているため、ほぼ直線を呈している2号溝や茅畑地区の溝と同質のものではない。同じ調査面の他の溝とは、走行方位が同一ではなく、区画を呈していないと推察される。本溝は、舌状台地における排水の機能を果たしていたと思われる。両側に土止めの木杭が打たれた形跡があり、最近まで使用されていたものと推察される。それに対して2号溝は、茅畑地区の2・9号溝と同様に、土地の区画を目的とすると思われる。

鳴上 I 遺跡 A 区東部においては、生活の主体が舌状台地上にあり、その縁辺部を構成する1号溝までは、茅畑地区同様に、区画を形成しており、1号溝によって台地



第217図 鳴上 I 遺跡 A 区 1 面 溝

第27表 茅畑遺跡 溝の走行方位と勾配

番号	走行方位	勾配(%)
1	N-15°-W	2.7
2	N-11°-W N-61°-E	0.3 11.8
3	N-50°-W N-49°-E	2.1 8.5
4	N-41°-W	0.2
5	計測不能	6.2 6.3
6	N-65°-E	3.7
7	N-28°-W	1.4
8	N-15°-W	3.0
9	N-12°-W N-67°-E	4.4 3.8
10	N-26°-W	4.5

第28表 鳴上 I 遺跡 A 区 溝の走行方位と勾配

番号	走行方位	勾配(%)
1	N-15°-W	2.7
2	N-11°-W N-61°-E	0.3 11.8

上の排水がまとめられていたと推察される。

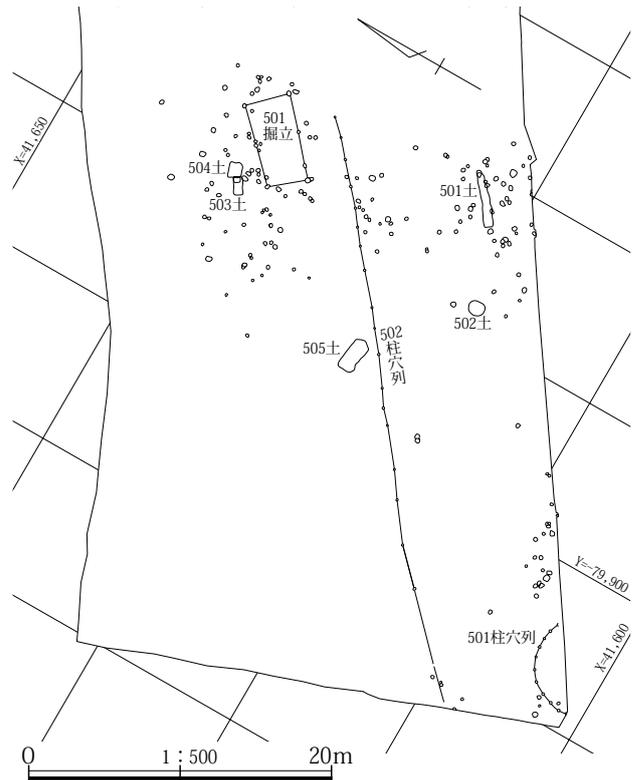
茅畑・鳴上 I 遺跡の溝について、傾斜方向に垂直な溝の平均勾配は2.8%であり、傾斜方向に平行な溝の平均勾配は7.2%であった。

(2) 鳴上 I 遺跡 B 区の掘立柱建物と柱穴列について

501号掘立柱建物とその南に位置する502号柱穴列は、棟方向及び走行方向から関連があると思われる。501号掘立柱建物の棟方位はN-47°-Eであり、502号柱穴列の走行方位はN-50°-Eである。この二つの遺構の棟方位と走行方位は一致していると考えてよい。柱穴の土層も、類似する要素があり、同時期に比定することに矛盾しない。土地の境界杭とその北側に位置する施設と推察される。

調査区南部の環状を呈する501号柱穴列は、境界杭と思われる502号柱穴列の南に位置している。その形状から、ものを囲う役割を果たしていたと推察される。柱穴の土層は、501号掘立柱建物及び502号柱穴列と類似していない。柱穴の形状から同時期の遺構と推定されるものの、501号掘立柱建物及び、502号柱穴列との関連は明瞭でない。ただし、501号柱穴列は、境界杭の南に位置しており、境界杭の南の土地に関連する施設であると思われる。

また、鳴上 I 遺跡 B 区では、172基のピットを確認しており、501号掘立柱建物、501・502号柱穴列との関連が想起される場所である。本調査区のピット群は、501号掘立柱建物中心にして、南東方向へ下る調査区中央の緩斜面に集中して位置している。ピット群が位置する緩やかな斜面は、丘陵地の中央付近に位置する。ピット群の集中は斜面全体からみると同様ではなく、掘立柱建物及び土坑等他の遺構の周辺に集中している。具体的には、501号掘立柱建物の周辺からその西にかけて、501号土坑周辺、501号柱穴列の東である。これらのピット群は、501号掘立柱建物のように建物の柱穴である可能性も否定できないところであるが、柱穴の規模形状、柱間、建物全体の形状など、そのための明確な資料は見つけられず、復元には至らなかった。ただし、501・503・504号土坑は、501号掘立柱建物及び502号柱穴列と主軸方位が近似しており、これらの土坑の具体的な使用目的は確認できないものの、関連するものであると思われる。つまり、501号掘立柱建物、501・502号柱穴列に



第218図 鳴上 I 遺跡 B 区 1 面 南西部の遺構

近接する、これらの土坑やピット群は、同時期のものであった可能性を否定できないのである。

この緩やかな傾斜地は、弥生時代以降、生活の痕跡を重ねてきた経緯が確認できる土地である。中・近世以降も、土地利用がされたと考えられるものの、集落等の遺構は確認できなかった。ただし、本調査区の特徴である、緩やかな傾斜地の地形は、本遺跡周辺の傾向でもあり、榛名山南東丘陵地における樹枝状の自然浸食を受けない丘陵の中央部分に位置している。中・近世以降も意図的に利用されていた土地であると思われる。

(3) 小結

本調査区における溝については以下の通り考える。

① 鳴上 I 遺跡 A 区の 1 号溝は規模の大きな施設で、舌状台地の縁辺部で台地の排水を主目的としているのに対して、鳴上 I 遺跡 A 区の 2 号溝や茅畑遺跡の溝の機能については、傾斜地において土地を区画したものであると思われる。また、傾斜が急なことより、給排水を主目的にした施設ではないと考える。ただし、茅畑遺跡の 6 号溝については、溝の両側にピットが観察され、溝に関連した施設跡の可能性もある。調査区全体に削平が進み、

全容が明らかにできないものの、丘陵地において、傾斜地に区画が施されていたと考えられる。

② 501号掘立柱建物は東西棟であり、502号柱穴列の走行と合わせるように北側に近接して位置している。502号柱穴列を境界杭と考えると、501号掘立柱建物は、境界杭の北側に区画された土地に位置する。

それに対して、環状を呈している501号柱穴列は、境界杭である502号柱穴列からやや離れて位置している。埋没土が類似して同時期の遺構と比定されるものの、501号掘立柱建物及び502号柱穴列との関連は明瞭でない。501号柱穴列は、環状を呈しているため、土地や目的物を囲い込む役割があったと推察できる。境界杭を境に南に位置する。

501号掘立柱建物、501・502号柱穴列に近接する走行が一致する土坑やピット群は、これらの遺構と同時期のものであると考えられる。

③ 茅畑遺跡・鳴上 I 遺跡 A 区におけるこれらの遺構は、土層及び遺物から、中世以降の遺構であると比定される。全体的に後世の削平が進んでいるため十分な資料は得られていないが、耕作中心の土地利用がされていたと思われる。

2 古墳時代～平安時代(2面)について

茅畑遺跡、鳴上 I 遺跡における古墳時代～平安時代の調査面(2面)では、住居・掘立柱建物・道路・土坑・ピット等が検出されている。特に、茅畑遺跡に於いては、平安時代の住居を囲むようにして、掘立柱建物が複数確認された。その中には、住居の主軸方位と棟方位が一致するものがあり、住居と同時期の施設の可能性が考えられる。掘立柱建物の柱穴が住居に後出していることから、住居より新しいものもあると考えられるが、土層や遺物等から同時期の掘立柱建物もあると推察される。

茅畑遺跡においては、住居とそれを取り囲む複数の掘立柱建物群との位置に関連がみられる。ここでは、集落が傾斜地に立地する状況、及び住居と掘立柱建物の関連を中心に検討したい。

(1) 茅畑遺跡の掘立柱建物が

傾斜地に位置していることについて

茅畑遺跡は、西方向の谷筋に向かって傾斜している。

平均勾配は、おおよそ10.2%である。この傾斜は、人々が集落を構えて生活をするには急であるといつてよい。そこで、個別の掘立柱建物の立地の状況を検討する。

まずは、各掘立柱建物の棟方向の勾配について明確にする。各掘立柱建物の棟方向の勾配は第29表の通りである。第29表から、ほとんどの掘立柱建物が傾斜地にあることが分かる。本調査区の掘立柱建物は、棟方向の勾配が平均で8.1%の土地に立地している。本調査区の平均勾配が10.2%であることから、少しでも傾斜の緩やかな場所に掘立柱建物を建てたと考えられる。生活を営む上で、本調査区の斜面は急なため、そのまま利用することは難しいと推察される。調査の結果、傾斜地を平坦面にする地業を行っている形跡は認められていない。使用の際、高床にするなどの施設設備の補足が必要であったと思われるが、その痕跡は明瞭ではない。

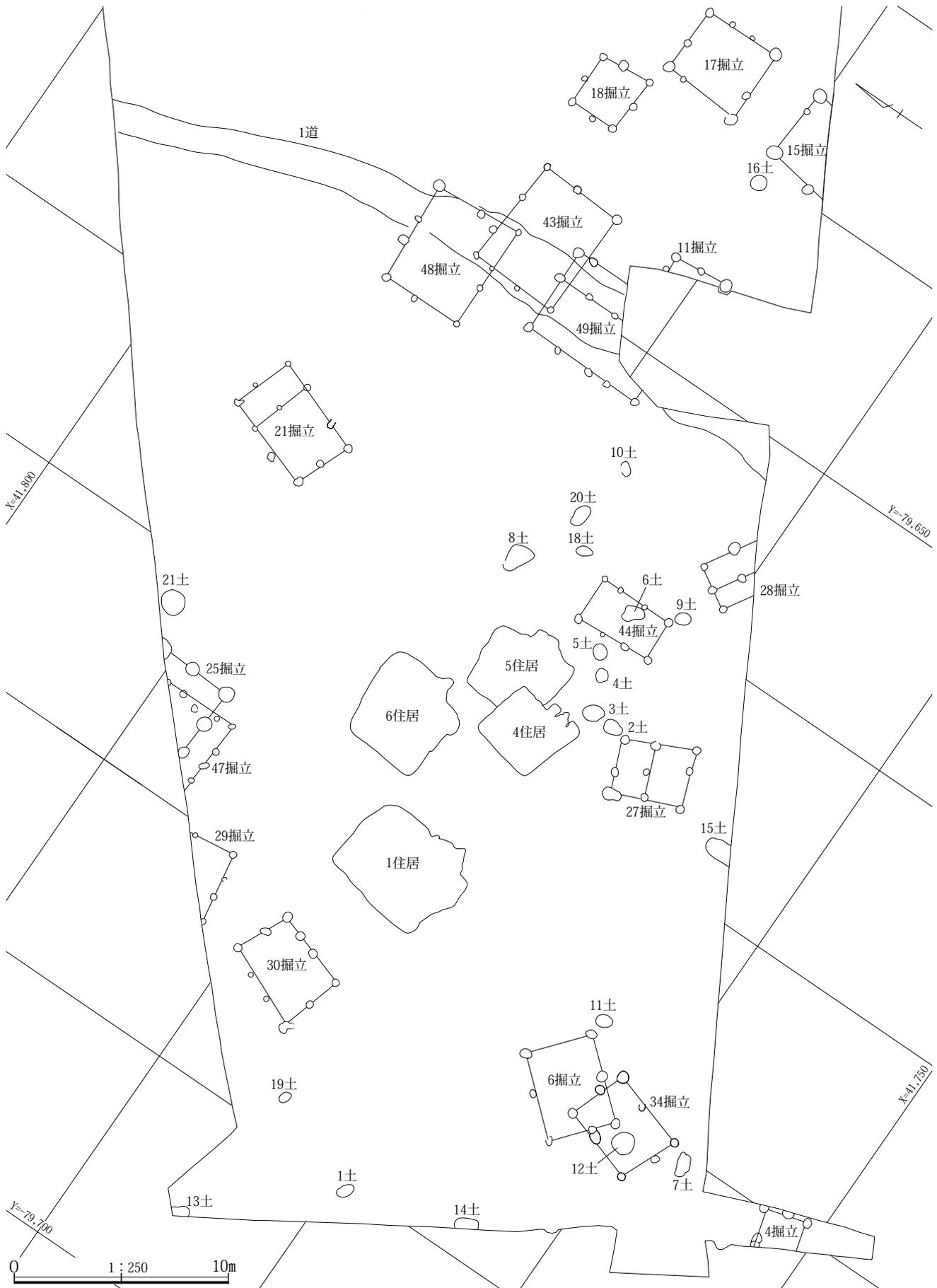
第29表 茅畑遺跡 掘立柱建物の棟方向の勾配

番号	棟方向の勾配(%)	番号	棟方向の勾配(%)
4	17.7	28	2.2
6	11.5	29	9.3
11	3.3	30	6.1
15	8.3	34	10.5
17	6.8	43	10.8
18	8.3	44	6.5
21	6.7	47	11.0
25	9.8	48	9.5
27	5.7	49	2.5

(2) 掘立柱建物と住居との関連について

茅畑遺跡においては、調査された4軒の住居を取り囲むように多数の掘立柱建物が位置している。また、住居の主軸方位と棟方位が一致する掘立柱建物が周囲に複数存在している。個別の住居と掘立柱建物の関連の可能性について考える。まずは、各住居の主軸方位、各掘立柱建物の棟方位について明確にした。各住居の主軸方位は第30表、各掘立柱建物の棟方位は第31表の通りである。第30表から、住居に関しては、1号住居、4号住居の主軸がやや南向きにずれているものの、全体的に、ほぼ主軸方位が合致していることが分かる。第31表から、掘立柱建物に関しては、棟方位の誤差が住居より大きいものの、方向に一定の傾向があることが分かる。

1号住居に対して、主軸方位に棟方位が平行もしくは垂直に位置する近隣の掘立柱建物は、25・29・30・47号



第219図 茅畑遺跡2面 西部の遺構

掘立柱建物、やや離れているが34号掘立柱建物が挙げられる。4・5号住居に対して、主軸方位に棟方位が平行もしくは垂直に位置する近隣の掘立柱建物は、28・44号掘立柱建物、やや離れているが11・43・48・49号掘立柱建物等が挙げられる。ただし、4・5号住居は重複しており、住居自体に時期差があると考えられ、個々に対応する掘立柱建物の是非は明瞭でないことを指摘しておく。6号住居に対して、主軸方向に棟方位が平行もしくは垂直に位置する近隣の掘立柱建物は、21・25・47号掘立柱建物、やや離れているが43・48・49号掘立柱建物等が挙げられる。これらの対応が、住居に付随する施設としての掘立柱建物の候補としてあげられるが、これ以上の認定は困難である。

4号掘立柱建物は、主軸方向が住居群とほぼ合っているが、やや離れている。6号掘立柱建物は、主軸方向が合っていない。4・6号掘立柱建物は、調査区域外に想定される住居群に付随するか、単独で設置されていた可能性を指摘しておく。11・15・17・18・43・48・49号掘立柱建物は、棟方位が住居群の主軸方位と合っているものの、位置的にやや離れているため、対応する施設であるか明瞭でない。調査区外に想定される住居群に付随する施設か、1号道路に重複する施設であった可能性を指摘する。

第30表 茅畑遺跡 住居の主軸方位

番号	棟方位	番号	棟方位
1	N-104°-E	5	N-91°-E
4	N-102°-E	6	N-98°-E

第31表 茅畑遺跡 掘立柱建物の棟方位

番号	棟方位	番号	棟方位
4	N-73°-E	28	N-34°-W
6	N-41°-E	29	N-81°-E
11	N-86°-E	30	N-22°-E
15	N-6°-E	34	N-18°-E
17	N-1°-E	43	N-87°-W
18	N-3°-W	44	N-2°-W
21	N-20°-E	47	N-87°-W
25	N-86°-W	48	N-89°-E
27	N-22°-W	49	N-1°-E

(3) 掘立柱建物と道路の重複について

1号道路には、複数の掘立柱建物が重複していた。1号道路は、掘立柱建物群より古く、また長きにわたり使用されてきた経緯が窺える。道路閉設後に掘立柱建物が建てられたと考えられるのが自然である。

49号掘立柱建物は、1号道路の両側に均等に位置している。1号道路との関連は明瞭でない。ただし、土層により時期は1号道路の方が古いものである。

43号掘立柱建物は、1号道路の東側に、48号掘立柱建物は西側に大きく偏って重複をしている。土層により1号道路が古いと考えるが、重複する掘立柱建物の新旧関係は明瞭でない。1号道路との関連は明瞭でない。

1号道路は、古代から長きにわたり使用されてきた経緯が推察される。一時的に道路が閉設した後に49・43・48号掘立柱建物が建てられたと考えるのが自然であり、1号道路と掘立柱建物が同時に存在していた時期がある可能性は少ない。

(4) 建て替えについての可能性

茅畑遺跡の掘立柱建物は、建て替えが行われているものがあつた。25・47号掘立柱建物及び、43・48号掘立柱建物等である。

25号掘立柱建物は大きな柱穴を持ち、柱間も均等である。それに対して47号掘立柱建物は、柱穴も小さく、柱間には出入口の形跡が見られる。形状から25号掘立柱建物が古いと考えられる。位置関係から同じ棟方向、及び同規模に建て替えられた可能性があると考えられる。

43・48号掘立柱建物は、新旧は明瞭でないが、棟方向が一致しており、一部重複して平行移動して建てられている。規模はほとんど同じであり、建て替えられた可能性があると考えられる。

(5) 小結

茅畑遺跡における住居及び掘立柱建物について以下の通り考える。

- ① 本調査区の掘立柱建物は、急傾斜地に立地しており、使用面を水平にするための地業は施していない。
- ② 近接する竪穴住居群の主軸方位と棟方位が合う掘立柱建物が存在している。各住居に対応する掘立柱建物が、複数存在する。対応しない掘立柱建物については、調査

区外に想定される遺構との関連を考える必要がある。

③ 1号道路に重複する掘立柱建物が確認できた。1号道路が古いと思われる。

④ 重複している掘立柱建物の中には、同じ棟方向で同規模の施設もあり、建て替えられたものであると思われる。

本遺跡において、一定期間集落が存続していた根拠となるものである。

3 縄文時代～弥生時代(3面)の住居について

鳴上I遺跡では、弥生時代後期における集落の様相が明らかになった。鳴上I遺跡A区で3軒、鳴上I遺跡B区で12軒の弥生時代後期の住居が確認されている。特徴的なのは、確認された住居の中で、炭化材を多量に検出する焼失住居の割合が高いことと、屋内高床部、いわゆるベッド状遺構を伴う住居の割合が高いことである。本項では、これらのことを中心に、本調査区における当時の集落の様相を検討するものである。

(1) 焼失住居について

鳴上I遺跡においては、検出された全ての住居に対して焼失住居が数多く確認された。

焼失竪穴建物の特徴は、竪穴内の炭灰層、炭化材・炭化物、焼土塊・焼土、焼土面、床面上の遺物に認められる被熱痕跡等によって捉えられ定義されてきた。そこで、焼失住居の認定・定義と分類はどうあるべきなのだろうか。認定・定義と分類に際して、炭化材と焼土の存在という視点は、現在でも焼失住居認定の基準である(石野1990)。また、近年では、以下のように認定・定義・分類されることが多いと考える(岡村2007)。

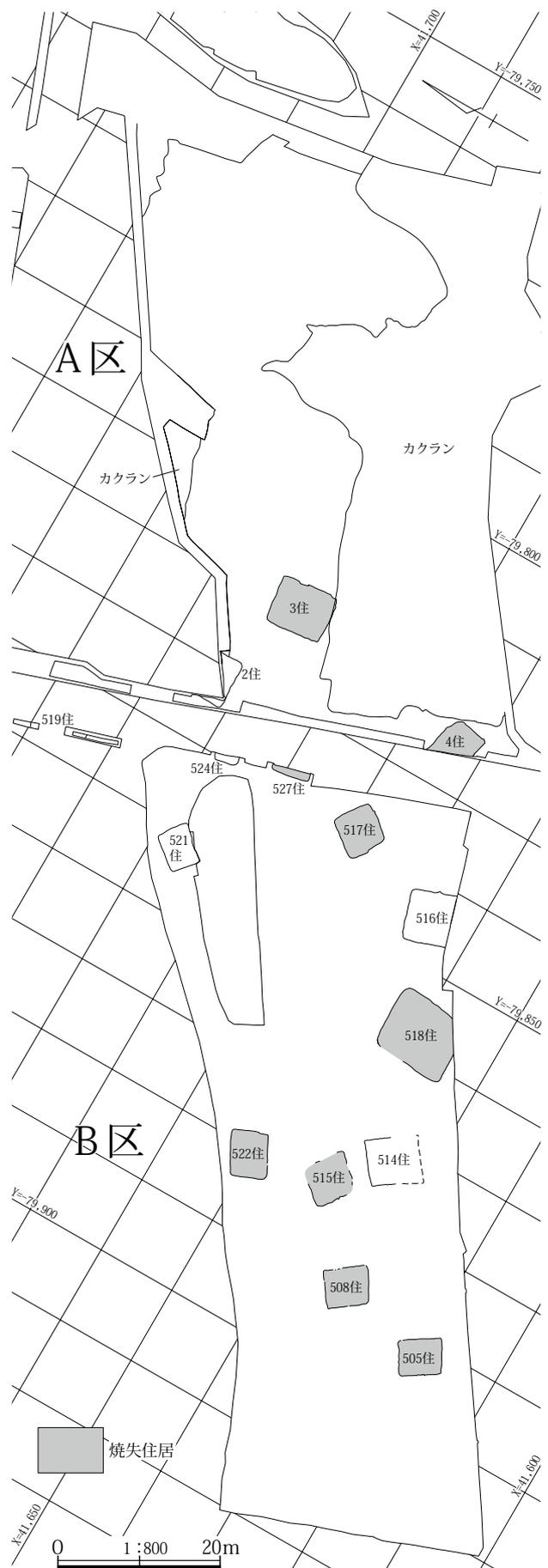
・認定される場合

A1：竪穴建物の床面上から壁にかけて、建物の上部構造の状況を反映する形で炭化材が出土し、焼土塊が伴って出土する場合

A2：A1の中で焼土塊が伴わない場合

B：上部構造を具体的に伴わないが、炭化材と焼土塊が検出される場合

C：上部構造を具体的に伴わないが、炭化材のみが検出される場合



第220図 鳴上I遺跡3面 弥生焼失住居分布図

D：上部構造を具体的に伴わないが、焼土塊のみが検出される場合

・グレーゾーンの

E：焼土や炭化物の出土状況が図示されず「それらが床面上に混じる」などの記述があるだけの場合

その他：部分的に焼土や炭化材が出土している場合

この認定・定義と分類に即して、本調査区の焼失住居の認定を検討した結果は次のようである。

① 鳴上 I 遺跡 A 区における検出状況

2号住居では、炭化材、焼土塊共に確認されず、焼失住居と認定されない。

3号住居では、住居北東と南を中心に、炭化材が複数出土している。焼土は確認されるが、炉に伴うものであると思われる。基準Cによって焼失住居と認定できる。

4号住居では、床面全体に炭化材が分布している。特に、東壁際に著しい。焼土は、炉に伴うもの以外、南を中心に散見できる。炭化物の量が多く、柱穴間の梁や壁際の垂木を想定する位置の近くには確認されるが、明確に上部構造が確認できるものではない、基準A1から基準Bまでの間で焼失住居と認定される。

鳴上 I 遺跡 A 区においては、3軒のうち2軒、検出された全ての住居に占める焼失住居の割合は66.7%である。

② 鳴上 I 遺跡 B 区における検出状況

505号住居では、住居中央から西より及び南に炭化材が散見できる。中央には焼土が見られる。上部構造の状況を具体的に反映しているとは言えず、基準Bにより、焼失住居と認定される。

508号住居では、住居北を中心に炭化物が散見できた。中央に灰は確認できたが、焼土は確認できなかった。上部構造の状況を具体的に反映しているとは判断できず、基準Cにより、焼失住居と認定される。

514号住居では、炭化材、焼土塊共に確認されず、焼失住居と認定されない。

515号住居では、西隅に炭化物の出土が確認できる。焼土は炉に伴うものであり、他には確認できない。上部構造の状況を具体的に反映しているとは言えず、基準Cにより、焼失住居と認定される。

516号住居では、炭化材は確認されないものの、炉に

伴わない焼土が西及び南に見られる。基準Dから基準Eに当てはまる可能性があるが、判定に迷うグレーゾーンの範囲であり、焼失住居であるかは明瞭でない。

517号住居では、住居中央を中心に、多量の炭化材が確認できる。柱穴周りに集中しており、特にP3・4間に出土した炭化材は、梁が崩落したものであると推察される。焼土塊は確認できない。一部上部構造の状況を具体的に反映しており、基準A2によって、焼失住居と認定される。

518号住居では、南西の一部を除く住居全体の広い範囲に焼土が分布している。西壁、北壁、東壁の直下に、多量の炭化材が出土している。住居を焼却廃棄する際に、住居の周りに貼られた板材が焼け落ち、完全に燃焼しないうちに埋め戻され、その結果、多量の焼土や炭化物が観察されたと考えられる。板状の炭化材は、住居の壁を覆うもので高さは同一であった。さらに、床面に確認された柱穴には、炭化材の他に、焼け残った柱が生木の状態で確認されている。上部構造の状況を具体的に反映はしていないが、住居の周囲を囲む板材の焼失状況は確認できており、基準A1により、焼失住居に認定されると考えてよい。

519号住居では、調査範囲が少なく、一部炭が確認されるものの、明確な資料が得られていない。基準Eに当てはまる可能性があるが、判定に迷うグレーゾーンの範囲であり、焼失住居であるかは明瞭でない。

521号住居では、住居北西を中心に、炭化材が散見できる。北辺及び北西隅方向に向かって炭化材が検出されており、垂木及び壁に貼られた板材が崩落した可能性が考えられる。中央に焼土の分布も複数確認され、基準A1により、焼失住居に認定されるといってよい。

522号住居では、住居全体に、多量の炭化材が確認できる。柱穴周りに集中しており、柱間を繋ぐように横たわっている炭化材も確認できる。炭化材は、梁及び垂木等が崩落したものであると推察される。中央には炭が広く分布しており、囲むように焼土が見られる。基準A1により、焼失住居であると考えられる。

524号住居では、住居西壁際に炭化材が散見できるものの、焼土は確認できない。上部構造の状況を具体的に反映はしていないため、基準Cにより、焼失住居の可能性があると考える。

527号住居では、ベッド状遺構上に、炭化材が散見できる。出土位置から垂木が崩落したものであると推察される。炭化材の周囲と北西隅には焼土も確認される。一部上部構造の状況を具体的に反映しており、基準A1によって、焼失住居と認定される。調査範囲が限られており、全体の上屋構造に関しては明瞭でない

嶋上I遺跡B区においては、実に、12軒のうち9軒、検出された住居のうち、75.00%の住居が焼失住居であった。嶋上I遺跡A区・B区の平均をとると15軒のうち11軒、検出された住居のうち、焼失住居が73.33%の割合を占めた。実におよそ7割強の住居が焼失住居であったと考えられる。報告によると、群馬県における焼失住居の割合は、弥生時代後期で24%、古墳時代前期で25%である(石守2003)。これに比しても、本調査区の集落における焼失住居の割合は高いと言わざるを得ない。

③ 焼失原因について

焼失原因については、a.物送りの儀礼としての意図的な放火、b.戦乱などによる焼き討ち、c.住居廃絶に伴う住いの整理のための廃屋の焼却等があるとされている(高田2003)。また、北陸地方においては、弥生時代の戦乱の象徴である高地性集落に焼失住居が目立つのも事実であるとしている(麻柄2003)。さらに、鎮火祭祀を実施するにあたり、計画的住居解体が行われており、他住居への類焼を防いでいたとしている(西原2003)。そして、今後、失火、焼き討ち、焼却、家焼き・家送り等、焼失原因に関しては、事例をもとに明らかにすることが課題であるとされている(石野1990)。

本調査区の場合、517号住居・518号住居においては、炭化物が豊富に確認されている。その様相及び、遺物の残存量が比較的少ないことなどから戦乱や鎮火祭祀などではないと思われるものの、建物の使用停止に伴い焼却廃棄された可能性を断定するまでには至らなかった。本集落においては、焼失住居の割合が多いものの、住居の焼失原因については明確にできなかった。

また、焼失住居と出土遺物の関連については、後述するベッド状遺構に伴う住居の項で触れることとする。

[参考文献]

石野博信1990「第5章 火災住居跡の課題」『日本原始・古代住居の研究』
岡村道雄2007「焼失竪穴建物研究の方法と可能性」『奈良文化財研究所

紀要』p42-45

石守晃2003「焼失実験と関東北部の焼失住居」『考古学ジャーナル』No.509

高田和徳2003「焼失住居の分布とその意味」『考古学ジャーナル』No.509

麻柄一志2003「北陸地方の焼失住居」『考古学ジャーナル』No.509

西原雄大2003「滋賀県の焼失住居と弥生・古墳時代住居における鎮火祭祀について」『考古学ジャーナル』No.509

(2)ベッド状遺構についての検討

嶋上I遺跡では、弥生時代後期と比定される住居が、15軒確認されている。そのうち、ベッド状遺構^(註1)を備えた住居は9軒である。内訳は、嶋上I遺跡A区では、弥生時代の住居が3軒確認され、全てにベッド状遺構が見られた。嶋上I遺跡B区では、弥生時代の住居が12軒調査され、ベッド状遺構を持つ住居が6軒確認された。本調査区で確認された弥生住居のうち、ベッド状遺構を伴う住居の占める割合は、実に、全体の60.00%に及んでいる。これは、国内の他地域と比較しても高い割合といえる^(註2)。さらに、群馬県内でベッド状遺構が明確に出土した例は少なく^(註3)、今後の調査研究に寄与するために検討を行う。

① ベッド状遺構の検討について

ベッド状遺構については、地域によって出土数、形態及び時期が異なっているという問題があり、その解明には地域からの地道な研究の蓄積が必要であると指摘されている^(註4)。嶋上I遺跡における弥生住居のベッド状遺構について検討していく上で、地域の特性を明らかにすることに視点をあてる。

② ベッド状遺構研究の経緯とその課題

屋内高床部、いわゆるベッド状遺構はどのような経緯で認識されてきているのだろうか。総じて以下のように認識されているようである。(石野1990・寰島1991)

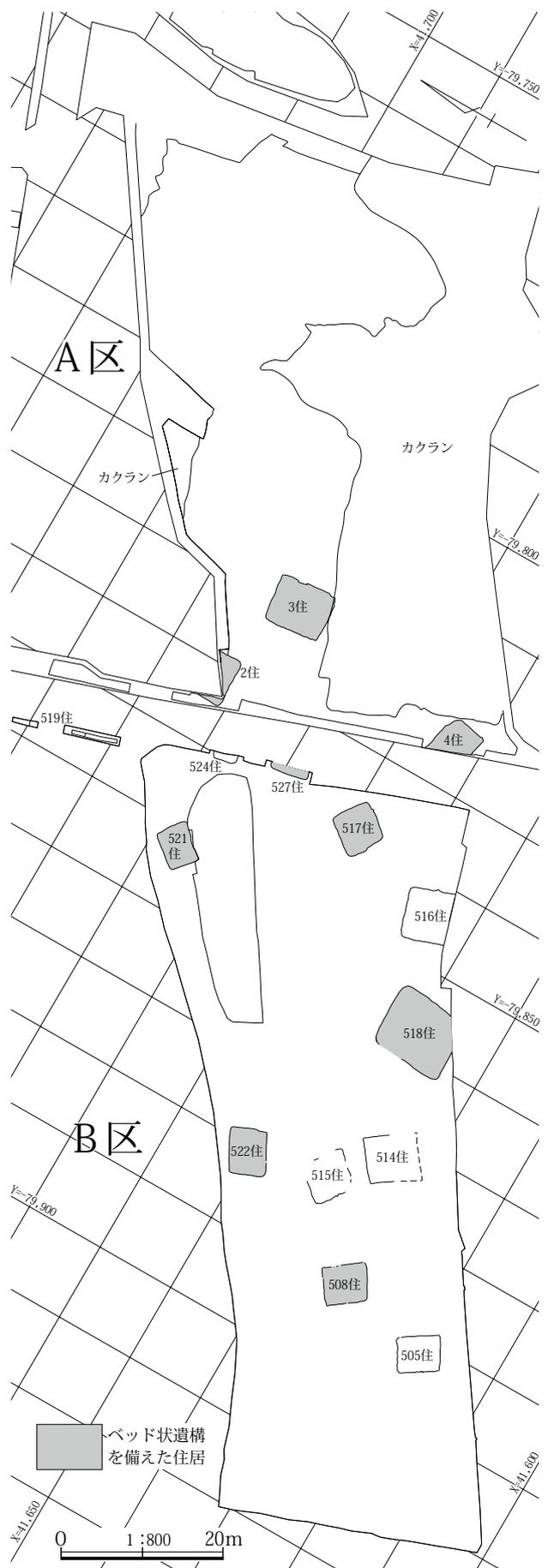
後藤守一は、論文の中で竪穴住居内の高床部について物置及び寝所であると指摘している(後藤1940)。その後、東京都の道灌山遺跡と同様な遺構が調査されている(1954)。田辺哲夫・田添夏喜は、日本考古学協会総会で、下前原遺跡において「ベッド」という名称を用い、寝台と貴重品置場という用途にふれ、後藤の推論を支持した(田辺・田添1957)。吉田章一郎・田村晃一は、ベッド状遺構の名称を与え、ベッドの部分寝所、中央床面を作業や団らんの場との住居内の利用区分があることを提唱し

た(吉田・田村1962)。和島誠一・田中義昭は、ベッド状遺構を寝所と考え、住居人員の推定へ進んだ(和島・田中1966)。木下忠は、ベッド状遺構の面積から住居の人員の算出を行った(木下1966)。

和島誠一・金井塚良一は、同じ住居に住む人々に序列が固定したと指摘した(和島・金井1966)。この指摘は、竪穴住居相互の階層差を表すという方向に展開された。沢田大多郎は、ベッド状遺構を持つ人々が方形周溝墓に埋葬されたと考え、ベッド状遺構と階層の関係を指摘した(沢田1967)。田村晃一は、住居の普遍的内部構造の変化に留意すべきと指摘した(田村1969)。熊野正也は、全国17遺跡のベッド状遺構を集成して、6形態に分類している。また、ベッド状遺構をもつ住居の住人は、集落の中心的存在であり、方形周溝墓に埋葬された人であると指摘した(熊野1974)。しかし、現在、調査件数も増え方形周溝墓とベッド状遺構の検出数の差や時間的な差を考えた場合、方形周溝墓に埋葬されたという考えは必ずしもあてはまらないとされている(簗島1991)。

石野博信は、ベッド状遺構を屋内高床部の名称で使用した(石野1975)。河野眞知郎は、全国61遺跡のベッド状遺構を時期的・地域別に集成し8類22形態に分類している(河野1975)。河野は、集落内の位置、出土遺物の種類、他の住居との大きさの観点から分析し、関東と近畿・九州のベッド状遺構の意味の違いを指摘し、ベッド状遺構を「聖別」した。ベッド状遺構を有する住居を司祭者の住居とした。関春彦は、住居内の施設の面積を計測しており、北部九州のベッド状遺構のあり方を検討した(関1977)。岡村眞文は、祭祀性の可能性について言及している(岡村1985)。篠原浩江は、全国92遺跡のベッド状遺構を集成した結果、ベッド状遺構は集落内において祭祀性を有しており、特異な位置を占めたとしている(篠原1990)。

以上のように、現在、住居内におけるベッド状遺構の機能の考え方として、物置場としての役割・寝所としての役割・祭祀としての役割、及びそれらを複合した役割等があり、特に、寝所としての役割、祭祀としての役割が有望視されているようである。ただし、ベッド状遺構については、資料を積み重ねていくことが重要であり、それらの形状や意味を明瞭にしていくことが今後の課題であるとされている。そこで、本稿においては、鳴上I



第221図 鳴上I遺跡3面
ベッド状遺構を備えた弥生住居分布図

遺跡のベッド状遺構について明らかにすることにより、今後のベッド状遺構の解明に資するものとした。

③ ベッド状遺構の定義

ベッド状遺構は、住居出入口の柵状の施設を除いたもので、竪穴住居を造る際、屋内に幅50～100cm、長さ1m以上、高さ10～20cm程の上面が平らな土壇状の遺構を造るために地山を削り出すか、土を充填して作った構造とされている(簗島1991・宮本1990・石野1990)。現在のところ、本定義に基づく認定が妥当なようであり、本調査区の遺構においては、本定義を用いるものとする。

④ 嶋上 I 遺跡のベッド状遺構の様相

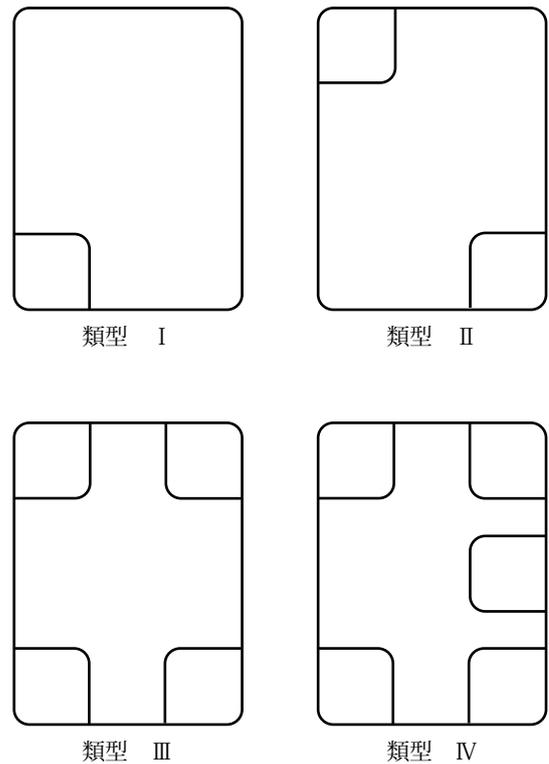
ベッド状遺構の定義に基づき、群馬県内の遺跡の報告書によると、嶋上 I 遺跡の西約1km、谷筋違いの尾根に位置する三ツ子沢中遺跡43号住居の北西隅に、本遺跡と同質のベッド状遺構が確認されており時期の比定もほぼ同じであった。また、井出村東遺跡42・49号住居においても一部痕跡が認められる。ただし、本県において、ベッド状遺構の形状が明確に示されている遺構の出土例は少なく、県内における本遺跡のベッド状遺跡との体系的な比較検討は難しいと言える^(註3)。

本調査区におけるベッド状遺構は、三ツ子沢中遺跡43号住居のベッド状遺構と同様、上記の定義に十分かなうものであると考えられる。本項では、本遺跡におけるベッド状遺構に特化して考察する。

ア. ベッド状遺構の類型

本調査区のベッド状遺構は、中央部の床面を取り巻くように壁際に長く位置するものではない。ベッド状遺構に関する類型化に関しては、既に示されているところであるが(河野1975・石野1990)、本調査区の事例はそのうちの一つに当てはまるものである。ただし、本調査区の事例においては、住居内におけるベッド状遺構の配置の観点から、独自に詳細に分類できるため、下記の4種類に類型化した(個別の記録については後述する)。

本遺跡における、ベッド状遺構の構造については、住居の隅に広さは約畳一畳分、10cm前後の高まりを伴うものである。構築方法としては、ロームブロック混じりの土を充填して作ったものであり、地山を削り出して作っ



第222図 嶋上 I 遺跡におけるベッド状遺構の類型

たものではない。また、ベッド状遺構の表面はおおよそ平坦である。

類型 I：一つの隅及び並ぶ隅に位置するもの

類型 II：対角線上に位置するもの

類型 III：四隅全てに位置するもの

類型 IV：隅の配置以外に加わるもの

なお、ベッド状遺構の個々の規模及び形状については、第5章3・4における事実記載を参照されたい。

イ. 住居の規模とベッド状遺構の占有率

ベッド状遺構をもつ住居の面積におけるベッド状遺構の面積の占有率は、ベッド状遺構をもつ住居にとって、重要な意味を持つと考えられる。ベッド状遺構の占有率は30%と比較的高い値の報告もなされており(簗島1991)、ベッド状遺構の使用目的が、寝所や祭祀等他の用途にあったとしても、住居を造る際に様々な配慮が必要であったと考えられるからである。ここでは、嶋上 I 遺跡におけるベッド状遺構の占有率からもベッド状遺構の特徴を検討する。一部調査区域外の住居の分類については、可能性がある分類はすべて示した。

分類別

【類型Ⅰ】

517号住居:主軸長5.52m、幅5.00m、住居面積23.86㎡、ベッド状遺構面積1.55㎡、ベッド状遺構の占有率6.50%である。南西隅に位置する。

522号住居:主軸長5.78m、幅4.55m、住居面積23.23㎡、ベッド状遺構面積2.28㎡、ベッド状遺構の占有率9.81%である。南東隅と南西隅に位置する。

【類型Ⅱ】

508号住居:主軸長5.40m、幅4.80m、住居面積20.96㎡、ベッド状遺構面積3.33㎡、ベッド状遺構の占有率15.89%である。北西隅と南東隅に位置する。

【類型Ⅲ】

3号住居:主軸長7.36m、幅6.14m、住居面積39.24㎡、ベッド状遺構面積6.51㎡、ベッド状遺構の占有率16.59%である。四隅に位置する。

【類型Ⅳ】

518号住居:主軸長9.36m、幅7.93m、住居面積(63.55)㎡、ベッド状遺構面積(6.78)㎡、ベッド状遺構の占有率(10.67)%である。四隅及び東壁際に位置する。

521号住居:主軸長5.12m、幅3.89m、住居面積17.01㎡、ベッド状遺構面積1.65㎡、ベッド状遺構の占有率9.70%である。西隅、南西壁に並ぶように位置する。

【類型Ⅰ・Ⅱ・Ⅳの可能性がある】

527号住居:主軸長4.80m、幅(0.86)m、住居面積(3.01)㎡、ベッド状遺構面積(0.72)㎡、ベッド状遺構の占有率(23.92)%である。南西隅に位置する。北西隅にはない。その他は、調査区域外のため明瞭でない。

【類型Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの可能性がある】

2号住居:主軸長不明、幅6.15m、住居面積(7.48)㎡、ベッド状遺構面積(2.00)㎡、ベッド状遺構の占有率(26.74)%である。南東隅と南西隅に位置する。その他は、調査区域外のため明瞭でない。

4号住居:主軸長(4.86)m、幅4.44m、住居面積

(16.57)㎡、ベッド状遺構面積5.36㎡、ベッド状遺構の占有率(32.35)%である。北東隅と南東隅に位置する。その他は、調査区域外のため明瞭でない。また、本住居は使用面が2面あり、ベッド状遺構を途中で設置している。

本調査区における住居面積に対するベッド遺構の平均占有率は、鳴上Ⅰ遺跡A区で25.23%、鳴上Ⅰ遺跡B区で12.75%、鳴上Ⅰ遺跡全体で16.90%であった。また、分類ごとの平均占有率は、類型Ⅰが8.16%、類型Ⅱが15.89%、類型Ⅲが16.59%、類型Ⅳが10.19%、類型Ⅰ・Ⅱ・Ⅳが23.92%、類型Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが29.54%であった。ベッド状遺構の数や構成によって占有率が影響を受けるのは当然である。これらの結果から、ベッド状遺構の占有率は生活に十分影響をあたえるほど高く、限られた生活空間において、ベッド状遺構が寝所の役割のみに使用されていたとは推察されず、寝所以外の生活上の用途も含めて考える必要があると思われる。詳細については第32表に記載した。(※平均値は現存値も含む。)

ウ. ベッド状遺構をもたない住居との比較

鳴上Ⅰ遺跡では、弥生住居が15軒出土しており、そのうち9軒がベッド状遺構を伴うことは先述したが、ベッド状遺構を伴わない他の6軒との関連についてはどうか。住居規模及び出土遺物からの比較を試みた。

a. 住居規模からの比較

まずは、住居規模が、ベッド状遺構を伴う条件になっているか検討する。ベッド状遺構を伴う住居規模の平均値は、主軸長:6.19m、幅5.36m、面積24.86㎡である。それに対してベッド状遺構を伴わない住居規模の平均値は、主軸長:5.01m、幅5.50m、面積27.86㎡である。平均値で比べると、ベッド状遺構を伴う住居群の規模の方が、主軸長が長く、幅が短く、面積が狭いといえる。また、個別に比較すると、ベッド状遺構を伴わない516号住居が、主軸長(5.58)m、幅6.51m、面積(30.58)㎡であるのに対して、ベッド状遺構を伴う518号住居のように、主軸長9.36m、幅7.93m、面積(63.55)㎡の巨大なものから、521号住居のように、主軸長5.12m、幅3.89m、面積17.01㎡のものまでである。

平均値においては、上記の通りの差異が認められる。

個別の比較においては、ベッド状遺構の有無に関して、住居規模は個別の成り立ちに負うところが大きいと思われる。本調査区においては、住居規模とベッド状遺構の関連、つまり、住居の大きさに伴って、ベッド状遺構をしつらえることについての明瞭な条件はなかったことを指摘する。（*平均値は現存値を含まない。）

b. 遺物の出土状況及び器種構成からの比較

次に、ベッド状遺構を伴う住居と伴わない住居の相違について、出土遺物及び器種構成から検討する。ここでは、第5章3・4節に図示した遺物を利用する。まずは、ベッド状遺構を伴う住居と伴わない住居の出土遺物を明確にするため、各住居の出土遺物を第33・34表に示した。第33・34表より、鳴上I遺跡においては、明らかにベッド状遺構を伴う住居群のほうが出土遺物については数が多く器種も豊富である。特に、2・3・508・517・518・522号住居に関しては、高杯、甕、台付甕、紡輪など、作業性及び装飾性の高い土器が出土している、中にはベッド状遺構床直上から出土しているものもある。このことは、ベッド状遺構が単に、寝所としてばかりでなく、祭祀的及び作業的な意味を持つ施設であることを示唆している。本調査区においては、ベッド状遺構を伴う住居は、ベッド状遺構を伴わない住居に比して、出土した土器について、器種、量ともに豊富であったと考えられる。

また、土器の残存状況と焼失住居の関連性については、どうであろうか。第33・34表の*印は焼失住居を示している。それによると、やはり、焼失住居から出土した土器のほうが器種、量ともに豊富である傾向は見られる。ただし、505・515・524号住居のように、焼失住居でありながら土器の残存数が少ない住居もある。ベッド状遺構を伴う住居と出土遺物の関係より、焼失住居と出土遺物との関係は明確ではないと考える。

⑤ まとめ

鳴上I遺跡におけるベッド状遺構について検討してきたが、その特徴は以下の通りであると考えられる。

ア. 鳴上I遺跡の弥生時代後期の住居においては、ベッド状遺構を伴う調査例が多数見られた。

イ. 同時期の集落内に、ベッド状遺構を伴う住居が複数

存在しており、集落内においてベッド状遺構は特別な存在ではなかったと考えられる。

ウ. ベッド状遺構を伴う住居とベッド状遺構を伴わない住居の規模的な違いについては明瞭でない。

エ. 住居内におけるベッド状遺構の位置は、住居の隅に位置することが基本であり、一つの隅及び並ぶ隅にあるもの(類型I)、対角線上にあるもの(類型II)、四隅にあるもの及び四隅にあったと推察できるもの(類型III)、隅の配置以外に加えてそれ以外にも見られるもの(類型IV)に分類できる。

オ. ベッド状遺構の占有率や出土遺物を勘案すると、ベッド状遺構は、寝所だけではなく、作業場的な場面、祭祀的な場面で使用された可能性が指摘できる。

カ. ベッド状遺構の形状は、約畳一畳分の長方形が基本で、10cm程の高まりを有した整った形状をしており、集落内において規格の統一があったと推察される。

キ. 住居内におけるベッド状遺構の占有率は、平均16.90%であり、使用目的を限定してしまうと生活に影響を与える広さであると思われる。寝所以外、生活空間として使用する必要があったと考えるのが自然である。今回の検討は、ベッド状遺構の一つの側面を明らかにしたに過ぎない。ベッド状遺構については、解明できていない部分が多く、今後の発掘調査や研究の積み重ねに負うところが大きいと考える。

(3) 小結

炭化材を多量に検出する焼失住居及びベッド状遺構を伴う住居について、本遺跡における住居の様相は以下の通りである。

① 鳴上I遺跡A区では、検出された3軒の住居の全てにベッド状遺構が確認されている。このうち、3号住居、4号住居は、焼失住居の可能性があり、2号住居は、炭化材が確認されず焼失住居の可能性がなかった。

② 鳴上I遺跡B区では、ベッド状遺構が確認され、焼失住居の可能性のある住居は、508・517・518・521・522・527号住居であり、ベッド状遺構が確認されず、焼失住居の可能性のある住居は505・515・524号住居である。ベッド状遺構が確認されず、焼失住居の可能性がない住居は、514・516・519・520号住居である。

第32表 鳴上 I 遺跡 A・B 区 ベッド状遺構を伴う住居の規模とベッド状遺構の占有率及び分類

鳴上 I 遺跡 A 区						
番号	主軸長(m)	幅(m)	住居面積 (㎡)	ベッド状遺構面積(㎡)	住居面積に占めるベッド状遺構面積の割合 (%)	分類
2	不明	6.15	(7.48)	(2.00)	(26.74)	類型 I・II・III・IV
3	7.36	6.14	39.24	6.51	16.59	類型III
4	(4.86)	4.44	(16.57)	5.36	(32.35)	類型 I・II・III・IV
鳴上 I 遺跡 B 区						
番号	主軸長(m)	幅(m)	住居面積 (㎡)	ベッド状遺構面積(㎡)	住居面積に占めるベッド状遺構面積の割合 (%)	分類
508	5.40	4.80	20.96	3.33	15.89	類型II
517	5.52	5.00	23.86	1.55	6.50	類型I
518	9.36	7.93	(63.55)	(6.78)	(10.67)	類型IV
521	5.12	3.89	17.01	1.65	9.70	類型IV
522	5.78	4.55	23.23	2.28	9.81	類型I
527	4.80	(0.86)	(3.01)	(0.72)	(23.92)	類型I・II・IV

第33表 鳴上 I 遺跡 A・B 区 ベッド状遺構を伴う住居からの出土遺物(掲載土器)

番号	高杯	甕 (小型甕)	台付甕 (小型台 付甕)	蓋	壺(小型 壺・瓢壺)	鉢	器台	片口	ミニチュ ア土器	紡輪	勾玉	土玉	合計
2	6	3	2	1	4(瓢壺1)					1			18
3*	7	7	1		7	1	1				1		25
4*	5	4			2	1				1			13
508*	3	6	1		5				1	2		1	19
517*	3	5	2		2(小型壺1)	1	1			2			17
518*		5(1)	5(3)		2(小型壺1)	1	1	1		1			21
521*	1	1(1)	3		1					2			9
522*	4	7			3(瓢壺1)		1			1			17
527*	2	4(1)		1	2(小型壺1)		2			1			14

*は焼失住居である。

第34表 鳴上 I 遺跡 B 区 ベッド状遺構を伴わない住居からの出土遺物(掲載土器)

番号	高杯	甕 (小型甕)	台付甕 (小型台 付甕)	蓋	壺(小型 壺・瓢壺)	鉢	器台	片口	ミニチュ ア土器	紡輪	勾玉	土玉	合計
505*	2	3	(1)		3								9
514		1											1
515*	1	1	1		3								6
516	4	1(5)			3					2			15
519													—
524*		5	(1)		2								8

*は焼失住居である。

③ 鴨上 I 遺跡 A 区では、ベッド状遺構が伴う住居の 66.7%が、鴨上 I 遺跡 B 区では、ベッド状遺構を伴う住居の 100%が、鴨上 I 遺跡全体では、ベッド状遺構を伴う住居の 88.9%が、焼失住居の可能性がある。それに対して、鴨上 I 遺跡 B 区では、ベッド状遺構を伴わない住居の 50.0%が、焼失住居の可能性があるとどまる。

④ 鴨上 I 遺跡においては、ベッド状遺構を伴わない住居の 5 割が焼失住居の可能性のあるのに対して、ベッド状遺構を伴う住居のうち、およそ 9 割に関して焼失住居の可能性が考えられる。これらのことを勘案すると、鴨上 I 遺跡における焼失住居の焼失原因が、焼却廃棄にあることを前提にする場合、ベッド状遺構を伴う住居のほうが積極的に焼却廃棄された可能性が高いと考えることができる。ベッド状遺構を伴わない住居の住人に比して、ベッド状遺構を伴う住居の住人は、焼却廃棄する状況にあったと推察される。これは、出土遺物による比較で前述した「ベッド状遺構を伴う住居は、土器の器種、量ともに豊富である。」ことと関連が深いと考える。

⑤ ただし、今回の検討は、鴨上 I 遺跡に関して、焼失住居とベッド状遺構を伴う住居の関連性について一面を明らかにしたものである。より広範囲で普遍的な内容については解明できていない部分が多く、今後、さらなる調査例の増加に期待したい。

註 1 「ベッド状遺構」には、他にも「屋内高床部」等の呼び呼称があるが、本稿では、認知されている度合いが高いと思われる「ベッド状遺構」という呼称を使用している。

註 2 箕島正弘(1991)は、「千葉県南部におけるベッド状遺構について」君津都市文化財センター『研究紀要Ⅴ』において、「ベッド状遺構を伴う住居は、集落内で同時期に複数で存在する可能性が少ない」と特色づけている。

註 3 本県報告書について、下記の参考文献の通り主な弥生時代後期から古墳時代前期の住居において、ベッド状遺構をあたったところ、三ツ子沢中遺跡 43 号住居の西北部に同質のものが、井出東遺跡 42・49 号住居にその痕跡が一部確認される。三ツ子沢中遺跡及び本遺跡と同様の様相を明確にもつ遺構は、これらの遺跡の他に見当たらなかった。なお、八木蓮荒畑遺跡 10 号住居、中郷田尻遺跡 19～44 号住居、中村遺跡 4 号住居等においては、住居掘り方で住居隅や各辺に仕切りで区切られた痕跡が認められるが、この時期によく見られる特徴であり、本調査区のベッド状遺構と比して論ずることは控えたい。

註 4 箕島正弘(1991)は、「千葉県南部におけるベッド状遺構について」君津都市文化財センター『研究紀要Ⅴ』において、「ベッド状遺構には、地域的な特徴が表れており、全国的な資料収集・整理よりむしろ地域的な資料収集・整理を確実にに行い、地域的な問題から徐々に考えたほうがよい。」としている。

〔参考文献〕

石野博信 1990「第 1 章 古代日本の住居」第 2 章 竪穴住居の床面利用法』『日本原始・古代住居の研究』
 箕島正弘 1991「千葉県南部におけるベッド状遺構について」君津都市文化財センター『研究紀要Ⅴ』
 宮本長二郎 1990「ベッド状遺構と屋内施設」『季刊考古学』第 32 号
 河野真知郎 1975「初期濃厚集落の解明—ベッド状遺構の再検討」『Circum Pacific 1』
 後藤守一 1940「上古時代の住居」上・中・下
 早稲田大学考古学研究会 1955『道灌山遺跡』
 田辺哲夫・田添夏喜 1957「ベッドを有する弥生末期の方形縦穴住居階群—肥後下前原遺跡」『日本考古学協会 報告編 8 第 19 回総会研究発表要旨』
 吉田章一郎・田村晃一 1962「千葉県我孫子町中学校校庭遺跡の調査」『考古学雑誌』47 巻 1 号
 和島誠一・田中義昭 1966「住居と集落」『日本の考古学Ⅲ』
 木下忠 1966「弥生時代における農業生産集落の構造」『歴史教育』14 巻 3 号
 和島誠一・金井塚良一 1966「集落と共同体」『日本の考古学Ⅳ』
 沢田大多郎 1967「古墳発生前の社会」『考古学研究』53 号
 田中晃一 1969「我孫子中学校校庭遺跡」『我孫子古墳群』我孫子市教育委員会
 石野博信 1975「考古学から見た古代日本の住居」『家』
 関春彦 1977「住居の構造」『九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財方向 XIX』
 岡村眞文 1985「我孫子中学校校庭遺跡」我孫子市教育委員会
 群馬町井出村東遺跡調査会 1983『井出村東遺跡』
 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2000『三ツ子沢中遺跡』
 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1996『天引狐崎遺跡Ⅱ』
 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1998『福島駒形遺跡』
 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1989『有馬条里遺跡Ⅰ』
 群馬県渋川市教育委員会 2014『有馬寺畑遺跡』
 群馬県教育委員会・妙義町遺跡調査会 1990『八木蓮荒畑遺跡』
 群馬県勢多郡粕川村教育委員会 1990『西迎遺跡』
 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2007『中郷田尻遺跡』
 群馬県教育委員会 渋川市教育委員会 1986『中村遺跡』
 北橋村教育委員会 1996『北町遺跡』
 篠原浩江 1990「弥生住居の特殊住居址」『赤い土器を追う』佐久考古 6 号
 熊野正也 1974「弥生時代集落構造の一考察—ベッド状遺構をもつ住居址を中心として」『史館 2』

4 集落の変遷について

茅畑遺跡と鳴上 I 遺跡は緩やかな谷地を挟んで、それぞれの丘陵上に集落を形成している。集落形成の時期は重なる部分もあるが、集落発生の時期は異なっている。また、集落が形成された周囲の地形的な環境も異なっており、それが集落発生 of 時期差、及び住居の成り立ち等に影響を与えていると思われる。各遺跡の特徴及び時代の変遷を比較検討する。

(1) 茅畑遺跡と鳴上 I 遺跡の比較

① 茅畑遺跡の集落

茅畑地区からは、4軒の住居と18軒の掘立柱建物が確認されている。住居の形成時期は9世紀前半から9世紀後半までと近接している。どの住居も傾斜地に立地しており、傾斜地を平らに造成しながらつくっている様子が見える。それに対して掘立柱建物は、傾斜地を平らに造成することなく建てられている。高床にするなど使用の際に工夫が必要であったと思われるが、その痕跡は明瞭でない。また、掘立柱建物群は、4軒の住居を囲むように位置しており、住居の主軸方位や掘立柱建物の棟方方位の関係などから関連が深いと考える。掘立柱建物及び道路の関連については前述した通りである。ただし、4軒の住居とそれに伴うと思われる掘立柱建物の関係は、調査区域内のことであり、その他の掘立柱建物については、調査区域外にも集落が形成されていることを示唆している。

② 鳴上 I 遺跡 A 区の集落

鳴上 I 遺跡 A 区の集落は、遺構確認面の2・3面から検出された。遺構確認面の2面(上面)からは、住居が1軒確認されている。9世紀代のものであり、古代に比定される。本調査区においては谷を隔てた茅畑遺跡よりも傾斜が穏やかで、集落を形成しやすい環境にあったと推察される。確認された1軒も削平が進んでおり、同面においては、他にも住居群が存在していたと推察される。

遺構確認面の3面(下面)からは、住居が3軒確認されており、いずれも時期が近接しており、おおむね弥生時代後期後半に比定される。この集落は、上面と共に、地続きである鳴上 I 遺跡 B 区の集落と同じ集落を形成して

いたと考えられる。

③ 鳴上 I 遺跡 B 区の集落

鳴上 I 遺跡 B 区の集落は、遺構確認面の2・3面から検出された。遺構確認面の2面(上面)からは、住居が15軒確認されている。時期は、5世紀後半から10世紀第1四半期までに比定され、古墳時代から古代にかけて集落が継続している。この時期は削平が進んでいる住居が多く、他にも住居群が存在していたと推察される。

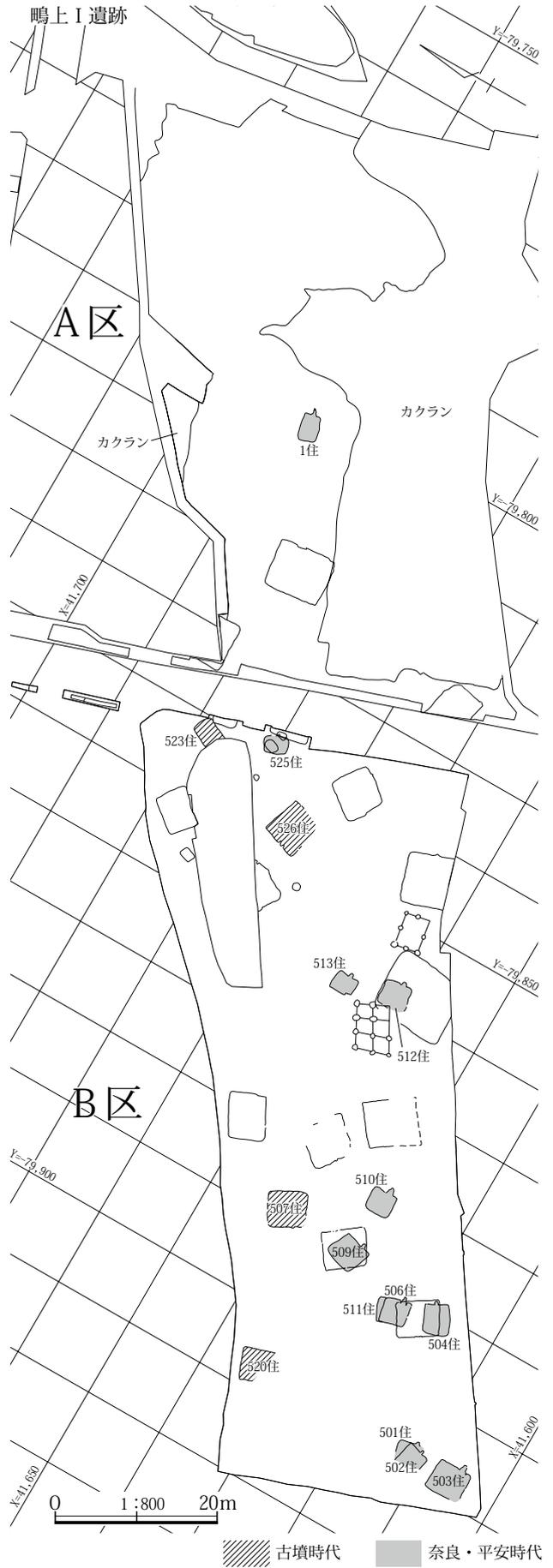
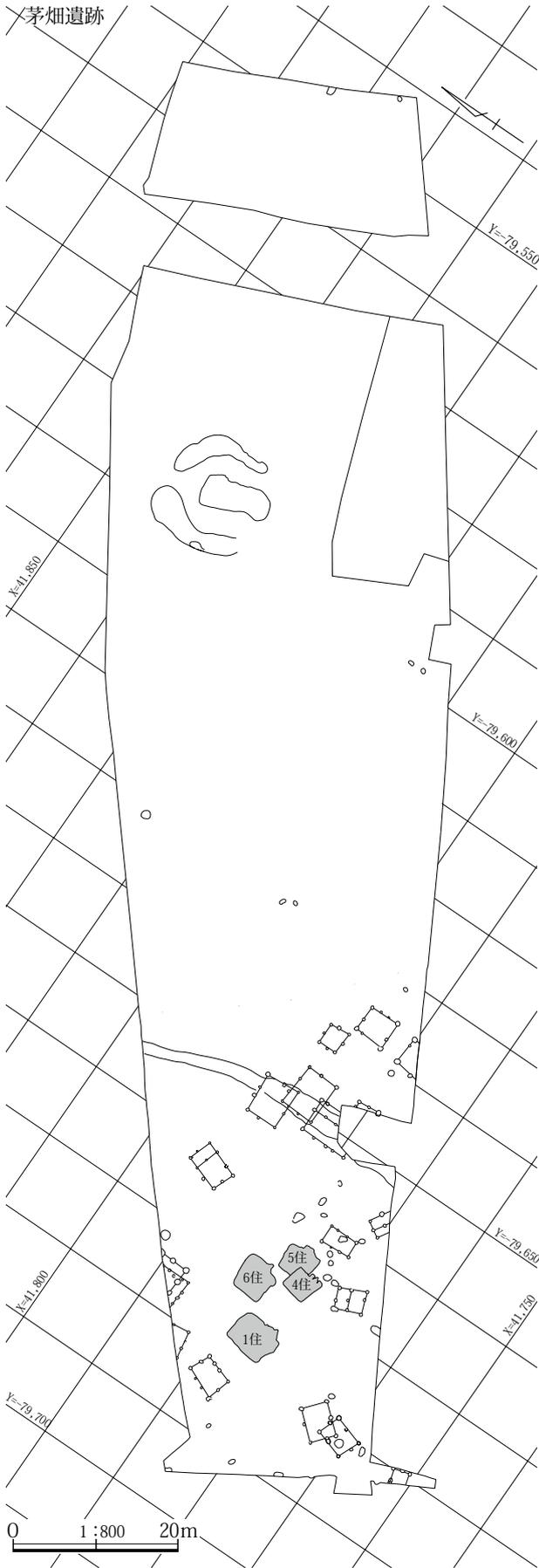
遺構確認面の3面(下面)からは、住居が12軒確認されており、いずれも時期が近接しており、弥生時代後期後半に比定される。茅畑 I 遺跡 A 区の住居と同じ集落を形成していたと考えられる。

鳴上 I 遺跡からは、集落が2面にわたって確認されているのに対して、谷を隔てた茅畑遺跡では、集落が確認されたのは、古代の1面のみであった。茅畑遺跡、鳴上 I 遺跡共に、生産域の主体は遺跡が位置する丘陵地帯にあったとは考えにくく、生産域が本遺跡西側の低地を始め、谷地の低部にあったと推察できる。弥生時代においては、この推定される生産域から離れていた茅畑遺跡には、集落を形成することがなく、また、傾斜地に住居を造る理由や技術をもっていなかったと推察できる。古代になり、遠隔地における生産調整や傾斜地における住居建設の技術を身につけていったと考えられ、その結果、谷を隔てた茅畑遺跡にも生活範囲が広がっていき、集落が出現したと考えられる。集落が最も繁栄した時期であると考えられる。

(2) 時代ごとの変遷と地形の影響

本遺跡における集落は、弥生時代後期に鳴上 I 遺跡の丘陵に出現している。地形は南東方向に緩やかに傾斜しており、集落の形成には好都合だったと考えられる。居住域が丘陵地帯にあり、生産域は西部を中心とした低地にあったと推察される。それに対して、茅畑遺跡は谷を隔てた東部の傾斜地にあり、推定される生産域から遠く、さらに傾斜地に住居を造ることもできなかったと考えられるため、この時期には集落が出現しなかったと思われる。

古墳時代から平安時代にかけては、鳴上 I 遺跡はもとより茅畑遺跡においても集落が出現している。傾斜地に



第223図 茅畑・鳴上 I 遺跡 古墳～古代住居分布図

おける住居を造る技術、及び遠隔地において生産が可能となった結果であると推察できる。また、茅畑地区東部丘陵の最高地点南斜面には古墳が1基出現しており、本遺跡の東部の丘陵に位置する和田山天神前遺跡の報告にある通り、墓域が中央尾根に形成される条件にあっている。

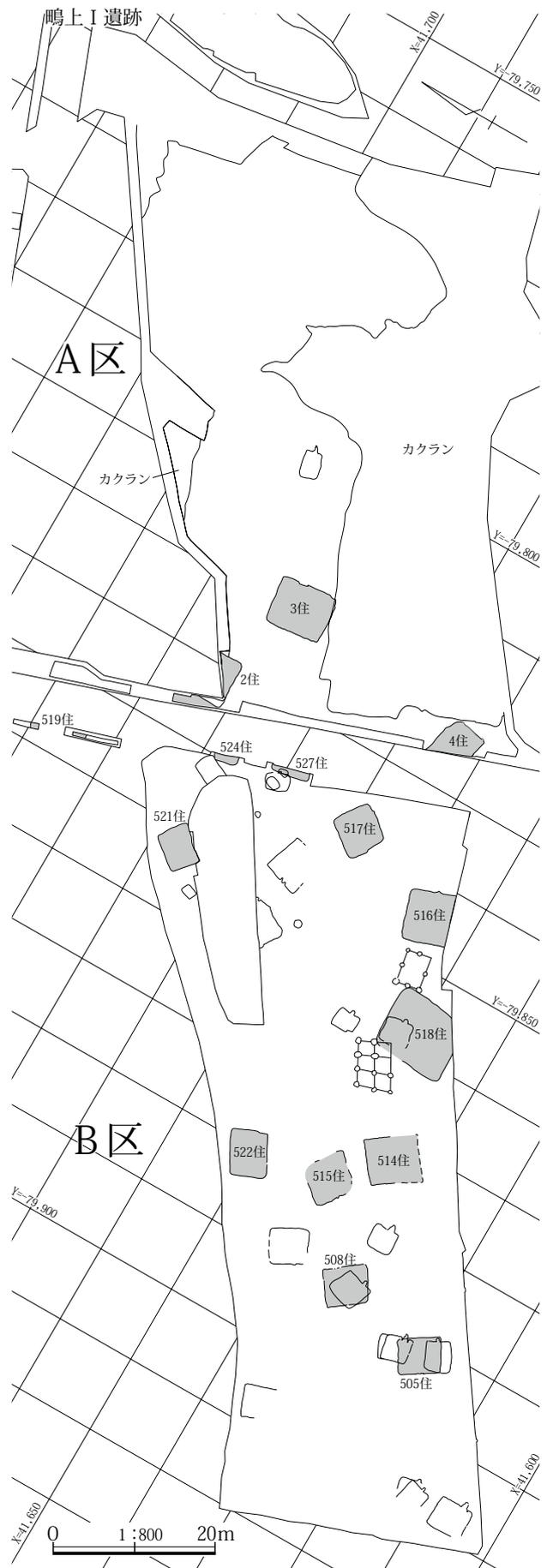
古代を最後に、茅畑遺跡においても、鳴上I遺跡においても、集落は姿を消している。中・近世以降は、茅畑遺跡においては、傾斜地を区画して、耕作をしていた痕跡がうかがえる。鳴上I遺跡においては、土地を境界杭で仕切り、土地利用されていた痕跡が確認されている。近代は、土地の改良が頻繁に行われた経緯がうかがわれ、削平が進む結果となる。

(3) 小結

前述した通り、茅畑遺跡、鳴上I遺跡共に、推定される生産域の主体は、集落が位置する丘陵地帯にあったとは考えにくく、生産域が本遺跡西側の低地部にあったと考えるのが自然である。鳴上I遺跡における集落の形成から時を経て、茅畑遺跡の東の丘陵地帯の最高地点の南斜面には古墳が1基出現している。古墳時代から平安時代にかけて時期が限定されるが、調査結果から本遺跡の所在する丘陵地帯周辺においては、東の丘陵地帯の最高地点付近が墓域、それに続く丘陵地帯が居住域、西の低地部が推定される生産域であったとする地域社会の構成の様相が明らかになったと考える。

〔参考文献〕

- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1999『和田山天神前遺跡』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2012『鳥取松合下遺跡 胴城遺跡』
- (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2014『下滝高井前遺跡』
- (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2015『東上之宮遺跡』



第224図 鳴上I遺跡 弥生住居分布図

土坑計測表

第35表 茅畑遺跡2面土坑計測表

番号	面	グリッド	形状	主軸方位	長軸×短軸×深さ	出土遺物	備考(重複)
1	2	X=769 Y=-690	楕円形	N-57°-W	0.86×0.52×0.19		
2	2	X=771 Y=-665	楕円形	N-5°-W	0.92×0.67×0.23		
3	2	X=772 Y=-665	楕円形	N-30°-W	1.03×0.77×0.24		
4	2	X=773 Y=-663	楕円形	N-52°-E	0.64×0.57×0.18		
5	2	X=773 Y=-662	楕円形	N-48°-E	0.77×0.64×0.16		
6	2	X=773 Y=-660	楕円形	N-14°-W	0.71×0.40×0.33		P565
7	2	X=757 Y=-680	楕円形	N-75°-E	1.08×0.61×0.50		P702
8	2	X=779 Y=-661	楕円形	N-60°-W	1.55×1.00×0.54		P587
9	2	X=771 Y=-659	楕円形	N-30°-W	0.76×0.58×0.23		
10	2	X=777 Y=-655	楕円形	N-40°-E	0.68×(0.37)×0.16		P604
11	2	X=763 Y=-676	楕円形	N-30°-W	0.80×0.61×0.36		P493
12	2	X=759 Y=-681	楕円形	N-74°-W	1.07×1.05×0.45		P516・1101
13	2	X=775 Y=-695	楕円形	N-33°-W	(0.80)×(0.46)×0.20		
14	2	X=763 Y=-688	楕円形	N-30°-W	1.12×(0.50)×0.49		
15	2	X=764 Y=-667	楕円形	N-0°	(1.27)×0.90×0.36		
16	2	X=780 Y=-640	楕円形	N-69°-W	0.78×0.74×0.23		P829
17	2	X=784 Y=-631	楕円形	N-10°-E	0.58×0.47×0.13		
18	2	X=777 Y=-659	楕円形	N-25°-W	0.80×0.47×0.22		
19	2	X=774 Y=-688	楕円形	N-66°-W	0.62×0.42×0.16		
20	2	X=778 Y=-657	楕円形	N-86°-W	1.08×0.66×0.28		4溝
21	2	X=791 Y=-672	楕円形	N-65°-E	1.17×1.11×0.37		P148・1197・1198
※22～26号土坑欠番							
27	2	X=853 Y=-546	不明	N-62°-E	(0.97)×0.89×0.25		
28	2	X=846 Y=-542	楕円形	N-43°-E	0.68×0.52×0.18		
29	2	X=820 Y=-631	楕円形	N-47°-W	1.15×1.02×0.39	No. 1・2	
30	2	X=802 Y=-630	楕円形	N-63°-W	0.84×0.43×0.33		
31	2	X=801 Y=-630	楕円形	N-34°-E	0.64×0.44×0.38		
32	2	X=804 Y=-598	楕円形	N-56°-E	0.66×0.52×0.71		
33	2	X=806 Y=-598	楕円形	N-5°-E	0.73×0.43×0.81		
34	2	X=836 Y=-601	不整形	N-8°-W	1.88×0.83×0.37		P1769・1770

第36表 鳴上I遺跡A区1面土坑計測表

番号	面	グリッド	形状	主軸方位	長軸×短軸×深さ	出土遺物	備考(重複)
1	1	X=674 Y=-827	楕円形	N-42°-E	0.86×0.71×0.15		
2	1	X=674 Y=-826	隅丸長方形	N-52°-E	0.82×0.66×0.25		
3	1	X=699 Y=-839	不明	-	(0.38)×0.50×0.15		
4	1	X=648 Y=-821	楕円形	N-61°-W	0.96×0.54×0.45		
5	1	X=649 Y=-819	不明	-	(0.20)×-×0.23		
6	1	X=682 Y=-819	楕円形	N-87°-W	0.74×0.61×0.19		
7	1	X=688 Y=-814	不整形	N-32°-W	1.13×0.84×0.25		

第37表 鳴上I遺跡B区土坑計測表

番号	面	グリッド	形状	主軸方位	長軸×短軸×深さ	出土遺物	備考(重複)
501	1	X=622 Y=-882	隅丸長方形	N-50°-E	3.82×0.62×0.20		P607・608・610・651
502	1	X=619 Y=-888	楕円形	N-0°	1.10×0.95×0.17		
503	1	X=637 Y=-888	隅丸長方形	N-70°-E	0.98×0.86×0.21		504土坑、P590
504	1	X=637 Y=-889	隅丸長方形	N-59°-E	(1.15)×0.58×0.15		503土坑、P590
505	1	X=625 Y=-895	楕円形	N-82°-W	2.36×1.05×0.60		
506	1	X=659 Y=-853	楕円形	N-26°-W	0.98×0.98×0.23		
507	2	X=670 Y=-839	隅丸長方形	N-25°-E	(1.71)×(1.20)×(0.81)		525住居
508	2	X=670 Y=-840	楕円形	N-6°-E	1.20×(0.82)×0.13		525住居
509	2	X=672 Y=-856	隅丸長方形	N-24°-E	1.60×1.18×0.75		

第38表 茅畑遺跡ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1	2	748・-679	楕円形	0.36×0.28×0.22	
2	2	748・-679	楕円形	0.41×0.36×0.21	
4	2	751・-680	楕円形	0.31×0.29×0.45	
5	2	752・-680	楕円形	0.42×0.41×0.65	
6	2	752・-680	楕円形	0.71×0.38×0.22	
10	2	753・-680	楕円形	0.64×0.41×0.26	
11	2	753・-681	楕円形	0.26×0.21×0.31	須恵小破片
12	2	762・-685	楕円形	0.34×0.32×0.37	
13	2	763・-686	楕円形	0.35×0.32×0.37	
14	2	767・-685	楕円形	0.33×0.30×0.52	
15	2	767・-688	楕円形	0.32×0.26×0.30	
16	2	766・-688	楕円形	0.46×0.28×0.63	
17	2	766・-689	楕円形	0.33×0.29×0.41	
18	2	767・-689	円形	0.27×0.26×0.51	
19	2	768・-689	楕円形	0.28×0.22×0.62	
20	2	769・-688	楕円形	0.46×0.35×0.31	
21	2	768・-690	楕円形	0.18×0.16×0.20	
22	2	769・-690	楕円形	0.26×0.23×0.25	
23	2	770・-688	円形	0.27×0.27×0.38	
24	2	771・-690	楕円形	0.35×0.26×0.35	
25	2	770・-690	楕円形	0.31×0.25×0.61	
26	2	770・-692	楕円形	0.38×0.32×0.17	P 415・1866
27	2	771・-691	楕円形	0.34×0.25×0.34	
28	2	772・-691	楕円形	0.31×0.29×0.24	
29	2	772・-690	楕円形	0.21×0.20×0.14	
30	2	773・-692	楕円形	0.21×0.21×0.29	
31	2	774・-690	楕円形	0.30×0.27×0.41	
32	2	775・-689	楕円形	0.39×0.34×0.45	
33	2	774・-688	楕円形	0.24×0.21×0.29	
34	2	775・-688	楕円形	0.23×0.18×0.25	
36	2	776・-685	楕円形	0.32×0.29×0.18	
38	2	778・-685	楕円形	0.28×0.26×0.30	P 967
40	2	778・-684	楕円形	0.34×0.27×0.56	
41	2	778・-684	楕円形	0.24×0.22×0.43	
42	2	777・-683	楕円形	0.35×0.27×0.39	
43	2	778・-683	楕円形	0.27×0.22×0.59	
44	2	777・-683	楕円形	0.20×0.18×0.24	
45	2	778・-684	楕円形	0.22×0.22×0.45	
46	2	779・-685	楕円形	0.24×0.20×0.36	
47	2	779・-684	楕円形	0.28×0.26×0.62	
48	2	779・-684	不整形	0.28×0.25×0.35	
49	2	779・-683	楕円形	0.24×0.20×0.47	
50	2	778・-683	楕円形	0.26×0.22×0.47	P 965、土師小破片
52	2	780・-683	楕円形	0.26×0.23×0.26	
53	2	780・-683	楕円形	0.19×0.17×0.28	
54	2	780・-683	楕円形	0.34×0.30×0.36	
55	2	780・-682	楕円形	0.40×0.33×0.43	
56	2	778・-682	楕円形	0.17×0.15×0.24	
60	2	781・-682	楕円形	0.32×0.29×0.14	
61	2	780・-682	円形	0.35×0.34×0.18	
62	2	780・-681	楕円形	0.22×0.20×0.36	
63	2	780・-681	楕円形	0.24×0.20×0.35	
64	2	780・-681	楕円形	0.37×0.33×0.43	須恵杯
65	2	780・-680	楕円形	0.28×0.24×0.17	
66	2	780・-680	楕円形	0.31×0.29×0.57	
68	2	782・-681	楕円形	0.32×0.25×0.23	29掘立 P 3
69	2	783・-682	不明	(0.65)×(0.41)×0.32	P 70・977
70	2	783・-681	不明	0.33×0.15×0.44	P 69
71	2	783・-681	円形	0.18×0.17×0.28	
72	2	783・-680	楕円形	0.44×0.38×0.44	
73	2	783・-680	楕円形	0.25×0.19×0.51	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
75	2	781・-679	楕円形	0.29×0.27×0.33	
76	2	782・-679	楕円形	0.30×0.27×0.43	
77	2	781・-678	不明	0.32×(0.19)×0.19	P 143
78	2	781・-677	楕円形	0.30×0.19×0.15	
79	2	782・-677	楕円形	0.34×0.22×0.53	
80	2	782・-678	楕円形	0.37×0.28×0.60	
82	2	783・-678	楕円形	0.27×0.23×0.41	
83	2	784・-678	楕円形	0.25×0.22×0.54	
84	2	783・-677	楕円形	0.34×0.28×0.72	
85	2	785・-679	不整形	0.46×(0.26)×0.41	
87	2	785・-677	楕円形	0.42×0.36×0.23	
88	2	784・-677	楕円形	0.34×0.31×0.25	
89	2	783・-677	楕円形	0.25×0.23×0.19	
90	2	783・-676	楕円形	0.29×0.23×0.41	
91	2	784・-676	楕円形	0.30×0.26×0.32	
92	2	783・-676	不整形	0.44×0.37×0.25	P 1224
94	2	786・-677	楕円形	0.30×0.26×0.43	
95	2	785・-674	楕円形	0.48×0.44×0.24	
96	2	786・-674	楕円形	0.31×0.27×0.32	
97	2	786・-673	楕円形	0.38×0.37×0.34	P 98
98	2	785・-673	楕円形	(0.48)×0.45×0.30	P 97
99	2	786・-673	円形	0.21×0.21×0.16	
105	2	787・-676	楕円形	0.38×0.33×0.57	
106	2	786・-672	楕円形	0.41×0.31×0.33	
109	2	788・-672	楕円形	0.29×0.26×0.25	
110	2	788・-672	楕円形	0.32×0.30×0.52	
111	2	787・-671	楕円形	0.26×0.21×0.31	
112	2	787・-671	楕円形	0.34×0.32×0.31	
113	2	786・-670	楕円形	0.42×0.35×0.19	
114	2	787・-670	楕円形	0.75×0.66×0.40	
115	2	789・-672	楕円形	0.23×0.20×0.19	
116	2	789・-672	円形	0.24×0.23×0.42	
117	2	789・-672	楕円形	0.34×0.31×0.66	
118	2	790・-672	楕円形	0.22×0.20×0.12	
119	2	789・-671	楕円形	0.42×0.39×0.34	
120	2	789・-670	楕円形	0.29×0.27×0.41	P 121・1864・1865
121	2	789・-671	楕円形	0.29×0.21×0.44	P 120・1864・1865、須恵土師小破片
122	2	788・-670	楕円形	0.56×0.44×0.36	
123	2	787・-669	円形	0.25×0.24×0.58	
124	2	788・-669	楕円形	0.40×0.33×0.34	須恵土師小破片
125	2	788・-669	楕円形	0.36×0.36×0.46	P 126
126	2	789・-669	楕円形	0.28×0.24×0.30	P 125
127	2	789・-669	円形	0.26×0.26×0.22	
128	2	788・-668	楕円形	(0.54)×0.37×0.35	P 129、須恵土師小破片
129	2	789・-668	楕円形	0.43×0.38×0.35	P 128、須恵土師小破片
130	2	790・-670	楕円形	0.35×0.31×0.22	須恵土師小破片
131	2	791・-670	楕円形	0.61×0.46×0.64	須恵杯底部、土師小破片
132	2	791・-670	楕円形	0.43×0.37×0.61	土師小破片
133	2	790・-668	不整形	0.52×0.51×0.79	P 134、土師小破片、土師口縁
134	2	790・-668	楕円形	0.62×(0.48)×0.18	P 133
135	2	789・-667	不整形	0.82×0.72×0.52	
136	2	791・-669	楕円形	0.56×0.38×0.24	
137	2	790・-666	楕円形	0.49×0.38×0.44	
138	2	790・-666	不整形	0.28×0.21×0.23	
139	2	792・-667	楕円形	0.36×0.27×0.36	
140	2	791・-667	楕円形	0.36×0.29×0.32	
141	2	793・-667	楕円形	0.51×0.45×0.33	

ピット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
142	2	785・-675	楕円形	0.88×0.78×0.33	P 1069
143	2	781・-678	楕円形	0.28×0.27×0.54	P 77
145	2	786・-671	楕円形	0.38×0.38×0.22	
146	2	788・-673	不整形	0.68×0.60×0.24	
147	2	788・-671	不整形	0.42×0.29×0.39	
148	2	791・-672	不整形	0.54×0.36×0.55	
149	2	792・-670	楕円形	0.46×0.31×0.28	
150	2	788・-667	楕円形	0.43×0.36×0.23	
151	2	793・-668	楕円形	0.44×0.38×0.56	須惠杯底部、土師小破片
152	2	793・-666	楕円形	0.37×0.32×0.54	
153	2	793・-666	楕円形	0.19×0.17×0.14	
154	2	795・-667	楕円形	0.39×0.31×0.18	P 1174
155	2	794・-666	楕円形	0.24×0.24×0.45	
156	2	792・-665	楕円形	0.57×0.43×0.58	土師須惠囊破片、須惠杯底部
157	2	791・-665	楕円形	0.51×0.41×0.60	
158	2	790・-665	楕円形	0.36×0.35×0.59	土師小破片
159	2	780・-665	楕円形	0.69×0.46×0.92	土師小破片
160	2	793・-665	楕円形	0.70×0.42×0.55	
161	2	795・-666	楕円形	0.36×0.23×0.24	
162	2	793・-664	楕円形	0.26×0.24×0.38	
163	2	793・-664	楕円形	0.40×0.36×0.43	
164	2	793・-664	楕円形	0.38×0.36×0.37	
165	2	792・-664	楕円形	0.36×0.33×0.41	
166	2	792・-664	楕円形	0.31×0.30×0.52	
167	2	792・-663	楕円形	0.31×0.26×0.49	
169	2	792・-663	楕円形	0.29×0.21×0.23	
171	2	794・-663	楕円形	0.30×0.26×0.46	P 172
172	2	794・-663	楕円形	0.30×0.27×0.34	P 171
173	2	794・-664	楕円形	0.25×0.22×0.26	
174	2	795・-664	楕円形	0.60×0.36×0.50	
175	2	796・-666	楕円形	0.42×0.33×0.71	
176	2	797・-666	楕円形	0.38×0.29×0.52	P 177
177	2	797・-665	楕円形	0.39×0.37×0.67	P 176
178	2	797・-665	楕円形	0.31×0.25×0.41	
179	2	797・-664	楕円形	0.33×0.27×0.58	
180	2	796・-663	楕円形	0.34×0.31×0.56	土師小破片
182	2	794・-662	不整形	0.30×0.23×0.19	21掘立 P 9
183	2	793・-662	楕円形	0.31×0.24×0.38	
185	2	795・-660	楕円形	0.31×0.28×0.58	土師小破片
186	2	796・-662	楕円形	0.28×0.23×0.44	
187	2	796・-662	楕円形	0.32×0.28×0.25	
188	2	797・-662	不整形	0.37×0.32×0.59	
189	2	798・-663	楕円形	0.40×0.34×0.18	
190	2	796・-661	楕円形	0.34×0.31×0.32	
191	2	797・-661	楕円形	0.28×0.24×0.37	
192	2	796・-660	楕円形	0.36×0.30×0.37	P 916
193	2	797・-660	楕円形	0.31×0.26×0.30	
194	2	798・-660	楕円形	0.35×0.28×0.50	
195	2	797・-660	楕円形	0.32×0.27×0.60	
196	2	796・-660	楕円形	0.41×0.32×0.21	P 197
197	2	796・-659	不整形	0.52×0.37×0.37	P 196
198	2	797・-659	楕円形	0.41×0.34×0.23	
199	2	795・-659	楕円形	0.32×0.25×0.39	
200	2	795・-660	楕円形	0.29×0.25×0.45	
201	2	797・-659	楕円形	(0.23)×0.21×0.37	
202	2	798・-659	楕円形	0.32×0.24×0.28	
203	2	798・-659	楕円形	0.31×0.27×0.37	
204	2	797・-658	不整形	0.42×0.30×0.21	
205	2	797・-658	楕円形	0.27×0.24×0.39	
206	2	798・-658	不整形	0.33×0.17×0.32	
207	2	800・-658	不明	(0.62)×(0.48)×0.41	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
208	2	800・-657	楕円形	0.33×0.24×0.32	
209	2	792・-653	楕円形	0.48×0.32×0.56	
210	2	789・-657	楕円形	0.18×0.17×0.25	
211	2	791・-658	楕円形	0.22×0.22×0.27	
212	2	794・-658	円形	0.22×0.22×0.22	
213	2	794・-659	楕円形	0.34×0.30×0.32	
214	2	793・-659	楕円形	0.19×0.17×0.45	
216	2	793・-661	楕円形	0.34×0.27×0.42	P 1163
218	2	792・-661	楕円形	0.28×0.27×0.24	
219	2	791・-661	楕円形	0.34×0.30×0.25	
220	2	790・-661	楕円形	0.23×0.20×0.16	
221	2	790・-660	不整形	0.35×0.29×0.28	21掘立 P 3
224	2	785・-661	楕円形	0.33×0.27×0.21	
227	2	788・-664	楕円形	0.43×0.35×0.26	
228	2	787・-663	楕円形	0.48×0.38×0.31	
229	2	788・-665	楕円形	0.34×0.30×0.48	土師小破片
230	2	788・-665	楕円形	0.29×0.29×0.23	
231	2	788・-665	楕円形	0.37×0.32×0.50	土師小破片
232	2	786・-664	楕円形	0.39×0.30×0.53	
233	2	786・-664	楕円形	0.27×0.24×0.32	
234	2	785・-662	楕円形	0.28×0.26×0.28	
235	2	785・-663	楕円形	0.26×0.21×0.25	
236	2	784・-664	楕円形	0.51×0.44×0.19	
237	2	789・-666	楕円形	0.31×0.23×0.29	
238	2	788・-666	楕円形	0.70×0.41×0.60	須惠杯口縁
239	2	788・-667	楕円形	0.45×0.41×0.23	
240	2	788・-667	円形	0.24×0.24×0.23	須惠囊破片
241	2	787・-667	円形	0.21×0.21×0.19	
242	2	787・-668	楕円形	0.26×0.24×0.48	
243	2	787・-667	楕円形	0.51×0.40×0.50	
244	2	786・-666	楕円形	0.42×0.36×0.50	P 245、須惠杯小破片
245	2	786・-666	楕円形	(0.33)×0.41×0.54	P 244、土師小破片
246	2	787・-667	楕円形	0.28×0.24×0.26	
247	2	786・-668	楕円形	0.24×0.22×0.39	
248	2	785・-668	楕円形	0.36×0.31×0.41	土師小破片
249	2	786・-670	楕円形	0.50×0.39×0.24	
250	2	785・-669	楕円形	0.28×0.25×0.37	須惠囊部片
251	2	785・-669	楕円形	0.50×0.48×0.41	
252	2	784・-669	楕円形	0.46×0.33×0.30	
253	2	782・-667	楕円形	0.40×0.29×0.66	
254	2	785・-670	楕円形	0.52×0.50×0.55	土師囊破片
255	2	784・-670	楕円形	0.51×0.48×0.43	土師小破片
256	2	782・-675	楕円形	0.29×0.25×0.18	
257	2	782・-675	不整形	0.72×0.52×0.57	土師須惠杯等破片
258	2	781・-674	楕円形	0.33×0.27×0.39	
259	2	781・-675	楕円形	0.30×0.28×0.36	須惠杯口縁部破片
260	2	780・-674	楕円形	0.38×0.31×0.60	P 261
261	2	780・-674	楕円形	0.37×0.28×0.33	P 260
262	2	778・-673	楕円形	0.59×0.56×0.27	P 1003、土師小破片
263	2	779・-675	楕円形	0.54×0.44×0.28	
264	2	780・-676	楕円形	0.32×0.26×0.18	P 1121
265	2	780・-677	楕円形	0.26×0.25×0.40	
266	2	778・-680	不明	0.36×(0.26)×0.43	P 1001
267	2	777・-679	楕円形	0.31×0.26×0.28	
268	2	777・-679	円形	0.24×0.23×0.32	
269	2	775・-679	楕円形	0.55×0.34×0.32	P 270
270	2	775・-680	不明	(0.32)×0.56×0.21	P 269
271	2	775・-681	楕円形	0.31×0.29×0.62	P 272
272	2	775・-681	楕円形	0.24×0.23×0.36	P 271
273	2	775・-681	楕円形	0.41×0.35×0.43	
276	2	777・-682	楕円形	0.36×0.31×0.63	

ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
277	2	776・-683	楕円形	0.31×0.26×0.70	
278	2	775・-682	楕円形	0.29×0.26×0.47	
279	2	775・-683	楕円形	0.56×0.48×0.73	
281	2	774・-682	楕円形	(0.32)×0.34×0.57	P 282
282	2	774・-682	楕円形	0.48×0.31×0.55	P 281
284	2	775・-684	不整形	0.43×0.37×0.46	
285	2	775・-684	楕円形	0.30×0.25×0.55	
286	2	774・-684	楕円形	0.30×0.28×0.48	P 287
287	2	774・-683	楕円形	0.32×0.27×0.61	P 286
288	2	773・-683	楕円形	0.30×0.28×0.30	
289	2	773・-683	楕円形	0.39×0.35×0.50	
290	2	772・-684	不整形	0.34×0.30×0.51	土師小破片
291	2	774・-687	楕円形	0.25×0.25×0.33	
292	2	772・-687	楕円形	0.32×0.31×0.55	
293	2	772・-686	楕円形	0.31×0.29×0.47	P 1078
294	2	771・-687	楕円形	0.36×0.24×0.29	
295	2	771・-687	楕円形	0.23×0.17×0.27	P 296
296	2	770・-686	楕円形	0.37×0.33×0.34	P 295
297	2	770・-687	楕円形	0.27×0.23×0.21	
298	2	770・-687	隅丸方形	0.27×0.26×0.37	P 1083
299	2	767・-682	楕円形	0.29×0.25×0.25	
300	2	767・-681	楕円形	0.33×0.31×0.46	
301	2	765・-682	楕円形	0.25×0.20×0.30	
302	2	765・-682	楕円形	0.31×0.28×0.42	
303	2	766・-681	楕円形	0.29×0.20×0.31	
304	2	765・-680	楕円形	0.27×0.22×0.48	
305	2	766・-680	円形	0.21×0.20×0.22	
306	2	766・-680	楕円形	0.24×0.22×0.48	土師小破片
307	2	767・-681	円形	0.30×0.29×0.19	
308	2	768・-681	楕円形	0.23×0.19×0.22	
309	2	768・-682	楕円形	0.42×0.40×0.40	土師小破片
310	2	768・-682	楕円形	0.23×0.21×0.30	
311	2	770・-682	楕円形	0.32×0.24×0.29	
312	2	768・-681	楕円形	0.31×0.25×0.24	
313	2	768・-681	楕円形	0.36×0.32×0.27	須恵杯口縁小破片、土師小破片
314	2	771・-681	楕円形	0.47×0.32×0.36	
315	2	769・-680	楕円形	0.35×0.32×0.35	
316	2	769・-680	楕円形	0.60×0.43×0.54	
317	2	768・-680	楕円形	0.77×0.44×0.63	
319	2	766・-679	楕円形	0.53×0.51×0.23	
320	2	765・-679	円形	0.26×0.26×0.22	
321	2	766・-679	円形	0.21×0.20×0.22	
322	2	766・-678	楕円形	0.27×0.25×0.25	
323	2	769・-679	楕円形	0.63×0.47×0.64	
324	2	770・-679	楕円形	0.28×0.27×0.55	
325	2	769・-679	楕円形	0.30×0.29×0.72	土師小破片
326	2	770・-680	楕円形	0.30×0.28×0.47	
327	2	770・-680	楕円形	0.29×0.27×0.38	
328	2	771・-680	楕円形	0.33×0.32×0.57	
329	2	771・-679	楕円形	0.34×0.33×0.16	P 330、土師小破片
330	2	771・-679	楕円形	0.29×0.27×0.30	P 329
331	2	770・-679	楕円形	0.42×0.34×0.57	
332	2	770・-679	楕円形	0.44×0.34×0.47	
333	2	769・-678	楕円形	0.24×0.22×0.52	
334	2	770・-678	楕円形	0.26×0.23×0.34	
335	2	771・-677	楕円形	0.43×0.28×0.47	須恵小破片
336	2	768・-677	楕円形	0.22×0.20×0.27	
337	2	771・-674	楕円形	0.46×0.35×0.33	
338	2	772・-673	楕円形	0.37×0.35×0.25	
339	2	768・-675	楕円形	0.28×0.23×0.33	
340	2	770・-673	円形	0.33×0.32×0.34	
341	2	770・-671	楕円形	0.29×0.24×0.44	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
342	2	770・-671	楕円形	0.78×0.61×0.36	
343	2	769・-671	楕円形	0.81×0.53×0.51	
344	2	770・-670	楕円形	0.67×0.53×0.25	土師小破片
345	2	770・-668	楕円形	0.33×0.30×0.19	
346	2	770・-667	楕円形	0.27×0.27×0.17	
349	2	767・-667	楕円形	0.54×0.33×0.53	
351	2	766・-667	楕円形	(0.42)×0.34×0.25	27掘立 P 5
352	2	766・-667	楕円形	0.26×0.22×0.43	
353	2	765・-667	楕円形	0.28×0.28×0.51	
354	2	765・-667	楕円形	0.37×0.30×0.68	
355	2	765・-670	円形	0.28×0.27×0.14	P 1035
356	2	764・-670	楕円形	0.37×0.34×0.50	
357	2	764・-672	楕円形	0.30×0.24×0.49	
358	2	764・-671	楕円形	(0.33)×0.20×0.39	P 359・526
359	2	764・-671	楕円形	0.66×(0.48)×0.29	P 358
360	2	765・-673	楕円形	0.65×0.41×0.49	P 361
361	2	765・-673	不明	(0.21)×0.26×0.15	P 360
362	2	765・-673	楕円形	0.26×0.24×0.52	
363	2	765・-672	楕円形	0.30×0.26×0.14	
364	2	767・-672	楕円形	0.34×0.32×0.63	
365	2	769・-672	円形	0.30×0.29×0.18	P 1038
366	2	763・-673	円形	0.44×0.44×0.85	
367	2	765・-675	不整形	0.69×0.58×1.16	土師裏胴部煤付着
368	2	765・-677	円形	0.27×0.26×0.59	
369	2	762・-675	楕円形	0.51×0.46×0.67	
370	2	761・-674	楕円形	0.39×0.30×0.39	
371	2	760・-674	楕円形	0.54×0.47×0.60	
372	2	759・-674	不明	(0.34)×0.35×0.36	
373	2	758・-676	楕円形	0.33×0.28×0.23	
375	2	764・-678	楕円形	0.29×0.23×0.25	
376	2	765・-678	楕円形	0.27×0.24×0.23	
377	2	764・-678	楕円形	0.26×0.23×0.18	
378	2	764・-680	楕円形	0.45×0.39×0.46	P 379
379	2	764・-680	楕円形	0.60×0.45×0.72	P 378
380	2	764・-681	楕円形	0.47×(0.32)×0.33	34掘立 P 6
382	2	764・-682	楕円形	0.72×0.41×0.62	
383	2	762・-681	楕円形	(0.24)×0.29×0.26	34掘立 P 7
385	2	762・-680	楕円形	0.26×0.25×0.20	
386	2	762・-680	楕円形	0.28×0.26×0.19	
387	2	763・-680	楕円形	0.52×0.39×0.50	
388	2	763・-680	楕円形	0.43×(0.37)×0.44	P 389
389	2	764・-679	楕円形	0.39×0.29×0.63	P 388、土師破片
392	2	761・-679	楕円形	0.34×0.34×0.26	
393	2	760・-678	楕円形	0.31×0.23×0.38	
394	2	760・-678	楕円形	0.35×0.29×0.55	
395	2	760・-679	楕円形	0.28×0.26×0.69	
396	2	760・-679	楕円形	0.22×0.21×0.35	
397	2	760・-679	楕円形	0.29×0.23×0.50	34掘立 P 2
398	2	760・-678	楕円形	0.36×0.28×0.44	
399	2	759・-678	楕円形	0.46×0.32×0.79	
400	2	758・-677	楕円形	0.54×0.52×0.81	
401	2	759・-680	円形	0.27×0.27×0.18	
404	2	756・-680	楕円形	0.41×0.34×0.46	
405	2	756・-680	楕円形	0.43×0.36×0.68	P 513
406	2	763・-682	楕円形	0.31×0.28×0.27	34掘立 P 5、1溝
407	2	766・-683	楕円形	0.20×0.19×0.49	1溝
408	2	767・-683	楕円形	0.33×0.29×0.41	1溝
409	2	768・-683	楕円形	0.49×0.38×0.43	
410	2	775・-693	楕円形	0.25×0.23×0.42	
411	2	774・-692	円形	0.27×0.26×0.39	
412	2	774・-692	楕円形	0.25×0.22×0.29	
413	2	773・-691	楕円形	0.33×0.27×0.43	土師破片
414	2	772・-692	楕円形	0.26×0.20×0.31	

ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
415	2	770・-692	楕円形	0.23×0.20×0.26	P 26・416・1866
416	2	770・-691	楕円形	0.43×0.40×0.45	P 415・1866
417	2	771・-690	楕円形	0.27×0.26×0.34	
418	2	769・-691	楕円形	0.25×0.22×0.48	
419	2	768・-691	楕円形	0.27×0.22×0.43	
423	2	768・-690	楕円形	0.37×0.32×0.26	
424	2	771・-688	隅丸方形	0.20×0.18×0.12	
425	2	769・-688	楕円形	0.25×0.22×0.29	
426	2	768・-689	楕円形	0.32×0.28×0.36	
427	2	768・-688	円形	0.18×0.17×0.33	
428	2	767・-688	楕円形	0.31×0.28×0.35	
429	2	767・-689	楕円形	0.31×0.23×0.29	
430	2	767・-690	楕円形	0.20×0.19×0.55	P 431
431	2	767・-690	楕円形	(0.15)×0.27×0.48	P 430
432	2	766・-688	楕円形	0.29×0.23×0.26	
433	2	768・-687	不整形	0.66×0.55×0.26	
434	2	768・-686	楕円形	0.36×0.36×0.46	
435	2	768・-687	楕円形	(0.42)×0.49×0.19	P 436
436	2	767・-687	楕円形	0.62×0.47×0.55	P 435
437	2	767・-686	楕円形	0.71×0.42×0.51	
438	2	766・-686	楕円形	0.41×0.32×0.20	
439	2	766・-687	楕円形	0.33×0.32×0.34	
440	2	765・-687	不整形	0.57×0.45×0.32	
441	2	760・-682	楕円形	0.35×0.27×0.43	
442	2	764・-687	楕円形	0.27×0.24×0.24	
443	2	764・-686	楕円形	0.34×0.21×0.20	
444	2	764・-685	不整形	0.47×0.30×0.23	
445	2	763・-687	楕円形	0.36×0.27×0.28	
446	2	763・-687	楕円形	0.37×0.25×0.30	
447	2	760・-682	楕円形	0.32×0.28×0.80	
448	2	761・-686	楕円形	0.41×0.37×0.35	
449	2	760・-686	楕円形	0.53×0.48×0.65	
450	2	759・-685	円形	0.22×0.22×0.25	
451	2	775・-689	円形	0.24×0.23×0.23	
452	2	775・-689	楕円形	0.26×0.24×0.36	
453	2	774・-687	楕円形	0.22×0.19×0.35	
454	2	768・-691	楕円形	0.29×0.25×0.33	
455	2	766・-690	楕円形	0.28×0.26×0.62	
456	2	766・-688	円形	0.20×0.19×0.15	
457	2	764・-688	不明	(0.31)×0.42×0.34	
458	2	760・-685	楕円形	0.39×0.32×0.28	
459	2	760・-684	楕円形	0.23×0.21×0.14	
460	2	759・-684	楕円形	0.65×0.58×0.51	P 514
462	2	758・-684	楕円形	0.33×0.33×0.54	
463	2	758・-684	楕円形	0.39×0.38×0.48	P 464
464	2	758・-684	楕円形	(0.23)×0.36×0.34	P 463
465	2	756・-682	楕円形	0.41×0.39×0.47	P 466
466	2	757・-682	楕円形	0.40×0.35×0.61	P 465
468	2	757・-681	楕円形	0.36×0.31×0.33	土師破片
469	2	758・-681	楕円形	0.31×0.28×0.24	
470	2	759・-681	楕円形	0.37×0.31×0.35	
471	2	756・-684	楕円形	0.24×0.22×0.25	P 472
472	2	756・-684	楕円形	0.23×(0.14)×0.12	P 471
473	2	759・-683	楕円形	0.35×0.32×0.60	
474	2	760・-682	円形	0.25×0.24×0.25	
475	2	761・-682	楕円形	0.27×0.23×0.28	
476	2	762・-683	楕円形	0.31×0.31×0.20	
477	2	761・-683	楕円形	0.24×0.22×0.19	
478	2	762・-683	不整形	0.72×0.55×0.32	
479	2	761・-685	楕円形	0.86×0.52×0.29	
480	2	769・-686	楕円形	0.33×0.24×0.25	
481	2	770・-691	楕円形	0.36×0.35×0.28	
482	2	770・-689	楕円形	0.29×0.24×0.27	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
483	2	771・-689	楕円形	0.27×0.26×0.29	
484	2	774・-693	楕円形	0.56×0.31×0.24	
485	2	767・-683	楕円形	0.35×0.30×0.50	
486	2	766・-683	楕円形	0.45×0.35×0.52	
487	2	766・-683	楕円形	0.37×0.33×0.46	
488	2	766・-681	楕円形	0.35×0.32×0.39	
489	2	768・-677	楕円形	0.38×0.32×0.44	
490	2	767・-677	楕円形	0.33×0.27×0.50	P 1022
491	2	766・-676	楕円形	0.29×0.23×0.34	P 492
492	2	766・-676	楕円形	0.37×0.30×0.31	P 491
493	2	763・-676	楕円形	0.32×0.31×0.17	11土坑
494	2	763・-678	楕円形	0.32×0.30×0.37	
495	2	762・-678	楕円形	0.32×0.31×0.22	
496	2	761・-677	楕円形	0.44×0.38×0.50	
497	2	759・-677	楕円形	0.58×0.40×0.87	
498	2	758・-678	楕円形	0.39×0.37×0.77	
501	2	749・-680	楕円形	0.22×0.22×0.18	
502	2	749・-680	楕円形	0.18×0.15×0.24	
503	2	750・-680	楕円形	0.16×0.14×0.16	
504	2	749・-678	楕円形	0.21×(0.14)×0.24	
505	2	749・-679	楕円形	0.29×0.24×0.27	
507	2	750・-680	楕円形	0.18×0.14×0.49	
508	2	752・-680	楕円形	0.25×0.23×0.57	
509	2	752・-680	楕円形	0.32×0.20×0.42	
510	2	753・-683	楕円形	0.36×0.28×0.43	
511	2	753・-683	楕円形	0.31×0.29×0.34	
512	2	755・-683	楕円形	0.30×0.27×0.42	
513	2	755・-680	不明	(0.35)×0.47×0.30	P 405
514	2	759・-684	楕円形	0.26×0.21×0.28	P 460
515	2	763・-682	楕円形	0.38×0.36×0.60	
516	2	759・-681	隅丸方形	0.17×0.17×0.21	
517	2	757・-678	不明	(0.27)×-×0.49	
518	2	757・-679	楕円形	0.34×0.27×0.29	
519	2	757・-679	楕円形	0.29×0.27×0.15	
520	2	767・-680	楕円形	0.39×0.28×0.33	
521	2	761・-674	円形	0.21×0.21×0.29	
522	2	762・-673	楕円形	0.25×0.19×0.34	
523	2	764・-674	楕円形	0.52×0.37×0.27	P 1028、土師甕
524	2	765・-674	楕円形	0.41×0.27×0.33	P 648
525	2	763・-672	楕円形	0.26×0.21×0.39	
526	2	763・-671	楕円形	0.36×0.27×0.45	
527	2	764・-671	楕円形	0.35×0.33×0.20	
528	2	758・-685	隅丸方形	0.24×0.23×0.29	
529	2	769・-670	円形	0.28×0.27×0.09	
530	2	767・-665	楕円形	0.27×0.23×0.17	土師小破片
532	2	767・-664	楕円形	0.23×0.21×0.20	須恵杯口縁小破片
533	2	766・-663	楕円形	0.60×(0.45)×0.17	P 534
534	2	766・-663	楕円形	0.37×0.27×0.12	P 533・535
535	2	766・-663	楕円形	(0.27)×0.35×0.15	P 534・536
536	2	766・-662	楕円形	0.52×0.41×0.27	P 535
539	2	769・-664	楕円形	0.40×0.25×0.22	27掘立 P 2
541	2	772・-668	楕円形	0.41×0.35×0.16	
542	2	773・-667	楕円形	0.26×0.22×0.39	
544	2	771・-664	楕円形	0.47×0.45×0.57	
545	2	771・-663	楕円形	0.33×0.27×0.13	
546	2	773・-664	楕円形	0.68×0.54×0.30	
547	2	771・-662	楕円形	1.15×0.75×0.39	P 1047
548	2	767・-661	楕円形	0.43×0.40×0.45	
549	2	767・-659	楕円形	0.50×0.44×0.53	
550	2	768・-659	楕円形	0.38×0.32×0.21	
551	2	768・-659	楕円形	0.37×0.28×0.58	
552	2	772・-661	楕円形	0.35×0.33×0.29	
553	2	773・-662	楕円形	0.54×0.39×0.18	P 1027

ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
554	2	773・-661	楕円形	0.70×0.58×0.46	P 1027
555	2	774・-663	楕円形	0.62×0.40×0.54	土師小破片
556	2	775・-663	楕円形	0.40×0.34×0.24	
557	2	776・-663	楕円形	0.43×0.33×0.20	
558	2	774・-662	楕円形	0.33×0.29×0.60	
561	2	775・-661	楕円形	0.41×0.38×0.64	
562	2	774・-661	楕円形	0.51×0.38×0.19	
563	2	774・-660	楕円形	0.46×0.41×0.29	
564	2	774・-660	楕円形	0.61×0.44×0.13	
565	2	773・-660	楕円形	0.43×0.35×0.28	6 土坑、須恵杯口 縁小破片
566	2	769・-658	楕円形	0.28×0.26×0.44	
570	2	769・-656	楕円形	0.34×0.27×0.45	
572	2	770・-654	円形	0.29×0.28×0.09	
574	2	771・-653	楕円形	0.43×0.37×0.44	
575	2	772・-655	不整形	0.38×0.37×0.57	
576	2	772・-655	楕円形	0.27×0.25×0.24	
577	2	773・-654	楕円形	0.54×0.49×0.47	
578	2	773・-656	楕円形	0.30×0.29×0.19	
579	2	774・-658	楕円形	0.29×0.26×0.27	
580	2	773・-659	楕円形	0.33×0.27×0.27	
582	2	774・-660	楕円形	0.26×0.24×0.18	
583	2	776・-658	楕円形	0.26×0.21×0.25	
584	2	776・-660	楕円形	0.29×0.27×0.21	
586	2	778・-661	不整形	0.50×0.41×0.76	
587	2	780・-661	楕円形	0.26×0.24×0.16	8 土坑
588	2	777・-660	楕円形	0.32×0.29×0.35	
589	2	775・-656	楕円形	0.51×0.36×0.34	
590	2	777・-660	楕円形	0.29×0.28×0.32	
591	2	777・-659	楕円形	0.25×0.23×0.34	
592	2	780・-659	楕円形	0.45×0.30×0.45	4 溝
593	2	780・-659	楕円形	0.23×0.21×0.21	
594	2	779・-658	楕円形	0.39×0.36×0.61	
595	2	779・-658	楕円形	0.48×0.36×0.20	
596	2	778・-658	楕円形	0.26×0.23×0.47	
597	2	762・-680	円形	0.27×0.27×0.26	
598	2	776・-658	楕円形	0.25×0.23×0.42	
599	2	776・-658	楕円形	0.29×0.27×0.38	須恵杯口縁小破片
600	2	779・-657	楕円形	0.27×0.26×0.32	
601	2	777・-656	楕円形	0.38×0.32×0.34	
602	2	778・-656	楕円形	0.32×0.30×0.42	
603	2	778・-655	楕円形	0.39×0.34×0.61	
604	2	777・-655	楕円形	0.40×0.29×0.51	10 土坑
605	2	773・-653	楕円形	0.41×0.32×0.46	
606	2	772・-652	楕円形	0.46×0.36×0.63	
607	2	774・-652	楕円形	0.27×0.21×0.52	
608	2	775・-652	楕円形	0.41×0.35×0.48	
609	2	775・-651	楕円形	0.40×0.34×0.20	
610	2	776・-653	楕円形	0.45×0.31×0.48	
611	2	776・-652	楕円形	0.31×0.26×0.40	
612	2	777・-651	楕円形	0.36×0.31×0.42	
613	2	777・-652	楕円形	0.33×0.32×0.15	
614	2	777・-652	楕円形	0.24×0.22×0.27	
615	2	777・-653	円形	0.22×0.22×0.38	
616	2	777・-653	楕円形	0.28×0.25×0.26	
617	2	777・-653	楕円形	0.27×0.24×0.45	
618	2	778・-652	楕円形	0.40×0.36×0.19	
619	2	779・-653	楕円形	0.23×0.22×0.23	
620	2	779・-655	不整形	0.62×0.48×0.52	
621	2	779・-656	楕円形	0.28×0.27×0.45	
622	2	781・-657	楕円形	0.29×0.28×0.37	
623	2	781・-655	不整形	0.30×0.30×0.19	
624	2	780・-654	楕円形	0.29×0.26×0.47	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
626	2	783・-651	楕円形	0.46×0.40×0.58	
627	2	784・-652	楕円形	0.28×0.27×0.31	
628	2	785・-652	楕円形	0.29×0.22×0.54	
629	2	785・-652	楕円形	0.41×0.37×0.57	
630	2	786・-652	楕円形	0.34×0.31×0.48	
631	2	786・-652	楕円形	0.27×0.24×0.40	
633	2	784・-656	楕円形	0.41×0.34×0.28	
634	2	786・-652	楕円形	0.31×0.24×0.14	
635	2	784・-652	楕円形	0.27×0.24×0.21	
637	2	787・-653	楕円形	0.32×0.30×0.46	
638	2	787・-652	楕円形	0.44×0.31×0.46	
639	2	787・-652	楕円形	0.39×0.34×0.36	
640	2	786・-651	楕円形	0.32×0.25×0.25	
641	2	787・-651	楕円形	0.35×0.32×0.36	
643	2	787・-654	楕円形	0.29×0.28×0.39	
644	2	787・-653	楕円形	0.22×0.18×0.25	土師小破片
645	2	786・-652	楕円形	0.44×0.33×0.64	
646	2	787・-651	楕円形	0.24×0.21×0.24	
647	2	787・-651	楕円形	0.20×0.17×0.15	
648	2	765・-674	不明	(0.22)×0.20×0.22	P 524
649	2	762・-678	楕円形	0.35×0.28×0.45	P 390
650	2	756・-681	不整形	0.41×0.16×0.25	
651	2	754・-682	楕円形	0.28×0.23×0.27	
652	2	754・-684	楕円形	0.22×0.16×0.18	
653	2	754・-682	楕円形	0.18×0.16×0.31	
654	2	753・-682	楕円形	0.24×0.21×0.26	
655	2	778・-658	楕円形	0.45×0.30×0.30	
656	2	778・-658	不整形	0.43×0.36×0.20	P 657
657	2	777・-658	不整形	0.51×0.50×0.26	P 656
658	2	788・-648	楕円形	0.29×0.23×0.30	
659	2	787・-647	楕円形	0.53×0.48×0.65	P 1061
660	2	787・-646	楕円形	0.46×0.42×0.40	
661	2	786・-647	楕円形	0.56×0.46×0.59	
662	2	786・-646	楕円形	0.37×0.32×0.31	
663	2	786・-645	楕円形	0.36×0.24×0.25	43掘立 P 2
664	2	786・-645	楕円形	0.35×0.34×0.24	43掘立 P 2
665	2	784・-648	円形	0.36×0.36×0.62	土師小破片
666	2	783・-648	楕円形	0.37×0.31×0.54	
667	2	783・-648	円形	0.23×0.22×0.48	
668	2	782・-647	不整形	0.02×0.53×0.58	
671	2	784・-647	楕円形	(0.24)×0.25×0.22	43掘立 P 4
672	2	784・-647	楕円形	0.28×0.26×0.52	
673	2	783・-647	楕円形	0.52×0.49×0.62	
674	2	783・-647	楕円形	0.52×0.42×0.62	
675	2	784・-646	楕円形	0.33×0.28×0.46	
677	2	784・-646	楕円形	0.26×0.23×0.26	
678	2	785・-646	楕円形	0.43×0.28×0.55	
679	2	785・-646	楕円形	0.43×0.33×0.70	
681	2	788・-646	楕円形	0.36×0.33×0.43	
682	2	789・-645	楕円形	0.31×0.28×0.49	
684	2	788・-645	楕円形	0.48×0.46×0.47	43掘立 P 1
685	2	788・-644	楕円形	0.41×0.38×0.47	
686	2	789・-644	楕円形	0.52×0.50×0.63	
687	2	789・-644	楕円形	0.21×0.17×0.27	
688	2	790・-645	楕円形	0.22×0.20×0.40	
689	2	790・-645	隅丸方形	0.23×0.21×0.50	
690	2	791・-644	楕円形	0.63×0.45×0.60	
691	2	792・-643	楕円形	0.35×0.36×0.68	
692	2	791・-643	楕円形	0.59×0.48×0.43	
693	2	791・-643	楕円形	0.50×0.26×0.66	
694	2	789・-642	楕円形	0.42×0.37×0.73	
695	2	790・-642	楕円形	0.36×0.29×0.40	
696	2	792・-642	楕円形	0.46×0.39×0.67	

ピット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
697	2	792・-640	楕円形	0.56×(0.35)×0.30	P 698
698	2	792・-640	楕円形	0.55×0.34×0.37	P 697
699	2	791・-640	楕円形	0.53×0.41×0.32	
700	2	790・-639	円形	0.39×0.39×0.69	
701	2	762・-681	楕円形	0.26×0.21×0.41	P 384
702	2	757・-680	楕円形	0.29×0.25×0.42	7土坑
703	2	767・-678	楕円形	0.62×0.56×0.73	須恵杯底部
704	2	789・-646	楕円形	0.26×0.23×0.40	
705	2	790・-644	楕円形	0.22×0.20×0.41	
706	2	792・-639	楕円形	0.69×0.54×0.16	
707	2	793・-639	楕円形	0.48×0.42×0.62	
708	2	791・-639	楕円形	0.39×0.33×0.25	
709	2	791・-637	楕円形	0.30×0.27×0.58	
710	2	789・-638	楕円形	0.41×0.37×0.55	
711	2	789・-638	楕円形	0.38×0.36×0.40	
717	2	787・-642	楕円形	0.44×0.40×0.34	
719	2	787・-640	楕円形	0.25×0.23×0.60	
722	2	788・-638	楕円形	0.52×0.44×0.38	
723	2	787・-638	楕円形	0.45×0.37×0.49	
726	2	787・-637	不明	(0.12)×0.26×0.24	P 727
727	2	787・-637	楕円形	0.42×0.32×0.87	P 726
728	2	786・-637	楕円形	0.28×0.27×0.21	
729	2	786・-637	楕円形	0.24×0.17×0.57	
731	2	788・-636	楕円形	0.23×0.20×0.47	
732	2	787・-636	楕円形	0.50×0.34×0.56	
733	2	788・-634	楕円形	0.35×0.33×0.62	
734	2	788・-634	隅丸方形	0.21×0.18×0.17	
735	2	787・-634	楕円形	0.28×0.24×0.25	
736	2	787・-634	楕円形	0.24×0.19×0.39	
737	2	787・-633	楕円形	0.35×0.27×0.33	
738	2	787・-633	楕円形	0.32×0.27×0.96	
739	2	787・-632	楕円形	0.41×0.40×0.51	
740	2	787・-631	楕円形	0.53×0.46×1.01	
741	2	787・-634	楕円形	0.55×0.55×0.84	
742	2	786・-634	楕円形	0.44×0.35×0.26	
743	2	785・-633	楕円形	0.46×0.34×0.28	
744	2	785・-633	円形	0.24×0.23×0.53	
745	2	785・-634	円形	0.25×0.23×0.30	
746	2	785・-634	楕円形	0.35×0.31×0.22	
749	2	786・-635	円形	0.23×0.22×0.44	
752	2	782・-635	楕円形	0.30×0.24×0.35	
753	2	783・-636	楕円形	0.59×0.53×0.63	P 754
754	2	783・-635	楕円形	(0.47)×0.53×0.53	P 753
755	2	783・-635	楕円形	0.27×0.22×0.27	
756	2	784・-635	円形	0.17×0.16×0.24	
757	2	784・-637	円形	0.19×0.18×0.15	
758	2	784・-637	楕円形	0.43×0.38×0.53	
759	2	783・-637	楕円形	0.54×0.41×0.41	
760	2	783・-636	楕円形	0.22×0.20×0.22	
762	2	782・-637	楕円形	0.94×0.75×0.54	P 763
763	2	782・-638	楕円形	0.34×0.31×0.47	P 762
764	2	782・-639	円形	0.24×0.24×0.26	
766	2	783・-638	楕円形	0.65×0.47×0.77	17掘立 P 6
767	2	783・-638	楕円形	0.33×0.30×0.55	
768	2	785・-638	楕円形	0.44×0.32×0.50	P 770
769	2	785・-638	楕円形	0.49×0.32×0.35	P 770
770	2	784・-638	楕円形	0.41×(0.32)×0.24	P 768・769
771	2	786・-640	楕円形	0.32×0.30×0.25	
772	2	785・-639	楕円形	0.27×0.22×0.39	
773	2	784・-640	楕円形	0.27×0.24×0.28	
774	2	784・-640	楕円形	0.22×0.22×0.26	
775	2	784・-639	楕円形	0.22×0.20×0.28	
776	2	784・-640	楕円形	0.28×0.26×0.31	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
777	2	783・-639	楕円形	0.42×0.34×0.25	
778	2	783・-640	不明	(0.22)×0.28×0.33	P 779・780
779	2	783・-639	楕円形	0.35×0.29×0.48	P 778・780
780	2	782・-640	楕円形	0.39×0.27×0.38	P 778・779
781	2	783・-640	楕円形	0.31×0.27×0.30	
782	2	785・-640	楕円形	0.30×0.29×0.30	
783	2	785・-641	円形	0.22×0.21×0.28	
784	2	785・-642	楕円形	0.30×0.27×0.71	
785	2	784・-641	楕円形	0.35×0.33×0.79	
786	2	783・-641	楕円形	0.30×0.28×0.53	
787	2	783・-640	楕円形	0.38×0.36×0.85	
788	2	782・-640	楕円形	0.44×0.42×0.82	
789	2	783・-641	楕円形	0.47×0.35×0.71	
790	2	784・-642	楕円形	0.38×0.34×0.79	
791	2	782・-642	楕円形	0.34×0.32×0.50	
792	2	781・-641	楕円形	0.42×0.40×0.88	
793	2	781・-642	楕円形	0.42×0.38×0.20	
794	2	782・-643	楕円形	0.39×0.39×0.50	
795	2	782・-646	円形	0.30×0.29×0.37	
800	2	778・-645	楕円形	0.35×0.31×0.61	
801	2	779・-644	楕円形	0.28×0.28×0.45	
802	2	780・-643	楕円形	0.20×0.18×0.13	
803	2	780・-643	楕円形	0.33×0.26×0.22	P 804
804	2	781・-643	楕円形	(0.35)×0.33×0.10	P 803
805	2	780・-642	楕円形	0.31×0.29×0.50	P 806
806	2	780・-642	楕円形	0.23×0.18×0.39	P 805
807	2	779・-642	楕円形	0.25×0.23×0.19	
808	2	778・-643	楕円形	0.65×0.63×0.73	
809	2	777・-644	楕円形	0.42×0.35×0.66	
810	2	776・-644	楕円形	0.37×0.34×0.44	
811	2	777・-644	円形	0.24×0.24×0.39	
812	2	776・-643	楕円形	0.32×0.30×0.38	
813	2	777・-643	楕円形	0.29×0.28×0.60	
814	2	775・-642	楕円形	0.45×0.43×0.72	
815	2	776・-641	楕円形	0.46×0.46×0.60	
816	2	778・-641	楕円形	0.41×0.38×0.42	
817	2	778・-641	楕円形	0.33×0.33×0.61	
818	2	778・-640	楕円形	0.35×0.33×0.34	
819	2	778・-640	楕円形	0.40×0.37×0.51	
820	2	777・-640	円形	0.65×0.64×0.20	
821	2	777・-639	不明	(0.24)×××0.29	
823	2	778・-639	楕円形	0.26×0.25×0.33	
824	2	778・-638	楕円形	0.31×0.26×0.44	
825	2	779・-637	円形	0.23×0.22×0.21	
826	2	779・-638	楕円形	0.36×0.33×0.54	
827	2	779・-638	楕円形	0.35×0.33×0.66	
828	2	779・-639	楕円形	0.36×0.36×0.45	
829	2	780・-640	楕円形	0.29×0.27×0.76	16土坑
830	2	780・-641	楕円形	0.52×0.38×0.33	
831	2	781・-641	楕円形	0.68×0.51×0.70	
832	2	781・-640	楕円形	0.45×0.44×0.86	
833	2	780・-640	楕円形	0.32×(0.22)×0.33	P 834
834	2	780・-639	楕円形	0.33×0.27×0.45	P 833
835	2	781・-639	楕円形	0.53×0.44×0.37	
836	2	781・-639	楕円形	0.29×0.27×0.21	
837	2	780・-639	楕円形	0.29×0.27×0.22	
839	2	781・-638	楕円形	0.38×0.36×0.82	
840	2	781・-638	円形	0.43×0.43×0.42	
841	2	781・-637	楕円形	0.26×0.23×0.18	
842	2	781・-637	楕円形	0.26×0.23×0.22	
843	2	780・-637	楕円形	0.26×0.23×0.61	
846	2	781・-636	楕円形	0.28×0.22×0.20	
847	2	781・-635	楕円形	0.35×0.25×0.32	P 848

ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
848	2	781・-635	楕円形	0.38×0.37×0.30	P 847
849	2	781・-634	楕円形	0.36×0.32×0.40	
850	2	781・-634	楕円形	0.26×0.23×0.36	
851	2	783・-631	楕円形	0.32×0.30×0.43	
852	2	782・-630	楕円形	0.23×0.16×0.34	P 853
853	2	782・-630	楕円形	(0.24)×0.27×0.31	P 852
854	2	788・-632	楕円形	0.31×0.32×0.25	
855	2	789・-637	楕円形	0.34×0.32×0.25	
856	2	789・-637	楕円形	0.49×0.37×0.29	
858	2	795・-639	楕円形	0.50×0.40×0.61	
859	2	797・-642	楕円形	0.44×0.38×0.19	
860	2	797・-641	楕円形	0.23×0.20×0.13	
861	2	786・-647	楕円形	0.35×0.33×0.27	
862	2	798・-645	楕円形	0.52×0.43×0.38	
863	2	797・-645	楕円形	0.47×0.37×0.78	
864	2	795・-645	楕円形	0.25×0.23×0.14	
865	2	795・-645	楕円形	0.26×0.23×0.16	
866	2	795・-647	楕円形	0.30×0.28×0.38	
867	2	794・-647	楕円形	0.29×0.24×0.32	
868	2	794・-647	楕円形	0.22×0.19×0.47	
869	2	794・-647	楕円形	0.40×0.33×0.45	
870	2	793・-646	楕円形	0.29×0.26×0.23	
871	2	792・-646	楕円形	0.28×0.25×0.49	
872	2	793・-648	楕円形	0.19×0.17×0.18	
873	2	796・-648	楕円形	0.49×0.46×0.41	
874	2	798・-648	楕円形	0.23×0.18×0.29	
875	2	799・-648	楕円形	0.35×0.30×0.31	
876	2	800・-647	円形	0.21×0.21×0.20	
877	2	800・-647	楕円形	0.37×0.33×0.35	
878	2	802・-648	楕円形	0.31×0.24×0.38	
879	2	801・-649	楕円形	0.34×0.29×0.28	
880	2	801・-649	楕円形	0.37×0.29×0.55	
881	2	799・-651	楕円形	0.46×0.38×0.50	
882	2	799・-649	楕円形	0.53×0.37×0.65	
883	2	798・-648	楕円形	(0.34)×0.37×0.24	P 884
884	2	798・-648	楕円形	(0.40)×0.39×0.39	P 883・885
885	2	798・-648	楕円形	0.25×0.16×0.40	P 884
886	2	797・-649	楕円形	0.33×0.28×0.41	
887	2	797・-649	楕円形	0.33×0.29×0.45	
888	2	801・-651	楕円形	0.29×0.26×0.19	
889	2	808・-651	楕円形	0.52×0.39×0.31	
890	2	809・-651	楕円形	0.33×0.29×0.61	
891	2	807・-652	楕円形	0.49×0.27×0.47	
892	2	803・-656	円形	0.43×0.42×0.45	
893	2	801・-657	楕円形	0.22×0.22×0.29	
894	2	800・-659	楕円形	0.44×0.42×0.61	
895	2	799・-659	楕円形	0.38×0.36×0.32	
896	2	797・-656	楕円形	0.38×0.32×0.55	
897	2	796・-657	楕円形	0.29×0.26×0.32	
898	2	796・-658	不明	(0.20)×0.28×0.51	
899	2	796・-658	不明	(0.18)×0.23×0.26	
900	2	797・-658	楕円形	0.26×0.23×0.27	
901	2	798・-661	楕円形	0.31×0.27×0.44	
902	2	799・-661	楕円形	0.32×0.28×0.80	
903	2	799・-662	楕円形	0.52×0.44×0.65	
904	2	799・-663	楕円形	0.29×0.25×0.64	
905	2	798・-662	楕円形	0.26×0.21×0.44	
906	2	797・-663	楕円形	(0.26)×0.31×0.30	P 907
907	2	797・-663	楕円形	0.33×0.32×0.45	P 906
908	2	797・-663	楕円形	0.29×0.23×0.56	
909	2	796・-664	楕円形	0.22×0.21×0.32	
910	2	795・-665	楕円形	0.46×0.40×0.75	
911	2	795・-663	楕円形	0.24×0.22×0.39	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
912	2	797・-664	楕円形	0.24×0.19×0.27	
913	2	797・-664	円形	0.24×0.24×0.26	
914	2	795・-661	楕円形	0.29×0.26×0.28	
915	2	798・-662	楕円形	0.34×0.32×0.48	
916	2	796・-660	楕円形	0.31×0.27×0.49	P 192
917	2	795・-663	楕円形	0.21×0.19×0.20	
918	2	794・-660	楕円形	0.34×0.30×0.69	P 919
919	2	794・-660	楕円形	(0.19)×0.18×0.61	P 918
920	2	793・-657	楕円形	0.23×0.20×0.44	
921	2	796・-655	楕円形	0.23×0.21×0.32	
922	2	795・-654	不明	(0.23)×0.38×0.64	
923	2	795・-654	不明	(0.25)×0.39×0.34	
924	2	795・-653	不明	(0.14)×-×0.45	
925	2	795・-653	不明	(0.15)×-×0.49	
926	2	797・-654	楕円形	0.27×0.24×0.34	
927	2	798・-654	楕円形	0.38×0.33×0.24	
928	2	800・-655	不明	(0.15)×0.17×0.29	
930	2	792・-655	楕円形	0.26×0.23×0.23	P 931
931	2	792・-654	楕円形	0.23×0.23×0.25	P 930
932	2	787・-658	楕円形	0.22×0.19×0.27	
933	2	787・-660	楕円形	(0.22)×0.28×0.13	P 934
934	2	787・-659	楕円形	0.55×0.35×0.19	P 933
935	2	786・-660	楕円形	0.34×0.25×0.51	
936	2	786・-660	楕円形	0.30×0.24×0.30	
937	2	790・-661	楕円形	0.40×0.32×0.49	
939	2	790・-662	楕円形	0.35×0.31×0.25	
940	2	788・-663	楕円形	0.29×0.25×0.21	
941	2	788・-663	楕円形	0.37×0.25×0.57	
942	2	789・-664	楕円形	0.39×0.37×0.36	
943	2	788・-664	楕円形	0.24×0.21×0.37	
944	2	786・-664	楕円形	0.48×0.32×0.23	
945	2	787・-666	楕円形	0.28×0.26×0.30	
946	2	787・-666	楕円形	0.30×0.26×0.19	
947	2	792・-671	楕円形	0.33×0.29×0.65	
948	2	787・-666	楕円形	0.45×0.32×0.37	
949	2	783・-665	楕円形	0.37×0.26×0.33	
950	2	782・-665	楕円形	0.34×0.30×0.52	
951	2	784・-666	楕円形	0.47×0.45×0.77	
952	2	785・-666	楕円形	0.65×0.51×0.66	
953	2	784・-667	楕円形	0.26×0.25×0.19	
954	2	783・-667	楕円形	0.44×0.31×0.17	P 955
955	2	783・-668	不明	-×0.46×0.25	P 954・956
956	2	783・-668	不整形	(0.50)×(0.50)×0.26	P 955・957
957	2	783・-668	楕円形	0.47×0.32×0.86	P 956
958	2	791・-666	楕円形	0.34×0.32×0.25	
959	2	791・-666	楕円形	0.28×0.25×0.20	
960	2	789・-666	楕円形	0.19×0.16×0.19	
961	2	787・-672	楕円形	0.57×0.42×0.24	
962	2	784・-672	楕円形	0.34×0.31×0.57	
963	2	782・-675	楕円形	0.44×0.32×0.63	
964	2	782・-677	楕円形	0.23×0.22×0.21	
965	2	778・-683	楕円形	0.30×0.26×0.51	P 50
966	2	778・-683	楕円形	0.20×0.20×0.16	
967	2	779・-685	楕円形	0.31×0.24×0.37	
968	2	778・-686	円形	0.20×0.19×0.17	
969	2	778・-686	楕円形	0.33×0.32×0.25	
970	2	777・-685	楕円形	0.30×0.28×0.55	
971	2	776・-686	楕円形	0.38×0.34×0.18	
972	2	775・-685	楕円形	0.51×0.49×0.28	
973	2	774・-687	楕円形	0.28×0.26×0.31	
974	2	782・-678	円形	0.21×0.20×0.21	
975	2	781・-678	楕円形	0.41×0.25×0.17	
976	2	785・-667	楕円形	0.30×0.29×0.81	

ピット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
977	2	783・-681	楕円形	[0.35]×0.32×0.32	P 69
978	2	781・-681	楕円形	0.52×0.37×0.32	
979	2	780・-681	楕円形	0.50×0.42×0.31	
980	2	780・-682	楕円形	0.32×0.30×0.52	
981	2	776・-688	楕円形	0.35×0.26×0.42	
982	2	777・-683	楕円形	0.43×0.22×0.16	
983	2	773・-688	楕円形	0.19×0.17×0.36	
984	2	773・-688	楕円形	0.25×0.22×0.42	
985	2	771・-688	円形	0.20×0.19×0.18	
986	2	771・-689	楕円形	0.46×0.41×0.24	
987	2	770・-689	楕円形	0.22×0.21×0.19	
988	2	769・-688	楕円形	0.22×0.19×0.20	
989	2	771・-687	楕円形	0.36×0.31×0.31	
990	2	773・-686	楕円形	0.60×0.49×0.42	
991	2	771・-686	楕円形	0.29×0.27×0.23	
992	2	771・-686	楕円形	0.21×0.19×0.21	
993	2	770・-686	楕円形	0.23×0.20×0.43	
994	2	770・-685	楕円形	0.48×0.34×0.54	
995	2	769・-686	楕円形	0.46×0.28×0.28	
996	2	769・-686	円形	0.21×0.21×0.16	
997	2	768・-686	楕円形	0.19×0.19×0.27	
998	2	772・-684	楕円形	0.61×0.45×0.45	
999	2	773・-682	円形	0.30×0.30×0.26	
1000	2	779・-676	楕円形	0.40×0.39×0.21	
1001	2	778・-680	楕円形	0.32×(0.27)×0.30	P 266
1002	2	779・-673	楕円形	0.43×0.33×0.46	
1003	2	778・-673	楕円形	0.36×0.26×0.61	P 262
1004	2	777・-673	楕円形	0.39×0.35×0.16	
1005	2	776・-671	楕円形	0.42×0.37×0.56	
1006	2	777・-671	楕円形	0.51×0.34×0.24	
1007	2	763・-684	楕円形	0.27×0.25×0.31	
1008	2	764・-683	楕円形	0.40×0.32×0.28	
1010	2	759・-681	楕円形	0.43×0.41×0.43	
1011	2	767・-682	楕円形	0.47×0.37×0.27	
1012	2	770・-681	楕円形	0.55×0.39×0.54	P 1013
1013	2	771・-681	楕円形	0.36×0.33×0.40	P 1012
1014	2	768・-680	楕円形	0.69×0.36×0.59	
1015	2	771・-683	楕円形	0.49×0.46×0.40	
1016	2	771・-682	楕円形	0.63×0.40×0.52	P 1017・1090
1017	2	771・-681	楕円形	(0.23)×0.32×0.33	P 1016
1018	2	773・-678	楕円形	0.44×0.38×0.60	P 1019
1019	2	773・-677	楕円形	(0.40)×0.39×0.21	P 1018
1020	2	767・-680	楕円形	0.33×0.28×0.27	
1021	2	766・-677	楕円形	0.28×0.24×0.20	
1022	2	767・-677	楕円形	0.26×0.23×0.29	P 490
1023	2	767・-675	楕円形	0.45×0.41×0.84	
1024	2	764・-676	楕円形	0.29×0.26×0.20	
1025	2	762・-676	不明	(0.33)×0.39×0.26	P 369
1026	2	762・-673	楕円形	0.32×0.29×0.50	
1027	2	763・-672	楕円形	0.38×0.33×0.49	
1028	2	764・-674	楕円形	0.38×0.31×0.33	P 523
1029	2	765・-671	楕円形	0.58×0.51×0.39	
1030	2	766・-672	円形	0.51×0.50×0.50	P 1031
1031	2	767・-672	楕円形	0.63×0.56×0.38	P 1030
1032	2	767・-671	楕円形	0.53×0.46×0.53	
1033	2	766・-670	楕円形	0.56×0.44×0.42	P 1142
1034	2	766・-670	楕円形	0.58×0.45×0.40	
1035	2	765・-670	楕円形	0.36×0.35×0.34	P 355・1034
1036	2	768・-673	楕円形	0.39×0.39×0.47	
1037	2	777・-673	楕円形	0.36×0.27×0.39	
1038	2	769・-672	不整形	0.38×0.37×0.39	
1039	2	768・-670	楕円形	0.40×0.37×0.44	
1040	2	767・-669	楕円形	0.41×0.37×0.39	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1041	2	767・-668	楕円形	0.43×0.40×0.48	
1042	2	771・-668	楕円形	0.72×0.49×0.37	
1044	2	770・-665	楕円形	0.28×0.24×0.18	
1045	2	768・-660	楕円形	0.32×0.26×0.22	
1046	2	769・-665	楕円形	0.31×0.28×0.22	
1048	2	771・-661	楕円形	0.52×0.40×0.50	
1049	2	770・-660	楕円形	0.45×0.38×0.67	
1050	2	770・-658	楕円形	0.40×0.30×0.27	
1051	2	769・-657	楕円形	0.46×0.42×0.38	
1052	2	773・-656	楕円形	0.27×0.27×0.17	
1053	2	778・-660	楕円形	0.28×0.27×0.22	
1054	2	779・-655	楕円形	0.35×0.34×0.45	
1055	2	784・-656	楕円形	0.34×0.25×0.40	
1056	2	785・-652	楕円形	0.33×0.26×0.25	
1057	2	786・-652	楕円形	0.28×0.22×0.38	
1058	2	786・-653	楕円形	0.30×0.25×0.19	
1060	2	788・-652	楕円形	0.42×0.42×0.33	
1061	2	787・-647	不明	(0.19)×0.32×0.39	
1062	2	796・-666	楕円形	0.47×0.31×0.76	
1063	2	797・-666	楕円形	0.26×0.26×0.24	
1064	2	797・-666	楕円形	(0.22)×0.23×0.43	
1065	2	791・-668	楕円形	0.26×0.22×0.22	
1066	2	790・-667	楕円形	0.25×0.23×0.21	
1067	2	792・-671	楕円形	0.31×0.27×0.65	
1068	2	780・-678	楕円形	0.50×0.38×0.48	
1070	2	779・-681	楕円形	0.31×0.21×0.18	
1071	2	780・-684	楕円形	0.33×0.30×0.39	
1072	2	772・-688	円形	0.34×0.34×0.25	
1073	2	772・-688	円形	0.27×0.25×0.29	
1074	2	771・-688	楕円形	0.34×0.25×0.19	
1075	2	771・-687	楕円形	0.29×0.26×0.36	
1076	2	770・-687	楕円形	0.32×0.24×0.24	
1077	2	770・-688	楕円形	0.36×0.24×0.33	
1078	2	772・-686	楕円形	0.47×0.40×0.30	P 293
1079	2	770・-689	楕円形	0.42×0.33×0.24	P 987
1080	2	773・-694	不明	(0.20)×0.42×0.44	
1081	2	772・-694	楕円形	(0.20)×0.22×0.41	
1082	2	771・-692	楕円形	0.28×0.26×0.23	
1083	2	770・-687	楕円形	0.29×0.26×0.32	P 298
1084	2	769・-688	楕円形	0.29×0.26×0.28	
1085	2	770・-686	円形	0.32×0.31×0.18	
1086	2	770・-684	楕円形	0.23×0.20×0.34	
1087	2	770・-683	楕円形	0.28×0.21×0.37	
1088	2	770・-683	楕円形	0.27×0.21×0.31	
1089	2	770・-683	楕円形	0.31×0.25×0.38	
1090	2	771・-682	楕円形	(0.62)×0.48×0.60	P 1016
1091	2	772・-681	楕円形	0.35×0.28×0.29	
1092	2	772・-680	楕円形	0.27×0.26×0.27	
1093	2	772・-678	楕円形	0.36×0.30×0.53	
1094	2	768・-686	円形	0.24×0.23×0.26	P 1095
1095	2	768・-686	楕円形	0.18×(0.16)×0.17	P 1094
1096	2	768・-685	楕円形	0.28×0.26×0.31	
1097	2	767・-685	楕円形	0.31×0.23×0.19	
1098	2	767・-685	楕円形	0.28×0.24×0.31	
1099	2	765・-685	楕円形	0.22×0.20×0.13	
1101	2	759・-680	楕円形	0.29×0.22×0.47	12土坑
1102	2	766・-675	楕円形	0.35×0.30×0.77	
1103	2	767・-674	楕円形	(0.52)×0.47×0.45	P 1135
1104	2	770・-673	楕円形	0.36×0.32×0.18	
1105	2	790・-673	楕円形	0.32×0.28×0.24	
1106	2	764・-669	円形	0.38×0.37×0.20	
1107	2	763・-668	楕円形	0.33×0.29×0.28	
1108	2	762・-668	楕円形	(0.54)×0.54×0.91	

ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1109	2	763・-667	楕円形	0.37×0.34×0.26	
1110	2	770・-668	楕円形	0.52×0.40×0.28	
1111	2	770・-668	楕円形	0.30×0.26×0.26	
1112	2	771・-666	楕円形	0.35×0.33×0.44	
1113	2	772・-666	楕円形	0.44×0.33×0.50	
1115	2	789・-667	楕円形	0.53×0.44×0.53	
1116	2	785・-672	不整形	0.60×0.40×0.46	
1117	2	782・-669	楕円形	0.29×0.24×0.61	
1118	2	782・-670	楕円形	0.53×0.50×0.31	
1119	2	782・-671	楕円形	0.42×0.38×0.35	
1120	2	786・-678	不明	(0.18)×0.22×0.12	
1121	2	780・-676	楕円形	0.53×0.50×0.47	
1122	2	780・-674	楕円形	0.21×0.21×0.37	
1123	2	773・-685	楕円形	0.40×0.35×0.47	
1124	2	768・-687	楕円形	0.45×0.44×0.19	P 435
1125	2	762・-682	楕円形	0.34×0.32×0.26	
1128	2	758・-675	楕円形	0.44×0.28×0.30	
1129	2	763・-674	楕円形	0.68×0.51×0.37	
1130	2	766・-674	楕円形	0.58×0.45×0.29	
1131	2	766・-674	楕円形	0.56×0.41×0.36	P 1132
1132	2	766・-674	楕円形	0.62×0.51×0.45	P 1131・1133
1133	2	765・-675	楕円形	(0.33)×0.42×0.20	P 1132
1134	2	768・-674	楕円形	0.41×0.40×0.58	
1135	2	768・-674	不整形	0.52×0.47×0.43	P 1103
1136	2	768・-673	楕円形	0.77×0.51×0.49	
1137	2	773・-674	円形	0.35×0.35×0.54	
1138	2	762・-670	不明	(0.30)×0.39×0.41	P 1141
1139	2	761・-671	不明	(0.21)×0.32×0.24	
1140	2	763・-670	楕円形	0.42×0.34×0.81	
1141	2	762・-669	不明	(0.22)×(0.31)×0.45	P 1138
1142	2	766・-670	不明	(0.17)×0.40×0.40	P 1033
1143	2	775・-659	楕円形	0.22×0.18×0.21	
1144	2	780・-655	楕円形	0.29×0.23×0.16	
1145	2	779・-652	楕円形	0.38×0.29×0.75	
1146	2	778・-652	楕円形	0.40×0.31×0.60	
1148	2	779・-651	楕円形	0.22×0.21×0.26	
1150	2	780・-652	楕円形	0.22×0.19×0.40	
1151	2	780・-652	楕円形	0.26×0.23×0.40	
1152	2	781・-651	楕円形	0.32×0.28×0.64	
1153	2	782・-651	楕円形	0.47×0.39×0.41	
1154	2	783・-650	円形	0.26×0.25×0.35	
1158	2	785・-649	楕円形	0.28×0.25×0.31	
1159	2	786・-651	円形	0.26×0.25×0.35	
1162	2	790・-649	円形	0.24×0.24×0.43	
1163	2	793・-661	楕円形	0.32×0.27×0.30	P 216
1164	2	796・-663	楕円形	0.40×0.28×0.58	
1165	2	797・-665	円形	0.26×0.25×0.31	
1166	2	791・-668	楕円形	0.38×0.31×0.34	
1167	2	789・-674	楕円形	0.31×0.30×0.63	
1169	2	788・-674	楕円形	0.27×0.25×0.48	
1170	2	787・-675	楕円形	0.37×0.30×0.35	P 107
1171	2	783・-679	楕円形	0.41×0.34×0.28	
1172	2	781・-678	円形	0.19×0.19×0.22	
1173	2	792・-663	楕円形	0.27×0.24×0.31	
1174	2	795・-666	楕円形	0.63×0.37×0.42	
1175	2	797・-661	楕円形	0.32×0.30×0.48	
1177	2	776・-652	楕円形	0.29×0.27×0.56	
1178	2	779・-652	楕円形	0.42×0.31×0.38	
1179	2	784・-652	円形	0.24×0.24×0.22	
1180	2	782・-677	楕円形	0.31×0.26×0.23	
1181	2	785・-653	楕円形	0.37×0.23×0.75	
1182	2	784・-652	楕円形	0.38×0.32×0.47	
1183	2	783・-653	円形	0.34×0.34×0.62	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1184	2	783・-653	楕円形	0.27×0.25×0.39	
1185	2	784・-653	楕円形	0.19×0.18×0.16	
1186	2	784・-652	楕円形	0.47×0.37×0.68	
1187	2	783・-653	楕円形	0.33×0.30×0.48	
1188	2	783・-651	円形	0.17×0.17×0.19	
1189	2	783・-652	楕円形	0.26×0.24×0.45	
1191	2	785・-649	楕円形	0.30×0.28×0.39	
1192	2	784・-649	楕円形	0.34×0.34×0.70	
1193	2	782・-648	楕円形	0.31×0.28×0.51	
1195	2	782・-648	不明	(0.12)×××0.14	
1196	2	783・-646	楕円形	0.28×0.26×0.33	
1197	2	791・-672	楕円形	0.62×0.50×0.52	21土坑
1198	2	791・-672	楕円形	0.34×0.33×0.35	21土坑
1200	2	790・-636	楕円形	0.27×0.22×0.27	
1202	2	788・-647	楕円形	0.29×0.27×0.46	
1204	2	786・-644	楕円形	0.29×0.25×0.40	
1208	2	793・-655	楕円形	0.35×0.33×0.29	
1209	2	784・-650	楕円形	0.27×0.25×0.29	
1211	2	792・-649	楕円形	0.36×0.30×0.55	
1213	2	789・-653	円形	0.26×0.26×0.45	
1214	2	800・-653	楕円形	0.44×0.35×0.40	
1215	2	793・-661	楕円形	0.45×0.33×0.45	
1219	2	779・-667	楕円形	0.67×0.43×0.27	
1220	2	771・-684	楕円形	0.28×0.26×0.42	
1221	2	774・-686	楕円形	0.38×0.31×0.19	
1222	2	779・-679	楕円形	0.53×0.32×0.38	
1223	2	785・-676	楕円形	0.35×0.33×0.37	
1224	2	783・-676	楕円形	0.29×0.24×0.26	P 92
1225	2	781・-675	楕円形	0.36×0.35×0.23	
1226	2	865・-561	楕円形	0.26×0.26×0.20	
1227	2	866・-561	楕円形	0.17×0.15×0.20	
1228	2	866・-561	楕円形	0.26×0.21×0.14	
1229	2	867・-559	楕円形	0.21×0.14×0.14	
1230	2	869・-555	楕円形	0.23×0.18×0.19	
1231	2	867・-553	楕円形	0.29×0.17×0.24	
1232	2	867・-554	楕円形	0.25×0.17×0.20	
1233	2	861・-566	楕円形	0.26×0.24×0.25	
1234	2	861・-565	楕円形	0.22×0.17×0.10	
1235	2	862・-563	楕円形	0.29×0.20×0.17	
1236	2	860・-562	楕円形	0.24×0.24×0.14	
1237	2	859・-562	楕円形	0.24×0.18×0.17	
1238	2	858・-561	楕円形	0.19×0.18×0.19	
1239	2	863・-558	楕円形	0.30×0.26×0.16	
1240	2	863・-557	楕円形	0.29×0.26×0.17	
1241	2	864・-557	楕円形	0.52×0.35×0.31	
1242	2	861・-557	楕円形	0.24×0.16×0.13	
1243	2	865・-554	楕円形	0.23×0.22×0.20	
1244	2	865・-554	楕円形	0.31×0.30×0.24	
1245	2	864・-554	楕円形	0.34×0.29×0.43	
1246	2	866・-553	楕円形	0.28×0.24×0.19	P 1247
1247	2	866・-553	楕円形	0.37×(0.20)×0.16	P 1246
1248	2	865・-553	隅丸方形	0.17×0.17×0.14	
1249	2	862・-554	楕円形	0.31×0.28×0.33	
1250	2	862・-553	楕円形	0.35×0.27×0.33	
1251	2	861・-555	楕円形	0.26×0.20×0.23	
1252	2	862・-550	隅丸方形	0.25×0.25×0.26	
1253	2	860・-552	楕円形	0.29×0.27×0.28	
1254	2	860・-552	楕円形	0.27×0.24×0.23	
1255	2	860・-551	楕円形	0.30×0.21×0.35	
1256	2	860・-548	楕円形	0.38×0.26×0.44	
1257	2	860・-549	楕円形	0.26×0.21×0.25	
1258	2	858・-548	楕円形	0.25×0.18×0.53	
1259	2	857・-551	楕円形	0.26×0.19×0.17	

ピット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1260	2	856・-555	楕円形	0.28×0.26×0.28	
1261	2	856・-559	楕円形	0.21×0.17×0.12	
1262	2	855・-559	楕円形	0.23×0.18×0.12	
1263	2	855・-554	楕円形	0.29×0.20×0.23	
1264	2	853・-556	楕円形	0.36×0.27×0.10	
1265	2	852・-559	楕円形	0.17×0.16×0.14	
1266	2	852・-559	楕円形	0.20×0.15×0.14	
1267	2	851・-560	楕円形	0.23×0.17×0.18	
1268	2	850・-560	楕円形	0.28×0.23×0.34	
1269	2	849・-559	楕円形	0.19×0.17×0.20	
1270	2	850・-558	楕円形	0.24×0.21×0.25	
1271	2	850・-558	楕円形	0.23×0.22×0.23	
1272	2	851・-557	楕円形	0.31×0.21×0.18	
1273	2	852・-555	楕円形	0.23×0.19×0.22	
1274	2	853・-548	楕円形	0.36×0.26×0.54	
1275	2	851・-549	楕円形	0.36×0.35×0.70	
1276	2	850・-547	楕円形	0.33×0.30×0.55	
1277	2	850・-551	楕円形	0.23×0.20×0.26	
1278	2	849・-553	楕円形	0.19×0.18×0.23	
1279	2	849・-553	楕円形	0.39×0.33×0.62	
1280	2	849・-555	楕円形	0.21×0.18×0.20	
1281	2	847・-558	楕円形	0.33×0.26×0.46	
1282	2	847・-559	楕円形	0.30×0.26×0.16	
1283	2	847・-560	楕円形	0.29×0.26×0.31	
1284	2	845・-557	隅丸長方形	0.31×0.24×0.29	
1285	2	846・-556	楕円形	0.21×0.19×0.19	
1286	2	850・-545	楕円形	0.38×0.33×0.36	
1287	2	847・-550	楕円形	0.16×0.14×0.25	
1288	2	843・-551	楕円形	0.19×0.15×0.50	
1289	2	849・-545	楕円形	0.25×0.24×0.39	
1290	2	849・-544	楕円形	0.32×0.24×0.42	
1291	2	848・-544	楕円形	0.30×0.23×0.30	
1292	2	848・-547	楕円形	0.28×0.18×0.40	
1293	2	847・-548	楕円形	0.28×0.24×0.26	
1294	2	847・-549	楕円形	0.40×0.33×0.43	
1295	2	844・-551	楕円形	0.23×0.17×0.34	
1296	2	842・-551	楕円形	0.24×0.22×0.47	
1297	2	842・-555	楕円形	0.22×0.18×0.21	
1298	2	842・-555	楕円形	0.18×0.17×0.18	
1299	2	842・-555	楕円形	0.22×0.20×0.26	
1300	2	838・-552	楕円形	0.23×0.19×0.22	
1301	2	839・-551	楕円形	0.24×0.21×0.46	
1302	2	841・-550	楕円形	0.33×0.26×0.68	
1303	2	842・-549	楕円形	0.29×0.23×0.42	
1304	2	842・-549	楕円形	0.31×0.20×0.43	
1305	2	843・-546	楕円形	0.32×0.27×0.46	
1306	2	844・-545	楕円形	0.38×0.26×0.32	
1307	2	838・-551	楕円形	0.28×0.21×0.48	
1308	2	838・-550	楕円形	0.28×0.23×0.19	
1309	2	838・-549	楕円形	0.33×0.32×0.35	
1310	2	859・-578	楕円形	0.46×0.43×0.60	
1311	2	855・-574	楕円形	0.29×0.25×0.56	
1312	2	855・-579	楕円形	0.37×0.35×0.84	
1313	2	855・-577	不整形	0.59×0.41×1.23	
1314	2	853・-577	楕円形	0.42×0.35×0.81	P 1552
1315	2	852・-576	楕円形	0.44×0.37×0.56	
1316	2	851・-576	楕円形	0.39×0.34×0.27	
1317	2	852・-575	楕円形	0.41×0.35×1.10	
1318	2	853・-574	楕円形	0.55×0.47×1.00	
1319	2	851・-573	楕円形	0.20×0.16×0.36	
1320	2	851・-573	楕円形	0.38×0.34×0.66	
1321	2	849・-573	楕円形	0.38×0.22×0.45	
1322	2	847・-572	楕円形	0.29×0.22×0.30	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1323	2	847・-573	楕円形	0.30×(0.22)×0.50	P 1324
1324	2	847・-573	楕円形	0.27×0.26×0.32	P 1323
1325	2	847・-572	楕円形	0.42×0.31×0.71	
1326	2	847・-571	楕円形	0.33×0.28×0.47	
1327	2	843・-572	楕円形	0.55×0.45×0.80	
1328	2	849・-577	楕円形	0.32×0.28×0.28	
1329	2	850・-580	楕円形	0.43×0.34×0.59	
1330	2	854・-583	楕円形	0.25×0.22×0.35	
1331	2	847・-580	楕円形	0.37×0.34×0.60	
1332	2	856・-586	楕円形	0.27×0.23×0.37	
1333	2	855・-585	楕円形	0.36×0.29×0.71	
1334	2	853・-585	楕円形	0.22×0.19×0.24	
1335	2	848・-583	楕円形	0.32×0.24×0.32	
1336	2	847・-585	楕円形	0.35×0.29×0.83	
1337	2	845・-583	楕円形	0.22×0.20×0.42	
1338	2	843・-583	楕円形	0.24×0.21×0.17	
1339	2	843・-579	楕円形	0.26×0.22×0.48	
1340	2	842・-579	楕円形	0.32×0.26×0.86	
1341	2	840・-575	楕円形	0.30×0.23×0.33	
1342	2	838・-576	楕円形	0.20×0.18×0.30	
1343	2	837・-575	楕円形	0.20×0.23×0.41	
1344	2	836・-575	楕円形	0.24×0.19×0.55	
1345	2	835・-572	楕円形	0.23×0.20×0.36	
1346	2	835・-571	楕円形	0.35×0.28×0.64	
1347	2	834・-573	楕円形	0.21×0.18×0.40	
1348	2	833・-574	楕円形	0.27×0.24×0.51	
1349	2	835・-576	楕円形	0.25×0.22×0.41	
1350	2	832・-576	楕円形	0.32×0.29×0.19	
1351	2	832・-577	楕円形	0.38×0.26×0.57	
1352	2	833・-580	楕円形	0.26×0.24×0.40	
1353	2	833・-580	楕円形	0.31×0.29×0.59	
1354	2	833・-579	楕円形	0.29×0.24×0.73	
1355	2	831・-579	楕円形	0.31×0.27×0.43	
1356	2	830・-579	楕円形	0.34×0.32×0.47	
1357	2	834・-589	楕円形	0.44×0.38×0.72	
1358	2	828・-579	楕円形	0.31×0.29×0.43	
1359	2	828・-580	楕円形	0.30×0.23×0.43	
1360	2	851・-588	楕円形	0.27×0.24×0.43	
1361	2	851・-590	楕円形	0.25×0.20×0.27	
1362	2	851・-591	楕円形	0.33×0.28×0.71	
1363	2	850・-588	楕円形	0.35×0.26×0.37	
1364	2	850・-587	楕円形	0.28×0.28×0.70	
1365	2	843・-584	楕円形	0.24×0.18×0.32	
1366	2	845・-589	楕円形	0.37×0.32×0.42	
1367	2	839・-588	楕円形	0.26×0.22×0.14	
1368	2	837・-586	楕円形	0.27×0.23×0.39	
1369	2	836・-585	楕円形	0.36×0.31×0.62	
1370	2	835・-586	楕円形	0.36×0.25×0.59	
1371	2	834・-586	楕円形	0.28×0.25×0.39	
1372	2	835・-586	楕円形	0.26×0.25×0.43	
1373	2	829・-583	楕円形	0.40×0.38×0.57	
1374	2	827・-582	楕円形	0.33×0.21×0.39	
1375	2	827・-582	楕円形	0.25×0.21×0.30	
1376	2	833・-586	楕円形	0.30×0.23×0.37	
1377	2	851・-594	楕円形	0.32×0.22×0.23	
1378	2	849・-593	楕円形	0.30×0.22×0.75	
1379	2	849・-592	楕円形	0.35×0.32×0.93	
1380	2	846・-593	楕円形	0.28×0.24×0.53	
1381	2	846・-593	楕円形	0.29×0.22×0.43	
1382	2	845・-594	楕円形	0.42×0.38×0.58	
1383	2	849・-599	楕円形	0.47×0.32×0.81	P 1384
1384	2	848・-598	楕円形	(0.25)×0.49×0.42	P 1383
1385	2	847・-599	楕円形	0.28×0.26×0.50	

ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1386	2	847・-599	楕円形	0.33×0.26×0.56	
1387	2	846・-598	楕円形	0.26×0.26×0.57	
1388	2	847・-597	楕円形	0.44×0.35×0.77	
1389	2	847・-597	楕円形	0.27×0.25×0.36	
1390	2	848・-596	楕円形	0.28×0.26×0.17	
1391	2	846・-595	楕円形	0.29×0.25×0.54	
1392	2	845・-596	楕円形	0.45×0.26×0.22	P 1558
1393	2	844・-596	楕円形	0.36×0.31×0.69	
1394	2	844・-598	楕円形	0.34×0.24×0.44	
1395	2	838・-590	楕円形	0.28×0.26×0.16	
1396	2	838・-589	楕円形	0.40×0.33×0.28	
1397	2	832・-590	楕円形	0.34×0.29×0.49	
1398	2	830・-590	楕円形	0.33×0.26×0.62	
1399	2	830・-589	楕円形	0.38×0.33×0.65	P 1567
1400	2	846・-603	楕円形	0.35×0.30×0.93	
1401	2	846・-602	楕円形	0.26×0.22×0.38	
1402	2	845・-603	楕円形	0.41×0.26×0.67	
1403	2	844・-600	楕円形	0.36×0.32×0.65	
1404	2	844・-603	楕円形	0.36×0.31×0.75	
1405	2	844・-605	楕円形	0.36×0.31×0.46	
1406	2	843・-603	楕円形	0.30×0.29×0.57	
1407	2	843・-603	不整形	0.51×0.29×0.68	
1408	2	841・-604	楕円形	0.44×0.32×0.42	
1409	2	841・-602	楕円形	0.39×0.33×0.48	
1410	2	841・-603	楕円形	0.38×0.29×0.61	
1411	2	841・-603	隅丸方形	0.31×0.30×0.50	
1412	2	840・-604	楕円形	0.41×0.33×0.57	
1413	2	840・-604	楕円形	0.29×0.23×0.36	
1414	2	842・-605	楕円形	0.41×0.27×0.42	
1415	2	842・-606	楕円形	0.26×0.21×0.44	
1416	2	843・-607	楕円形	0.22×0.21×0.49	
1417	2	841・-607	楕円形	0.29×0.22×0.54	
1418	2	841・-609	楕円形	0.39×0.30×0.65	
1419	2	841・-610	楕円形	0.26×0.24×0.48	
1420	2	841・-610	楕円形	0.31×0.24×0.31	
1421	2	840・-609	楕円形	0.35×0.32×0.32	
1422	2	840・-608	楕円形	0.29×0.27×0.55	
1423	2	840・-601	楕円形	(0.33)×0.32×0.47	P 1424
1424	2	840・-601	楕円形	0.33×0.30×0.66	P 1423
1425	2	839・-601	楕円形	0.25×0.22×0.36	
1426	2	837・-604	楕円形	0.35×0.27×0.48	
1427	2	837・-603	楕円形	0.42×0.36×0.79	
1428	2	836・-602	楕円形	0.38×0.27×0.48	
1429	2	832・-601	楕円形	0.32×0.32×0.65	
1430	2	832・-567	楕円形	0.35×0.28×0.61	
1431	2	829・-585	楕円形	0.26×0.24×0.38	
1432	2	829・-594	楕円形	0.39×0.36×0.70	
1433	2	832・-600	楕円形	0.35×0.26×0.49	
1434	2	830・-601	楕円形	0.39×0.26×0.47	
1435	2	836・-604	楕円形	0.33×0.20×0.44	
1436	2	835・-604	楕円形	0.35×0.32×0.58	
1437	2	837・-606	楕円形	0.25×0.24×0.49	
1438	2	836・-607	楕円形	0.53×0.33×0.71	
1439	2	836・-607	楕円形	0.36×0.28×0.36	
1440	2	835・-606	楕円形	0.38×0.34×0.39	
1441	2	839・-611	楕円形	0.41×0.39×0.41	
1442	2	838・-610	楕円形	0.25×0.21×0.45	
1443	2	838・-609	楕円形	0.32×0.28×0.47	
1444	2	834・-605	楕円形	0.36×0.30×0.66	
1445	2	833・-603	楕円形	0.31×0.25×0.61	
1446	2	831・-603	楕円形	0.42×0.35×0.48	
1447	2	829・-603	楕円形	0.32×0.26×0.65	
1448	2	828・-600	楕円形	0.24×0.19×0.19	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1449	2	828・-601	楕円形	0.26×0.23×0.25	
1450	2	827・-597	楕円形	0.34×0.28×0.83	
1451	2	826・-598	楕円形	0.26×0.22×0.68	
1452	2	826・-598	楕円形	0.38×0.30×0.84	
1453	2	826・-597	楕円形	0.30×0.25×0.62	
1454	2	826・-597	楕円形	0.30×0.26×0.51	
1455	2	824・-597	楕円形	0.40×0.37×0.82	
1456	2	825・-596	楕円形	0.47×0.37×0.47	
1457	2	824・-596	楕円形	0.36×0.28×0.68	
1458	2	824・-595	楕円形	0.44×0.27×0.73	
1459	2	824・-596	楕円形	0.46×0.36×0.64	
1460	2	823・-596	楕円形	0.28×0.25×0.61	
1461	2	824・-595	楕円形	0.28×0.24×0.61	
1462	2	822・-596	楕円形	0.29×0.20×0.47	
1463	2	823・-594	楕円形	0.35×0.27×0.56	
1464	2	823・-597	楕円形	0.40×0.35×0.73	P 1466
1465	2	822・-597	楕円形	0.31×0.23×0.70	
1466	2	822・-597	不明	(0.10)×0.26×0.18	P 1464
1467	2	822・-597	楕円形	0.29×0.23×0.49	
1468	2	831・-604	楕円形	0.37×0.35×0.63	
1469	2	837・-610	不明	0.37×(0.21)×0.36	P 1470
1470	2	837・-610	楕円形	0.28×0.21×0.46	P 1469
1471	2	846・-560	楕円形	0.20×0.19×0.22	
1472	2	847・-546	楕円形	0.24×0.19×0.37	
1473	2	833・-605	楕円形	0.25×0.22×0.34	
1474	2	833・-605	楕円形	0.35×0.29×0.67	
1475	2	841・-553	隅丸方形	0.22×0.21×不明	
1476	2	842・-554	楕円形	0.27×0.20×0.33	
1477	2	829・-607	楕円形	0.36×0.32×0.85	
1478	2	825・-608	楕円形	0.29×0.28×0.44	
1479	2	824・-608	楕円形	0.38×0.33×0.37	
1480	2	836・-610	楕円形	0.40×0.37×0.58	
1481	2	835・-608	楕円形	0.24×0.23×0.57	
1482	2	835・-608	楕円形	0.28×0.25×0.60	
1483	2	835・-607	楕円形	0.45×0.39×1.03	
1484	2	834・-607	楕円形	0.26×0.23×0.61	
1485	2	834・-607	楕円形	0.34×0.30×0.60	
1486	2	834・-608	楕円形	0.39×0.32×0.69	
1487	2	833・-607	楕円形	0.33×0.27×0.51	
1488	2	833・-609	楕円形	0.32×0.32×1.01	
1489	2	832・-607	楕円形	0.31×0.27×0.69	
1490	2	831・-608	楕円形	0.45×0.42×0.34	
1491	2	831・-608	楕円形	0.35×0.24×0.63	
1492	2	831・-608	楕円形	0.23×0.23×0.41	
1493	2	830・-609	楕円形	0.33×0.26×0.44	
1494	2	829・-609	楕円形	0.30×0.26×0.56	
1495	2	828・-608	楕円形	0.32×0.28×0.63	
1496	2	830・-605	隅丸長方形	0.26×0.24×0.60	
1497	2	829・-604	楕円形	0.37×0.27×0.47	
1498	2	828・-605	楕円形	0.43×0.41×1.13	
1499	2	828・-603	楕円形	0.29×0.21×0.55	
1500	2	826・-605	楕円形	0.42×0.29×0.61	
1501	2	825・-609	楕円形	0.32×0.28×0.55	
1502	2	826・-611	楕円形	0.31×0.26×0.52	
1503	2	825・-612	楕円形	0.45×0.39×0.42	
1504	2	827・-609	楕円形	0.26×0.25×0.55	
1505	2	828・-611	楕円形	0.32×0.26×0.56	
1506	2	828・-613	楕円形	0.36×0.28×0.53	P 1507
1507	2	828・-613	楕円形	0.41×0.32×0.57	P 1506
1508	2	830・-613	楕円形	0.43×0.39×0.60	
1509	2	829・-615	楕円形	0.34×0.33×0.64	
1510	2	832・-611	楕円形	0.26×0.21×0.40	P 1572
1511	2	832・-611	楕円形	0.32×0.30×0.61	

ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1512	2	833・-612	楕円形	0.40×0.33×0.58	
1513	2	833・-611	楕円形	0.27×0.26×0.64	
1514	2	833・-613	楕円形	0.45×0.45×0.41	
1515	2	833・-614	楕円形	0.40×0.27×0.45	
1516	2	834・-613	楕円形	0.45×0.33×0.70	
1517	2	834・-612	楕円形	0.42×0.38×0.72	
1518	2	835・-611	楕円形	0.36×0.32×0.72	
1519	2	837・-612	楕円形	0.37×0.31×0.45	
1520	2	838・-613	楕円形	0.24×0.24×0.33	
1521	2	836・-613	楕円形	0.35×0.26×0.49	
1522	2	837・-614	楕円形	0.32×0.31×0.48	
1523	2	838・-615	楕円形	0.24×0.20×0.25	
1524	2	836・-615	楕円形	0.51×0.36×0.48	
1525	2	836・-615	楕円形	0.43×0.34×0.38	
1526	2	834・-614	楕円形	0.45×0.38×0.73	
1527	2	833・-616	楕円形	0.50×0.44×0.51	
1528	2	836・-619	楕円形	0.25×0.17×0.22	
1529	2	830・-621	楕円形	0.39×0.33×0.34	
1530	2	832・-623	楕円形	0.24×0.20×0.25	
1531	2	829・-623	楕円形	0.30×0.29×0.32	
1532	2	829・-619	楕円形	0.37×0.31×0.62	
1533	2	825・-619	楕円形	0.37×0.33×0.57	
1534	2	823・-619	楕円形	0.40×0.34×0.85	
1535	2	823・-620	楕円形	0.38×0.30×0.25	
1536	2	822・-618	楕円形	0.47×0.37×0.52	
1537	2	822・-618	楕円形	0.33×0.28×0.38	
1538	2	827・-615	楕円形	0.31×0.23×0.18	
1539	2	820・-617	楕円形	0.32×0.25×0.34	
1540	2	819・-617	楕円形	0.29×0.21×0.38	
1541	2	819・-618	楕円形	0.28×0.23×0.42	
1542	2	821・-620	楕円形	0.26×0.19×0.33	
1543	2	821・-621	楕円形	0.24×0.20×0.36	
1544	2	820・-621	楕円形	0.32×0.24×0.41	
1545	2	815・-621	楕円形	0.30×0.22×0.35	
1546	2	814・-623	楕円形	0.32×0.28×0.26	
1547	2	815・-624	楕円形	0.32×0.22×0.43	
1548	2	826・-630	楕円形	0.37×0.33×0.40	
1549	2	830・-600	楕円形	0.27×0.25×0.28	
1550	2	838・-550	楕円形	0.29×0.18×0.51	
1551	2	852・-577	楕円形	0.26×0.22×0.24	
1552	2	853・-577	楕円形	(0.21)×0.18×0.28	P 1314
1553	2	837・-584	楕円形	0.29×0.24×0.53	
1554	2	838・-589	楕円形	0.33×0.29×0.32	
1555	2	840・-590	楕円形	0.26×0.23×0.45	
1556	2	840・-591	楕円形	0.36×0.29×0.94	
1557	2	841・-594	楕円形	0.27×0.23×0.41	
1558	2	845・-596	楕円形	0.23×0.17×0.45	P 1392
1559	2	831・-596	楕円形	0.36×0.28×0.57	
1560	2	827・-590	楕円形	0.38×0.32×0.62	
1561	2	827・-590	楕円形	0.30×0.28×0.49	
1562	2	827・-591	楕円形	0.34×0.29×0.69	
1563	2	826・-592	楕円形	0.32×0.28×0.70	
1564	2	839・-598	楕円形	0.35×0.20×0.62	
1565	2	825・-615	楕円形	0.34×0.28×0.48	
1566	2	827・-594	楕円形	0.32×0.28×0.28	
1567	2	830・-589	楕円形	(0.24)×0.35×0.68	P 1399
1568	2	832・-584	楕円形	0.32×0.27×0.55	
1569	2	847・-598	楕円形	0.26×0.22×0.40	
1570	2	846・-590	楕円形	0.30×0.23×0.36	
1571	2	854・-549	楕円形	0.35×0.23×0.43	
1572	2	832・-611	不明	(0.15)×0.23×0.31	P 1510
1573	2	806・-646	楕円形	0.27×0.22×0.29	
1574	2	813・-628	楕円形	0.26×0.23×0.32	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1575	2	835・-607	楕円形	0.21×0.16×0.23	
1576	2	846・-603	不明	(0.14)×-×0.46	
1577	2	842・-598	楕円形	0.32×0.28×0.45	
1578	2	848・-580	楕円形	0.22×0.21×0.38	
1579	2	833・-571	楕円形	0.33×0.32×0.61	
1580	2	833・-571	楕円形	0.23×0.15×0.39	
1581	2	825・-599	楕円形	0.32×0.29×0.56	
1582	2	837・-602	楕円形	0.28×0.24×0.63	
1583	2	837・-602	楕円形	0.29×0.27×0.47	
1584	2	834・-599	楕円形	0.43×0.23×0.51	
1585	2	831・-574	楕円形	0.36×0.31×0.35	
1586	2	832・-572	楕円形	0.22×0.17×0.19	
1587	2	832・-598	楕円形	0.29×0.26×0.45	
1588	2	830・-597	楕円形	0.36×0.33×0.34	
1589	2	832・-578	楕円形	0.29×0.25×0.75	
1590	2	825・-597	楕円形	0.34×0.32×0.51	
1591	2	824・-597	楕円形	0.24×0.19×0.25	P 1592
1592	2	824・-597	楕円形	0.20×0.17×0.26	P 1591
1593	2	823・-597	楕円形	0.26×0.24×0.69	
1594	2	824・-595	楕円形	0.35×0.31×0.55	
1595	2	823・-596	楕円形	0.30×0.24×0.59	
1596	2	821・-596	楕円形	0.32×0.28×0.41	
1597	2	822・-596	楕円形	0.30×0.23×0.53	
1598	2	821・-598	楕円形	0.27×0.18×0.75	
1599	2	822・-598	楕円形	0.22×0.20×0.27	
1600	2	822・-598	楕円形	0.28×0.24×0.49	
1601	2	824・-599	楕円形	0.44×0.36×0.69	
1602	2	822・-599	楕円形	0.32×0.29×0.56	
1603	2	822・-599	楕円形	0.27×0.24×0.45	
1604	2	821・-599	楕円形	0.36×0.26×0.59	
1605	2	819・-598	楕円形	0.24×0.23×0.47	
1606	2	821・-600	楕円形	0.36×0.29×0.70	
1607	2	820・-599	楕円形	0.30×0.26×0.65	
1608	2	820・-598	楕円形	0.37×0.33×0.65	
1609	2	817・-599	楕円形	0.24×0.22×0.41	
1610	2	817・-599	楕円形	0.43×0.39×0.33	
1611	2	817・-600	楕円形	0.30×0.22×0.62	
1612	2	818・-601	楕円形	0.31×0.27×0.35	
1613	2	818・-600	楕円形	0.27×0.25×0.59	
1614	2	823・-595	楕円形	0.25×0.12×0.27	
1615	2	835・-601	楕円形	0.27×0.25×0.55	
1616	2	839・-599	楕円形	0.34×0.31×0.39	
1617	2	820・-602	楕円形	0.30×0.26×0.45	
1618	2	820・-603	楕円形	0.34×0.31×0.65	
1619	2	822・-601	楕円形	0.28×0.22×0.56	
1620	2	822・-603	楕円形	0.24×0.21×0.27	
1621	2	822・-603	楕円形	0.29×0.23×0.58	
1622	2	823・-602	楕円形	0.31×0.23×0.33	P 1623
1623	2	823・-602	不明	(0.20)×0.22×0.31	P 1622
1624	2	824・-602	楕円形	0.28×0.23×0.58	
1625	2	824・-603	楕円形	0.24×0.23×0.49	
1626	2	825・-603	円形	0.29×0.29×0.64	
1627	2	826・-603	楕円形	0.35×0.27×1.09	
1628	2	827・-603	楕円形	0.31×0.21×0.54	
1629	2	824・-605	不明	(0.26)×0.26×0.48	
1630	2	824・-605	楕円形	0.38×0.33×0.55	
1631	2	824・-605	楕円形	0.30×0.28×0.52	
1632	2	823・-606	楕円形	0.44×0.34×0.49	
1633	2	822・-607	楕円形	0.36×0.27×0.50	
1634	2	815・-598	楕円形	0.31×0.27×0.43	
1635	2	814・-599	楕円形	0.32×0.27×0.61	
1636	2	818・-604	楕円形	0.31×0.21×0.43	
1637	2	817・-604	楕円形	0.27×0.25×0.34	

ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1638	2	816・-602	楕円形	0.27×0.23×0.36	
1639	2	806・-606	楕円形	0.37×0.25×0.44	
1640	2	813・-604	楕円形	0.28×0.22×0.35	
1641	2	813・-605	楕円形	0.30×0.23×0.51	
1642	2	813・-605	楕円形	0.38×0.32×0.40	
1643	2	813・-605	円形	0.22×0.22×0.34	
1644	2	806・-604	楕円形	0.28×0.25×0.45	
1645	2	814・-605	楕円形	0.21×0.17×0.37	
1646	2	815・-605	楕円形	0.26×0.23×0.11	
1647	2	817・-607	楕円形	0.30×0.26×0.56	
1648	2	818・-606	楕円形	0.32×0.24×0.57	
1649	2	818・-605	楕円形	0.36×0.28×0.59	
1650	2	818・-605	楕円形	0.20×0.19×0.46	
1651	2	818・-607	楕円形	0.37×0.25×0.39	
1652	2	818・-607	楕円形	0.20×0.16×0.32	
1653	2	818・-608	楕円形	0.24×0.20×0.38	
1654	2	818・-609	楕円形	0.26×0.24×0.39	
1655	2	819・-610	楕円形	0.27×0.23×0.26	
1656	2	819・-610	楕円形	0.27×0.23×0.17	
1657	2	822・-610	楕円形	0.31×0.25×0.38	
1658	2	822・-610	楕円形	0.32×0.23×0.59	
1659	2	817・-608	楕円形	0.28×0.27×0.55	
1660	2	816・-608	楕円形	0.26×0.21×0.25	
1661	2	816・-607	楕円形	0.29×0.26×0.43	
1662	2	806・-606	楕円形	0.27×0.25×0.41	
1663	2	813・-607	楕円形	0.32×0.26×0.51	
1664	2	813・-607	楕円形	0.21×0.16×0.18	
1665	2	812・-607	楕円形	0.27×0.22×0.28	
1666	2	812・-606	楕円形	0.36×0.25×0.61	
1667	2	811・-607	楕円形	0.34×0.25×0.55	
1668	2	811・-607	楕円形	0.25×0.19×0.51	
1669	2	811・-607	円形	0.25×0.25×0.39	
1670	2	812・-608	楕円形	0.31×0.24×0.26	
1671	2	813・-609	楕円形	0.31×0.27×0.63	
1672	2	806・-607	楕円形	0.27×0.20×0.39	
1673	2	814・-611	楕円形	0.21×0.20×0.13	
1674	2	807・-606	楕円形	0.26×0.20×0.31	
1675	2	815・-612	楕円形	0.23×0.21×0.34	
1676	2	816・-612	楕円形	0.27×0.24×0.25	
1677	2	816・-612	楕円形	0.21×0.16×0.38	
1678	2	814・-615	楕円形	0.30×0.29×0.48	
1679	2	811・-614	楕円形	0.25×0.23×0.35	
1680	2	811・-609	楕円形	0.27×0.23×0.41	
1681	2	809・-609	楕円形	0.33×0.27×0.55	
1682	2	809・-608	楕円形	0.27×0.26×0.45	
1683	2	807・-614	円形	0.28×0.28×0.33	
1684	2	807・-616	楕円形	0.31×0.24×0.42	
1685	2	804・-614	楕円形	0.22×0.21×0.30	
1686	2	803・-614	楕円形	0.49×0.36×0.52	
1687	2	804・-616	楕円形	0.33×0.25×0.40	
1688	2	801・-615	楕円形	0.30×0.27×0.74	
1689	2	806・-619	楕円形	0.28×0.26×0.13	
1690	2	805・-620	楕円形	0.26×0.22×0.28	
1691	2	801・-617	楕円形	0.30×0.27×0.67	
1692	2	800・-623	楕円形	0.21×0.18×0.25	
1693	2	802・-625	楕円形	0.18×0.13×0.19	
1694	2	803・-625	楕円形	0.29×0.25×0.20	
1695	2	804・-632	円形	0.18×0.18×0.19	
1696	2	801・-631	楕円形	0.26×0.26×0.31	
1697	2	801・-629	楕円形	0.22×0.20×0.24	
1698	2	800・-628	楕円形	0.21×0.17×0.24	
1699	2	799・-628	楕円形	0.23×0.18×0.36	
1700	2	799・-628	楕円形	0.23×0.18×0.29	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1701	2	796・-635	楕円形	0.27×0.26×0.28	
1702	2	797・-629	楕円形	0.29×0.22×0.26	
1703	2	796・-628	楕円形	0.26×0.26×0.44	
1704	2	796・-626	楕円形	0.38×0.34×0.34	
1705	2	791・-626	楕円形	0.32×0.26×0.46	
1706	2	790・-625	楕円形	0.28×0.25×0.22	
1707	2	789・-621	楕円形	0.35×0.27×0.37	
1708	2	790・-621	楕円形	0.37×0.37×0.52	
1709	2	789・-619	楕円形	0.49×0.38×0.50	
1710	2	790・-619	楕円形	0.31×0.26×0.37	
1711	2	790・-616	楕円形	0.60×0.45×0.72	
1712	2	793・-622	楕円形	0.34×0.32×0.49	
1713	2	795・-619	楕円形	0.31×0.22×0.25	
1714	2	798・-618	楕円形	0.31×0.23×0.29	
1715	2	797・-614	楕円形	0.26×0.26×0.31	
1716	2	796・-615	楕円形	0.26×0.18×0.41	
1717	2	795・-615	楕円形	0.27×0.22×0.47	
1718	2	795・-615	楕円形	0.41×0.36×0.62	
1719	2	793・-615	楕円形	0.34×0.26×0.37	
1720	2	793・-613	楕円形	0.43×0.34×0.56	
1721	2	796・-611	楕円形	0.28×0.23×0.42	
1722	2	797・-610	楕円形	0.28×0.27×0.48	
1723	2	800・-612	楕円形	0.35×0.33×0.28	
1724	2	800・-611	楕円形	0.24×0.22×0.21	
1725	2	801・-604	楕円形	0.30×0.27×0.39	
1726	2	801・-602	楕円形	0.33×0.26×0.82	
1727	2	804・-604	楕円形	0.27×0.23×0.28	
1728	2	806・-608	楕円形	0.28×0.28×0.39	
1729	2	807・-607	楕円形	(0.15)×0.26×0.45	
1730	2	807・-603	楕円形	0.32×0.22×0.26	
1731	2	805・-604	楕円形	0.41×0.36×0.52	
1732	2	805・-603	楕円形	0.36×0.35×0.49	
1733	2	804・-601	楕円形	0.39×0.30×0.46	
1734	2	803・-601	楕円形	0.28×0.21×0.38	
1735	2	807・-598	楕円形	0.25×0.25×0.29	
1736	2	805・-596	楕円形	0.29×0.26×0.16	
1737	2	806・-594	楕円形	0.46×0.38×0.66	
1738	2	807・-596	楕円形	0.34×0.27×0.22	
1739	2	808・-597	楕円形	0.54×0.44×0.62	
1740	2	808・-598	楕円形	0.24×0.21×0.48	
1741	2	808・-598	楕円形	0.26×0.20×0.52	
1742	2	808・-598	楕円形	0.27×0.25×0.47	
1743	2	810・-596	楕円形	0.23×0.21×0.48	
1744	2	810・-595	楕円形	0.40×0.24×0.30	
1745	2	811・-599	楕円形	0.21×0.17×0.30	
1746	2	812・-599	楕円形	0.39×0.28×0.53	
1747	2	812・-597	楕円形	0.26×0.23×0.32	
1748	2	812・-597	楕円形	0.37×0.27×0.73	
1749	2	812・-596	楕円形	0.27×0.18×0.56	
1750	2	812・-596	楕円形	0.33×0.26×0.58	
1751	2	812・-595	楕円形	0.27×0.26×0.57	
1752	2	812・-594	楕円形	0.40×0.33×0.69	
1753	2	806・-595	楕円形	0.47×0.41×0.75	
1754	2	812・-592	楕円形	0.34×0.29×0.58	
1755	2	813・-593	楕円形	0.30×0.27×0.55	
1756	2	814・-593	楕円形	0.30×0.24×0.65	
1757	2	815・-593	楕円形	0.40×0.37×0.44	
1758	2	816・-594	楕円形	0.27×0.23×0.43	
1759	2	816・-595	楕円形	0.28×0.23×0.54	
1760	2	816・-596	楕円形	0.34×0.33×0.52	
1761	2	815・-596	楕円形	0.25×0.22×0.32	
1762	2	815・-596	楕円形	0.27×0.25×0.65	
1763	2	814・-596	楕円形	0.26×0.22×0.48	

ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1764	2	817・-596	楕円形	0.27×0.23×0.63	
1765	2	821・-598	楕円形	0.26×0.19×0.57	
1766	2	831・-598	楕円形	0.35×0.28×0.73	
1767	2	832・-598	楕円形	0.30×0.27×0.53	
1768	2	831・-594	楕円形	0.31×0.26×0.42	
1769	2	834・-600	楕円形	0.54×0.33×0.33	
1770	2	835・-601	楕円形	0.30×0.29×0.53	
1771	2	829・-593	楕円形	0.28×0.27×0.34	
1772	2	830・-594	楕円形	0.24×0.19×0.25	
1773	2	831・-592	楕円形	0.34×0.24×0.44	
1774	2	831・-591	楕円形	0.30×0.29×0.32	
1775	2	832・-592	円形	0.29×0.28×0.51	
1776	2	832・-593	楕円形	0.25×0.21×0.30	
1777	2	833・-592	楕円形	0.36×0.29×0.28	
1778	2	833・-591	不明	(0.16)×0.22×0.47	P 1779
1779	2	833・-591	楕円形	0.28×0.21×0.48	P 1778
1780	2	840・-594	楕円形	0.31×0.27×0.63	
1781	2	841・-596	楕円形	0.23×0.21×0.30	
1782	2	843・-595	楕円形	0.37×0.32×0.20	
1783	2	842・-597	楕円形	0.34×0.33×0.54	
1784	2	842・-597	楕円形	0.17×0.16×0.29	
1785	2	842・-598	楕円形	0.27×0.17×0.44	
1786	2	841・-597	楕円形	0.28×0.26×0.36	
1787	2	840・-597	楕円形	0.42×0.36×0.97	
1788	2	840・-598	楕円形	0.34×0.31×0.42	
1789	2	839・-597	楕円形	0.36×0.25×0.55	
1790	2	836・-596	楕円形	0.39×0.34×0.57	
1791	2	833・-598	楕円形	0.29×0.23×0.46	
1792	2	812・-592	楕円形	0.27×0.27×0.43	
1793	2	839・-586	楕円形	0.28×0.24×0.50	
1794	2	839・-586	楕円形	0.26×0.22×0.38	
1795	2	840・-587	楕円形	0.24×0.20×0.12	
1796	2	840・-588	楕円形	0.35×0.32×0.65	
1797	2	840・-589	楕円形	0.26×0.24×0.28	
1798	2	839・-589	楕円形	0.32×0.26×0.46	
1799	2	838・-588	楕円形	0.24×0.22×0.34	
1800	2	836・-588	楕円形	0.32×0.24×0.25	
1801	2	810・-596	楕円形	0.34×0.25×0.31	
1802	2	811・-591	不整形	0.42×0.22×0.61	
1803	2	810・-591	楕円形	0.30×0.28×0.68	
1804	2	810・-588	楕円形	0.39×0.33×0.51	
1805	2	810・-587	楕円形	0.33×0.32×0.66	
1806	2	809・-585	楕円形	(0.31)×0.31×0.55	
1807	2	809・-603	楕円形	0.33×0.28×0.50	
1808	2	808・-604	楕円形	0.27×0.23×0.54	
1809	2	810・-604	楕円形	(0.19)×0.35×0.68	
1810	2	811・-605	楕円形	0.35×0.27×0.55	
1811	2	813・-609	楕円形	0.29×0.23×0.57	
1812	2	802・-596	楕円形	0.40×0.35×0.58	
1813	2	802・-597	楕円形	0.53×0.48×0.79	
1814	2	802・-598	楕円形	0.27×0.25×0.39	
1815	2	802・-600	楕円形	0.32×0.27×0.28	
1816	2	799・-600	楕円形	(0.17)×0.21×0.35	P 1817
1817	2	799・-600	楕円形	0.26×0.23×0.46	P 1816
1818	2	798・-601	楕円形	0.40×0.31×0.49	
1819	2	799・-602	楕円形	0.33×0.23×0.43	
1820	2	797・-615	楕円形	0.23×0.17×0.30	
1821	2	828・-591	楕円形	0.30×0.25×0.53	
1822	2	840・-580	楕円形	0.35×0.22×0.28	
1823	2	852・-586	楕円形	0.31×0.26×0.67	
1824	2	848・-597	楕円形	0.28×0.19×0.34	
1825	2	844・-593	楕円形	0.41×0.26×0.51	
1826	2	846・-583	楕円形	0.19×0.16×0.43	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1827	2	835・-577	楕円形	0.47×0.29×0.46	
1828	2	835・-573	楕円形	0.22×0.26×0.40	
1829	2	837・-611	楕円形	0.28×0.22×0.52	
1830	2	834・-610	楕円形	0.23×0.22×0.51	
1831	2	832・-615	楕円形	0.42×0.32×0.49	
1832	2	831・-615	楕円形	0.24×0.18×0.43	
1833	2	812・-618	楕円形	0.28×0.25×0.43	
1834	2	834・-588	楕円形	0.29×0.25×0.49	
1835	2	824・-589	楕円形	0.29×0.24×0.54	
1836	2	841・-584	楕円形	0.28×0.25×0.45	
1837	2	834・-596	楕円形	0.40×0.34×0.56	
1838	2	842・-600	楕円形	0.30×0.25×0.76	
1839	2	843・-599	楕円形	0.52×0.37×0.50	
1840	2	835・-588	楕円形	0.29×0.23×0.36	
1841	2	808・-605	楕円形	0.29×0.27×0.35	
1842	2	806・-607	楕円形	0.28×0.23×0.46	
1843	2	808・-609	楕円形	0.42×0.37×0.60	
1844	2	810・-610	楕円形	0.28×0.25×0.67	
1845	2	829・-595	楕円形	0.29×0.26×0.45	
1846	2	824・-592	楕円形	0.33×0.33×0.78	
1847	2	847・-605	楕円形	0.32×0.31×0.25	
1848	2	830・-603	楕円形	0.31×0.29×0.77	
1849	2	822・-600	楕円形	0.44×0.28×0.56	
1850	2	824・-607	楕円形	0.29×0.23×0.36	
1851	2	815・-618	楕円形	0.27×0.15×0.33	
1852	2	817・-616	楕円形	0.21×0.17×0.16	
1853	2	818・-613	楕円形	0.29×0.24×1.06	
1854	2	823・-611	楕円形	0.32×0.31×0.39	
1855	2	823・-607	楕円形	(0.27)×0.25×0.45	
1856	2	828・-605	楕円形	0.34×0.15×0.51	P 1857
1857	2	828・-605	楕円形	0.31×(0.19)×0.64	P 1856
1858	2	832・-613	楕円形	0.32×0.27×0.46	
1859	2	811・-591	楕円形	0.36×0.33×0.34	
1860	2	835・-591	楕円形	0.36×0.31×0.80	
1861	2	833・-594	楕円形	0.38×0.33×0.54	
1862	2	802・-595	楕円形	0.55×0.36×0.51	
1864	2	789・-671	楕円形	(0.16)×0.33×0.26	P 120・121
1865	2	788・-671	楕円形	(0.14)×0.43×0.23	P 120・121
1866	2	770・-692	楕円形	0.31×(0.18)×0.17	P 26・415・416

第39表 鳴上 I 遺跡 A 区ピット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1	1	678・-831	楕円形	0.29×0.24×0.15	
2	1	677・-831	楕円形	0.36×0.33×0.12	
3	1	676・-831	楕円形	0.41×0.24×0.16	
4	1	675・-831	不整形	(0.44)×0.40×0.20	
5	1	677・-830	楕円形	0.29×0.23×0.15	
6	1	670・-828	楕円形	0.30×0.23×0.33	
7	1	670・-828	円形	0.17×0.17×0.31	
8	1	670・-828	楕円形	0.20×0.17×0.26	
9	1	669・-828	楕円形	0.25×0.23×0.17	
10	1	675・-829	楕円形	0.36×0.32×0.27	
11	1	666・-827	楕円形	0.29×0.23×0.19	
12	1	665・-828	楕円形	0.22×0.19×0.19	
13	1	665・-827	楕円形	0.43×0.41×0.19	
14	1	664・-827	円形	0.42×0.42×0.22	
15	1	664・-827	楕円形	0.37×0.30×0.17	
16	1	659・-826	楕円形	0.26×0.26×0.16	
17	1	657・-824	楕円形	0.22×0.20×0.29	
18	1	657・-824	楕円形	0.27×0.25×0.23	
19	1	658・-823	楕円形	0.26×0.18×0.68	
20	1	658・-823	楕円形	0.21×0.17×0.21	
21	1	659・-822	楕円形	0.28×0.26×0.76	
22	1	680・-828	楕円形	0.26×0.23×0.33	
23	1	681・-827	楕円形	0.32×0.26×0.24	
24	1	679・-824	楕円形	0.23×0.21×0.26	
25	1	675・-826	楕円形	0.24×0.20×0.11	
26	1	675・-826	円形	0.18×0.17×0.21	
27	1	674・-825	隅丸長方形	0.26×0.21×0.57	
28	1	675・-824	楕円形	0.25×0.19×0.59	
29	1	675・-824	楕円形	0.24×0.19×0.14	
30	1	675・-824	楕円形	0.33×0.29×0.80	
31	1	684・-824	楕円形	0.50×0.40×0.18	
32	1	672・-824	楕円形	0.50×0.30×0.49	P 122
33	1	681・-823	楕円形	0.25×0.22×0.34	
34	1	683・-821	楕円形	0.27×0.22×0.30	
35	1	683・-819	楕円形	0.31×0.32×0.26	
36	1	689・-818	楕円形	0.27×0.20×0.27	
37	1	684・-813	円形	0.27×0.26×0.43	
38	1	693・-816	楕円形	0.21×0.21×0.11	
39	1	658・-823	楕円形	0.19×0.14×0.21	
40	1	658・-823	楕円形	0.25×0.14×0.32	
41	1	657・-822	楕円形	0.26×0.20×0.28	
42	1	883・-818	楕円形	0.13×0.11×0.12	
43	1	687・-815	楕円形	0.35×0.28×0.24	
44	1	679・-828	楕円形	0.32×0.23×0.48	
45	1	675・-823	楕円形	0.28×0.25×0.17	
46	1	674・-824	楕円形	0.28×0.24×0.36	
47	1	672・-823	楕円形	0.20×0.14×0.19	
48	1	672・-822	楕円形	0.20×0.17×0.09	
49	1	671・-827	円形	0.23×0.23×0.13	
50	1	670・-828	隅丸長方形	0.28×0.22×0.25	2 溝
51	1	666・-827	楕円形	0.26×0.20×0.41	
52	1	660・-823	楕円形	0.23×0.21×0.18	
53	1	683・-820	楕円形	0.22×0.18×0.16	
54	1	685・-813	楕円形	0.22×0.20×0.24	
55	1	686・-812	楕円形	0.55×0.37×0.33	
56	1	683・-813	楕円形	0.26×0.24×0.06	
57	1	683・-813	楕円形	0.14×0.13×0.08	
58	1	681・-813	楕円形	0.29×0.24×0.27	
59	1	689・-810	楕円形	0.25×0.20×0.15	
60	1	693・-815	円形	0.21×0.21×0.45	
61	1	685・-811	不整形	0.32×0.28×0.64	
62	1	694・-817	楕円形	0.18×0.14×0.26	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
63	1	693・-816	楕円形	0.28×0.25×0.21	
64	1	695・-816	楕円形	0.25×0.22×0.13	
65	1	695・-816	楕円形	0.24×0.19×0.25	
66	1	694・-815	楕円形	0.19×0.18×0.12	
67	1	693・-815	楕円形	0.28×0.22×0.27	
68	1	693・-815	楕円形	0.20×0.18×0.12	
69	1	696・-815	楕円形	0.22×0.20×0.32	
70	1	695・-814	楕円形	0.33×0.25×0.15	
71	1	695・-813	楕円形	0.25×0.23×0.11	
72	1	694・-812	楕円形	0.24×0.23×0.33	
73	1	694・-811	楕円形	0.21×0.19×0.23	
74	1	694・-811	楕円形	0.28×0.18×0.33	
75	1	691・-811	楕円形	0.32×0.23×0.14	
76	1	697・-810	楕円形	0.18×0.16×0.13	
77	1	696・-809	楕円形	0.18×0.15×0.22	
78	1	694・-808	楕円形	0.22×0.19×0.18	
80	1	692・-807	楕円形	0.28×0.21×0.35	
81	1	691・-809	隅丸長方形	0.19×0.19×0.10	
82	1	691・-808	楕円形	0.28×0.18×0.16	
83	1	691・-808	楕円形	0.19×0.14×0.11	
84	1	691・-807	楕円形	0.21×0.14×0.12	
85	1	692・-809	楕円形	0.37×0.34×0.11	
86	1	693・-810	楕円形	0.16×0.13×0.08	
87	1	696・-809	楕円形	0.24×0.21×0.18	
88	1	694・-805	楕円形	0.32×0.30×0.14	
89	1	695・-805	楕円形	0.36×0.27×0.03	
90	1	689・-806	楕円形	(0.23)×0.31×0.07	P 91
91	1	689・-806	楕円形	0.22×0.21×0.22	P 90
92	1	677・-812	楕円形	0.25×0.22×0.16	
93	1	678・-809	不整形	0.28×0.28×0.21	
94	1	679・-810	楕円形	0.27×0.23×0.35	
95	1	679・-810	楕円形	0.23×0.23×0.32	
96	1	682・-810	楕円形	0.19×0.17×0.21	
97	1	682・-810	楕円形	0.24×0.22×0.20	
98	1	683・-809	楕円形	0.23×0.21×0.29	
99	1	683・-809	楕円形	0.21×0.17×0.23	
100	1	683・-808	楕円形	0.21×0.19×0.19	
101	1	680・-809	楕円形	0.31×0.26×0.36	
102	1	680・-809	楕円形	0.22×0.20×0.12	
103	1	679・-809	楕円形	0.39×0.38×0.45	
104	1	681・-811	楕円形	0.26×0.22×0.22	
105	1	679・-811	楕円形	0.26×0.23×0.21	
106	1	681・-803	楕円形	0.32×0.27×0.15	
107	1	681・-801	楕円形	0.31×0.23×0.12	
108	1	681・-801	楕円形	0.51×0.45×0.08	
109	1	682・-801	楕円形	0.27×0.25×0.16	
110	1	683・-802	円形	0.26×0.26×0.10	
111	1	684・-798	楕円形	0.36×0.24×0.39	
112	1	684・-798	楕円形	0.24×0.23×0.18	
113	1	685・-798	楕円形	0.37×0.30×0.32	
114	1	687・-795	楕円形	0.30×0.26×0.85	
115	1	687・-795	楕円形	0.23×0.16×0.20	
116	1	674・-821	楕円形	0.27×0.25×0.14	
117	1	674・-820	楕円形	0.21×0.15×0.09	
118	1	674・-819	楕円形	0.29×0.28×0.13	
119	1	681・-821	楕円形	0.15×0.15×0.28	
120	1	650・-822	不整形	0.34×0.32×0.12	
121	1	651・-824	楕円形	0.32×0.24×0.64	
122	1	672・-823	不明	(0.15)×0.17×0.29	P 32
123	1	692・-839	楕円形	0.16×0.16×0.17	
124	1	693・-839	不明	(0.16)×0.19×0.24	
125	1	693・-839	楕円形	0.18×0.16×0.15	

ピット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
126	1	693・-839	楕円形	0.18×0.16×0.11	
127	1	694・-838	楕円形	0.28×(0.19)×0.31	
128	1	697・-839	楕円形	0.17×0.13×0.20	
129	1	697・-840	楕円形	0.17×0.15×0.09	
130	1	698・-840	円形	0.20×0.19×0.10	
131	1	699・-840	楕円形	0.43×0.25×0.20	
132	1	697・-839	楕円形	0.36×0.22×0.26	
133	1	682・-802	楕円形	0.20×0.19×0.10	
134	1	682・-801	楕円形	0.21×0.20×0.13	
135	1	651・-820	楕円形	0.26×0.25×0.16	
136	1	651・-821	楕円形	0.37×0.30×0.15	
137	1	650・-820	楕円形	0.24×0.17×0.14	
138	1	649・-821	円形	0.28×0.28×0.69	
139	1	648・-821	楕円形	0.24×0.24×0.35	
140	1	648・-821	楕円形	0.28×0.28×0.48	P 141
141	1	648・-821	楕円形	0.42×(0.35)×0.27	P 140
142	1	648・-822	楕円形	0.23×0.17×0.45	P 143
143	1	648・-822	楕円形	(0.15)×0.16×0.12	P 142
144	1	648・-820	楕円形	0.25×0.23×0.27	
145	1	649・-822	楕円形	0.34×0.20×0.82	P 151
146	1	684・-836	楕円形	0.21×0.19×0.09	
147	1	683・-835	楕円形	0.23×0.21×0.15	
148	1	682・-835	隅丸長方形	0.20×0.17×0.09	
149	1	682・-834	楕円形	0.29×0.22×0.36	
150	1	679・-833	楕円形	0.26×0.20×0.21	
151	1	648・-822	楕円形	(0.22)×0.24×0.40	P 145
152	1	651・-820	楕円形	0.28×0.22×0.58	
153	1	650・-823	楕円形	0.24×0.18×0.12	
154	1	649・-821	楕円形	0.26×0.21×0.59	
155	1	650・-823	楕円形	(0.32)×0.39×0.12	
156	1	683・-834	楕円形	0.40×0.30×0.45	
157	1	686・-815	楕円形	0.27×0.20×0.21	
158	1	685・-814	楕円形	0.17×0.13×0.20	
159	1	684・-814	楕円形	0.16×0.14×0.08	
160	1	686・-814	楕円形	0.19×0.17×0.23	
161	1	686・-813	楕円形	0.26×0.18×0.20	
162	1	686・-812	楕円形	0.25×0.20×0.38	
163	1	694・-814	楕円形	0.28×0.22×0.30	
164	1	689・-812	楕円形	0.35×0.27×0.38	
165	1	689・-813	不整形	0.22×0.19×0.11	
166	1	697・-812	楕円形	0.17×0.13×0.07	
169	1	692・-807	楕円形	0.24×0.17×0.39	
171	1	695・-807	楕円形	0.34×0.30×0.17	
172	1	696・-809	楕円形	0.16×0.15×0.18	
173	1	699・-811	楕円形	0.14×0.12×0.19	
174	1	698・-807	楕円形	0.18×0.15×0.35	
175	1	696・-806	楕円形	0.33×0.27×0.12	
176	1	698・-805	楕円形	0.16×0.14×0.23	
177	1	697・-805	楕円形	0.18×0.16×0.32	
178	1	697・-803	楕円形	0.39×0.22×0.76	
179	1	696・-805	楕円形	0.33×0.32×0.45	
181	1	681・-810	楕円形	0.31×0.22×0.15	
182	1	687・-809	楕円形	0.19×0.16×0.08	
183	1	689・-811	楕円形	0.15×0.13×0.12	
184	1	689・-811	円形	0.18×0.17×0.16	
186	1	694・-817	楕円形	0.27×0.24×0.54	
187	1	693・-818	円形	0.14×0.13×0.09	
188	1	689・-817	楕円形	0.20×0.15×0.25	
189	1	696・-809	楕円形	0.39×0.34×0.13	
190	1	686・-809	隅丸長方形	0.50×0.46×0.19	
191	1	687・-807	楕円形	0.32×0.15×0.16	
192	1	684・-816	隅丸方形	0.19×0.18×0.09	
193	1	684・-814	楕円形	0.18×0.14×0.11	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
194	1	682・-813	楕円形	0.20×0.14×0.34	
198	1	698・-804	楕円形	0.24×0.17×0.32	

第40表 鳴上I遺跡B区ピット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
501	1	644・-886	楕円形	0.33×0.26×0.38	
502	1	641・-883	楕円形	0.32×0.29×0.69	
503	1	640・-885	不整形	0.27×0.26×0.15	
505	1	639・-882	楕円形	0.36×0.29×0.49	
506	1	638・-885	楕円形	0.27×0.19×0.29	
507	1	638・-885	楕円形	0.23×0.18×0.17	
510	1	637・-885	楕円形	0.23×0.17×0.34	
511	1	637・-886	楕円形	0.18×0.18×0.18	
512	1	641・-890	楕円形	0.45×0.38×0.41	
513	1	638・-890	楕円形	0.24×0.22×0.24	
514	1	638・-890	楕円形	0.32×0.22×0.29	
515	1	637・-891	楕円形	0.24×0.19×0.26	
516	1	638・-891	楕円形	0.24×0.24×0.19	
517	1	636・-888	楕円形	0.45×0.29×0.33	
518	1	637・-888	楕円形	0.34×0.21×0.28	
519	1	636・-887	楕円形	0.25×0.23×0.25	
520	1	634・-888	楕円形	0.22×0.20×0.12	
521	1	634・-887	楕円形	0.34×0.25×0.41	
523	1	635・-887	楕円形	0.26×0.23×0.23	
524	1	636・-888	楕円形	0.32×0.22×0.22	土師甕破片
525	1	634・-889	楕円形	0.16×0.16×0.14	
526	1	634・-889	楕円形	0.17×0.15×0.09	
527	1	634・-889	楕円形	0.25×0.20×0.19	
528	1	634・-889	楕円形	0.19×0.16×0.22	508住
529	1	634・-890	楕円形	0.27×0.24×0.17	508住
530	1	633・-890	円形	0.34×0.33×0.28	
531	1	633・-891	不整形	0.27×0.25×0.15	
532	1	633・-891	楕円形	0.25×0.21×0.06	
533	1	633・-891	楕円形	0.32×0.28×0.15	
534	1	630・-892	楕円形	0.15×0.12×0.17	
535	1	631・-892	隅丸方形	0.19×0.19×0.17	
536	1	632・-892	楕円形	0.27×0.22×0.48	
537	1	632・-893	楕円形	0.18×0.16×0.23	
538	1	633・-894	楕円形	0.17×0.16×0.15	
539	1	634・-892	楕円形	0.23×0.19×0.16	
540	1	634・-892	隅丸方形	0.16×0.16×0.18	
541	1	634・-893	楕円形	(0.15)×0.25×0.23	P 542
542	1	634・-893	楕円形	0.30×0.25×0.36	P 541
543	1	635・-891	楕円形	0.25×0.22×0.20	
544	1	636・-892	楕円形	0.18×0.14×0.09	
545	1	637・-893	楕円形	0.19×0.15×0.17	
546	1	636・-894	楕円形	0.40×0.30×0.70	
547	1	634・-895	楕円形	0.20×0.13×0.10	
548	1	631・-897	楕円形	0.24×0.20×0.52	
549	1	632・-887	楕円形	0.21×0.18×0.09	508住
550	1	632・-887	楕円形	0.23×0.22×0.12	
551	1	633・-887	楕円形	0.23×0.21×0.21	501土坑
552	1	633・-887	楕円形	0.26×0.24×0.36	508住
553	1	631・-884	楕円形	0.24×0.22×0.16	
554	1	627・-886	楕円形	0.25×0.17×0.09	
555	1	627・-886	楕円形	0.37×0.36×0.14	
556	1	626・-886	楕円形	0.24×0.22×0.23	
557	1	626・-885	楕円形	0.27×0.22×0.22	
558	1	624・-885	楕円形	0.26×0.25×0.27	
559	1	623・-884	隅丸方形	0.23×0.22×0.21	
560	1	623・-883	楕円形	0.22×0.21×0.08	
561	1	624・-883	楕円形	0.34×0.28×0.21	
562	1	623・-882	楕円形	0.32×0.29×0.31	
563	1	621・-888	楕円形	0.35×0.34×0.22	
564	1	618・-897	楕円形	0.30×0.28×0.35	P 565、土師須恵甕破片
565	1	618・-897	楕円形	(0.30)×0.30×0.32	P 564

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
566	1	613・-893	楕円形	0.28×0.23×0.45	
567	1	606・-902	楕円形	0.32×0.25×0.35	
568	1	606・-902	楕円形	0.29×0.26×0.39	
572	1	602・-909	楕円形	0.35×0.35×0.25	
573	1	636・-887	楕円形	0.23×0.21×0.21	
574	1	636・-887	楕円形	0.28×0.24×0.21	
575	1	639・-883	楕円形	0.24×0.23×0.41	
576	1	638・-884	楕円形	0.20×0.19×0.22	
577	1	635・-883	楕円形	0.26×0.24×0.21	
579	1	634・-883	楕円形	0.24×0.23×0.23	
580	1	634・-883	楕円形	0.25×0.22×0.15	
582	1	629・-886	円形	0.19×0.18×0.18	
583	1	629・-886	楕円形	0.19×0.17×0.17	
584	1	629・-885	楕円形	0.32×0.22×0.16	
585	1	629・-885	楕円形	0.24×0.16×0.21	
586	1	629・-884	楕円形	0.43×0.35×0.12	
587	1	633・-886	楕円形	(0.23)×0.22×0.10	501掘立P 4
589	1	638・-889	楕円形	0.29×0.23×0.27	
590	1	637・-888	隅丸長方形	0.45×0.39×0.72	503・504土坑、土師甕破片
591	1	617・-885	楕円形	0.36×0.29×0.37	土師甕破片
592	1	619・-886	楕円形	0.29×0.21×0.24	
593	1	619・-883	楕円形	0.30×0.22×0.43	
594	1	620・-883	楕円形	0.25×0.22×0.21	
595	1	620・-883	楕円形	0.34×(0.25)×0.42	P 596
596	1	620・-883	楕円形	0.28×0.26×0.50	P 595
597	1	619・-882	楕円形	0.18×0.16×0.25	
598	1	620・-882	楕円形	0.32×0.27×0.36	
599	1	620・-883	楕円形	0.23×0.20×0.21	
600	1	621・-883	楕円形	0.36×0.32×0.24	
601	1	621・-881	楕円形	0.38×0.25×0.21	
602	1	621・-880	楕円形	0.28×0.23×0.28	
603	1	621・-880	楕円形	0.34×0.25×0.28	
604	1	622・-880	楕円形	0.30×0.28×0.17	
605	1	622・-880	楕円形	0.33×0.27×0.21	
606	1	621・-879	楕円形	0.46×0.42×0.43	
607	1	623・-880	楕円形	0.33×0.26×0.13	501土坑
608	1	623・-880	楕円形	0.22×0.19×0.15	501土坑
609	1	623・-879	楕円形	0.32×0.28×0.16	P 930
610	1	623・-880	楕円形	0.28×0.25×0.13	501土坑
611	1	624・-880	隅丸方形	0.20×0.18×0.25	
612	1	624・-880	楕円形	0.29×0.24×0.21	
613	1	624・-881	楕円形	0.25×0.24×0.34	
614	1	623・-882	楕円形	0.25×0.22×0.41	
615	1	622・-883	楕円形	0.26×0.22×0.16	
616	1	626・-880	楕円形	0.19×0.17×0.14	P 617
617	1	626・-880	楕円形	0.27×0.23×0.29	P 616
618	1	628・-881	楕円形	0.30×0.27×0.25	
619	1	624・-886	楕円形	0.20×0.20×0.18	P 620
620	1	624・-886	楕円形	(0.13)×0.15×0.17	P 619
621	1	629・-883	楕円形	0.25×0.25×0.28	
622	1	627・-886	楕円形	0.19×0.15×0.32	
623	1	627・-888	楕円形	0.24×0.24×0.20	
624	1	628・-887	楕円形	0.21×0.21×0.21	
626	1	628・-886	楕円形	0.25×0.17×0.11	
627	1	628・-886	楕円形	0.27×0.25×0.20	
628	1	630・-884	楕円形	0.19×0.17×0.18	
629	1	639・-887	楕円形	0.21×0.19×0.27	
630	1	623・-879	楕円形	(0.25)×0.26×0.23	P 609
631	1	638・-887	隅丸方形	0.20×0.19×0.33	
632	1	608・-905	楕円形	0.28×0.24×0.30	
633	1	609・-910	楕円形	0.24×0.21×0.28	

ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
634	1	609・-911	楕円形	0.21×0.18×0.35	
635	1	609・-910	楕円形	0.13×0.11×0.11	
636	1	607・-911	楕円形	0.19×0.18×0.12	
637	1	607・-911	楕円形	0.21×(0.15)×0.17	
638	1	640・-888	楕円形	0.38×0.32×0.50	
639	1	640・-886	楕円形	0.31×0.27×0.55	
640	1	639・-886	楕円形	0.24×0.20×0.22	
641	1	620・-879	楕円形	0.24×0.20×0.23	
642	1	620・-879	不明	(0.09)×-×0.29	
643	1	620・-879	不明	(0.15)×-×0.22	
644	1	619・-881	楕円形	0.23×0.18×0.15	
645	1	622・-877	楕円形	0.27×0.24×0.24	
646	1	621・-878	楕円形	0.22×0.17×0.28	
647	1	621・-877	楕円形	0.25×0.20×0.21	
648	1	623・-879	楕円形	0.19×0.16×0.20	
649	1	621・-881	楕円形	0.24×0.20×0.34	
650	1	618・-882	楕円形	0.28×0.18×0.14	
651	1	622・-882	楕円形	0.33×0.19×0.14	
652	1	620・-884	不整形	0.29×0.25×0.17	
653	1	618・-884	楕円形	0.24×0.24×0.28	
654	1	617・-887	楕円形	0.22×0.18×0.18	
655	1	617・-886	楕円形	0.20×0.16×0.21	
656	1	608・-896	楕円形	0.21×0.17×0.10	
657	1	608・-898	楕円形	0.20×0.17×0.47	P 658・659
658	1	608・-898	楕円形	0.28×0.22×0.42	P 657・659
659	1	608・-898	楕円形	0.24×0.18×0.36	P 657・658
660	1	607・-898	楕円形	0.35×0.30×0.49	
661	1	608・-898	楕円形	0.21×0.21×0.24	
662	1	608・-899	楕円形	0.26×0.25×0.26	
663	1	608・-900	楕円形	0.26×0.21×0.31	
664	1	607・-900	楕円形	0.28×0.24×0.59	
665	1	607・-901	円形	0.20×0.19×0.30	
666	1	606・-902	楕円形	0.37×0.23×0.37	
667	1	606・-901	楕円形	0.36×0.32×0.44	
668	1	608・-901	楕円形	0.22×0.14×0.08	
669	1	610・-895	楕円形	0.19×0.13×0.29	
670	1	609・-895	円形	0.19×0.18×0.32	
671	1	606・-900	不整形	0.34×0.23×0.44	
672	1	608・-897	不整形	0.17×0.17×0.20	
673	1	602・-908	隅丸長方形	0.15×0.13×0.40	
674	1	606・-901	楕円形	0.41×0.37×0.36	
675	1	601・-908	楕円形	0.23×0.18×0.53	
676	1	603・-908	楕円形	0.24×0.23×0.17	
677	1	637・-881	楕円形	0.24×0.22×0.17	
678	1	639・-881	楕円形	0.26×0.23×0.26	
679	1	639・-882	楕円形	0.28×0.19×0.34	
680	1	639・-882	楕円形	0.22×0.14×0.20	P 681
681	1	639・-882	楕円形	0.25×0.21×0.56	P 680
682	1	641・-882	楕円形	0.23×0.19×0.18	
683	1	637・-882	楕円形	0.39×0.23×0.22	
685	2	637・-859	楕円形	0.34×0.32×0.22	
686	2	636・-857	楕円形	0.60×0.56×0.52	
687	2	638・-856	隅丸長方形	0.36×0.28×0.16	
688	2	641・-854	楕円形	0.37×0.31×0.22	
689	2	637・-854	楕円形	0.66×0.60×0.13	
690	2	645・-837	楕円形	0.27×(0.16)×0.39	P 691
691	2	645・-837	楕円形	0.37×0.36×0.54	P 690
692	2	645・-836	楕円形	0.34×0.32×0.61	
693	2	647・-836	楕円形	0.36×0.26×0.90	
694	2	648・-837	楕円形	0.26×0.24×0.20	
695	2	649・-836	楕円形	0.22×0.19×0.28	
696	2	649・-837	楕円形	0.23×0.22×0.25	
697	2	650・-837	楕円形	0.27×0.22×0.40	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
698	2	651・-836	不整形	0.46×0.40×0.38	
699	2	651・-836	楕円形	0.25×0.21×0.43	
700	2	652・-836	楕円形	0.27×0.27×0.20	
701	2	652・-837	楕円形	0.42×0.35×0.38	
702	2	653・-837	楕円形	0.27×0.26×0.30	
703	2	653・-838	楕円形	0.21×0.19×0.19	
704	2	653・-838	楕円形	0.37×0.32×0.46	
705	2	653・-837	楕円形	0.27×0.19×0.27	
706	2	653・-834	楕円形	0.44×0.37×0.30	
707	2	654・-834	楕円形	0.37×0.35×0.33	
708	2	656・-834	楕円形	0.47×0.41×0.45	
709	2	656・-835	楕円形	0.46×0.34×0.50	
710	2	656・-835	楕円形	0.57×0.42×0.88	
711	2	657・-835	楕円形	0.33×0.27×0.49	
712	2	658・-834	不整形	0.34×0.23×0.42	
713	2	659・-835	不整形	0.39×0.33×0.31	
714	2	659・-836	楕円形	0.28×0.22×0.55	
715	2	660・-836	楕円形	0.39×0.36×0.54	
716	2	661・-836	隅丸長方形	0.26×0.19×0.47	
717	2	657・-847	楕円形	0.27×0.21×0.25	
718	2	656・-844	楕円形	0.35×0.26×0.58	
719	2	656・-842	楕円形	0.23×0.19×0.23	
720	2	654・-846	楕円形	0.38×0.37×0.36	
721	2	654・-845	楕円形	0.33×0.23×0.19	
722	2	655・-847	楕円形	0.21×0.18×0.16	
723	2	654・-850	楕円形	0.18×0.17×0.32	
724	2	665・-850	楕円形	0.25×0.16×0.19	
725	2	655・-851	楕円形	0.28×0.24×0.42	
726	2	658・-851	楕円形	0.36×0.32×0.28	
727	2	651・-853	楕円形	0.24×0.23×0.21	
728	2	650・-854	楕円形	0.24×0.21×0.15	
729	2	650・-852	楕円形	0.29×0.25×0.10	
730	2	649・-852	楕円形	0.23×0.20×0.21	
731	2	645・-848	楕円形	0.49×0.48×0.17	
732	2	646・-849	楕円形	0.50×0.42×0.20	
733	2	637・-860	楕円形	0.50×0.49×0.44	
734	2	635・-859	楕円形	0.51×0.46×0.30	
735	2	637・-856	楕円形	0.53×0.49×0.21	
736	2	637・-856	楕円形	0.27×0.23×0.32	
737	2	638・-855	楕円形	0.39×0.35×0.24	
738	2	641・-855	楕円形	(0.26)×0.43×0.22	P 747
739	2	638・-855	楕円形	0.61×0.44×0.43	
740	2	638・-853	楕円形	0.46×0.43×0.33	
741	2	639・-853	楕円形	0.32×0.32×0.34	
742	2	641・-853	楕円形	0.25×0.16×0.16	
743	2	641・-852	楕円形	0.42×0.35×0.30	
744	2	644・-849	楕円形	0.48×0.45×0.14	
745	2	640・-849	不明	(0.30)×-×0.34	
746	2	641・-854	楕円形	0.33×0.19×0.18	
747	2	641・-855	楕円形	0.52×0.37×0.44	P 738
748	2	640・-857	楕円形	0.31×0.28×0.23	
749	2	645・-842	楕円形	0.41×0.40×0.43	
750	2	646・-841	楕円形	0.34×0.30×0.18	
751	2	647・-837	楕円形	(0.25)×0.33×0.45	P 790
752	2	650・-837	楕円形	0.21×0.17×0.13	
753	2	639・-851	楕円形	0.37×0.28×0.28	
754	2	654・-832	楕円形	0.27×0.19×0.17	
755	2	655・-837	楕円形	0.32×0.23×0.29	
756	2	656・-836	楕円形	0.21×0.18×0.32	
757	2	656・-836	楕円形	0.28×0.22×0.43	
758	2	662・-836	楕円形	0.36×0.33×0.27	
759	2	664・-838	楕円形	0.31×0.25×0.25	
760	2	663・-838	楕円形	0.19×0.18×0.20	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
761	2	658・-847	楕円形	0.29×0.22×0.28	
762	2	655・-850	楕円形	0.22×0.19×0.12	
763	2	651・-850	楕円形	0.45×0.29×0.20	
764	2	640・-851	楕円形	0.40×0.35×0.28	
765	2	649・-843	楕円形	0.28×0.21×0.25	
766	2	649・-845	楕円形	0.27×0.19×0.27	
767	2	648・-846	楕円形	0.27×0.25×0.34	
776	2	642・-852	楕円形	0.29×0.28×0.21	
777	2	657・-837	楕円形	0.19×0.16×0.32	
778	2	658・-836	楕円形	0.33×0.30×0.65	
789	2	639・-861	楕円形	0.40×0.38×0.22	
790	2	646・-837	楕円形	0.39×0.33×0.67	P 751
791	2	644・-859	楕円形	0.32×0.26×0.30	
792	2	644・-859	楕円形	0.21×0.16×0.28	
793	2	644・-858	楕円形	0.23×0.18×0.33	
794	2	644・-856	楕円形	0.23×0.21×0.11	
795	2	644・-854	楕円形	0.32×0.26×0.13	
796	2	644・-854	楕円形	0.32×0.32×0.29	
797	2	644・-854	楕円形	0.36×0.34×0.30	
798	2	645・-852	円形	0.27×0.27×0.30	P 770
799	2	647・-853	楕円形	0.30×0.27×0.29	
800	2	654・-835	楕円形	0.21×0.19×0.28	
801	2	654・-836	楕円形	0.32×0.25×0.52	
802	2	654・-836	楕円形	0.21×0.19×0.36	
803	2	655・-834	楕円形	0.22×0.21×0.29	
804	2	655・-835	楕円形	0.28×0.24×0.29	
805	2	656・-836	楕円形	0.35×0.27×0.81	P 806
806	2	656・-836	楕円形	(0.19)×0.27×0.39	P 805
807	2	656・-835	楕円形	0.37×0.27×0.96	
808	2	656・-836	楕円形	0.24×0.20×0.37	
809	2	653・-836	楕円形	0.27×0.22×0.32	
810	2	656・-837	楕円形	0.32×0.22×0.44	
811	2	656・-836	楕円形	0.16×0.14×0.17	
812	2	658・-835	楕円形	0.24×0.22×0.37	
813	2	654・-833	楕円形	0.19×0.17×0.27	
814	2	655・-837	楕円形	0.21×0.18×0.12	
815	2	654・-838	楕円形	0.25×0.21×0.41	
816	2	658・-834	楕円形	0.20×0.19×0.22	
817	2	657・-835	楕円形	0.18×0.16×0.14	
818	2	660・-836	楕円形	0.35×0.31×0.54	
819	2	663・-838	楕円形	0.31×0.28×0.37	
823	2	652・-838	楕円形	0.20×0.17×0.48	
824	2	652・-839	楕円形	0.23×0.20×0.56	
825	2	655・-836	楕円形	0.37×0.21×0.40	P 826
826	2	655・-836	楕円形	0.44×0.36×0.22	P 825
827	2	656・-836	楕円形	0.15×0.13×0.14	
828	2	660・-836	不整形	0.41×0.31×0.50	
829	2	661・-836	楕円形	0.15×0.12×0.46	
830	2	662・-838	楕円形	0.22×0.17×0.29	
831	2	655・-842	楕円形	0.22×0.20×0.23	
832	2	656・-841	楕円形	0.30×0.21×0.25	
833	2	655・-841	楕円形	0.25×0.23×0.41	
834	2	653・-841	楕円形	0.29×0.23×0.28	
835	2	653・-835	楕円形	0.19×0.18×0.19	
836	2	681・-845	楕円形	0.30×0.28×0.72	
837	2	680・-845	楕円形	0.38×0.34×0.51	
838	2	678・-843	楕円形	0.27×0.26×0.36	
839	2	682・-845	楕円形	0.30×0.25×0.48	
840	2	667・-839	隅丸方形	0.37×0.36×0.54	

遺物観察表

茅畑遺跡・鳴上 I 遺跡 縄文土器の胎土分類

分類	特 徴
A	多量の輝石や中量の石英・黒・白色岩片の礫・粗砂を含む緻密な胎土。
B	多量の灰色岩片の礫・粗砂と少量の石英・長石の粗砂を含むやや緻密な胎土。
C	多量の長石・輝石や灰白色岩片の粗・細砂と少量の石英粗砂を含む緻密な胎土。
D	中量の結晶片岩や灰色岩片の礫・粗砂と少量の石英・長石の粗砂を含む緻密な胎土。
E	中量の白・灰色岩片の粗砂と少量の石英・長石の粗砂を含むやや粗雑な胎土。
F	多量の赤色岩片の礫・粗砂と中量の石英・長石・灰白色岩片の粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。
G	多量の石英礫・粗砂と少量の結晶片岩粗・細砂を含む緻密な胎土。

※各分類は肉眼観察による相対的なものである。

鳴上 I 遺跡 土器胎土分類

分類	特 徴
A	中量の輝石及び黒・灰色岩片の粗・細砂と少量の石英粗砂を含む緻密な胎土。
B	中量の長石と少量の黒・灰色岩片の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。
C	多量の長石粗砂や赤・黒・灰色岩片の礫・粗砂と少量の石英粗砂を含むやや緻密な胎土。
D	多量の石英や黒・灰色岩片の粗砂と少量の輝石をやや緻密な胎土。
E	多量の長石粗砂と少量の石英粗砂及び微量の雲母細砂を含むやや緻密な胎土。
F	多量の黒・灰色岩片粗砂と少量の石英・長石粗砂を含む緻密な胎土。
G	中量の長石・黒・灰色岩片の粗砂と少量の結晶片岩粗砂を含む緻密な胎土。
H	多量の長石や黒・灰色岩片の礫・粗砂と少量のチャート礫・粗砂を含むやや緻密な胎土。

※各分類は肉眼観察による相対的なものである。

茅畑遺跡 1 面 3 号溝遺物観察表

挿 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考	
				口底	高	径				
第10図 PL.75	1	陶器 すり鉢	— 口縁部片	口底	(22.0)	高	—	—/—/にぶい橙～ 灰褐	小型でやや薄手。内面の櫛目が細かい。口縁部内面から外面に鉄釉。体部内面無釉。	近代

茅畑遺跡 1 面 遺構外遺物観察表

挿 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考	
				口底	高	径				
第15図 PL.75	1	瀬戸・美濃 陶器 灰釉輪壳皿	— 口縁部片	口底	(11.0)	高	—	—/—/淡黄	口縁部端反。内面から外面腰まで灰釉。見込蛇の目に釉を掻き取る。	江戸時代
第15図 PL.75	2	肥前磁器 染付丸碗	— 体部下半1/2	口底	—	高	—	—/—/灰白	厚手。外面に雪輪文染付、内面無文。高台内に不明文様。	江戸時代後期
第15図 PL.75	3	瀬戸・美濃 陶器 鉄釉天目碗	— 口縁部片	口底	—	高	—	—/—/灰	薄手。内外面にたつぷりの鉄釉。	江戸時代
第15図 PL.75	4	瀬戸・美濃 陶器 鉄絵灰落とし	— 口縁部片	口底	(5.6)	高	—	—/—/淡黄灰	細身の筒形。口唇部内面敲打で欠損。外面に焦げ茶色の鉄釉、その上に茶色の鉄絵。内面無釉、轆轤目を残す。	江戸時代
第15図 PL.75	5	在地系土器 鍋か？	— 頸部片	口底	—	高	—	—/—/にぶい灰褐	体部が弱くくの字に折れて開く。焼成良、硬質。内外面燻し、黒色化。内外面回転横ナデ。	近代か？
第15図 PL.75	6	瀬戸・美濃 陶器 すり鉢	— 底部片	口底	—	高	—	—/—/にぶい黄橙	内外面に錆釉。底面に錆釉を薄く塗る。目痕内面1カ所、外面2カ所。	江戸時代

鳴上 I 遺跡 A 区 1 面 1 号溝遺物観察表

挿 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考		
				口底	高	径					
第18図 PL.75	1	瀬戸・美濃 磁器 筒形湯呑み	— 1/3	口底	(4.8)	高	5.8	—/—/灰白	外面に銅板転写の文様、内面無文。	近代	
第18図 PL.75	2	瀬戸・美濃 陶器 丸皿	— 1/6	口底	(10.3)	高	2.5	—/—/淡灰～暗灰	二次焼成、劣化か。内外面から高台内まで乳灰色の灰釉。貫入する。	江戸時代	
第18図 PL.75	3	常滑陶器 甕	— 胴部片	口底	—	高	—	—/—/くすんだ灰	外面に斜め方向の弱い刷毛目。内面横ナデ。	中世	
第18図 PL.75	4	在地系土器 焙烙	— 口縁～底部片	口底	—	高	—	—/—/にぶい橙	口縁部短く内湾、底部丸底。内外面横ナデ。	近代	
第18図	5	須恵器 皿	表土 1/4	口底	11.6	高台	2.7 6.5	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ナデ、高台を貼付。		
第18図	6	須恵器 杯	表土 1/2	口底	6.7	高	2.0	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。		
第18図	7	須恵器 杯	表土 1/4	口底	11.9	高	3.3	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。		
第18図	8	須恵器 杯	表土 底部1/4	口底	—	高	—	—	細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第18図	9	須恵器 杯	表土 底部1/2	口底	—	高	—	—	細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	脚			
第18図	10	須恵器 杯	表土 1/4	口底 7.8	高 —	脚 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第18図	11	須恵器 杯	表土 底部1/2	口底 7.0	高 —	脚 —	細砂粒・黒色粒/ 還元焰/灰黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第18図	12	須恵器 高杯	表土 脚部	口底 —	高 脚	13.8	細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形。	
第18図	13	須恵器 長頸壺	表土 頸部片	口底 —	高 —	—	細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転右回り。頸部に胴部との接合痕が残る。	
第18図	14	土師器 甕	表土 底部1/2	口底 10.1	高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部と胴部はヘラ磨き、単位不鮮明。内面はヘラナデ。	底部に線刻。
第18図	15	須恵器 甕	表土 口縁部片	口底 30.8	高 —	—	細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形。	
第18図	16	須恵器 甕	表土 胴部片	口底 —	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残る。内面はアテ具痕が残る。	
第18図	17	須恵器 甕	表土 胴部片	口底 —	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕が残る。内面は同心円状アテ具痕が残る。	
第18図	18	須恵器 甕	表土 胴部片	口底 —	高 —	—	—/—/—	外面は平行叩き痕が残る。内面はかすかに同心円状アテ具 痕が残る。	
第18図	19	須恵器 甕	表土 胴部片	口底 —	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰	外面はナデ。内面にはアテ具痕がかすかに残る。	

鳴上 I 遺跡 A 区 1 面 遺構外遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	厚			
第25図 PL.75	1	瀬戸・美濃 陶器 灰釉皿	— 1/6	口底 (11.0) (7.0)	高 —	2.3 —	—/—/灰黄白	内外面から高台内まで乳白色の灰釉。底部内外面に目痕各 1カ所。	江戸時代
第25図 PL.75	2	瀬戸・美濃 陶器 すり鉢	— 底部片	口底 (14.0)	高 —	—	—/—/浅黄	内外面に錆釉。底部ナデ、錆釉を薄く塗る。	江戸時代
第25図 PL.75	3	在地系土器 焙烙鍋か?	— 口縁部片	口底 —	高 —	—	—/—/灰白～黒灰	体部が直線的に開く。口唇部丸く肥厚。焼成良、硬質。内外 面燻し、黒色化。内外面回転横ナデ。外面かるい研磨。	近代か
第25図 PL.75	4	銅製品 キセル・雁 首	— 一部破損	長幅 4.0 1.0	厚 重	1.4 3.02	—/—/—	キセルの雁首で雁首部分は破損し現存しない。全体に錆化 し装飾等は確認できないが一部には真鍮色した平滑な表面 が残る。	

鳴上 I 遺跡 B 区 1 面 565号ピット遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	脚			
第36図	1	須恵器 杯	埋没土 口縁部片	口底 12.8	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。	

鳴上 I 遺跡 B 区 1 面 567号ピット遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	脚			
第36図	2	須恵器 杯	埋没土 底部片	口底 7.6	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	

鳴上 I 遺跡 B 区 1 面 遺構外遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚	重			
第37図 PL.75	1	銅製品 銭貨	— 完形	長幅 2.253 2.258	厚 重	0.124 2.67	—/—/—	寛永通寶。外縁・文字・郭とも彫浅く不明瞭、裏面は平坦 で外縁・郭が確認できる程度。	
第37図 PL.75	2	銅製品 不詳	— 完形	長幅 1.6 0.3	厚 重	0.3 0.83	—/—/—	直径0.25cmの筒状で、両端部は帯状に肥厚する。	

茅畑遺跡 2 面 1 号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	脚			
第42図	1	土師器 杯	埋没土 口縁部片	口底 11.0 7.2	高 —	—	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第42図	2	土師器 杯	埋没土 口縁部～底部小 片	口底 11.8 9.0	高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第42図 PL.75	3	土師器 杯	南辺中央床上 16cm 完形	口底 12.2 9.2	高 —	3.4 —	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	内面に墨書?
第42図 PL.75	4	土師器 杯	貯蔵穴床上21cm 3/4	口底 12.2 10.0	高 —	3.2 —	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第42図	5	土師器 杯	埋没土 口縁部～底部片	口底 13.8 10.0	高 —	—	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第42図 PL.75	6	土師器 杯	埋没土 底部片	口底 —	高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	内面に墨書?
第42図	7	須恵器 杯蓋	埋没土 口縁部片	口底 17.8	高 —	—	細砂粒/還元焰/に ぶい黄	ロクロ整形、回転右回りか。	

遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口径	高さ	底径			
第42図	8	須恵器 杯	埋没土 口縁部～底部片	12.0 7.0	高 一	3.6 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第42図 PL.75	9	須恵器 杯	北東隅床直上 2/3	12.1 8.3	高 一	3.7 —	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第42図 PL.75	10	須恵器 杯	南辺中央床直上 16cm 完形	12.4 8.3	高 一	3.6 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	外面底部に墨書。
第43図 PL.75	11	須恵器 杯	埋没土 1/2	12.6 7.6	高 一	3.7 —	細砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/にぶい橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第43図	12	須恵器 杯	埋没土 口縁部～底部 1/3	12.6 7.6	高 一	3.6 —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第43図 PL.75	13	須恵器 杯	埋没土 1/2	13.2 7.3	高 一	4.2 —	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ起し後手持ちヘラ削り。	
第43図 PL.75	14	須恵器 杯	埋没土 2/3	13.0 7.4	高 一	3.7 —	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第43図	15	須恵器 杯	埋没土 口縁部～底部片	13.2 7.0	高 一	3.1 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第43図	16	須恵器 杯	西辺南寄り床直上 8cm 完形	13.4 7.3	高 一	3.6 —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。焼成時の歪み大。	
第43図	17	須恵器 杯	南辺中央床直上 21cm 3/4	13.5 8.4	高 一	3.5 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第43図	18	須恵器 杯	埋没土 口縁部片	12.0 —	高 一	— —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。	
第43図	19	須恵器 杯	埋没土 底部片	— 7.0	高 一	— —	細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第43図 PL.75	20	須恵器 椀	埋没土 1/3	14.8 8.0	高 台	6.0 7.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	
第43図 PL.75	21	須恵器 椀	住居外確認面直上 ほぼ完形	14.8 8.9	高 台	6.1 9.0	細砂粒/還元焰/淡 黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	
第43図	22	須恵器 椀	掘り方 口縁部片	14.8 —	高 一	— —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回りか。	
第43図 PL.76	23	土師器 台付甕	東部中央床直上 8cm 脚部欠	10.2 3.6	高 一	— —	細砂粒/良好/にぶ い褐	脚部は貼付。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第43図 PL.76	24	土師器 甕	床下土坑7 口縁部～胴部 1/3	12.6 —	高 胴	— 14.9	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第43図	25	土師器 甕	埋没土 口縁部～胴部上 位片	12.6 —	高 一	— —	細砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第43図	26	土師器 甕	1号カマド掘り 方 口縁部片1/2	13.7 —	高 一	— —	細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第44図	27	土師器 甕	2号カマド掘り 方 口縁部片	19.0 —	高 一	— —	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第44図	28	土師器 甕	2号カマド床直上 口縁部～胴部上 位片	19.2 —	高 一	— —	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第44図 PL.76	29	土師器 甕	1号カマド床直上 口縁部～胴部上 位1/3	20.4 —	高 胴	— 22.4	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第44図	30	土師器 甕	床下土坑2 口縁部片	21.0 —	高 一	— —	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第44図	31	土師器 甕	2号カマド前床直上 28cm 口縁部片	21.6 —	高 一	— —	細砂粒/良好/明赤 褐	外面口縁部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第44図	32	土師器 甕	埋没土 口縁部片	21.6 —	高 一	— —	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第44図	33	土師器 甕	2号カマド掘り 方 底部片	— 3.6	高 一	— —	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第44図	34	須恵器 甕	住居外確認面直上 頸部～胴部片	— —	高 胴	— 31.4	細砂粒/還元焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形。外面の一部にナデ。	
第44図	35	須恵器 甕	埋没土 胴部片	— —	高 一	— —	細砂粒/還元焰/灰 白	外面には平行叩き痕が残る。内面はヘラナデ、アテ具痕がかすかに残る。	
第44図	36	須恵器 甕	埋没土 胴部片	— —	高 一	— —	細砂粒/還元焰/灰 白	外面にはかすかに平行叩き痕が残る。内面はヘラナデ。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長 幅	厚 重	高 さ			
第44図 PL.76	37	礫石器 カマド構築 材	カマド掘り方 完形	11.0 11.8	厚 重	13.4 3557.0	—/—/ニツ岳石	平ノミ状の工具痕が全面に認められる。	
第44図 PL.76	38	礫石器 カマド構築 材	カマド掘り方 完形	28.5 11.0	厚 重	11.4 2289.9	—/—/ニツ岳石	平ノミ状の工具痕が全面に認められる。	

茅畑遺跡2面 4号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 底	高 さ	高 さ			
第47図	1	土師器 杯	埋没土 口縁部片	11.0 8.4	高 —	—	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第47図	2	土師器 杯	壁溝 口縁部片	11.6 —	高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面は雑な放射状暗文。	
第47図 PL.76	3	土師器 杯	カマド床上11cm 1/2	12.4 8.8	高 —	3.5 —	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第47図	4	須恵器 杯蓋	埋没土 口縁部片	16.0 —	高 —	—	細砂粒/還元焰/褐 灰	ロクロ整形。	
第47図	5	須恵器 杯蓋	埋没土 口縁部片	18.0 —	高 —	—	細砂粒/還元焰/に ぶい黄	ロクロ整形、回転右回りか。	
第47図 PL.76	6	須恵器 杯	中央部南東寄り 床直上 3/4	13.2 6.1	高 —	4.2 —	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。底部 は疑似高台状を呈す。	
第47図	7	須恵器 杯	埋没土 口縁部片	13.0 7.0	高 —	—	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。	
第47図	8	須恵器 杯	壁溝 底部～体部片	7.0 —	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第47図	9	須恵器 杯	埋没土 底部～体部1/4	7.6 —	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第47図	10	須恵器 杯	埋没土 底部片	8.0 —	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第47図	11	須恵器 杯	埋没土 底部～体部片	9.0 —	高 —	—	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第47図	12	須恵器 椀	カマド埋没土 底部片	8.4 —	高 台	9.0 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	
第48図 PL.76	13	土師器 甕	カマド右袖、埋 没土 口縁部～胴部下 位1/3	13.8 —	高 胴	— 17.4	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第48図	14	土師器 甕	カマド右袖床直 上 口縁部片	19.2 —	高 —	—	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第48図 PL.76	15	土師器 甕	中央部南寄り床 上6cm 口縁部～胴部上 位	19.3 —	高 —	—	細砂粒/良好/明赤 褐	外面に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘ ラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第48図 PL.76	16	土師器 甕	カマド煙道床上 10～21cm 口縁部～胴部下 位3/4	20.4 —	高 胴	— 21.2	細砂粒/良好/橙	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部 はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第48図 PL.76	17	土師器 甕	カマド煙道床直 上～床上6cm 口縁部～胴部下 位3/4	20.6 —	高 胴	— 23.0	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部が ヘラナデ。	外面胴部に粘 土付着。
第48図	18	土師器 甕	カマド左袖床直 上～床上6cm 口縁部片	21.8 —	高 —	—	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第48図	19	須恵器 甕	中央部西寄り床 上12cm 胴部片	— —	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 白	外面にはかすかに平行叩き痕が残る。内面にもかすかにア テ具痕が残る。	
第48図	20	須恵器 甕	埋没土 破片	— —	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 黄	外面には平行叩き痕が残る。内面にもかすかにアテ具痕が 残る。	
第48図 PL.76	21	瀬戸・美濃 磁器 白磁小盃	— 体部下半2/3	2.6 —	高 —	—	白/—/—	腰が丸く折れて立ち上がる。外面体部中に細い稜線がめ ぐる。	近代

茅畑遺跡2面 5号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 底	高 さ	高 さ			
第51図 PL.77	1	土師器 杯	掘り方 1/3	10.8 8.0	高 —	3.1 —	細砂粒/良好/明褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第51図	2	須恵器 杯蓋	埋没土 破片	— —	高 摘	— 4.8	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付。天井部中ほどは回 転ヘラ削り。	
第51図 PL.77	3	須恵器 杯	南辺壁溝床上 10cm 完形	12.7 7.4	高 —	3.3 —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。底部 は疑似高台状を呈す。	

遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第51図 PL.77	4	須恵器 杯	南東隅床直上 口縁一部欠	口底 12.7 8.4	高 —	3.2 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転左回り。底部は回転回転ヘラ起し。	
第51図 PL.77	5	須恵器 杯	掘り方 3/4	口底 12.7 6.9	高 —	3.6 —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第51図 PL.77	6	須恵器 杯	カマド床直上 3/4	口底 12.8 7.0	高 —	3.6 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第51図 PL.77	7	須恵器 杯	中央部床直上 完形	口底 13.5 × 12.3 7.6	高 —	2.1 ~ 2.8	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	口縁部の一部を片口状にしている。
第51図 PL.77	8	須恵器 杯	埋没土 1/4	口底 13.4 7.0	高 —	3.3 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第51図 PL.77	9	須恵器 杯	北西部及び中央 床直上21~22cm 3/4	口底 14.3 8.8	高 —	3.6 —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第51図	10	須恵器 杯	埋没土 口縁部片	口底 13.8 —	高 —	— —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。	
第51図	11	須恵器 杯	埋没土 破片	口底 — 7.6	高 —	— —	細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転右回り。底部と体部下位に回転ヘラ削り。	
第52図	12	土師器 甕	中央部床直上9cm 埋没土 口縁部~胴部上 半1/3	口底 19.0 —	高 胴	— 22.8	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第52図	13	土師器 甕	埋没土 口縁部片	口底 20.0 —	高 —	— —	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第52図	14	土師器 甕	カマド床直上・ 掘り方、6号住 居埋没土 口縁部1/2	口底 20.0 —	高 胴	— 22.5	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第52図 PL.77	15	土師器 甕	中央床直上~埋 没土、カマド埋 没土・掘り方 口縁部~胴部中 位1/3	口底 20.0 —	高 胴	— 21.0	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第52図 PL.77	16	土師器 甕	カマド床直上~ 床直上11cm、埋没 土 口縁部~胴部下 位	口底 20.2 —	高 胴	— 21.3	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第52図 PL.77	17	土師器 甕	カマド床直上~ 床直上10cm 口縁部~胴部下 位1/2	口底 20.6 —	高 胴	— 22.0	細砂粒/良好/明赤 褐	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第52図	18	土師器 甕	埋没土 口縁部1/2	口底 20.8 —	高 —	— —	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第52図	19	土師器 甕	カマド床直上~ 床直上11cm 口縁部~胴部上 位1/3	口底 20.8 —	高 —	— —	細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	内面口縁部に粘土付着。
第53図 PL.77	20	土師器 甕	カマド床直上、 掘り方、埋没土 口縁部~胴部下 位3/4	口底 21.6 —	高 胴	— 21.8	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第53図	21	土師器 甕	貯蔵穴、埋没土 底部片	口底 — 4.0	高 —	— —	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第53図	22	土師器 甕	埋没土、掘り方 胴部下位~底部 1/3	口底 — 6.4	高 —	— —	細砂粒/良好/明褐	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第53図 PL.77	23	礫石器 カマド構築 材	カマド掘り方 完形	長幅 42.8 17.2	厚 重	15.5 8296.7	-/-/ニツ岳石	平ノミ状の工具痕が全面に認められ角柱状に整形される。	
第53図 PL.77	24	鉄製品 刀子	P 3 破片	長幅 4.6 2.1	厚 重	0.7 13.14	-/-/-	刀子刃部分の破片。先端側および関・茎側とも劣化破損し全体形状は不明。	

茅畑遺跡2面 6号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第57図	1	土師器 杯	埋没土 口縁~底部片	口底 12.4 8.8	高 —	3.4 —	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第57図	2	土師器 杯	埋没土 1/4	口底 12.6 9.2	高 —	— —	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	内外面にススが付着。
第57図	3	須恵器 杯蓋	埋没土 口縁部片	口底 18.0 —	高 —	— —	細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転右回りか。強いロクロ痕が残る。天井部に指頭痕がみられる。	
第57図 PL.78	4	須恵器 杯蓋	北東部床直上 2/3	口底 17.2 —	高 —	2.4 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。天井部は回転糸切り無調整。天井部の回転糸切り痕径は9.9cm。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第57図	5	須恵器 皿	埋没土 口縁部片	口底	12.4 —	高 —	—	細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転右回りか。	
第57図 PL.78	6	須恵器 杯	北部中央床上 18cm 1/3	口底	12.8 7.4	高 —	3.3 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。底部は疑似高台。	
第57図	7	須恵器 杯	埋没土 1/3	口底	13.8 8.0	高 —	2.9 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第57図 PL.78	8	須恵器 杯	土坑1床上31cm 1/4	口底	13.6 7.8	高 —	3.5 —	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第57図	9	須恵器 杯	埋没土 1/3	口底	13.2 8.2	高 —	3.8 —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第57図	10	須恵器 杯	埋没土 底部片	口底	— 7.0	高 —	— —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	外面底部に墨 痕。
第57図	11	須恵器 杯	カマド左袖、埋 没土 底部片	口底	— 7.2	高 —	— —	細砂粒/還元焰/に ぶい黄	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第57図	12	須恵器 杯	埋没土 底部片	口底	— 7.0	高 —	— —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第57図 PL.78	13	須恵器 杯	カマド 底部片	口底	— 7.2	高 —	— —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第57図	14	須恵器 杯	埋没土 底部片	口底	— 7.6	高 —	— —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第57図	15	須恵器 杯	埋没土 底部片	口底	— 8.4	高 —	— —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第57図 PL.78	16	須恵器 椀	掘り方 底部片	口底	— 8.0	高 台	— 7.8	細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。 内面底部は擦る磨かれている。	
第58図	17	土師器 甗	埋没土 口縁部～胴部片	口底	17.0 —	高 —	— —	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部 はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第58図	18	土師器 甗	カマド煙道床直 上、掘り方 口縁部片	口底	19.0 —	高 —	— —	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第58図	19	土師器 甗	北部中央床上 50cm 口縁部～胴部上 位1/3	口底	19.4 —	高 —	— —	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第58図	20	土師器 甗	煙道床直上～ カマド床上24cm 口縁部～胴部中 位1/3	口底	19.2 —	高 胴	— 21.4	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第58図	21	土師器 甗	掘り方、埋没土 口縁部片	口底	19.8 —	高 —	— —	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第58図	22	土師器 甗	カマド煙道部 口縁部片	口底	20.0 —	高 —	— —	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第58図	23	土師器 甗	カマド床上27cm、 埋没土 口縁部～胴部上 位1/3	口底	19.4 —	高 —	— —	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部 はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第58図 PL.78	24	土師器 甗	南東隅床直上、 貯蔵穴埋没土、 4号住居 口縁部～胴部下 位3/4	口底	20.0 —	高 胴	— 23.0	細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第58図	25	土師器 甗	カマド煙道床直 上 口縁部～胴部中 位1/3	口底	19.9 —	高 胴	— 21.2	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第59図	26	土師器 甗	北東部床直上、 カマド 口縁部～胴部下 位	口底	20.1 —	高 胴	— 22.4	細砂粒/良好/橙	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部 はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第59図 PL.78	27	土師器 甗	カマド煙道床直 上 口縁部～胴部下 位1/3	口底	20.0 —	高 胴	— 22.4	細砂粒/良好/橙	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部 はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第59図	28	土師器 甗	埋没土 口縁部～胴部上 位1/2	口底	20.4 —	高 —	— —	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第59図	29	土師器 甗	カマド埋没土 口縁部片	口底	21.2 —	高 —	— —	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第59図	30	土師器 甗	5・6号住居埋 没土 胴部下位～底部 1/3	口底	— 4.4	高 —	— —	細砂粒/良好/橙	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第59図	31	土師器 甗	カマド床直上、 掘り方 胴部片	口底	— —	高 —	— —	細砂粒/良好/明赤 褐	外面はヘラ削りか、粘土が付着しており単位不明。内面は ヘラナデ。	

遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口径	高	厚			
第59図	32	須恵器 甕	北西隅床上 35cm、埋没土 胴部片	口径 —	高 —	厚 27.2	細砂粒/還元焰/浅 黄	ロクロ整形。成形時の外面には平行叩き痕、内面には同心 円状アテ具痕が残る。	
第59図	33	須恵器 甕	壁溝 胴部片	口径 —	高 —	厚 —	細砂粒/還元焰/浅 黄	外面には平行叩き痕、内面には同心円状アテ具痕が残る。	
第59図	34	須恵器 甕	カマド 胴部片	口径 —	高 —	厚 —	細砂粒/還元焰/灰 白	外面には斜格子状叩き痕、内面には同心円状アテ具痕が残 る。	
第59図	35	須恵器 甕	掘り方 胴部片	口径 —	高 —	厚 —	細砂粒/還元焰/灰 白	外面には平行叩き痕が残る。内面はヘラナデ。	
第60図 PL.78	36	石製品 紡輪	北東部床上35cm 完形	径 4.8× 4.4	厚 —	重 2.0 64.9	—/—/砥沢石	表裏面ともよく研磨されている。表裏面ともほぼ平坦である。 側面は多くの作出面で構成されており各面はやや凸面 を呈する。径約8mmの軸穴孔が穿孔されている。	板状
第60図 PL.78	37	石製品 紡輪	北部床直上 ほぼ完形	径 4.7× (4.7)	厚 —	重 1.7 48.0	—/—/砥沢石	表面はよく研磨されており平坦である。側面から裏面にか けては多くの作出面で構成されており各面はやや凸面を呈 する。径約7mmの軸穴孔が穿孔されている。	逆台形
第60図 PL.78	38	石製品 台石	貯蔵穴床上33cm 完形	長 幅 45.1 40.3	厚 重 — —	7.5 7500.0	—/—/二ツ岳石	表裏面ともほぼ平坦であり平ノミ状の工具痕がわずかに認 められる。	

茅畑遺跡2面 1号古墳遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口径	高	厚			
第64図	1	灰釉陶器 椀	カクラン 口縁部片	口径 11.8	高 —	厚 —	微砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。施軸方法は漬け掛け。	大原2号窯式 期
第64図	2	須恵器 杯	前庭西部 底部～体部下位 片	口径 9.2	高 —	厚 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	
第64図	3	須恵器 杯	カクラン 底部～体部下位 片	口径 6.0	高 —	厚 —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。底部は手持ちヘラ削り。	
第64図	4	須恵器 甕	前庭西部 口縁部～胴部上 位	口径 23.8	高 —	厚 —	細砂粒/還元焰/灰	口縁部はロクロ整形。胴部は外面がカキ目、内面には同心 円状アテ具痕が残る。	
第64図	5	須恵器 甕	前庭西部 胴部片	口径 —	高 —	厚 —	細砂粒/還元焰/灰 白	外面は平行叩き痕、内面は同心円状アテ具痕が残る。	
第64図 PL.78	6	鉄製品 釘	玄室東部側壁抜 き取り痕付近 破片	長 幅 2.8 1.0	厚 重 0.8 2.51	—/—/—	—/—/—	断面ほぼ正方形の角釘破片で上端は薄く広げ折り曲げられ たと見られるが端部は劣化破損する、先端側も劣化破損し 全体形状は不明、木質等の痕跡も確認できない。	
第64図 PL.78	7	鉄製品 釘	玄室東部側壁抜 き取り痕付近 破片	長 幅 2.5 0.4	厚 重 0.6 0.87	—/—/—	—/—/—	断面ほぼ正方形の角釘破片で頭部は劣化破損する、先端は 細くなり尖る、木質等の痕跡は確認できない。	
第64図 PL.78	8	鉄製品 釘	玄室東部側壁抜 き取り痕付近 破片	長 幅 2.3 0.4	厚 重 0.4 0.93	—/—/—	—/—/—	断面ほぼ正方形の角釘破片で頭部は劣化破損する、先端は 細くなり尖る、釘の長さ方向に沿って木質痕が付着する。	
第64図 PL.78	9	鉄製品 釘	玄室東部側壁抜 き取り痕付近 破片	長 幅 3.7 1.3	厚 重 0.8 2.71	—/—/—	—/—/—	断面ほぼ正方形の角釘破片で上端は薄く広げ直角に折り曲 げられその先は劣化破損する。先端は細くなるが、錆に覆 われ木質等の痕跡は確認できない。	
第64図 PL.78	10	鉄製品 釘	玄室北西部隅 破片	長 幅 4.0 1.3	厚 重 1.0 4.83	—/—/—	—/—/—	断面ほぼ正方形の角釘破片で上端は薄く広げ直角に折り曲 げられその先は劣化破損する。先端側は劣化破損し全体形 状は不明。錆に覆われ木質等の痕跡は確認できない。	
第64図 PL.78	11	鉄製品 釘	玄室北西部隅 破片	長 幅 4.0 1.4	厚 重 1.2 5.15	—/—/—	—/—/—	断面四角形の角釘破片で上端は薄く広げ鈍角に折り曲げら れる。先端側は劣化破損し全体形状は不明。錆に覆われ木 質等の痕跡は確認できない。	
第64図 PL.78	12	鉄製品 釘	玄室東部側壁抜 き取り痕付近 破片	長 幅 3.7 1.1	厚 重 0.7 3.50	—/—/—	—/—/—	断面ほぼ正方形の角釘破片で上端は薄く広げ直角に折り曲 げられその先は劣化破損する。先端側は破損錆化し、錆に 覆われ木質等の痕跡は確認できない。	
第64図 PL.78	13	鉄製品 釘	主体部攪乱 破片	長 幅 3.9 1.7	厚 重 1.6 7.10	—/—/—	—/—/—	断面ほぼ正方形の角釘破片で上端は薄く広げ深く折り曲げ られる。先端側は劣化破損し全体形状は不明。錆に覆われ 木質等の痕跡は確認できない。	
第64図 PL.78	14	銅製品 キセル・吸 い口	— 一部破損	長 幅 4.3 1.0	厚 重 1.0 5.74	—/—/—	—/—/—	キセル吸い口部分で吸い口側端部を欠き潰れる。表面は劣 化が著しく装飾等の痕跡は確認できない。	

茅畑遺跡2面 34号掘立柱建物遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口径	高	厚			
第77図	1	須恵器 杯	P 6埋没土 口縁部片	口径 12.8	高 —	厚 —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。	

茅畑遺跡2面 1号道路遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口径	高	厚			
第85図	1	須恵器 杯	埋没土 口縁部片	口径 13.8	高 —	厚 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。	
第85図	2	須恵器 杯	埋没土 底部片	口径 8.2	高 —	厚 —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	

茅畑遺跡2面 10号土坑遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	13.9 7.4	高台 5.5 6.9			
第88図 PL.79	1	須恵器 椀	埋没土 完形	口底	13.9 7.4	高台 5.5 6.9	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	内面に墨書。

茅畑遺跡2面 15号土坑遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	— 8.2	高— —			
第88図	2	須恵器 杯	埋没土 底部片	口底	— 8.2	高— —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	

茅畑遺跡2面 21号土坑遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	13.8 —	高— —			
第88図	3	須恵器 杯	埋没土 口縁部片	口底	13.8 —	高— —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回りか。	

茅畑遺跡2面 29号土坑遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	9.8 8.9	厚重 6.7 872.5			
第88図 PL.79	4	礫石器 凹石	埋没土 完形	長幅	9.8 8.9	厚重 6.7 872.5	粗粒輝石安山岩	表裏面とも全体的に非常に滑らかである。表面中央やや上方に浅い皿状のくぼみが認められる。	

茅畑遺跡2面 64号ピット遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	11.4 6.0	高— 3.1 —			
第88図 PL.79	5	須恵器 杯	埋没土 1/3	口底	11.4 6.0	高— 3.1 —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	

茅畑遺跡2面 131号ピット遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	— 7.6	高— —			
第88図	6	須恵器 杯	埋没土 底部片	口底	— 7.6	高— —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。底部は疑似高台状を呈す。	

茅畑遺跡2面 156号ピット遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	12.8 —	高— —			
第88図	7	須恵器 杯	埋没土 口縁部片	口底	12.8 —	高— —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。	
第88図	8	須恵器 杯	埋没土 口縁～底部片	口底	12.8 6.8	高— 3.7 —	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部切り離し技法不明。	

茅畑遺跡2面 186号ピット遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	17.0 —	高— —			
第88図	9	須恵器 杯蓋	埋没土 1/3	口底	17.0 —	高— —	細砂粒/還元焰/暗 灰黄	ロクロ整形、回転右回り。天井部は中程まで回転ヘラ削り。内外面に重ね焼き痕が残る。	

茅畑遺跡2面 238号ピット遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	15.0 —	高— —			
第88図	10	須恵器 杯	埋没土 口縁部片	口底	15.0 —	高— —	細砂粒・黒色班/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。	

茅畑遺跡2面 240号ピット遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	— —	高— —			
第88図	11	須恵器 甕	埋没土 胴部片	口底	— —	高— —	細砂粒/還元焰/灰 黄	外面には平行叩き痕が残る。内面にもかすかにアテ具痕が残る。	

茅畑遺跡2面 358号ピット遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	8.2 7.8	厚重 5.2 267.18			
第88図 PL.79	12	鉄滓 椀形鍛冶滓 (含鉄錆化)	破片	長幅	8.2 7.8	厚重 5.2 267.18	—/—/—	椀型滓破片で全体に薄く酸化土砂が付着する。一部に磁着の強い部分が存在する。	

茅畑遺跡2面 532号ピット遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	12.8 —	高— —			
第88図	13	灰釉陶器 椀	埋没土 口縁部片	口底	12.8 —	高— —	微砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。施釉方法不明。	

遺物観察表

茅畑遺跡2面 599号ピット遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第88図	14	須恵器 杯	埋没土 口縁部片	口底	11.8 —	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。	

茅畑遺跡2面 617号ピット遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第88図 PL.79	15	剥片石器 石鏃	— 完形	長幅	1.6 1.4	厚 0.4 0.5	—/—/チャート	押圧剥離により丁寧に整形する。	凹基無茎鏃

茅畑遺跡2面 703号ピット遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第88図	16	須恵器 杯	埋没土 底部片	口底	— 6.0	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	

茅畑遺跡2面 遺構外遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第99図	1	須恵器 杯	— 1/3	口底	12.4 7.4	高 —	3.7 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第99図	2	須恵器 杯	— 口縁部片	口底	13.8 9.4	高 —	3.2 —	細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第99図	3	須恵器 杯	— 口縁部片	口底	12.0 —	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形。	
第99図	4	須恵器 杯	— 底部片	口底	— 7.2	高 —	—	細砂粒/還元焰/淡 黄	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第99図	5	須恵器 椀	— 底部～体部下位 片	口底	— 7.0	高台 —	7.6 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	
第99図	6	須恵器 椀	— 底部片	口底	— 6.4	高台 —	— 6.6	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	
第99図	7	灰釉陶器 杯	表採 底部片	口底	— —	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 白	底部は回転ヘラナデ、高台が存在するが打ち欠かれ詳細は不明。内面に植物灰による釉薬が施釉。	
第99図 PL.79	8	鉄製品 火打金	— 一部破損	長幅	5.6 1.6	厚 1.0	12.16 —	—/—/—	火打金と見られる鉄製品で一端は破損錆化する。	
第99図	9	鉄製品 不詳	— 一部破損	長幅	3.7 1.0	厚 0.9	4.48 —	—/—/—	断面ほぼ正方形の角棒状、両端は角形で片側の端部で僅かに曲がる。	
第99図	10	鉄製品 釘	— 破片	長幅	2.8 0.8	厚 0.7	1.68 —	—/—/—	断面ほぼ正方形で頭部分は扁平で斜めに折れ曲がる。先端側は劣化破損する。	

鳴上I遺跡A区2面 遺構外遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第102図 PL.79	1	須恵器 杯蓋	表土 口縁部1/4欠	口底	14.2 —	高 —	3.6 3.2	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中ほどは回転ヘラ削り。	
第102図	2	土師器 甕	— 口縁部片	口底	17.5 —	高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第102図	3	土師器 甕	— 底部片	口底	— 9.0	高 —	—	細砂粒/良好/暗灰 黄	胴部はヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第102図	4	須恵器 甕	— 胴部～底部片	口底	— 17.8	高 —	—	細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形。底部はヘラ削り、胴部最下位に2段の回転ヘラ削り。	
第102図	5	土製品 甕形	— 破片	口底	— —	高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い橙	底は貼付。内外面ともナデ。	

鳴上I遺跡B区2面 501号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第104図 PL.79	1	須恵器 杯	北東部床上9cm 底部～口縁部 1/3	口底	12.9 7.0	高 —	3.8 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第104図	2	須恵器 杯	掘り方埋没土 口縁部片	口底	12.9 —	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形。	
第104図	3	須恵器 杯	カマド掘り方 底部1/2	口底	— 7.2	高 —	—	細砂粒/粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第104図 PL.79	4	土師器 甕	埋没土 口縁部片	口底	23.0 —	高 —	—	細砂粒/良好/明赤 褐	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第104図	5	土師器 甕	埋没土 口縁部片	口底	23.0 —	高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面に輪積痕が残る。口縁部は横ナデ。	
第104図 PL.79	6	鉄製品 不詳	貯蔵穴埋没土 一部破損	長幅	11.1 7.9	厚 1.7	25.98 —	—/—/—	断面ほぼ正方形の角棒状でし字状に曲がる。両端とも破損錆化し本来形状は不明。	

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 502号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	厚				
第106図	1	須恵器 杯蓋	埋没土 体部片	口底	—	高	—	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。天井部中ほどは回転ヘラ削り。	
第106図	2	須恵器 杯	埋没土 口縁部片	口底	10.8	高	—	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。	
第106図	3	須恵器 杯	カマド埋没土 口縁部片	口底	13.6	高	—	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。	
第106図	4	土師器 小型甕	北西部床直上 底部～胴部下位	口底	—	高	—	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部はヘラナデか、胴部はヘラ磨き、器面磨滅のため単位不明。内面はヘラナデ。	
第106図	5	土師器 台付甕	カマド埋没土 脚部片	口底	—	高脚	9.7	細砂粒/良好/橙	外面に輪積痕が残る。脚部は貼付、横ナデ。内面は上半にヘラナデ。	
第106図	6	土師器 台付甕	カマド埋没土 台部片	口底	—	高脚	9.6	細砂粒/良好/橙	外面に輪積痕が残る。脚部は貼付、横ナデ。	
第106図	7	須恵器 甕	埋没土 底部1/3	口底	—	高	—	細砂粒/還元焰/暗 灰黄	底部は手持ちヘラ削り。	

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 503号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	厚				
第109図	1	須恵器 杯	掘り方 1/4	口底	12.9 7.0	高	2.7 —	細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第109図 PL.79	2	須恵器 杯	床下土坑5床上 43～44cm 1/2	口底	13.8 7.0	高	3.7 —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第109図	3	須恵器 杯	中央部床直上 口縁部～底部片	口底	13.1 6.3	高	3.7 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第109図	4	須恵器 杯	掘り方 1/4	口底	12.9 6.9	高	4.3 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第109図	5	須恵器 杯	掘り方 口縁部片	口底	13.7 —	高	—	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。	
第109図	6	須恵器 杯	掘り方、床下土 坑2 口縁部1/4	口底	14.7 —	高	—	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。	
第109図	7	須恵器 杯	埋没土 底部3/4	口底	—	高	—	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第110図	8	須恵器 杯	中央部床直上 底部	口底	—	高	—	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第110図	9	須恵器 椀	北西部床上16cm 底部2/3	口底	—	高台	—	細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	
第110図	10	土師器 甕	カマド埋没土 口縁部片	口底	18.6 —	高	—	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。	
第110図	11	土師器 甕	床下土坑5床上 42cm 口縁部～胴部上 位片	口底	19.2 —	高	—	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第110図	12	土師器 甕	カマド埋没土 口縁部片	口底	20.2 —	高	—	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。	
第110図	13	土師器 甕	中央部床直上 口縁部片	口底	19.7 —	高	—	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第110図 PL.79	14	土師器 甕	中央部床直上、 床下土坑1、掘 り方 口縁部～胴部片	口底	23.2 —	高	—	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	外面胴部に煤が附着。
第110図 PL.79	15	石製品 砥石	北東部床上5cm 完形	長幅	8.6 2.8	厚重	4.0 83.4	—/—/砥沢石	砥面は4面認められる。正面は研ぎ減りにより内湾する。	

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 504号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	厚				
第111図	1	土師器 杯	埋没土 口縁部片	口底	12.8 —	高	—	細砂粒/良好/にぶ い橙	口唇部は横ナデ、口縁部と体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第111図	2	土師器 杯	埋没土 口縁部片	口底	14.4 —	高	—	細砂粒/良好/明褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。	
第111図 PL.79	3	須恵器 杯	中央部床上5cm 3/4	口底	12.2 7.5	高	4.1 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第111図 PL.79	4	土師器 甕	西部床上15cm 口縁部片	口底	19.8 —	高	—	細砂粒/良好/橙	外面口縁部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	

遺物観察表

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 506号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	厚			
第114図	1	土師器 杯	カマド床直上、 埋没土 口縁部1/4	10.8	高	—	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状暗文。	
第114図	2	土師器 杯	掘り方 口縁部片	16.2	高	—	細砂粒/良好/橙	口唇部は横ナデ、口縁部と体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第114図	3	須恵器 杯	カマド埋没土 口縁部片	15.8	高	—	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形。	
第114図	4	須恵器 杯	カマド埋没土 口縁部1/4	15.2	高	—	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。	
第114図	5	須恵器 杯	カマド埋没土 底部片	9.0	高	—	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第114図 PL.79	6	須恵器 椀	カマド床上9cm、 504号住居埋没土 口縁部～底部	16.0 9.0	高	—	細砂粒/還元焰/に ぶい黄	ロクロ整形、回転右回りか。底部は回転ヘラナデ、高台は貼付。	
第114図 PL.79	7	須恵器 椀	カマド床直上 高台部片	8.4	高台	8.8	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部はナデ、高台は貼付。	
第114図	8	土師器 甕	カマド埋没土 口縁部片	12.4	高	—	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第114図	9	土師器 甕	埋没土 口縁部片	20.6	高	—	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第114図	10	土師器 甕	埋没土 口縁部片	24.6	高	—	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第114図 PL.79	11	弥生土器 甕	埋没土 胴部片	—	高	—	A/—/—	胴部上半に櫛波状文を施す。胴部内外面共に丁寧な横位篋磨き。	樽式
第114図 PL.79	12	弥生土器 壺	埋没土 口縁部1/8	—	高	—	A/—/—	複合口縁部に篋状工具による縦位2列の連続刻目文を施す。内面横位篋磨き。	樽式
第114図 PL.79	13	石製品 石製模造品	埋没土 ほぼ完形	4.9 3.0	厚重	0.7 13.9	—/—/滑石	全体的に線条痕が著しい。径約2mmの孔が二つ認められ、いずれも片側穿孔と判断される。	
第114図 PL.79	14	石製品 紡輪	カマド床上19cm ほぼ完形	4.1× 4.0	厚重	1.8 31.5	—/—/砥沢石	表裏面ともよく研磨されている。表裏面ともほぼ平坦である。側面はやや外湾する。径約8mmの軸穴が穿孔されている。	逆台形状

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 507号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	厚			
第117図	1	土師器 杯	埋没土 口縁部片	9.8	高	—	細砂粒/良好/灰黄褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半がヘラ削り、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に放射状ヘラ磨き。	
第117図	2	土師器 杯	埋没土 口縁部片	10.2	高	—	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面には斜放射状ヘラ磨き。	
第117図 PL.79	3	土師器 杯	カマド左袖外側 床直上 3/4	12.2	高	5.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第117図 PL.79	4	土師器 杯	カマド右袖、埋 没土 3/4	14.0	高	6.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部と底部はヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。	
第117図	5	土師器 杯	埋没土 口縁部片	14.2	高	—	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第117図	6	黒色土器	カマド埋没土 口縁部片	15.2	高	—	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	二次焼成により吸炭が消失。内外面とも丁寧なヘラ磨き。	
第117図	7	土師器 壺	南部床直上、埋 没土 底部片	—	高	—	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第118図	8	土師器 甕	埋没土 口縁部片	17.6	高	—	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第118図	9	土師器 甕	掘り方埋没土 口縁部片	19.0	高	—	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。	
第118図	10	土師器 甕	カマド左袖外側 床上9cm 口縁部片	23.8	高	—	細砂粒/良好/明褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第118図	11	土師器 甕	カマド埋没土 底部片	7.0	高	—	細砂粒/良好/褐	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第118図	12	土師器 甕	掘り方、カマド 埋没土 底部片	9.0	高	—	細砂粒/良好/明赤 褐	底部と胴部はヘラ削り、胴部の一部にハケ目が残る。内面はヘラナデ。	
第118図	13	弥生土器 甕	貯蔵穴 底部完存	6.0	高	—	A/—/—	外面被熱剥離、内面横位篋撫で。	弥生後期

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 509号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	高				
第119図 PL.79	1	弥生土器 甕	埋没土 胴部片	口底	—	高	—	E/—/—	頸部に櫛描波状文と低位隆帯を複数帯施文し、隆帯には刻み状の押圧を施す。波状文の施文具5歯8mm。内面磨き状の横位篋撫で。器色は鈍い黄橙色。	十王台式

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 510号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	高				
第122図	1	須恵器 杯	カマド埋没土 口縁部片	口底	13.8	高	—	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形。	
第122図	2	須恵器 杯	中央部床直上 底部片	口底	—	高	—	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り後回転ヘラナデ。	
第122図	3	須恵器 杯	カマド埋没土 底部片	口底	—	高	—	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第122図	4	須恵器 杯	北東部床直上 底部片	口底	—	高	—	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第122図	5	土師器 甕	埋没土 口縁部1/3	口底	18.8	高	—	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	内面口縁部から頸部に付着物。
第122図 PL.80	6	土師器 甕	カマド床直上～ 床上8cm、埋没土 口縁部～胴部 1/3	口底	18.8	高	—	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第123図	7	土師器 甕	中央部床直上、 カマド埋没土、 埋没土 口縁部片	口底	19.8	高	—	細砂粒/良好/明赤褐	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第123図	8	土師器 甕	カマド埋没土 口縁部1/3	口底	20.8	高	—	細砂粒/良好/にぶい褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第123図 PL.80	9	土師器 甕	カマド床直上～ 床上20cm、埋没土 口縁部～底部 1/2	口底	20.4	高	27.0	細砂粒/良好/黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第123図 PL.80	10	土師器 甕	カマド床直上～ 床上8cm、埋没土 口縁部～底部 1/3	口底	19.6	高	27.8	細砂粒/良好/橙	内面胴部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第123図	11	土師器 甕	中央部床直上、 カマド埋没土、 埋没土 頸部～胴部	口底	—	高	—	細砂粒/良好/赤褐	頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第123図	12	土師器 甕	中央部床直上、 カマド埋没土、 埋没土 頸部～胴部	口底	—	高	—	細砂粒/良好/赤褐	頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第123図 PL.80	13	土師器 甕	カマド床直上～ 床上8cm、埋没土 胴部1/2	口底	—	高	—	細砂粒/良好/明赤褐	内面に輪積痕が残る。外面はヘラ削り、内面はヘラナデ。	
第123図	14	土師器 甕	北東部床直上 口縁部片	口底	17.4	高	—	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は肥厚。口唇部から口縁部は波状文、頸部に簾状文か。内面はヘラ磨き。	

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 511号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	高				
第124図	1	須恵器 蓋	埋没土 摘み部	口底	—	高	—	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付。天井部中央は回転ヘラ削り。	
第124図	2	土師器 甕	掘り方 口縁部片	口底	13.8	高	—	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。	

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 512号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	高				
第126図	1	須恵器 杯	埋没土、表採 口縁部～底部 1/4	口底	13.0	高	4.0	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第126図 PL.80	2	須恵器 杯	カマド床直上 2/3	口底	13.1	高	3.9	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第126図	3	須恵器 杯	埋没土 底部片	口底	—	高	—	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第126図	4	須恵器 杯	埋没土 底部片	口底	—	高	—	細砂粒・黒色粒/ 還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。底部は疑似高台状を呈す。	

遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高さ	厚			
第126図	5	須恵器 椀	貯蔵穴床上 28cm、埋没土 口縁部～底部片	口底 4.1	高さ —	厚 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付が剥落。	
第126図	6	須恵器 椀	南東部床直上 3/4	口底 6.0	高さ —	厚 —	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第126図	7	須恵器 椀	カマド床上8cm 口縁部片	口底 —	高さ —	厚 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。	
第126図	8	須恵器 椀	カマド床上6cm 口縁部片	口底 —	高さ —	厚 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。	
第126図	9	須恵器 椀	中央部床直上、 埋没土 底部片	口底 5.8	高さ —	厚 —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ナデ、高台を貼付。	
第126図 PL.80	10	灰釉陶器 椀	西部床直上 1/3	口底 8.0	高さ —	厚 —	微砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラナデ、高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。	光ヶ丘1号窯 式期
第126図	11	土師器 甕	カマド床直上 口縁部片	口底 —	高さ —	厚 —	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第126図	12	土師器 甕	カマド床上7cm 口縁部～胴部	口底 —	高さ —	厚 —	細砂粒/良好/にぶ い橙	内外面に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第126図 PL.80	13	土師器 甕	カマド前床上8 ～12cm 口縁部～胴部	口底 —	高さ —	厚 —	細砂粒/良好/にぶ い橙	内面胴部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第126図	14	土師器 甕	埋没土 胴部下位	口底 —	高さ —	厚 —	細砂粒/良好/にぶ い褐	胴部はヘラ削り、脚部との接合部は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。	
第127図	15	須恵器 甕	埋没土 頸部片	口底 —	高さ —	厚 —	細砂粒/還元焰/灰 黄褐	胴部に口縁部は接合。内外面ともナデ、内面にはかすかにアテ具痕が残る。	
第127図	16	須恵器 甕	南東隅床直上 胴部片	口底 —	高さ —	厚 —	細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕をほとんどナデ消している。内面はアテ具痕が残る。	
第127図 PL.80	17	鉄製品 不詳	埋没土 破片	長幅 6.0	厚 2.2	重 1.4	—/—/—	薄い板状の鉄製品で柳葉状の形状で最大幅付近に穴をあけJの字形に曲がった釘が打ち込まれているが釘および鉄製品表面に木質等の痕跡は認められない。釘孔近くで劣化破損するが他の端部は破損後錆化する。	
第127図	18	鉄製品 刀子	埋没土 破片	長幅 3.8	厚 2.6	重 0.7	—/—/—	棟・刃側ともに関を持つ刀子で、刃は関から3.5cm程で劣化破損する、茎は0.5cm程で破損錆化する。	

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 513号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高さ	厚			
第128図 PL.81	1	土師器 杯	カマド埋没土 底部片	口底 —	高さ —	厚 —	細砂粒/良好/明赤 褐	底部はヘラ削り。	外面に墨書。
第128図	2	須恵器 杯	埋没土 口縁部片	口底 —	高さ —	厚 —	細砂粒/還元焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形。	
第128図 PL.81	3	須恵器 椀	中央部床直上、 埋没土 1/2	口底 6.0	高さ —	厚 —	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第128図 PL.81	4	須恵器 椀	北西部床直上 1/2	口底 7.8	高さ —	厚 —	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	
第128図	5	須恵器 椀	南部床直上 口縁部片	口底 —	高さ —	厚 —	細砂粒/還元焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形。	
第128図	6	土師器 甕	西部床上6cm 口縁部片	口底 —	高さ —	厚 —	細砂粒/良好/赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 520号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高さ	厚			
第130図 PL.81	1	土師器 杯	土坑1 1/2	口底 6.0	高さ —	厚 —	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第130図	2	土師器 杯	南西部 口縁部～体部片	口底 —	高さ —	厚 —	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ後ヘラ磨き、器面磨滅のため単位不明。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第130図	3	土師器 杯	土坑1 口縁部～体部片	口底 —	高さ —	厚 —	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部上半はナデ、下半はヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第130図	4	土師器 鉢	土坑2 口縁部～体部小 片	口底 —	高さ —	厚 —	細砂粒/良好/橙	外面体部に輪積痕が残る。口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部がヘラナデ。	
第130図	5	土師器 甕	土坑2 底部～胴部下位 片	口底 5.7	高さ —	厚 —	細砂粒/良好/橙	底部は布目痕が残る、胴部はヘラナデ。内面は器面剥落のため不鮮明。	
第130図 PL.80	6	礫石器 磨石	北西部床上3cm ほぼ完形	長幅 15.4	厚 6.3	重 3.8	粗粒輝石安山岩	棒状の円礫を利用する。表面の中央付近に磨面が認められる。表面の縁辺部がやや赤化しており受熱の可能性ある。	

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 525号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高さ	厚			
第133図 PL.81	1	須恵器 椀	北東部床直上、 埋没土 1/3	口底 6.6	高さ —	厚 —	細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高台	胎土/焼成/色調 石材・素材等			
第133図 PL.81	2	須恵器 椀	北部床直上、床 上11cm 1/2	口底 7.0	高台 4.9 6.6	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。		
第133図 PL.81	3	須恵器 椀	南西部床直上 1/2	口底 7.3	高台 6.1 6.9	細砂粒/酸化焰/黄 灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。		
第133図	4	須恵器 椀	床下土坑1床直 上 底部～体部片	口底 7.0	高台 — 6.6	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	内面は酸化焰 焼成。	
第133図	5	須恵器 椀	床下土坑1床直 上、埋没土 底部～体部片	口底 7.3	高台 — 6.2	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。		
第133図	6	土師器 甕	床下土坑1床直 上 口縁部～胴部上 位小片	口底 17.0 —	高 — —	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部に 木口の残るヘラナデ。		
第133図	7	土師器 甕	中央部床直上、 床上8cm 口縁部～胴部上 位小片	口底 18.0 —	高 — —	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部が ヘラナデ。		
第133図	8	須恵器 甕	北西部床上8cm 胴部片	口底 — —	高 — —	細砂粒/還元焰/灰 白	外面は平行叩き後一部に回転ヘラナデ、内面は無文のアテ 具痕が残る。		

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 526号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高台	胎土/焼成/色調 石材・素材等			
第136図 PL.81	1	土師器 杯	掘り方 2/3	口底 10.7 —	高 最 6.1 11.8	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘラ削り。内面は体 部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き、口縁部は器面磨滅のた め単位不明。	内面は漆塗 か？	
第136図 PL.81	2	土師器 高杯	カマド床直上 ほぼ完形	口 脚 13.6 9.0	高 — 11.2 —	細砂粒/良好/橙	杯身部と脚部は接合か。杯身部は口縁部が横ナデ、体部 から底部はナデ、脚部は裾部まで横ナデ。内面は杯身部体 部に斜放射状ヘラ磨き。		
第136図 PL.81	3	礫石器 磨石	北壁中央床上 11cm 完形	長 幅 15.0 5.2	厚 重 6.7 769.9	粗粒輝石安山岩	棒状の垂円礫を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認め られる。表面の縁辺部に敲打痕が散在する。		
第136図 PL.81	4	礫石器 磨石	中央部西寄り床 直上 完形	長 幅 15.0 7.9	厚 重 5.7 921.5	粗粒輝石安山岩	円礫を利用する。表面のほぼ全面と左側面に磨面が認め られる。裏面の下半部が赤化しており受熱の可能性ある。		

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 503号掘立柱建物遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	厚重	胎土/焼成/色調 石材・素材等			
第139図 PL.81	1	剥片石器 石匙	P 5 埋没土 2/3	長 幅 (5.6)	4.7 厚 重 1.2 24.4	—/—/黒色頁岩	表裏面に素材剥片段階の剥離面を大きく残す。横長剥片を 素材とし、素材剥片の形態を大きく変えることなく摘み部 に二次加工が集中する。下部末端に微細剥離痕が集中する。 自然面打面であり円礫を利用する。	横型	

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 501号粘土坑遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高台	胎土/焼成/色調 石材・素材等			
第141図 PL.81	1	土師器 杯	床上14cm 一部欠損	口底 12.1 —	高 — 4.7 —	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部上半はナデ、下半から底部はヘラ削 り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き。		
第141図	2	土師器 杯	埋没土 1/2	口底 13.8 —	高 — 6.1 —	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部ナデ、底部はヘラ削り。内面は体部 に斜放射状ヘラ磨き。		
第141図	3	土師器 杯	床上15cm 1/4	口底 12.8 —	高 — 5.9 —	細砂粒/良好/明赤 褐	内面は黒色処理。口縁部は横ナデ、体部は上位から中位が ナデ、下位から底部はヘラ削り。内面は体部に斜放射状ヘ ラ磨き。		
第141図	4	土師器 杯	床直上 1/4	口底 15.0 —	高 — 7.2 —	細砂粒/良好/にぶ い褐	内面は黒色処理。口縁部は横ナデ、体部は上位から中位が ナデ、下位から底部はヘラ削り。内面は体部に雑なヘラ磨 き。		
第141図 PL.81	5	土師器 杯	床上14cm 口唇部一部欠損	口底 16.0 —	高 — 7.7 —	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部ナデ、底部はヘラ削り。内面は体部 に斜放射状ヘラ磨き。		
第141図	6	土師器 杯	埋没土 1/4	口底 11.0 —	高 最 — 12.0	細砂粒/良好/明赤 褐	内面は黒色処理。口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘ ラ削り。内面は体部から口縁部に雑なヘラ磨き。		
第141図	7	土師器 杯	床上14cm、埋没土 2/3	口底 (5.0)	高 — 5.3 —	細砂粒/良好/灰黄 褐	内面は黒色処理。口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はヘ ラ削り。内面は体部に斜放射状ヘラ磨き、器面磨滅のため 単位不明。		
第141図 PL.81	8	土師器 高杯	床上14cm 4/5	口 脚 13.2 9.2	高 — 9.3 —	細砂粒/良好/橙	杯身部内面は黒色処理。杯身部口縁部は横ナデ、底部はナ デ、脚部は上位から裾部まで横ナデ。内面は杯身部口縁部 に斜放射状ヘラ磨き。		
第141図 PL.81	9	土師器 高杯	埋没土 1/2	口 脚 12.4 9.4	高 — 9.8 —	細砂粒/良好/橙	杯身部内面は黒色処理。杯身部口縁部は横ナデ、体部はナ デ、底部はヘラ削り。脚部は上位から裾部まで横ナデ。内 面は杯身部口縁部に斜放射状ヘラ磨き。		
第141図 PL.81	10	土師器 埴	埋没土 口縁部と胴部に 一部欠損	口底 13.2 —	高 胴 16.2 18.7	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部と胴部上半は放射状ヘラ磨き、胴部下半から底部は ヘラ削り。内面は口縁部から胴部上位にヘラナデ、中位か ら底部は不鮮明。		

遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第141図 PL.82	11	土師器 甕	埋没土 3/4	口底	15.2 7.5	高 胴	27.3 23.2	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はへら削り。内面は底部から胴部がへらナデか。
第141図	12	土師器 甕	床直上、床上 13cm 口縁部～胴部上 半片	口底	16.0 —	高 —	— —	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部がへらナデ。
第141図	13	土師器 甕	埋没土 口縁部～胴部上 半片	口底	18.0 —	高 —	— —	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部がへらナデ。

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 507号土坑遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第142図 PL.82	1	土師器 杯	床直上、床上 10cm ほぼ完形	口底	12.5 —	高 —	4.9 —	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はへら削り。内面は体部に斜放射状へら磨き。
第142図	2	土師器 杯	埋没土 1/3	口底	13.0 —	高 —	4.8 —	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はへら削り。内面は体部に斜放射状へら磨き。
第142図 PL.82	3	土師器 杯	床上31cm 完形	口底	11.2 4.2	高 最	4.9 11.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はへら削り。内面は体部から口縁部に斜放射状へら磨き。
第142図 PL.82	4	土師器 杯	床上38cm 1/3	口底	11.0 —	高 最	5.5 11.8	細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は上半が横ナデ、下半はナデ、体部から底部はへら削り。内面は体部から口縁部に斜放射状へら磨き。
第142図	5	土師器 杯	床上7～19cm 1/3	口底	9.9 —	高 最	5.5 11.0	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はへら削り。内面は体部から口縁部に斜放射状へら磨き。
第142図 PL.82	6	土師器 台付甕	床直上 脚部	口底	— —	高 脚	— 7.0	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	脚部は胴部に貼付。内外面とも横ナデ。
第142図 PL.82	7	土師器 甕	床上18～35cm 口縁部～胴部上 半片	口底	18.0 —	高 —	— —	細砂粒/良好/浅黄	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部がへらナデ。

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 508号土坑遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第142図	8	土師器 甕	床上8cm 口縁部～胴部上 位小片	口底	23.2 —	高 —	— —	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は頸部から胴部がへらナデ。

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 509号土坑遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第142図	9	土師器 杯	埋没土 口縁部～体部上 半小片	口底	16.0 —	高 —	— —	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口唇端部は平坦面をつくる。口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面は体部に斜放射状へら磨き。
第142図	10	土師器 甕	埋没土 底部周囲片	口底	— 8.9	高 —	— —	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	胴部下位は外面がへら削り、内面はへらナデ。

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 692号ピット遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第147図	1	須恵器 椀	埋没土 底部～体部下位 片	口底	8.0 8.0	高 台	— 7.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 798号ピット遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第147図	2	須恵器 蓋	埋没土 口縁部片	口底	16.8 —	高 —	— —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 840号ピット遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第147図 PL.82	3	土師器 杯	床上48cm、埋没 土 2/3	口底	12.5 6.1	高 —	4.1 —	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半がへら削り、底部は手持ちへら削り。

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 遺構外出土遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第149図	1	土師器 杯	埋没土 口縁部片	口底	14.8 —	高 —	— —	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面にやや雑な斜放射状へら磨き。
第149図	2	土師器 椀	表採 口縁部片	口底	14.8 —	高 —	— —	細砂粒/酸化焰/灰 褐	ロクロ整形、回転右回りか。
第149図	3	土師器 高杯	表土 杯身底部～脚 部上位	口底	— —	高 —	— —	細砂粒/良好/にぶ い褐	杯身内面は黒色処理。杯身部と脚部は接合。杯身部底部から脚部上位は横ナデ。

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	胎土			
第149図 PL.82	4	須恵器 蓋	埋没土 完形	口底	11.2	高摘	3.3 1.9	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付。天井部は中程まで 回転ヘラ削り。
第149図	5	須恵器 杯	— 口縁部片	口底	11.8	高	—	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。
第149図	6	須恵器 杯	カクラン 口縁部片	口底	12.8	高	—	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。
第149図	7	須恵器 杯	— 底部片	口底	7.0	高	—	細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。
第149図	8	須恵器 椀	— 底部片	口底	6.8	高台	6.2	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。
第149図	9	須恵器 椀	埋没土 底部片	口底	8.0	高台	8.6	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。
第149図	10	須恵器 鉢	— 口縁部片	口底	13.7	高	—	細砂粒/良好/浅黄	口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ。
第149図	11	土師器 ロクロ甕	埋没土 口縁部1/4	口底	21.0	高	—	細砂粒/良好/橙	ロクロ整形。胴部にナデがみられる。
第149図	12	須恵器 甕	— 口縁部片	口底	26.0	高	—	細砂粒・黒色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。
第149図 PL.82	13	須恵器 甕	カクラン 口縁部片	口底	—	高	—	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。外面に5条1単位の波状文が3段巡る。
第149図	14	須恵器 甕	— 口縁部片	口底	—	高	—	細砂粒/還元焰/灰 白	外面は平行叩き痕が残る。内面はヘラナデ。

茅畑遺跡3面 遺構外遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	胎土				
第150図 PL.82	1	縄文土器 深鉢	埋没土 胴部片	口底	—	高	—	A/—/—	粗いL縄文を横位に施文し、細い浮線文を縦横に貼付して 窓枠状の区画文を構成。	諸磯b式
第150図 PL.82	2	縄文土器 深鉢	埋没土 胴部片	口底	—	高	—	A/—/—	横位の浮線文を数条施した後、粗いL縄文を横位に全面 施文する。内面は粗い横篋撫で。	諸磯b式
第150図 PL.82	3	縄文土器 深鉢	埋没土 胴部片	口底	—	高	—	A/—/—	粗いR L縄文を横位に施文し、浮線文を横位や渦巻状に施 す。	諸磯b式
第150図 PL.82	4	縄文土器 深鉢	埋没土 胴部片	口底	—	高	—	A/—/—	粗いL縄文を横位に施文し、浮線文を横位に施す。	諸磯b式
第150図 PL.82	5	縄文土器 深鉢	埋没土 口縁部片	口底	—	高	—	A/—/—	波状口縁。縄文を施文するが原体不詳。半截竹管の集合沈 線文により対弧状のモチーフを構成。	諸磯b式
第150図 PL.82	6	縄文土器 深鉢	埋没土 胴部片	口底	—	高	—	B/—/—	半截竹管の集合沈線文を縦位に施文。	諸磯c式
第150図 PL.82	7	縄文土器 深鉢	— 胴部片	口底	—	高	—	C/—/—	胴部下半にL R及びR L縄文を横位施文し、上半には半截 竹管の集合結節沈線文により横位や渦巻状のモチーフを構 成し、間隙に三角形の印刻文を施す。	晴ヶ峰式
第150図 PL.82	8	縄文土器 深鉢	— 口縁部片	口底	—	高	—	B/—/—	小波状口縁。R L縄文を横位施文し、部分的に結節沈線文 を縦位羽状に施す。	縄文前期末
第150図 PL.82	9	縄文土器 深鉢	— 胴部片	口底	—	高	—	D/—/—	R LとL Rの結束羽状縄文を横位多段に施文。	縄文前期末
第150図 PL.82	10	縄文土器 深鉢	埋没土 口縁部片	口底	—	高	—	E/—/—	口唇先端に竹管状工具による刻目を施す。以下に横位や逆 U字状の沈線文を施し、L R縄文を充填施文。	加曾利E 4式
第150図 PL.82	11	縄文土器 深鉢	埋没土 胴部片	口底	—	高	—	F/—/—	沈線懸垂文とL R縄文を縦位に施文。	加曾利E 4式
第150図 PL.82	12	縄文土器 深鉢	埋没土 胴部片	口底	—	高	—	F/—/—	沈線懸垂文とL R縄文を縦位に施文。	加曾利E 4式
第150図 PL.83	13	縄文土器 深鉢	埋没土 胴部片	口底	—	高	—	E/—/—	深く明瞭な沈線区画文を施し、区画内外にR L縄文を充填 施文。	称名寺I式
第150図 PL.83	14	縄文土器 注口土器	埋没土 胴部片	口底	—	高	—	G/—/—	細い隆帯文の両側に沿って沈線文を施す。内外面共に丁寧 な磨き。	堀之内2式
第151図 PL.83	15	縄文土器 深鉢	— 口縁部片	口底	—	高	—	A/—/—	捻転状突起を持つ波状口縁。横位沈線文と斜線文を施す。 内面は丁寧な横位磨き。	加曾利B 2式
第151図 PL.83	16	縄文土器 深鉢	P 9埋没土 胴部片	口底	—	高	—	A/—/—	横線区画文間に篋状工具による刻目を施す。	加曾利B 2式
第151図 PL.83	17	縄文土器 深鉢	P 1245埋没土 胴部片	口底	—	高	—	A/—/—	胴上半部に横線文と羽状の斜線文を施す。内面横位磨き。	加曾利B 2式
第151図 PL.83	18	剥片石器 石錐	ローム層 ほぼ完形	長幅	(5.3)	厚重	0.9 9.4	—/—/輝緑凝灰岩	先端部を中心に両面加工により整形する。先端部欠損。	

鳴上I遺跡A区3面 2号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	胎土				
第154図 PL.83	1	弥生土器 甕	南部東寄り床直 上 口縁部～頸部完 存	口底	14.6	高	—	A/—/—	櫛描波状文を複合口縁部に1帯、口縁～頸部に2帯施す。 括れ部に同工具の2連止め簾状文を、胴部に波状文を施文。 施文具6歯11mm。外面頸部に煤炭灰化物付着、内面丁寧な 横位磨き。	樽式
第154図 PL.83	2	弥生土器 甕	東南南寄り床直 上 口縁部～頸部完 存	口底	14.7	高	—	A/—/—	複合口縁部に指頭状の押さえ痕が残存。櫛描波状文を口 縁～頸部に3帯施す。括れ部に同工具の2連止め簾状文を、 胴部に波状文を施文。施文具5～8歯11mm。内面丁寧な横 位磨き。	樽式

遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	径			
第154図 PL.83	3	弥生土器 台付甕	埋没土 口縁部片	口底	—	高 —	B/—/—	単口縁で器厚が薄い。外面横撫で後に斜位刷毛目、内面横刷毛目。	
第154図 PL.83	4	弥生土器 甕	P 5埋没土 胴下半～底部 1/8	口底	(7.0)	高 —	A/—/—	内外面横位磨き。内面やや被熱風化。	樽式
第154図 PL.83	5	弥生土器 台付甕	P 3 床上12cm 台部上半完存	口底	—	高 —	A/—/—	脚部外面縦位磨き、内面横位撫で。	樽式
第155図 PL.83	6	弥生土器 壺	南部東寄り床上 9cm、埋没土 胴下半～底部 1/8	口底	(9.4)	高 —	A/—/—	底部外面に玄米と想定される圧痕が十数点あり。外面横位撫で後横・斜位磨き、内面横位磨き。外面一部に煤状炭化物付着。	樽式
第155図 PL.83	7	弥生土器 壺	南西部床直上～ 床上29cm 胴部片	口底	—	高 —	A/—/—	肩部に櫛描波状文を複数段に施す。施文具9歯17mm。外面横位磨き。内面やや風化、一部に煤状炭化物付着。	樽式
第155図 PL.83	8	弥生土器 瓢壺	東部床直上 口縁部1/6	口底	(8.4)	高 —	A/—/—	外面縦位磨き、内面やや粗雑な横位磨き。	東海系
第155図 PL.83	9	弥生土器 壺	東部床直上 底部1/6	口底	(4.9)	高 —	A/—/—	外面縦位磨き、内面横位撫で。	樽式
第155図 PL.83	10	弥生土器 壺	埋没土 底部1/6	口底	(4.8)	高 —	A/—/—	外面縦・斜位磨き、内面磨き。外面は燻べ焼き状の黒色。	樽式
第155図 PL.83	11	弥生土器 高杯	埋没土 口縁部片	口底	—	高 —	A/—/—	内外面赤色塗彩。	樽式
第155図 PL.83	12	弥生土器 高杯	P 1埋没土 口縁部片	口底	(14.5)	高 —	A/—/—	内外面横位磨き。	樽式
第155図 PL.83	13	弥生土器 高杯	南部床直上 脚部上半完存	口底	—	高 —	A/—/—	脚部外面縦位磨き、内面横位撫で。	樽式
第155図 PL.83	14	弥生土器 高杯	P 1埋没土 脚部上半完存	口底	—	高 —	A/—/—	脚部外面縦位磨き。	樽式
第155図 PL.83	15	弥生土器 高杯	南西隅床上10cm 脚部上半完存	口底	—	高 —	A/—/—	杯部内面・脚部外面縦位磨き。	樽式
第155図 PL.83	16	弥生土器 高杯	南部西寄り床直 上 脚部上半完存	口底	—	高 —	A/—/—	杯部内面縦位磨き。脚部外面縦位磨き、内面横位撫で。	樽式
第155図 PL.83	17	弥生土器 蓋	P 3埋没土 摘部完存	口 —	—	高 摘 径 (2.8)	A/—/—	外面縦位撫で、内面横位撫で。	樽式
第155図 PL.83	18	弥生土器 紡輪	西壁南寄り床直 上 完存	径	3.4	厚 重 1.4 16.6	A/—/—	上下面共に櫛歯状工具による刺突文を施す。径約6mmの軸穴孔が穿孔されている。	樽式期

嶋上 I 遺跡 A区 3面 3号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	径			
第161図 PL.83	1	弥生土器 甕	2・3号住居埋 没土 口縁部～胴部上 半2/3	口底	(10.4)	高 —	A/—/—	口縁～頸部に1帯櫛描波状文を施文後、口唇部に幅狭な簾状文を施す。括れ部に4～5連止め簾状文を、胴部に波状文を施文。施文具8歯18mm。外面口縁部に煤状炭化物付着、内面丁寧な横位磨き。	樽式
第161図 PL.83	2	弥生土器 甕	北東隅ベッド状 遺構床上6～ 19cm 口縁部～頸部完 存	口底	(15.8)	高 —	A/—/—	櫛描波状文を複合口縁部に1帯、口縁～頸部に2帯施す。括れ部に同工具の3連止め簾状文を、胴部に波状文を施文。施文具6～8歯15～18mm。外面頸部に煤状炭化物付着、内面丁寧な横位磨き。	樽式
第161図 PL.83	3	弥生土器 甕	北西隅ベッド状 遺構床上43cm、 2号住居埋没土 口縁部1/8	口底	(13.7)	高 —	A/—/—	櫛描波状文を複合口縁部と口縁～頸部に1帯施す。括れ部には3連止め簾状文を施文。施文具8歯15mm。内面丁寧な横位磨き。	樽式
第161図 PL.83	4	弥生土器 甕	中央部床上6cm、 埋没土 口縁部1/4	口底	(16.0)	高 —	A/—/—	櫛描波状文を複合口縁部に1帯、口縁～頸部に2帯施す。括れ部には簾状文を施文。施文具8歯16mm。内面丁寧な横位磨き。	樽式
第161図 PL.83	5	弥生土器 甕	南西部床直上、 2号住居埋没土 口縁部1/8	口底	(16.0)	高 —	A/—/—	複合口縁。外面縦位、内面横位のやや粗い磨き。	樽式
第161図 PL.83	6	弥生土器 甕	西部北寄り床直 上～床上10cm、 2号住居埋没土、 埋没土 胴部2/3	口底	—	高 —	A/—/—	括れ部に3連止め櫛描簾状文を、胴部上半に波状文を5帯施す。施文具8歯15mm。外面一部に煤状炭化物付着。内面丁寧な横位磨き。	樽式
第161図 PL.83	7	弥生土器 甕	西部床直上 胴部1/4	口底	—	高 —	A/—/—	括れ部に櫛描簾状文を、胴部に波状文を複数帯施す。施文具8歯15mm。外面一部に煤状炭化物付着。外面胴部下半横位磨き、内面横位磨きで丁寧な横位磨き。	樽式
第161図 PL.83	8	弥生土器 台付甕	北西部ベッド状 遺構床上9cm 台部欠損	口底	11.7	高 —	A/—/—	櫛描波状文を複合口縁部に1帯、部分的ながら口縁～頸部に1帯施す。括れ部に3連止め簾状文を、胴部上半に波状文を1帯施文。施文具10歯12mm。外面下半及び内面共に横位磨き。	樽式
第161図 PL.83	9	弥生土器 壺	P 6 床上17cm 口縁部1/6	口底	(15.8)	高 —	C/—/—	外面縦位磨きで後一部横位磨き、内面横位撫で後粗い横位磨き。	弥生後期前葉

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口径	高さ	底径			
第161図 PL.83	10	弥生土器 壺	西部中央床直上 完存	口径 9.0 6.9	高さ — —	底径 19.7 —	A/-/-	外面は口縁～頸部縦位磨き、肩～底部横位磨き。内面口縁～頸部横位磨き。外面の口縁～頸部及び体部下半～底部に煤状炭化物付着。	
第161図 PL.83	11	弥生土器 壺	P 6 床上14cm 口縁部片	口径 (11.4) —	高さ — —	底径 — —	A/-/-	外面縦位、内面横位の磨き。	樽式
第161図 PL.83	12	弥生土器 壺	P 6 床上17～ 19cm 口縁部1/8	口径 (12.4) —	高さ — —	底径 — —	A/-/-	外面縦位、内面横位の磨き。	樽式
第161図 PL.84	13	弥生土器 壺	埋没土 口縁部片	口径 — —	高さ — —	底径 — —	A/-/-	複合口縁。口唇外端及び口縁部に篋状工具による縦位の刻目を施す。内面横位磨き。	樽式
第161図 PL.84	14	弥生土器 壺	埋没土 底部完存	口径 — 6.2	高さ — —	底径 — —	A/-/-	内外面共に横位磨き。	樽式
第161図 PL.84	15	弥生土器 壺	北部中央床上 14cm 底部完存	口径 — 5.7	高さ — —	底径 — —	A/-/-	内外面共に横・斜位磨き。	樽式
第161図 PL.84	16	弥生土器 鉢	南西部床直上 ほぼ完存	口径 10.9 5.3	高さ — —	底径 4.2 —	A/-/-	外面縦位、内面横・斜位の磨き。外面やや風化。	樽式
第161図 PL.84	17	弥生土器 高杯	南西部床直上～ 埋没土 杯部完存	口径 12.8 —	高さ — —	底径 — —	A/-/-	杯部内外面共に横位磨き。	樽式
第161図 PL.84	18	弥生土器 高杯	北西隅ベッド状 遺構床直上 完存(脚部一部 欠損)	口径 11.6 8.9	高さ — —	底径 9.2 —	A/-/-	杯部内外面共に横位磨き。脚部外面上～下位縦位・裾部横位の磨き、内面横位の撫で。	樽式
第161図 PL.84	19	弥生土器 高杯	北東部床直上 脚部完存	口径 — 12.4	高さ — —	底径 — —	A/-/-	脚部外面縦位磨き、内面螺旋状の横位撫で。	樽式
第161図 PL.84	20	弥生土器 高杯	西部～北西部 ベッド状遺構床 上14～44cm、 埋没土 脚部完存(杯部 欠損)	口径 — 15.0	高さ — —	底径 — —	A/-/-	杯部と脚部との結合部位に臍的な粘土塊を押し当てた痕跡が残存。脚部の透かし孔は5カ所で、外面縦・横位の磨き、内面螺旋状の横位撫で。	
第161図 PL.84	21	弥生土器 高杯	西部床上5cm 脚部完存	口径 — 9.9	高さ — —	底径 — —	A/-/-	脚部外面縦位磨き、内面横位撫で。	樽式
第161図 PL.84	22	弥生土器 高杯	埋没土 脚部上半完存	口径 — —	高さ — —	底径 — —	A/-/-	杯部内外面共に横位磨き。脚部外面縦位磨き、内面螺旋状の横位磨き。	樽式
第161図 PL.84	23	弥生土器 高杯	南部床上23cm 脚部上半完存	口径 — —	高さ — —	底径 — —	A/-/-	杯部内外面共に横位磨き。脚部外面縦位の丁寧な磨き、内面横位撫で。	樽式
第161図 PL.84	24	弥生土器 器台	北部中央床直上 台部上半完存	口径 — —	高さ — —	底径 — —	A/-/-	杯部内面横位、脚部外面縦位の磨き。	樽式
第161図 PL.84	25	弥生土器 勾玉	埋没土 1/2	長幅 (3.0) 1.9	厚重 (3.0) 10.9	底径 — —	A/-/-	下半部が残存。全体的に磨き状の磨き。	樽式期
第161図 PL.84	26	須恵器 杯蓋	表土 口縁部片	口径 13.8 —	高さ — —	底径 — —	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。天井部中ほどは回転ヘラ削り。	
第161図 PL.84	27	石製品 砥石	南西部床上8cm 不明	長幅 (10.8) (7.2)	厚重 (10.0) 726.2	底径 — —	粗粒輝石安山岩	正面は研ぎ減りにより内湾する。石質は粗粒であり荒砥ととらえられる。	

嶋上 I 遺跡 A 区 3 面 4 号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口径	高さ	底径			
第166図 PL.84	1	弥生土器 甕	南東部床上6cm 口縁部～胴部上 半1/4	口径 (13.9) —	高さ — —	底径 — —	A/-/-	口縁～頸部及び胴上半部に櫛描波状文を各3帯施す。括れ部に同工具の2～3連止め簾状文を施文。施文具6歯8～12mm。外面全体に煤状炭化物付着、内面丁寧な横位磨き。	樽式
第166図 PL.84	2	弥生土器 甕	北壁直下中央部 床直上 胴部片	口径 — —	高さ — —	底径 — —	A/-/-	胴部上半に粗雑な櫛描波状文を複数帯施す。施文具6歯17mm。外面胴上半部横位、下半部縦位磨き。内面横・斜位磨き。外面胴上半部、内面下半部に煤状炭化物付着。	樽式
第166図 PL.84	3	弥生土器 甕	P 24 床上15cm 口縁部完存	口径 6.9 —	高さ — —	底径 — —	A/-/-	複合口縁。頸部に1～2連止めの櫛描簾状文を1帯施す。施文具5歯10mm。外面口縁部横位撫で、内面横位磨き。	樽式
第166図 PL.84	4	弥生土器 壺	埋没土 口縁部片	口径 — —	高さ — —	底径 — —	A/-/-	外面は複合口縁部横位撫で、以下縦位磨き。内面横位磨き。	樽式
第166図 PL.84	5	弥生土器 壺	P 6 埋没土 口縁部1/4	口径 (21.0) —	高さ — —	底径 — —	A/-/-	複合口縁部上面に棒状工具による2列の連続刻目を施す。外面やや風化、内面横位磨き。内外面共に浅黄橙色。	樽式
第166図 PL.84	6	弥生土器 甕	炉1埋没土 口縁部片	口径 (18.0) —	高さ — —	底径 — —	A/-/-	複合口縁。外面横位撫で、内面横位磨き。	樽式
第166図 PL.84	7	弥生土器 鉢	南部中央床上 12cm 口縁部1/2底部 完存	口径 (14.9) 6.1	高さ — —	底径 6.6 —	D/-/-	外面縦位磨きで後、横位撫で。内面横位磨きで。内外面共にやや被熱風化。	樽式
第166図 PL.84	8	弥生土器 高杯	中央～北部床直 上、埋没土 口縁部1/2	口径 (21.0) —	高さ — —	底径 — —	A/-/-	内外面共に横位磨き。	樽式
第166図 PL.84	9	弥生土器 高杯	南部中央床直 上、埋没土 口縁部1/5	口径 (17.5) —	高さ — —	底径 — —	A/-/-	外面横位磨き。内面上半部横位、下半部斜位磨き。	樽式

遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	厚重				
第166図 PL.84	10	弥生土器 高杯	南部中央床上 13cm 杯部下半～脚部 上半完存	口底	—	高	—	A/—/—	杯部内外面共に横位磨き。脚部外面縦位磨き、内面横位磨き。	
第166図 PL.84	11	弥生土器 高杯	P 6 床上20cm 脚部上半完存	口底	—	高	—	A/—/—	外面縦位磨き、内面横位磨き。	樽式
第166図 PL.84	12	弥生土器 高杯	中央部床上19cm 脚部上半完存	口底	—	高	—	A/—/—	4 単位の透かし孔。脚部外面縦・斜位磨き、内面横位磨き。	
第166図 PL.84	13	弥生土器 紡輪	P 6 床上24cm 完存	径	4.4	厚重	1.5 43.8	A/—/—	側面周縁部1/2は剥落破損。径約10mmの軸穴孔が穿孔されている。	樽式期

嶋上 I 遺跡 B 区 3 面 505号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	厚重				
第171図 PL.84	1	弥生土器 甕	炉 1 床直上 口縁部1/4	口底	(16.0)	高	—	A/—/—	櫛描波状文を複合口縁部に 1 帯、口縁～胴部上半にかけて 4 帯以上施す。施文具10歯16mm。内面丁寧な横位磨き。内外面共にやや被熱風化。	樽式
第171図 PL.84	2	弥生土器 甕	西壁直下中央部 床直上、埋没土 口縁部1/6	口底	(16.0)	高	—	A/—/—	櫛描波状文を複合口縁部に 1 帯、口縁～頸部に 3 帯施す。施文具 7 歯12mm。内面丁寧な横位磨き。	樽式
第171図 PL.84	3	弥生土器 甕	北西部床上10cm 口縁部片	口底	—	高	—	A/—/—	櫛描波状文を複合口縁部に 1 帯、口縁～頸部に複数帯施す。施文具 7 歯15mm。内面丁寧な横位磨き。	樽式
第171図 PL.84	4	弥生土器 小型台付甕	東部床上14cm、 西部床直上、埋 没土 口縁部～底部 3/4	口底	9.8 7.2	高	11.6	A/—/—	口縁部に粗雑な櫛描波状文を 1 帯、頸部に 2 連止め簾状文を施す。施文具 7～8 歯11～13mm。外面胴上半部横位、下半部縦位の磨き状磨き。内面口縁～頸部横位、胴部縦位の磨き。	樽式
第171図 PL.84	5	弥生土器 壺	南東部床上 23cm、南西部床 上 8 cm、埋没土 口縁部1/4	口底	(18.0)	高	—	A/—/—	2 段の複合口縁部に篋状工具による縦位の連続刻目を施す。外面縦刷毛目、内面横位磨き。	樽式
第171図 PL.84	6	弥生土器 壺	南東部床上27cm 底部完存	口底	—	高	—	A/—/—	外面縦位磨き、内面横位磨き。	樽式
第171図 PL.84	7	弥生土器 壺	中央部南寄り床 上21cm 底部完存	口底	—	高	—	A/—/—	内外面共に丁寧な磨き。	樽式
第171図 PL.84	8	弥生土器 高杯	中央東寄り床上 14cm 胴部片	口底	—	高	—	A/—/—	杯部内外面と脚部外面赤色塗彩。脚部内面螺旋状の横位磨き。	樽式
第171図 PL.84	9	弥生土器 高杯	P 9 床上44cm 脚部上半完存	口底	—	高	—	A/—/—	杯部内面斜位、脚部外面縦位の磨き。脚部内面横位磨き。	樽式
第171図	10	須恵器 杯	埋没土 口縁部片	口底	13.4	高	—	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。	
第171図	11	須恵器 杯	埋没土 底部片	口底	7.2	高	—	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第171図	12	須恵器 鉢	埋没土 口縁部片	口底	11.8	高	—	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。	
第171図	13	須恵器 長頸壺	埋没土 底部1/4	口底	—	高台	6.8	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。底部はヘラナゲ、高台は貼付。	

嶋上 I 遺跡 B 区 3 面 508号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	厚重				
第176図 PL.84	1	弥生土器 甕	南隅床直上、埋 没土 口縁部完存	口底	14.0	高	—	A/—/—	やや乱雑な櫛描波状文を複合口縁部に 1 帯、口縁～頸部に 3～4 帯施す。括れ部には簾状文を施文。施文具 5 歯10mm。外面口縁部に煤状炭化物付着、内面丁寧な横位磨き。	樽式
第176図 PL.84	2	弥生土器 甕	南隅床直上 口縁部完存	口底	14.1	高	—	A/—/—	やや粗雑な櫛描波状文を複合口縁部～頸部にかけて 3 帯施す。括れ部には簾状文を施文。施文具 6 歯19mm。外面頸部に煤状炭化物付着、内面丁寧な横位磨き。	樽式
第176図 PL.84	3	弥生土器 甕	貯蔵穴埋没土 口縁部片	口底	(9.0)	高	—	A/—/—	櫛描波状文を複合口縁部～頸部にかけて施す。内面丁寧な横位磨き。	樽式
第176図 PL.84	4	弥生土器 甕	南隅周溝床上10 cm 底部完存	口底	—	高	—	A/—/—	内外面共に横位磨き。内面に煤状炭化物付着。	樽式
第176図 PL.84	5	弥生土器 甕	埋没土 口縁部片	口底	—	高	—	A/—/—	やや粗雑な櫛描波状文を複合口縁部～頸部にかけて施す。内面丁寧な横位磨き。	樽式
第176図 PL.85	6	弥生土器 甕	土坑 2 埋没土 口縁部片	口底	—	高	—	A/—/—	櫛描波状文を複合口縁部と口縁～頸部に各 1 帯施す。括れ部には簾状文を施文。施文具 9 歯16mm。内面丁寧な横位磨き。	樽式
第176図 PL.85	7	弥生土器 台付甕	埋没土 脚部1/2	口底	—	高	—	A/—/—	脚部外面縦位磨き、内面横位磨き。	樽式

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	重				
第176図 PL.85	8	弥生土器 壺	南隅床上7cm、 埋没土 口縁部～胴部 1/3	口底	(19.8)	高	—	A/—/—	複合口縁。括れ部に3～5連止め櫛描簾状文を施し、以下の胴部上半に櫛描羽状文と2帯の波状文を施文。施文具は、羽状文が13歯25mm、簾状文・波状文が11歯15mm。外面口縁～頸部縦位刷毛目後匏撫で、胴部下半横位匏撫で後横位匏磨き。内面磨き状の横位匏撫で。胴部下半に煤状炭化物附着。	樽式
第176図 PL.85	9	弥生土器 壺	P20床上17cm、 貯蔵穴床上39cm 口縁部1/4	口底	(18.0)	高	—	A/—/—	複合口縁部に棒状工具による縦位の連続刻目文を3帯に施す内外面共に横位匏磨き。器色は浅黄褐色。	樽式
第176図 PL.85	10	弥生土器 壺	土坑2埋没土 胴部片	口底	—	高	—	A/—/—	外面横位匏磨き、内面横位匏撫で。	樽式
第176図 PL.85	11	弥生土器 壺	土坑2埋没土 底部完存	口底	—	高	—	A/—/—	外面横位匏磨き、内面横位匏撫で。	樽式
第176図 PL.85	12	弥生土器 壺	炉2床直上 肩部片	口底	—	高	—	D/—/—	肩部に櫛描羽状文・波状文・横線文を施す。施文具12歯22mm。内外面横位匏磨き。破片下部に二次的被熱による風化と煤の吸着あり。	樽式
第176図 PL.85	13	弥生土器 高杯	北隅床直上 ほぼ完存	口底	10.7 12.2	高	9.6	A/—/—	脚部は上下2段に各4単位の透かし孔を交互に穿つ。杯部内外面共に横位匏磨き。脚部外面縦位と裾部横位の匏磨き、内面横位匏撫で。脚裾部内外面に煤状炭化物附着。	樽式
第176図 PL.85	14	弥生土器 高杯	北西壁直下中央 部床直上 脚部完存	口底	— 9.8	高	—	A/—/—	脚部外面縦位匏磨き、内面横位匏撫で。外面下半部に煤状炭化物附着。	樽式
第176図 PL.85	15	弥生土器 高杯	土坑2埋没土 脚部完存	口底	— 7.0	高	—	A/—/—	脚部外面縦位匏磨き、内面横位匏撫で。	樽式
第176図 PL.85	16	弥生土器 ミニチュア 土器	土坑2埋没土 ほぼ完存	口底	2.8 2.0	高	4.3	A/—/—	手捏ねによるミニチュアの甕形土器で、内外面に指押さえ痕が残存。	樽式期
第176図 PL.85	17	弥生土器 紡輪	P18床上57cm 完存	径	4.4	厚 重	1.0 25.4	A/—/—	上下面共に丁寧な匏磨き。径約5mmの軸穴孔が穿孔されている。	樽式期
第176図 PL.85	18	弥生土器 紡輪	北西隅ベッド状 遺構床直上 完存	径	4.6	厚 重	1.4 39.5	A/—/—	上下面共に丁寧な匏磨き。径約6mmの軸穴孔が穿孔されている。	樽式期
第176図 PL.85	19	弥生土器 土玉	炉1床直上 完存	径	1.1	— 重	— 1.0	A/—/—	数珠玉状の土製品。孔径0.2×直径1.0cm。	樽式期

嶋上 I 遺跡 B区 3面 514号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	重				
第179 PL.85	1	弥生土器 甕	埋没土 口縁部1/8	口底	(13.4)	高	—	A/—/—	櫛描の波状文を口縁部に2帯、括れ部に簾状文を1～2帯、胴部に波状文を施文。施文具6歯12mm。内面丁寧な横位匏磨き。	樽式
第179	2	土師器 杯	埋没土 口縁部片	口底	10.2	高	(6.4)	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第179 PL.85	3	土師器 杯	西部床直上、埋 没土 3/4	口底	11.4	高	5.4	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第179	4	土師器 杯	埋没土 口縁部片	口底	12.4	高	—	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部ヘラ削り。内面体部は斜放射状ヘラ磨き。	
第179	5	土師器 杯	埋没土 口縁部片	口底	13.8	高	—	細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は横ナデ、体部と底部はヘラ削り。内面はヘラ磨きか、器面磨滅のため単位不明。	
第179 PL.85	6	土師器 甕	埋没土 口縁部片	口底	16.8	高	—	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面は胴部がヘラナデ。	
第179 PL.85	7	須恵器 瓶	埋没土 底部	径	6.0～ 5.8	厚	0.9	細砂粒/還元焰/黄 灰	表裏ともナデ。中央の孔径0.7cm、周囲の孔径0.4cm。	

嶋上 I 遺跡 B区 3面 515号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	重				
第182図 PL.85	1	弥生土器 甕	P7埋没土 口縁部1/5	口底	(12.2)	高	—	A/—/—	櫛描波状文を複合口縁部に1帯、口縁～頸部に3帯施す。括れ部に2連止め簾状文を、胴部に波状文を施文。施文具11歯13mm。内外面共に被熱風化。	樽式
第182図 PL.85	2	弥生土器 台付甕	P7埋没土 口縁部片	口底	—	高	—	A/—/—	櫛描波状文を複合口縁部及び口縁～頸部に1帯施す。括れ部に2連止め簾状文を、胴部に波状文を施文。施文具9歯12mm。外面一部に煤状炭化物附着、内面丁寧な横位匏磨き。	樽式
第182図 PL.85	3	弥生土器 壺	P9・10埋没土 口縁部1/5	口底	(21.1)	高	—	A/—/—	複合口縁部に棒状工具による縦位の連続刻目文を2帯施文。内面横位匏磨き。	樽式
第182図 PL.85	4	弥生土器 壺	P10埋没土、表 採 口縁部1/4	口底	(13.0)	高	—	A/—/—	複合口縁。外面横位匏撫で、内面丁寧な横位匏磨き。	樽式
第182図 PL.85	5	弥生土器 壺	西隅床直上 胴部～底部2/3	口底	— 5.8	高	—	A/—/—	内外面共に丁寧な横位匏磨き。	樽式
第182図 PL.85	6	弥生土器 高杯	埋没土 脚部1/2	口底	—	高	—	F/—/—	丸棒状の長い脚部を持つ。縦位の丁寧な匏磨き。器色は明赤褐色。	樽式

遺物観察表

鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 516号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	厚			
第185図 PL.85	1	弥生土器 甕	埋没土 口縁～頸部1/3	口底 —	(16.2) —	高 —	A/-/-	櫛描波状文を複合口縁部に1帯、口縁～頸部に3帯施文し、胴上半部にも施す。括れ部に3連止め簾状文を施文。施文具8歯18mm。内面横位磨き。	樽式
第185図 PL.85	2	弥生土器 小型甕	埋没土 口縁～頸部1/3	口底 —	(11.6) —	高 —	A/-/-	櫛描波状文を複合口縁部と口縁～頸部および胴上半部に各1帯施文。括れ部に3連止め簾状文を施文。施文具7歯10mm。外面やや被熱風化、内面横位磨き。	樽式
第185図 PL.85	3	弥生土器 小型甕	北西隅床直上、 埋没土 口縁部～胴部 1/2	口底 —	9.6 —	高 —	A/-/-	やや歪んだ器形。櫛描波状文を口縁部に2帯、胴上半部に3帯施す。括れ部に同工具の3連止め簾状文を施文。施文具5歯6mm。内外面共にやや被熱風化。内面横位磨き。	樽式
第185図 PL.85	4	弥生土器 小型甕	北西隅床直上、 埋没土 口縁部～底部 1/2	口底 —	9.2 —	高 —	A/-/-	やや乱雑な櫛描波状文を複合口縁部と口縁～頸部に各1帯、胴上半部に3帯施す。括れ部に2連止め簾状文を施文。施文具7歯9mm。外面胴下半部縦位磨き、内面横位磨き。内外面共にやや被熱風化。	樽式
第185図 PL.86	5	弥生土器 小型甕	北西隅床直上、 埋没土 口縁部～胴上半 1/4	口底 —	(12.6) —	高 —	A/-/-	櫛描波状文を複合口縁部と口縁～頸部に各1帯、胴上半部に3帯施す。括れ部に2連止め以上の簾状文を施文。施文具6歯12mm。外面胴下半部縦位磨き、内面横位磨き。外面胴下半部と内面口縁部の一部に煤状炭化物付着。	樽式
第185図 PL.86	6	弥生土器 小型甕	北西隅床直上、 埋没土 口縁～頸部1/3	口底 —	(11.8) —	高 —	A/-/-	櫛描波状文を低平な複合口縁部と口縁～頸部に各1帯、胴上半部に複数帯施す。括れ部に3連止め簾状文を施文。施文具8歯12mm。外面胴下半部縦位磨き、内面丁寧な横位磨き、外面口縁部の一部に煤状炭化物付着。	樽式
第185図 PL.86	7	弥生土器 壺	北西隅床直上、 埋没土 頸部～胴上半部 片	口底 —	—	高 —	G/-/-	括れ部に3連止め櫛描簾状文を施文。施文具11歯12mm。肩部～胴部にかけてR L縄文を横位多段に施文。内外面共に横位磨き。	樽式と吉ヶ谷 津式の折衷
第185図 PL.86	8	弥生土器 壺	北西隅床直上、 埋没土 胴部片	口底 —	—	高 —	G/-/-	7と同一個体。R L縄文を横位多段に施文後、櫛描工具による刺突文を付加したボタン状貼付文を施す。	樽式と吉ヶ谷 津式の折衷
第185図 PL.86	9	弥生土器 壺	中央部床直上 底部完存	口底 —	—	高 —	A/-/-	外面磨き状の横位磨きで、内面横位磨きで。	樽式
第185図 PL.86	10	弥生土器 高杯	炉床直上、埋没 土、掘り方埋没 土 杯部3/4	口底 —	12.2 —	高 —	A/-/-	内外面共に赤色塗彩およびやや被熱風化。	樽式
第185図 PL.86	11	弥生土器 高杯	埋没土 口縁部片	口底 —	—	高 —	A/-/-	複合口縁。内外面共にやや被熱風化。	吉ヶ谷津式
第185図 PL.86	12	弥生土器 高杯	埋没土 口縁部片	口底 —	—	高 —	A/-/-	内外面共に丁寧な横位磨き。	樽式
第185図 PL.86	13	弥生土器 高杯	中央～西北部床 直上、埋没土 脚部ほぼ完存	口底 —	—	高 —	A/-/-	外面縦位磨き、内面横位磨きで。	樽式
第185図 PL.86	14	弥生土器 紡輪	北東隅床直上 完存	径 —	4.6 —	厚 1.1 28.2	A/-/-	上下面共に丁寧な磨き。径約6mmの軸穴が穿孔されている。	樽式期
第185図 PL.86	15	弥生土器 紡輪	北東隅床直上 1/2	径 —	5.1 —	厚 (0.7) 19.1	A/-/-	上下面共に丁寧な磨き。下面側は輪切り状に欠損。径約6mmの軸穴が穿孔されている。	樽式期
第185図 PL.86	16	剥片石器 石鏃	北部中央床上 16cm 完形	長 幅 —	3.9 1.8	厚 重 0.5 2.1	-/-/流紋岩	押圧剥離により整形する。	凸基有茎鏃

鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 517号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	厚			
第188図 PL.86	1	弥生土器 甕	埋没土 口縁部～胴上半 完存	口底 —	(12.8) —	高 —	A/-/-	やや乱雑な櫛描波状文を低位な複合口縁部に1帯、口縁～頸部に2帯施す。括れ部に2連止め簾状文を、胴上半部に波状文を3帯施文。施文具5歯7mm。外面やや被熱風化、内面丁寧な横位磨き。	樽式
第188図 PL.86	2	弥生土器 甕	北東部床直上 口縁部～胴上半 完存	口底 —	13.3 —	高 —	A/-/-	櫛描波状文を複合口縁部に1帯、口縁～頸部に2帯施す。括れ部に3連止め簾状文を、胴上半部に波状文を複数帯施文。施文具13歯14mm。内面横位磨き。	樽式
第188図 PL.86	3	弥生土器 甕	中央部北寄り 床上6・14cm、 515号住居床直 上 口縁部～胴上半 3/4	口底 —	14.0 —	高 —	A/-/-	櫛描波状文を複合口縁部及び口縁～頸部に各1帯施す。括れ部に3連止め簾状文を、胴上半部に波状文を1帯施文。施文具9歯11mm。外面やや被熱風化、内面丁寧な横位磨き。	樽式
第188図 PL.86	4	弥生土器 小型壺	中央部～西壁床 上10～17cm、 埋没土 頸部～底部完存	口底 —	—	高 —	A/-/-	括れ部に3連止め櫛描簾状文を、胴上半部に波状文を1帯施文。口縁～頸部は波状文を複数帯施文か。施文具9歯11mm。内外面共に横位磨き。外面やや被熱風化。	樽式
第188図 PL.86	5	弥生土器 甕	北東部床直上 胴上半部1/3	口底 —	—	高 —	A/-/-	括れ部に3連止め櫛描簾状文を、胴上半部に羽状文を3帯施文。施文具8歯16mm。内外面共に横位磨き。外面全体及び内面一部に煤状炭化物付着。	樽式
第188図 PL.86	6	弥生土器 甕	埋没土 胴部片	口底 —	—	高 —	A/-/-	櫛描波状文を胴上半部に3帯、口縁～頸部は複数帯施文か。括れ部に2連止め簾状文を施文。施文具5～7歯9～11mm。内面横位磨き、内外面共に煤状炭化物付着。	樽式

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	厚			
第188図 PL.86	7	弥生土器 台付甕	P 4 埋没土 口縁部1/8	口底 —	(11.2) 高	—	A/-/-	括れ部に櫛描簾状文を施文。施文具8歯10mm。外面横位撫で、内面横位磨き。	樽式
第188図 PL.86	8	弥生土器 台付甕	埋没土 脚台部ほぼ完存	口底 10.6	高 —	—	A/-/-	内面底部横位磨き。脚部外面縦位磨き、内面横位刷毛目。脚部外面やや被熱風化。	樽式
第188図 PL.86	9	弥生土器 壺	中央部北寄り床 上6cm、埋没土 胴下半～底部完 存	口底 9.0	高 —	—	D/-/-	外面横位刷毛目後、横位磨き。内面横位刷毛目後、粗い横位磨き。内面やや風化。	樽式
第188図 PL.86	10	弥生土器 壺	北西壁直下北寄 り床上20cm、埋 没土 口縁部～頸部 1/2	口底 —	(15.1) 高	—	D/-/-	複合口縁。括れ部に2連止め櫛描簾状文を、肩部に櫛描羽状文を施文。施文具9歯15mm。頸部外面縦位撫で、内面横位磨き。	樽式
第188図 PL.86	11	弥生土器 鉢	北隅床上8cm、 埋没土 口辺～底部1/3	口底 (13.9) (4.7)	高 —	6.4 —	A/-/-	外面口辺部・底部横位、体部縦位の磨き。内面縦位磨き。	樽式
第188図 PL.86	12	弥生土器 高杯	北西壁直下北寄 り床上13cm 杯下半～結合部 完存	口底 —	高 —	—	A/-/-	杯部内外面共に丁寧な横位磨き。結合部外面縦位磨き、内側に臍状の粘土塊を押し込んだ成形痕あり。	樽式
第188図 PL.86	13	弥生土器 高杯	南部床直上 脚部ほぼ完存	口底 11.3	高 —	—	A/-/-	外面縦位磨き、内面横位撫で。	樽式
第188図 PL.86	14	弥生土器 高杯	南西隅床上17cm 脚部完存	口底 10.2	高 —	—	A/-/-	外面丁寧な横位磨き、内面横位撫で。	樽式
第188図 PL.86	15	弥生土器 器台	北部床上15cm 脚部完存	口底 10.7	高 —	—	A/-/-	脚部4単位の透かし孔。外面上半部縦位、下半部横位の磨き。内面横位撫で。外面やや被熱風化、全体的に僅かな煤状炭化物付着。	
第188図 PL.86	16	弥生土器 紡輪	北西壁直下北寄 り床直上 完存	径 4.7	厚 1.0	26.4	A/-/-	片面の中央孔部周囲に細かい刺突文を施す。上下面共に丁寧な磨き及び煤状炭化物付着。径約7mmの軸穴孔が穿孔されている。	樽式期
第188図 PL.86	17	弥生土器 紡輪	南西隅ベッド状 遺構床直上 完存	径 5.0	厚 1.0	30.6	A/-/-	上下面共に磨き。径約6mmの軸穴孔が穿孔されている。	樽式期

嶋上 I 遺跡 B 区 3 面 518号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	厚			
第194図 PL87	1	弥生土器 甕	北壁中央直下床 上16cm ほぼ完存	口底 13.4 7.2	高 —	17.6 —	A/-/-	櫛描波状文を複合口縁部と口縁～頸部に1帯施す。括れ部に3連止め簾状文を、胴上半部に波状文を3帯施文。施文具8歯15mm。内外面共に横位磨き、やや被熱風化。	樽式
第194図 PL87	2	弥生土器 甕	中央部南東寄り 床上6・9cm、埋 没土 口縁～頸部2/3	口底 16.5	高 —	—	A/-/-	やや乱雑な櫛描波状文を複合口縁部に1帯、口縁～頸部に3帯施す。括れ部に3連止め簾状文を施文。施文具6歯15mm。内外面共に被熱風化、煤状炭化物付着。	樽式
第194図 PL87	3	弥生土器 甕	埋没土 口縁部1/4	口底 (15.0) —	高 —	—	A/-/-	櫛描波状文を複合口縁部に1帯、口縁～頸部に3帯施す。括れ部には簾状文を施文。施文具8歯15mm。内面丁寧な横位磨き、外面やや被熱風化。	樽式
第194図 PL87	4	弥生土器 小型甕	土坑4床上30cm 完存	口底 9.3 5.2	高 —	9.5 —	A/-/-	やや乱雑な櫛描波状文を複合口縁部・口縁～頸部・胴上半部に各1帯施す。括れ部には3連止め簾状文を施文。施文具8歯10mm。内面横位磨き、外面やや被熱風化。	樽式
第194図 PL87	5	弥生土器 甕	埋没土 口縁部1/8	口底 —	高 —	—	A/-/-	やや乱雑な櫛描波状文を口縁～頸部に2帯施す。括れ部に簾状文を施文。施文具8歯15mm。内面横位磨き、外面被熱風化。	樽式
第195図 PL.87	6	弥生土器 甕	中央部床上20・ 35cm 口縁部～胴部 1/2	口底 14.9	高 —	—	A/-/-	外面頸部縦位、胴部横・斜位の撫で。内面横位磨き。内外面胴部の一部に煤状炭化物付着。	樽式期
第195図 PL.87	7	弥生土器 小型台付甕	埋没土 ほぼ完存	口底 9.9 7.6	高 —	—	A/-/-	やや乱雑な櫛描波状文を複合口縁部と胴上半部に各1帯施す。括れ部には5連止め簾状文を施文。施文具9歯16mm。内面横位磨き、一部に煤状炭化物付着。外面被熱風化。脚部外面縦・横位磨き、内面横位撫で。	樽式
第195図 PL.87	8	弥生土器 小型台付甕	埋没土 口縁部～胴上半 1/5	口底 (10.0) —	高 —	—	A/-/-	括れ部に3連止め櫛描簾状文を、胴上半部にやや乱雑な波状文を2帯施文。施文具7歯11mm。外面複合口縁部横位撫で、頸部縦刷毛目。内面横位磨き、下半部やや被熱風化。	樽式
第195図 PL.87	9	弥生土器 小型台付甕	埋没土 口縁部片	口底 —	高 —	—	A/-/-	やや乱雑な櫛描波状文を口縁～頸部及び胴上半部に各1帯施す。括れ部には2連止め簾状文を施文。施文具7歯11mm。内外面共に横位磨き。	樽式
第195図 PL.87	10	弥生土器 台付甕	埋没土 底部～脚台部ほ ぼ完存	口底 (7.8)	高 —	—	A/-/-	脚台部外面縦位磨き、内面横位撫で。結合部外面に煤状炭化物付着。	樽式
第195図 PL.87	11	弥生土器 台付甕	埋没土 脚台部1/2	口底 (10.0)	高 —	—	A/-/-	脚台部外面上半部縦位、下半部横位の磨き。内面横位撫で。外面一部に煤状炭化物付着。	樽式
第195図 PL.87	12	弥生土器 台付甕	埋没土 脚台部ほぼ完存	口底 (9.2)	高 —	—	A/-/-	脚台部外面上半部縦位、下半部横位の磨き。内面被熱風化。	
第195図 PL.87	13	弥生土器 台付甕	埋没土 脚台部1/4	口底 (8.6)	高 —	—	A/-/-	脚台部外面縦位、内面横位の磨き。	

遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	厚				
第195図 PL.87	14	弥生土器 台付甕	中央部東寄り床上11cm 底部～脚台部完存	口底 — (5.8)	高 — —	厚 — —	A/—/—	外面縦位篋磨き、内面やや粗雑な横篋撫で。脚台部外面縦位篋磨き、内面横位篋撫で。		
第195図 PL.87	15	弥生土器 壺	中央部床上16cm 底部完存	口底 — 7.2	高 — —	厚 — —	A/—/—	内外面共に横位篋磨き。	樽式	
第195図 PL.87	16	弥生土器 壺	埋没土 頸部片	口底 — —	高 — —	厚 — —	F/—/—	肩部に4連止め櫛描簾状文と波状文を施す。施文具8歯14mm。内面横位篋磨き。	樽式	
第195図 PL.87	17	弥生土器 小型壺	埋没土、貯蔵穴 埋没土 胴下半～底部完存	口底 — 4.0	高 — —	厚 — —	A/—/—	外面横位篋磨き、内面横位撫で。	樽式	
第195図 PL.87	18	弥生土器 鉢	中央部北寄り床上33cm 完存	口底 — 11.7 4.4	高 — —	厚 — 5.1 —	A/—/—	内外面共に横位篋磨き。	樽式	
第195図 PL.87	19	弥生土器 片口	埋没土 片口片	口底 — —	高 — —	厚 — —	A/—/—	内面接合部に押さえ痕。内外面共にやや風化。	樽式	
第195図 PL.87	20	弥生土器 器台	埋没土 脚台部片	口底 — —	高 — —	厚 — —	A/—/—	外面斜位篋磨き、内面横位篋撫で。		
第195図 PL.87	21	弥生土器 紡輪	北関隅ベッド状 遺構床上7cm 完存	径 — 4.8	高 — —	厚 — 1.4 40.8	A/—/—	上下面共に篋磨き。両面共に中央孔部を挟んでシンメトリーに2ないし3個の刺突文を施す。径約7mmの軸穴が穿孔されている。	樽式期	
第195図	22	須恵器 蓋	埋没土 口縁部片	口底 — 16.8	高 — —	厚 — —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。		
第195図	23	土師器 器台	埋没土 脚部	口底 — —	高 — 9.4	厚 — —	細砂粒/良好/にぶい黄橙	脚部端部は平坦面をつくる。外面は放射状ヘラ磨き、内面はヘラナデ。		
第195図	24	土師器 器台	埋没土 底部	口底 — —	高 — —	厚 — —	細砂粒/良好/橙	脚部上下2段に透孔が各4カ所。脚部端部は平坦面をつくる。外面は放射状ヘラ磨き、内面はヘラナデ。		
第195図 PL.87	25	鉄製品 薄鉄板	南東隅ベッド状 遺構東溝床直上 破片	長幅 2.1 +1.8 1.5	厚 — —	重 — —	0.4 0.2 1.20 +0.58	—/—/—	幅1.3cm程の薄い鉄板、平坦で刃等の形状も見られない。2破片とも同一個体と考えられるが両端とも劣化破損し直接接合はできない。	

鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 519号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	厚			
第196図	1	土師器 鉢	埋没土 底部～体部下位	口底 — 3.6	高 — —	厚 — —	細砂粒/良好/橙	底部はヘラ削り。体部は内外面ともヘラナデ。	

鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 521号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	高	厚			
第198図 PL.87	1	弥生土器 甕	南部床直上 口縁部1/4	口底 (13.4) —	高 — —	厚 — —	A/—/—	複合口縁。やや乱雑な櫛描波状文を口縁～頸部に3帯施す。括れ部に2連止め簾状文を施文。施文具7歯11mm。外面煤状炭化物付着、内面横位篋磨き。	樽式
第198図 PL.87	2	弥生土器 台付甕	北部床直上 口縁部1/4	口底 (14.8) —	高 — —	厚 — —	A/—/—	複合口縁。乱雑な櫛描波状文を口縁～頸部に2帯、胴部上半に2帯施す。括れ部に推定2連止め簾状文を施文。施文具7歯11mm。外面やや被熱風化、内面横位篋磨き。	樽式
第198図 PL.87	3	弥生土器 台付甕	北部床直上 ほぼ完形	口底 18.2 11.5	高 — —	厚 — 21.1 —	A/—/—	複合口縁。櫛描波状文を口縁～頸部および胴部上半に2帯施す。括れ部に4連止め簾状文を5単位に施文。施文具9歯12mm。外面胴部下半及び内面横位篋磨き。脚台部外面縦位篋磨き、内面横位篋撫で。内外面共にやや被熱風化。	樽式
第199図 PL.87	4	弥生土器 台付甕	東部床直上 脚台部4/5	口底 — (9.0)	高 — —	厚 — —	A/—/—	外面横・縦位篋磨き、内面横位撫で。外面一部に煤状炭化物付着。	
第199図 PL.87	5	弥生土器 小型甕	埋没土 口縁部1/4	口底 (9.8) —	高 — —	厚 — —	A/—/—	複合口縁。乱雑な櫛描波状文を口縁～頸部と胴部上位に各1帯施す。括れ部に2連止め簾状文を施文。施文具9歯12mm。内面口唇下7mmに糊埋め込み痕あり。外面やや被熱風化、内面横位篋磨き。	樽式
第199図 PL.87	6	弥生土器 壺	南部床直上 底部1/6	口底 (10.3) —	高 — —	厚 — —	C/—/—	外面縦位篋磨き、内面横位篋撫で。外面一部に煤状炭化物付着。	樽式
第199図 PL.87	7	弥生土器 高杯	東部床直上～床上7cm 杯部ほぼ完存	口底 — 13.8	高 — —	厚 — —	A/—/—	外面縦・斜位篋磨き、内面やや粗い横位篋磨き。	
第199図 PL.87	8	弥生土器 紡輪	東部床上10cm 完形	径 — 3.8	高 — —	厚 — 1.3 25.5	A/—/—	片面に五芒星状の篋磨き。各面共に丁寧な磨きで光沢を帯びる。径約8mmの軸穴が穿孔されている。	樽式期
第199図 PL.87	9	弥生土器 紡輪	東部床直上 完形	径 — 4.3	高 — —	厚 — 1.6 31.2	A/—/—	各面共に丁寧な磨き。被熱によると推定されるひび割れあり。径約7mmの軸穴が穿孔されている。	樽式期
第199図 PL.87	10	土師器 壺	中央部床上16cm 底部～頸部	口底 — 4.3	高 — —	厚 — 13.8	細砂粒/良好/明黄褐	底部はヘラ削り、胴部はヘラ削り後ヘラ磨き、器面磨滅のため単位不明。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第199図 PL.87	11	礫石器 磨石	中央部北西寄り 炬床直上 完形	長幅 11.7 6.2	厚 — —	重 — 5.4 540.4	—/—/粗粒輝石安山岩	垂円礫を利用する。表面、右側面、左側面のほぼ全面に磨面が認められる。右側面のほぼ全面がわずかに赤化しており受熱の可能性がある。	
第199図 PL.87	12	礫石器 磨石	中央部北西寄り 炬床直上 完形	長幅 14.3 6.9	厚 — —	重 — 3.8 626.4	—/—/粗粒輝石安山岩	円礫を利用する。表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。表裏面ともに両側面との境界付近に稜が形成される。表面右側から右側面を経て裏面にかけてやや赤化しており受熱の可能性がある。	

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長幅	7.9 8.2	厚重 3.3 249.5			
第199図 PL.88	13	礫石器 凹石	中央部南寄り床 上4cm 4/5	長幅	7.9 8.2	厚重 3.3 249.5	—/—/粗粒輝石安 山岩	亜円礫を利用する。表面の中央に漏斗状の凹みが認められる。	
第199図 PL.88	14	礫石器 磨製石斧	埋没土 2/3	長幅	(12.0) (5.2)	厚重 (2.8) 222.3	—/—/変質玄武岩	先端の刃部付近を中心に研磨後の剥離痕が集中しており、器種の転用を意図した可能性がある。	

鳴上 I 遺跡 B区 3面 522号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口底	(12.0) 6.7	高— 17.0 —			
第202図 PL.88	1	弥生土器 甕	炉床直上～埋没 土 口縁～底部2/3	口底	(12.0) 6.7	高— 17.0 —	A/—/—	櫛描波状文を口縁～頸部および胴部上半に2帯施す。括れ部に2連止め簾状文を施すが、単位不明。施文具8歯12mm。外面胴部下半斜位、内面横位磨き。外面胴部の一部に煤状炭化物付着。	樽式
第202図 PL.88	2	弥生土器 甕	東部床直上 口縁～胴部上位 完存	口底	15.1 —	高— — —	A/—/—	複合口縁。やや乱雑な櫛描波状文を口縁～頸部に4帯、胴部上位に2帯施す。括れ部の簾状文施文無し。施文具6歯10mm。内外面共にやや被熱風化、外面一部に煤状炭化物付着。	樽式
第202図 PL.88	3	弥生土器 甕	北西部床直上 口縁～胴部1/6	口底	(14.3) —	高— — —	A/—/—	複合口縁。櫛描波状文を口縁～頸部に3帯、胴部上位に2帯施す。括れ部に簾状文を施文。施文具10歯13mm。内面丁寧な横位磨き。	樽式
第202図 PL.88	4	弥生土器 甕	中央部北東寄り 床直上 胴部片	口底	— —	高— — —	A/—/—	括れ部に櫛描簾状文を、胴部上半にやや乱雑な波状文を4～5帯施す。施文具7歯10mm。内外面共に丁寧な横位磨き。	樽式
第202図 PL.88	5	弥生土器 壺	埋没土 口縁1/3	口底	(14.0) —	高— — —	A/—/—	複合口縁。頸部に櫛描簾状文を1帯施し、括れ部に簾状文を施文。内面横位磨き、一部に煤状炭化物付着。	樽式
第202図 PL.88	6	弥生土器 甕	埋没土 底部1/2	口底	— 6.0	高— — —	A/—/—	底部外面を含め、内外面共に横位磨き。	樽式
第202図 PL.88	7	弥生土器 壺	北部東寄り床上 20cm 口縁～胴部上位 完存	口底	17.8 —	高— — —	A/—/—	無文。外面口縁横位・頸部縦位・胴部横位磨き。内面口縁彼頸部横位磨き、胴部横位撫で。	樽式
第202図 PL.88	8	弥生土器 瓢壺	土坑1床直上 口縁～肩部完存	口底	8.6 —	高— — —	H/—/—	無文。外面口縁～頸部横・縦位磨き、肩部横・縦位撫で状の磨き。内面口縁～頸部やや粗い横位磨き、肩部縦位の指押さえ痕。	東海系
第202図 PL.88	9	弥生土器 壺	東部床直上 胴部片	口底	— —	高— — —	C/—/—	括れ部に櫛描簾状文を、胴部上半にやや乱雑な波状文を4帯施す。施文具11歯18mm。内面横位撫で、内外面共にやや風化。	樽式
第202図 PL.88	10	弥生土器 甕	埋没土 胴部片	口底	— —	高— — —	B/—/—	2段の複合口縁。外面縦位・内面横位磨き、外面やや風化。	樽式
第202図 PL.88	11	弥生土器 甕	炉床直上 胴部1/3	口底	— —	高— — —	E/—/—	体部上半に櫛描垂下文をスリット状に施文し、各単位間に波状文を充填的に施す。弧線文で区切られた体部下半には2種類の附加条第1種L・R+L・LとR・L+R・Rを交互に縦位施文し、羽状を構成。内面横位撫で。	十玉台式
第202図 PL.88	12	弥生土器 高杯	ベッド状遺構床 直上 杯部のみ	口底	17.1 —	高— — —	C/—/—	内外面共に横位磨き、やや風化。	樽式
第203図 PL.88	13	弥生土器 高杯	東部床直上 口縁部1/8	口底	(19.0) —	高— — —	C/—/—	外面横位、内面横・斜位の丁寧な磨き。	樽式
第203図 PL.88	14	弥生土器 高杯	埋没土 口縁部1/8	口底	(18.0) —	高— — —	C/—/—	外面横位・内面縦位の丁寧な磨き。	樽式
第203図 PL.88	15	弥生土器 高杯	北部床直上 脚部完存	口底	— 9.5	高— — —	A/—/—	脚部外面縦位磨き後、裾部横位撫で。内面横位撫で、一部縦位撫で。	樽式
第203図 PL.88	16	弥生土器 器台	埋没土 脚部3/4	口底	— (8.9)	高— — —	C/—/—	4カ所に径9mm前後の透かし孔を施す。外面縦位磨き。内面横位磨き後、裾部横位撫で。	
第203図 PL.88	17	弥生土器 紡輪	東部床上58cm ほぼ完形	径	8.6	厚重 3.0 259.4	C/—/—	上面一部欠損。各面共に丁寧な磨き。径約10mmの軸穴孔が穿孔されている。	樽式期
第203図	18	須恵器 杯	埋没土 底部～体部片	口底	— 6.0	高— — —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第203図	19	須恵器 杯	埋没土 底部～体部片	口底	— 8.2	高— — —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	
第203図	20	須恵器 杯	埋没土 底部～体部片	口底	— 8.0	高— — —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第203図	21	須恵器 杯	埋没土 底部～体部片	口底	— 9.6	高— — —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転回転ヘラ削り後回転ヘラナデ。	
第203図	22	須恵器 椀	埋没土 底部～体部片	口底	— 8.7	高— — —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	
第203図	23	土師器 甕	埋没土 胴部上位小片	口底	— —	高— — —	細砂粒/良好/浅黄 橙	外面はハケ目(1cmあたり6本)、内面はヘラナデ。	
第203図	24	土師器 杯	土坑4床直上 口縁部～体部片	口底	15.0 —	高— — —	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、「体部」はナデか、器面磨滅のため不鮮明。	
第203図 PL.88	25	石製品 火打石	埋没土 完形	長幅	2.2 2.7	厚重 0.9 5.4	—/—/石英	裏面に自然面を大きく残り円礫を利用する。表面には大きな剥離面が認められ剥片素材の可能性が高い。上側縁と両側縁に微細剥離痕とつぶれが集中する。	
第203図 PL.88	26	鉄製品 不詳	埋没土 破片	長幅	3.0 2.5	厚重 2.2 3.87	—/—/—	撥形の鉄板を折り曲げて半輪状に加工した鉄製品の破片。桑の葉等を摘み取る農具に似ているが破片のため断定はできない。	

遺物観察表

鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 524号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	厚				
第204図 PL.88	1	弥生土器 甕	床上16～33cm 口縁～胴部1/3	口底 —	(12.6) —	高 —	A/—/—	複合口縁。櫛描波状文を口縁～頸部に3帯、胴部上位に2帯施す。括れ部に3連止め簾状文を施文。施文具7歯11mm。外面胴部・内面口縁～胴部共に丁寧な横位磨き。	樽式	
第204図 PL.88	2	弥生土器 甕	中央～北西隅床 上31cm 胴部片	口底 —	—	高 —	A/—/—	括れ部に櫛描簾状文を、胴部上位にやや乱雑な波状文を3帯施す。施文具7歯10mm。内外面被熱風化。	樽式	
第204図 PL.88	3	弥生土器 甕	南西隅床直上 胴部片	口底 —	—	高 —	A/—/—	やや乱雑な櫛描波状文を胴部上位に4帯施す。施文具7歯11mm。外面煤状炭化物付着、内面横位磨き・やや被熱風化。	樽式	
第204図 PL.88	4	弥生土器 甕	中央部床直上 胴部片	口底 —	—	高 —	A/—/—	やや乱雑な櫛描波状文を頸部に施文し、胴部上位に2～3帯施す。括れ部に2連止め簾状文を施文。施文具8歯10mm。外面胴部被熱風化、煤状炭化物付着。内面やや粗い横・斜位横位磨き。	樽式	
第204図 PL.88	5	弥生土器 甕	埋没土 口縁片	口底 —	—	高 —	A/—/—	複合口縁。無文。内外面共に横位磨き。	樽式	
第204図 PL.88	6	弥生土器 小型台付 甕	南西部床直上 頸部～底部1/2、 脚部完存	口底 —	7.0	高 —	A/—/—	括れ部下位に櫛描簾状文を、胴部上位に波状文を2帯施す。外面脚部縦位磨き、内面横位磨き。外面被熱風化。	樽式	
第204図 PL.89	7	弥生土器 壺	床上20～45cm 口縁～胴部下位 1/3	口底 —	—	高 —	A/—/—	櫛描波状文を口縁～頸部に複数帯、胴部上位に4帯施す。括れ部に2連止め簾状文を施文。施文具7歯13mm。外面胴部・内面口縁～胴部共に丁寧な横位磨き。	樽式	
第205図 PL.88	8	弥生土器 壺	床上16～45cm 肩部1/6	口底 —	—	高 —	A/—/—	肩部に間隔を開けて櫛描波状文を施文し、斜格子文を充填的に施す。垂下文と波状文の交差部に刺突を施した円形貼付文を付す。外面横位磨き、内面横位撫で。	樽式	
第204図	9	土師器 壺	中央部北寄り床 上15cm 底部	口底 —	6.3	高 —	—	細砂粒/良好/橙	内外面とも丁寧なへら磨き。	

鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 527号住居遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高	厚				
第206図 PL.89	1	弥生土器 甕	西部床直上 口縁～胴部上半 完存	口底 —	12.8 —	高 —	A/—/—	複合口縁。櫛描波状文を口縁～頸部および胴部上半に2帯施す。括れ部に3連止め簾状文を3単位に施文。施文具10歯13mm。外面被熱風化、内面横位磨き。内外面共に一部に煤状炭化物付着。	樽式	
第206図 PL.89	2	弥生土器 甕	北西部床直上 口縁～胴部上半 完存	口底 —	12.6 —	高 —	A/—/—	複合口縁。櫛描波状文を口縁～頸部および胴部上半に2帯施す。括れ部に3連止め簾状文を3単位に施文。施文具10歯17mm。外面被熱風化・煤状炭化物付着、内面横位磨き。	樽式	
第206図 PL.89	3	弥生土器 甕	西部床直上 口縁～頸部完存	口底 —	14.4 —	高 —	A/—/—	複合口縁部に指頭状の押圧痕。やや乱雑な櫛描波状文を口縁～頸部に2帯施す。施文具10歯15mm。外面横位磨き、内面横位磨き。	樽式	
第206図 PL.89	4	弥生土器 甕	南西隅ベッド状 遺構床直上 口縁部片	口底 —	—	高 —	A/—/—	複合口縁。無文の甕。内外面共にやや被熱風化、外面口縁に煤状炭化物付着。	樽式	
第207図 PL.89	5	弥生土器 小型甕	表土 口縁部1/2	口底 —	(9.0) —	高 —	D/—/—	複合口縁。櫛描波状文を口縁部と胴部に各1帯施す。括れ部に簾状文を施文。施文具13歯13mm。外面やや被熱風化、内面煤状炭化物付着。	樽式	
第207図 PL.89	6	弥生土器 小型壺	埋没土 口縁1/3	口底 —	(7.4) —	高 —	A/—/—	外面縦位撫で、内面赤色塗彩。	樽式	
第207図 PL.89	7	弥生土器 壺	北西部床直上 口縁部1/5	口底 —	(18.4) —	高 —	C/—/—	複合口縁。内外面共に風化、内面一部に赤色塗彩残る。	樽式	
第207図 PL.89	8	弥生土器 壺	南西寄り床直上 ～埋没土 肩部1/2	口底 —	—	高 —	F/—/—	括れ部に4連止め櫛描簾状文を施す。肩部に波状文を2帯施文し、垂下文を施す。施文具9歯13mm。外面被熱風化・煤状炭化物付着、内面やや散漫な横位磨き。	樽式	
第207図 PL.89	9	弥生土器 高杯	埋没土 脚部1/3	口底 —	(10.9) —	高 —	A/—/—	外面横位撫で後、縦位磨き。内面横位撫で。	樽式	
第207図 PL.89	10	弥生土器 高杯	西壁床上8cm 脚部1/3	口底 —	(12.2) —	高 —	A/—/—	外面縦位磨き、一部横磨き。内面横位撫で。	樽式	
第207図 PL.89	11	弥生土器 器台	西部中央床直上 脚部完存	口底 —	10.2 —	高 —	C/—/—	2個1単位の透かし孔を2単位施す。外面縦位磨き、内面横位磨き。内外面共に風化。		
第207図 PL.89	12	弥生土器 器台?	埋没土 脚部完存	口底 —	10.8 —	高 —	A/—/—	透かし孔を4カ所に施す。外面縦位磨き、内面削り状の横位磨き。		
第207図 PL.89	13	弥生土器 蓋	P1埋没土 摘み部完存	口底 —	3.6 —	高 —	A/—/—	外面摘み部上面磨き、蓋身部やや粗い縦位磨き。内面やや風化。	樽式	
第207図 PL.89	14	弥生土器 紡輪	埋没土 1/2	径 —	(4.3) —	厚重 1.3 13.4	C/—/—	各面共に丁寧な磨き。推定径約7mmの軸穴孔が穿孔されている。	樽式期	
第207図	15	土師器 高杯	北西部床上36cm (断面より採取) 脚部上位片	口底 —	—	高 —	—	細砂粒/良好/明黄褐	杯身部と脚部は接合か。脚部は縦位のへら磨き。内面はへらナデ。	
第207図	16	土師器 甕	北西部床上35cm 底部～胴部下位 片	口底 —	10.2 —	高 —	—	細砂粒/良好/にぶい橙	底部と胴部はへら磨き。内面はへらナデ。	

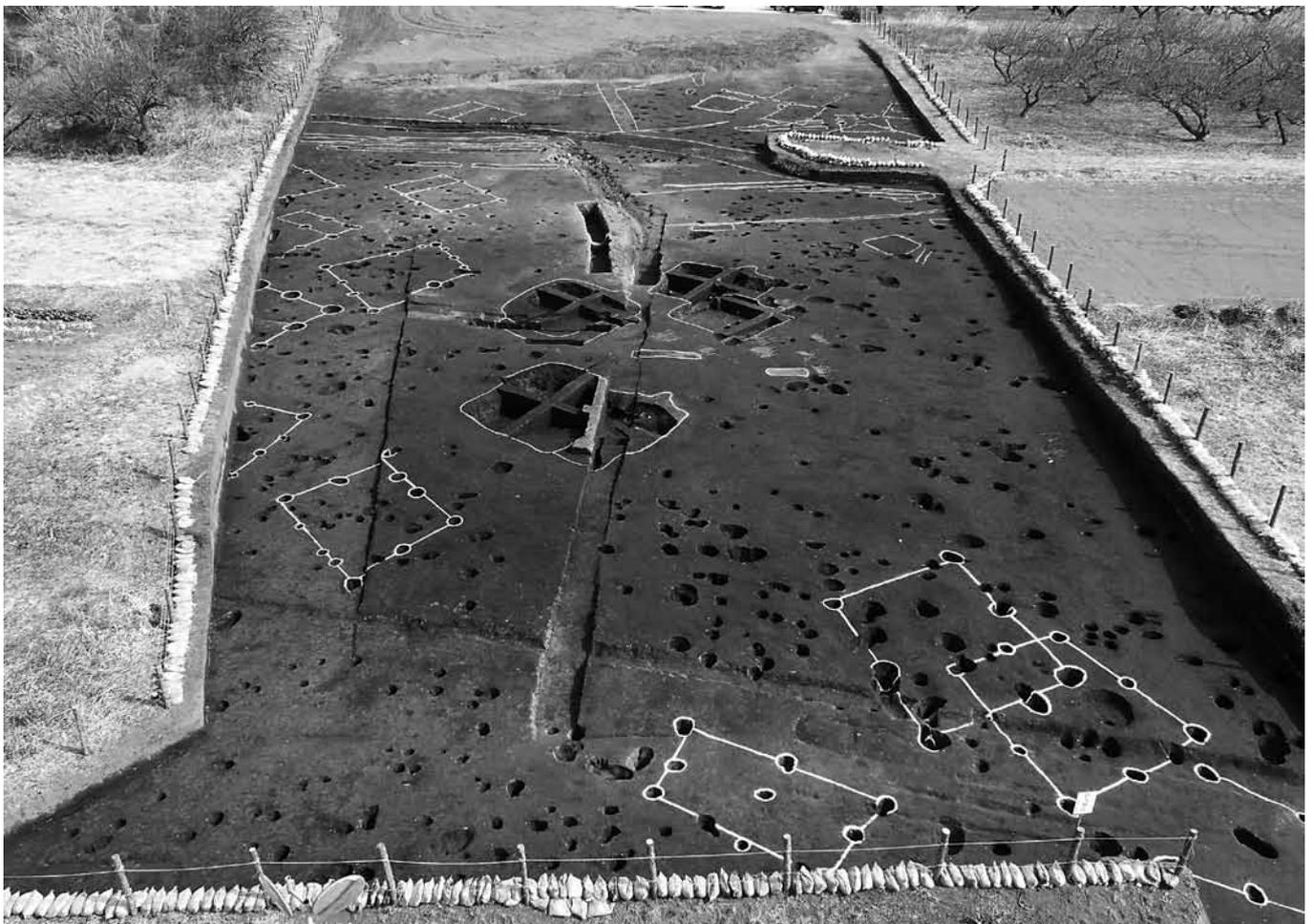
鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 遺構外遺物観察表

挿図 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値				胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 底	— —	高 —	— —			
第208図 PL.89	1	縄文土器 鉢?	表採 口縁部片	口 底	— —	高 —	— —	A/-/-	口縁部に4本の細い横線文を施す。内外面共に横位磨き。	縄文晩期
第208図 PL.89	2	縄文土器 深鉢?	表採 口縁部1/6	口 底	(20.0) —	高 —	— —	A/-/-	無文土器。外面磨き状の横位撫で、内面横位磨き。	縄文晩期
第208図 PL.89	3	弥生土器 甕	表採 口縁部1/8	口 底	— —	高 —	— —	A/-/-	やや乱雑な櫛描波状文を複合口縁部に1帯、口縁～頸部に複数帯施文。施文具12歯、28mm。内面横位磨き、外面やや被熱風化。	樽式
第208図 PL.89	4	弥生土器 高杯	表採 杯部下半完存	口 底	— —	高 —	— —	A/-/-	外面縦位磨き、内面横・斜位磨き。結合部は突起状の接合痕残存。	樽式

写真図版



1. 茅畑遺跡西部全景(北東から)



2. 茅畑遺跡西部全景(南西から)



1. 茅畑遺跡東部全景(東から)



2. 茅畑遺跡東部全景(南西から)



1. 鳴上 I 遺跡 A 区全景(北東から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区全景(南西から)



1. 鳴上 I 遺跡 A 区より茅畑遺跡を望む(南西から)

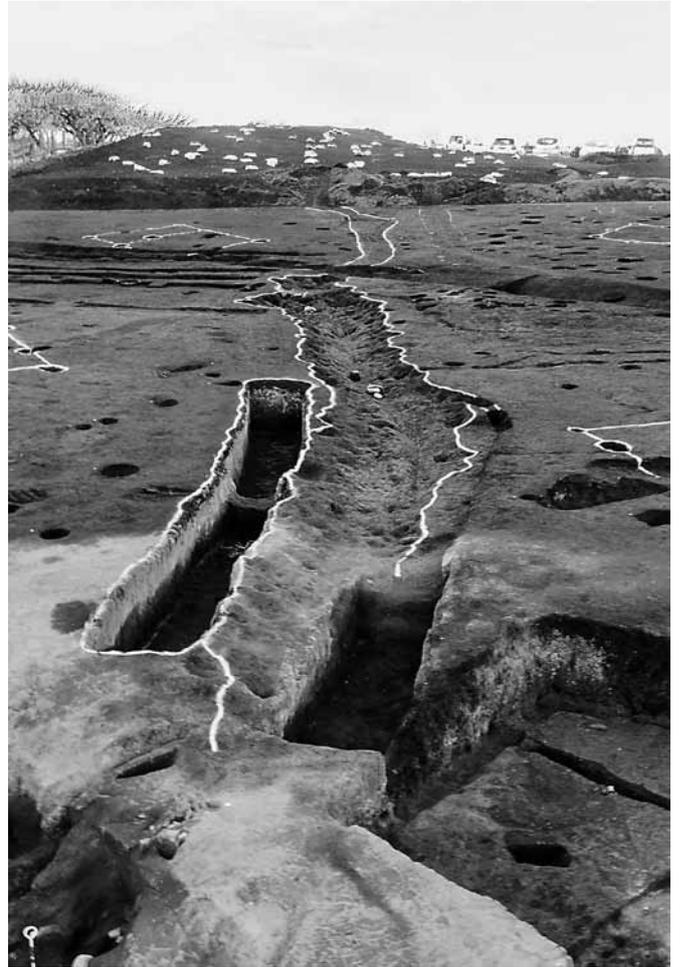


2. 鳴上 I 遺跡 B 区より茅畑遺跡を望む(南西から)

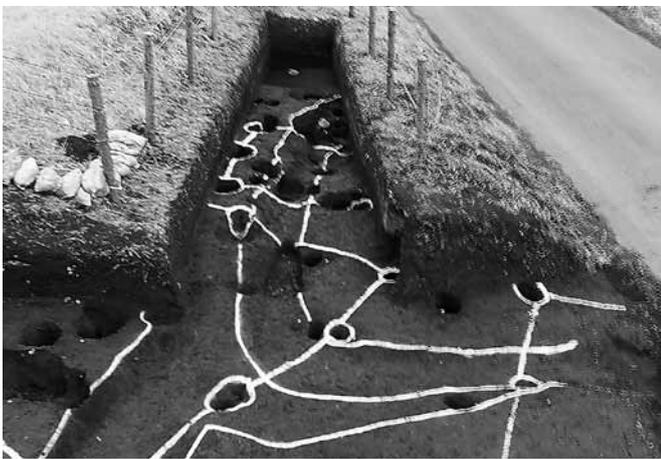
茅畑遺跡



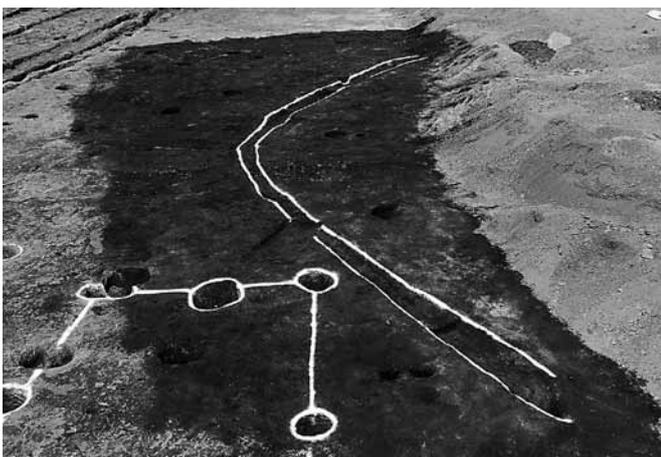
1. 茅畑遺跡 1号溝全景(南から)



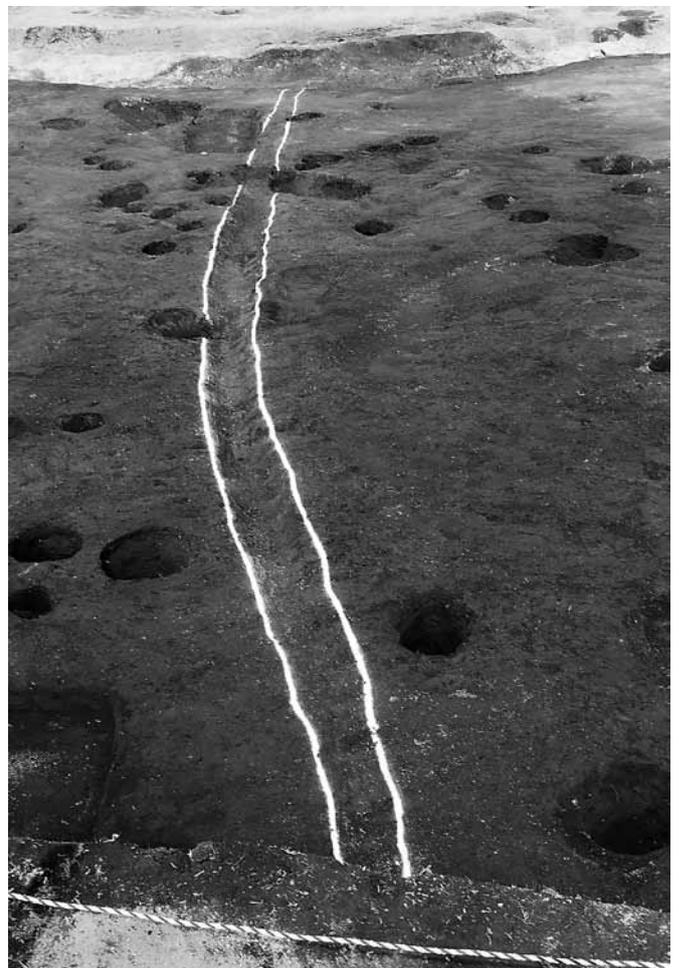
3. 茅畑遺跡 3号溝全景(南西から)



2. 茅畑遺跡 2号溝全景(北から)



5. 茅畑遺跡 5号溝全景(南から)



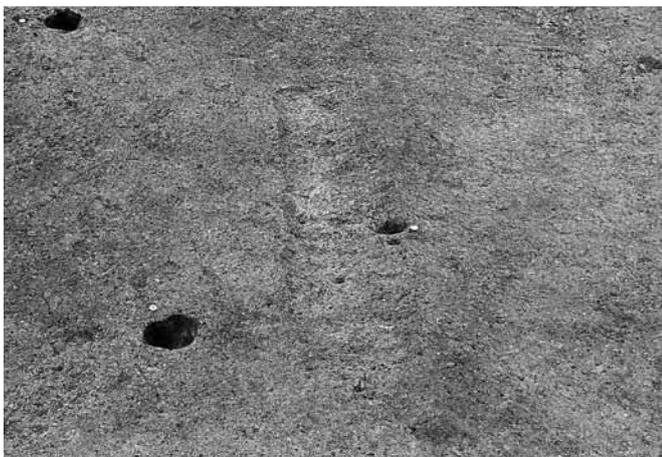
4. 茅畑遺跡 4号溝全景(南から)



1. 茅畑遺跡6号溝全景(西から)



3. 茅畑遺跡8号溝全景(南から)



2. 茅畑遺跡7号溝全景(南から)



4. 茅畑遺跡9号溝全景(南西から)



5. 茅畑遺跡10号溝全景(南から)



6. 茅畑遺跡2号道路北側(東から)



7. 茅畑遺跡2号道路南側(東から)



1. 茅畑遺跡2号道路部分(南から)



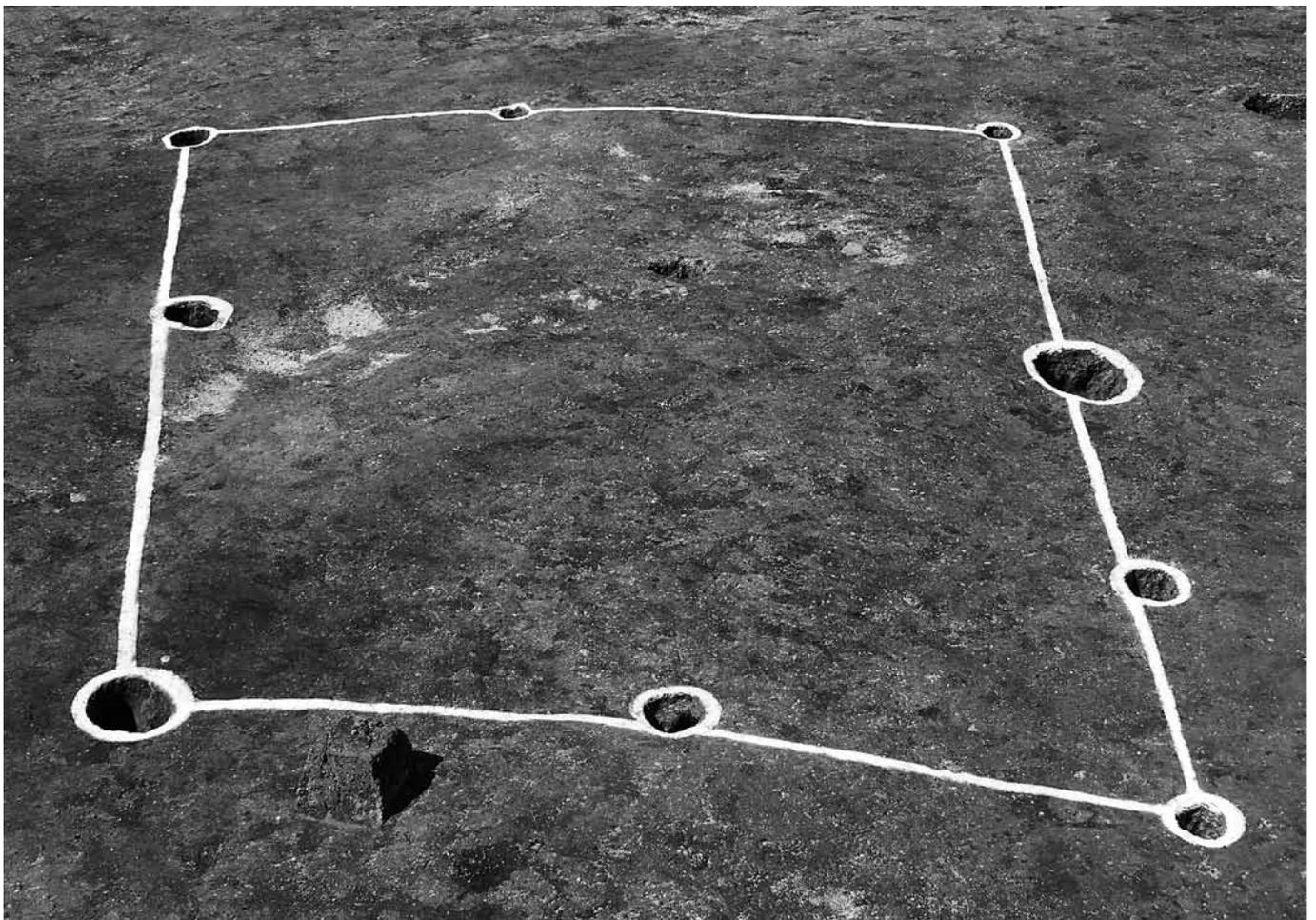
2. 茅畑遺跡1号畑全景(南から)



3. 茅畑遺跡2号畑全景(南から)



4. 茅畑遺跡3号畑全景(西から)



5. 鳴上I遺跡A区1号掘立柱建物全景(東から)



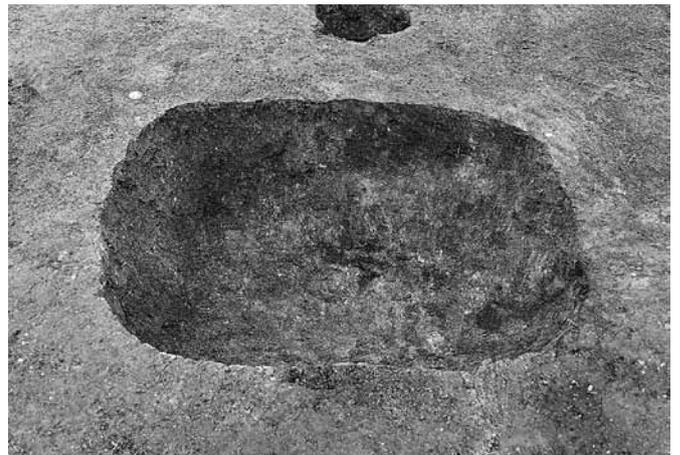
1. 鳴上 I 遺跡 A 区 1 号溝全景(南東から)



2. 鳴上 I 遺跡 A 区 2 号溝全景(南から)



3. 鳴上 I 遺跡 A 区 1 号土坑全景(南から)



4. 鳴上 I 遺跡 A 区 2 号土坑全景(南から)



5. 鳴上 I 遺跡 A 区 3 号土坑全景(南から)



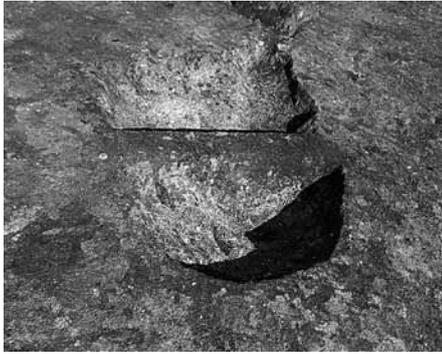
6. 鳴上 I 遺跡 A 区 4 号土坑全景(南西から)



7. 鳴上 I 遺跡 A 区 5 号土坑全景(北から)



8. 鳴上 I 遺跡 A 区 6 号土坑全景(北から)



1. 7号土坑土層断面(南から)



2. 7号ピット全景(南から)



3. 8号ピット全景(南から)



4. 10号ピット全景(南から)



5. 12号ピット全景(南から)



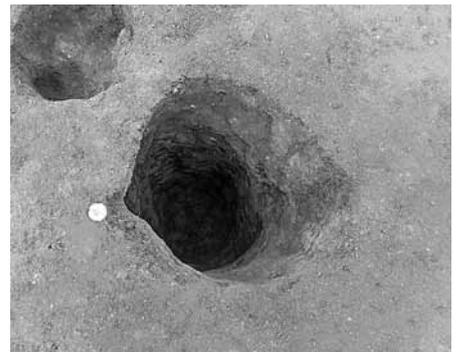
6. 18号ピット全景(南から)



7. 19号ピット全景(南から)



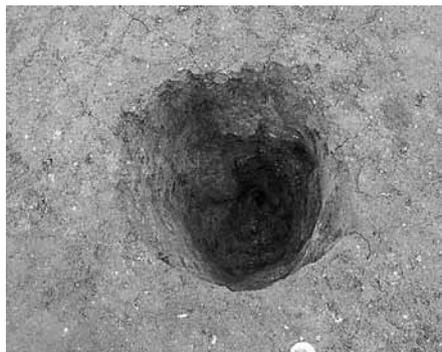
8. 27号ピット全景(南から)



9. 30号ピット全景(南から)



10. 32号ピット全景(南から)



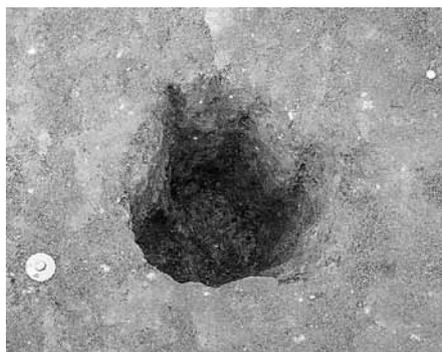
11. 37号ピット全景(南から)



12. 41号ピット全景(南から)



13. 44号ピット全景(南から)



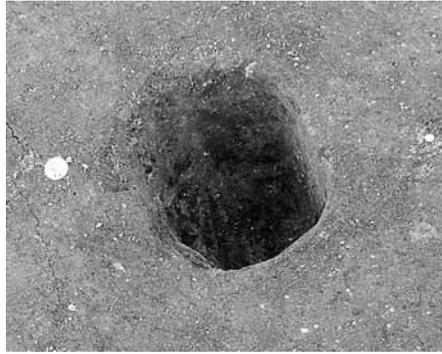
14. 52号ピット全景(南から)



15. 60号ピット全景(南から)



1. 62号ピット全景(南から)



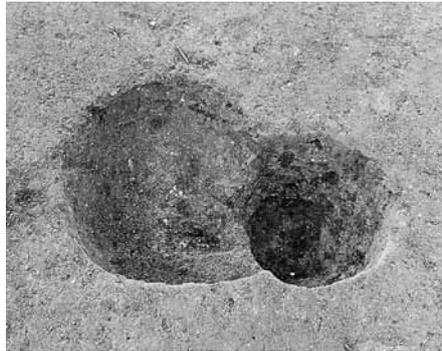
2. 64号ピット全景(南から)



3. 70号ピット全景(南から)



4. 72号ピット全景(南から)



5. 90・91号ピット全景(南から)



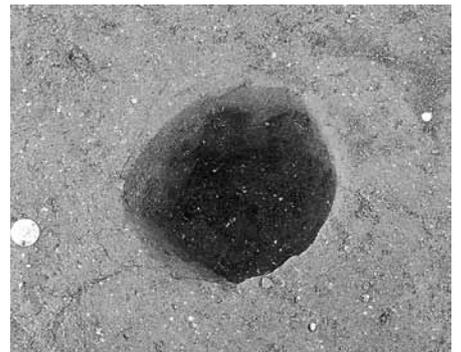
6. 94号ピット全景(南から)



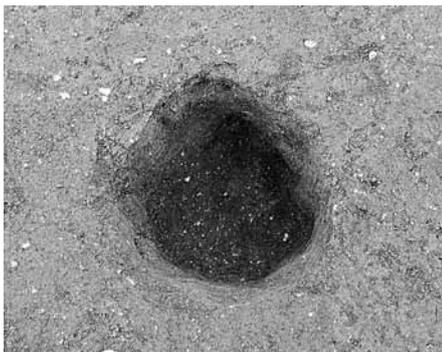
7. 95号ピット全景(南から)



8. 98号ピット全景(南から)



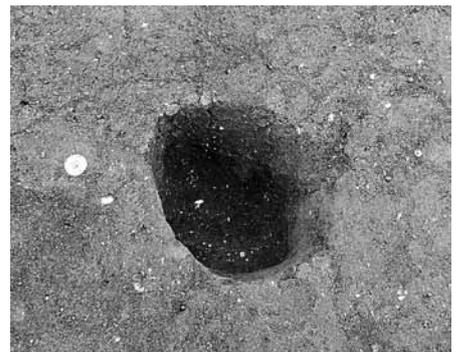
9. 100号ピット全景(南から)



10. 110号ピット全景(南から)



11. 111号ピット全景(南から)



12. 112号ピット全景(南から)



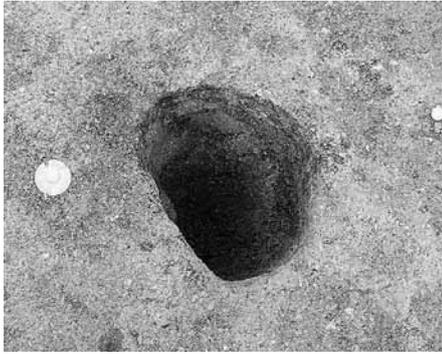
13. 120号ピット断面(西から)



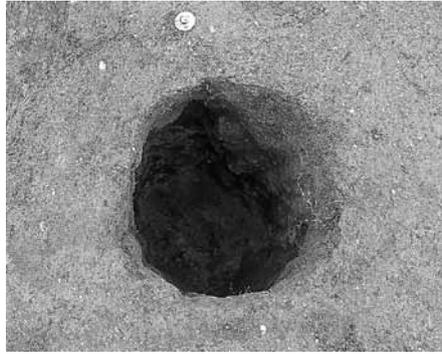
14. 123号ピット全景(南から)



15. 127号ピット全景(南から)



1. 128号ピット全景(南から)



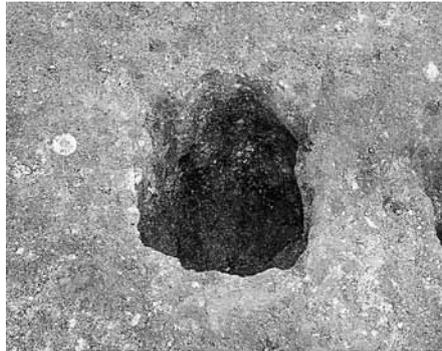
2. 138号ピット全景(東から)



3. 144号ピット全景(西から)



4. 156号ピット全景(南から)



5. 157号ピット全景(南から)



6. 162号ピット全景(南から)



7. 169号ピット全景(南から)



8. 171号ピット全景(南から)



9. 176号ピット全景(南から)



10. 177号ピット全景(南から)



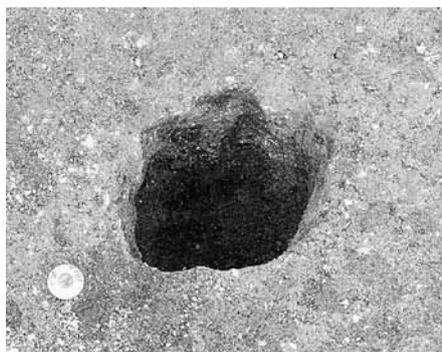
11. 179号ピット全景(南から)



12. 184号ピット全景(南から)



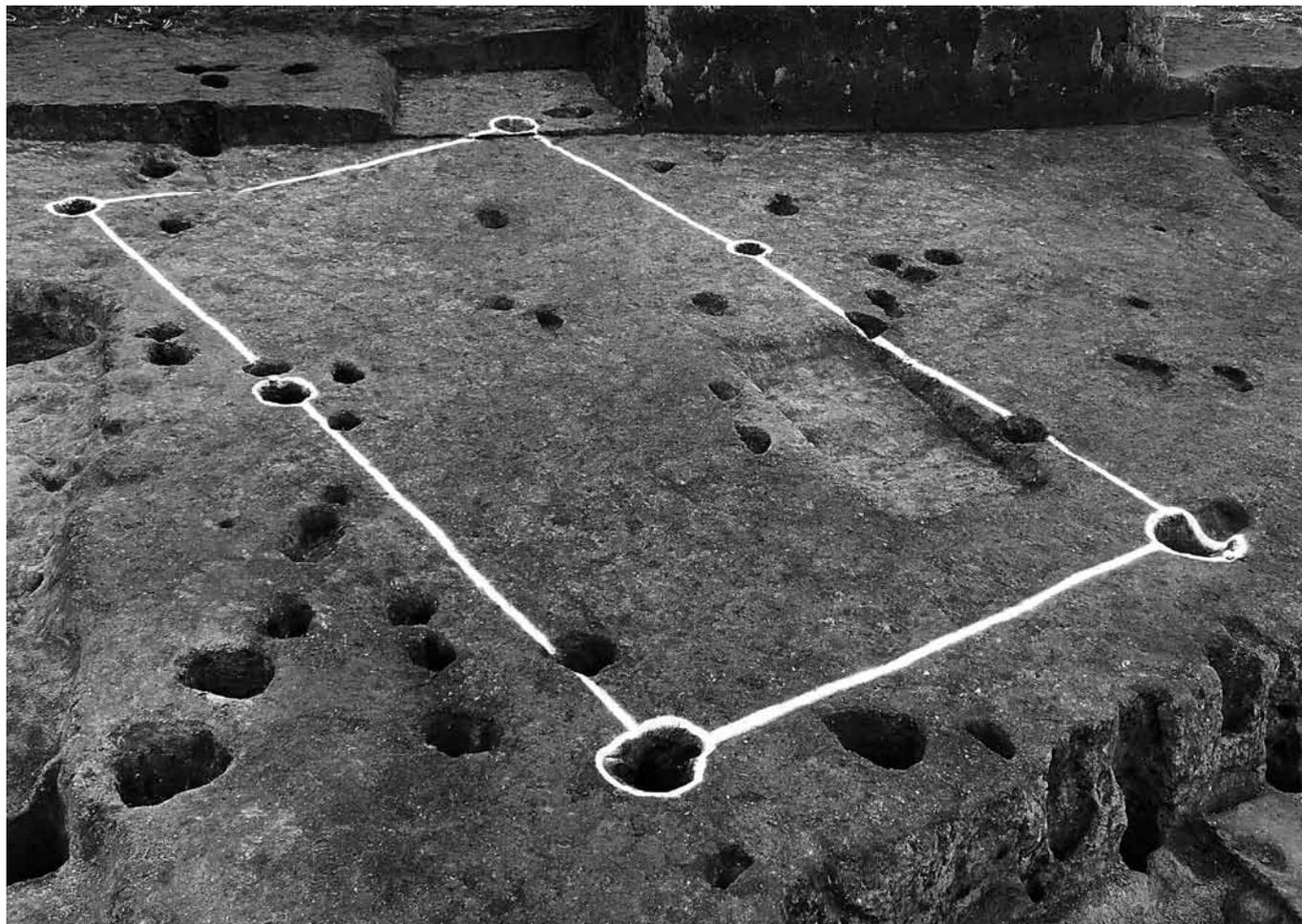
13. 186号ピット全景(南から)



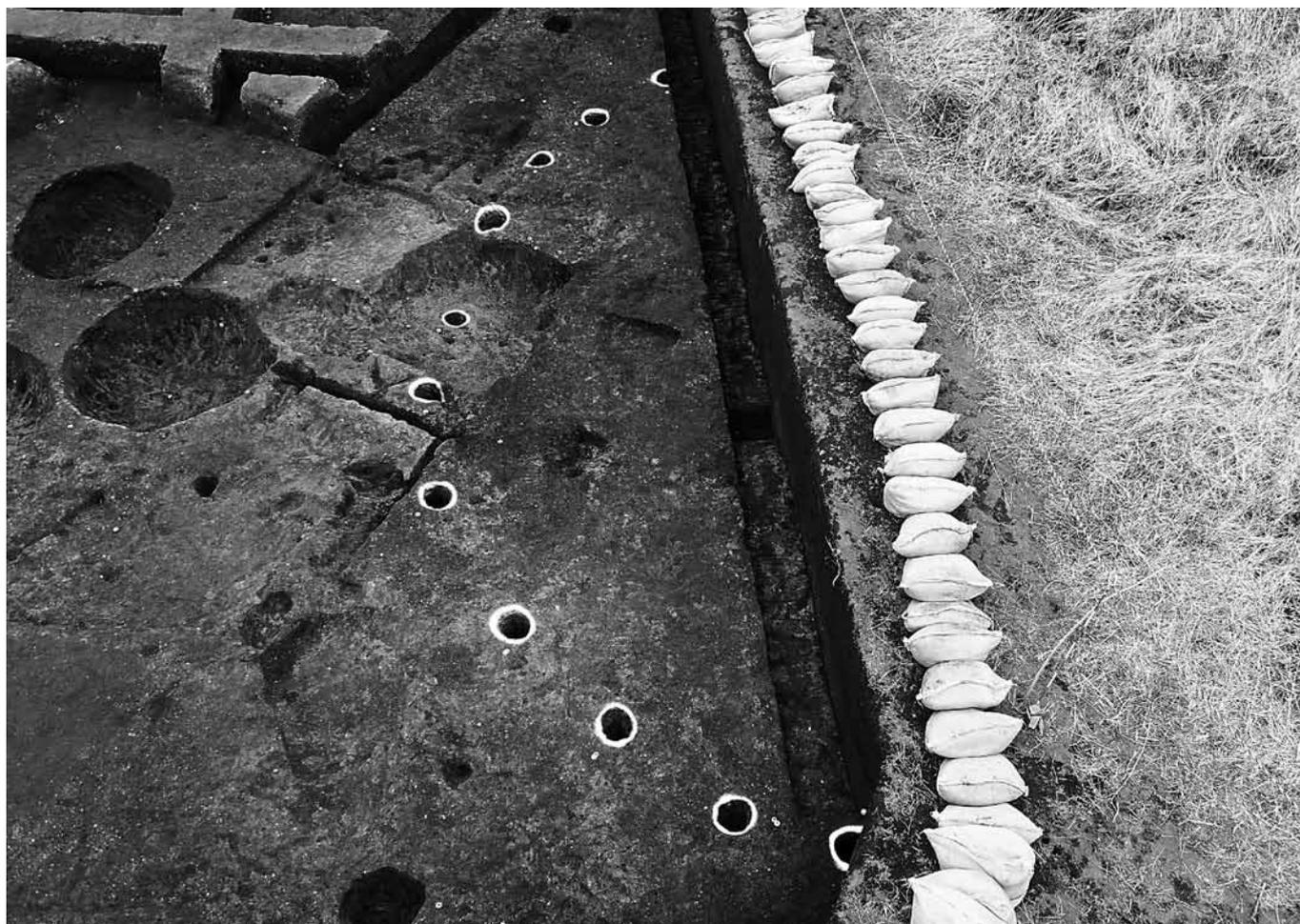
14. 188号ピット全景(南から)



15. 194号ピット全景(南から)



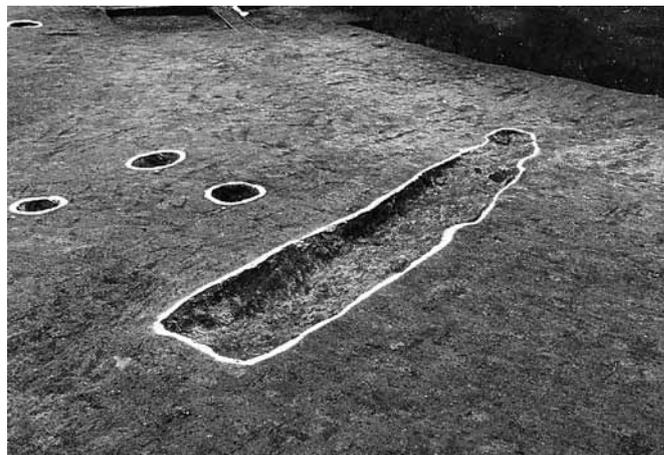
1. 鳴上 I 遺跡 B 区 501 号掘立柱建物全景(西から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区 501 号柱穴列全景(西から)



1. 鳴上 I 遺跡 B 区 502 号柱穴列全景(南西から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区 501 号土坑全景(南から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区 502 号土坑全景(南から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区 503 号土坑全景(南から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区 504 号土坑全景(南から)



6. 鳴上 I 遺跡 B 区 505 号土坑全景(南から)



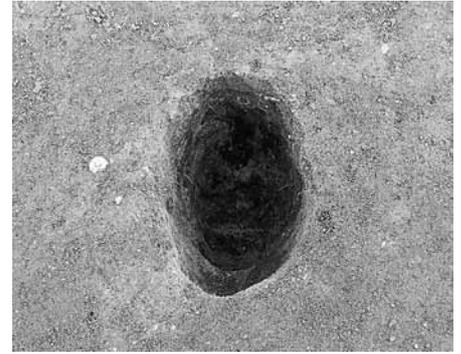
7. 谷地地形全景(南東から)



1. 502号ピット全景(南から)



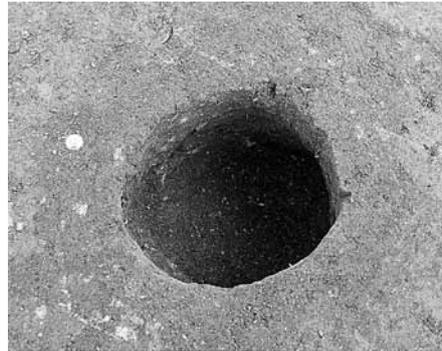
2. 512号ピット全景(南から)



3. 514号ピット全景(南から)



4. 528号ピット全景(南から)



5. 530号ピット全景(南から)



6. 536号ピット全景(南から)



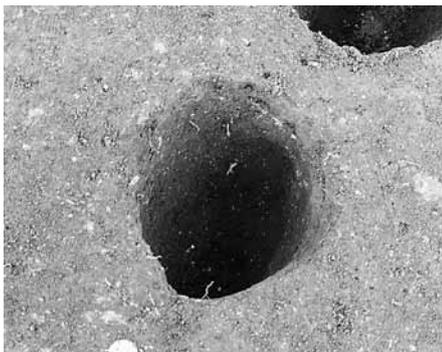
7. 546号ピット全景(南から)



8. 548号ピット全景(南から)



9. 551号ピット全景(南から)



10. 552号ピット全景(南から)



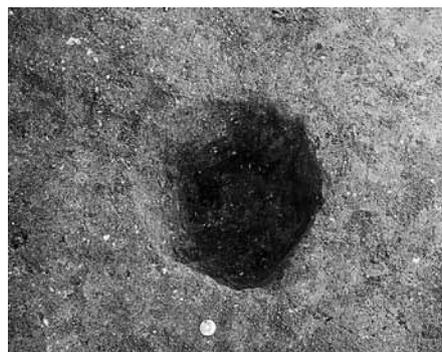
11. 564号ピット全景(南から)



12. 565号ピット全景(南から)



13. 568号ピット全景(南から)



14. 572号ピット全景(南から)



15. 575号ピット全景(南から)



1. 589号ピット全景(南から)



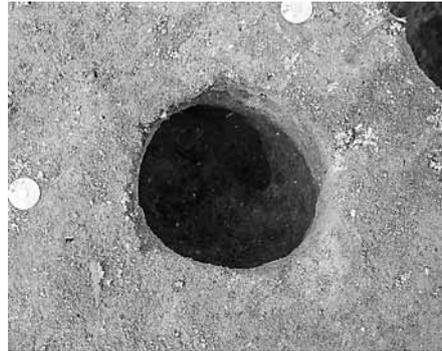
2. 590号ピット全景(南から)



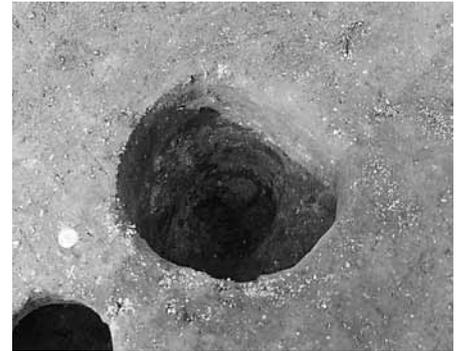
3. 595号ピット全景(南から)



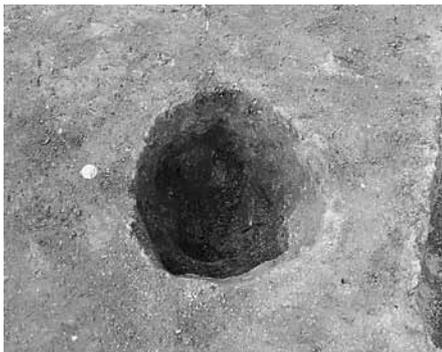
4. 596号ピット全景(南から)



5. 597号ピット全景(南から)



6. 598号ピット全景(南から)



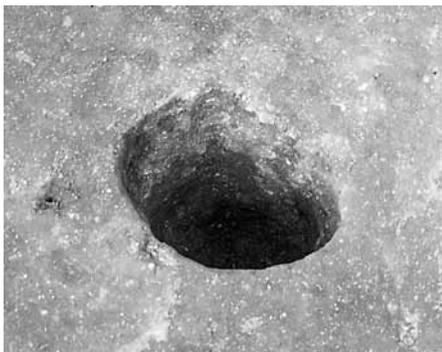
7. 600号ピット全景(南から)



8. 603号ピット全景(南から)



9. 606号ピット土層断面(南から)



10. 613号ピット全景(南から)



11. 614号ピット全景(南から)



12. 616号ピット全景(南から)



13. 617号ピット全景(南から)



14. 622号ピット全景(南から)



15. 631号ピット全景(南から)



1. 632号ピット全景(南から)



2. 633号ピット全景(南から)



3. 634号ピット全景(南から)



4. 638号ピット全景(東から)



5. 639号ピット全景(東から)



6. 646号ピット全景(北から)



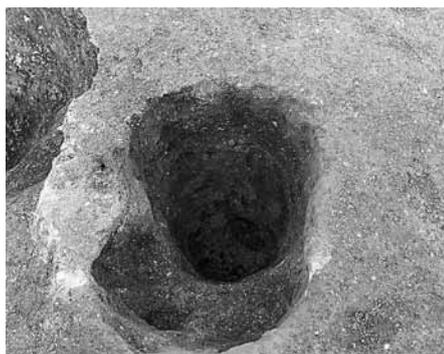
7. 657・658号ピット全景(北から)



8. 660号ピット全景(西から)



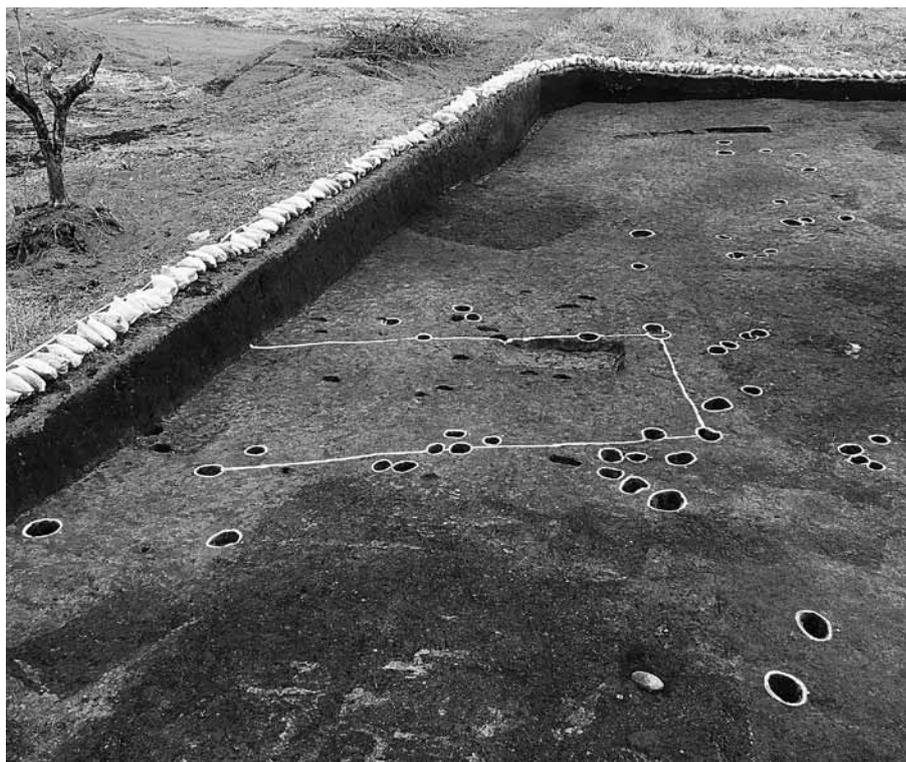
9. 667号ピット全景(東から)



10. 671号ピット全景(南から)



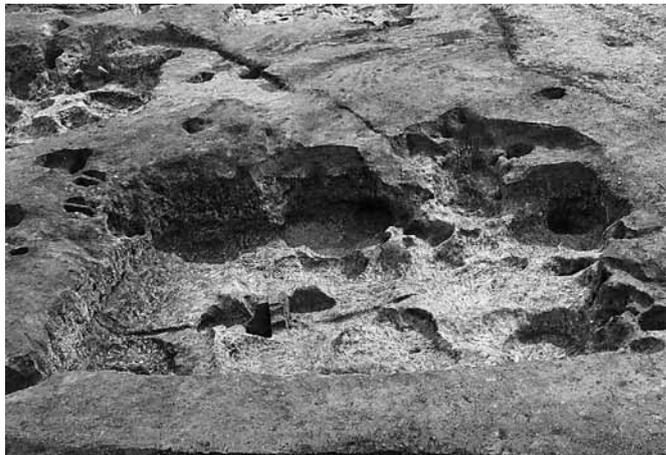
11. 681号ピット全景(南から)



12. ピット群(北から)



1. 茅畑遺跡1号住居全景(西から)



2. 茅畑遺跡1号住居掘り方全景(西から)



3. 茅畑遺跡1号住居1号カマド全景(西から)



4. 茅畑遺跡1号住居1号カマド掘り方全景(西から)



5. 茅畑遺跡1号住居1号カマド掘り方遺物出土状態(西から)



6. 茅畑遺跡1号住居2号カマド土層断面(南東から)



7. 茅畑遺跡1号住居2号カマド掘り方土層断面(南から)



8. 茅畑遺跡1号住居貯蔵穴全景(北西から)



1. 茅畑遺跡 1号住居床下土坑1 全景(東から)



2. 茅畑遺跡 1号住居床下土坑2 全景(南西から)



3. 茅畑遺跡 1号住居床下土坑3 全景(東から)



4. 茅畑遺跡 1号住居床下土坑5 全景(東から)



5. 茅畑遺跡 1号住居床下土坑6 全景(西から)



6. 茅畑遺跡 1号住居床下土坑7 全景(西から)



7. 茅畑遺跡 1号住居床下土坑8 全景(西から)



8. 茅畑遺跡 4号住居全景(西から)



1. 茅畑遺跡 4号住居掘り方全景(西から)



2. 茅畑遺跡 4号住居カマド全景(西から)



3. 茅畑遺跡 4号住居カマド掘り方全景(西から)



4. 茅畑遺跡 4号住居貯蔵穴全景(北から)



5. 茅畑遺跡 4号住居遺物出土状態全景(西から)



6. 茅畑遺跡 4号住居カマド遺物出土状態(西から)



7. 茅畑遺跡 5号住居全景(西から)



8. 茅畑遺跡 5号住居掘り方全景(西から)



1. 茅畑遺跡5号住居カマド全景(西から)



2. 茅畑遺跡5号住居カマド掘り方全景(西から)



3. 茅畑遺跡5号住居遺物出土状態全景(西から)



4. 茅畑遺跡5号住居遺物出土状態(西から)



5. 茅畑遺跡5号住居カマド遺物出土状態(西から)



6. 茅畑遺跡5号住居カマド掘り方遺物出土状態(東から)



7. 茅畑遺跡6号住居全景(西から)



8. 茅畑遺跡6号住居掘り方全景(西から)



1. 茅畑遺跡6号住居カマド全景(西から)



2. 茅畑遺跡6号住居貯蔵穴全景(西から)



3. 茅畑遺跡6号住居土坑1全景(北から)



4. 茅畑遺跡6号住居壁穴1全景(東から)



5. 茅畑遺跡6号住居遺物出土状態(西から)



6. 茅畑遺跡6号住居貯蔵穴遺物出土状態(西から)



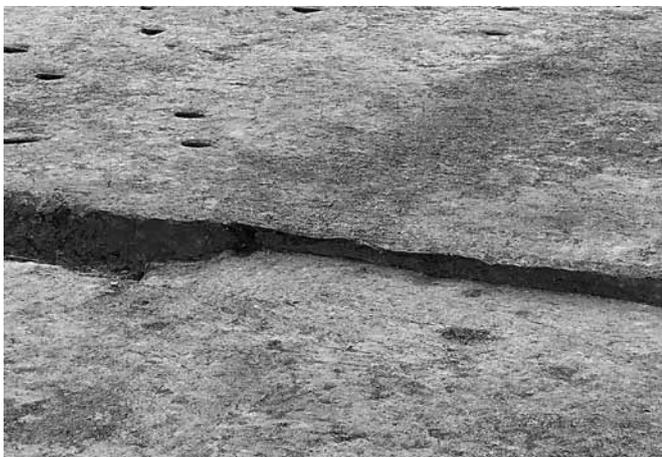
7. 茅畑遺跡6号住居カマド遺物出土状態(西から)



8. 茅畑遺跡6号住居カマド遺物出土状態(西から)



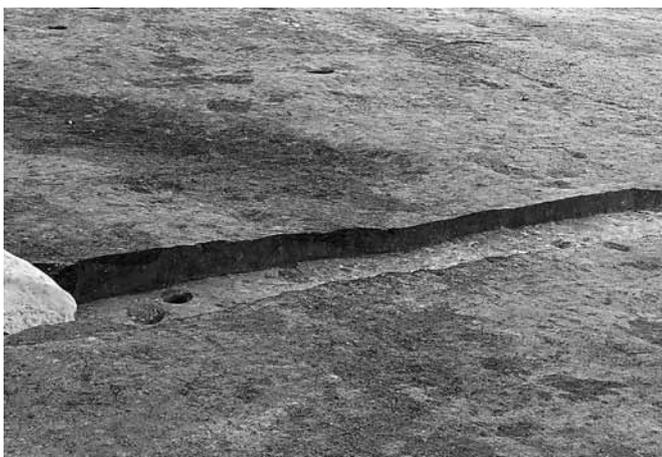
1. 茅畑遺跡 1号古墳全景(南から)



2. 茅畑遺跡 1号古墳周堀西土層断面(南から)



3. 茅畑遺跡 1号古墳周堀中央土層断面(南から)



4. 茅畑遺跡 1号古墳周堀東土層断面(南から)



5. 茅畑遺跡 1号古墳主体部全景(南から)

茅畑遺跡



1. 茅畑遺跡1号古墳主体部奥壁裏込(東から)



2. 茅畑遺跡1号古墳主体部舗石出土状態(南から)



3. 茅畑遺跡1号古墳前庭部全景(南から)



4. 茅畑遺跡1号古墳前庭部遺物出土状態(南から)



5. 茅畑遺跡1号古墳石室全景(南から)



1. 茅畑遺跡 1号古墳石室北側(北から)



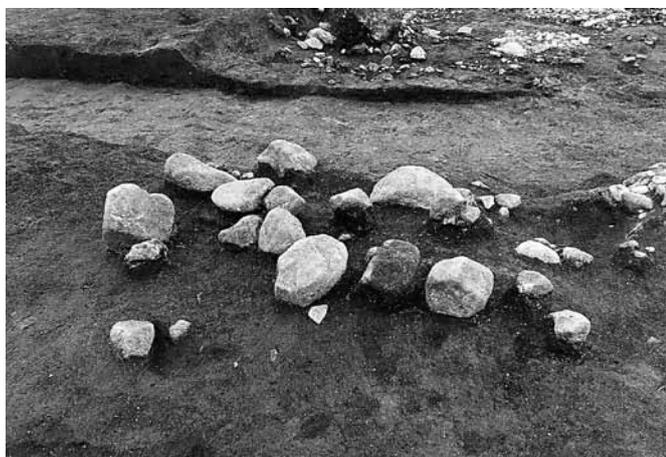
2. 茅畑遺跡 1号古墳石室部(抜き取り痕)(北から)



3. 茅畑遺跡 1号古墳玄室全景(北西から)



4. 茅畑遺跡 1号古墳玄室床面(舗石面)(南から)



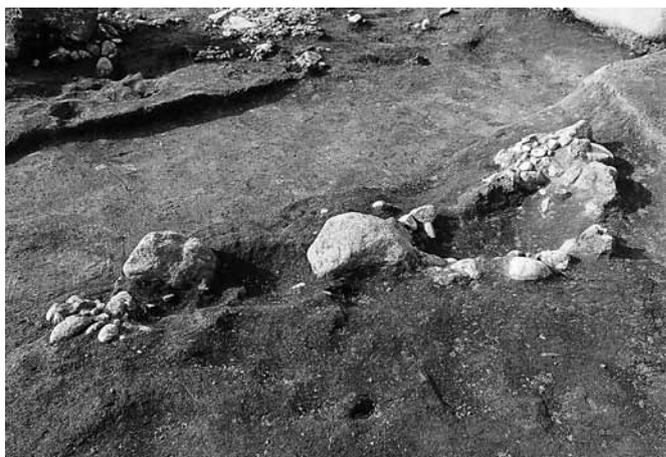
5. 茅畑遺跡 1号古墳羨門(南から)



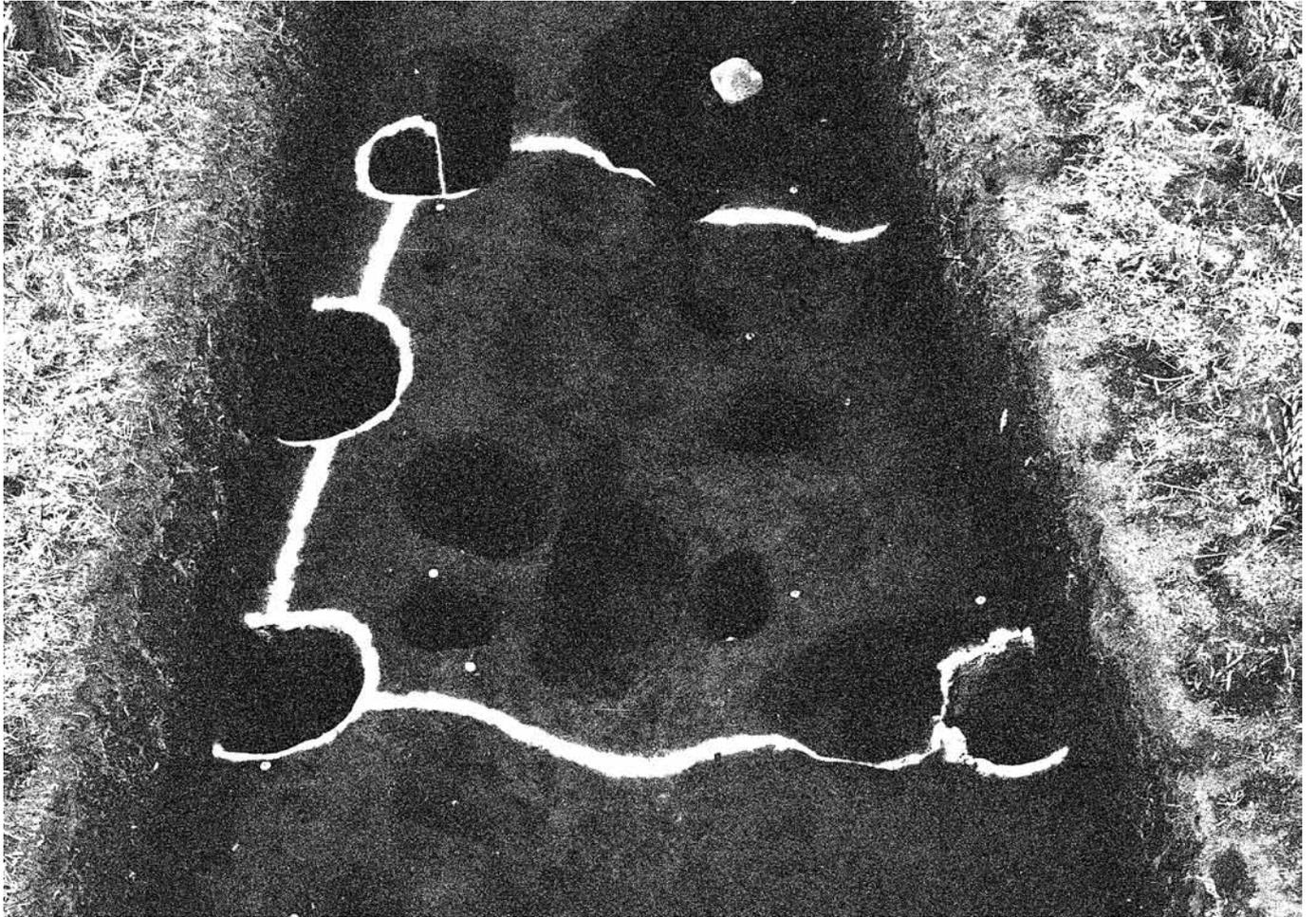
6. 茅畑遺跡 1号古墳羨門(南から)



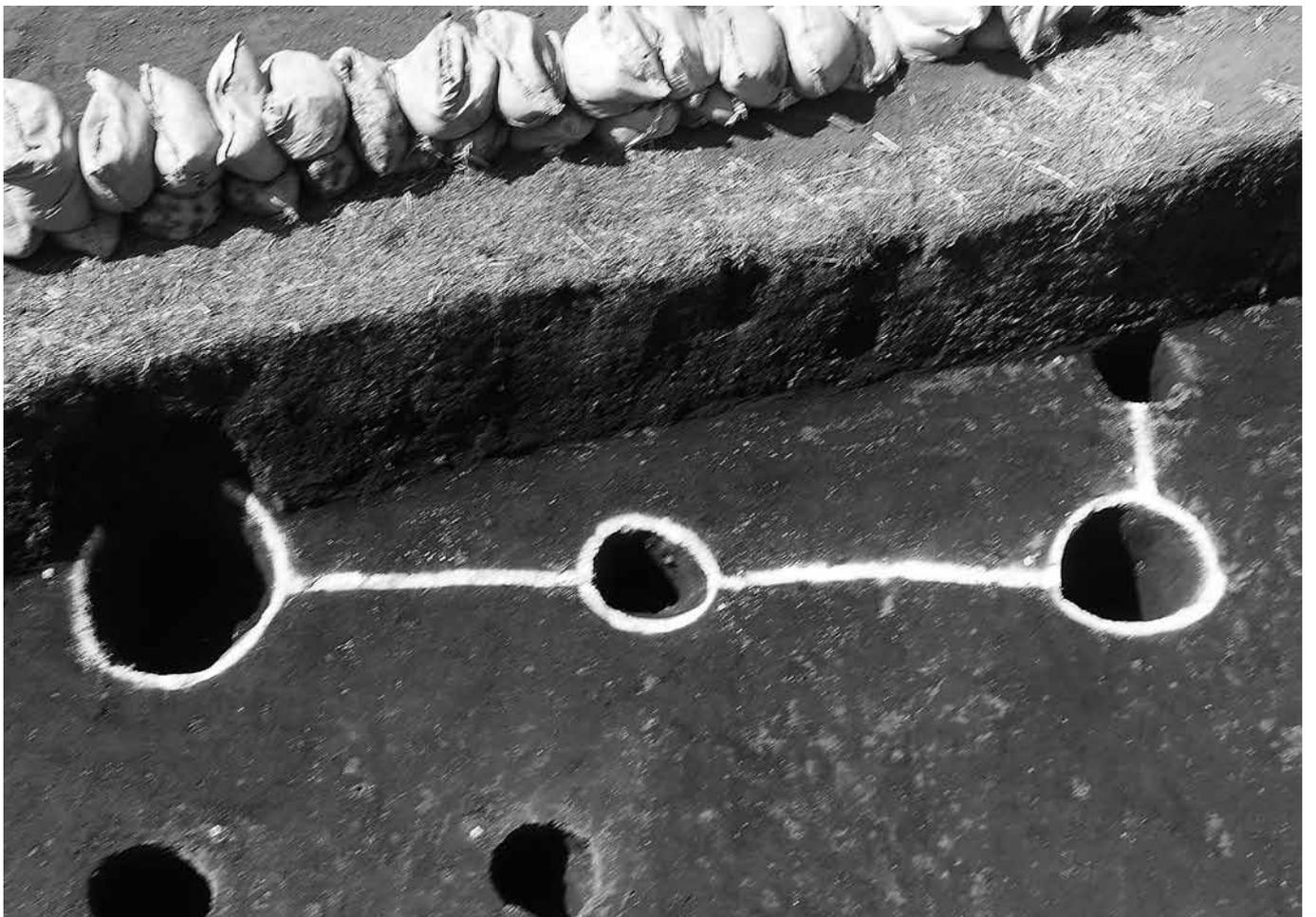
7. 茅畑遺跡 1号古墳羨門(抜き取り痕)(南から)



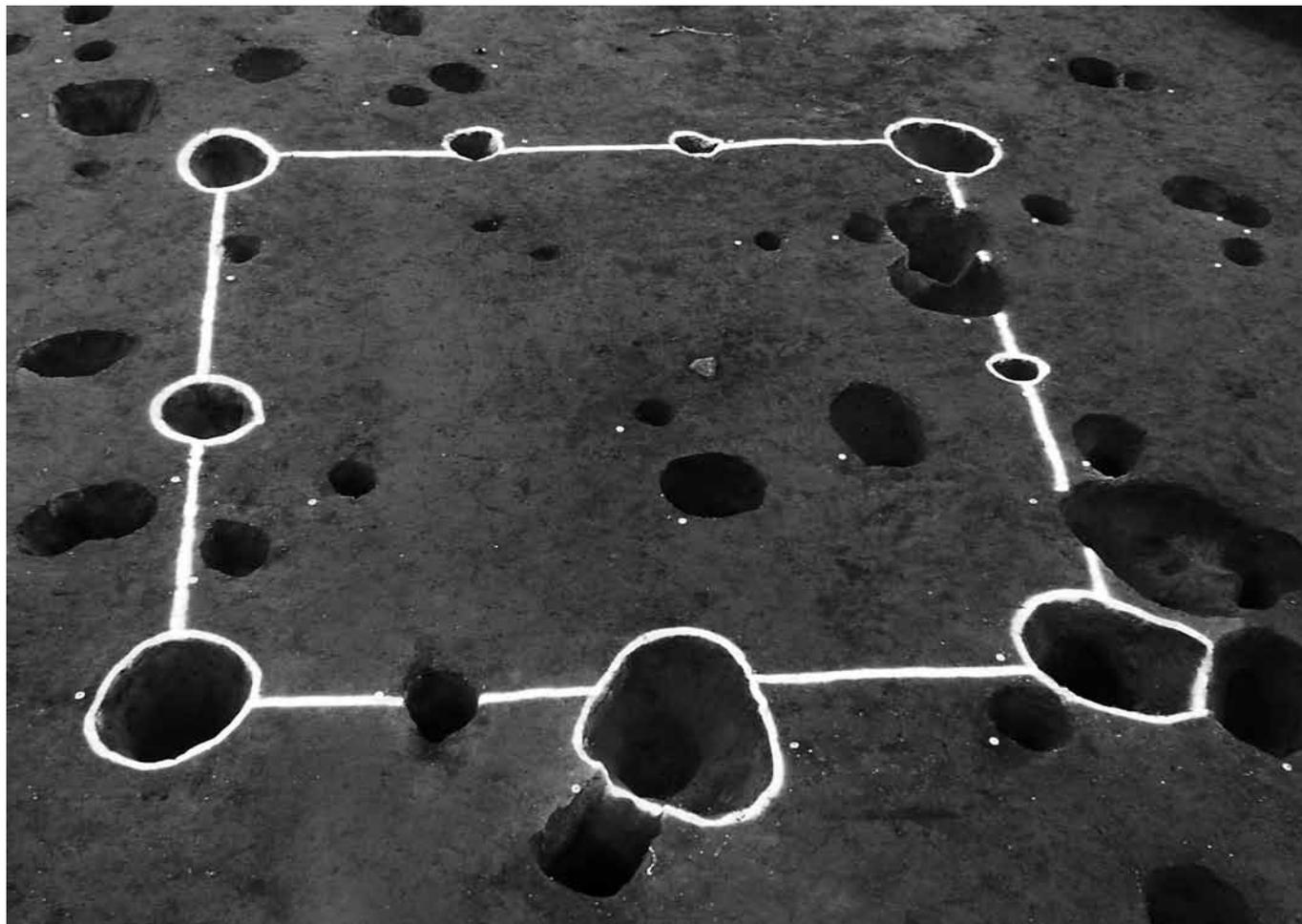
8. 茅畑遺跡 1号古墳框石跡(南から)



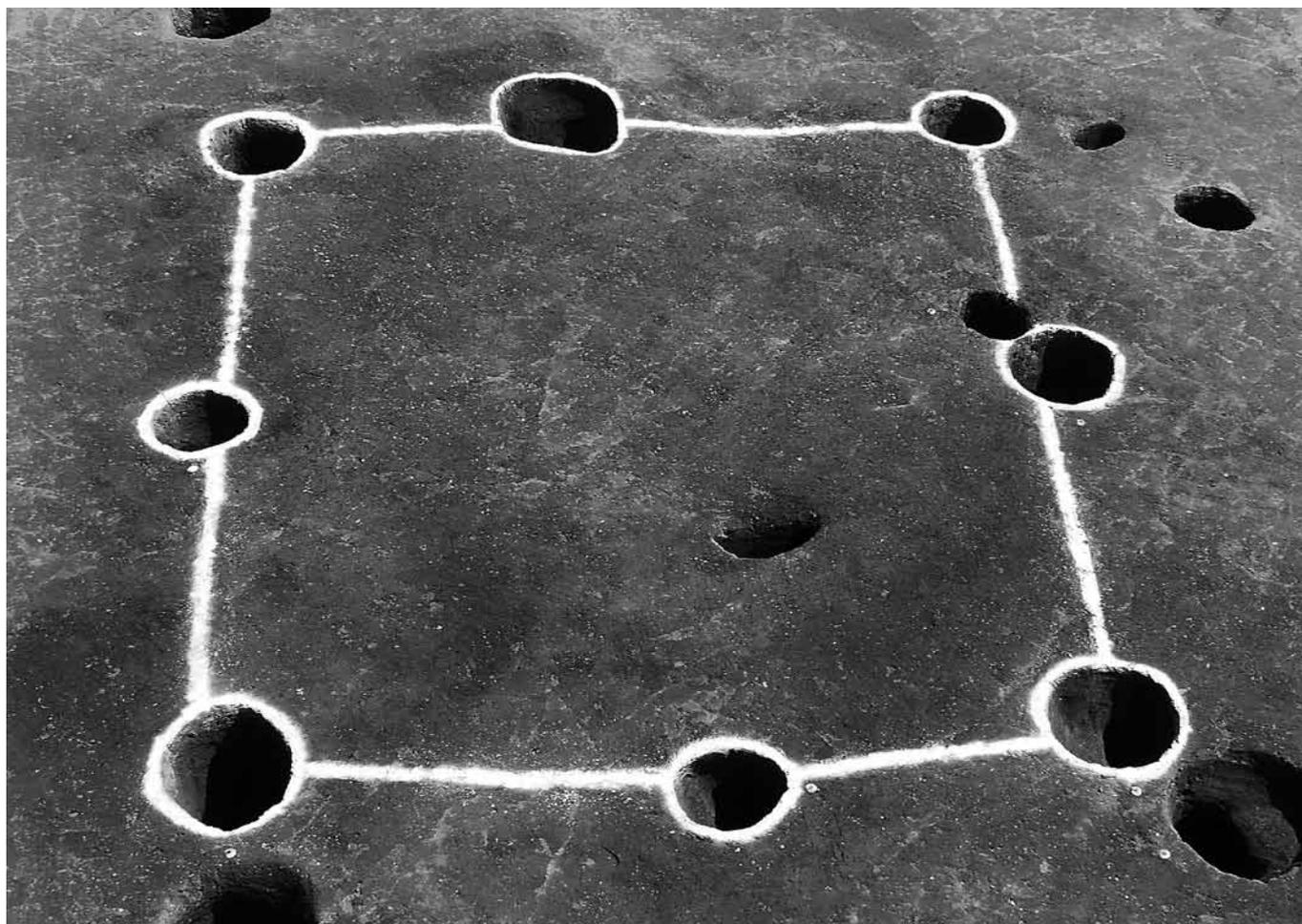
1. 茅畑遺跡4号掘立柱建物全景(北から)



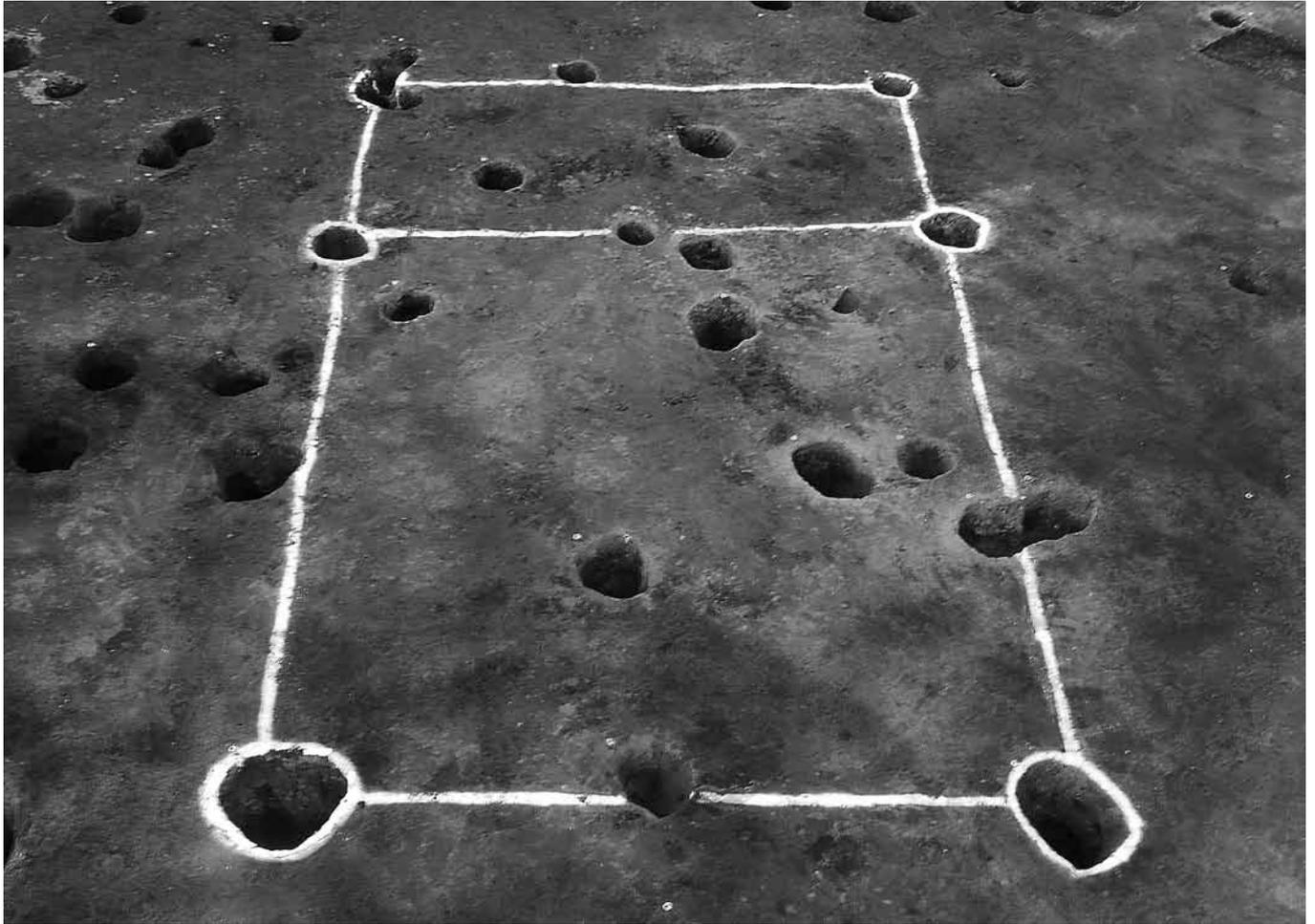
2. 茅畑遺跡11号掘立柱建物全景(東から)



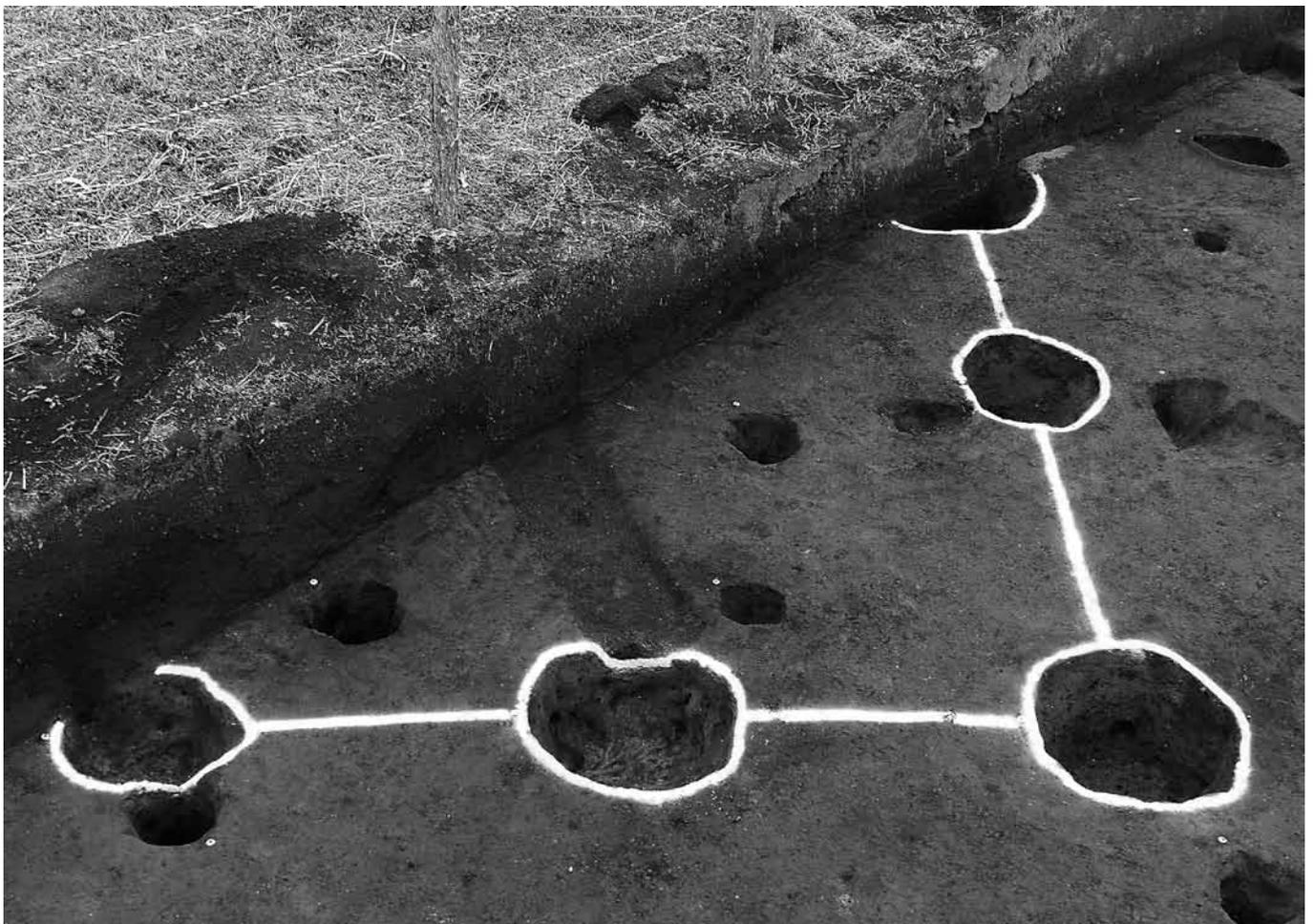
1. 茅畑遺跡17号掘立柱建物全景(西から)



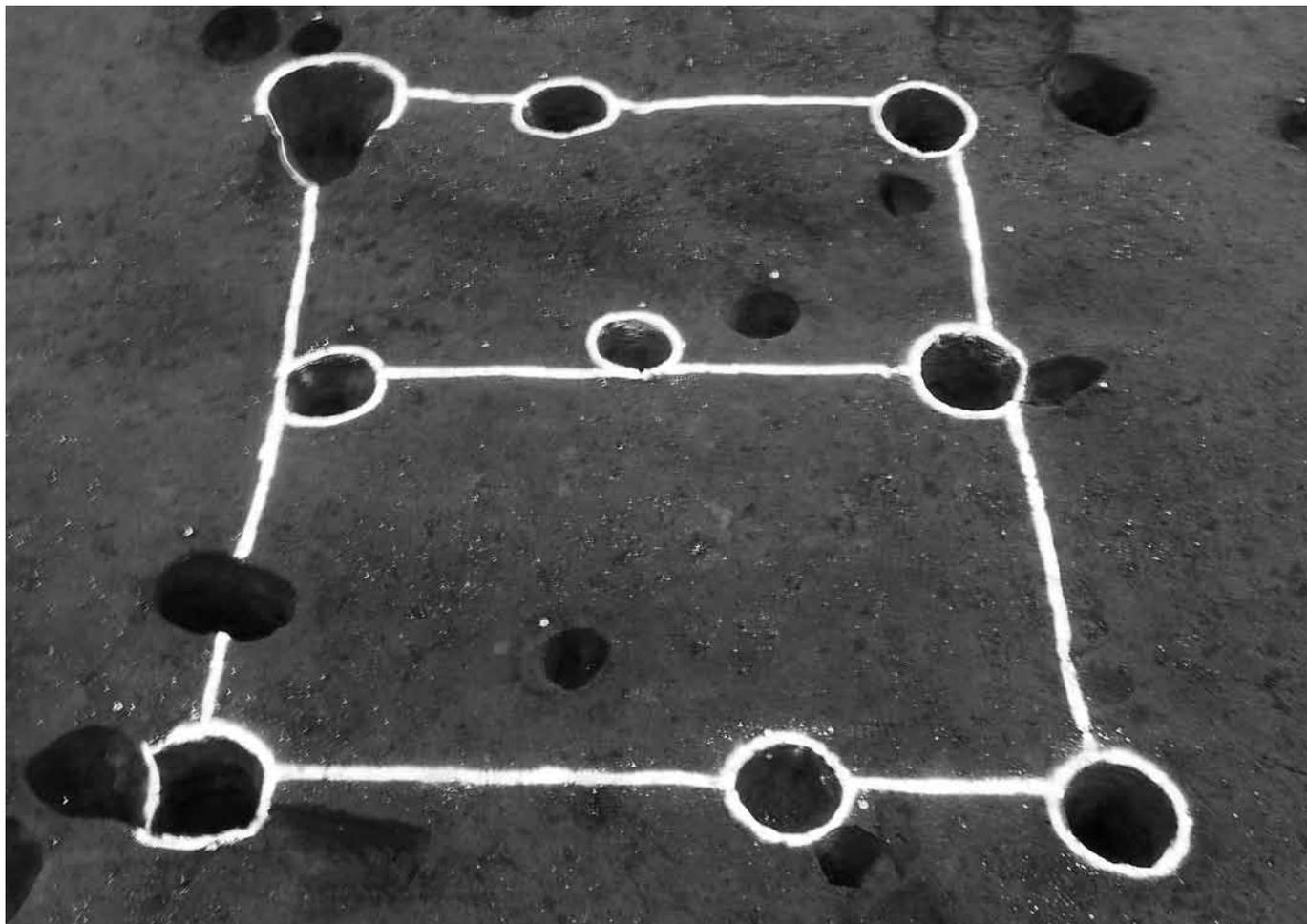
2. 茅畑遺跡18号掘立柱建物全景(西から)



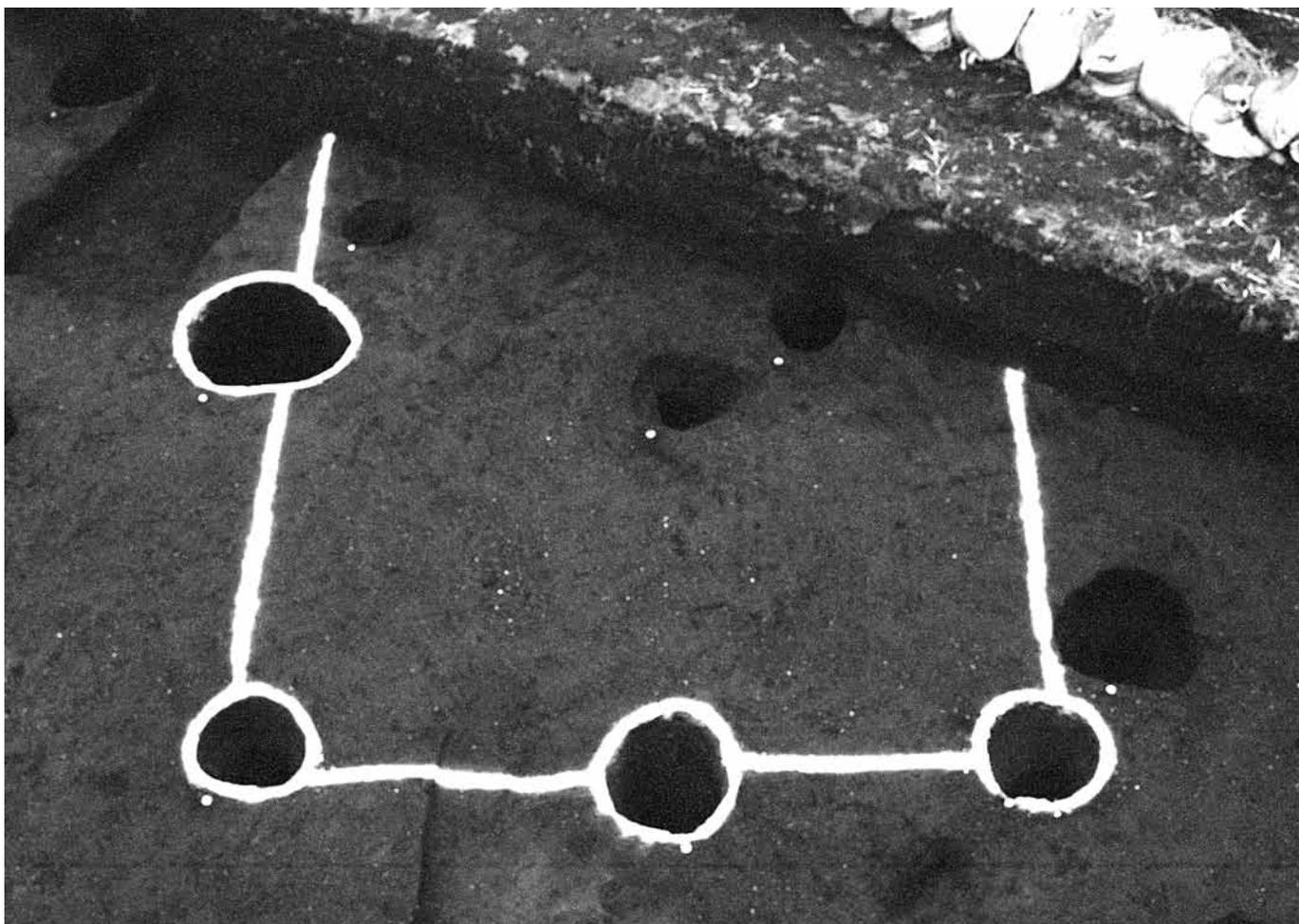
1. 茅畑遺跡21号掘立柱建物全景(南西から)



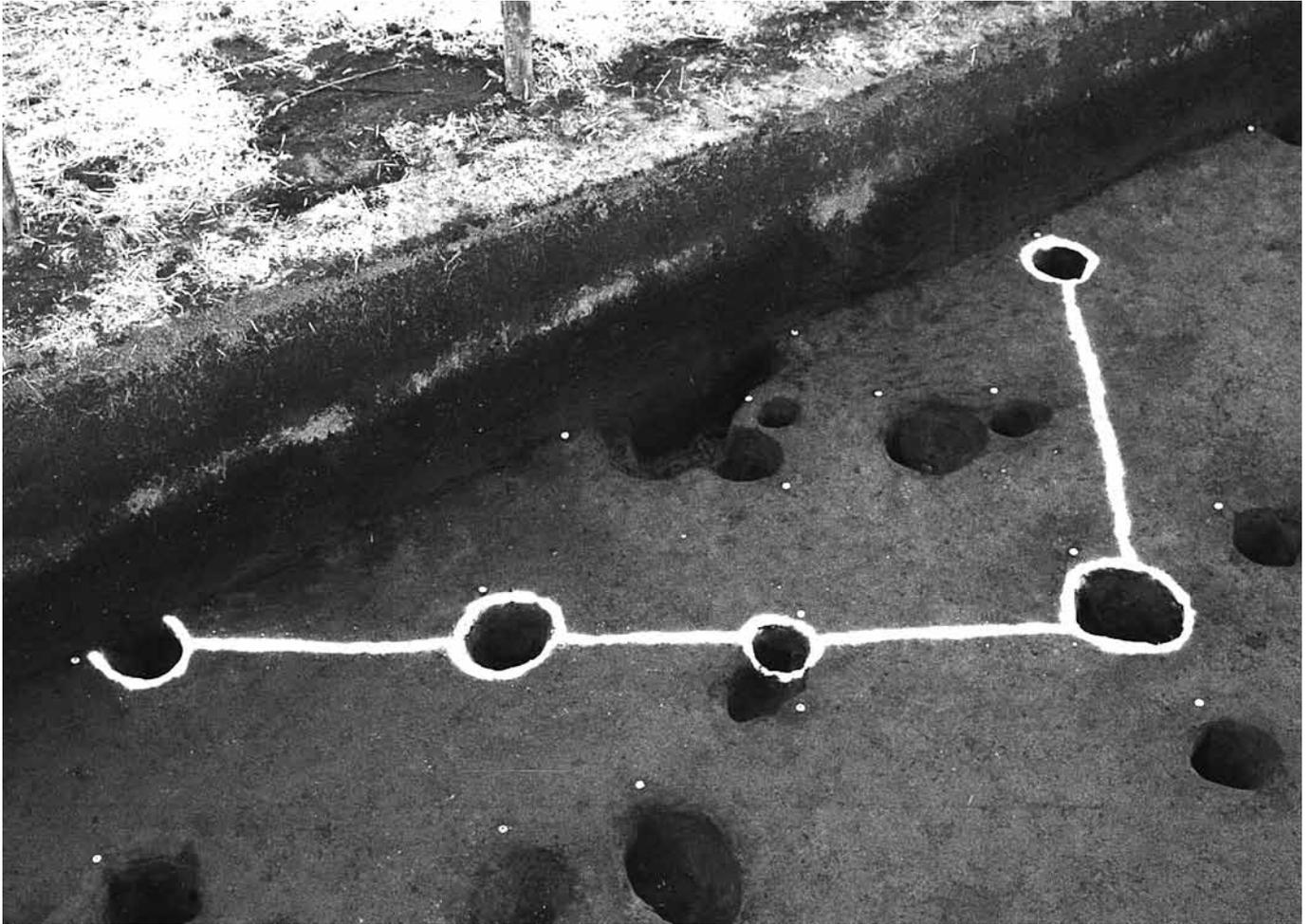
2. 茅畑遺跡25号掘立柱建物全景(南から)



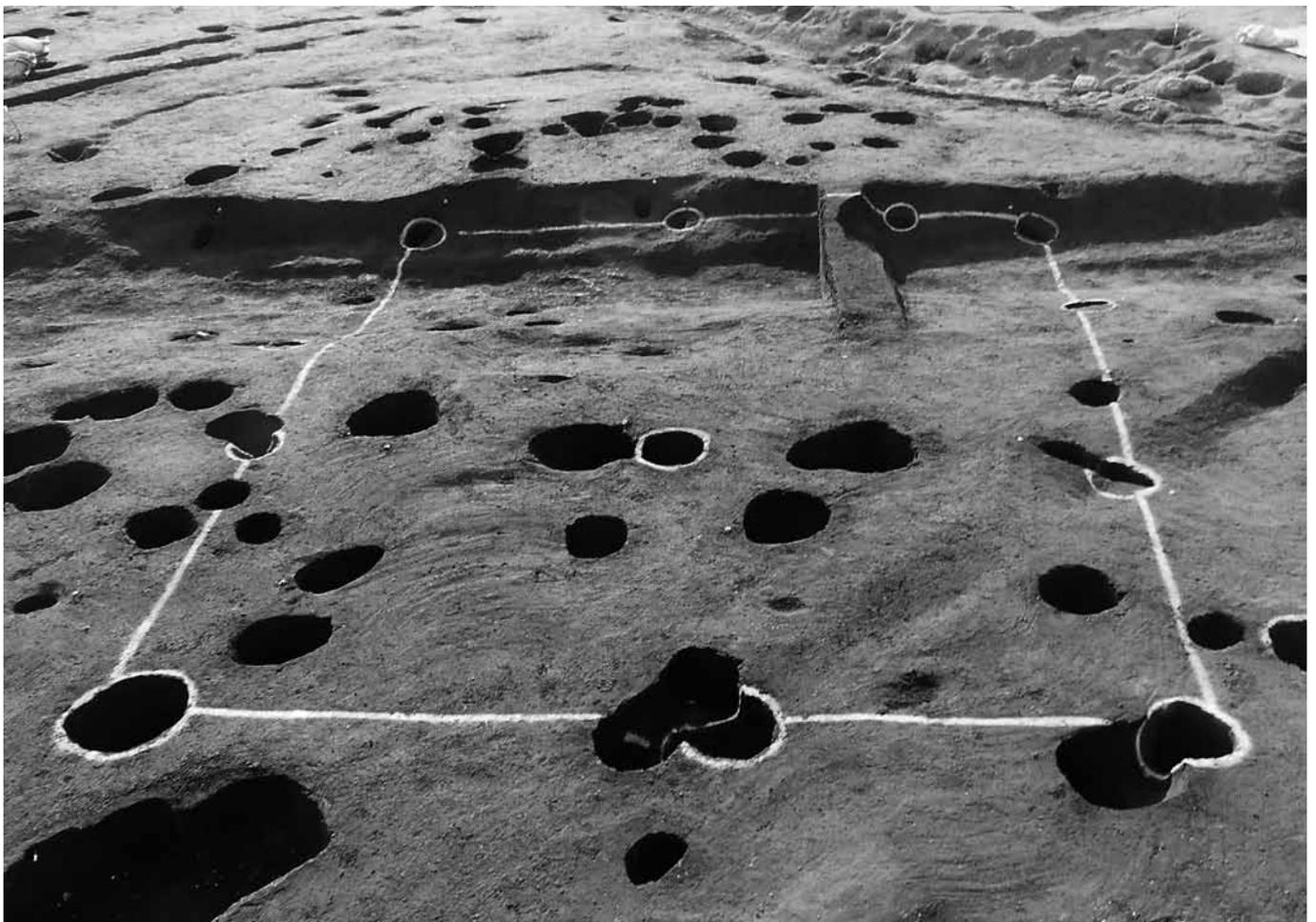
1. 茅畑遺跡27号掘立柱建物全景(南から)



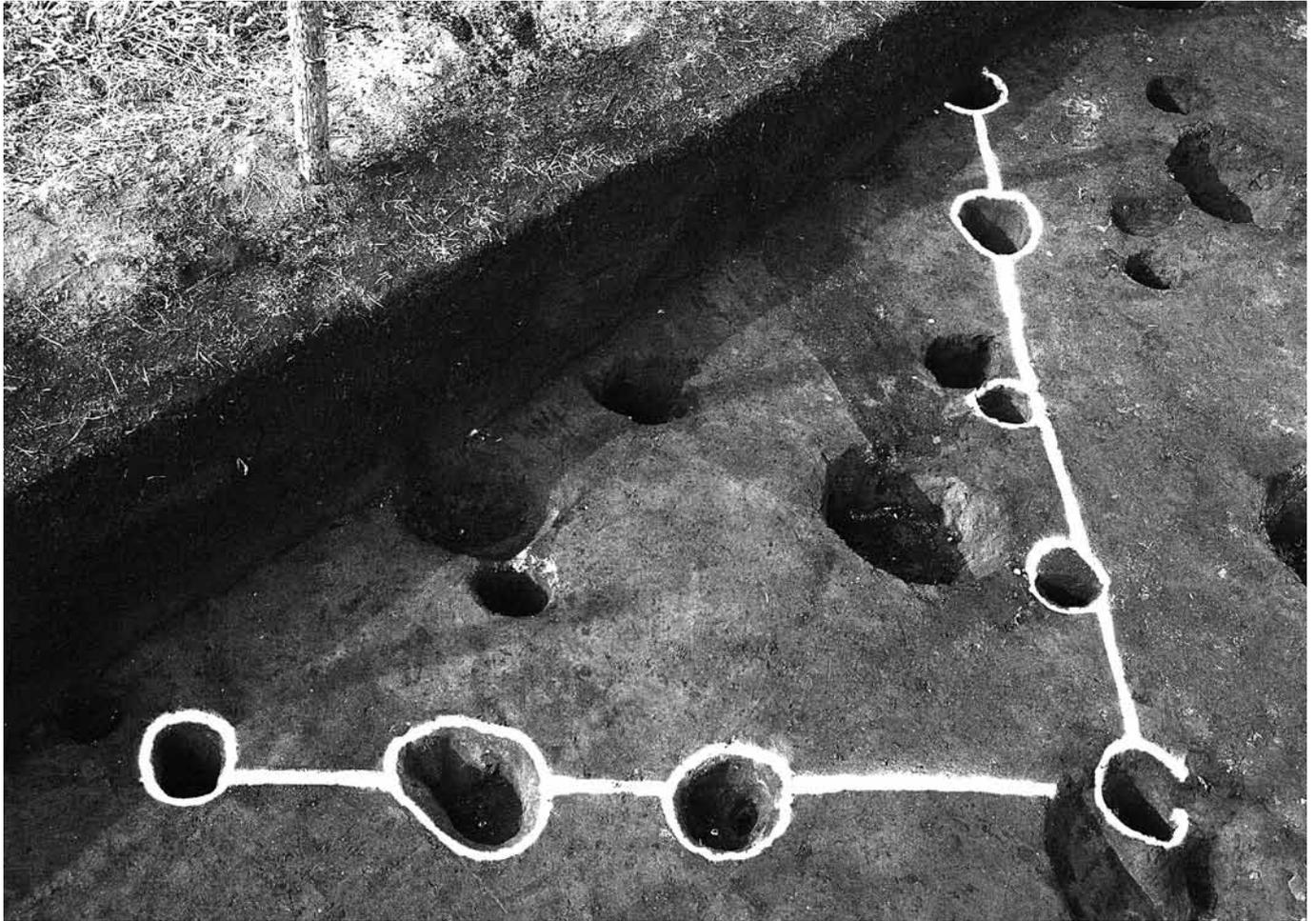
2. 茅畑遺跡28号掘立柱建物全景(北西から)



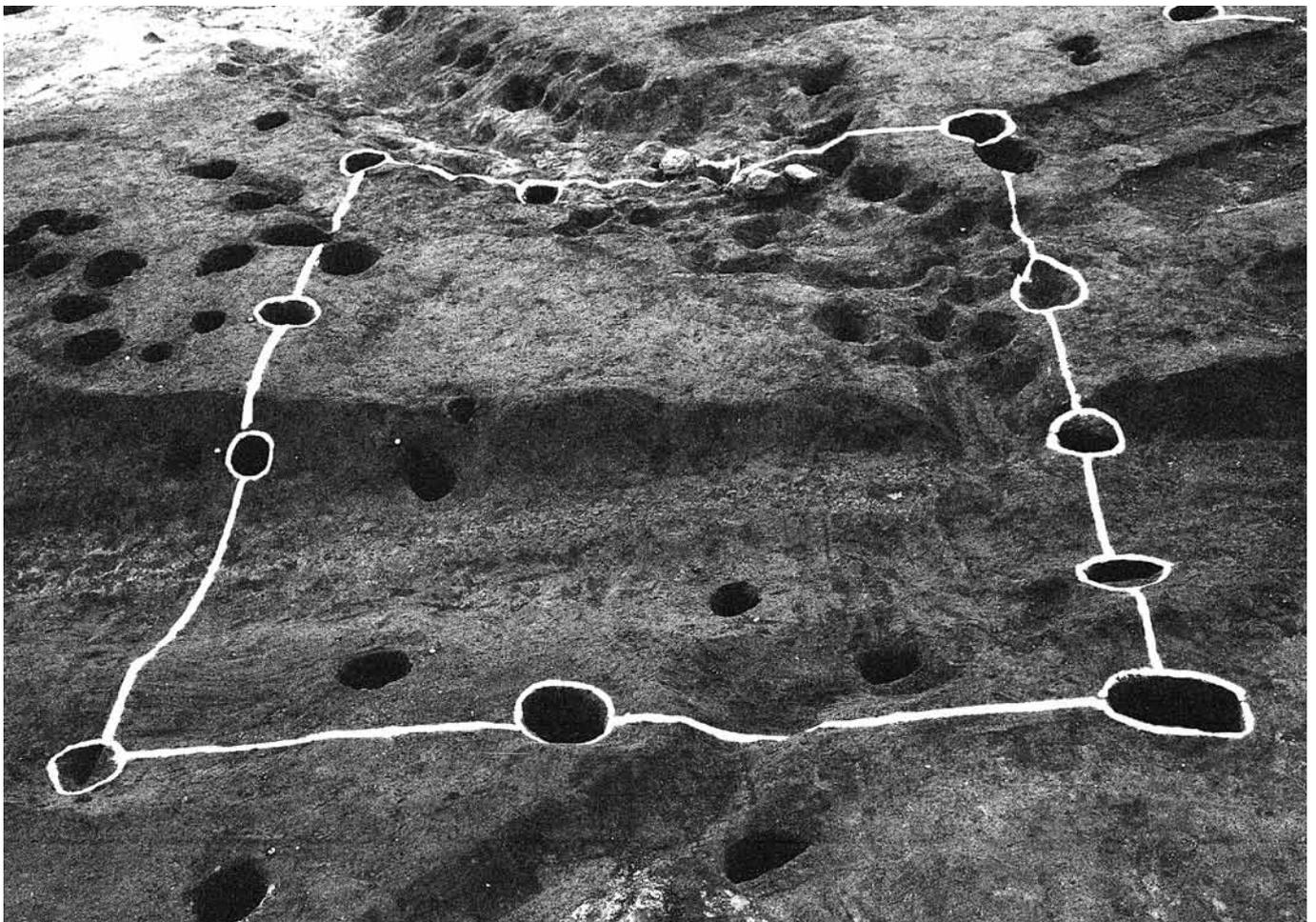
1. 茅畑遺跡29号掘立柱建物全景(南から)



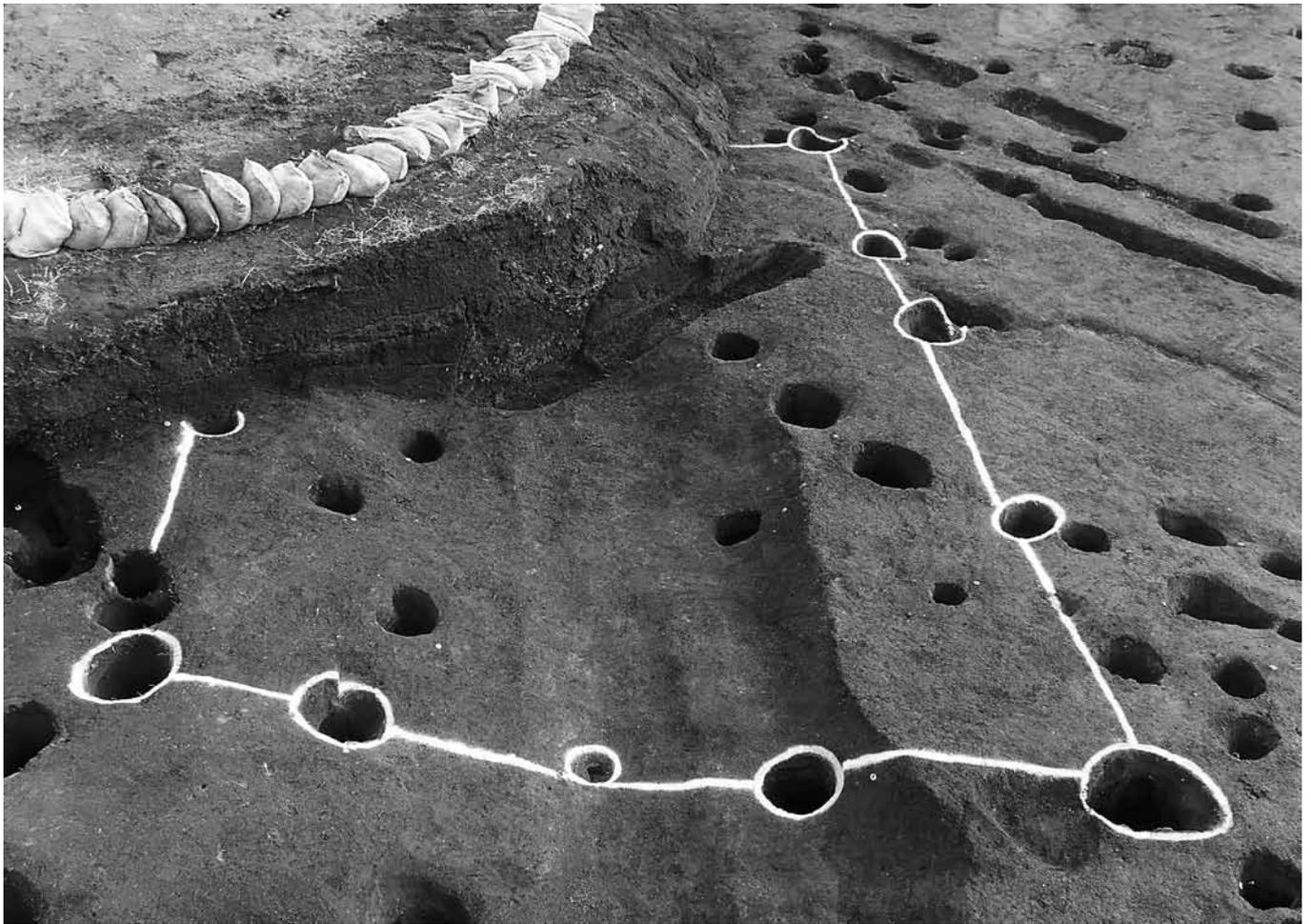
2. 茅畑遺跡43号掘立柱建物全景(東から)



1. 茅畑遺跡47号掘立柱建物全景(南から)



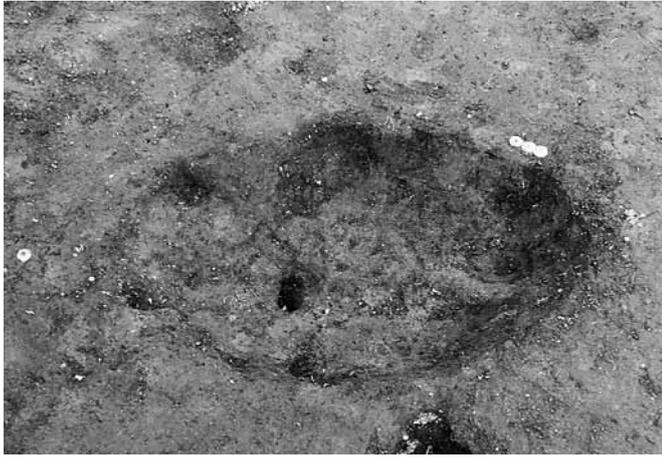
2. 茅畑遺跡48号掘立柱建物全景(東から)



1. 茅畑遺跡49号掘立柱建物全景(北から)



2. 茅畑遺跡1号道路全景(南から)



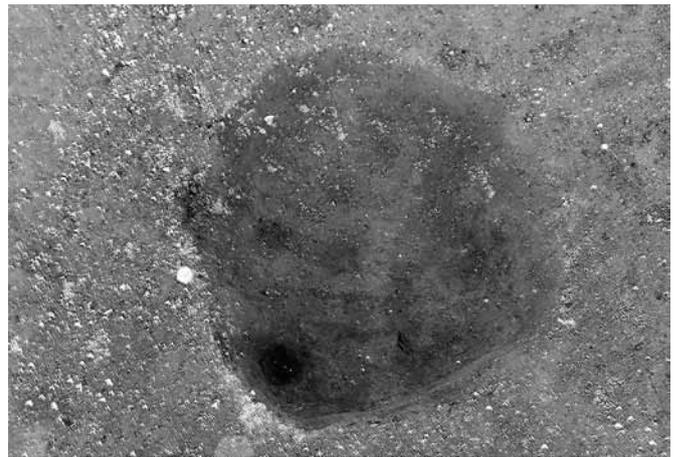
1. 茅畑遺跡 1号土坑全景(南西から)



2. 茅畑遺跡 2号土坑全景(西から)



3. 茅畑遺跡 3号土坑土層断面(西から)



4. 茅畑遺跡 4号土坑全景(西から)



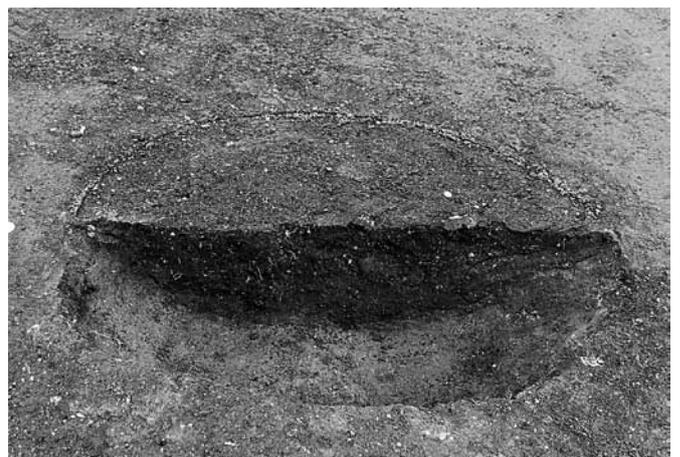
5. 茅畑遺跡 5号土坑全景(西から)



6. 茅畑遺跡 7号土坑全景(西から)



7. 茅畑遺跡 8号土坑全景(南西から)



8. 茅畑遺跡 9号土坑土層断面(西から)

茅畑遺跡



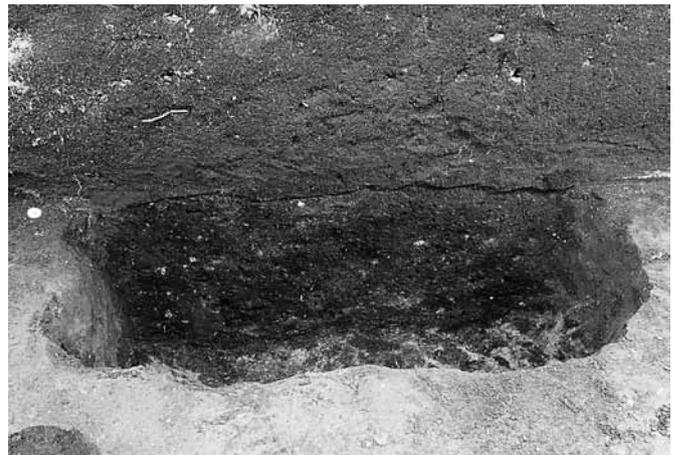
1. 茅畑遺跡11号土坑全景(西から)



2. 茅畑遺跡12号土坑全景(西から)



3. 茅畑遺跡13号土坑全景(南から)



4. 茅畑遺跡14号土坑土層断面(東から)



5. 茅畑遺跡15号土坑全景、遺物出土状態(西から)



6. 茅畑遺跡18号土坑全景(西から)



7. 茅畑遺跡19号土坑全景(南西から)



8. 茅畑遺跡20号土坑全景(南東から)



1. 茅畑遺跡21号土坑全景(西から)



2. 茅畑遺跡27号土坑全景(西から)



3. 茅畑遺跡28号土坑全景(南から)



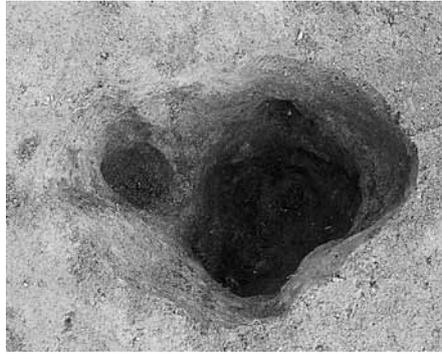
4. 茅畑遺跡29号土坑全景(西から)



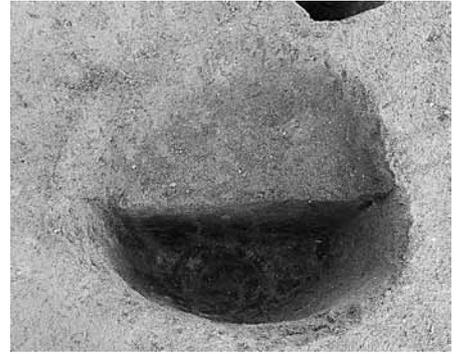
5. 茅畑遺跡ピット群全景(南から)



1. 32号ピット全景(西から)



2. 55号ピット全景(南西から)



3. 72号ピット全景(西から)



4. 119号ピット全景(西から)



5. 122号ピット全景(南西から)



6. 132号ピット全景(西から)



7. 148号ピット全景(南西から)



8. 151号ピット全景(西から)



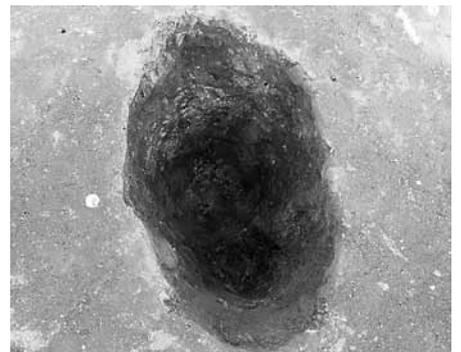
9. 156号ピット全景(西から)



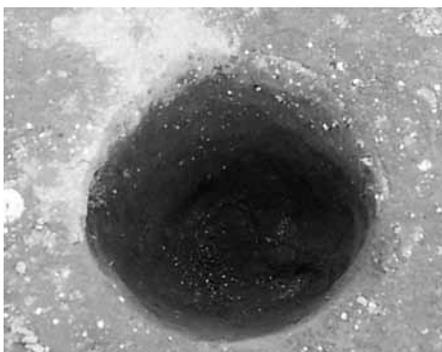
10. 159号ピット全景(南東から)



11. 197号ピット全景(南西から)



12. 238号ピット全景(南西から)



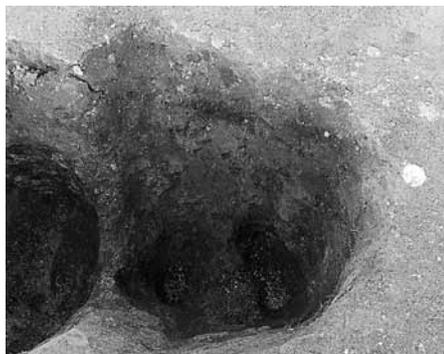
13. 240号ピット全景(南西から)



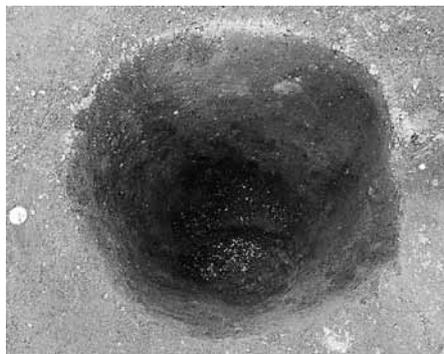
14. 241号ピット全景(南西から)



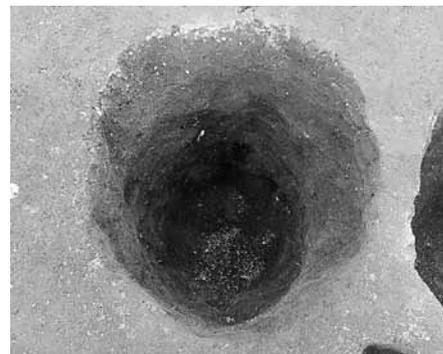
15. 244号ピット全景(南西から)



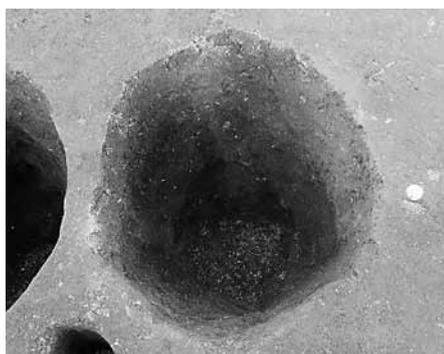
1. 245号ピット全景(南西から)



2. 251号ピット全景(南西から)



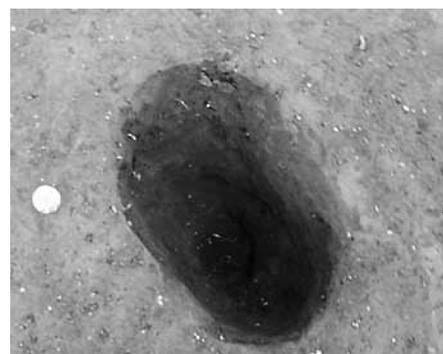
3. 254号ピット全景(南西から)



4. 255号ピット全景(南西から)



5. 292号ピット全景(西から)



6. 303号ピット全景(南西から)



7. 316号ピット全景(南西から)



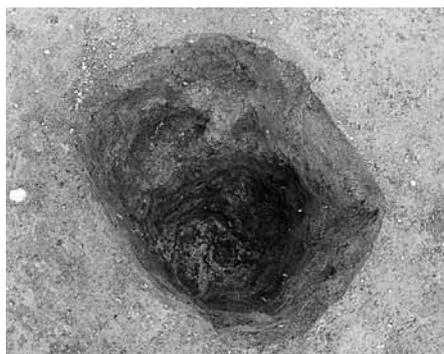
8. 356号ピット全景(西から)



9. 382号ピット全景(南から)



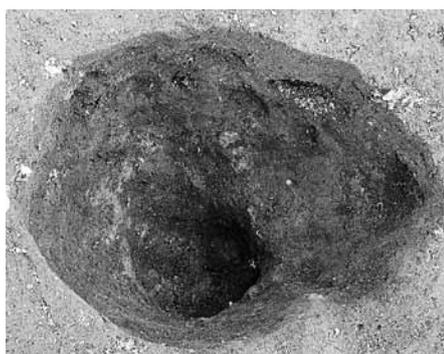
10. 383号ピット全景(南西から)



11. 387号ピット全景(南西から)



12. 400号ピット全景(西から)



13. 409号ピット全景(西から)



14. 463号ピット全景(南西から)



15. 464号ピット全景(南西から)



1. 465・466号ピット全景(南東から)



2. 548号ピット全景(西から)



3. 594号ピット全景(西から)



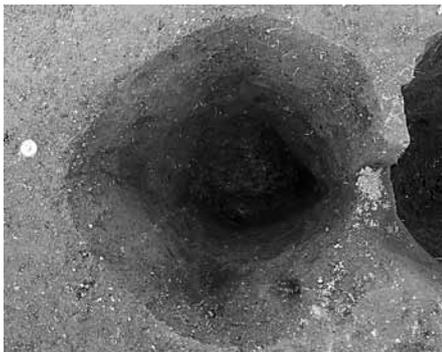
4. 605号ピット全景(南西から)



5. 608号ピット全景(南西から)



6. 659号ピット全景(西から)



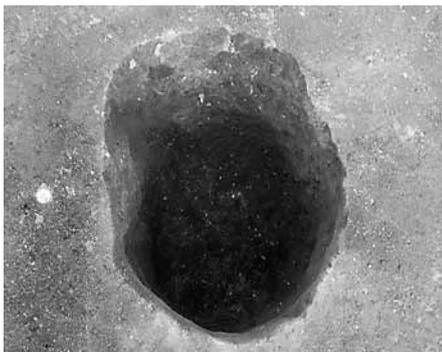
7. 673号ピット全景(西から)



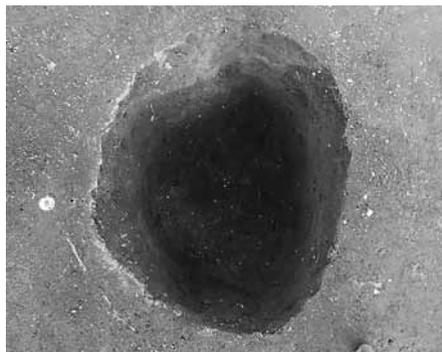
8. 674号ピット全景(西から)



9. 679号ピット全景(北から)



10. 690号ピット全景(西から)



11. 692号ピット全景(西から)



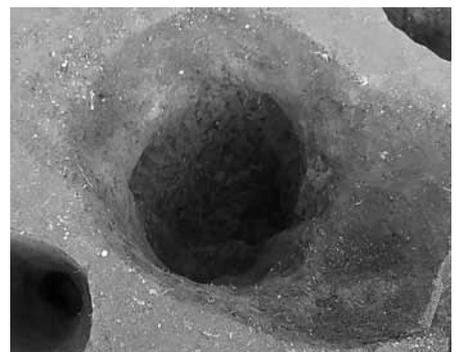
12. 700号ピット全景(西から)



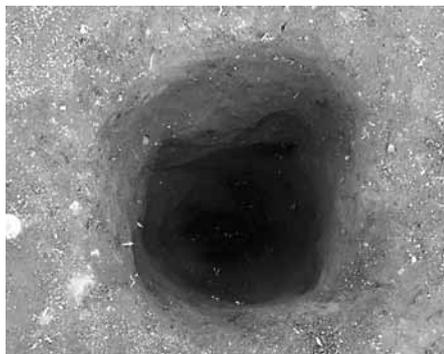
13. 707号ピット全景(南西から)



14. 741号ピット全景(西から)



15. 766号ピット全景(東から)



1. 790号ピット全景(西から)



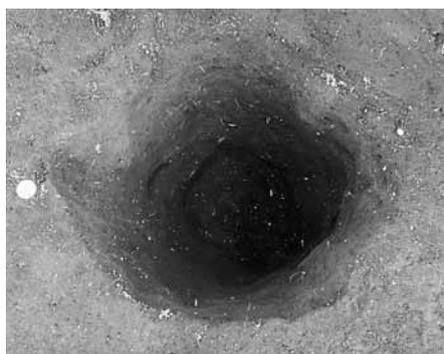
2. 800号ピット全景(南東から)



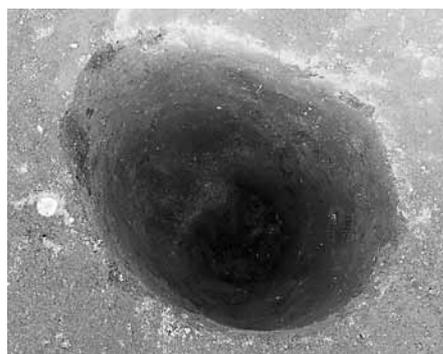
3. 808号ピット全景(西から)



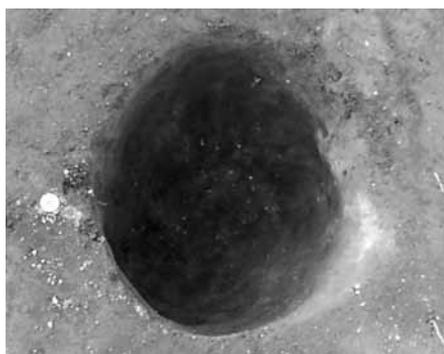
4. 809号ピット全景(西から)



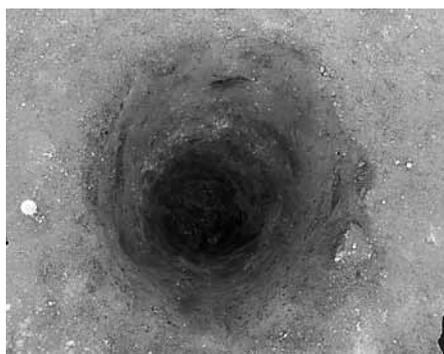
5. 815号ピット全景(北西から)



6. 858号ピット全景(西から)



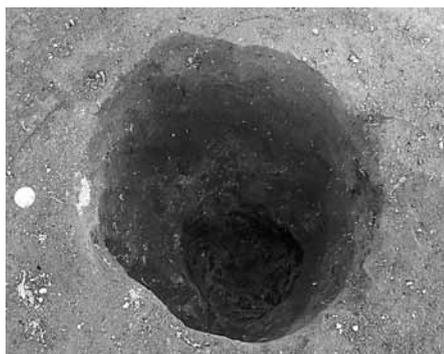
7. 873号ピット全景(南東から)



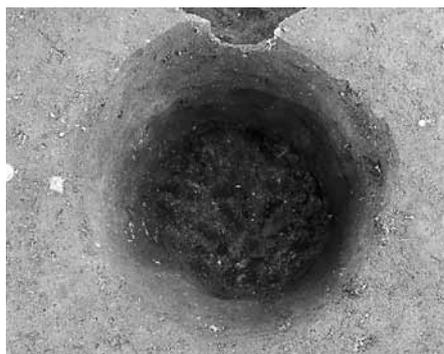
8. 952号ピット全景(西から)



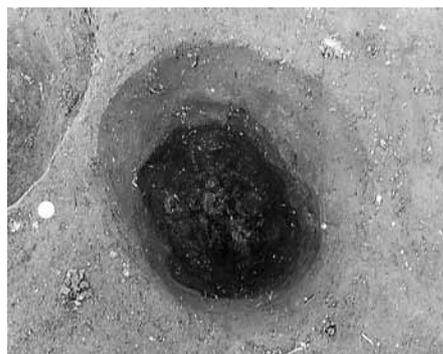
9. 1010号ピット全景(西から)



10. 1023号ピット全景(西から)



11. 1030号ピット全景(西から)



12. 1032号ピット全景(南東から)



13. 1062号ピット全景(南から)



14. 1131号ピット全景(北西から)



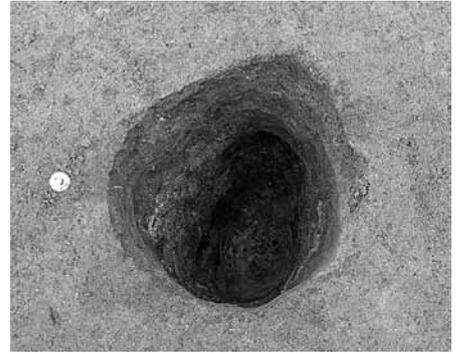
15. 1132号ピット全景(北西から)



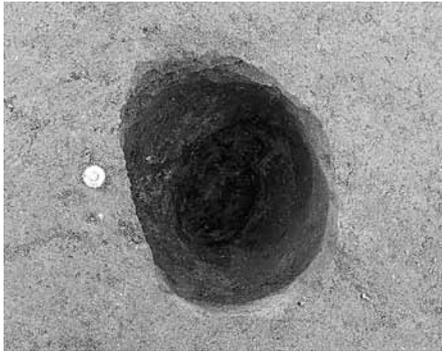
1. 1133号ピット全景(北西から)



2. 1245号ピット全景(南から)



3. 1275号ピット全景(南から)



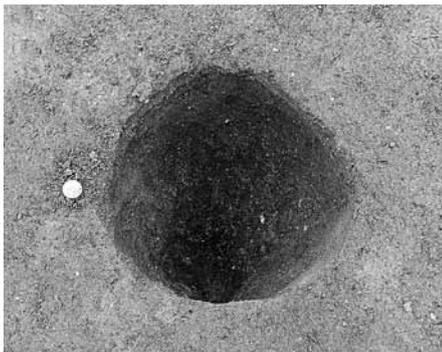
4. 1276号ピット全景(南から)



5. 1279号ピット全景(南から)



6. 1281号ピット全景(南から)



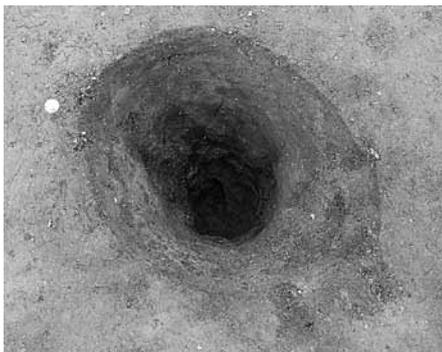
7. 1294号ピット全景(南から)



8. 1316号ピット全景(南から)



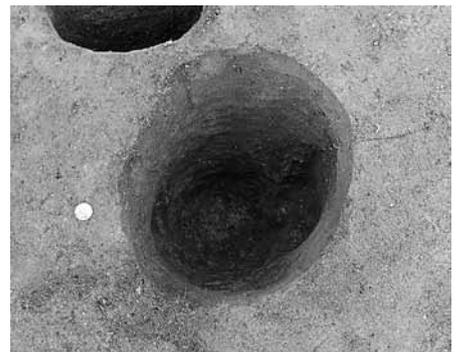
9. 1317号ピット全景(南から)



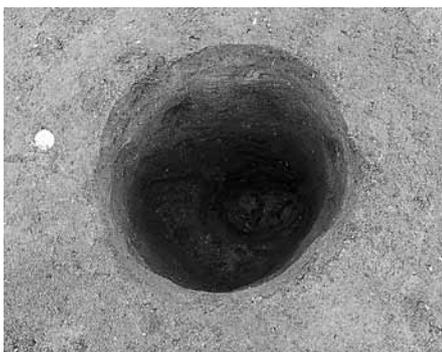
10. 1318号ピット全景(南から)



11. 1359号ピット全景(南から)



12. 1388号ピット全景(南から)



13. 1432号ピット全景(南から)



14. 1436号ピット全景(南から)



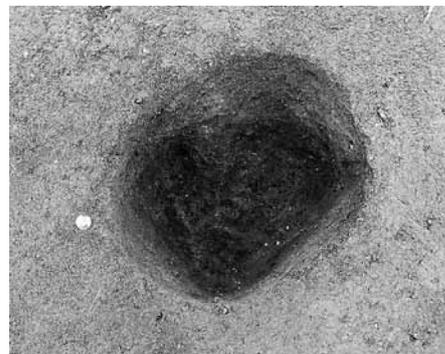
15. 1441号ピット全景(南から)



1. 1459号ピット全景(南から)



2. 1468号ピット全景(南から)



3. 1490号ピット全景(南から)



4. 1511号ピット全景(南から)



5. 1560号ピット全景(南から)



6. 1596号ピット土層断面(南から)



7. 1708号ピット全景(南から)



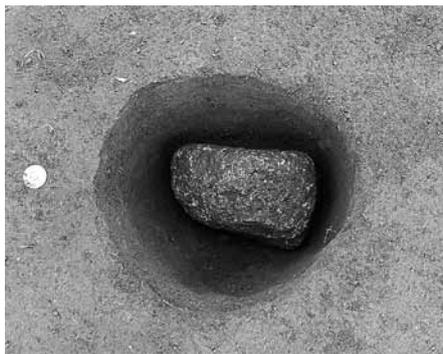
8. 1737号ピット全景(南から)



9. 1739号ピット全景(南から)



10. 1754号ピット全景(南から)



11. 1774号ピット全景(南から)



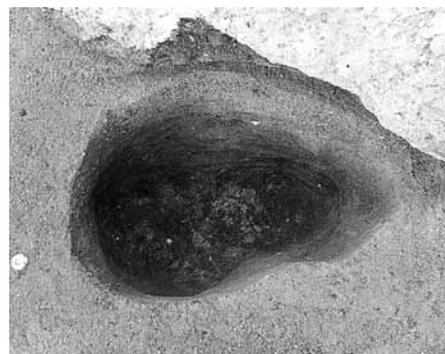
12. 1777号ピット全景(南から)



13. 1790号ピット全景(南から)



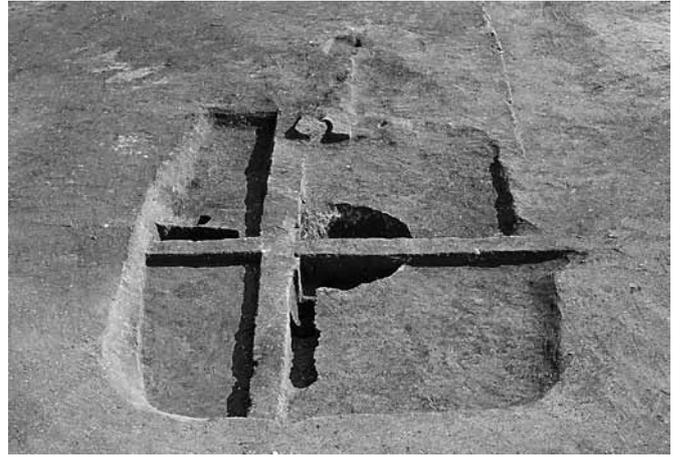
14. 1843号ピット全景(南から)



15. 1862号ピット全景(南西から)



1. 鳴上 I 遺跡 A 区 1 号住居全景(西から)



2. 鳴上 I 遺跡 A 区 1 号住居掘り方全景(西から)



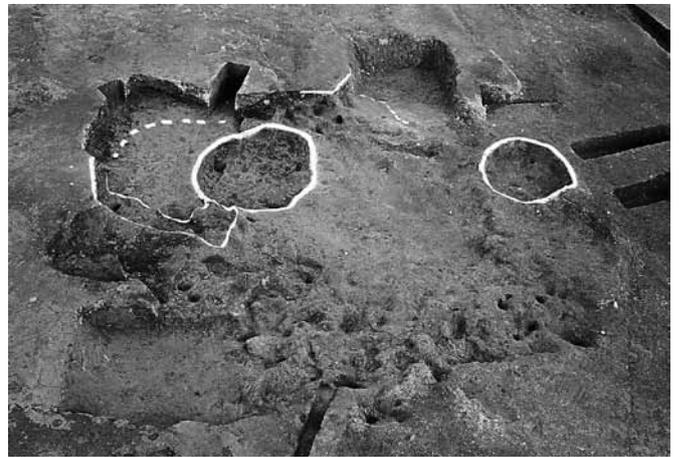
3. 鳴上 I 遺跡 A 区 1 号住居カマド全景(西から)



4. 鳴上 I 遺跡 A 区 1 号住居掘り方床下土坑(南から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区 501 号住居全景(北西から)



6. 鳴上 I 遺跡 B 区 501 号住居掘り方全景(西から)



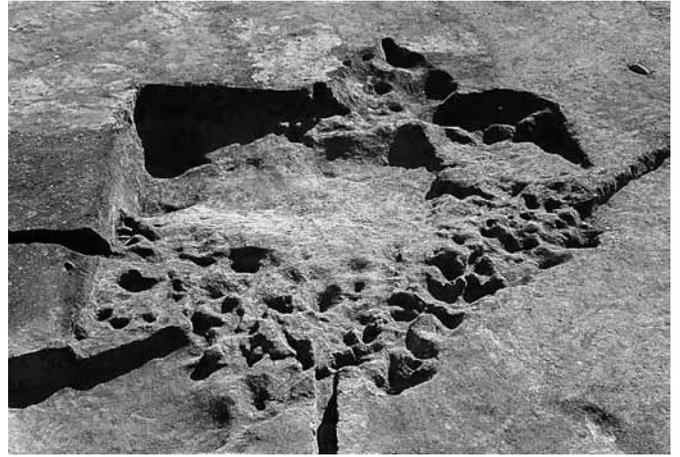
7. 鳴上 I 遺跡 B 区 501 号住居カマド検出状況(西から)



8. 鳴上 I 遺跡 B 区 501 号住居床下土坑全景(南から)



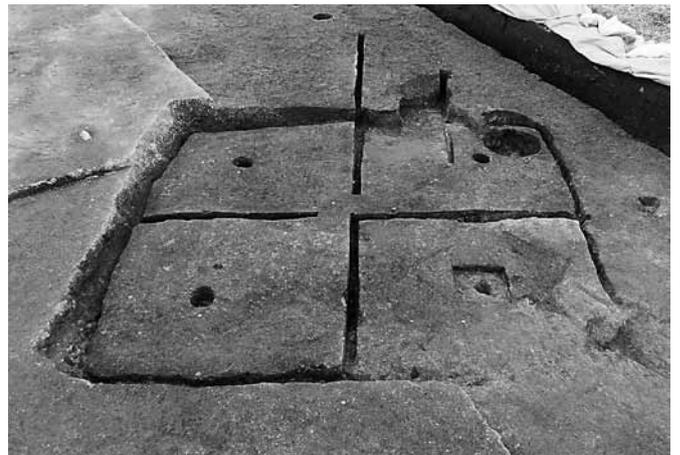
1. 鳴上 I 遺跡 B 区502号住居全景(西から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区502号住居掘り方全景(西から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区502号住居カマド掘り方全景(西から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区503号住居全景(西から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区503号住居掘り方全景(西から)



6. 鳴上 I 遺跡 B 区503号住居カマド全景(西から)



7. 鳴上 I 遺跡 B 区503号住居カマド掘り方全景(西から)



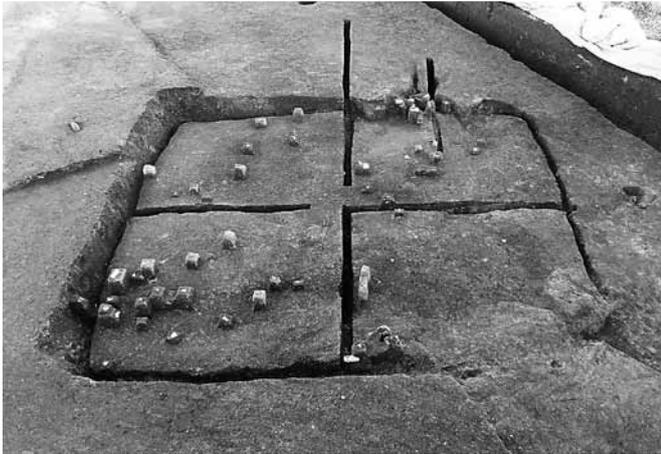
8. 鳴上 I 遺跡 B 区503号住居貯蔵穴全景(南から)



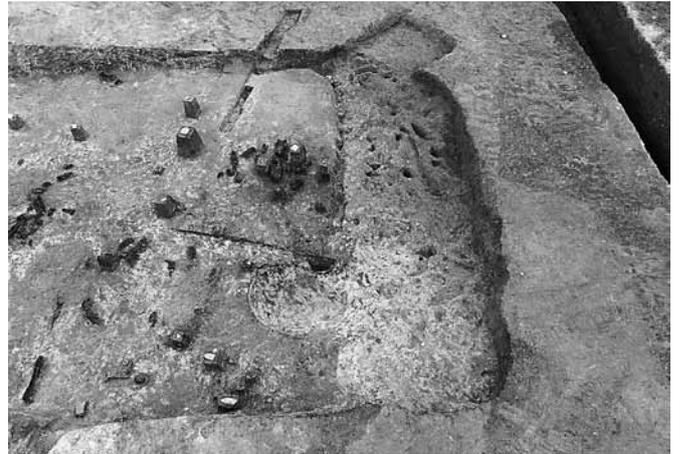
1. 鳴上 I 遺跡 B 区503号住居床下土坑 1・4・5 全景(西から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区503号住居 P 1 全景(南から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区503号住居遺物出土状態全景(西から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区504号住居掘り方全景(西から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区504号住居遺物出土状態(西から)



6. 鳴上 I 遺跡 B 区504号住居カマド全景(西から)



7. 鳴上 I 遺跡 B 区504号住居カマド掘り方全景(西から)



8. 鳴上 I 遺跡 B 区506号住居全景(西から)



1. 鳴上 I 遺跡 B 区 506 号住居掘り方全景(西から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区 506 号住居カマド土層断面(東から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区 506 号住居貯蔵穴全景(西から)



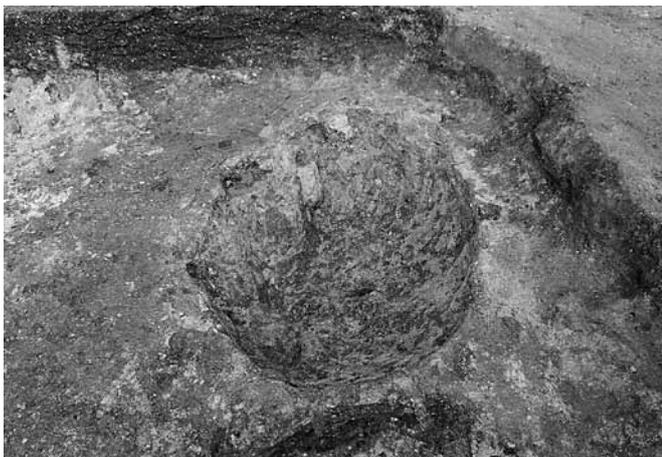
4. 鳴上 I 遺跡 B 区 506 号住居床下土坑 1 全景(南から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区 506 号住居床下土坑 2 土層断面(南から)



6. 鳴上 I 遺跡 B 区 506 号住居床下土坑 3 土層断面(南から)



7. 鳴上 I 遺跡 B 区 506 号住居床下土坑 4 土層全景(南から)



8. 鳴上 I 遺跡 B 区 507 号住居全景(東から)



1. 鳴上 I 遺跡 B 区 507 号住居掘り方全景(東から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区 507 号住居カマド全景(東から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区 507 号住居貯蔵穴全景(東から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区 507 号住居床下土坑 1 全景(西から)



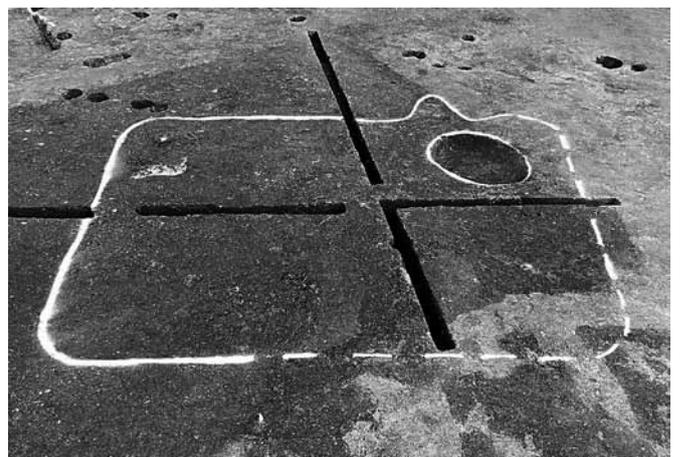
5. 鳴上 I 遺跡 B 区 507 号住居床下土坑 2 全景(西から)



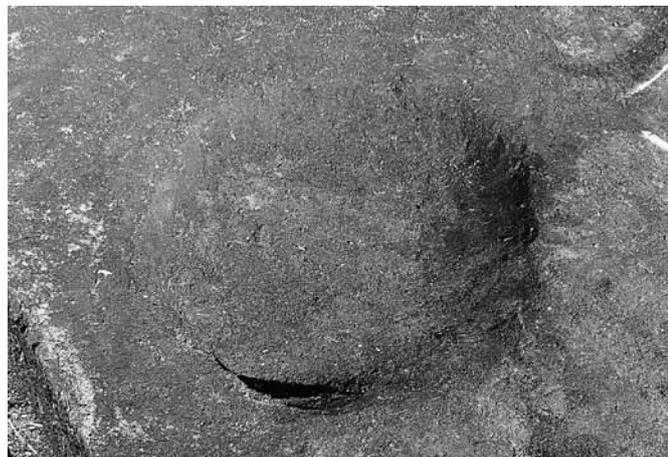
6. 鳴上 I 遺跡 B 区 507 号住居 P 1 全景(東から)



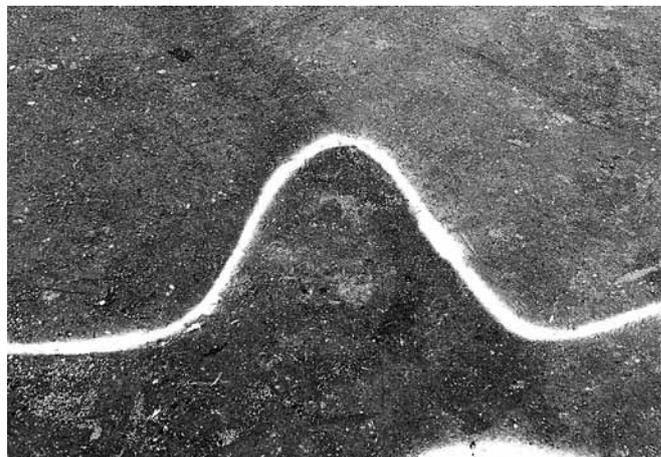
7. 鳴上 I 遺跡 B 区 507 号住居カマド遺物出土状態(東から)



8. 鳴上 I 遺跡 B 区 509 号住居全景(西から)



1. 鳴上 I 遺跡 B 区 509 号住居貯蔵穴全景(南から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区 509 号住居カマド全景(西から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区 509 号住居カマド掘り方全景(西から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区 510 号住居全景(西から)



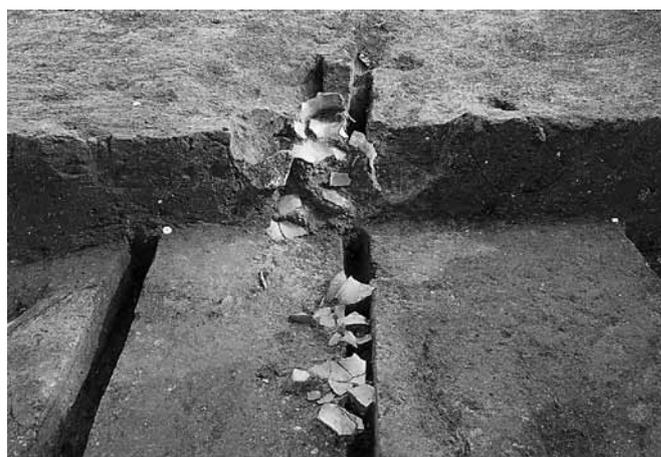
5. 鳴上 I 遺跡 B 区 510 号住居掘り方全景(西から)



6. 鳴上 I 遺跡 B 区 510 号住居カマド全景(西から)



7. 鳴上 I 遺跡 B 区 510 号住居貯蔵穴全景(西から)



8. 鳴上 I 遺跡 B 区 510 号住居カマド掘り方全景(西から)

鳴上 I 遺跡 B 区



1. 鳴上 I 遺跡 B 区511号住居全景(西から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区511号住居掘り方全景(西から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区512号住居全景(西から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区512号住居貯蔵穴全景(西から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区512号住居カマド全景(西から)



6. 鳴上 I 遺跡 B 区512号住居カマド土層断面(南から)



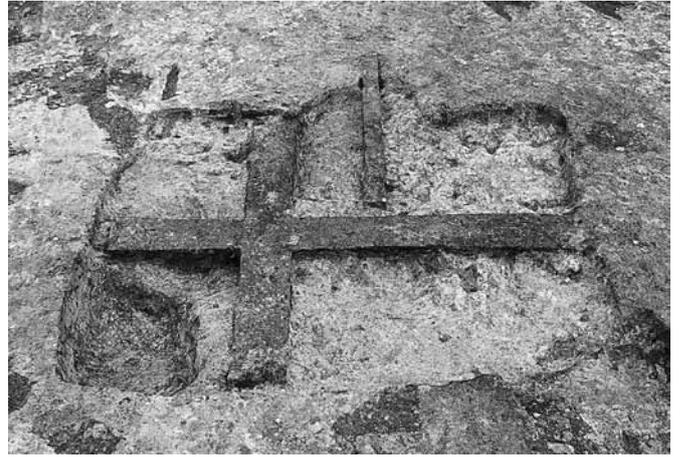
7. 鳴上 I 遺跡 B 区512号住居遺物出土状態全景(西から)



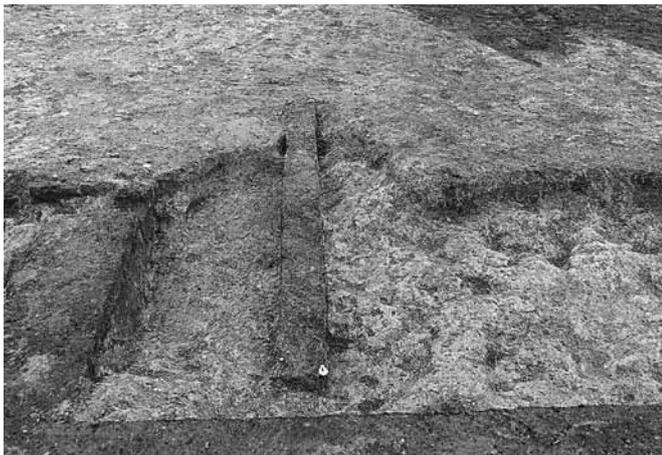
8. 鳴上 I 遺跡 B 区512号住居カマド付近遺物出土状態(西から)



1. 鳴上 I 遺跡 B 区 513 号住居全景(西から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区 513 号住居掘り方全景(西から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区 513 号住居カマド掘り方全景(西から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区 513 号住居カマド遺物出土状態(西から)



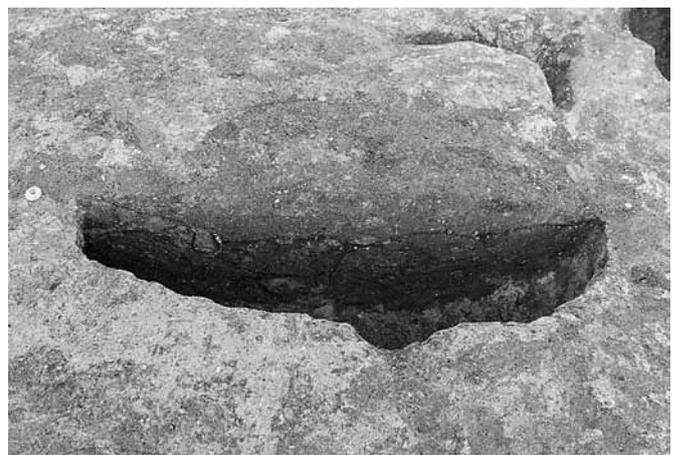
5. 鳴上 I 遺跡 B 区 520 号住居全景(東から)



6. 鳴上 I 遺跡 B 区 520 号住居 P 1 土層断面(南から)



7. 鳴上 I 遺跡 B 区 520 号住居土坑 1 土層断面(西から)



8. 鳴上 I 遺跡 B 区 520 号住居土坑 2 土層断面(南から)



1. 鳴上 I 遺跡 B 区520号住居土坑3全景(南から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区523号住居全景(北東から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区523号住居土層断面(北東から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区525号住居全景(北東から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区525号住居掘り方全景(西から)



1. 鳴上 I 遺跡 B 区 525 号住居カマド全景(西から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区 525 号住居カマド掘り方全景(西から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区 525 号住居床下土坑 1 全景(南から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区 525 号住居全景(南東から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区 526 号住居掘り方全景(東から)



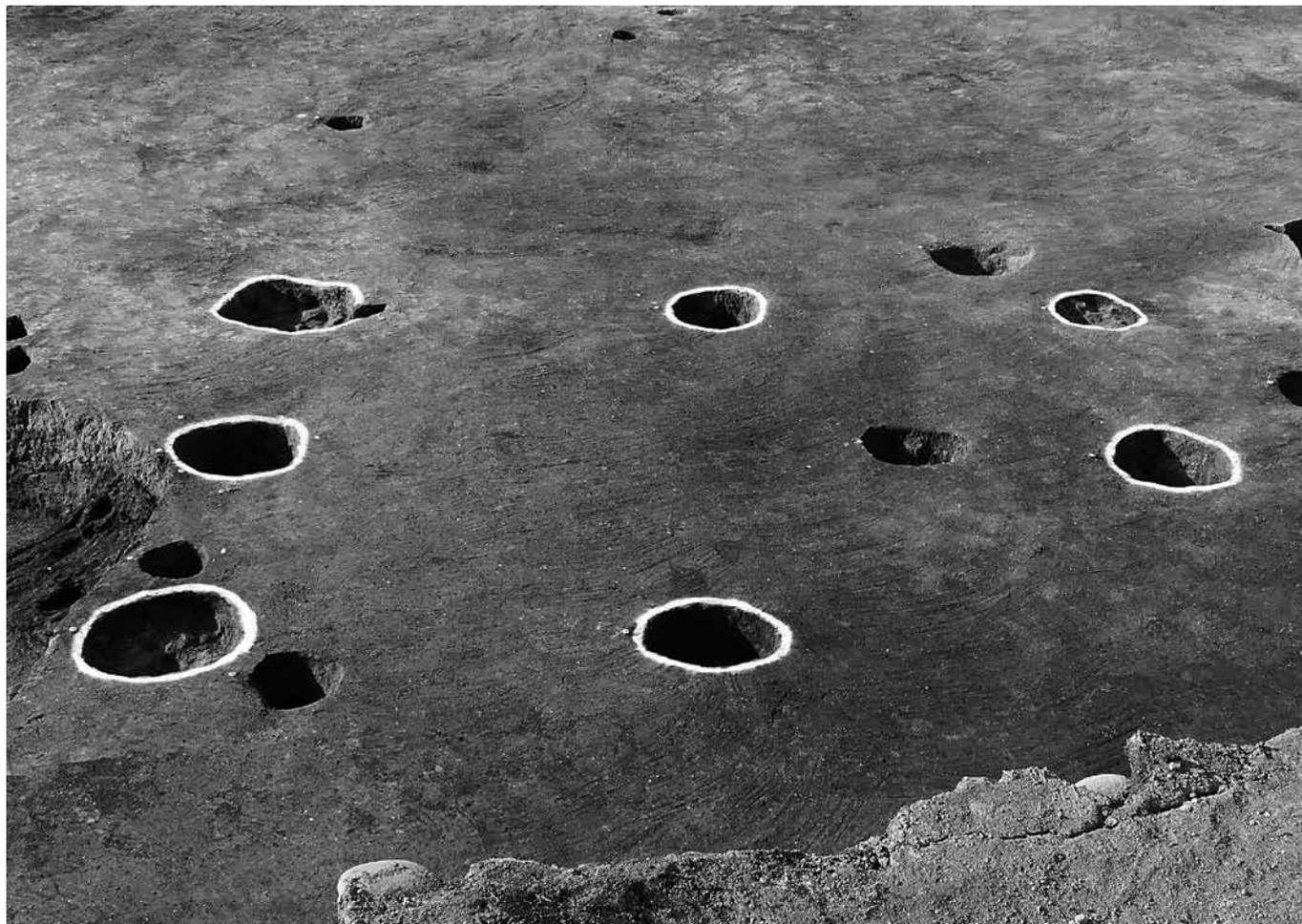
6. 鳴上 I 遺跡 B 区 526 号住居カマド全景(東から)



7. 鳴上 I 遺跡 B 区 526 号住居カマド掘り方全景(東から)



8. 鳴上 I 遺跡 B 区 526 号住居貯蔵穴全景(南東から)



1. 鳴上 I 遺跡 B 区502号掘立柱建物全景(南から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区503号掘立柱建物全景(南から)



1. 鳴上 I 遺跡 B 区 501 号粘土採掘坑全景(南から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区 501 号粘土採掘坑遺物出土状態(南から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区 506 号土坑全景(南から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区 507 号土坑全景(西から)



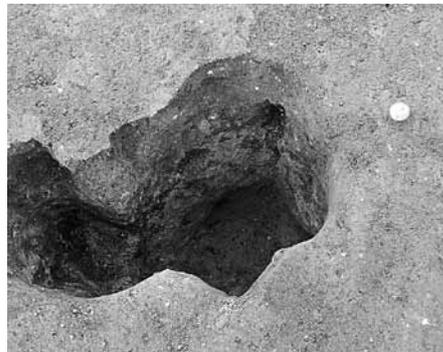
5. 鳴上 I 遺跡 B 区 508 号土坑全景(西から)



1. 509号土坑全景(北から)



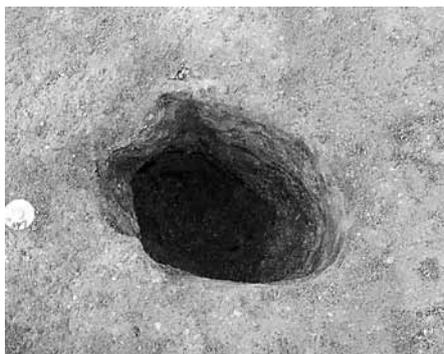
2. 685号ピット全景(南から)



3. 686号ピット全景(南から)



4. 692号ピット全景(南から)



5. 697号ピット全景(南から)



6. 704号ピット全景(南から)



7. 715号ピット全景(南から)



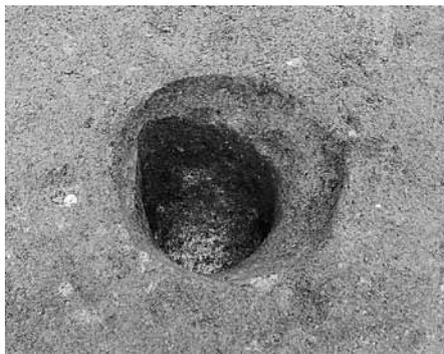
8. 725号ピット全景(南から)



9. 726号ピット全景(南から)



10. 733号ピット全景(南から)



11. 734号ピット全景(南から)



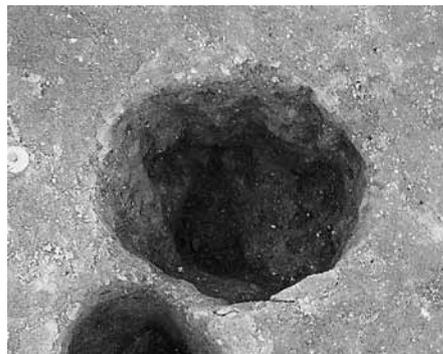
12. 735号ピット全景(南から)



13. 739号ピット全景(南から)



14. 751号ピット全景(南から)



15. 761号ピット全景(南から)



1. 765号ピット全景(南から)



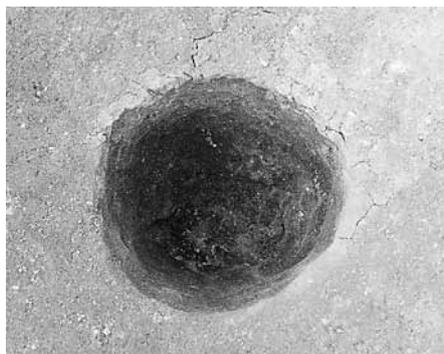
2. 776号ピット全景(東から)



3. 791号ピット全景(北から)



4. 799号ピット全景(南から)



5. 800号ピット全景(南から)



6. 801号ピット全景(南から)



7. 803号ピット全景(南から)



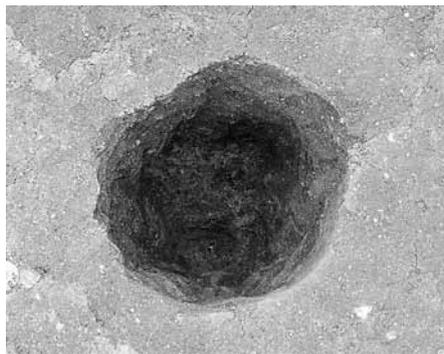
8. 804号ピット全景(南から)



9. 808号ピット全景(南から)



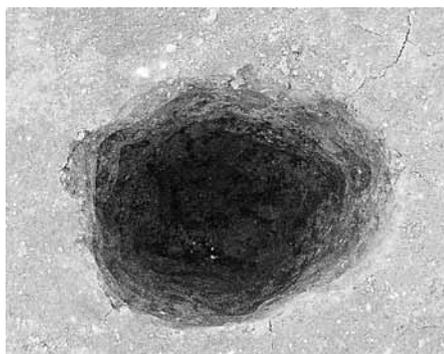
10. 812号ピット全景(南から)



11. 815号ピット全景(南から)



12. 819号ピット全景(南から)



13. 833号ピット全景(南から)



14. 837号ピット全景(南東から)



15. 840号ピット全景(北から)



1. 鳴上 I 遺跡 A 区 2 号住居全景(東から)



2. 鳴上 I 遺跡 A 区 2 号住居掘り方全景(南から)



3. 鳴上 I 遺跡 A 区 2 号住居ベッド状遺構(北から)



4. 鳴上 I 遺跡 A 区 2 号住居 P 1 全景(東から)



5. 鳴上 I 遺跡 A 区 2 号住居 P 3 全景(東から)



6. 鳴上 I 遺跡 A 区 2 号住居 P 12 全景(西から)



7. 鳴上 I 遺跡 A 区 2 号住居遺物出土状態(東から)



8. 鳴上 I 遺跡 A 区 2 号住居拡張部分遺物出土状態(南東から)



1. 鳴上 I 遺跡 A 区 3 号住居全景(北から)



2. 鳴上 I 遺跡 A 区 3 号住居掘り方全景(南東から)



3. 鳴上 I 遺跡 A 区 3 号住居北東隅ベッド状遺構(西から)



4. 鳴上 I 遺跡 A 区 3 号住居南東隅ベッド状遺構(東から)



5. 鳴上 I 遺跡 A 区 3 号住居南西隅ベッド状遺構(北から)



6. 鳴上 I 遺跡 A 区 3 号住居北西隅ベッド状遺構(東から)



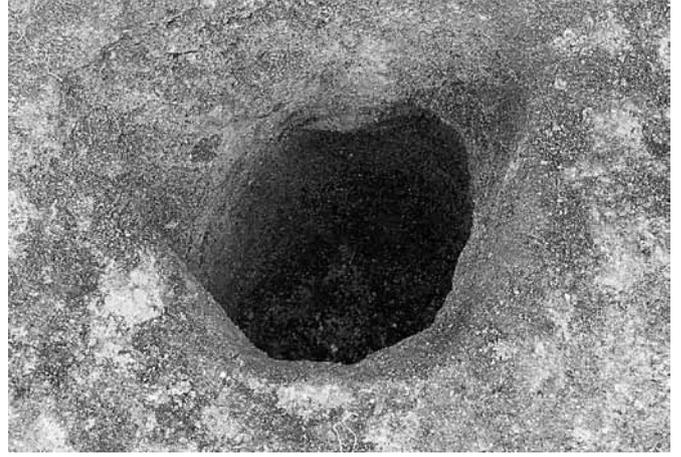
7. 鳴上 I 遺跡 A 区 3 号住居出入口施設(P 6)(南から)



8. 鳴上 I 遺跡 A 区 3 号住居壁穴 1、P 15(南から)



1. 鳴上 I 遺跡 A 区 3 号住居 P 4 全景(南から)



2. 鳴上 I 遺跡 A 区 3 号住居 P 8 全景(南東から)



3. 鳴上 I 遺跡 A 区 3 号住居貯蔵穴 1 全景(西から)



4. 鳴上 I 遺跡 A 区 3 号住居貯蔵穴 1 周堤(東から)



5. 鳴上 I 遺跡 A 区 3 号住居貯蔵穴 2 全景(西から)



6. 鳴上 I 遺跡 A 区 3 号住居炉 1 全景(南から)



7. 鳴上 I 遺跡 A 区 3 号住居炉 2 全景(南から)



8. 鳴上 I 遺跡 A 区 3 号住居遺物出土状態(東から)



1. 鳴上 I 遺跡 A 区 4 号住居全景(南から)



2. 鳴上 I 遺跡 A 区 4 号住居掘り方全景(南から)



3. 鳴上 I 遺跡 A 区 4 号住居ベッド状遺構(北から)



4. 鳴上 I 遺跡 A 区 4 号住居粘土・焼土出土状態(北から)



5. 鳴上 I 遺跡 A 区 4 号住居 P 4 全景(南東から)



6. 鳴上 I 遺跡 A 区 4 号住居 P 1・5 全景(南から)



7. 鳴上 I 遺跡 A 区 4 号住居 P 6 全景(南から)



8. 鳴上 I 遺跡 A 区 4 号住居 P 13 全景(南から)



1. 鳴上 I 遺跡 A 区 4 号住居 P14 全景 (北西から)



2. 鳴上 I 遺跡 A 区 4 号住居 P15 全景 (北東から)



3. 鳴上 I 遺跡 A 区 4 号住居 P19 全景 (南から)



4. 鳴上 I 遺跡 A 区 4 号住居 P20 全景 (南から)



5. 鳴上 I 遺跡 A 区 4 号住居 炉 1 (東から)



6. 鳴上 I 遺跡 A 区 4 号住居 炉 2 (東から)



7. 鳴上 I 遺跡 A 区 4 号住居 遺物 出土 状態 (南から)



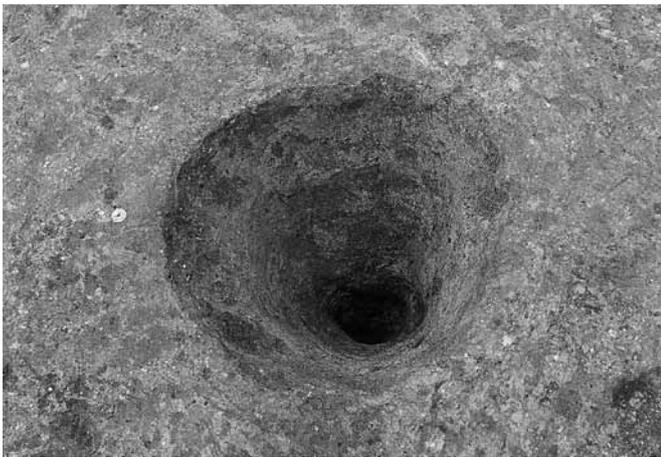
8. 鳴上 I 遺跡 A 区 4 号住居 炭化物 出土 状態 (西から)



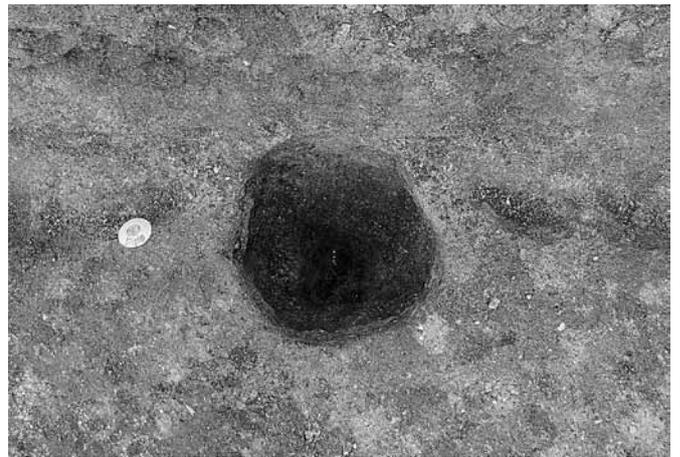
1. 鳴上 I 遺跡 B 区 505 号住居全景(南東から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区 505 号住居掘り方全景(北西から)



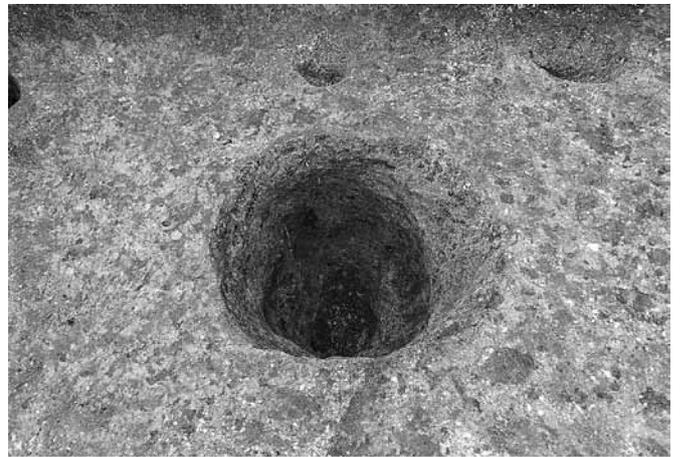
3. 鳴上 I 遺跡 B 区 505 号住居 P 3 全景(南から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区 505 号住居 P 10 全景(西から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区 505 号住居土坑 1 全景(南から)



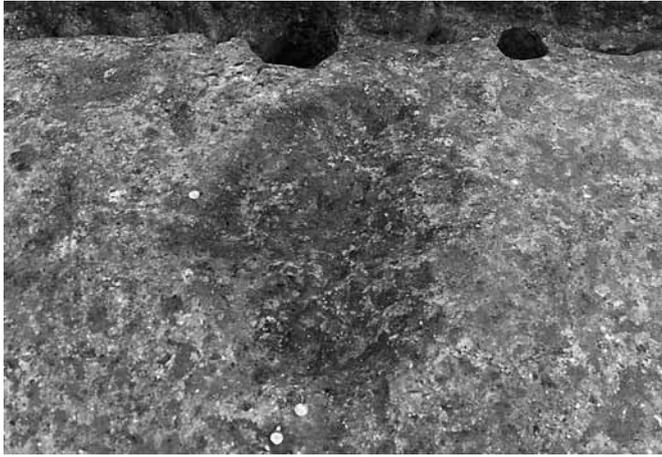
6. 鳴上 I 遺跡 B 区 505 号住居土坑 2 全景(南から)



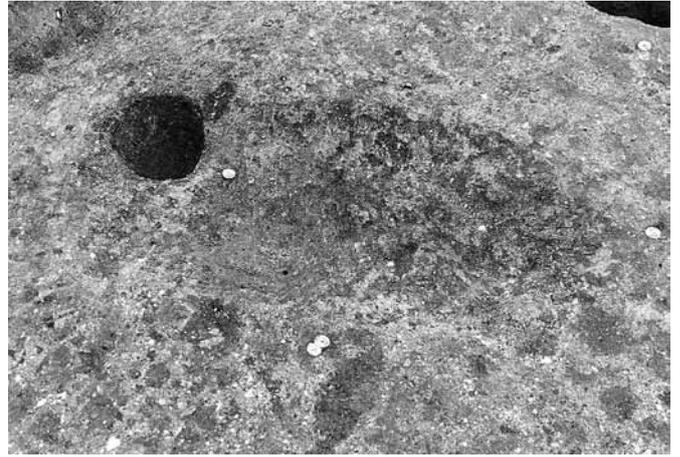
7. 鳴上 I 遺跡 B 区 505 号住居土坑 3 全景(南から)



8. 鳴上 I 遺跡 B 区 505 号住居土坑 4 全景(南東から)



1. 鳴上 I 遺跡 B 区505号住居炉 1 (西から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区505号住居炉 2 (西から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区505号住居遺物出土状態(西から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区508号住居全景(南東から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区508号住居掘り方全景(北東から)



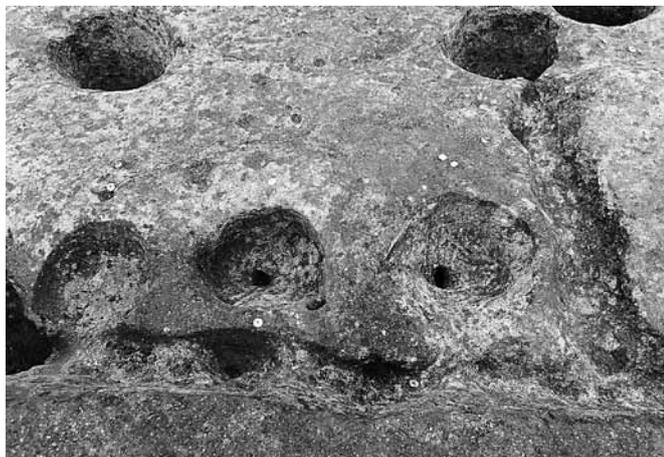
6. 鳴上 I 遺跡 B 区508号住居東隅ベッド状遺構(北西から)



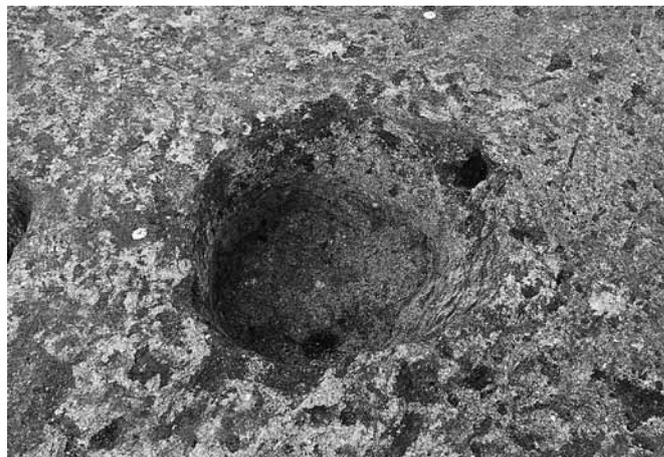
7. 鳴上 I 遺跡 B 区508号住居西隅ベッド状遺構(東から)



8. 鳴上 I 遺跡 B 区508号住居貯蔵穴全景(北西から)



1. 鳴上 I 遺跡 B 区 508 号住居 P 19・30 全景 (南東から)



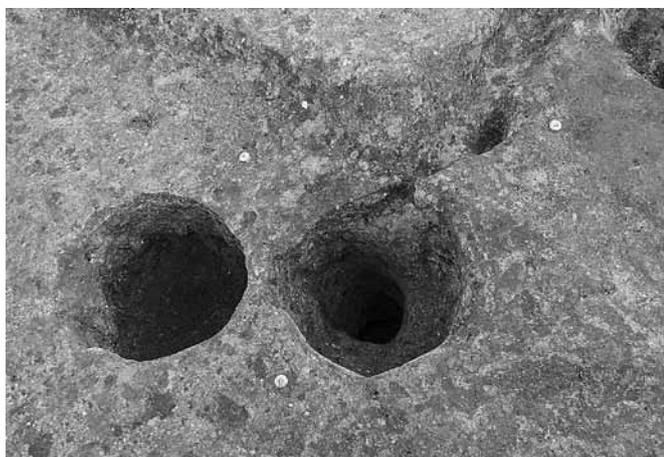
2. 鳴上 I 遺跡 B 区 508 号住居土坑 1 全景 (南東から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区 508 号住居土坑 2 全景 (南東から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区 508 号住居土坑 3 全景 (南東から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区 508 号住居土坑 4 全景 (西から)



6. 鳴上 I 遺跡 B 区 508 号住居炉 1 全景 (北西から)



7. 鳴上 I 遺跡 B 区 508 号住居炉 2 全景 (北東から)



8. 鳴上 I 遺跡 B 区 508 号住居遺物出土状態全景 (南西から)

鳴上 I 遺跡 B 区



1. 鳴上 I 遺跡 B 区514号住居全景(南東から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区514号住居掘り方全景(南西から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区514号住居床下土坑1土層断面(南西から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区514号住居床下土坑2土層断面(南東から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区514号住居床下土坑3土層断面(北西から)



6. 鳴上 I 遺跡 B 区514号住居 P 1 全景(南東から)



7. 鳴上 I 遺跡 B 区514号住居 P 2 全景(南東から)



8. 鳴上 I 遺跡 B 区514号住居 P 3 全景(南東から)



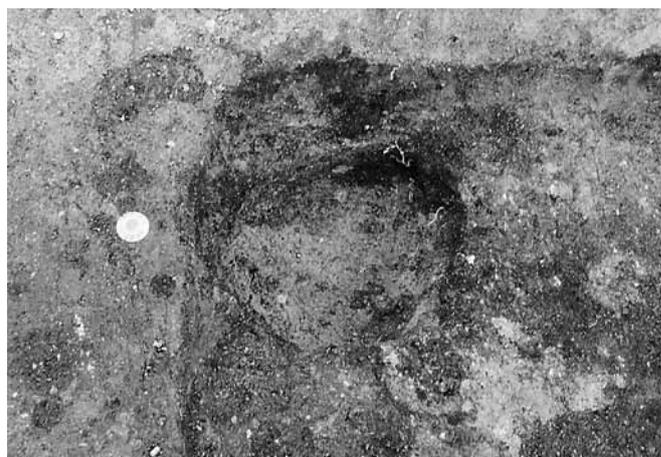
1. 鳴上 I 遺跡 B 区 514 号住居 P 4 全景 (南東から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区 514 号住居 P 5 全景 (南から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区 514 号住居 P 11 全景 (南東から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区 514 号住居 P 12 全景 (南東から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区 515 号住居 全景 (南西から)



6. 鳴上 I 遺跡 B 区 515 号住居 掘り方 全景 (南東から)



7. 鳴上 I 遺跡 B 区 515 号住居 P 1 全景 (南東から)



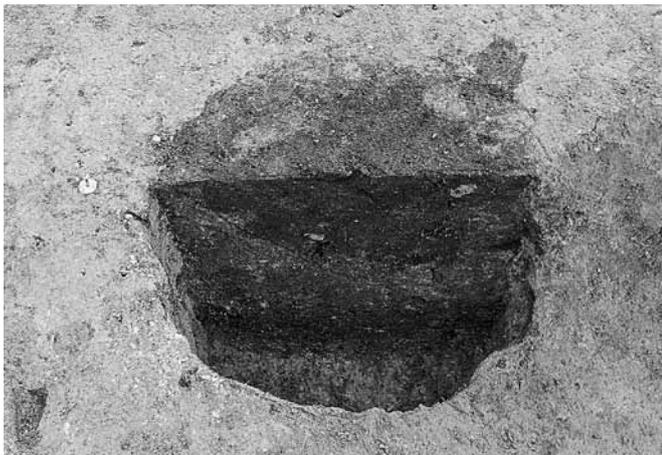
8. 鳴上 I 遺跡 B 区 515 号住居 P 2 全景 (南東から)



1. 鳴上 I 遺跡 B 区 515 号住居 P 3 全景 (南東から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区 515 号住居 P 7 全景 (南東から)



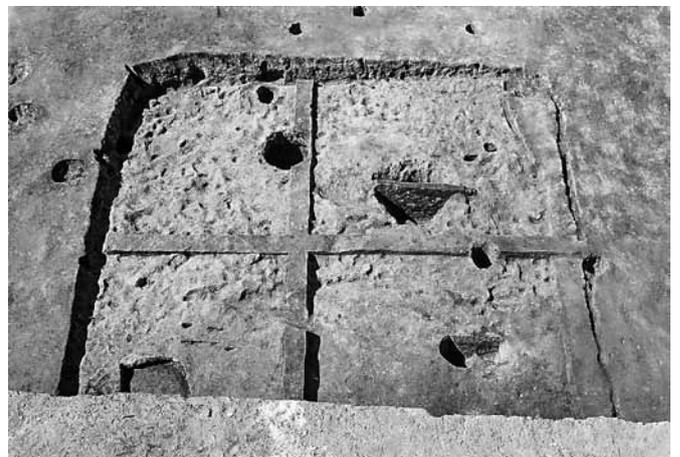
3. 鳴上 I 遺跡 B 区 515 号住居 P 9 土層断面 (北西から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区 515 号住居 炉 全景 (南西から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区 516 号住居 全景 (南から)



6. 鳴上 I 遺跡 B 区 516 号住居 掘り方 全景 (南から)



7. 鳴上 I 遺跡 B 区 516 号住居 土坑 1 土層断面 (南から)



8. 鳴上 I 遺跡 B 区 516 号住居 土坑 2 土層断面・炉 全景 (南から)



1. 鳴上 I 遺跡 B 区 517 号住居全景(南東から)



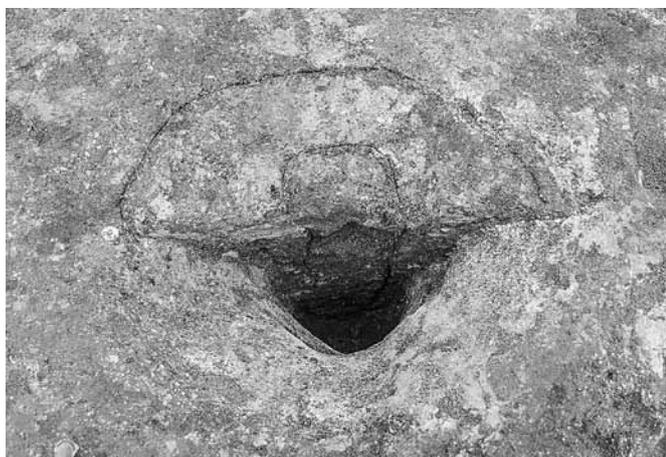
2. 鳴上 I 遺跡 B 区 517 号住居掘り方全景(南東から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区 517 号住居ベッド状遺構土層断面(南東から)



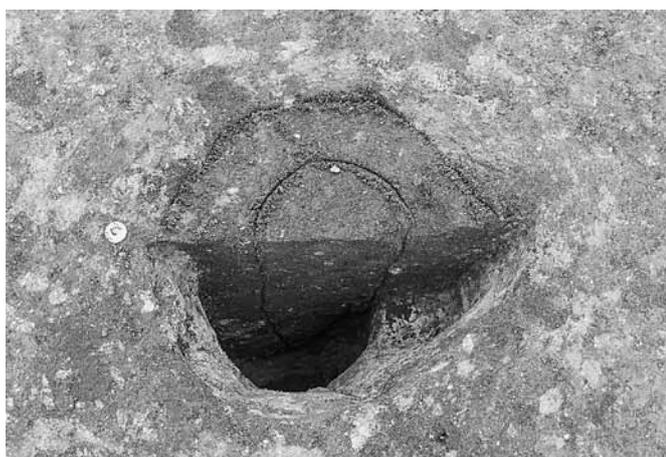
4. 鳴上 I 遺跡 B 区 517 号住居 P 1 土層断面(南東から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区 517 号住居 P 2 土層断面(南東から)



6. 鳴上 I 遺跡 B 区 517 号住居 P 3 土層断面(南東から)



7. 鳴上 I 遺跡 B 区 517 号住居 P 4 土層断面(南東から)



8. 鳴上 I 遺跡 B 区 517 号住居 P 11 土層断面(南東から)



1. 鳴上 I 遺跡 B 区 517 号住居土坑土層断面(南東から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区 517 号住居炉土層断面(南東から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区 517 号住居炭化物出土状態(北東から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区 517 号住居炭化物出土状態(北東から)



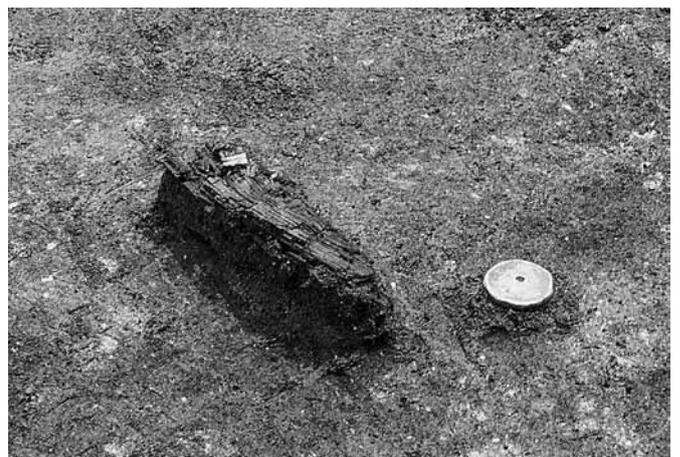
5. 鳴上 I 遺跡 B 区 517 号住居遺物出土状態全景(南西から)



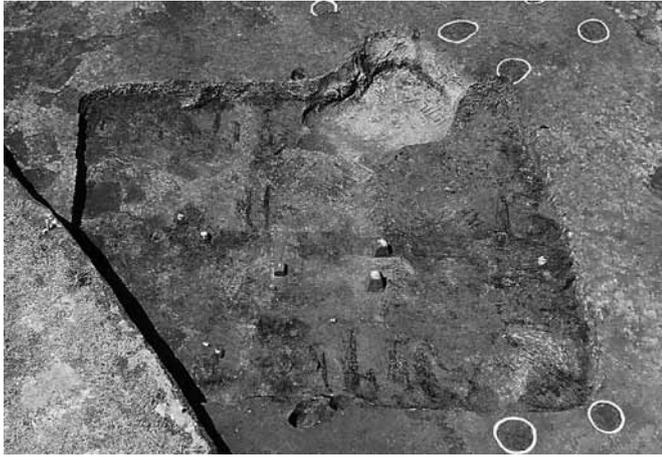
6. 鳴上 I 遺跡 B 区 517 号住居遺物出土状態全景(北東から)



7. 鳴上 I 遺跡 B 区 517 号住居遺物出土状態(北東から)



8. 鳴上 I 遺跡 B 区 517 号住居遺物出土状態(北西から)



1. 鳴上 I 遺跡 B 区 518 号住居全景(東から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区 518 号住居掘り方全景(東から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区 518 号住居東壁炭化材出土状態(北から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区 518 号住居北壁炭化材出土状態(東から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区 518 号住居貯蔵穴 2 全景(西から)



6. 鳴上 I 遺跡 B 区 518 号住居土坑 1 全景(南から)



7. 鳴上 I 遺跡 B 区 518 号住居土坑 2 土層断面(南から)



8. 鳴上 I 遺跡 B 区 518 号住居土坑 3 土層断面(南から)



1. 鳴上 I 遺跡 B 区 518 号住居土坑 4 掘り方全景(南から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区 518 号住居炉 1 全景(東から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区 518 号住居炉 2 全景(北から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区 518 号住居 P 1 土層断面(南から)



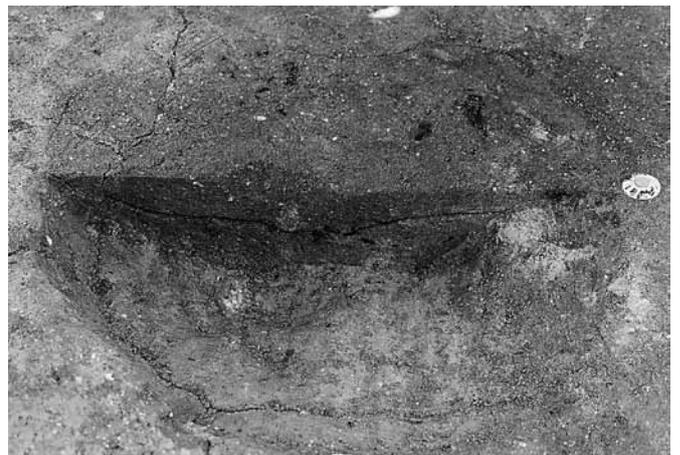
5. 鳴上 I 遺跡 B 区 518 号住居 P 2 掘り方全景(南から)



6. 鳴上 I 遺跡 B 区 518 号住居 P 3 全景(南から)



7. 鳴上 I 遺跡 B 区 518 号住居 P 4 全景(北から)



8. 鳴上 I 遺跡 B 区 518 号住居 P 5 土層断面(西から)



1. 鳴上 I 遺跡 B 区 518 号住居 P 6 土層断面(南から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区 518 号住居 1 遺物出土状態(北から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区 519 号住居全景(南から)



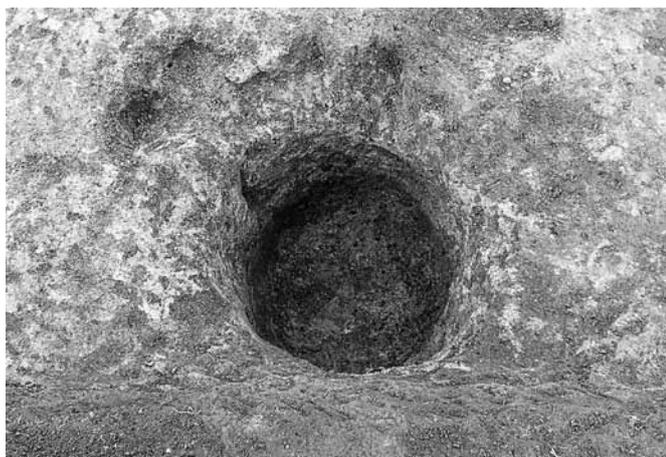
4. 鳴上 I 遺跡 B 区 519 号住居全景(東から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区 521 号住居全景(北西から)



6. 鳴上 I 遺跡 B 区 521 号住居掘り方全景(北西から)



7. 鳴上 I 遺跡 B 区 521 号住居土坑 2 全景(北から)



8. 鳴上 I 遺跡 B 区 521 号住居 1 全景(北から)



1. 鳴上 I 遺跡 B 区521号住居炭化材出土状態全景(北西から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区521号住居遺物出土状態(北西から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区522号住居全景(南から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区522号住居掘り方全景(南から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区522号住居ベッド状遺構土層断面(西から)



6. 鳴上 I 遺跡 B 区522号住居圧痕状態(西から)



7. 鳴上 I 遺跡 B 区522号住居土坑4全景(南から)



8. 鳴上 I 遺跡 B 区522号住居炉全景(南から)



1. 鳴上 I 遺跡 B 区522号住居遺物出土状態全景(南から)



2. 鳴上 I 遺跡 B 区522号住居紡輸出土状態(西から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区524号住居全景(南から)



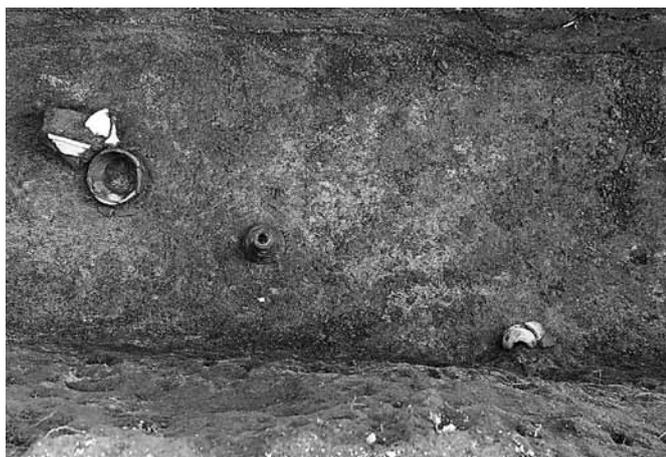
4. 鳴上 I 遺跡 B 区524号住居遺物出土状態(西から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区527号住居全景(南から)



6. 鳴上 I 遺跡 B 区527号住居 P 1 全景(西から)

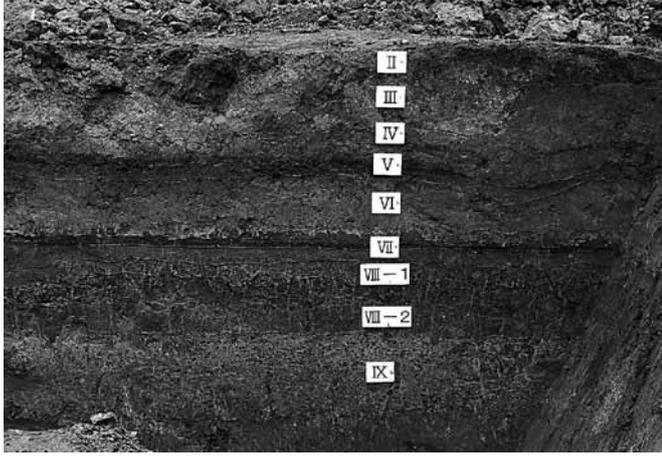


7. 鳴上 I 遺跡 B 区527号住居遺物出土状態(西から)



8. 鳴上 I 遺跡 B 区527号住居遺物出土状態(西から)

茅畑遺跡



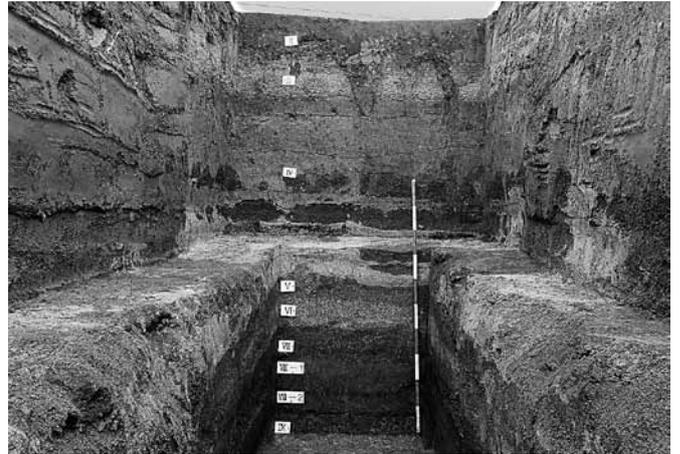
1. 茅畑遺跡 旧石器時代1号調査坑土層断面(北から)



2. 茅畑遺跡 旧石器時代4号調査坑土層断面(南から)



3. 茅畑遺跡 旧石器時代5号調査坑土層断面(東から)



4. 茅畑遺跡 旧石器時代7号調査坑土層断面(西から)



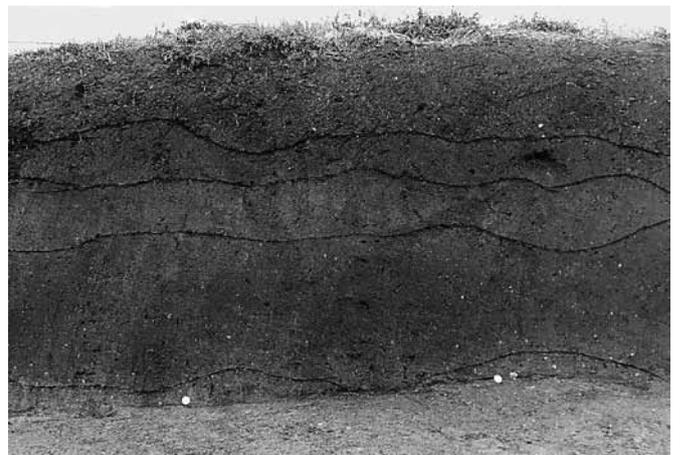
5. 茅畑遺跡 旧石器時代9号調査坑土層断面(西から)



6. 茅畑遺跡 旧石器時代15号調査坑土層断面(東から)



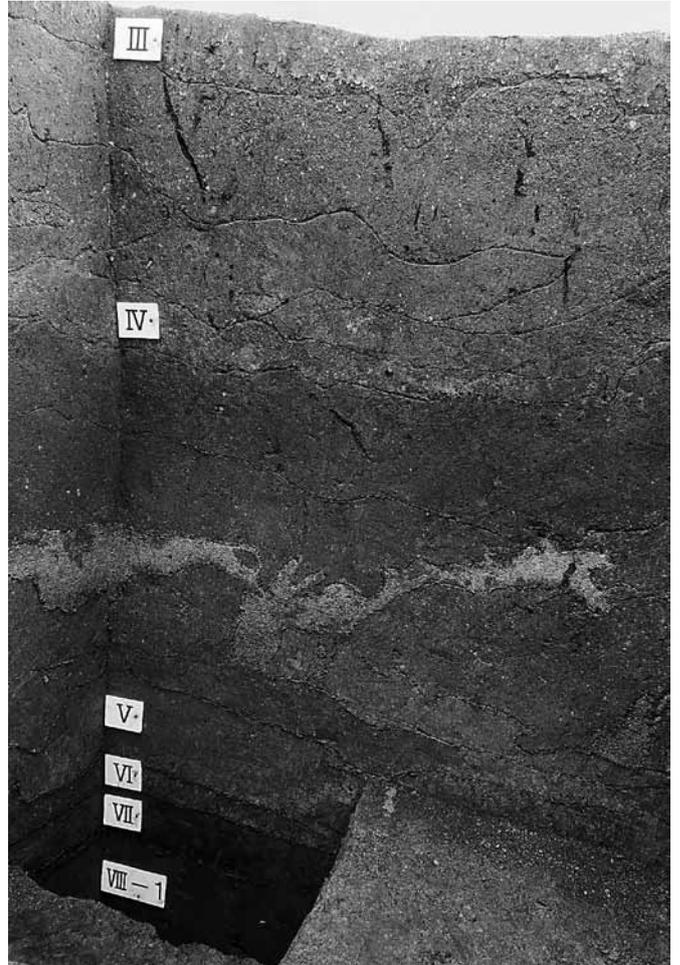
7. 茅畑遺跡 基本土層7断面(南から)



8. 茅畑遺跡 基本土層6断面(東から)



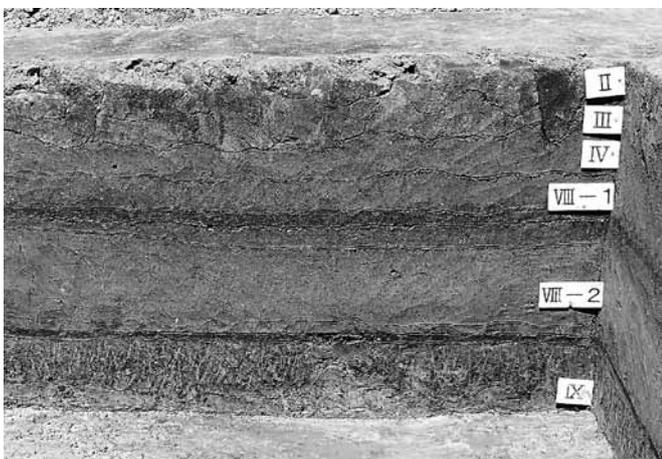
1. 鳴上 I 遺跡 A 区 旧石器時代 1 号調査坑土層断面(南から)



2. 鳴上 I 遺跡 A 区 旧石器時代 4 号調査坑土層断面(西から)



3. 鳴上 I 遺跡 B 区 旧石器時代 7 号調査坑土層断面(西から)



4. 鳴上 I 遺跡 B 区 旧石器時代 11 号調査坑土層断面(南から)



5. 鳴上 I 遺跡 B 区 旧石器時代 15 号調査坑土層断面(東から)

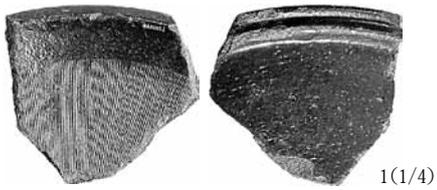


6. 鳴上 I 遺跡 A 区 基本土層 2 断面(東から)



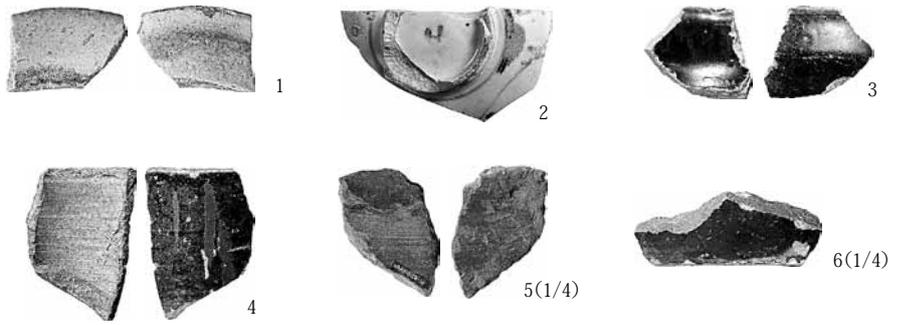
7. 鳴上 I 遺跡 B 区 基本土層 1 断面(北西から)

茅畑遺跡1面 3号溝



1(1/4)

茅畑遺跡1面 遺構外出土遺物



1

2

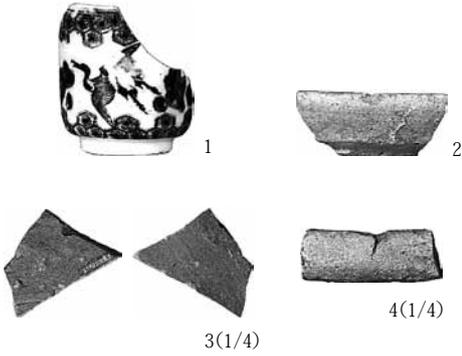
3

4

5(1/4)

6(1/4)

鳴上I遺跡A区1面 1号溝



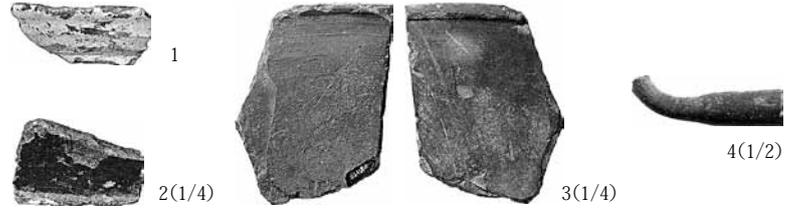
1

2

3(1/4)

4(1/4)

鳴上I遺跡A区1面 遺構外出土遺物



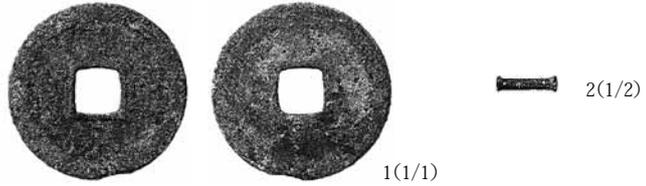
1

2(1/4)

3(1/4)

4(1/2)

鳴上I遺跡B区1面 遺構外出土遺物



1(1/1)

2(1/2)

茅畑遺跡2面 1号住居



4

6

9

11

10

13

14

3

20

21

PL.76

茅畑遺跡 2面 1号住居



23



24



29



37(1/6)



38(1/6)

茅畑遺跡 2面 4号住居



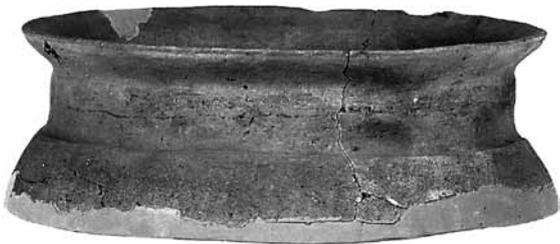
3



6



13



15



16



17



21

茅畑遺跡2面 5号住居



20

24(1/2)

23(1/6)

PL.78

茅畑遺跡2面 6号住居



4



6



8



13



16



24



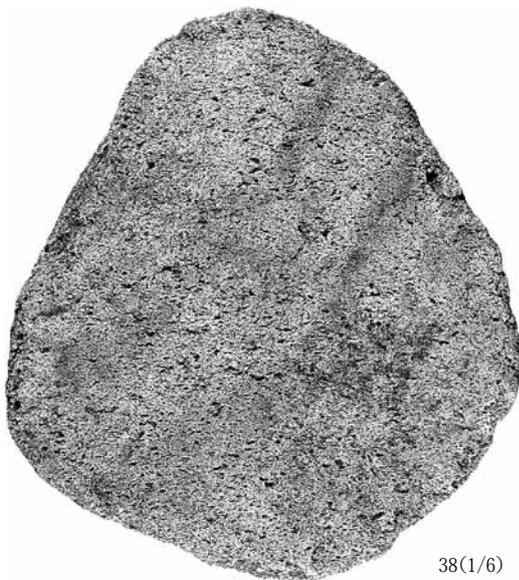
27



36(1/2)



37(1/2)



38(1/6)

茅畑遺跡2面 1号古墳



6(1/2)



7(1/2)



8(1/2)



9(1/2)



10(1/2)



11(1/2)



12(1/2)



13(1/2)

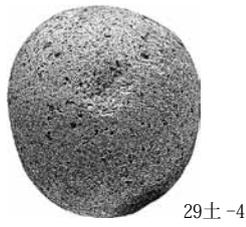


14(1/2)

茅畑遺跡2面 土坑出土遺物



10土-1



29土-4

茅畑遺跡2面 ピット出土遺物



64ピ-5



358ピ-12



617ピ-15(1/1)

茅畑遺跡2面 遺構外出土遺物



8(1/2)

鳴上I遺跡A区2面 遺構外出土遺物



1

鳴上I遺跡B区2面 501号住居



1



4

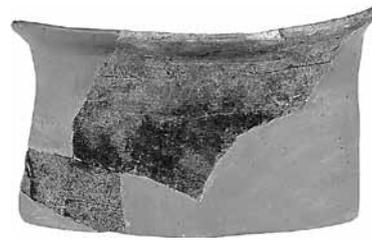


6(1/2)

鳴上I遺跡B区2面 503号住居



2



14



15(1/2)

鳴上I遺跡B区2面 504号住居



3



4

鳴上I遺跡B区2面 506号住居



6



7

鳴上I遺跡B区2面 507号住居



3



4

鳴上I遺跡B区2面 506号住居



11



12

鳴上I遺跡B区2面 509号住居



1



13(1/2)



14(1/2)

PL.80

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 510 号住居



6



9



10



13

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 512 号住居



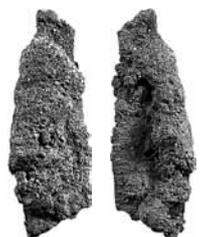
2



10



13



17(1/2)

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 513 号住居



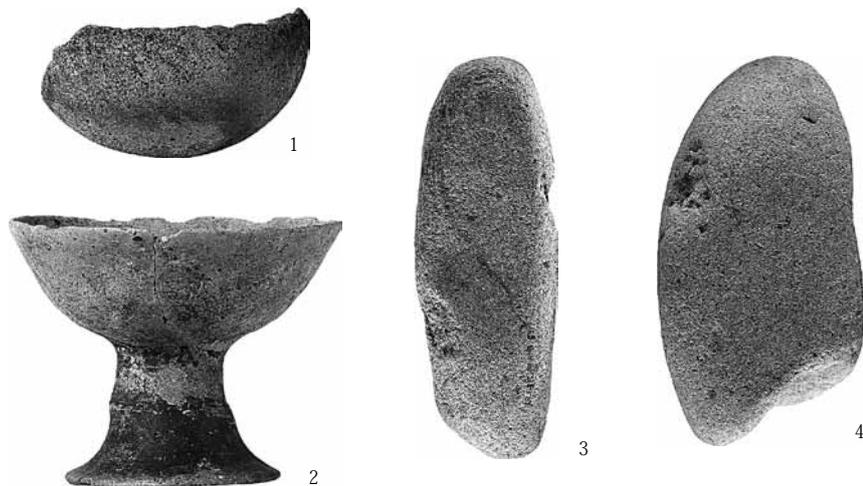
鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 520 号住居



鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 525 号住居



鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 526 号住居



鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 503 号掘立柱建物



鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 501 号粘土採掘坑



PL.82

鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 501 号粘土採掘坑



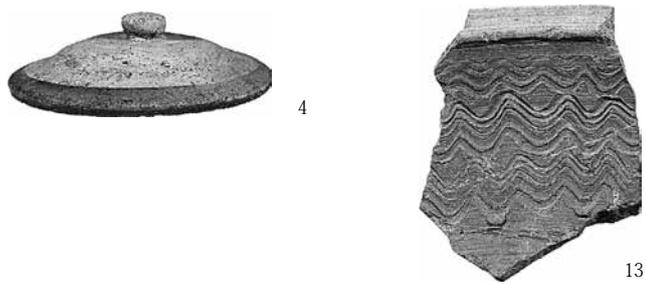
鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 土坑



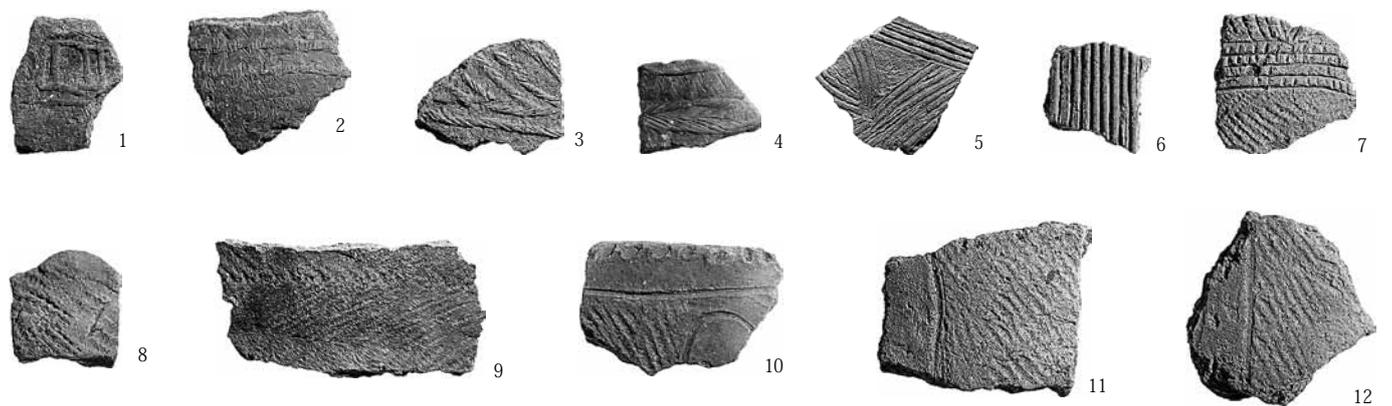
鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 ピット



鳴上 I 遺跡 B 区 2 面 遺構外出土遺物



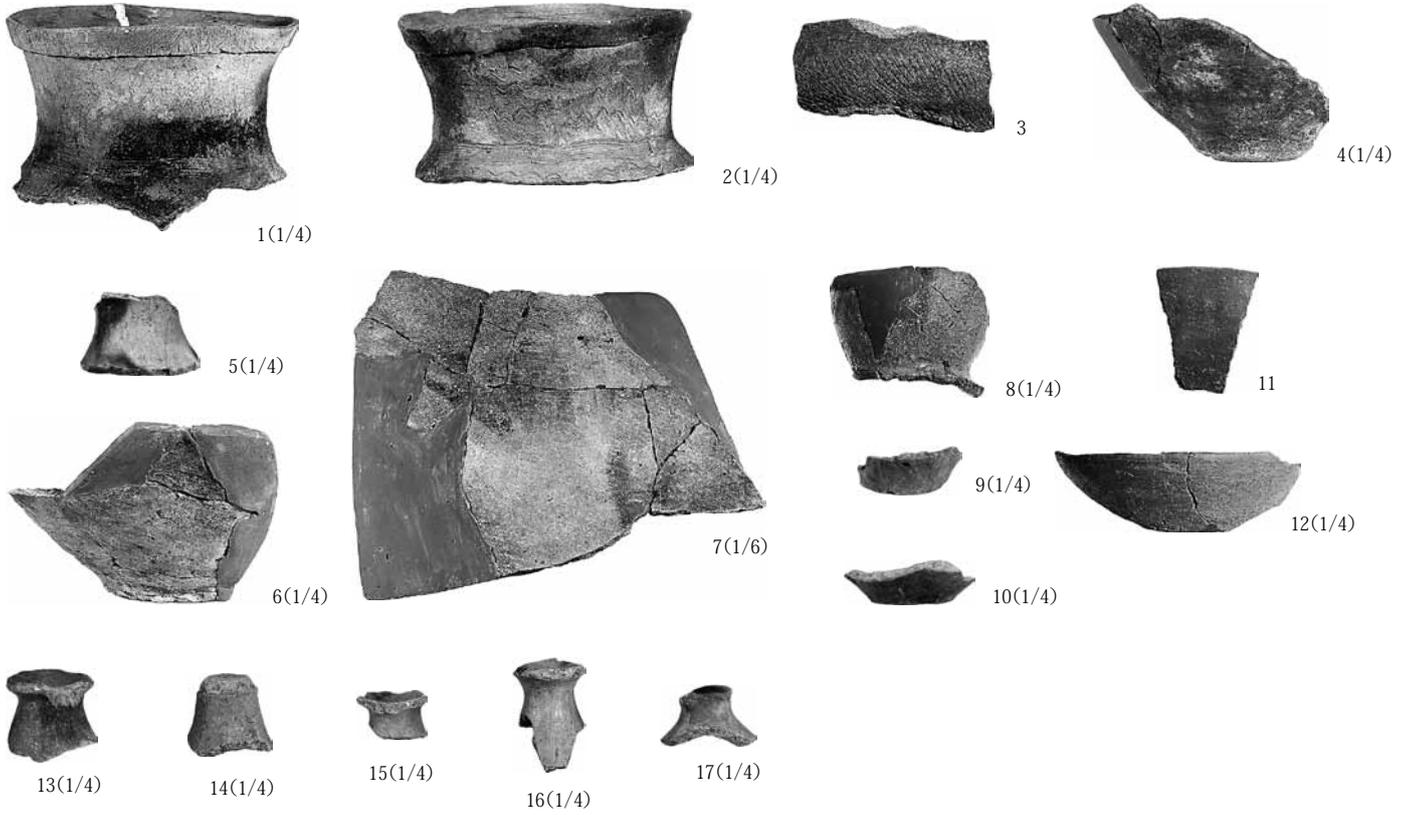
茅畑遺跡 3 面 遺構外出土遺物



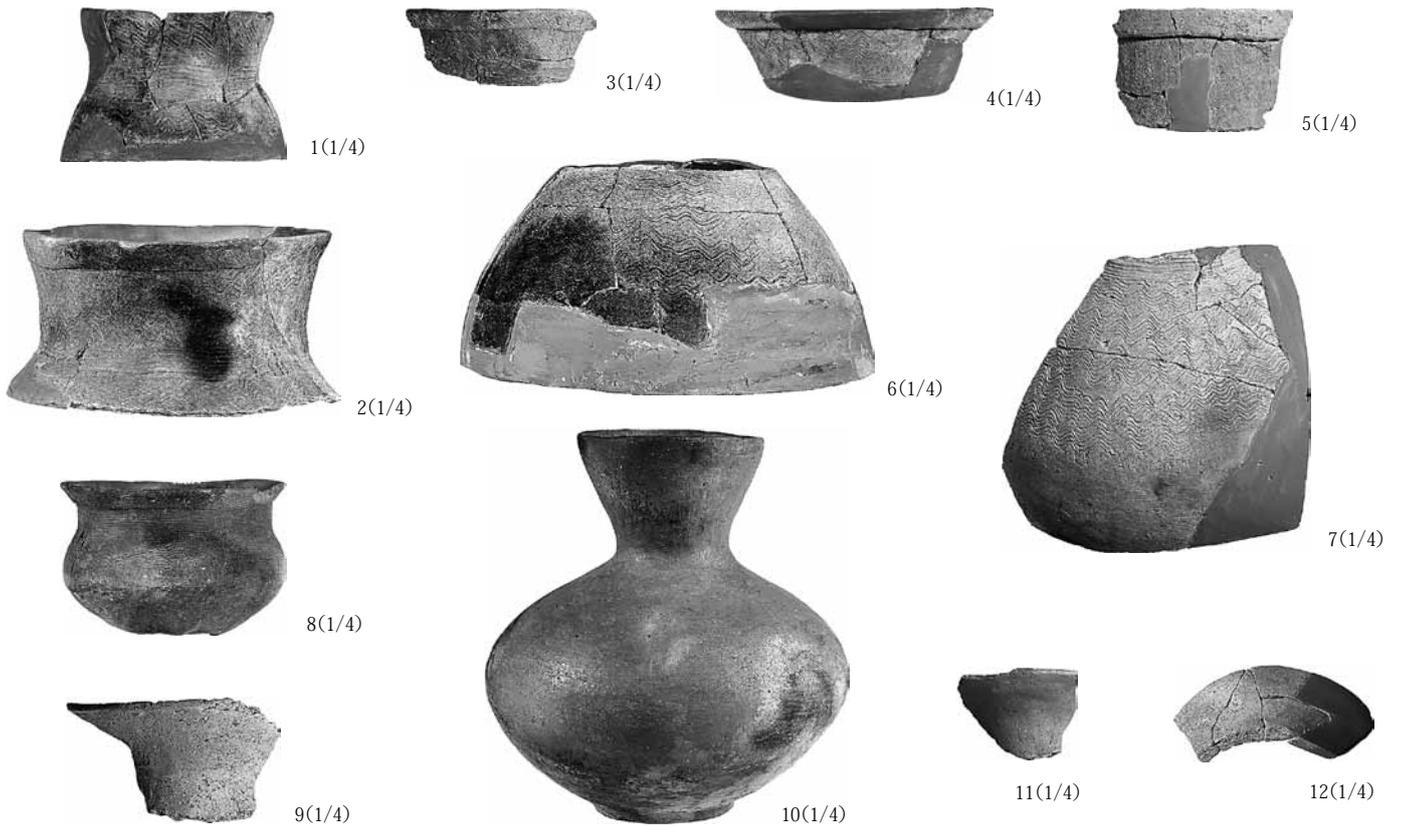
茅畑遺跡3面 遺構外出土遺物



鳴上I遺跡A区3面 2号住居



鳴上I遺跡A区3面 3号住居

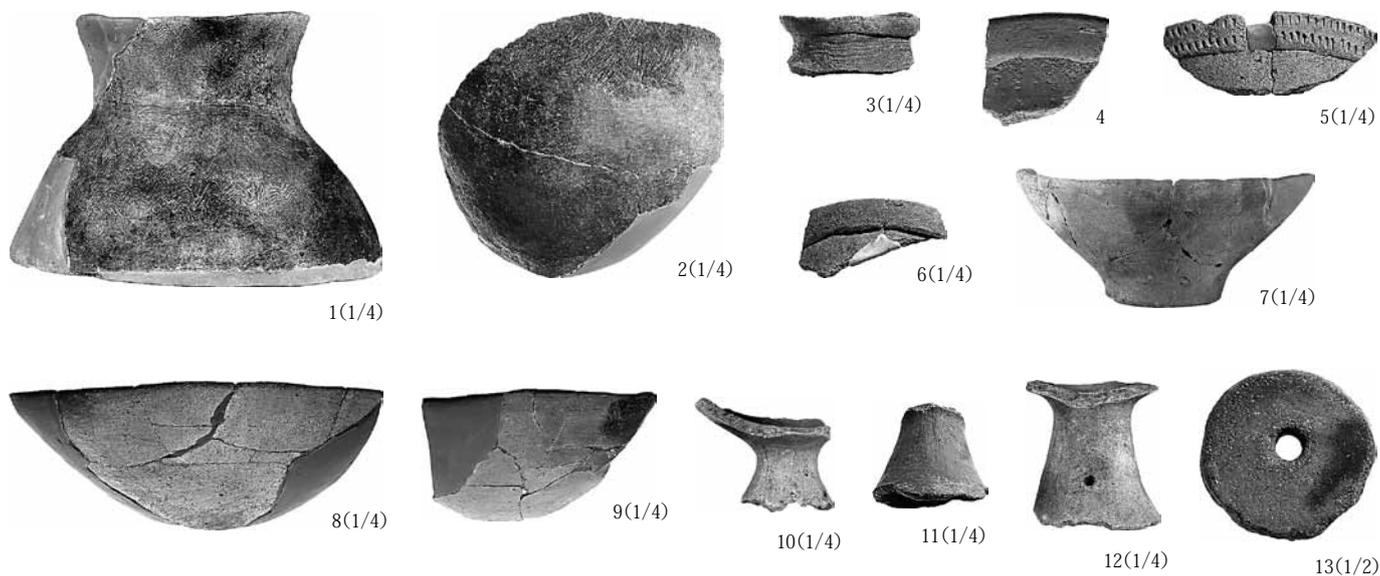


PL.84

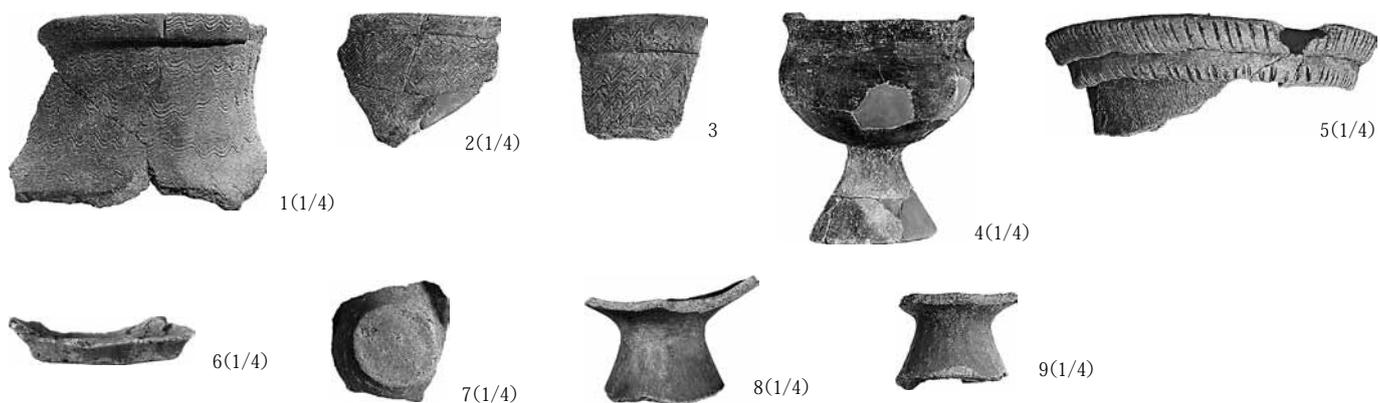
鳴上 I 遺跡 A 区 3 面 3 号住居



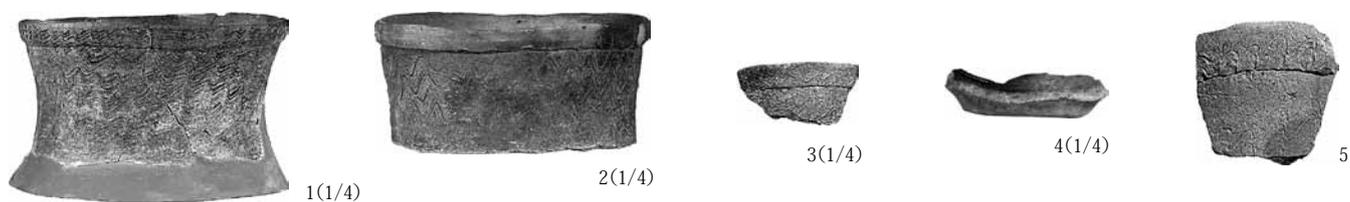
鳴上 I 遺跡 A 区 3 面 4 号住居



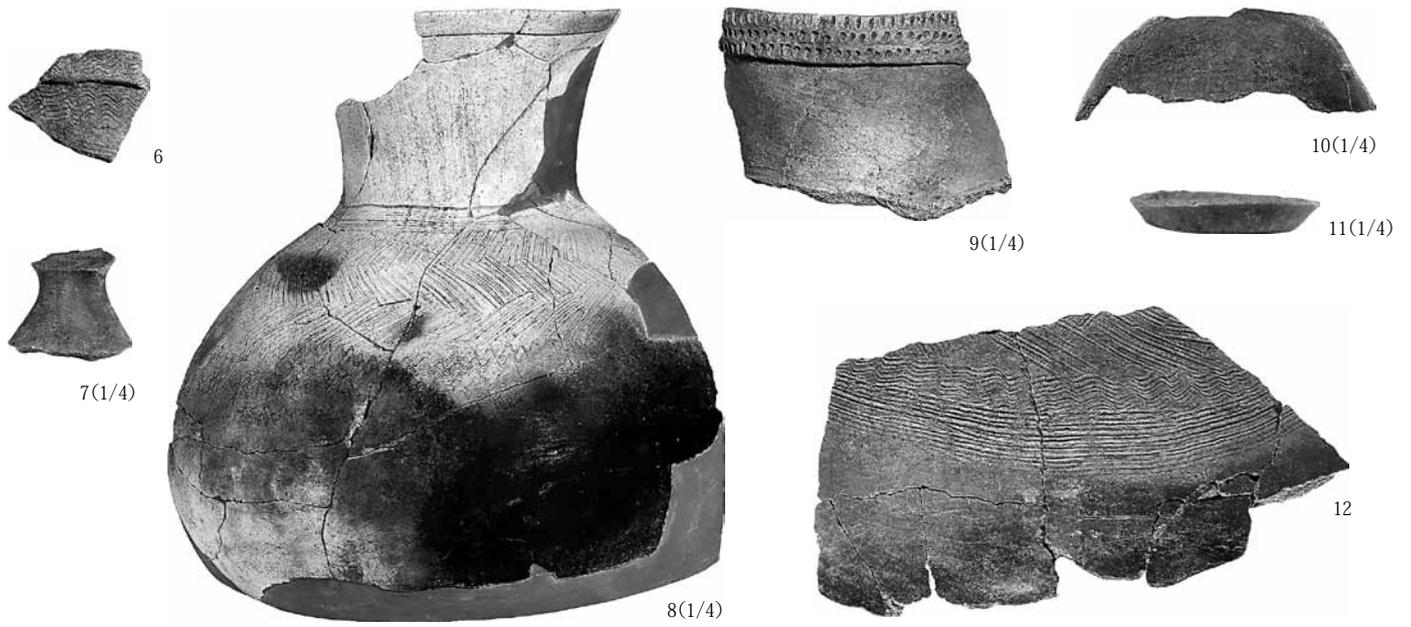
鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 505 号住居



鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 508 号住居



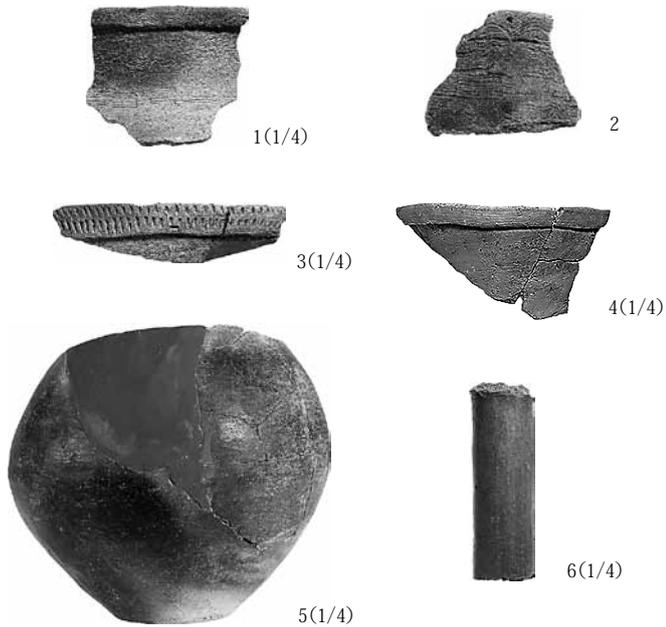
鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 508 号住居



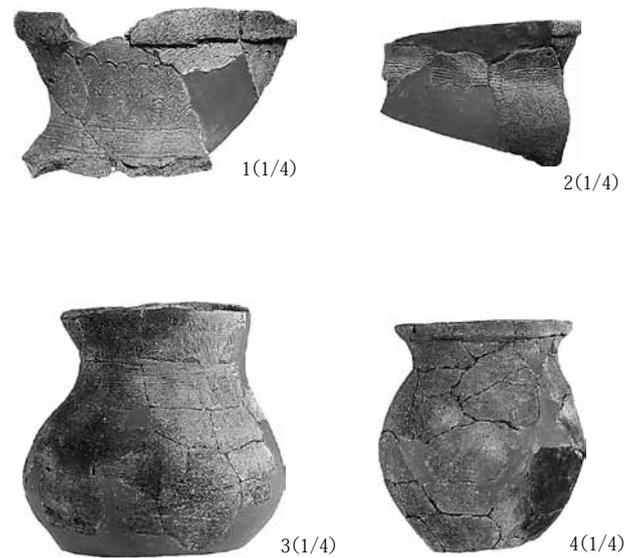
鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 514 号住居



鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 515 号住居

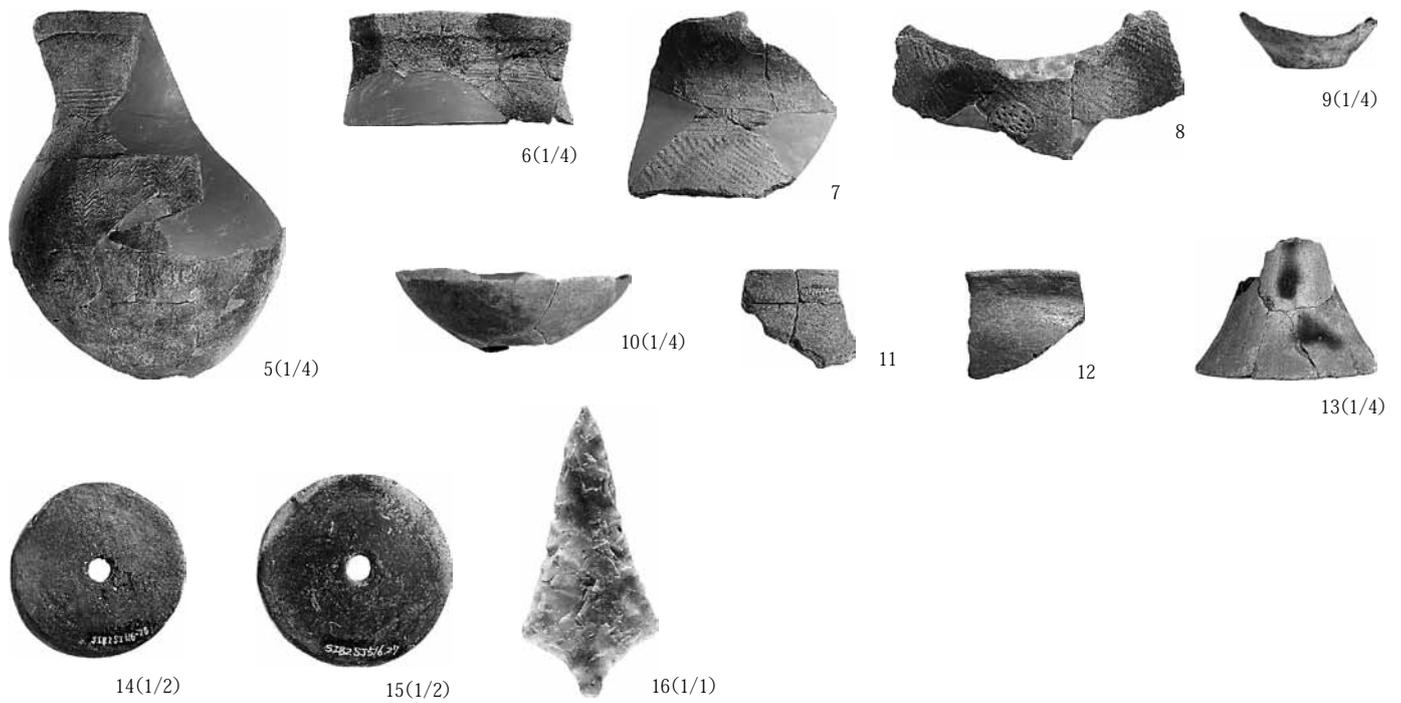


鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 516 号住居

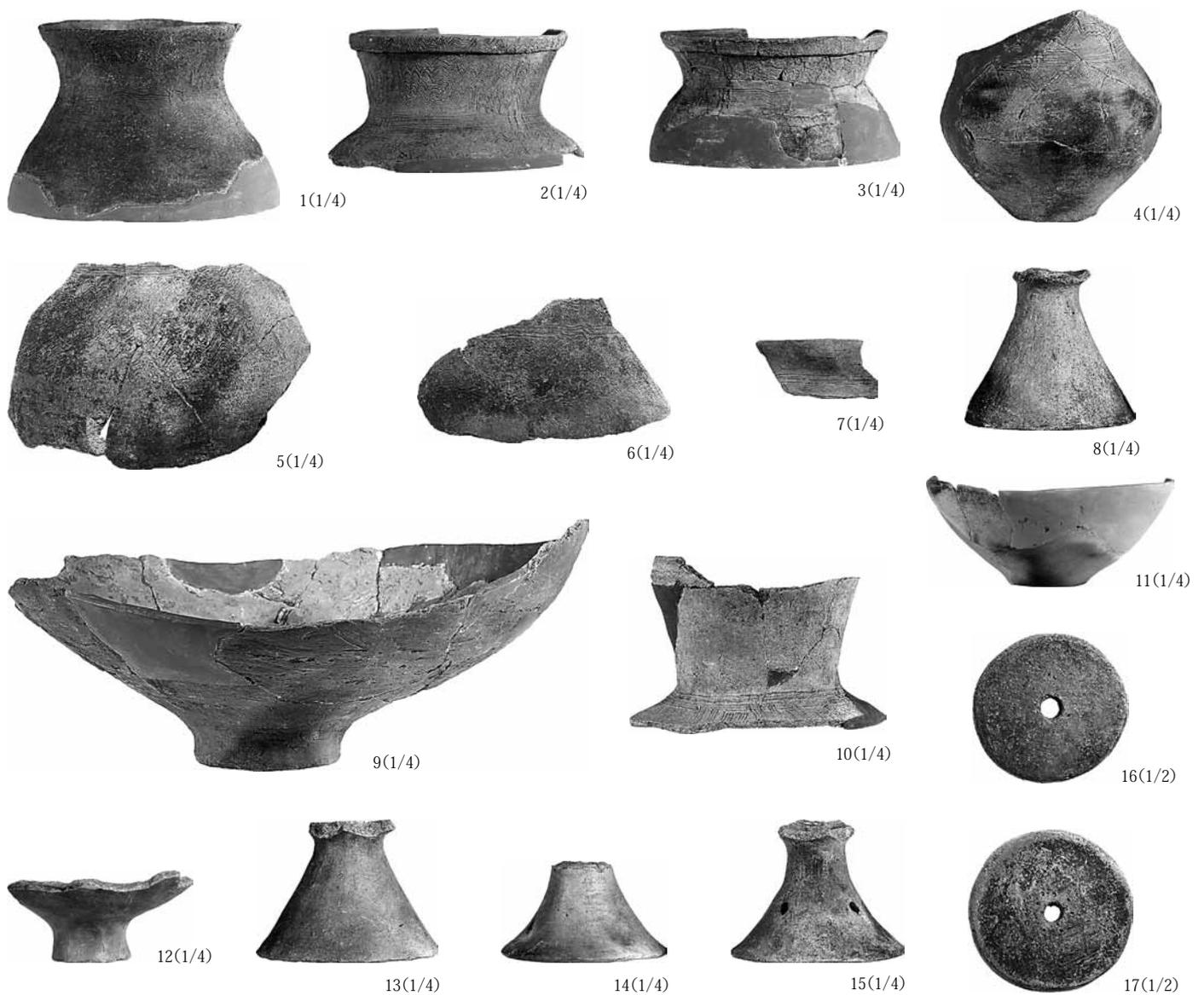


PL.86

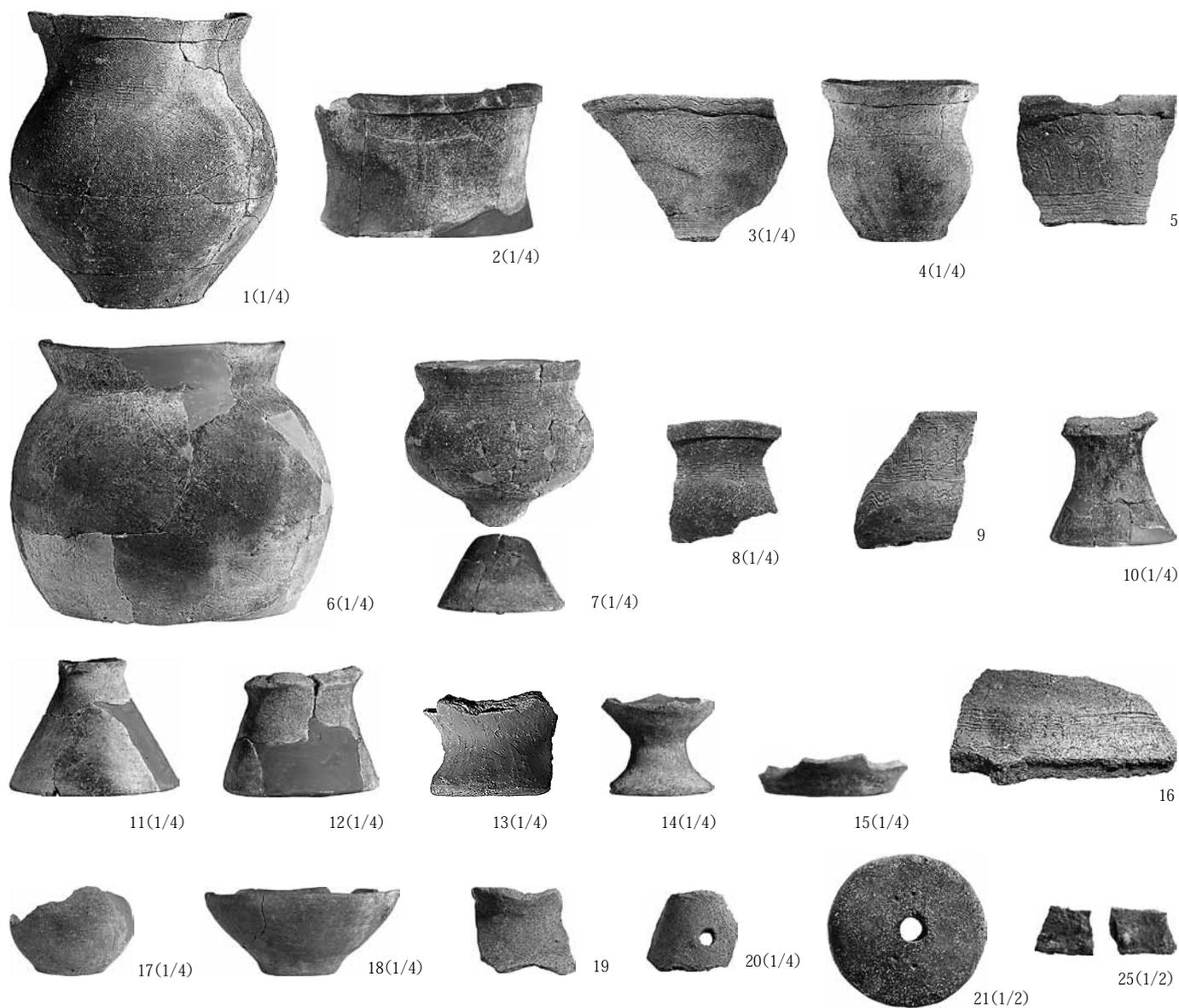
鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 516 号住居



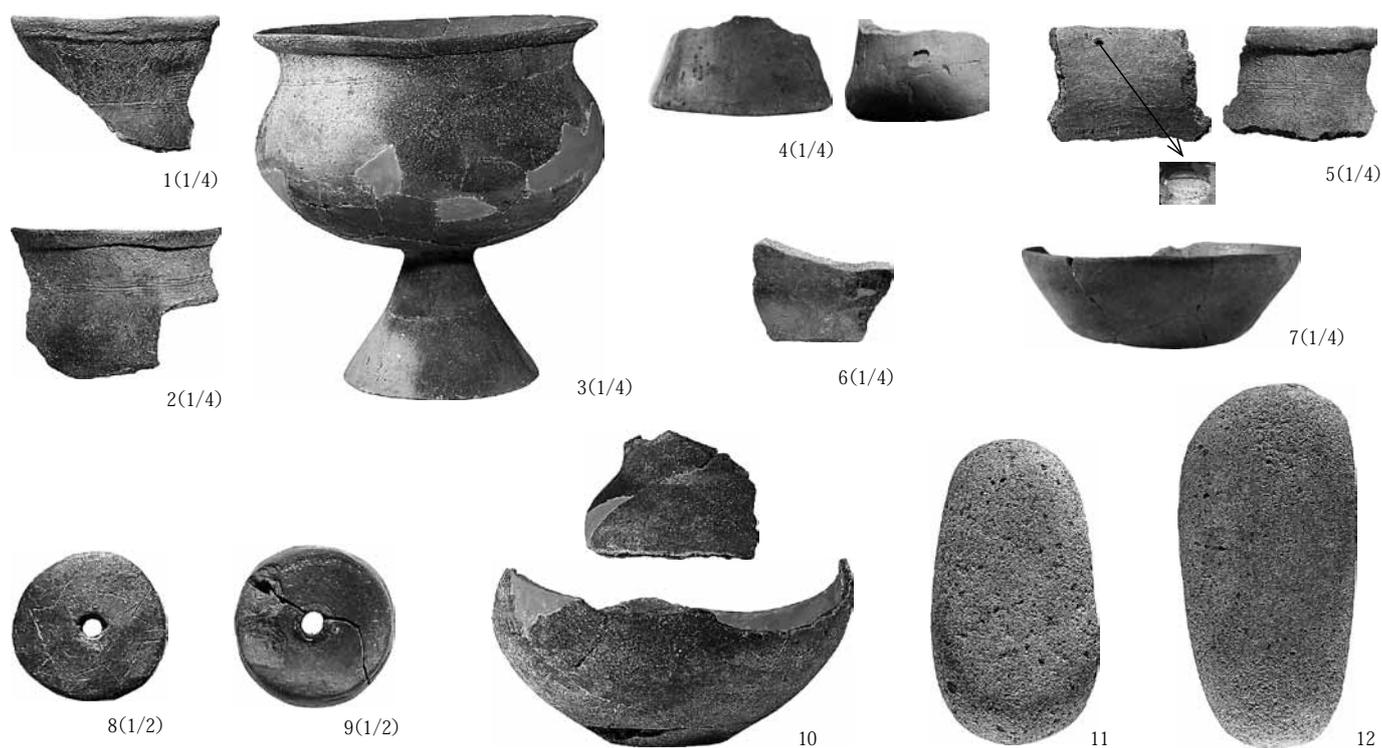
鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 517 号住居



鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 518 号住居

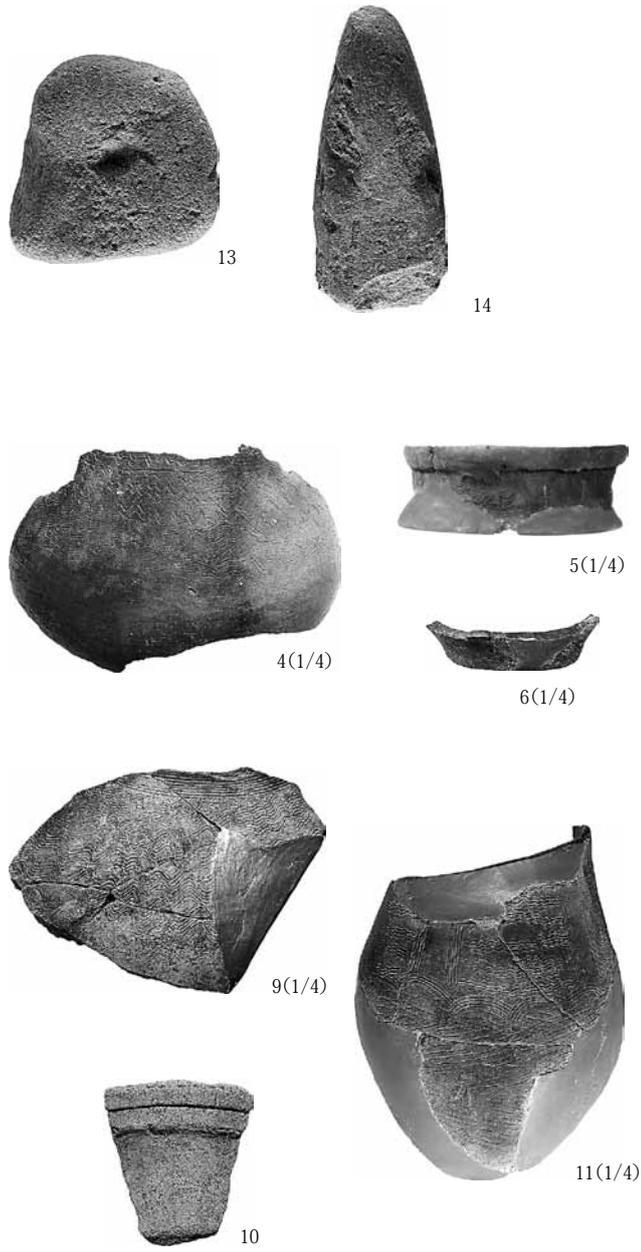


鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 521 号住居

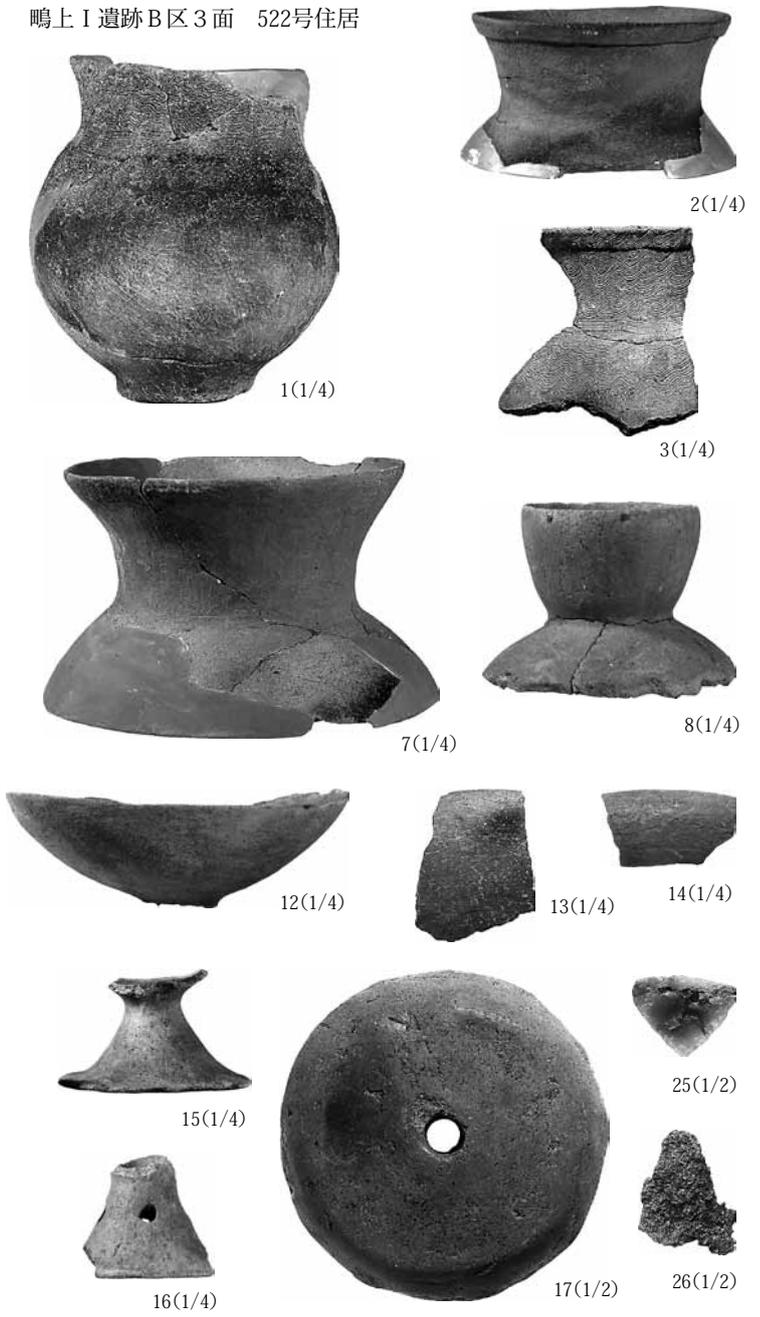


PL.88

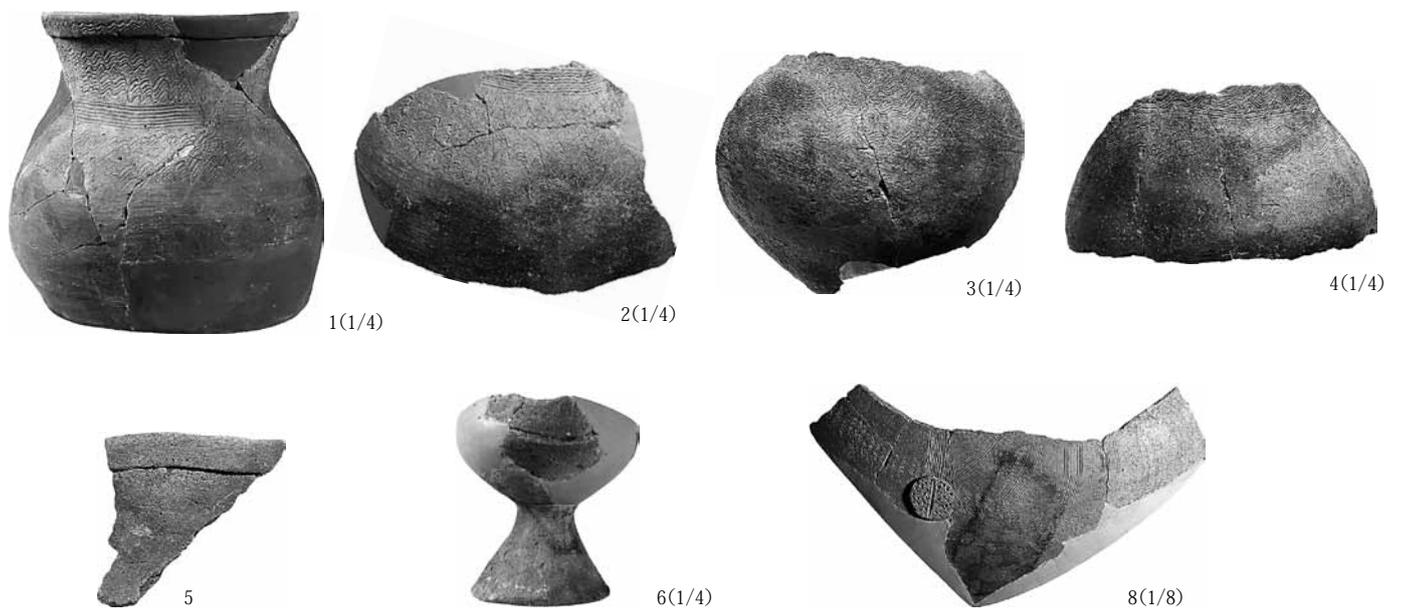
鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 521 号住居



鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 522 号住居



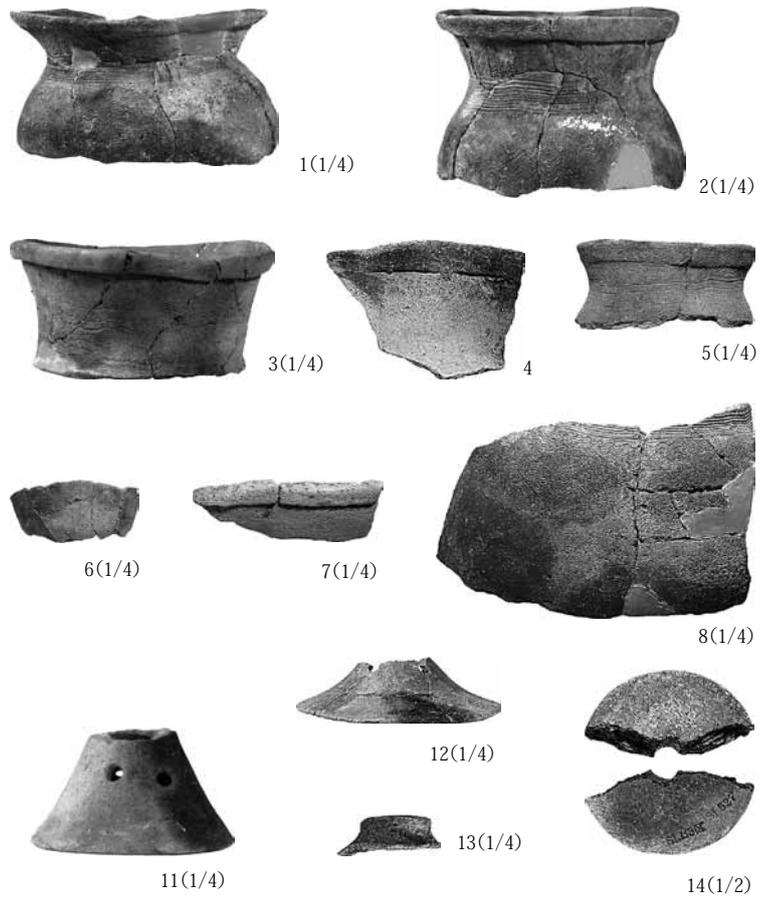
鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 524 号住居



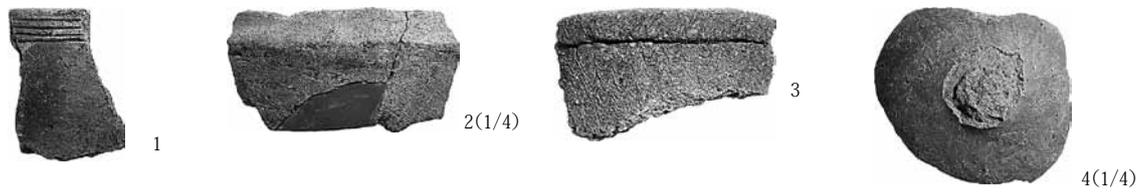
鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 524 号住居



鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 527 号住居



鳴上 I 遺跡 B 区 3 面 遺構外出土遺物



発掘調査報告書抄録

書名	かやばたけいせき・しぎあげいちいせき
書名	茅畑遺跡・鳴上 I 遺跡
副書名	(主)前橋安中富岡線社会資本総合整備事業(広域・新潟長野)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	621
著者名	都木直人 津島秀章
編集機関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20170116
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2

遺跡名	かやばたけいせき
遺跡名	茅畑遺跡
所在地	ぐんまけんたかさきしみさとまちしらかわ
遺跡所在地	群馬県高崎市箕郷町白川
市町村コード	10202
遺跡番号	02232
北緯(世界測地系)	362224
東経(世界測地系)	1404316
調査期間	20150101-20150430
調査面積	6700
調査原因	道路建設
種別	集落・墳墓・生産
主な時代	縄文/古墳/奈良/平安/中世/近世
遺跡概要	縄文-土器/古墳~古代-竪穴住居 4+掘立柱建物18+古墳 1+道路 1+土坑29+ピット1726-土器+石器+金属器/中世~近代-溝10+道路 1+畑 3+土器+陶磁器
特記事項	平安時代の竪穴住居の調査。住居を囲むように多くの掘立柱建物が確認された。東部の丘陵地には古墳が 1 基確認された。中世から近世にかけて、溝や畑が確認された。
要約	榛名山南裾の丘陵地帯に鳴上 I 遺跡と谷を隔てて、平安時代の集落が営まれている。遺跡の東部に古墳が 1 基確認されており、墓域と畑に用途が特化されている。平安時代の竪穴住居 4 軒、掘立柱建物18棟、道路 1 条、中世~近世の畑や溝を調査した。

遺跡名	しぎあげいちいせき
遺跡名	鳴上 I 遺跡
所在地	ぐんまけんたかさきしみさとまちしらかわ
遺跡所在地	群馬県高崎市箕郷町白川
市町村コード	10202
遺跡番号	02230
北緯(世界測地系)	362221
東経(世界測地系)	1404322
調査期間	20150101-20150430/20160101-20160131
調査面積	6949
調査原因	道路建設
種別	集落
主な時代	弥生/古墳/奈良/平安/中世/近世
遺跡概要	弥生-竪穴住居15-土器+石器+金属器/古墳~古代-竪穴住居16+掘立柱建物 2+粘土採掘坑 1+焼土 1+土坑 4+ピット135-土器+石器+金属器/中世~近代-掘立柱建物 2+柱穴列 2+溝 2+土坑12+ピット361-土器+陶磁器+金属器
特記事項	弥生時代の竪穴住居、古墳時代から平安時代の竪穴住居の調査。弥生時代の住居からは、ベッド状遺構、炭化材が多く確認され、また、巨大な土製紡輪、文様が施された石製紡輪が出土した。
要約	榛名山南裾の丘陵地帯に茅畑遺跡と谷を隔てて、弥生時代の集落、古墳時代から平安時代まで継続的に集落が営まれている。弥生時代の竪穴住居15軒、古墳時代の竪穴住居 4 件、奈良・平安時代の竪穴住居 12軒、中世~近世の掘立柱建物 3 棟、柱穴列を調査した。

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第621集

茅畑遺跡・鳴上 I 遺跡

(主)前橋安中富岡線社会資本総合整備事業(広域・新潟長野)に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

平成29(2017)年1月8日 印刷

平成29(2017)年1月16日 発行

編集・発行／公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2

電話(0279)52-2511(代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷／上毎印刷工業株式会社
